

平成 28 年度 厚生労働省医政局地域医療計画課委託事業

平成 28 年度かかりつけ医に関する業務実態調査

報告書

平成 29（2017）年 3 月

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

平成 28 年度かかりつけ医に関する業務実態調査 報告書

■ 目 次 ■

第 1 章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の内容と方法.....	1
(1) アンケート調査.....	1
(2) 有識者検討会の設置・開催.....	4
3. 回収結果	4
4. その他	5
第 2 章 施設調査	6
1. 施設の概要等	6
(1) 施設の概要.....	6
(2) 職員の体制.....	12
(3) 立地場所等.....	15
(4) 施設基準の届出状況.....	18
(5) 施設の役割等.....	20
2. 外来診療の取組状況.....	30
(1) 外来診療の体制等.....	30
(2) 外来診療の取組状況等.....	38
(3) 外来診療における診療報酬の算定回数.....	45
3. 在宅医療・介護の取組状況等.....	61
(1) 在宅医療の体制等.....	61
(2) 在宅医療の実績等.....	69
第 3 章 院長調査	85
1. 院長のプロフィール等.....	85
(1) 基本属性等.....	85
(2) 医師としての経歴等.....	88
2. 教育・研修の経験等.....	104
(1) 専門医の取得状況等.....	104
(2) 病院での勤務経験等.....	113

(3) 院長就任準備としての教育・研修の受講経験等.....	120
3. 外来診療・訪問診療への取組状況等.....	125
(1) 外来診療の取組状況等.....	125
(2) 外来患者への対応状況.....	134
(3) 訪問診療への取組.....	188
(4) 地域活動への取組.....	196
4. かかりつけ医についての考え等.....	201
(1) かかりつけ医について必要なこと.....	201
(2) 自院に継続して通院している患者に対する対応状況等.....	227
(3) 日頃の診療活動における各取組の実施状況等.....	271
(4) かかりつけ医に関する考え等.....	286

参考資料

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

高齢化に伴い、個別の臓器や疾患を越えた多様な問題を抱える患者が増加し、医療技術の複雑化、専門化が進む中、地域のかかりつけ医が、患者の状態や価値観も踏まえて、日常的に全人的な医療を提供し、必要ときには専門医へ紹介するなど適切な医療を円滑に受けられるようサポートしていくことが重要である。

しかしながら、かかりつけ医については、制度的な位置付けがなく、期待される役割は多様で、住民がかかりつけ医について抱くイメージは一様ではない。

そこで、本調査では、今後、かかりつけ医をより政策的に推進することを念頭に、本業務により、かかりつけ医の業務実態を把握するための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の内容と方法

(1) アンケート調査

本調査では、医療機関とその院長を対象にした 2 種類の調査票を作成し、アンケート調査を実施した。

①対象地域

人口規模別に 24 か所の地域（郡、市）を選定した。

図表 1-1 対象地域

	人口規模	市町村	(参考) 人口	(参考) 高齢化率	(参考) 自宅死割合
郡部	1 万人未満の 町村含む	鹿児島県肝属郡南大隅町	7,542 人	45.6%	7.1%
		鹿児島県肝属郡錦江町	7,923 人	42.9%	7.4%
		鹿児島県肝属郡東串良町	6,530 人	35.4%	7.8%
		鹿児島県肝属郡肝付町	15,664 人	39.1%	11.6%
		群馬県甘楽郡南牧村	1,979 人	60.5%	2.8%
		群馬県甘楽郡下仁田町	7,564 人	45.5%	9.7%
		群馬県甘楽郡甘楽町	13,200 人	30.9%	9.2%
		長野県上伊那郡辰野町	19,770 人	34.5%	10.5%
		長野県上伊那郡箕輪町	25,241 人	27.4%	15.3%
		長野県上伊那郡飯島町	9,530 人	33.6%	17.3%
		長野県上伊那郡南箕輪村	15,063 人	22.5%	13.5%
		長野県上伊那郡中川村	4,850 人	33.4%	29.1%
		長野県上伊那郡宮田村	8,821 人	28.2%	37.6%
		石川県鳳珠郡能登町	17,568 人	45.7%	7.5%
石川県鳳珠郡穴水町	8,786 人	45.5%	7.1%		

	人口規模	市町村	(参考) 人口	(参考) 高齢化率	(参考) 自宅死割合
市	5万人未満	秋田県北秋田市	33,224人	40.6%	10.2%
		茨城県常陸大宮市	42,587人	33.2%	8.5%
		広島県庄原市	37,000人	40.8%	12.1%
		静岡県牧之原市	45,547人	28.9%	23.2%
		島根県大田市	35,166人	38.2%	14.3%
	5万人以上 10万人未満	北海道室蘭市	88,564人	34.1%	8.9%
		山形県米沢市	85,953人	28.4%	9.2%
		新潟県十日町市	54,917人	36.0%	13.1%
		兵庫県豊岡市	82,250人	31.7%	25.6%
		佐賀県鳥栖市	72,902人	22.4%	19.5%
	10万人以上 20万人未満	岩手県奥州市	119,422人	32.3%	8.7%
		栃木県栃木市	161,314人	28.8%	19.0%
		滋賀県長浜市	118,193人	26.9%	18.6%
		愛媛県今治市	158,114人	33.4%	11.7%
		福岡県大牟田市	117,360人	35.1%	8.5%
	20万人以上	千葉県松戸市	483,480人	25.6%	16.3%
		埼玉県草加市	247,034人	24.2%	13.2%
		東京都目黒区	277,622人	20.0%	14.7%
		大阪府八尾市	268,800人	27.4%	17.2%
		徳島県徳島市	258,554人	27.6%	10.4%

(注)「人口」「高齢化率」は「平成 27 国勢調査」(総務省統計局)、「自宅死割合」は厚生労働省資料「人口動態調査」特別集計(平成 26 年 1 月～12 月)(厚生労働省)。

②調査客体

上記の対象地域に所在する一般診療所及び 200 床未満の中小病院を本調査の対象とした(悉皆調査)。一般診療所・病院、合わせて 2,200 施設を調査対象とした。

③調査内容

本調査では、「施設票」と「院長票」の 2 種類の調査票を作成した。
主な調査内容は次のとおりである。

【施設票】

- 施設の概要(開設者、施設種別、標榜診療科、許可病床数、施設基準の届出状況、診療所の場所、立地場所、主な役割、救急医療体制、職員数等)
- 外来診療の取組状況等(外来担当医師数、継続的に診療している患者に対する診療体制、1 週間の外来診療時間合計・外来患者数、表示している外来診療時間、保

有している検査診断機器等、緊急時の検査対応、診療報酬算定回数等)

- 在宅医療・介護の取組状況等（在宅医療に対するスタンス、往診・訪問診療・訪問診療でのターミナルケアの提供・在宅看取りの実績、往診・訪問診療の体制、在宅療養支援診療所・病院の届出状況、職員体制、1週間の往診・訪問診療時間合計・在宅療養患者数等）

【院長票】

- 属性等（性別、年齢、医師としての勤続年数、担当している診療科、開業の形態、医師会加入の状況等）
- 今までの教育・研修に関する経験等（大学卒業後に受けた臨床研修、専門医の取得状況、病院での勤務経験、在宅医療の実務経験、院長就任準備としての経営・臨床上の教育・研修の有無等）
- 外来診療・訪問診療の取組状況等（1週間の外来診療時間合計・外来患者数、かかりつけ医として受診していると思われる患者の割合、他の医療機関を紹介した患者数、患者を紹介した医療機関数、疾患・状態別患者対応状況、1週間の往診・訪問診療時間合計・在宅療養患者数、主治医意見書の記載の有無、地域活動の取組状況等）
- かかりつけ医に関する考え等（継続して通院している患者に対する各取組の実施状況、かかりつけ医として必要なこと、かかりつけ医としての機能強化に関する意向、日医の「かかりつけ医機能研修制度」修了証または認定証の申請状況、院長が考える「かかりつけ医」像、機能強化を図る上で受講を望む内容、課題、必要な支援等）

④調査の方法

本調査では、自記式調査票 2 種類（「施設票」、「院長票」）を同封し、対象施設宛てに郵送による配布を行った。また、回答調査票を本調査専用の返信用封筒（料金受け取人払い）を用いて郵送による回収を行った。

なお、アンケート回答期限を過ぎても回答のなかった施設を対象に督促を行った。

調査対象期間は平成 29 年 3 月 7 日～3 月 31 日である。

(2) 有識者検討会の設置・開催

本調査では、学識者・有識者を構成員とする「有識者検討会」を設置し、調査全体の設計や調査対象・調査項目等の検討、調査結果についての分析等について議論を行った。

【委員】

(敬称略、○は座長、五十音順)

- 江口 成美 日本医師会総合政策研究機構 研究部専門部長
- 遠藤 久夫 学習院大学 経済学部 教授
- 川越 正平 あおぞら診療所 院長
- 草場 鉄周 北海道家庭医療学センター 理事長
- 清水恵一郎 阿部医院 院長
- 鈴木 邦彦 公益社団法人日本医師会 常任理事

3. 回収結果

アンケート調査の回収結果は次のとおりである。

図表 1-2 有効回答数及び有効回答率【施設票】

	診療所			病院			合計		
	発送数	有効回答数	有効回答率	発送数	有効回答数	有効回答率	発送数	有効回答数	有効回答率
鹿児島県肝属郡	28	11	39.3%	3	1	33.3%	31	12	38.7%
群馬県甘楽郡	13	5	38.5%	1	1	100.0%	14	6	42.9%
長野県上伊那郡	33	9	27.3%	3	1	33.3%	36	10	27.8%
石川県鳳珠郡	13	5	38.5%	3	1	33.3%	16	6	37.5%
秋田県北秋田市	18	5	27.8%	1	0	0.0%	19	5	26.3%
茨城県常陸大宮市	19	5	26.3%	2	1	50.0%	21	6	28.6%
広島県庄原市	29	13	44.8%	5	1	20.0%	34	14	41.2%
静岡県牧之原市	22	6	27.3%	0	0	-	22	6	27.3%
島根県大田市	36	12	33.3%	0	0	-	36	12	33.3%
北海道室蘭市	44	15	34.1%	2	0	0.0%	46	15	32.6%
山形県米沢市	54	14	25.9%	3	1	33.3%	57	15	26.3%
新潟県十日町市	21	9	42.9%	3	2	66.7%	24	11	45.8%
兵庫県豊岡市	60	18	30.0%	2	0	0.0%	62	18	29.0%
佐賀県鳥栖市	65	19	29.2%	6	1	16.7%	71	20	28.2%
岩手県奥州市	73	23	31.5%	5	1	20.0%	78	24	30.8%
栃木県栃木市	103	33	32.0%	4	0	0.0%	107	33	30.8%
滋賀県長浜市	78	21	26.9%	2	0	0.0%	80	21	26.3%
愛媛県今治市	97	30	30.9%	28	6	21.4%	125	36	28.8%
福岡県大牟田市	111	40	36.0%	14	4	28.6%	125	44	35.2%
千葉県松戸市	250	75	30.0%	13	5	38.5%	263	80	30.4%
埼玉県草加市	113	28	24.8%	5	1	20.0%	118	29	24.6%
東京都目黒区	305	95	31.1%	4	0	0.0%	309	95	30.7%
大阪府八尾市	205	70	34.1%	7	0	0.0%	212	70	33.0%
徳島県徳島市	257	58	22.6%	37	5	13.5%	294	63	21.4%
合計	2,047	619	30.2%	153	32	20.9%	2,200	651	29.6%

図表 1-3 有効回答数及び有効回答率【院長票】

	診療所			病院			合計		
	発送数	有効回答数	有効回答率	発送数	有効回答数	有効回答率	発送数	有効回答数	有効回答率
鹿児島県肝属郡	28	11	39.3%	3	1	33.3%	31	12	38.7%
群馬県甘楽郡	13	4	30.8%	1	1	100.0%	14	5	35.7%
長野県上伊那郡	33	10	30.3%	3	1	33.3%	36	11	30.6%
石川県鳳珠郡	13	5	38.5%	3	0	0.0%	16	5	31.3%
秋田県北秋田市	18	5	27.8%	1	0	0.0%	19	5	26.3%
茨城県常陸大宮市	19	5	26.3%	2	1	50.0%	21	6	28.6%
広島県庄原市	29	10	34.5%	5	1	20.0%	34	11	32.4%
静岡県牧之原市	22	6	27.3%	0	0	-	22	6	27.3%
島根県大田市	36	13	36.1%	0	0	-	36	13	36.1%
北海道室蘭市	44	16	36.4%	2	0	0.0%	46	16	34.8%
山形県米沢市	54	14	25.9%	3	1	33.3%	57	15	26.3%
新潟県十日町市	21	9	42.9%	3	2	66.7%	24	11	45.8%
兵庫県豊岡市	60	17	28.3%	2	0	0.0%	62	17	27.4%
佐賀県鳥栖市	65	19	29.2%	6	1	16.7%	71	20	28.2%
岩手県奥州市	73	24	32.9%	5	1	20.0%	78	25	32.1%
栃木県栃木市	103	35	34.0%	4	0	0.0%	107	35	32.7%
滋賀県長浜市	78	22	28.2%	2	0	0.0%	80	22	27.5%
愛媛県今治市	97	29	29.9%	28	6	21.4%	125	35	28.0%
福岡県大牟田市	111	40	36.0%	14	4	28.6%	125	44	35.2%
千葉県松戸市	250	72	28.8%	13	4	30.8%	263	76	28.9%
埼玉県草加市	113	28	24.8%	5	1	20.0%	118	29	24.6%
東京都目黒区	305	95	31.1%	4	0	0.0%	309	95	30.7%
大阪府八尾市	205	71	34.6%	7	0	0.0%	212	71	33.5%
徳島県徳島市	257	57	22.2%	37	5	13.5%	294	61	20.7%
合計	2,047	617	30.1%	153	30	19.6%	2,200	647	29.4%

4. その他

- ・本調査は、人口規模別に対象地域を選定し、その地域に所在する、全ての一般診療所及び中小病院を対象として実施したものであり、結果は全国の平均値を示すものではない。したがって、図表中の「全体」は参考値である。
- ・図表中の標記は、以下のとおりである。

○地域別

「5万人未満」：人口が1万人未満の町村を含む郡部、及び1万人以上5万人未満の市

「10万人未満」：人口が5万人以上10万人未満の市

「20万人未満」：人口が10万人以上20万人未満の市

「20万人以上」：人口が20万人以上の区市

○主たる診療科、主たる担当診療科

「内科系」：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科（胃腸内科）、腎臓内科、神経内科、糖尿病内科（代謝内科）、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科

「外科系」：外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科（胃腸外科）、泌尿器科、肛門外科、脳神経外科、形成外科、美容外科

「その他」：リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、救急科、その他

第2章 施設調査

1. 施設の概要等

(1) 施設の概要

①施設種別

- ・回答施設 651 施設のうち、「無床診療所」が 85.9%、「有床診療所」が 9.2%、「病院」が 4.9%であった。
- ・地域別にみると、5 万人未満の地域では、他の地域と比較して「病院」の割合が相対的に高かった。20 万人未満の地域では他の地域と比較して「有床診療所」の割合が高かった。

図表 2-1 施設種別（地域別）

（単位：上段「件」、下段「%」）

	総数	無床診療所	有床診療所	病院	無回答
全体	651	559	60	32	0
	100.0	85.9	9.2	4.9	0.0
5万人未満	76	67	3	6	0
	100.0	88.2	3.9	7.9	0.0
10万人未満	79	68	7	4	0
	100.0	86.1	8.9	5.1	0.0
20万人未満	159	123	25	11	0
	100.0	77.4	15.7	6.9	0.0
20万人以上	337	301	25	11	0
	100.0	89.3	7.4	3.3	0.0

②許可病床数と休床中の病床数

1) 許可病床数

- ・有床診療所及び病院の許可病床数は次のとおりである。

図表 2-2 許可病床数（施設種別）

（単位：床）

		一般病床	療養病床	(うち)介護療養病床	精神病床	結核・感染症病床	合計
有床診療所 (n=60)	平均値	13.2	1.2	0.4	0.0	0.0	14.4
	標準偏差	6.2	3.3	1.6	-	-	6.1
	中央値	15.5	0.0	0.0	0.0	0.0	18.0
病院 (n=32)	平均値	66.1	39.7	12.6	0.0	0.0	105.8
	標準偏差	61.2	47.2	25.7	-	-	61.0
	中央値	50.5	39.0	0.0	0.0	0.0	97.5

2) 休床中の病床数

- ・休床中の病床がある有床診療所は 13 施設（有床診療所 60 施設に対する割合は 21.7%）であった。この 13 施設の許可病床数の平均は 12.2 床であり、このうち休床中の病床数は平均 11.9 床であった（13 施設中 12 施設が全床休床中）。
- ・休床中の病床がある病院は 4 施設（病院 32 施設に対する割合は 12.5%）であった。この 4 施設の許可病床数は平均 127.3 床であり、このうち休床中の病床数は平均 25.8 床であった。

図表 2-3 休床中の病床数（平均値、休床中の病床がある有床診療所、n=13）

（単位：床）

	一般病床	療養病床	(うち)介護療養病床	合計
許可病床数	10.4	1.8	0.5	12.2
休床中の病床数	10.1	1.8	0.5	11.9

（注）「休床中の病床」とは、過去 1 年間に一度も入院患者を収容しなかった病床。

図表 2-4 休床中の病床数（平均値、休床中の病床がある病院、n=4）

（単位：床）

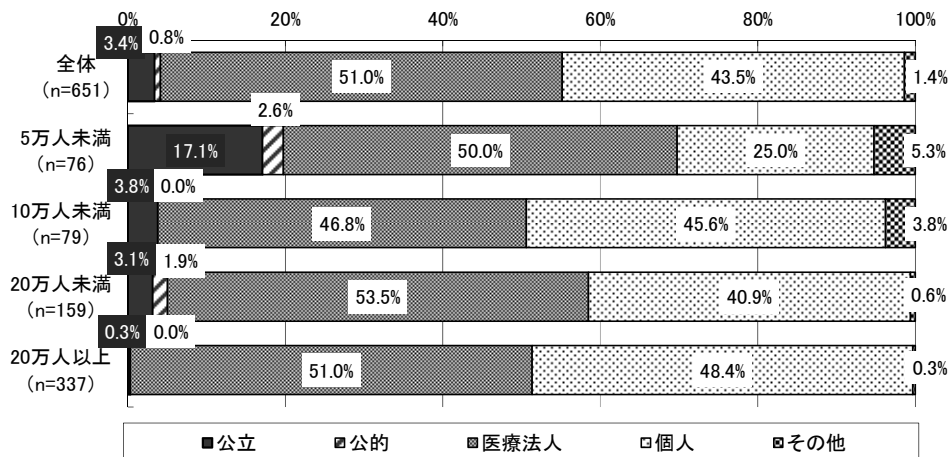
	一般病床	療養病床	(うち)介護療養病床	合計
許可病床数	84.8	42.5	0.0	127.3
休床中の病床数	22.8	3.0	0.0	25.8

（注）「休床中の病床」とは、過去 1 年間に一度も入院患者を収容しなかった病床。

③開設者

- ・開設者についてみると、人口 5 万人未満の地域では、「公立」「公的」の割合が他の地域と比較して相対的に高かった。両者を合わせた割合は 2 割近くを占めている。
- ・「医療法人」の割合は、20 万人未満の地域では 53.5%、20 万人以上の地域では 51.0%と半数近くを占めている。

図表 2-5 開設者（地域別）

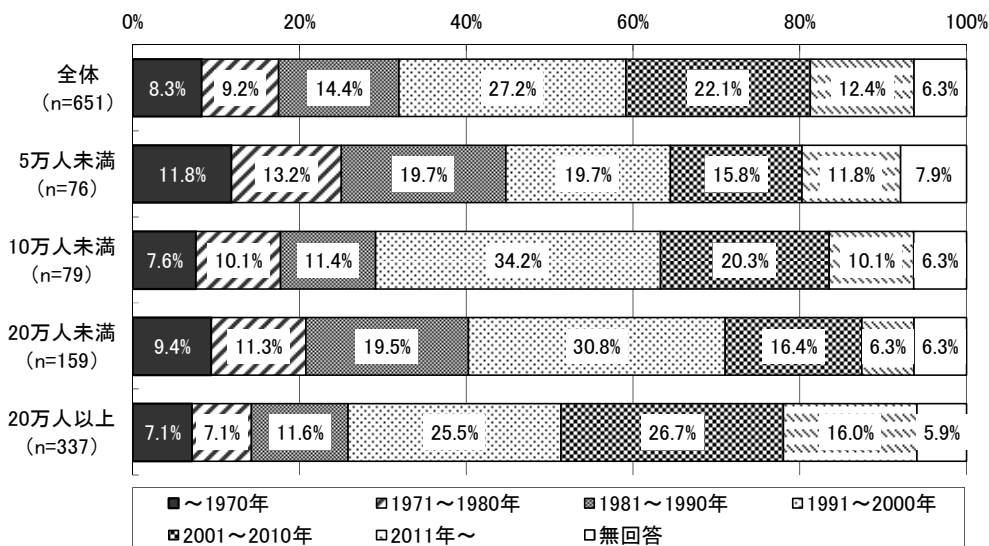


（注）「その他」の内容としては「社会福祉法人」（4 件）、「一般財団法人」、「一般社団法人」、「公益社団法人」が挙げられた。

④開業年

- ・開業年についてみると、1990年以前の割合は、5万人未満の地域では44.7%、10万人未満では29.1%、20万人未満では40.2%、20万人以上では25.8%であった。
- ・20万人以上の地域では2001年以降の割合が42.7%を占めており、他の地域と比較して開業年の新しい医療機関の割合が高かった。

図表 2-6 開業年（地域別）



⑤標榜診療科

- ・標榜診療科について「内科」の割合をみると、5万人未満の地域では89.5%、10万人未満では68.4%、20万人未満では61.0%、20万人以上では60.2%であった。
- ・「外科」の割合をみると、5万人未満の地域では21.1%、10万人未満では20.3%、20万人未満では15.7%、20万人以上では13.9%であった。
- ・「整形外科」の割合をみると、5万人未満の地域では14.5%、10万人未満では15.2%、20万人未満では17.6%、20万人以上では14.2%であった。
- ・「小児科」の割合をみると、5万人未満の地域では31.6%、10万人未満では27.8%、20万人未満では29.6%、20万人以上では24.6%であった。

図表 2-7 標榜診療科（地域別、複数回答）

（単位：上段「件」、下段「%」）

	総数	内科	呼吸器内科	循環器内科	消化器内科	腎臓内科	神経内科	糖尿病内科	血液内科	皮膚科
全体	651	422	73	111	140	19	29	27	1	93
	100.0	64.8	11.2	17.1	21.5	2.9	4.5	4.1	0.2	14.3
5万人未満	76	68	9	15	15	2	4	3	1	7
	100.0	89.5	11.8	19.7	19.7	2.6	5.3	3.9	1.3	9.2
10万人未満	79	54	5	14	24	1	3	2	0	10
	100.0	68.4	6.3	17.7	30.4	1.3	3.8	2.5	0.0	12.7
20万人未満	159	97	22	28	36	9	6	4	0	18
	100.0	61.0	13.8	17.6	22.6	5.7	3.8	2.5	0.0	11.3
20万人以上	337	203	37	54	65	7	16	18	0	58
	100.0	60.2	11.0	16.0	19.3	2.1	4.7	5.3	0.0	17.2

	総数	アレルギー科	リウマチ科	感染症 内科	小児科	精神科	心療内科	外科	呼吸器 外科	心血管 外科
全体	651	49	36	2	176	36	35	104	2	4
	100.0	7.5	5.5	0.3	27.0	5.5	5.4	16.0	0.3	0.6
5万人未満	76	5	1	0	24	2	2	16	0	2
	100.0	6.6	1.3	0.0	31.6	2.6	2.6	21.1	0.0	2.6
10万人未満	79	4	4	0	22	4	3	16	0	0
	100.0	5.1	5.1	0.0	27.8	5.1	3.8	20.3	0.0	0.0
20万人未満	159	10	13	2	47	5	6	25	0	1
	100.0	6.3	8.2	1.3	29.6	3.1	3.8	15.7	0.0	0.6
20万人以上	337	30	18	0	83	25	24	47	2	1
	100.0	8.9	5.3	0.0	24.6	7.4	7.1	13.9	0.6	0.3

	総数	乳腺外科	気管食道 外科	消化器 外科	泌尿器科	肛門外科	脳神経 外科	整形外科	形成外科	美容外科
全体	651	7	1	19	40	26	18	99	18	3
	100.0	1.1	0.2	2.9	6.1	4.0	2.8	15.2	2.8	0.5
5万人未満	76	0	0	1	8	0	1	11	0	0
	100.0	0.0	0.0	1.3	10.5	0.0	1.3	14.5	0.0	0.0
10万人未満	79	1	1	1	5	5	4	12	3	0
	100.0	1.3	1.3	1.3	6.3	6.3	5.1	15.2	3.8	0.0
20万人未満	159	1	0	8	10	8	6	28	4	0
	100.0	0.6	0.0	5.0	6.3	5.0	3.8	17.6	2.5	0.0
20万人以上	337	5	0	9	17	13	7	48	11	3
	100.0	1.5	0.0	2.7	5.0	3.9	2.1	14.2	3.3	0.9

	総数	眼科	耳鼻 いんこう科	小児外科	産婦人科	産科	婦人科	リハビリ テーション科	放射線科	麻酔科
全体	651	54	42	10	26	4	18	110	26	22
	100.0	8.3	6.5	1.5	4.0	0.6	2.8	16.9	4.0	3.4
5万人未満	76	7	5	2	3	0	2	9	2	1
	100.0	9.2	6.6	2.6	3.9	0.0	2.6	11.8	2.6	1.3
10万人未満	79	8	4	2	2	1	3	13	3	3
	100.0	10.1	5.1	2.5	2.5	1.3	3.8	16.5	3.8	3.8
20万人未満	159	13	14	2	5	1	3	44	12	11
	100.0	8.2	8.8	1.3	3.1	0.6	1.9	27.7	7.5	6.9
20万人以上	337	26	19	4	16	2	10	44	9	7
	100.0	7.7	5.6	1.2	4.7	0.6	3.0	13.1	2.7	2.1

	総数	病理 診断科	臨床 検査科	救急科	歯科	矯正歯科	小児歯科	歯科口腔 外科	無回答
全体	651	1	2	1	10	1	3	5	0
	100.0	0.2	0.3	0.2	1.5	0.2	0.5	0.8	0.0
5万人未満	76	0	0	0	2	0	1	1	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	1.3	1.3	0.0
10万人未満	79	0	0	1	3	0	0	2	0
	100.0	0.0	0.0	1.3	3.8	0.0	0.0	2.5	0.0
20万人未満	159	1	0	0	1	0	0	1	0
	100.0	0.6	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.6	0.0
20万人以上	337	0	2	0	4	1	2	1	0
	100.0	0.0	0.6	0.0	1.2	0.3	0.6	0.3	0.0

⑥主たる診療科

・主たる診療科が「内科」である診療所の割合は、5万人未満の地域では75.7%、10万人未満では49.3%、20万人未満では41.9%、20万人以上では35.0%と、人口規模が小さい地域ほどその割合が高かった。

図表 2-8 主たる診療科（地域別、単数回答）【診療所】

（単位：上段「件」、下段「%」）

	総数	内科	呼吸器 内科	循環器 内科	消化器 内科	腎臓内科	神経内科	糖尿病 内科	血液内科	皮膚科
全体	619	266	2	9	16	4	2	6	0	31
	100.0	43.0	0.3	1.5	2.6	0.6	0.3	1.0	0.0	5.0
5万人未満	70	53	0	1	1	1	0	0	0	1
	100.0	75.7	0.0	1.4	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	1.4
10万人未満	75	37	0	2	1	0	1	1	0	3
	100.0	49.3	0.0	2.7	1.3	0.0	1.3	1.3	0.0	4.0
20万人未満	148	62	0	2	4	1	0	0	0	4
	100.0	41.9	0.0	1.4	2.7	0.7	0.0	0.0	0.0	2.7
20万人以上	326	114	2	4	10	2	1	5	0	23
	100.0	35.0	0.6	1.2	3.1	0.6	0.3	1.5	0.0	7.1

	総数	アレルギー科	リウマチ科	感染症 内科	小児科	精神科	心療内科	外科	呼吸器 外科	心血管 外科
全体	619	0	0	0	40	24	7	12	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	6.5	3.9	1.1	1.9	0.0	0.0
5万人未満	70	0	0	0	2	0	0	1	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0
10万人未満	75	0	0	0	5	3	0	2	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	6.7	4.0	0.0	2.7	0.0	0.0
20万人未満	148	0	0	0	7	3	2	4	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	4.7	2.0	1.4	2.7	0.0	0.0
20万人以上	326	0	0	0	26	18	5	5	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	8.0	5.5	1.5	1.5	0.0	0.0

	総数	乳腺外科	気管食道 外科	消化器 外科	泌尿器科	肛門外科	脳神経 外科	整形外科	形成外科	美容外科
全体	619	1	0	3	8	1	8	50	3	2
	100.0	0.2	0.0	0.5	1.3	0.2	1.3	8.1	0.5	0.3
5万人未満	70	0	0	0	1	0	0	4	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	5.7	0.0	0.0
10万人未満	75	0	0	0	2	0	3	5	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	4.0	6.7	0.0	0.0
20万人未満	148	0	0	1	1	0	3	17	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.7	0.7	0.0	2.0	11.5	0.0	0.0
20万人以上	326	1	0	2	4	1	2	24	3	2
	100.0	0.3	0.0	0.6	1.2	0.3	0.6	7.4	0.9	0.6

	総数	眼科	耳鼻 いんこう科	小児外科	産婦人科	産科	婦人科	リハビリ テーション科	放射線科	麻酔科
全体	619	38	34	0	20	2	7	1	0	4
	100.0	6.1	5.5	0.0	3.2	0.3	1.1	0.2	0.0	0.6
5万人未満	70	1	1	0	1	0	1	0	0	0
	100.0	1.4	1.4	0.0	1.4	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0
10万人未満	75	4	2	0	1	1	0	0	0	0
	100.0	5.3	2.7	0.0	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0
20万人未満	148	9	14	0	4	1	1	0	0	2
	100.0	6.1	9.5	0.0	2.7	0.7	0.7	0.0	0.0	1.4
20万人以上	326	24	17	0	14	0	5	1	0	2
	100.0	7.4	5.2	0.0	4.3	0.0	1.5	0.3	0.0	0.6

	総数	病理 診断科	臨床 検査科	救急科	歯科	矯正歯科	小児歯科	歯科口腔 外科	無回答
全体	619	0	1	0	2	0	0	0	15
	100.0	0.0	0.2	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	2.4
5万人未満	70	0	0	0	0	0	0	0	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4
10万人未満	75	0	0	0	0	0	0	0	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7
20万人未満	148	0	0	0	0	0	0	0	6
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.1
20万人以上	326	0	1	0	2	0	0	0	6
	100.0	0.0	0.3	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	1.8

- ・主たる診療科(中分類)についてみると、「内科系」の割合は5人未満の地域では80.0%、10万人未満では56.0%、20万人未満では46.6%、20万人以上では42.3%となっており、人口規模が小さい地域ほどその割合は高かった。
- ・20万人以上の地域では、他の地域と比較して、「小児科・小児外科」、「産婦人科・産科・婦人科」、「皮膚科」、「眼科」、「精神科・心療内科」の割合が高かった。

図表 2-9 主たる診療科(中分類)(地域別、単数回答)【診療所】

(単位: 上段「件」、下段「%」)

	総数	内科系	外科系	整形外科	小児科・小 児外科	産婦人科・ 産科・婦人 科	皮膚科	眼科	耳鼻いんこ う科	精神科・心 療内科	その他
全体	619	305	38	50	40	29	31	38	34	31	23
	100.0	49.3	6.1	8.1	6.5	4.7	5.0	6.1	5.5	5.0	3.7
5万人未満	70	56	2	4	2	2	1	1	1	0	1
	100.0	80.0	2.9	5.7	2.9	2.9	1.4	1.4	1.4	0.0	1.4
10万人未満	75	42	7	5	5	2	3	4	2	3	2
	100.0	56.0	9.3	6.7	6.7	2.7	4.0	5.3	2.7	4.0	2.7
20万人未満	148	69	9	17	7	6	4	9	14	5	8
	100.0	46.6	6.1	11.5	4.7	4.1	2.7	6.1	9.5	3.4	5.4
20万人以上	326	138	20	24	26	19	23	24	17	23	12
	100.0	42.3	6.1	7.4	8.0	5.8	7.1	7.4	5.2	7.1	3.7

(2) 職員の体制

①全職員数

- ・診療所の1施設あたりの職員数について中央値で見ると、常勤では、医師が1.0人、保健師・助産師・看護師が1.0人、その他の職員が2.0人であり、合計は5.0人であった。非常勤の医師は中央値で0.0人であった。
- ・病院の1施設あたりの職員数について中央値で見ると、常勤では、医師が4.5人、保健師・助産師・看護師が24.5人、准看護師が7.0人、薬剤師が2.0人、リハビリ職が7.0人、管理栄養士が2.0人、その他の医療職が4.0人、その他の職員が27.5人であり、合計は95.5人であった。非常勤の医師は中央値では2.4人であった。

図表 2- 10 全職員数 (n=616) 【診療所】

(単位：人)

	常勤			非常勤		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
医師	1.2	0.5	1.0	0.3	0.7	0.0
歯科医師	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
保健師・助産師・看護師	1.3	2.1	1.0	0.3	0.7	0.0
准看護師	1.0	1.7	0.0	0.2	0.6	0.0
薬剤師	0.1	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0
リハビリ職	0.2	1.2	0.0	0.0	0.2	0.0
管理栄養士	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0
その他の医療職	0.3	1.2	0.0	0.1	0.5	0.0
その他の職員	2.7	4.7	2.0	0.7	1.5	0.0
合計	6.8	7.8	5.0	1.7	2.4	0.8

(注)「職員数」について無回答の3施設を除き、集計対象とした。

図表 2- 11 全職員数 (n=32) 【病院】

(単位：人)

	常勤			非常勤		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
医師	7.2	8.6	4.5	2.8	1.9	2.4
歯科医師	0.1	0.3	0.0	0.1	0.5	0.0
保健師・助産師・看護師	45.6	48.0	24.5	3.5	4.1	1.6
准看護師	9.3	7.4	7.0	1.3	1.8	0.9
薬剤師	3.0	2.7	2.0	0.6	1.7	0.0
リハビリ職	13.7	16.3	7.0	0.2	0.8	0.0
管理栄養士	2.3	2.0	2.0	0.0	0.1	0.0
その他の医療職	10.0	13.2	4.0	1.2	2.6	0.0
その他の職員	38.2	29.3	27.5	6.4	10.5	3.0
合計	129.3	107.3	95.5	16.2	15.0	10.3

②介護支援専門員の資格を有する職員数

- ・常勤の職員のうち、介護支援専門員の資格を有する職員がいる施設の割合は、無床診療所では11.2%、有床診療所では25.4%、病院では75.0%であった。
- ・また、有資格者がいる施設における、介護支援専門員の資格を有する職員数は、無床診療所が平均1.8人、有床診療所が平均1.7人、病院が平均4.8人であった。

図表 2-12 介護支援専門員の資格を有する職員がいる施設の割合及び当該施設における介護支援専門員の資格を有する職員数（平均値・中央値）

	①回答施設数	②有資格者がいる施設	③有資格者がいる施設の割合(②/①)	④有資格者がいる施設における有資格者数		
				平均値	標準偏差	中央値
無床診療所	509	57	11.2%	1.8	2.2	1.0
有床診療所	59	15	25.4%	1.7	1.4	1.0
病院	28	21	75.0%	4.8	4.1	3.0

(注)「介護支援専門員の資格を有する職員数」について無回答の施設（無床診療所 50 施設、有床診療所 1 施設、病院 4 施設）を除き、集計対象とした。

図表 2-13 介護支援専門員の資格を有する職員数（施設種別）

(単位：上段「件」、下段「%」)

	総数	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全体	651	503	58	11	5	6	13	55
	100.0	77.3	8.9	1.7	0.8	0.9	2.0	8.4
診療所	619	496	53	8	2	5	4	51
	100.0	80.1	8.6	1.3	0.3	0.8	0.6	8.2
病院	32	7	5	3	3	1	9	4
	100.0	21.9	15.6	9.4	9.4	3.1	28.1	12.5

図表 2-14 介護支援専門員の資格を有する職員数（地域別）【診療所】

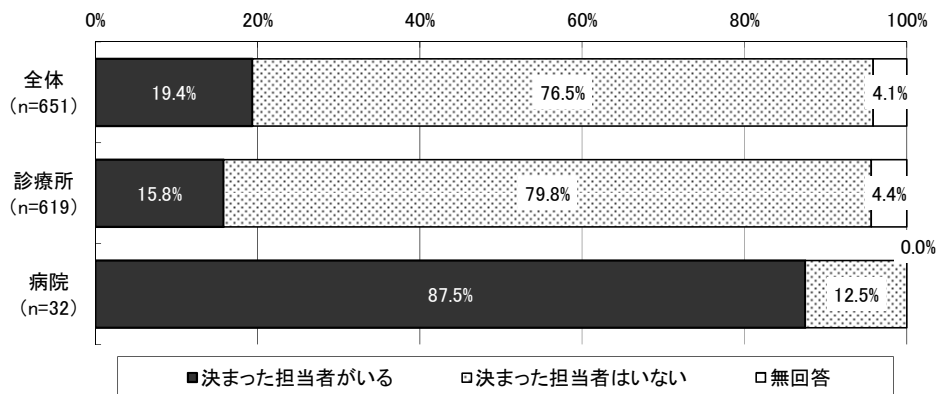
(単位：上段「件」、下段「%」)

	総数	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全体	619	496	53	8	2	5	4	51
	100.0	80.1	8.6	1.3	0.3	0.8	0.6	8.2
5万人未満	70	55	4	0	0	1	1	9
	100.0	78.6	5.7	0.0	0.0	1.4	1.4	12.9
10万人未満	75	60	6	2	0	0	0	7
	100.0	80.0	8.0	2.7	0.0	0.0	0.0	9.3
20万人未満	148	112	18	1	1	3	1	12
	100.0	75.7	12.2	0.7	0.7	2.0	0.7	8.1
20万人以上	326	269	25	5	1	1	2	23
	100.0	82.5	7.7	1.5	0.3	0.3	0.6	7.1

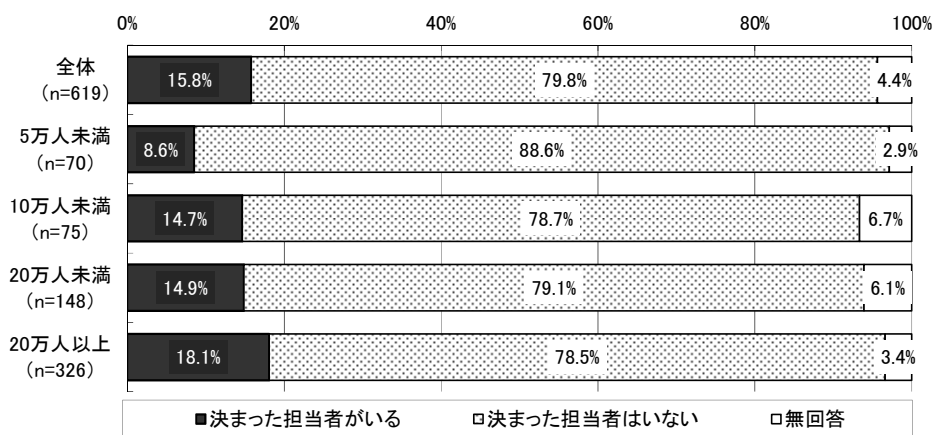
③地域連携の窓口となる担当者の有無

- ・地域連携の窓口となる担当者の有無について施設種別でみると、「決まった担当者がある」という割合は、診療所では 15.8%、病院では 87.5%であった。診療所では「決まった担当者はいない」が 8 割近くを占めた。
- ・診療所について地域別にみると、「決まった担当者がある」という割合は、人口規模が大きい地域ほど高かった。

図表 2- 15 地域連携の窓口となる担当者の有無（施設種別）



図表 2- 16 地域連携の窓口となる担当者の有無（地域別）【診療所】

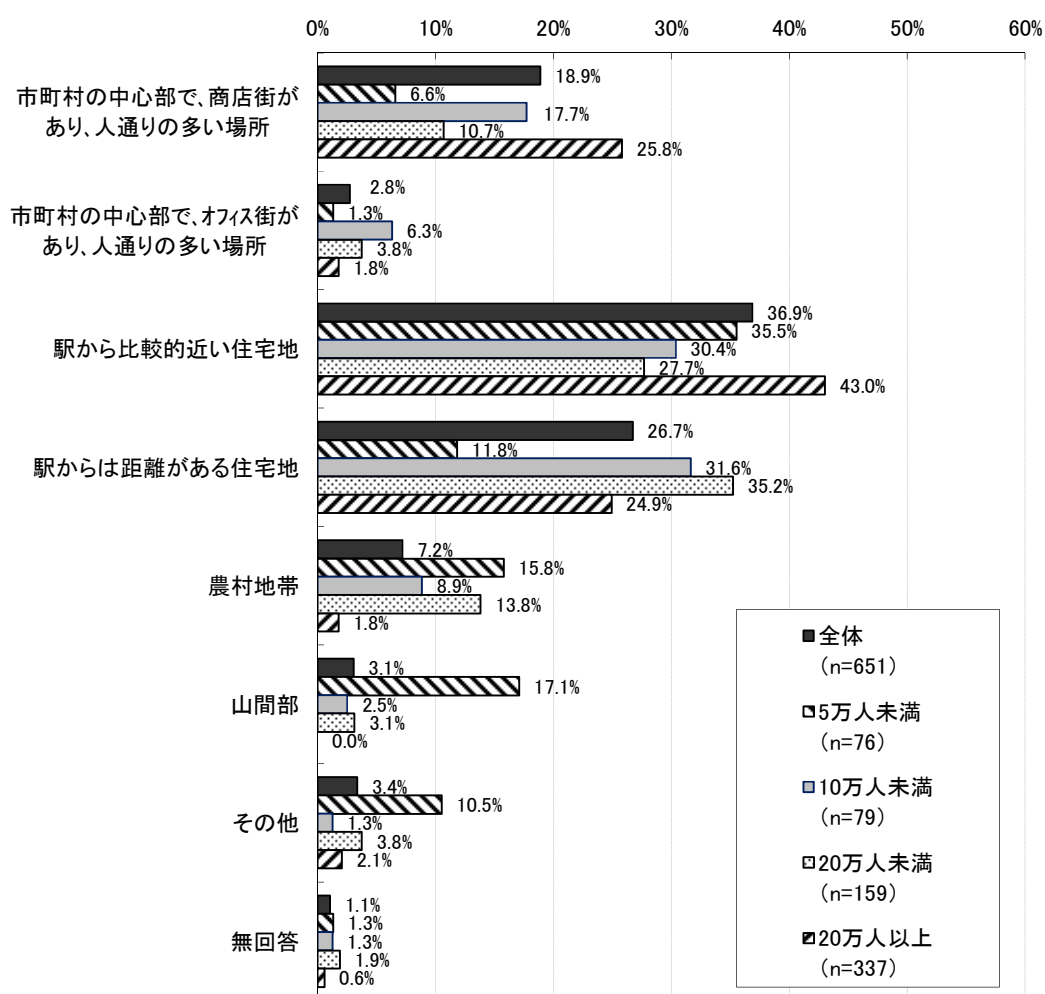


(3) 立地場所等

①立地場所

- ・立地場所についてみると、5万人未満と20万人以上の地域では「駅から比較的近い住宅地」が最も多かった。10万人未満と20万人未満の地域では「駅からは距離がある住宅地」が最も多かった。
- ・5万人未満の地域では「山間部」、「農村地帯」が、20万人以上の地域では「市町村の中心部で、商店街があり、人通りの多い場所」が、それぞれ他の地域と比較して割合が高かった。

図表 2-17 立地場所（地域別、単数回答）

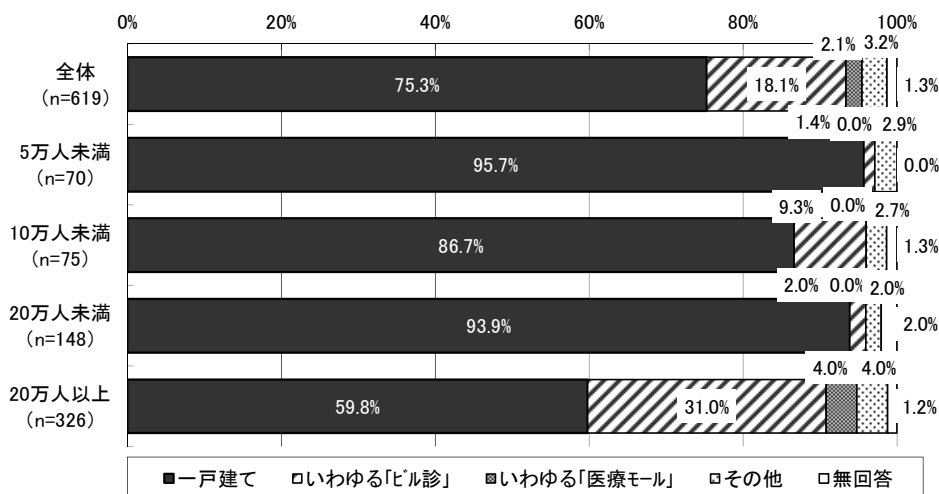


(注) 「その他」の内容として、「駅前」（同旨含め4件）、「市町村の中心部ではあるが人通りは少ない」（同旨含め3件）、「市町村の中心部のはずれで人通りは少ない」（同旨含め3件）、「いわゆるシャッター商店街」（同旨含め2件）、「国道沿い」（同旨含め2件）等が挙げられた。

②診療所の場所

- ・診療所の場所についてみると、5万人未満、20万人未満の地域では「一戸建て」が9割を超えた。20万人以上の地域では31.0%、10万人未満の地域では9.3%が「いわゆる『ビル診』」であった。

図表 2-18 場所（地域別）【診療所】

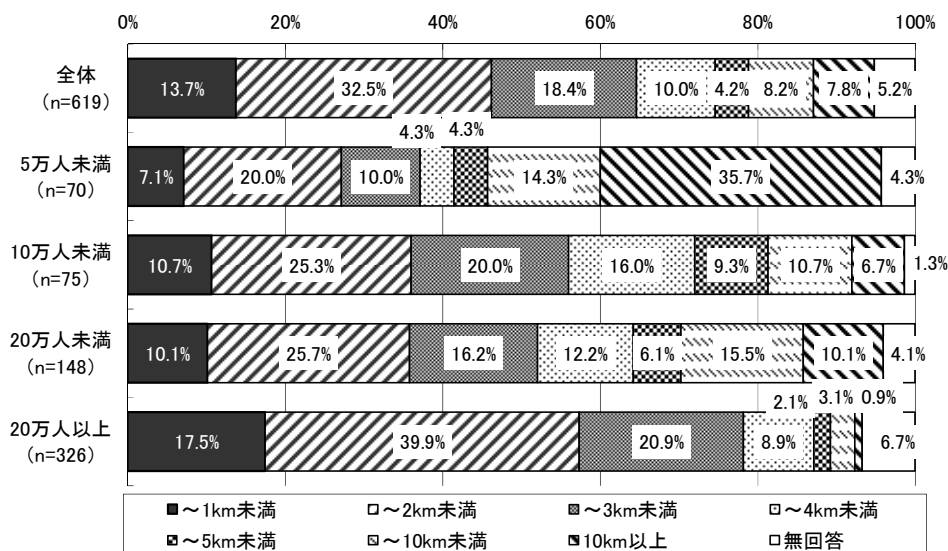


(注)「その他」の内容として、「マンション内」(同旨含め5件)、「保健センターと併設」(同旨含め2件)、「特別養護老人ホーム内」(同旨含め2件)等が挙げられた。

③最も近い一般病院までの距離

- ・診療所について最も近い一般病院までの距離をみると、5万人未満の地域では10km以上が35.7%であり、5km以上が全体の5割を占めた。一方、20万人以上の地域では2km未満がおよそ6割を占めた。
- ・最も近い一般病院までの距離の平均値をみると、5万人未満の地域は8.0km、10万人未満が3.3km、20万人未満が3.6km、20万人以上が1.8kmであった。
- ・「内科診療所」(主たる診療科が内科である診療所、以下同様)についてみると、最も近い一般病院までの距離の平均値は、5万人未満の地域が9.0km、10万人未満が3.9km、20万人未満が4.6km、20万人以上が1.6kmであった。

図表 2-19 最も近い一般病院までの距離別分布（地域別）【診療所】



図表 2-20 最も近い一般病院までの距離（地域別）【診療所】

(単位：km)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	587	3.1	4.7	2.0
5万人未満	67	8.0	7.8	5.0
10万人未満	74	3.3	4.0	2.0
20万人未満	142	3.6	4.1	2.0
20万人以上	304	1.8	3.2	1.0

(注)「最も近い一般病院までの距離」について無回答の32施設を除き、集計対象とした。

図表 2-21 最も近い一般病院までの距離（地域別）【内科診療所】

(単位：km)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	252	4.1	5.5	2.0
5万人未満	50	9.0	8.2	8.3
10万人未満	36	3.9	5.1	3.0
20万人未満	59	4.6	5.0	3.0
20万人以上	107	1.6	1.0	1.0

(注)「最も近い一般病院までの距離」について無回答の14施設を除き、集計対象とした。

(4) 施設基準の届出状況

①地域包括診療料・地域包括診療加算の届出状況

- ・「地域包括診療料」の届出施設は3施設、「地域包括診療加算」の届出施設は51施設、「届出なし」が597施設であった。

図表 2-22 地域包括診療料・地域包括診療加算の届出状況（地域別）

（単位：上段「件」、下段「%」）

	総数	地域包括診療料	地域包括診療加算	届出なし
全体	651	3	51	597
	100.0	0.5	7.8	91.7
5万人未満	76	0	9	67
	100.0	0.0	11.8	88.2
10万人未満	79	0	7	72
	100.0	0.0	8.9	91.1
20万人未満	159	0	12	147
	100.0	0.0	7.5	92.5
20万人以上	337	3	23	311
	100.0	0.9	6.8	92.3

②小児かかりつけ診療料の届出状況

- ・小児かかりつけ診療料の届出施設は16施設であった。

図表 2-23 小児かかりつけ診療料の届出状況（地域別）

（単位：上段「件」、下段「%」）

	総数	あり	なし
全体	651	16	635
	100.0	2.5	97.5
5万人未満	76	1	75
	100.0	1.3	98.7
10万人未満	79	2	77
	100.0	2.5	97.5
20万人未満	159	4	155
	100.0	2.5	97.5
20万人以上	337	9	328
	100.0	2.7	97.3

③時間外対応加算の届出状況

- ・時間外対応加算の届出施設の割合についてみると、5万人未満の地域では42.8%、10万人未満では26.6%、20万人未満では43.8%、20万人以上では31.2%であった。「時間外対応加算1」の届出施設の割合は20万人未満の地域で23.6%と最も高かった。

図表 2-24 時間外対応加算の届出状況（地域別）【診療所】

(単位：上段「件」、下段「%」)

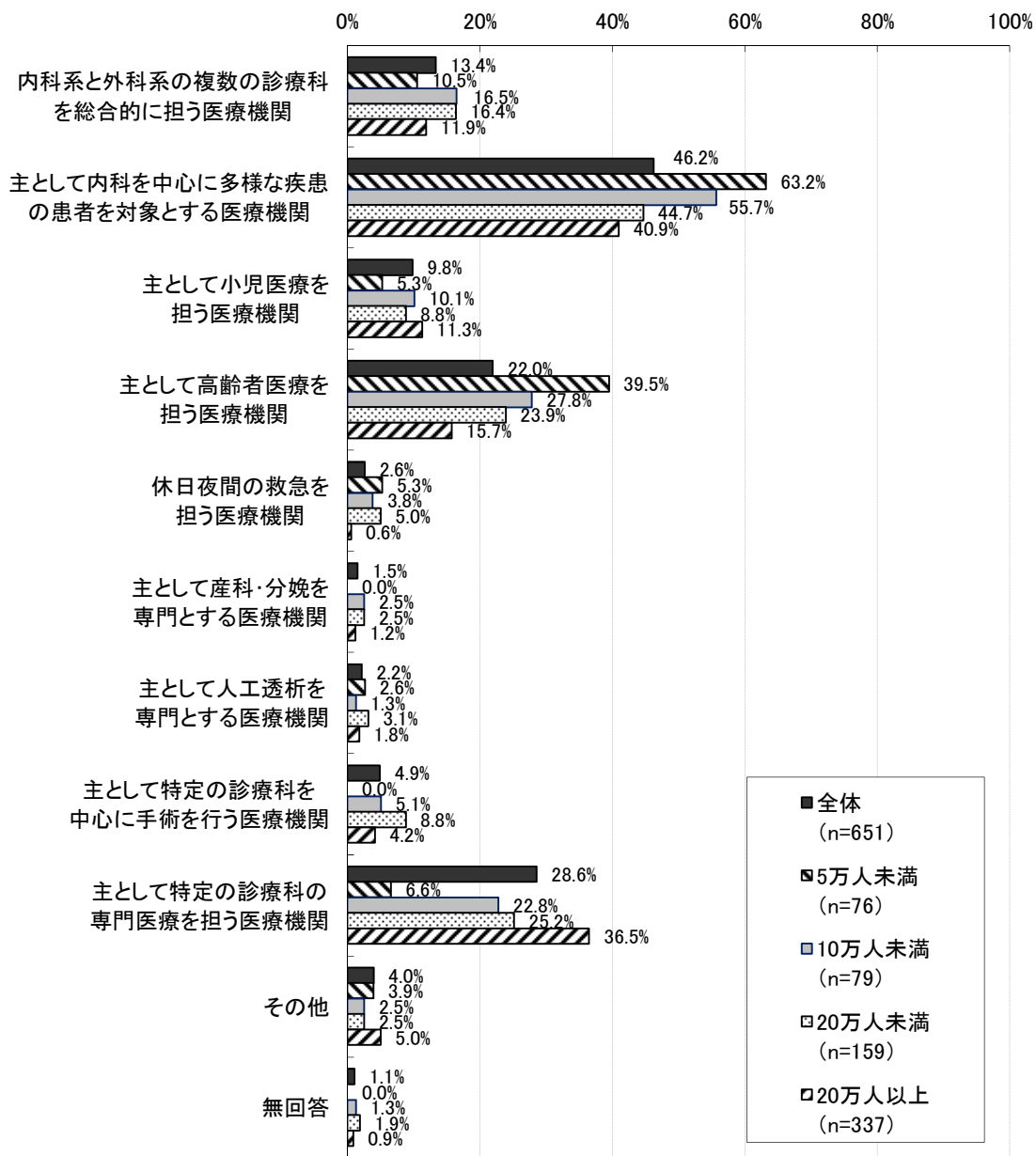
	総数	時間外対応加算1	時間外対応加算2	時間外対応加算3	届出なし	無回答
全体	619	123	86	8	334	68
	100.0	19.9	13.9	1.3	54.0	11.0
5万人未満	70	11	18	1	37	3
	100.0	15.7	25.7	1.4	52.9	4.3
10万人未満	75	12	7	1	46	9
	100.0	16.0	9.3	1.3	61.3	12.0
20万人未満	148	35	27	3	69	14
	100.0	23.6	18.2	2.0	46.6	9.5
20万人以上	326	65	34	3	182	42
	100.0	19.9	10.4	0.9	55.8	12.9

(5) 施設の役割等

①施設が担っている主な役割

- ・各施設が担っている主な役割についてみると、全ての地域で「主として内科を中心に多様な疾患の患者を対象とする医療機関」が最も多かった。
- ・2番目に多かったのは、5万人未満と10万人未満の地域では「主として高齢者医療を担う医療機関」であり、20万人未満と20万人以上の地域では「主として特定の診療科の専門医療を担う医療機関」であった。
- ・「主として内科を中心に多様な疾患の患者を対象とする医療機関」、「主として高齢者医療を担う医療機関」については、人口規模が小さい地域ほど割合が高く、「主として特定の診療科の専門医療を担う医療機関」については、人口規模が大きい地域ほど割合が高かった。

図表 2-25 担っている主な役割（地域別、最大3つまでの複数回答）



(注) 「その他」の内容として、「主として訪問診療」（同旨含め4件）、「企業健診」、「研究（治験）」等が挙げられた。

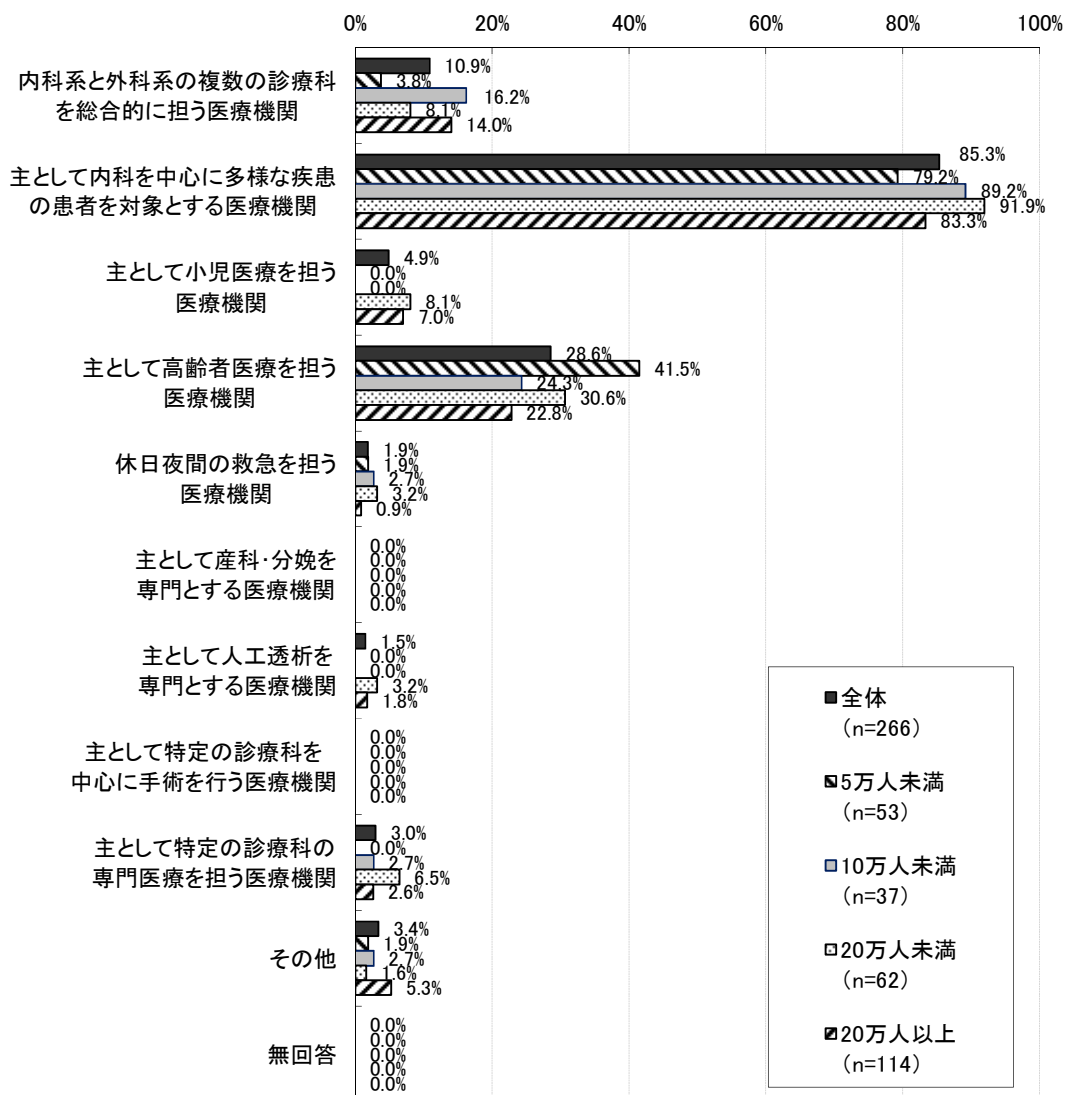
図表 2- 26 担っている主な役割（主たる診療科別、最大3つまでの複数回答）

（単位：上段「件」、下段「%」）

	総数	内科系と外科系の複数の診療科を総合的に担う医療機関	主として内科を中心に多様な疾患の患者を対象とする医療機関	主として小児医療を担う医療機関	主として高齢者医療を担う医療機関	休日夜間の救急を担う医療機関	主として産科・分娩を専門とする医療機関
全体	651	87	301	64	143	17	10
	100.0	13.4	46.2	9.8	22.0	2.6	1.5
内科系	305	32	258	16	91	6	0
	100.0	10.5	84.6	5.2	29.8	2.0	0.0
外科系	38	20	6	1	6	1	0
	100.0	52.6	15.8	2.6	15.8	2.6	0.0
整形外科	50	18	0	1	13	0	0
	100.0	36.0	0.0	2.0	26.0	0.0	0.0
小児科・小児外科	40	0	7	40	3	1	0
	100.0	0.0	17.5	100.0	7.5	2.5	0.0
産婦人科・産科・婦人科	29	0	2	1	0	0	10
	100.0	0.0	6.9	3.4	0.0	0.0	34.5
皮膚科	31	0	1	0	0	0	0
	100.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0
眼科	38	0	0	0	3	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	7.9	0.0	0.0
耳鼻いんこう科	34	0	2	4	0	0	0
	100.0	0.0	5.9	11.8	0.0	0.0	0.0
精神科・心療内科	31	0	3	0	3	0	0
	100.0	0.0	9.7	0.0	9.7	0.0	0.0
その他	23	6	8	1	6	0	0
	100.0	26.1	34.8	4.3	26.1	0.0	0.0

	総数	主として人工透析を専門とする医療機関	主として特定の診療科を中心に手術を行う医療機関	主として特定の診療科の専門医療を担う医療機関	その他	無回答
全体	651	14	32	186	26	7
	100.0	2.2	4.9	28.6	4.0	1.1
内科系	305	7	0	16	10	0
	100.0	2.3	0.0	5.2	3.3	0.0
外科系	38	4	8	14	1	0
	100.0	10.5	21.1	36.8	2.6	0.0
整形外科	50	0	3	26	3	3
	100.0	0.0	6.0	52.0	6.0	6.0
小児科・小児外科	40	0	0	1	1	0
	100.0	0.0	0.0	2.5	2.5	0.0
産婦人科・産科・婦人科	29	0	1	17	2	0
	100.0	0.0	3.4	58.6	6.9	0.0
皮膚科	31	0	2	26	1	2
	100.0	0.0	6.5	83.9	3.2	6.5
眼科	38	0	13	24	1	1
	100.0	0.0	34.2	63.2	2.6	2.6
耳鼻いんこう科	34	0	3	28	0	0
	100.0	0.0	8.8	82.4	0.0	0.0
精神科・心療内科	31	0	0	25	3	1
	100.0	0.0	0.0	80.6	9.7	3.2
その他	23	0	0	6	2	0
	100.0	0.0	0.0	26.1	8.7	0.0

図表 2-27 担っている主な役割（地域別、最大3つまでの複数回答）【内科診療所】



②救急医療体制

1) 病院における救急医療体制

- ・病院における救急医療体制は次のとおりである。

図表 2- 28 救急医療体制（地域別、複数回答）【病院】

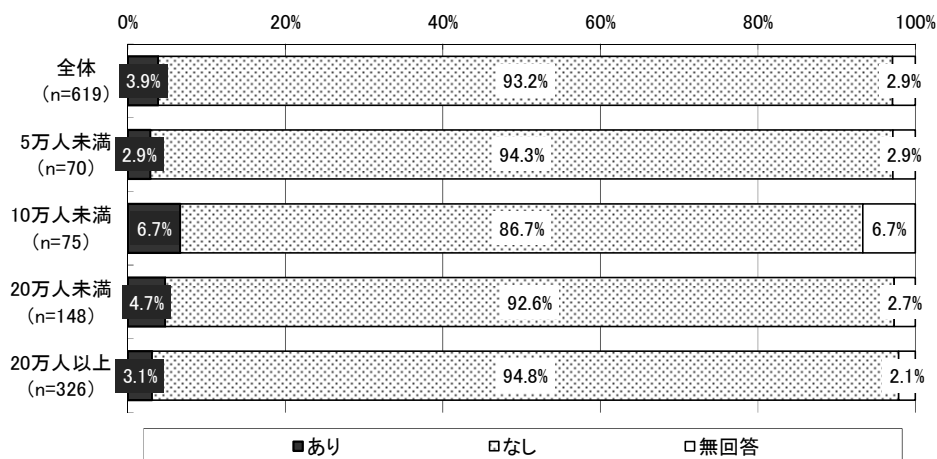
（単位：上段「件」、下段「%」）

	総数	初期	二次	体制なし
全体	32	7	14	16
	100.0	21.9	43.8	50.0
5万人未満	6	2	4	1
	100.0	33.3	66.7	16.7
10万人未満	4	2	4	0
	100.0	50.0	100.0	0.0
20万人未満	11	2	4	7
	100.0	18.2	36.4	63.6
20万人以上	11	1	2	8
	100.0	9.1	18.2	72.7

2) 診療所における救急告示の有無

- ・診療所における救急告示の有無についてみると、「あり」の割合は、5 万人未満の地域では 2.9%、10 万人未満では 6.7%、20 万人未満では 4.7%、20 万人以上では 3.1%であった。

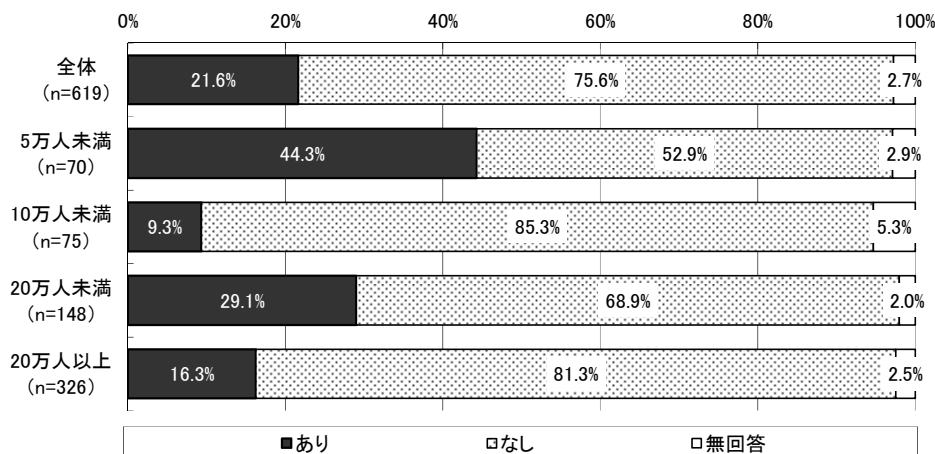
図表 2- 29 救急告示の有無（地域別）【診療所】



3) 診療所における在宅当番医制の有無

- ・診療所における在宅当番医制の有無についてみると、「あり」の割合は、5 万人未満の地域では 44.3%、10 万人未満では 9.3%、20 万人未満では 29.1%、20 万人以上では 16.3%であった。

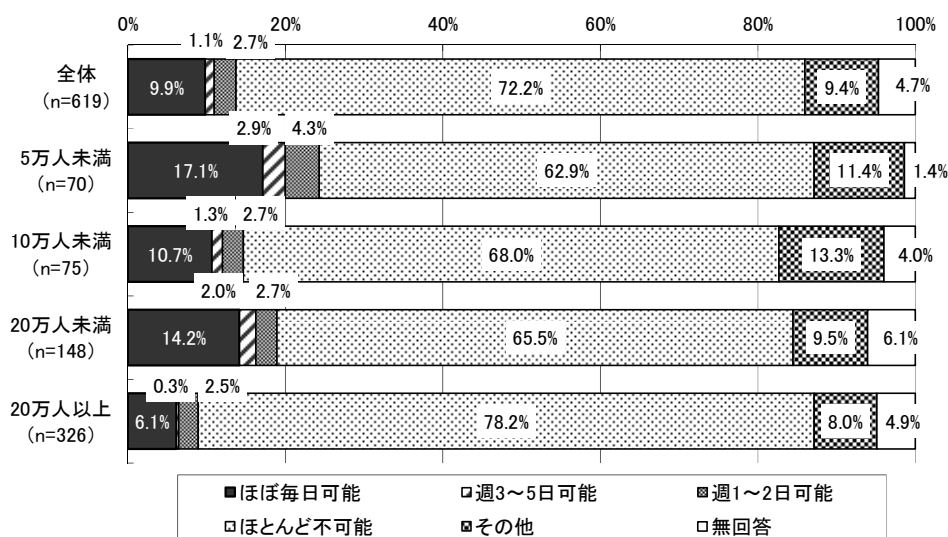
図表 2-30 在宅当番医制の有無（地域別）【診療所】



4) 診療所における夜間の救急対応

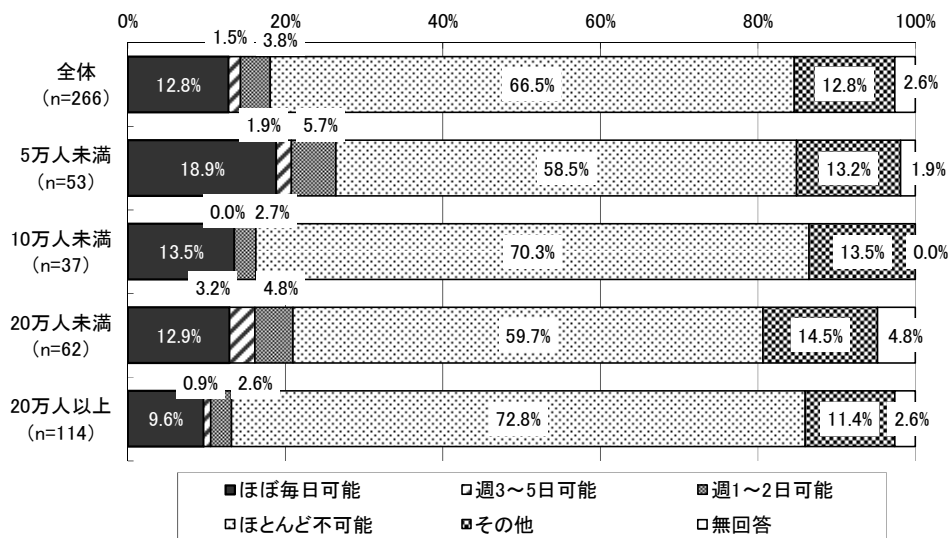
- ・診療所における夜間（深夜も含む）の救急対応についてみると、「ほぼ毎日可能」の割合は5万人未満の地域では17.1%、10万人未満では10.7%、20万人未満では14.2%、20万人以上では6.1%であった。
- ・20万人以上の地域では「ほとんど不可能」の割合は78.2%で他の地域と比較して割合が高かった。
- ・内科診療所に限定してみると、「ほぼ毎日可能」の割合は、5万人未満の地域では18.9%、10万人未満では13.5%、20万人未満では12.9%、20万人以上では9.6%であった。

図表 2-31 夜間の救急対応（地域別）【診療所】



(注) 「その他」の内容として、「当院に通院中の方のみ対応」（同旨含め18件）、「不可能」（同旨含め12件）、「在宅訪問患者のみ対応」（同旨含め6件）、「電話のみで対応」（同旨含め6件）、「夜間当番に参加」（同旨含め3件）、「緊急時のみ対応可」（同旨含め2件）等が挙げられた。

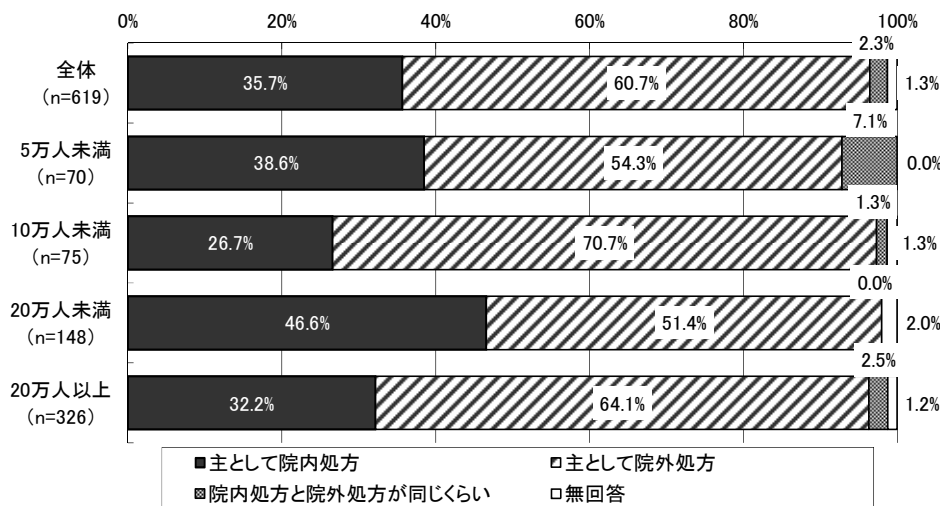
図表 2- 32 夜間の救急対応（地域別）【内科診療所】



③薬の処方（外来）

・診療所における外来時の薬の処方についてみると、「主として院外処方」の割合は、5万人未満の地域では54.3%、10万人未満では70.7%、20万人未満では51.4%、20万人以上では64.1%であった。

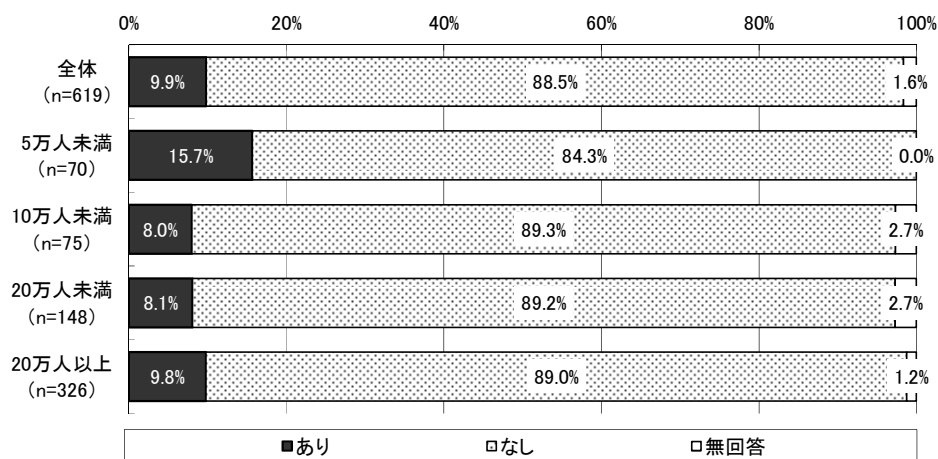
図表 2- 33 薬の処方（外来）（地域別）【診療所】



④連携している 24 時間対応の薬局の有無

- ・連携している 24 時間対応の薬局の有無についてみると、「あり」の割合は、5 万人未満の地域では 15.7%、10 万人未満では 8.0%、20 万人未満では 8.1%、20 万人以上では 9.8%であった。

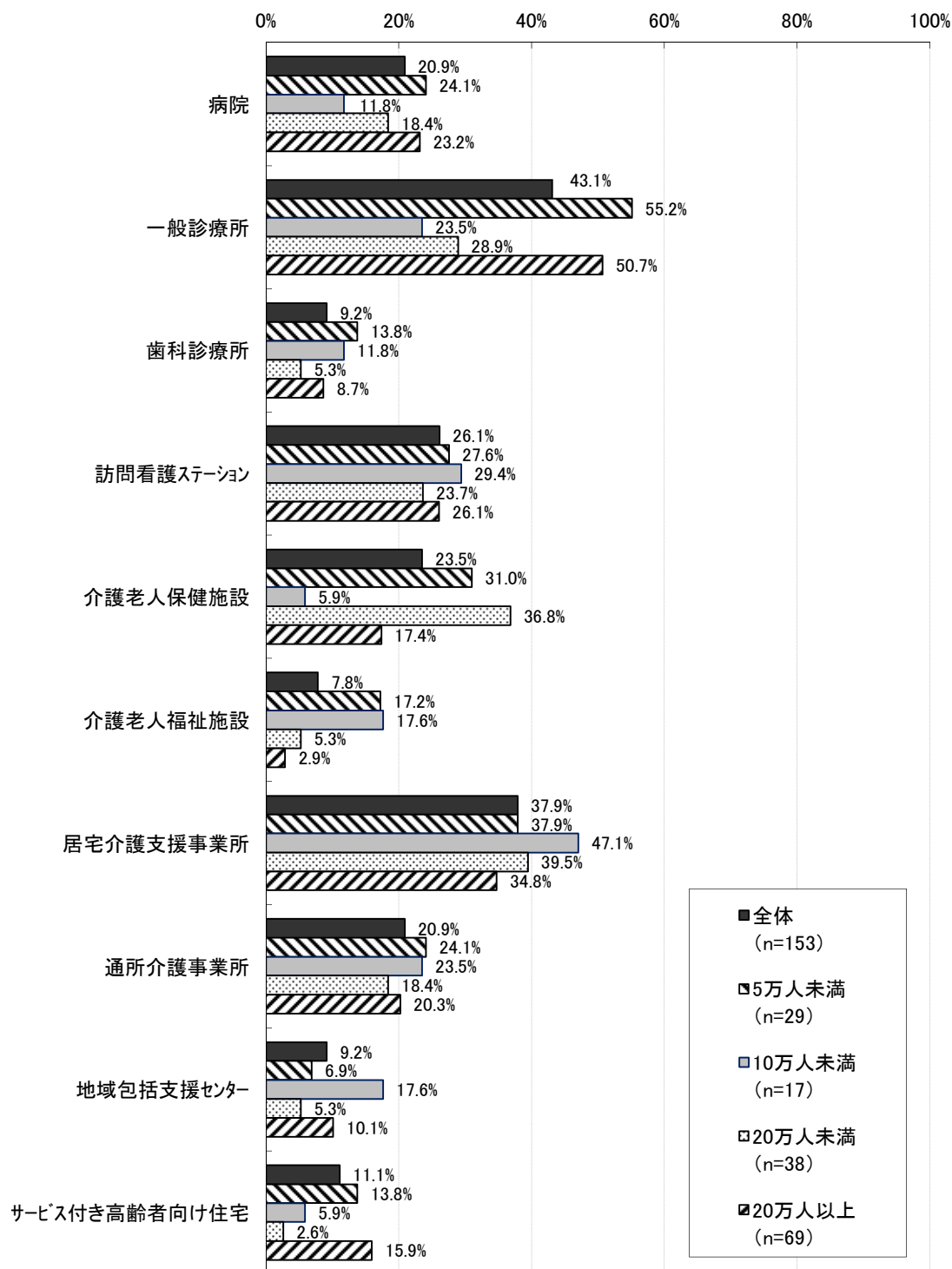
図表 2-34 連携している 24 時間対応の薬局の有無（地域別）【診療所】



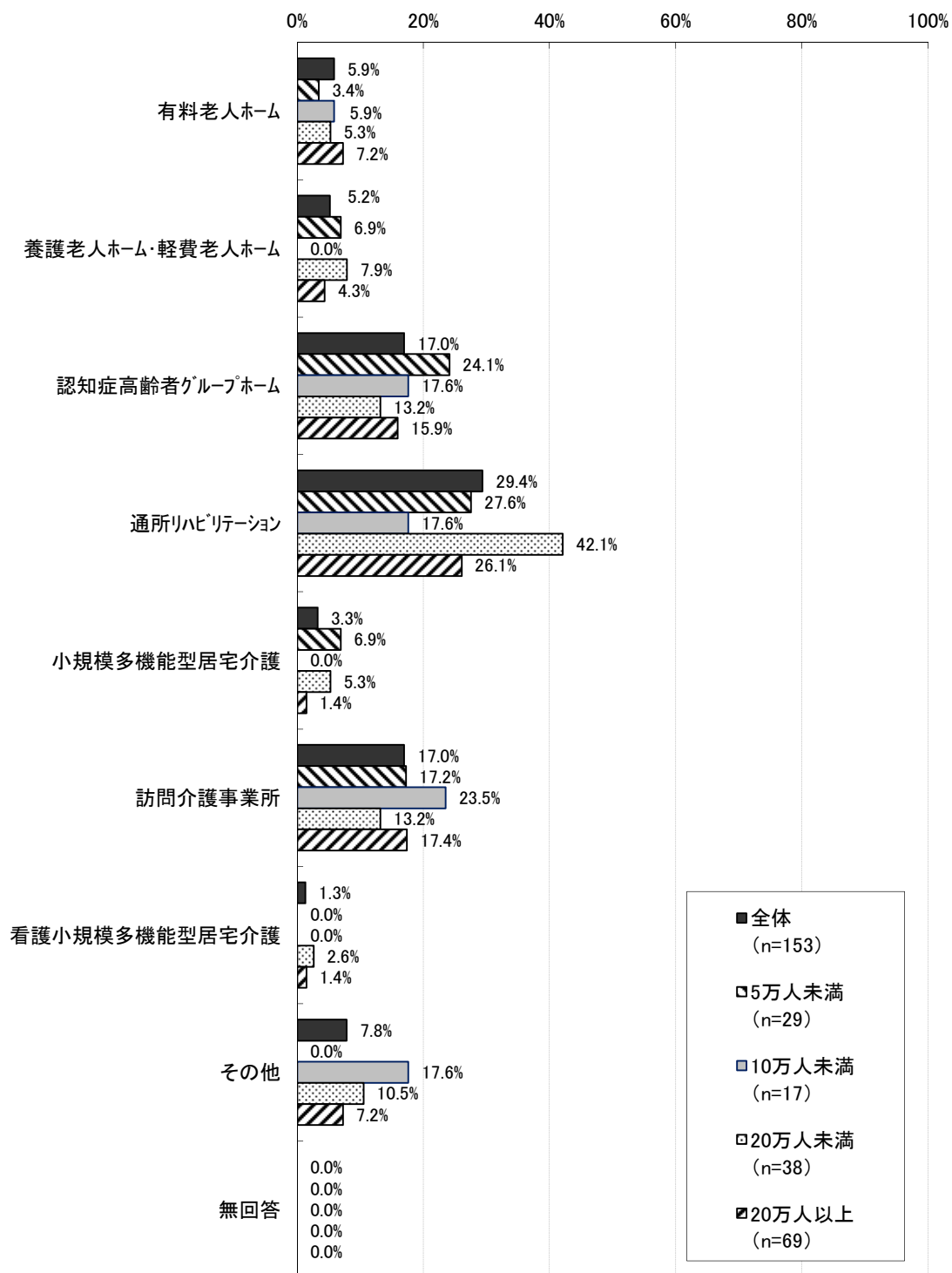
⑤同一法人・関連法人が運営している施設・事業所等

・同一法人・関連法人が運営している施設・事業所等は次のとおりである。

図表 2-35 同一法人・関連法人が運営している施設・事業所等①（地域別、複数回答）



図表 2-36 同一法人・関連法人が運営している施設・事業所等②（地域別、複数回答）



(注) ・「その他」の内容として、「ショートステイ」（同旨含め 2 件）、「訪問入浴」、「中核地域生活支援センター」等が挙げられた。
 ・「同一法人・関連法人が運営している施設・事業所等」として回答のあった 153 施設を集計対象とした。

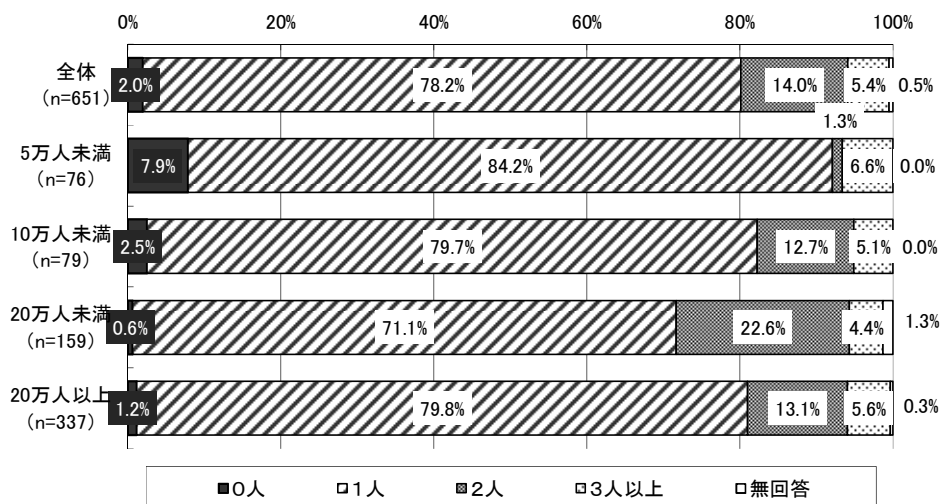
2. 外来診療の取組状況

(1) 外来診療の体制等

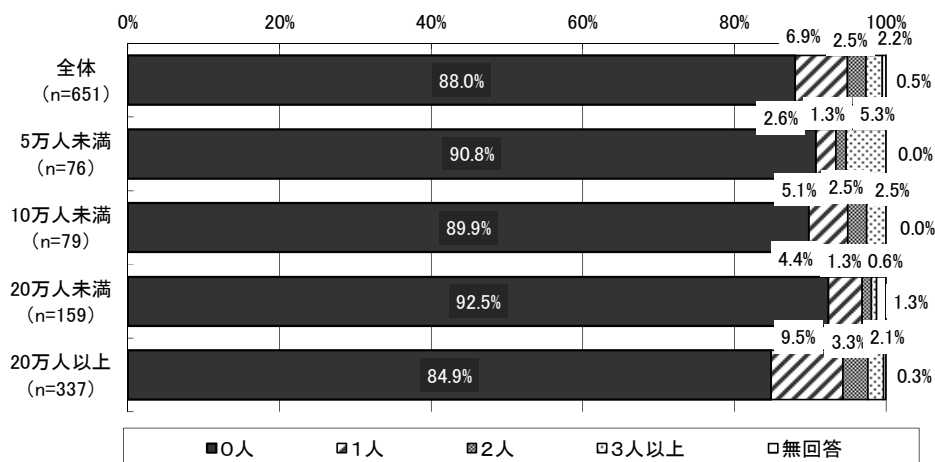
① 外来を担当する医師数

- ・ 外来を担当する常勤医師数についてみると、すべての地域で「1人」が最も多かった。
- ・ 5万人未満の地域では「0人」が7.9%であった。
- ・ 10万人未満の地域では2人以上が17.8%、20万人未満では27.0%、20万人以上では18.7%であった。

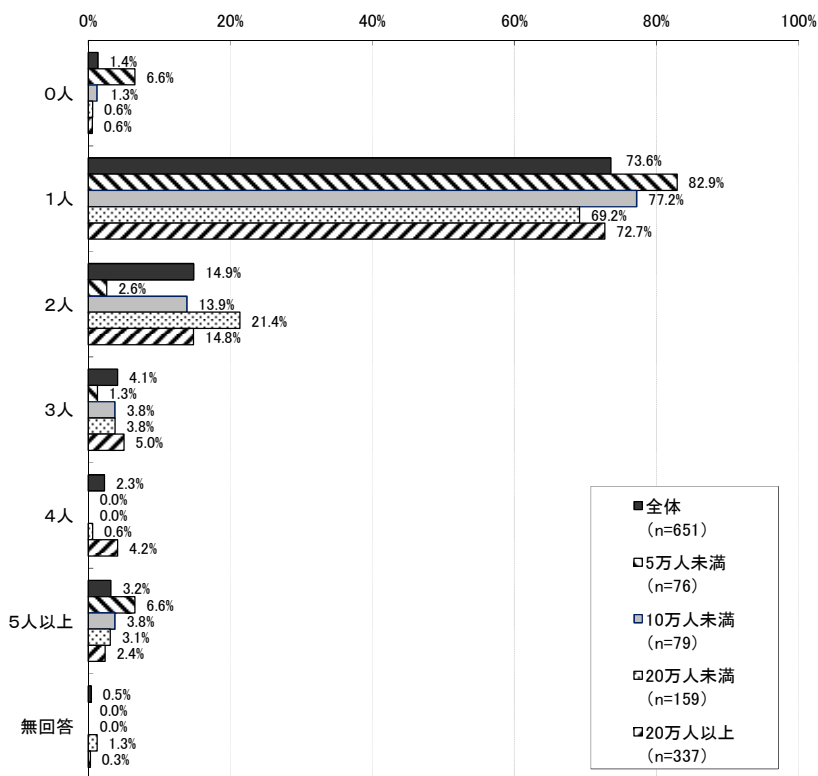
図表 2- 37 外来を担当する常勤医師数（地域別）



図表 2- 38 外来を担当する非常勤医師数（地域別）



図表 2- 39 外来を担当する医師数（常勤＋非常勤）（地域別、単数回答）



図表 2- 40 外来を担当する医師数【診療所】

(単位：人)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
常勤	616	1.2	0.5	1.0
非常勤	616	0.2	0.5	0.0

(注)「外来を担当する医師数」について無回答の3施設を除き、集計対象とした。

図表 2- 41 外来を担当する医師数【病院】

(単位：人)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
常勤	32	6.4	6.9	4.0
非常勤	32	1.9	1.8	1.1

図表 2- 42 外来を担当する医師数（地域別）【診療所】

(単位：人)

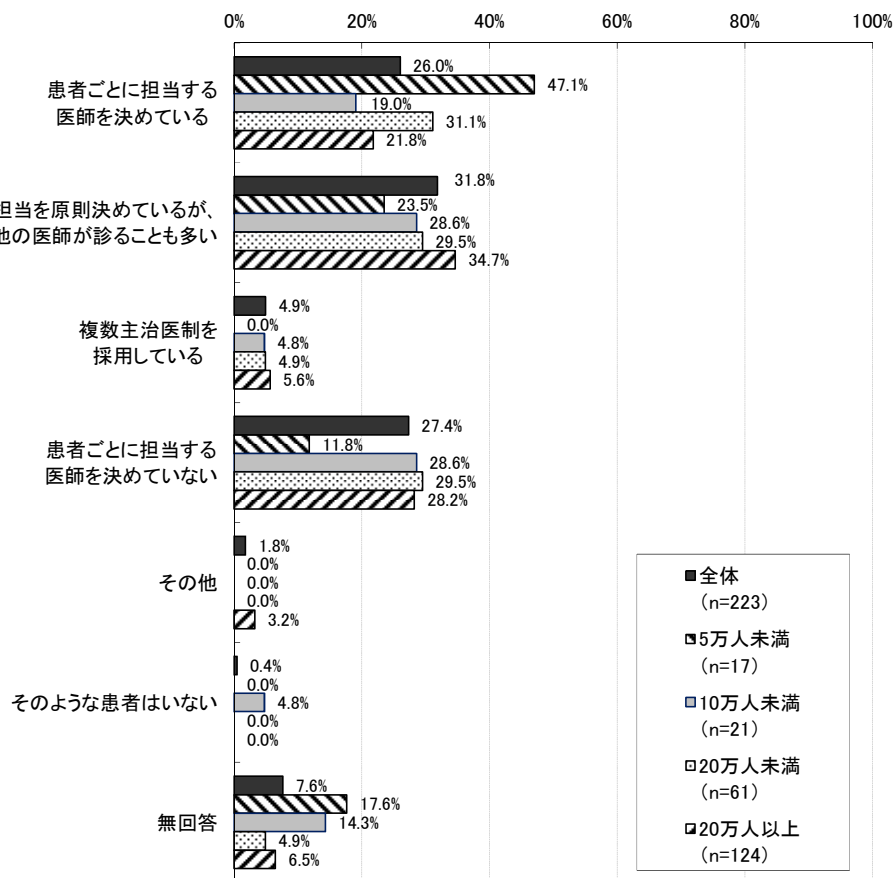
	施設数(件)	常勤			非常勤		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
全体	616	1.2	0.5	1.0	0.2	0.5	0.0
5万人未満	70	0.9	0.3	1.0	0.1	0.2	0.0
10万人未満	75	1.1	0.4	1.0	0.1	0.3	0.0
20万人未満	146	1.2	0.4	1.0	0.1	0.3	0.0
20万人以上	325	1.2	0.5	1.0	0.3	0.7	0.0

(注)「外来を担当する医師数」について無回答の3施設を除き、集計対象とした。

②継続的に診療している患者に対する診療体制

- ・ 外来診療を担当する医師が複数いる施設における、継続的に診療している患者に対する診療体制についてみると、5 万人未満の地域では、「患者ごとに担当する医師を決めている」が 47.1%で最も多く、他の地域と比較しても高かった。一方、「患者ごとに担当する医師を決めていない」が 11.8%で他の地域と比較して低かった。
- ・ 20 万人以上の地域では、「担当を原則決めているが、他の医師が診ることも多い」が 34.7%で最も多く、次いで「患者ごとに担当する医師を決めていない」が 28.2%、「患者ごとに担当する医師を決めている」が 21.8%という順であった。
- ・ 5 万人未満以外の地域では「患者ごとに担当する医師を決めていない」がおよそ 3 割を占めた。

図表 2- 43 継続的に診療している患者に対する診療体制（地域別、単数回答）
（外来診療を担当する医師が複数いる施設）

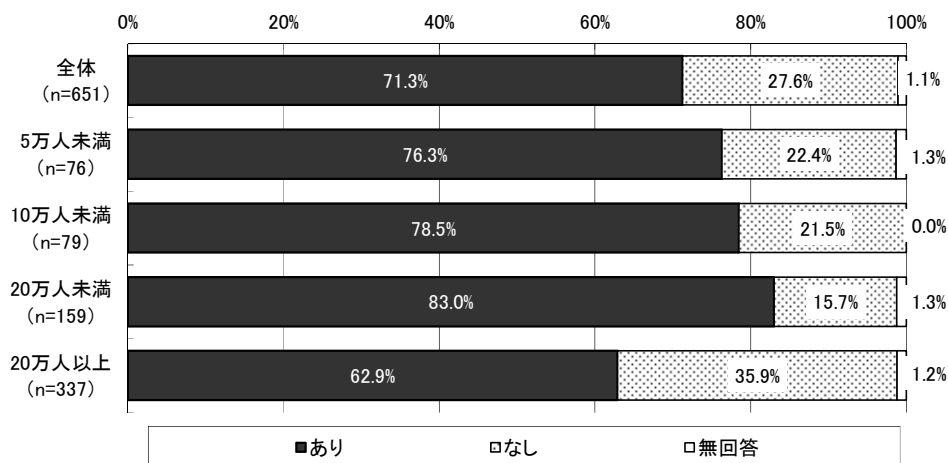


③検査診断機器の有無

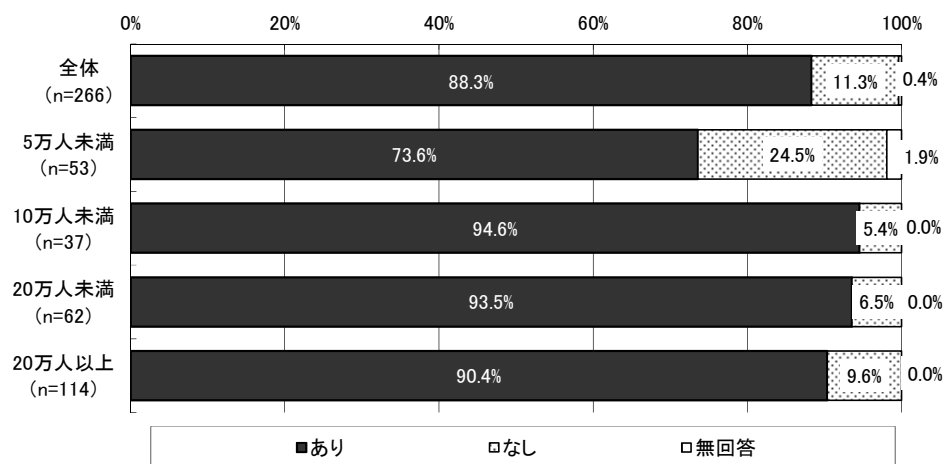
1) X線レントゲン装置

- ・ X線レントゲン装置の有無についてみると、「あり」の割合は、5万人未満の地域では76.3%、10万人未満では78.5%、20万人未満では83.0%、20万人以上では62.9%であった。

図表 2-44 X線レントゲン装置の有無（地域別）



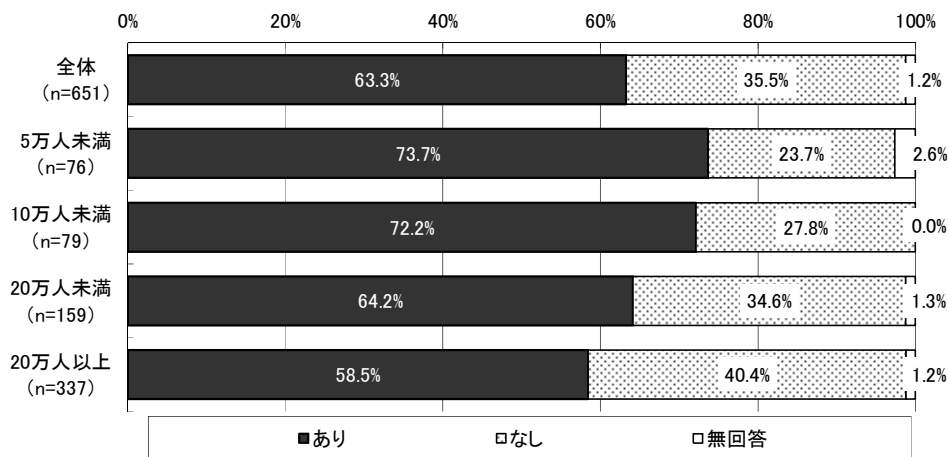
図表 2-45 X線レントゲン装置の有無（地域別）【内科診療所】



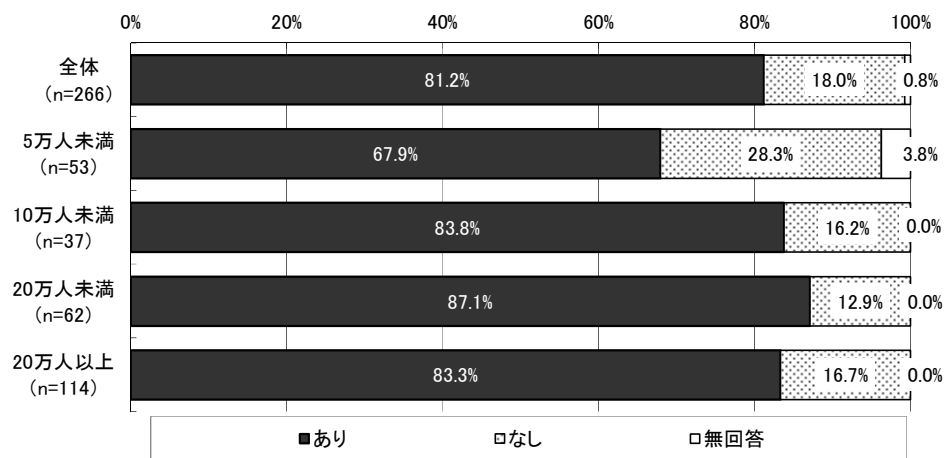
2) 超音波診断装置（エコー）

- ・超音波診断装置（エコー）の有無についてみると、「あり」の割合は、5万人未満の地域では73.7%、10万人未満では72.2%、20万人未満では64.2%、20万人以上では58.5%であった。人口規模が小さい地域ほど「あり」の割合が高かった。

図表 2-46 超音波診断装置（エコー）の有無（地域別）



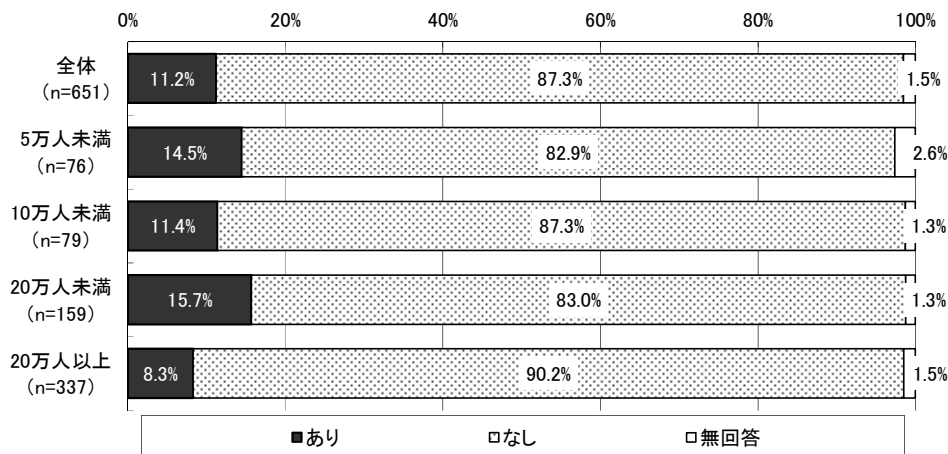
図表 2-47 超音波診断装置（エコー）の有無（地域別）【内科診療所】



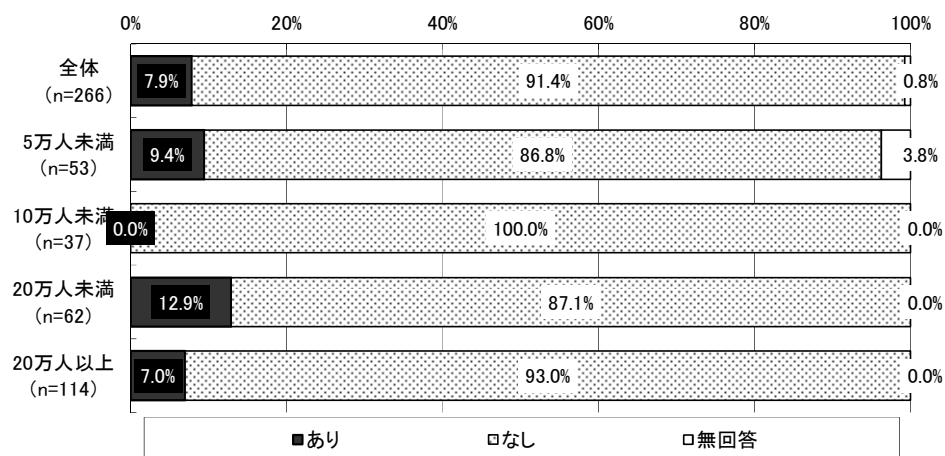
3) CT装置

- ・CT装置の有無についてみると、「あり」の割合は、5万人未満の地域では14.5%、10万人未満では11.4%、20万人未満では15.7%、20万人以上では8.3%であった。

図表 2-48 CT装置の有無（地域別）



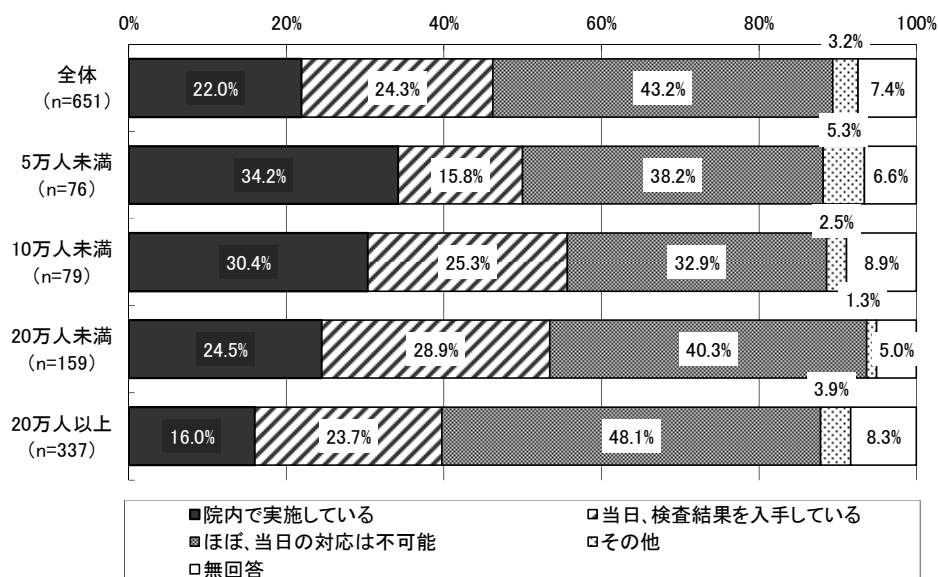
図表 2-49 CT装置の有無（地域別）【内科診療所】



④緊急時のCRP値等の検査体制

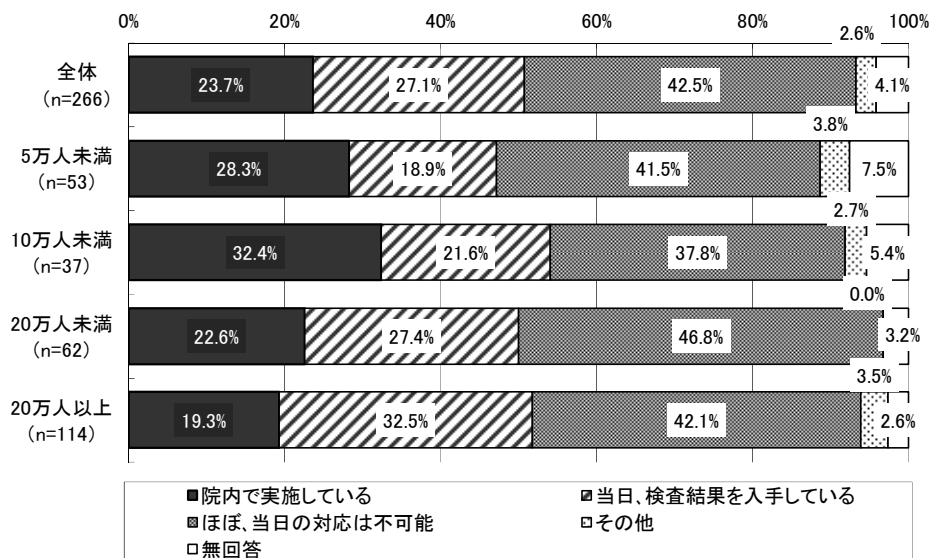
- ・例えば、感染症などの疑いを診断するため、緊急時のCRP値等の検査をどのようにしているかを尋ねたところ、「院内で実施している」という回答の割合は、5万人未満の地域では34.2%、10万人未満では30.4%、20万人未満では24.5%、20万人以上では16.0%であった。
- ・「(外部検査会社に委託しているが、) 当日、検査結果を入手している」の割合は、5万人未満の地域では15.8%、10万人未満では25.3%、20万人未満では28.9%、20万人以上では23.7%であった。
- ・「ほぼ、当日の対応は不可能」の割合は、5万人未満の地域では38.2%、10万人未満では32.9%、20万人未満では40.3%、20万人以上では48.1%であり、特に20万人以上の地域でこの割合は高かった。

図表 2- 50 緊急時のCRP値等の検査体制（地域別）



(注) 「その他」の内容としては、「対応していない」(同旨含め6件)、「至急の場合は当日、他は翌日入手」(同旨含め3件)、「分院にて実施」、「他院に紹介」、「CRP、インフルエンザ等は院内、他は外部委託」等が挙げられた。

図表 2- 51 緊急時のCRP値等の検査体制（地域別）【内科診療所】

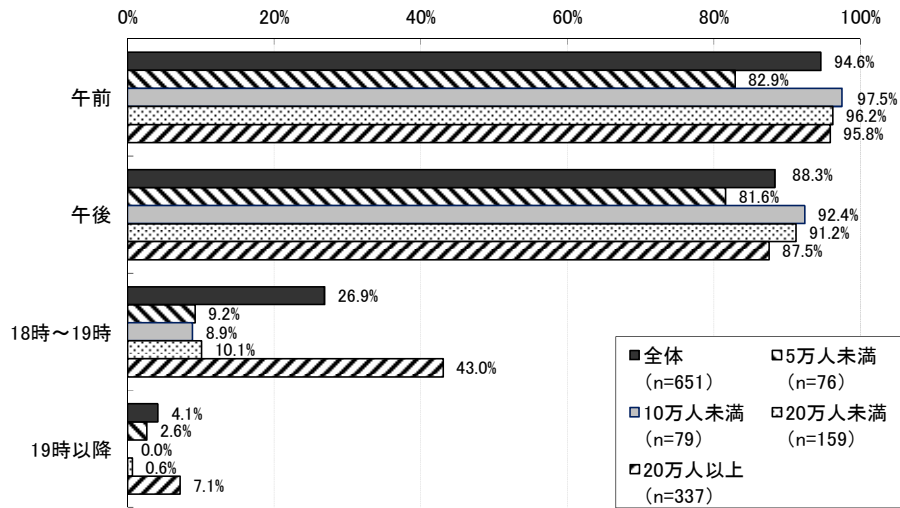


(2) 外来診療の取組状況等

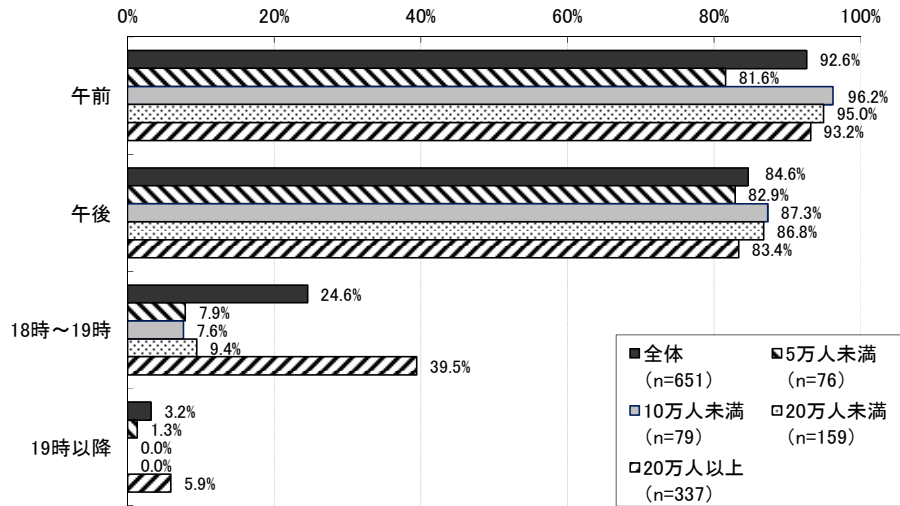
①表示している外来診療時間

・通常診療している時間帯として表示している時間は次のとおりである。

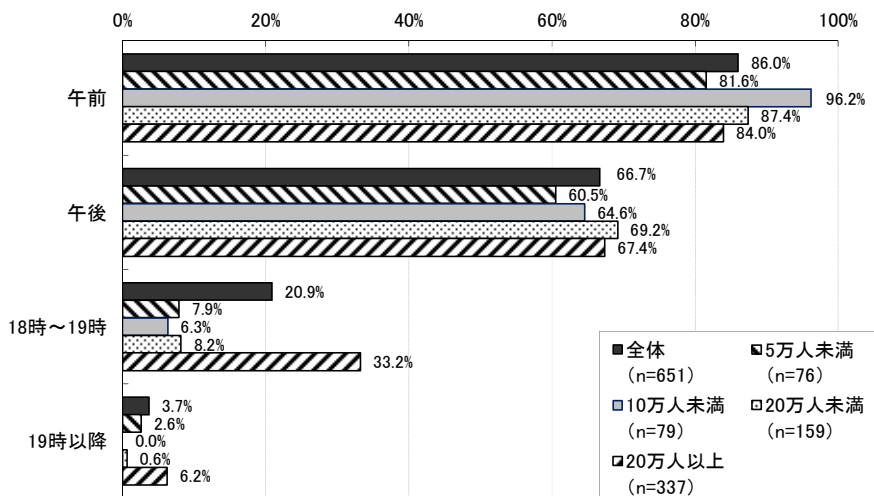
図表 2- 52 表示している外来診療時間 ①月曜日（地域別）



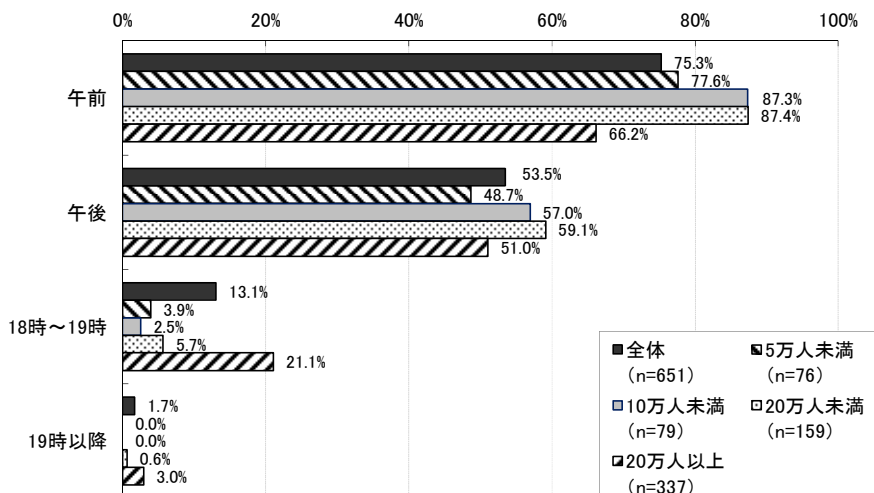
図表 2- 53 表示している外来診療時間 ②火曜日（地域別）



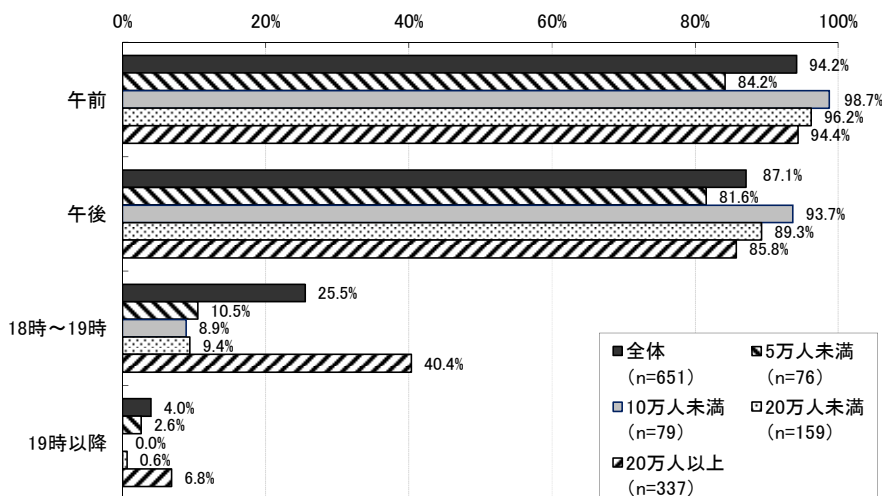
図表 2- 54 表示している外来診療時間 ③水曜日（地域別）



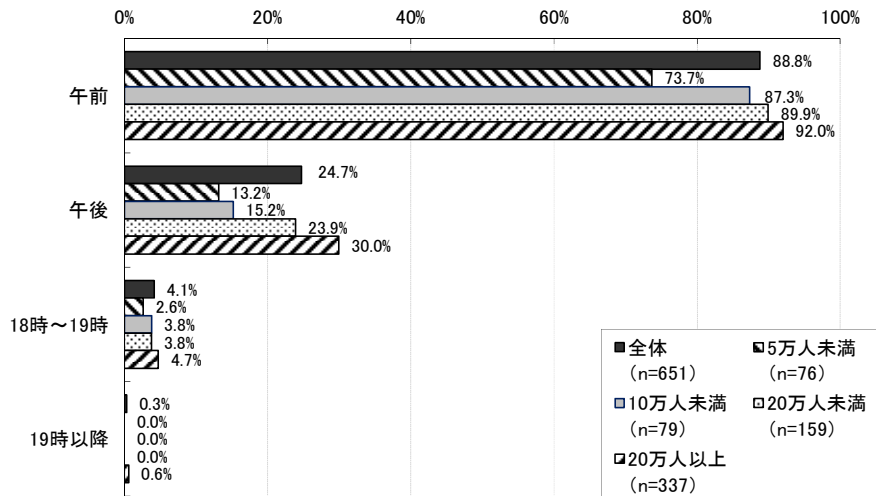
図表 2- 55 表示している外来診療時間 ④木曜日（地域別）



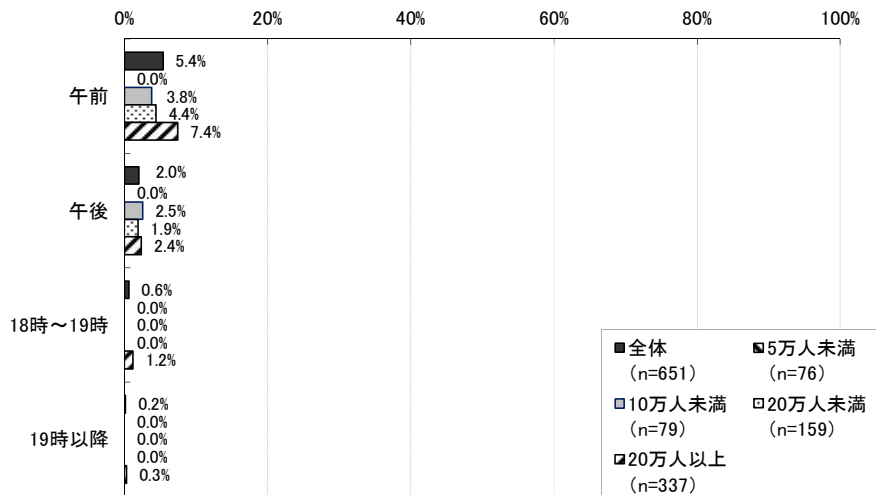
図表 2- 56 表示している外来診療時間 ⑤金曜日（地域別）



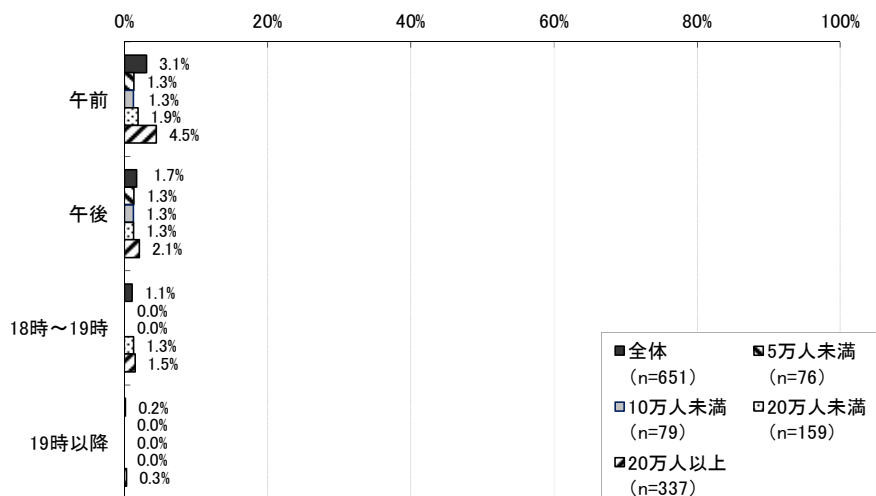
図表 2- 57 表示している外来診療時間 ⑥土曜日（地域別）



図表 2- 58 表示している外来診療時間 ⑦日曜日（地域別）



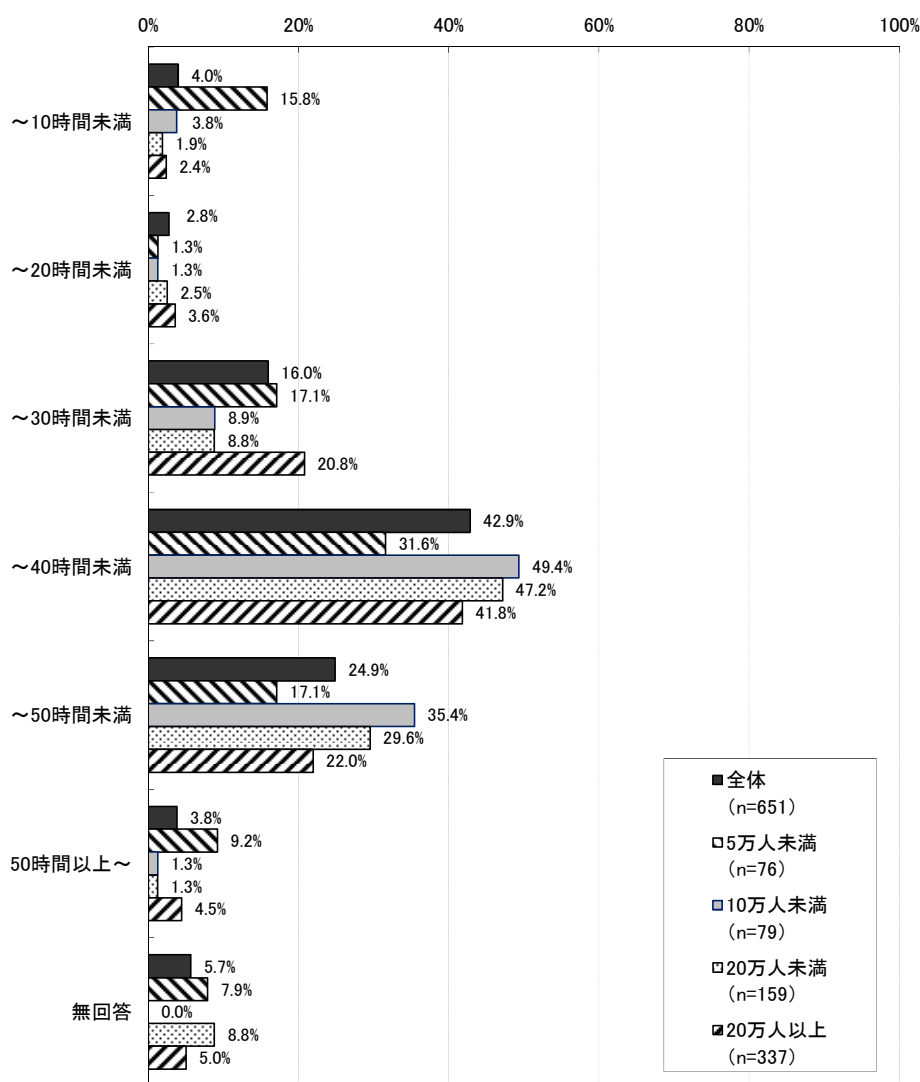
図表 2- 59 表示している外来診療時間 ⑧祝日（地域別）



② 1週間の外来診療時間

- ・平成29年3月12日～3月18日の1週間の外来診療時間別施設分布をみると、「～40時間未満」「～50時間未満」の割合が高かった。
- ・一方で、5万人未満の地域では「～10時間未満」という施設の割合が他の地域と比較して高かった。
- ・1週間の外来診療時間の平均値は、5万人未満の地域では32.9時間、10万人未満では35.1時間、20万人未満では35.8時間、20万人以上では34.5時間であった。
- ・内科診療所について1週間の外来診療時間をみると、5万人未満の地域では27.7時間、10万人未満では32.9時間、20万人未満では33.4時間、20万人以上では32.8時間であり、5万人未満の地域は他の地域と比較して短かった。

図表 2-60 1週間の外来診療時間別施設分布（地域別）



(注) 平成29年3月12日～3月18日の1週間の外来診療時間。

図表 2- 61 1 週間の外来診療時間（地域別）

（単位：時間）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	614	34.7	12.9	35.0
5 万人未満	70	32.9	19.6	35.0
10 万人未満	79	35.1	8.4	38.0
20 万人未満	145	35.8	10.1	37.0
20 万人以上	320	34.5	13.1	34.0

（注）「平成 29 年 3 月 12 日～3 月 18 日の 1 週間の外来診療時間」について無回答の 37 施設を除き集計対象とした。

図表 2- 62 1 週間の外来診療時間（主たる診療科別）

（単位：時間）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	614	34.7	12.9	35.0
内科系	288	32.8	12.3	34.0
外科系	37	38.0	11.9	38.0
整形外科	47	37.8	10.1	38.0
小児科・小児外科	39	36.3	7.0	35.5
産婦人科・産科・婦人科	27	30.9	9.3	33.0
皮膚科	31	32.3	8.9	32.0
眼科	38	33.3	10.5	33.0
耳鼻いんこう科	31	34.4	7.5	33.5
精神科・心療内科	30	33.9	7.2	35.5
その他	19	35.5	11.0	38.5

（注）「平成 29 年 3 月 12 日～3 月 18 日の 1 週間の外来診療時間」について無回答の 37 施設を除き集計対象とした。

図表 2- 63 1 週間の外来診療時間（地域別）【内科診療所】

（単位：時間）

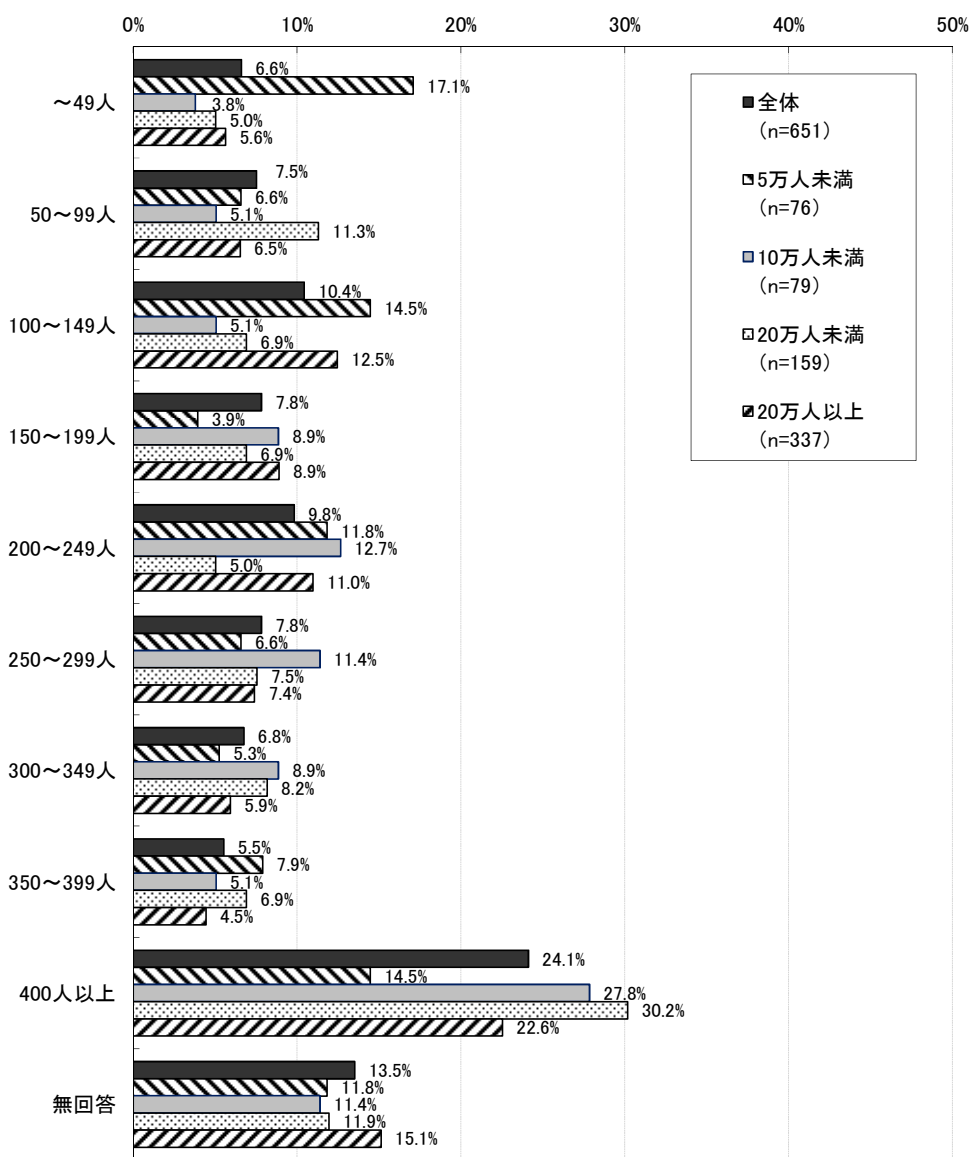
	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	250	31.9	12.1	33.0
5 万人未満	50	27.7	15.0	30.5
10 万人未満	37	32.9	10.4	35.0
20 万人未満	56	33.4	9.2	35.0
20 万人以上	107	32.8	12.2	32.0

（注）「平成 29 年 3 月 12 日～3 月 18 日の 1 週間の外来診療時間」について無回答の 16 施設を除き集計対象とした。

③ 1週間の外来患者数

- ・平成29年3月12日～3月18日の1週間の外来患者数についてみると、5万人未満の地域では「～49人」の割合が17.1%を占め、他の地域と比較して高かった。
- ・主たる診療科別にみると、「整形外科」の患者数が平均値・中央値ともに他の診療科と比較して多かった。一方、「産婦人科・産科・婦人科」の患者数が平均値でみると、他の診療科と比較して少なかった。
- ・内科診療所についてみると、5万人未満の地域では平均168.4人、10万人未満では248.7人、20万人未満では247.6人、20万人以上では247.5人であり、5万人未満の地域で外来患者数が少なかった。

図表 2- 64 1週間の外来患者数別施設分布（地域別）



(注) 平成29年3月12日～3月18日の1週間の外来患者数。

図表 2- 65 1 週間の外来患者数（地域別）

（単位：人）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	563	326.5	327.9	250.0
5 万人未満	67	279.3	393.2	200.0
10 万人未満	70	354.0	299.7	285.0
20 万人未満	140	369.8	404.2	300.0
20 万人以上	286	309.7	270.0	239.5

（注）「平成 29 年 3 月 12 日～3 月 18 日の 1 週間の外来患者数」について無回答の 63 施設を除き集計対象とした。

図表 2- 66 1 週間の外来患者数（主たる診療科別）

（単位：人）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	563	326.5	327.9	250.0
内科系	260	236.5	179.4	200.0
外科系	37	280.8	215.5	227.0
整形外科	42	578.9	329.1	554.5
小児科・小児外科	35	364.9	145.5	301.0
産婦人科・産科・婦人科	21	204.7	120.6	200.0
皮膚科	29	386.2	242.7	339.0
眼科	35	299.4	239.2	243.0
耳鼻いんこう科	30	490.7	245.4	495.5
精神科・心療内科	27	249.3	227.2	160.0
その他	19	187.2	171.1	171.0

（注）「平成 29 年 3 月 12 日～3 月 18 日の 1 週間の外来患者数」について無回答の 63 施設を除き集計対象とした。

図表 2- 67 1 週間の外来患者数（地域別）【内科診療所】

（単位：人）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	225	231.2	181.8	200.0
5 万人未満	47	168.4	156.4	138.0
10 万人未満	33	248.7	125.5	254.0
20 万人未満	53	247.6	193.8	224.0
20 万人以上	92	247.5	198.6	185.0

（注）「平成 29 年 3 月 12 日～3 月 18 日の 1 週間の外来患者数」について無回答の 41 施設を除き集計対象とした。

(3) 外来診療における診療報酬の算定回数

①初診料

1) 初診料

- ・平成29年1月1か月間の初診料の算定回数について中央値でみると、5万人未満の地域では89.0回、10万人未満では168.0回、20万人未満では124.5回、20万人以上では154.5回であった。
- ・主たる診療科別にみると、初診料の算定回数は「耳鼻いんこう科」で最も多く、「精神科・心療内科」で最も少なかった。

図表 2-68 平成29年1月1か月間の算定回数 初診料（地域別）

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	536	222.3	262.2	137.0
5万人未満	65	152.8	177.6	89.0
10万人未満	65	244.4	257.0	168.0
20万人未満	136	198.6	212.8	124.5
20万人以上	270	245.7	297.7	154.5

(注)「平成29年1月1か月間の初診料の算定回数」について回答のあった536施設を集計対象とした。

図表 2-69 平成29年1月1か月間の算定回数 初診料（主たる診療科別）

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	536	222.3	262.2	137.0
内科系	258	170.3	244.1	110.0
外科系	30	177.0	138.2	153.0
整形外科	39	208.7	153.7	150.0
小児科・小児外科	27	485.7	281.7	487.0
産婦人科・産科・婦人科	24	122.9	107.5	86.5
皮膚科	25	409.1	255.1	326.0
眼科	32	219.6	194.4	171.0
耳鼻いんこう科	28	566.7	337.7	566.5
精神科・心療内科	26	45.1	49.5	27.0
その他	16	106.4	106.9	76.5

(注)「平成29年1月1か月間の初診料の算定回数」について回答のあった536施設を集計対象とした。

図表 2-70 平成29年1月1か月間の算定回数 初診料（地域別）【内科診療所】

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	225	172.7	252.8	110.0
5万人未満	44	123.0	165.0	56.0
10万人未満	30	154.2	112.7	132.0
20万人未満	52	144.4	156.4	102.0
20万人以上	99	215.2	337.9	124.0

(注)「平成29年1月1か月間の初診料の算定回数」について回答のあった225施設を集計対象とした。

2) 初診料 時間外加算

図表 2-71 平成 29 年 9 月 1 か月間の算定回数 初診料 時間外加算 (地域別)

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	422	4.3	23.9	0.0
5 万人未満	50	1.8	4.2	0.0
10 万人未満	56	4.7	28.4	0.0
20 万人未満	109	2.9	10.6	0.0
20 万人以上	207	5.6	29.8	0.0

(注)「平成 29 年 1 月 1 か月間の初診料 時間外加算の算定回数」について回答のあった 422 施設を集計対象とした。

図表 2-72 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 初診料 時間外加算
(主たる診療科別)

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	422	4.3	23.9	0.0
内科系	199	3.8	29.2	0.0
外科系	26	2.0	3.8	0.0
整形外科	30	3.3	11.6	0.0
小児科・小児外科	23	6.3	11.7	1.0
産婦人科・産科・婦人科	18	4.1	9.2	0.0
皮膚科	17	6.5	18.1	0.0
眼科	22	4.0	17.9	0.0
耳鼻いんこう科	26	0.8	2.5	0.0
精神科・心療内科	20	0.2	0.6	0.0
その他	12	3.1	5.7	0.0

(注)「平成 29 年 1 月 1 か月間の初診料 時間外加算の算定回数」について回答のあった 422 施設を集計対象とした。

図表 2-73 平成 29 年 9 月 1 か月間の算定回数 初診料 時間外加算 (地域別)

【内科診療所】

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	171	2.0	8.1	0.0
5 万人未満	32	0.5	1.0	0.0
10 万人未満	26	0.3	1.0	0.0
20 万人未満	43	0.9	1.7	0.0
20 万人以上	70	4.0	12.4	0.0

(注)「平成 29 年 1 月 1 か月間の初診料 時間外加算の算定回数」について回答のあった 171 施設を集計対象とした。

3) 初診料 休日加算

- ・内科診療所について初診料の休日加算の算定回数をみると、5万人未満の地域では平均6.6回、10万人未満では13.3回、20万人未満では3.7回、20万人以上では3.5回であった。

図表 2-74 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 初診料 休日加算（地域別）

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	424	7.0	30.2	0.0
5万人未満	52	13.0	26.3	0.0
10万人未満	56	12.3	51.1	0.0
20万人未満	109	8.7	37.7	0.0
20万人以上	207	3.1	15.1	0.0

(注)「平成 29 年 1 月 1 か月間の初診料 休日加算の算定回数」について回答のあった 424 施設を集計対象とした。

図表 2-75 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 初診料 休日加算

（主たる診療科別）

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	424	7.0	30.2	0.0
内科系	203	4.9	24.2	0.0
外科系	23	1.6	5.5	0.0
整形外科	30	9.5	43.6	0.0
小児科・小児外科	24	19.0	38.6	0.0
産婦人科・産科・婦人科	20	3.0	10.8	0.0
皮膚科	17	0.1	0.2	0.0
眼科	21	0.6	2.8	0.0
耳鼻いんこう科	27	1.9	6.9	0.0
精神科・心療内科	19	0.1	0.5	0.0
その他	12	0.5	1.4	0.0

(注)「平成 29 年 1 月 1 か月間の初診料 休日加算の算定回数」について回答のあった 424 施設を集計対象とした。

図表 2-76 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 初診料 休日加算（地域別）

【内科診療所】

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	173	5.6	26.1	0.0
5万人未満	33	6.6	14.0	0.0
10万人未満	27	13.3	59.3	0.0
20万人未満	43	3.7	11.0	0.0
20万人以上	70	3.5	13.5	0.0

(注)「平成 29 年 1 月 1 か月間の初診料 休日加算の算定回数」について回答のあった 173 施設を集計対象とした。

4) 初診料 深夜加算

図表 2-77 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 初診料 深夜加算 (地域別)

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	402	0.7	6.1	0.0
5 万人未満	45	0.5	1.6	0.0
10 万人未満	55	2.2	13.8	0.0
20 万人未満	103	0.6	5.8	0.0
20 万人以上	199	0.3	2.2	0.0

(注)「平成 29 年 1 月 1 か月間の初診料 深夜加算の算定回数」について回答のあった 402 施設を集計対象とした。

図表 2-78 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 初診料 深夜加算

(主たる診療科別)

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	402	0.7	6.1	0.0
内科系	194	0.2	1.4	0.0
外科系	21	0.0	-	0.0
整形外科	28	0.0	0.2	0.0
小児科・小児外科	20	0.2	0.5	0.0
産婦人科・産科・婦人科	18	0.1	0.2	0.0
皮膚科	16	0.0	-	0.0
眼科	21	0.0	-	0.0
耳鼻いんこう科	26	0.0	-	0.0
精神科・心療内科	19	0.0	-	0.0
その他	11	0.0	-	0.0

(注)「平成 29 年 1 月 1 か月間の初診料 深夜加算の算定回数」について回答のあった 402 施設を集計対象とした。

図表 2-79 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 初診料 深夜加算 (地域別)

【内科診療所】

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	165	0.2	1.5	0.0
5 万人未満	30	0.0	0.2	0.0
10 万人未満	26	0.2	0.8	0.0
20 万人未満	42	0.0	-	0.0
20 万人以上	67	0.4	2.3	0.0

(注)「平成 29 年 1 月 1 か月間の初診料 深夜加算の算定回数」について回答のあった 165 施設を集計対象とした。

②再診料

1) 再診料

- ・平成29年1月1か月間の再診料の算定回数について中央値で見ると、5万人未満の地域では595.0回、10万人未満では825.5回、20万人未満では713.0回、20万人以上では550.5回であった。
- ・内科診療所について中央値を見ると、5万人未満の地域では489.0回、10万人未満では792.0回、20万人未満では574.5回、20万人以上では446.5回であった。

図表 2- 80 平成29年1月1か月間の算定回数 再診料（地域別）

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	529	885.7	1,064.5	634.0
5万人未満	67	814.1	1,065.0	595.0
10万人未満	64	1,058.0	1,008.0	825.5
20万人未満	132	980.9	1,402.4	713.0
20万人以上	266	815.0	862.4	550.5

(注)「平成29年1月1か月間の再診料の算定回数」について回答のあった529施設を集計対象とした。

図表 2- 81 平成29年1月1か月間の算定回数 再診料（主たる診療科別）

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	529	885.7	1,064.5	634.0
内科系	254	673.4	505.9	595.0
外科系	30	910.8	788.1	738.0
整形外科	38	1,713.8	1,166.8	1,689.5
小児科・小児外科	27	634.0	381.6	625.0
産婦人科・産科・婦人科	24	418.0	306.2	374.0
皮膚科	25	894.5	505.8	720.0
眼科	32	763.2	697.1	545.0
耳鼻いんこう科	27	874.0	525.4	751.0
精神科・心療内科	26	833.8	1,021.9	426.5
その他	15	541.7	525.0	429.0

(注)「平成29年1月1か月間の再診料の算定回数」について回答のあった529施設を集計対象とした。

図表 2- 82 平成29年1月1か月間の算定回数 再診料（地域別）【内科診療所】

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	221	648.1	505.1	551.0
5万人未満	46	560.2	444.5	489.0
10万人未満	29	728.6	324.9	792.0
20万人未満	50	651.5	534.1	574.5
20万人以上	96	664.2	559.4	446.5

(注)「平成29年1月1か月間の再診料の算定回数」について回答のあった221施設を集計対象とした。

2) 再診料 時間外加算

- ・再診料の時間外加算の算定回数についてみると、5万人未満の地域では平均1.9回、10万人未満では2.9回、20万人未満では4.9回、20万人以上では10.4回であり、人口規模が大きい地域ほど算定回数が多かった。

図表 2- 83 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 再診料 時間外加算（地域別）

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	423	6.9	26.5	0.0
5万人未満	50	1.9	3.7	0.0
10万人未満	57	2.9	5.5	0.0
20万人未満	112	4.9	18.7	0.0
20万人以上	204	10.4	35.1	0.0

(注)「平成 29 年 1 月 1 か月間の再診料 時間外加算の算定回数」について回答のあった 423 施設を集計対象とした。

図表 2- 84 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 再診料 時間外加算
（主たる診療科別）

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	423	6.9	26.5	0.0
内科系	202	6.7	32.0	0.0
外科系	27	4.4	6.1	1.0
整形外科	30	3.6	15.7	0.0
小児科・小児外科	22	9.1	17.2	2.0
産婦人科・産科・婦人科	20	13.2	28.2	1.0
皮膚科	17	15.9	44.0	0.0
眼科	21	8.3	27.4	0.0
耳鼻いんこう科	25	1.2	4.8	0.0
精神科・心療内科	20	9.0	18.4	0.0
その他	11	4.9	9.1	0.0

(注)「平成 29 年 1 月 1 か月間の再診料 時間外加算の算定回数」について回答のあった 423 施設を集計対象とした。

図表 2- 85 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 再診料 時間外加算（地域別）

【内科診療所】

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	174	5.2	17.0	0.0
5万人未満	32	1.3	3.1	0.0
10万人未満	27	2.3	4.6	0.0
20万人未満	46	2.1	4.8	0.0
20万人以上	69	10.2	25.8	0.0

(注)「平成 29 年 1 月 1 か月間の再診料 時間外加算の算定回数」について回答のあった 174 施設を集計対象とした。

3) 再診料 休日加算

図表 2- 86 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 再診料 休日加算 (地域別)

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	413	3.3	16.9	0.0
5 万人未満	51	4.0	7.4	1.0
10 万人未満	57	2.2	7.4	0.0
20 万人未満	107	5.0	24.5	0.0
20 万人以上	198	2.6	15.6	0.0

(注)「平成 29 年 1 月 1 か月間の再診料 休日加算の算定回数」について回答のあった 413 施設を集計対象とした。

図表 2- 87 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 再診料 休日加算

(主たる診療科別)

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	413	3.3	16.9	0.0
内科系	199	2.4	14.5	0.0
外科系	24	2.0	5.6	0.0
整形外科	28	8.6	43.6	0.0
小児科・小児外科	24	7.7	17.7	0.0
産婦人科・産科・婦人科	20	1.8	3.5	0.0
皮膚科	17	0.0	-	0.0
眼科	20	0.3	0.9	0.0
耳鼻いんこう科	25	0.0	0.2	0.0
精神科・心療内科	17	0.3	1.2	0.0
その他	11	1.5	3.5	0.0

(注)「平成 29 年 1 月 1 か月間の再診料 休日加算の算定回数」について回答のあった 413 施設を集計対象とした。

図表 2- 88 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 再診料 休日加算 (地域別)

【内科診療所】

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	171	2.6	15.6	0.0
5 万人未満	33	1.7	2.7	0.0
10 万人未満	27	1.0	1.6	0.0
20 万人未満	43	1.6	3.9	0.0
20 万人以上	68	4.4	24.5	0.0

(注)「平成 29 年 1 月 1 か月間の再診料 休日加算の算定回数」について回答のあった 171 施設を集計対象とした。

4) 再診料 深夜加算

図表 2- 89 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 再診料 深夜加算 (地域別)

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	396	0.3	1.9	0.0
5 万人未満	45	0.8	2.8	0.0
10 万人未満	55	0.5	1.7	0.0
20 万人未満	102	0.4	2.8	0.0
20 万人以上	194	0.2	0.8	0.0

(注)「平成 29 年 1 月 1 か月間の再診料 深夜加算の算定回数」について回答のあった 396 施設を集計対象とした。

図表 2- 90 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 再診料 深夜加算

(主たる診療科別)

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	396	0.3	1.9	0.0
内科系	191	0.2	0.9	0.0
外科系	23	0.2	0.7	0.0
整形外科	27	0.0	-	0.0
小児科・小児外科	20	0.1	0.2	0.0
産婦人科・産科・婦人科	19	0.4	1.0	0.0
皮膚科	16	0.0	-	0.0
眼科	20	0.0	-	0.0
耳鼻いんこう科	25	0.0	-	0.0
精神科・心療内科	17	0.0	-	0.0
その他	10	0.2	0.4	0.0

(注)「平成 29 年 1 月 1 か月間の再診料 深夜加算の算定回数」について回答のあった 396 施設を集計対象とした。

図表 2- 91 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 再診料 深夜加算 (地域別)

【内科診療所】

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	162	0.2	0.9	0.0
5 万人未満	30	0.0	-	0.0
10 万人未満	26	0.3	0.9	0.0
20 万人未満	41	0.0	0.2	0.0
20 万人以上	65	0.4	1.3	0.0

(注)「平成 29 年 1 月 1 か月間の再診料 深夜加算の算定回数」について回答のあった 162 施設を集計対象とした。

5) 再診料 外来管理加算

- ・再診料の外来管理加算の算定回数について中央値をみると、5万人未満の地域では387.0回、10万人未満では488.0回、20万人未満では297.5回、20万人以上では256.5回であった。
- ・内科診療所について中央値をみると、5万人未満の地域では366.5回、10万人未満では560.0回、20万人未満では474.5回、20万人以上では333.0回であった。

図表 2-92 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 再診料 外来管理加算 (地域別)

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	415	463.3	584.2	303.0
5万人未満	61	522.8	542.7	387.0
10万人未満	52	523.5	572.3	488.0
20万人未満	112	491.1	772.5	297.5
20万人以上	190	411.3	458.3	256.5

(注)「平成 29 年 1 月 1 か月間の再診料 外来管理加算の算定回数」について回答のあった 415 施設を集計対象とした。

図表 2-93 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 再診料 外来管理加算(主たる診療科別)

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	415	463.3	584.2	303.0
内科系	207	488.5	401.3	400.0
外科系	27	450.8	430.3	287.0
整形外科	28	340.4	256.0	301.5
小児科・小児外科	21	409.3	296.9	400.0
産婦人科・産科・婦人科	18	276.0	235.7	247.5
皮膚科	15	466.1	419.1	383.0
眼科	20	9.5	26.6	0.0
耳鼻いんこう科	22	79.2	114.0	34.0
精神科・心療内科	18	94.3	199.5	2.5
その他	10	407.4	348.5	386.5

(注)「平成 29 年 1 月 1 か月間の再診料 外来管理加算の算定回数」について回答のあった 415 施設を集計対象とした。

図表 2-94 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 再診料 外来管理加算(地域別)【内科診療所】

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	180	473.7	395.0	386.0
5万人未満	40	420.8	314.1	366.5
10万人未満	25	453.5	374.4	560.0
20万人未満	44	495.5	393.0	474.5
20万人以上	71	497.1	445.6	333.0

(注)「平成 29 年 1 月 1 か月間の再診料 外来管理加算の算定回数」について回答のあった 180 施設を集計対象とした。

③地域包括診療料等

1) 地域包括診療料

- ・平成29年1月1か月間の地域包括診療料の算定回数は次のとおりである。

図表 2-95 平成29年1月1か月間の算定回数 地域包括診療料

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	2	2.5	3.5	2.5

(注)「平成29年1月1か月間の地域包括診療料の算定回数」について回答のあった2施設を集計対象とした(届出施設は3施設)。

2) 認知症地域包括診療料

- ・平成29年1月1か月間の認知症地域包括診療料の算定回数は次のとおりである。

図表 2-96 平成29年1月1か月間の算定回数 認知症地域包括診療料

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	2	0.0	-	0.0

(注)「平成29年1月1か月間の認知症地域包括診療料の算定回数」について回答のあった2施設を集計対象とした(届出施設は3施設)。

3) 地域包括診療加算

- ・平成29年1月1か月間の地域包括診療加算の算定回数は次のとおりである。10万人未満の地域で最も多かった。

図表 2-97 平成29年1月1か月間の算定回数 地域包括診療加算(地域別)

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	42	206.1	214.9	111.0
5万人未満	9	210.3	190.7	212.0
10万人未満	6	270.2	217.4	354.0
20万人未満	10	259.7	281.8	134.0
20万人以上	17	149.8	184.5	94.0

(注)「平成29年1月1か月間の地域包括診療加算の算定回数」について回答のあった42施設を集計対象とした(届出施設は51施設)。

図表 2- 98 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 地域包括診療加算（主たる診療科別）

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	42	206.1	214.9	111.0
内科系	34	221.7	214.3	157.5
外科系	3	56.0	56.5	55.0
整形外科	2	173.5	245.4	173.5
小児科・小児外科	1	9.0	-	9.0
その他	2	298.0	421.4	298.0

(注)「平成 29 年 1 月 1 か月間の地域包括診療加算の算定回数」について回答のあった 42 施設を集計対象とした（届出施設は 51 施設）。

4) 認知症地域包括診療加算

- ・平成 29 年 1 月 1 か月間の認知症地域包括診療加算の算定回数は次のとおりである。

図表 2- 99 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 認知症地域包括診療加算（地域別）

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	35	3.6	7.7	0.0
5 万人未満	7	4.0	3.5	4.0
10 万人未満	6	4.7	5.3	3.5
20 万人未満	9	1.0	2.0	0.0
20 万人以上	13	4.8	11.9	0.0

(注)「平成 29 年 1 月 1 か月間の認知症地域包括診療加算の算定回数」について回答のあった 35 施設を集計対象とした（届出施設は 51 施設）。

図表 2- 100 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 認知症地域包括診療加算

(主たる診療科別)

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	35	3.6	7.7	0.0
内科系	29	4.2	8.4	1.0
外科系	2	3.0	4.2	3.0
整形外科	2	0.0	-	0.0
その他	2	0.0	-	0.0

(注)「平成 29 年 1 月 1 か月間の認知症地域包括診療加算の算定回数」について回答のあった 35 施設を集計対象とした（届出施設は 51 施設）。

5) 小児かかりつけ診療料

・平成29年1月1か月間の小児かかりつけ診療料の算定回数は次のとおりである。

図表2-101 平成29年1月1か月間の算定回数 小児かかりつけ診療料（地域別）

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	12	163.0	262.3	15.5
5万人未満	1	625.0	-	625.0
10万人未満	2	29.5	41.7	29.5
20万人未満	3	235.7	405.6	3.0
20万人以上	6	94.2	162.8	15.5

（注）「平成29年1月1か月間の小児かかりつけ診療料の算定回数」について回答のあった12施設を集計対象とした（届出施設は16施設）。

図表2-102 平成29年1月1か月間の算定回数 小児かかりつけ診療料(主たる診療科別)

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	12	163.0	262.3	15.5
内科系	3	4.7	5.7	3.0
小児科・小児外科	9	215.8	286.4	59.0

（注）「平成29年1月1か月間の小児かかりつけ診療料の算定回数」について回答のあった12施設を集計対象とした（届出施設は16施設）。

④生活習慣病管理料

・平成29年1月1か月間の生活習慣病管理料の算定回数は次のとおりである。

図表2-103 平成29年1月1か月間の算定回数 生活習慣病管理料（地域別）

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	366	9.0	50.3	0.0
5万人未満	44	6.4	24.2	0.0
10万人未満	49	10.4	35.5	0.0
20万人未満	89	14.3	82.8	0.0
20万人以上	184	6.6	35.6	0.0

（注）「平成29年1月1か月間の生活習慣病管理料の算定回数」について回答のあった366施設を集計対象とした。

図表 2- 104 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 生活習慣病管理料（主たる診療科別）

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	366	9.0	50.3	0.0
内科系	180	15.4	67.4	0.0
外科系	19	2.4	8.3	0.0
整形外科	25	11.1	53.5	0.0
小児科・小児外科	20	0.8	3.6	0.0

(注)「平成 29 年 1 月 1 か月間の生活習慣病管理料の算定回数」について回答のあった 366 施設を集計対象とした。

⑤認知症療養指導料

- ・平成 29 年 1 月 1 か月間の認知症療養指導料の算定回数は次のとおりである。

図表 2- 105 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 認知症療養指導料

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	360	0.0	0.3	0.0

(注)「平成 29 年 1 月 1 か月間の認知症療養指導料の算定回数」について回答のあった 360 施設を集計対象とした。

⑥特定疾患療養管理料

- ・平成 29 年 1 月 1 か月間の特定疾患療養管理料の算定回数について中央値をみると、5 万人未満の地域では 265.0 回、10 万人未満では 316.0 回、20 万人未満では 164.0 回、20 万人以上では 100.0 回であった。

図表 2- 106 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 特定疾患療養管理料（地域別）

(単位：回)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	447	307.9	402.3	183.0
5 万人未満	65	399.3	404.4	265.0
10 万人未満	57	383.3	372.7	316.0
20 万人未満	108	317.6	494.8	164.0
20 万人以上	217	255.9	348.9	100.0

(注)「平成 29 年 1 月 1 か月間の特定疾患療養管理料の算定回数」について回答のあった 447 施設を集計対象とした。

図表 2- 107 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 特定疾患療養管理料（主たる診療科別）

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	447	307.9	402.3	183.0
内科系	228	421.2	358.0	336.5
外科系	29	321.0	344.6	201.0
整形外科	29	140.7	178.0	60.0
小児科・小児外科	24	86.6	122.9	44.5
産婦人科・産科・婦人科	18	21.1	66.5	0.0
皮膚科	17	41.5	94.7	0.0
眼科	20	0.4	1.6	0.0
耳鼻いんこう科	24	4.5	11.8	0.0
精神科・心療内科	17	10.2	40.2	0.0
その他	12	270.3	290.0	222.5

（注）「平成 29 年 1 月 1 か月間の特定疾患療養管理料の算定回数」について回答のあった 447 施設を集計対象とした。

図表 2- 108 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 特定疾患療養管理料（地域別）

【内科診療所】

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	199	409.2	350.4	326.0
5 万人未満	43	396.6	336.5	303.0
10 万人未満	27	448.8	322.8	497.0
20 万人未満	43	427.0	360.8	402.0
20 万人以上	86	394.2	364.6	294.5

（注）「平成 29 年 1 月 1 か月間の特定疾患療養管理料の算定回数」について回答のあった 199 施設を集計対象とした。

⑦診療情報提供料（I）

- ・平成 29 年 1 月 1 か月間の診療情報提供料（I）の算定回数は次のとおりである。

図表 2- 109 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 診療情報提供料（I）（地域別）

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	478	15.6	24.2	9.5
5 万人未満	62	15.1	16.6	10.0
10 万人未満	61	20.4	39.4	15.0
20 万人未満	119	15.2	25.8	8.0
20 万人以上	236	14.7	19.6	8.0

（注）「平成 29 年 1 月 1 か月間の診療情報提供料（I）の算定回数」について回答のあった 478 施設を集計対象とした。

図表 2- 110 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 診療情報提供料（Ⅰ）
（主たる診療科別）

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	478	15.6	24.2	9.5
内科系	237	13.6	13.6	10.0
外科系	29	22.2	22.1	14.0
整形外科	36	23.1	25.1	16.0
小児科・小児外科	24	8.9	7.6	6.0
産婦人科・産科・婦人科	20	9.1	9.5	7.0
皮膚科	20	9.4	13.3	4.0
眼科	21	7.5	7.0	6.0
耳鼻いんこう科	25	8.3	8.4	5.0
精神科・心療内科	25	6.8	6.3	5.0
その他	12	9.3	10.7	6.0

（注）「平成 29 年 1 月 1 か月間の診療情報提供料（Ⅰ）の算定回数」について回答のあった 478 施設を集計対象とした。

図表 2- 111 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 診療情報提供料（Ⅰ）（地域別）
【内科診療所】

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	206	13.2	14.0	10.0
5 万人未満	42	11.3	10.8	7.0
10 万人未満	28	16.1	8.0	18.0
20 万人未満	47	11.9	12.0	10.0
20 万人以上	89	13.9	17.2	8.0

（注）「平成 29 年 1 月 1 か月間の診療情報提供料（Ⅰ）の算定回数」について回答のあった 206 施設を集計対象とした。

⑧診療情報提供料（Ⅱ）

- ・平成 29 年 1 月 1 か月間の診療情報提供料（Ⅱ）の算定回数は次のとおりである。

図表 2- 112 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 診療情報提供料（Ⅱ）（地域別）

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	355	0.4	2.0	0.0
5 万人未満	38	0.0	-	0.0
10 万人未満	48	0.0	0.1	0.0
20 万人未満	88	0.8	3.3	0.0
20 万人以上	181	0.4	1.6	0.0

（注）「平成 29 年 1 月 1 か月間の診療情報提供料（Ⅱ）の算定回数」について回答のあった 355 施設を集計対象とした。

図表 2- 113 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 診療情報提供料（Ⅱ）（主たる診療科別）

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	355	0.4	2.0	0.0
内科系	169	0.3	1.5	0.0
外科系	19	0.2	0.5	0.0
整形外科	24	1.6	5.3	0.0
小児科・小児外科	17	0.3	1.2	0.0
産婦人科・産科・婦人科	15	0.0	-	0.0
皮膚科	14	0.0	-	0.0
眼科	22	0.6	1.4	0.0
耳鼻いんこう科	22	0.1	0.6	0.0
精神科・心療内科	18	0.5	1.5	0.0
その他	9	0.0	-	0.0

（注）「平成 29 年 1 月 1 か月間の診療情報提供料（Ⅱ）の算定回数」について回答のあった 355 施設を集計対象とした。

図表 2- 114 平成 29 年 1 月 1 か月間の算定回数 診療情報提供料（Ⅱ）（地域別）

【内科診療所】

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	143	0.3	1.6	0.0
5 万人未満	24	0.0	-	0.0
10 万人未満	23	0.0	-	0.0
20 万人未満	36	0.6	1.9	0.0
20 万人以上	60	0.4	2.0	0.0

（注）「平成 29 年 1 月 1 か月間の診療情報提供料（Ⅱ）の算定回数」について回答のあった 143 施設を集計対象とした。

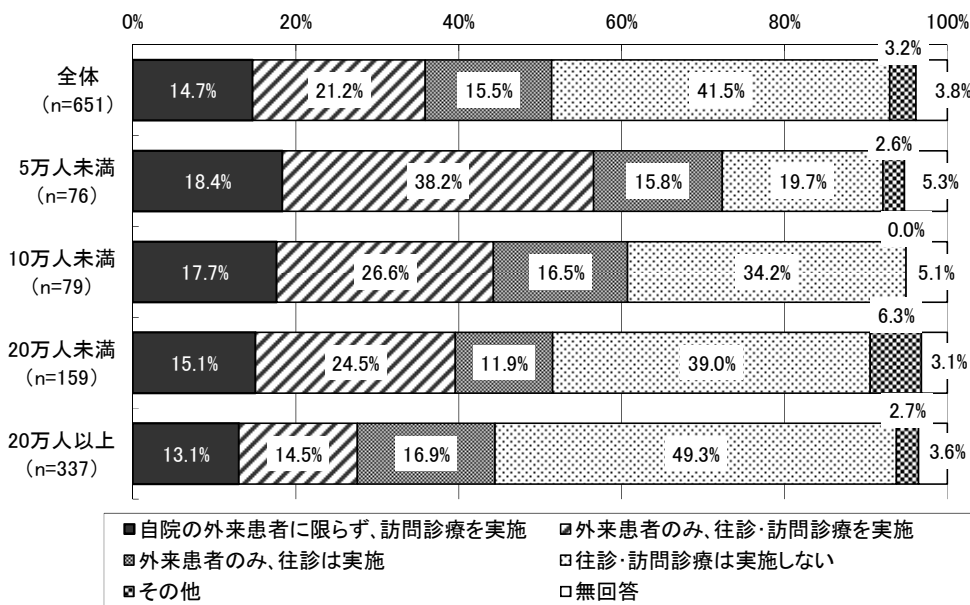
3. 在宅医療・介護の取組状況等

(1) 在宅医療の体制等

①在宅医療に対するスタンス

- ・在宅医療に対するスタンスについてみると、5万人未満の地域では「外来患者のみ、往診・訪問診療を実施」がおおよそ4割を占め、最も多かった。また、これに「自院の外来患者に限らず、訪問診療を実施」、「外来患者のみ、往診は実施」を合わせた割合は7割を超えており、在宅医療に取り組んでいる施設の割合は他の地域と比較して高かった。
- ・10万人未満、20万人未満、20万人以上の地域では「往診・訪問診療は実施しない」が最も多かった。一方、「自院の外来患者に限らず、訪問診療を実施」、「外来患者のみ、往診・訪問診療を実施」、「外来患者のみ、往診は実施」を合わせた割合（在宅医療を実施している施設の割合）は、10万人未満の地域では60.8%、20万人未満の地域では51.5%、20万人以上の地域では44.5%と人口規模が大きい地域ほどその割合が低くなる傾向がみられた。
- ・主たる診療科別にみると、「内科系」では在宅医療を実施している施設の割合が高かった。また、「外来患者のみ、往診・訪問診療を実施」、「外来患者のみ、往診は実施」と自院の外来に通院していた患者に対してのみ在宅医療を提供している施設の割合は、「内科系」では49.8%、「外科系」では39.5%、「整形外科」では38.0%であった。一方で、「産婦人科・産科・婦人科」、「耳鼻いんこう科」、「小児科・小児外科」では「往診・訪問診療は実施しない」という施設の割合が高かった。
- ・内科診療所についてみると、「自院の外来患者に限らず、訪問診療を実施」の割合は全ての地域で約2割となっており、大きな差異はみられなかった。一方で、「外来患者のみ、往診・訪問診療を実施」と「外来患者のみ、往診は実施」を合わせた割合は、5万人未満の地域では58.5%、10万人未満では54.0%、20万人未満では56.5%と5割を超えたが、20万人以上では43.0%となっており、他の地域と比較して低かった。

図表 2- 115 在宅医療に対するスタンス（地域別）



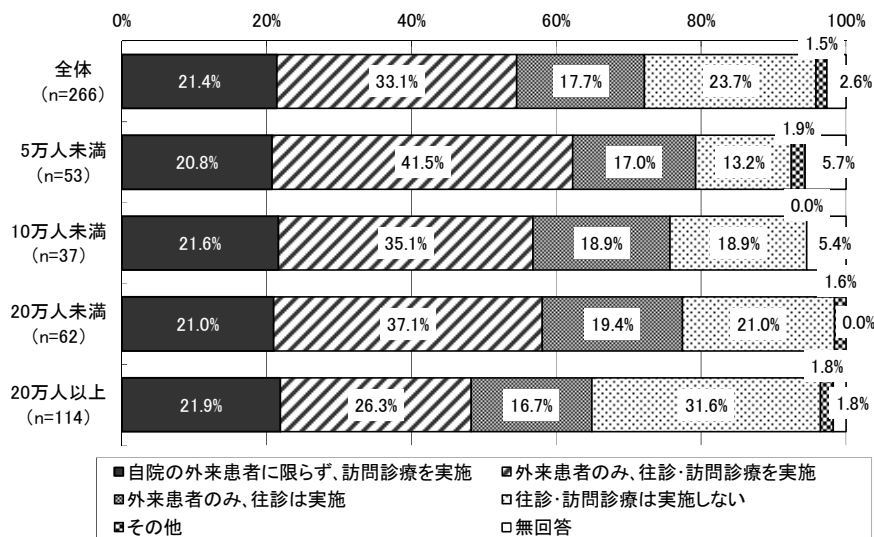
(注) 「その他」の内容としては、「自院の外来患者に限らず往診は実施」(同旨含め4件)、「担当施設にのみ訪問」(同旨含め3件)、「外来患者として通院していた患者のみ訪問診療を実施」、「当院を退院した患者のみ」、「提携病院からの依頼に応じて往診を実施」等が挙げられた。

図表 2- 116 在宅医療に対するスタンス（主たる診療科別）

(単位：上段「件」、下段「%」)

	総数	自院の外来患者に限らず、訪問診療を実施	外来患者のみ、往診・訪問診療を実施	外来患者のみ、往診は実施	往診・訪問診療は実施しない	その他	無回答
全体	651	96	138	101	270	21	25
	100.0	14.7	21.2	15.5	41.5	3.2	3.8
内科系	305	63	98	54	78	4	8
	100.0	20.7	32.1	17.7	25.6	1.3	2.6
外科系	38	3	8	7	18	1	1
	100.0	7.9	21.1	18.4	47.4	2.6	2.6
整形外科	50	4	4	15	23	2	2
	100.0	8.0	8.0	30.0	46.0	4.0	4.0
小児科・小児外科	40	3	1	3	29	0	4
	100.0	7.5	2.5	7.5	72.5	0.0	10.0
産婦人科・産科・婦人科	29	0	0	2	27	0	0
	100.0	0.0	0.0	6.9	93.1	0.0	0.0
皮膚科	31	6	0	3	18	2	2
	100.0	19.4	0.0	9.7	58.1	6.5	6.5
眼科	38	3	2	6	22	2	3
	100.0	7.9	5.3	15.8	57.9	5.3	7.9
耳鼻いんこう科	34	2	0	2	26	3	1
	100.0	5.9	0.0	5.9	76.5	8.8	2.9
精神科・心療内科	31	3	5	4	17	1	1
	100.0	9.7	16.1	12.9	54.8	3.2	3.2
その他	23	6	6	2	5	2	2
	100.0	26.1	26.1	8.7	21.7	8.7	8.7

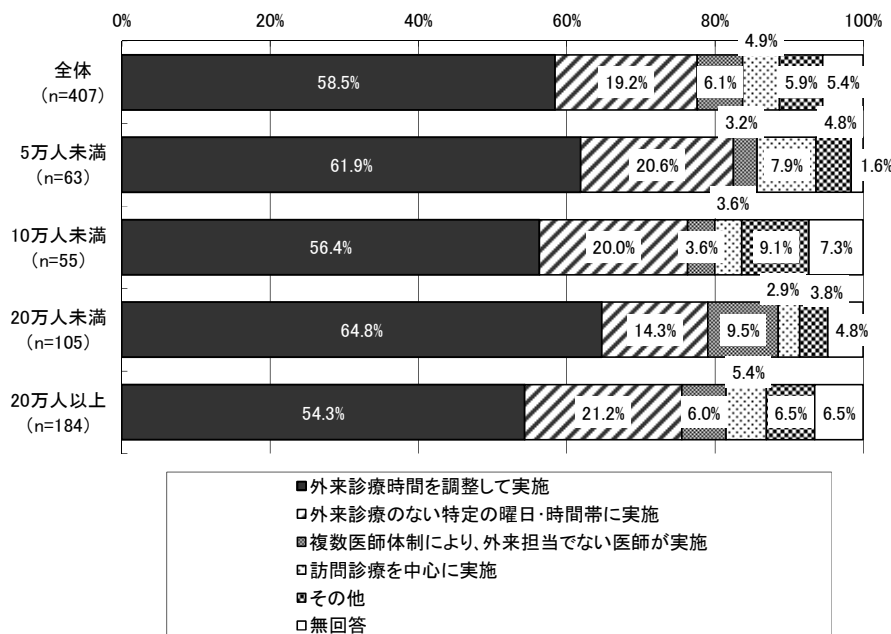
図表 2- 117 在宅医療に対するスタンス（地域別）【内科診療所】



②往診・訪問診療の体制

- ・往診・訪問診療の体制についてみると、すべての地域で「外来診療時間を調整して実施」が5割強から6割強を占め、最も多かった。

図表 2- 118 往診・訪問診療の体制（在宅医療を提供している医療機関、地域別）



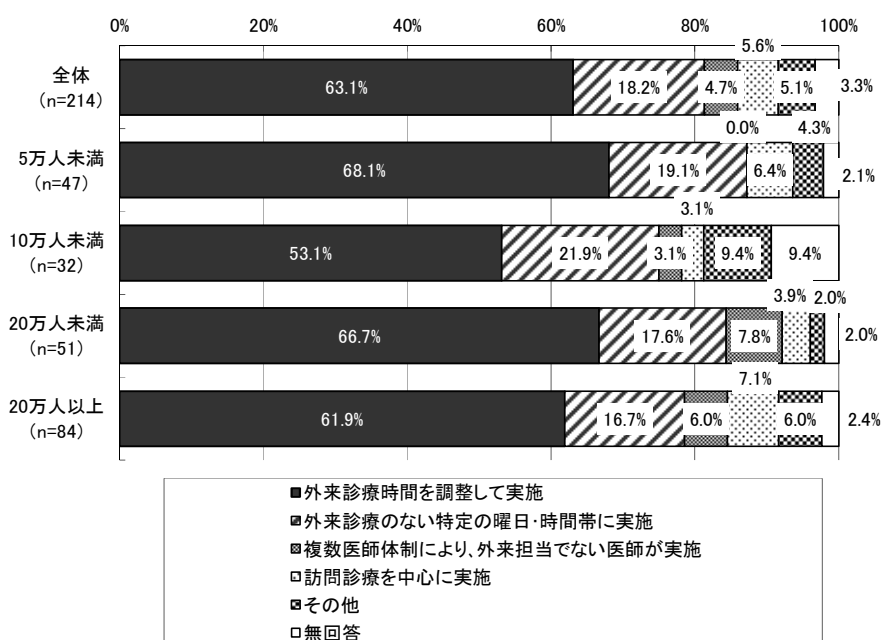
(注) 「その他」の内容として、「往診の要請があった時のみ」、「決まっていない」、「他院で対応できない時のみ」等が挙げられた。

図表 2- 119 往診・訪問診療の体制（在宅医療を提供している医療機関、主たる診療科別）

	総数	外来診療時間を調整して実施	外来診療のない特定の曜日・時間帯に実施	複数医師体制により、外来担当でない医師が実施	訪問診療を中心に実施	その他	無回答
全体	407 100.0	238 58.5	78 19.2	25 6.1	20 4.9	24 5.9	22 5.4
内科系	238 100.0	150 63.0	44 18.5	11 4.6	14 5.9	11 4.6	8 3.4
外科系	21 100.0	11 52.4	6 28.6	1 4.8	1 4.8	2 9.5	0 0.0
整形外科	29 100.0	17 58.6	8 27.6	2 6.9	0 0.0	0 0.0	2 6.9
小児科・小児外科	12 100.0	7 58.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 16.7	3 25.0
産婦人科・産科・婦人科	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0
皮膚科	14 100.0	8 57.1	2 14.3	0 0.0	0 0.0	2 14.3	2 14.3
眼科	22 100.0	10 45.5	6 27.3	0 0.0	1 4.5	1 4.5	4 18.2
耳鼻いんこう科	10 100.0	8 80.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0
精神科・心療内科	15 100.0	5 33.3	7 46.7	1 6.7	0 0.0	1 6.7	1 6.7
その他	18 100.0	11 61.1	1 5.6	1 5.6	1 5.6	3 16.7	1 5.6

図表 2- 120 往診・訪問診療の体制（在宅医療を提供している医療機関、地域別）

【内科診療所】



③在宅療養支援診療所・病院の届出状況

- ・在宅療養支援診療所・病院の届出状況についてみると、「機能強化型（単独型）在宅療養支援診療所・病院である」が6施設、「機能強化型（連携型）在宅療養支援診療所・病院である」が27施設、「機能強化型以外の在宅療養支援診療所・病院である」が79施設、「在宅療養支援診療所・病院ではない」が499施設であった。

図表 2- 121 在宅療養支援診療所・病院の届出状況（地域別）

（単位：上段「件」、下段「%」）

	総数	機能強化型(単独型)在宅療養支援診療所・病院である	機能強化型(連携型)在宅療養支援診療所・病院である	機能強化型以外の在宅療養支援診療所・病院である	在宅療養支援診療所・病院ではない	無回答
全体	651 100.0	6 0.9	27 4.1	79 12.1	499 76.7	40 6.1
5万人未満	76 100.0	1 1.3	3 3.9	11 14.5	57 75.0	4 5.3
10万人未満	79 100.0	1 1.3	9 11.4	9 11.4	54 68.4	6 7.6
20万人未満	159 100.0	0 0.0	6 3.8	20 12.6	125 78.6	8 5.0
20万人以上	337 100.0	4 1.2	9 2.7	39 11.6	263 78.0	22 6.5

図表 2- 122 機能強化型（連携型）在宅療養支援診療所・病院における届出上の連携医療機関数（地域別）

（単位：施設）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	24	3.3	1.5	3.0
5万人未満	3	2.7	0.6	3.0
10万人未満	9	3.2	1.2	3.0
20万人未満	5	2.8	1.1	3.0
20万人以上	7	3.9	2.3	3.0

(注)「届出上の連携医療機関数」について回答のあった24施設を集計対象とした(届出施設は27施設)。

④在宅医療に携わる職員数

- ・在宅医療に携わる1施設あたりの平均職員数についてみると、医師が1.1人、保健師・助産師・看護師が0.9人、准看護師が0.6人、リハビリ職が0.3人、その他の職員が0.5人、合計が3.4人であった。

図表 2- 123 在宅医療に携わる職員数 (n=331)

(単位：人)

	平均値	標準偏差	中央値
医師	1.1	0.9	1.0
保健師・助産師・看護師	0.9	1.5	0.0
准看護師	0.6	1.1	0.0
リハビリ職	0.3	1.3	0.0
その他の職員	0.5	1.6	0.0
合計	3.4	3.9	2.0

(注) 「在宅医療に携わる職員数」について回答のあった331施設を集計対象とした。

図表 2- 124 在宅医療に携わる職員数 (n=306) 【診療所】

(単位：人)

	平均値	標準偏差	中央値
医師	1.1	0.8	1.0
保健師・助産師・看護師	0.8	1.3	0.0
准看護師	0.6	1.2	0.0
リハビリ職	0.1	0.9	0.0
その他の職員	0.5	1.6	0.0
合計	3.1	3.5	2.0

(注) 「在宅医療に携わる職員数」について回答のあった306施設を集計対象とした。

図表 2- 125 在宅医療に携わる職員数 (n=25) 【病院】

(単位：人)

	平均値	標準偏差	中央値
医師	1.7	1.6	1.0
保健師・助産師・看護師	2.1	2.3	1.0
准看護師	0.5	0.8	0.0
リハビリ職	2.0	3.1	0.0
その他の職員	0.5	1.4	0.0
合計	6.8	6.0	4.5

(注) 「在宅医療に携わる職員数」について回答のあった25施設を集計対象とした。

図表 2- 126 在宅医療に携わる職員数 医師（地域別）

(単位：人)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	331	1.1	0.9	1.0
5万人未満	54	1.1	0.9	1.0
10万人未満	49	1.0	0.6	1.0
20万人未満	85	1.1	0.6	1.0
20万人以上	143	1.2	1.1	1.0

(注)「在宅医療に携わる職員数」について回答のあった331施設を集計対象とした。

図表 2- 127 在宅医療に携わる職員数 保健師・助産師・看護師（地域別）

(単位：人)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	331	0.9	1.5	0.0
5万人未満	54	0.9	1.2	0.2
10万人未満	49	1.1	1.4	1.0
20万人未満	85	0.8	1.4	0.0
20万人以上	143	0.8	1.6	0.0

(注)「在宅医療に携わる職員数」について回答のあった331施設を集計対象とした。

図表 2- 128 在宅医療に携わる職員数 准看護師（地域別）

(単位：人)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	331	0.6	1.1	0.0
5万人未満	54	1.0	1.4	0.6
10万人未満	49	0.5	0.9	0.0
20万人未満	85	0.8	1.4	0.0
20万人以上	143	0.3	0.8	0.0

(注)「在宅医療に携わる職員数」について回答のあった331施設を集計対象とした。

図表 2- 129 在宅医療に携わる職員数 リハビリ職（地域別）

(単位：人)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	331	0.3	1.3	0.0
5万人未満	54	0.2	1.2	0.0
10万人未満	49	0.2	0.8	0.0
20万人未満	85	0.3	1.2	0.0
20万人以上	143	0.3	1.6	0.0

(注)「在宅医療に携わる職員数」について回答のあった331施設を集計対象とした。

図表 2- 130 在宅医療に携わる職員数 その他の職員（地域別）

（単位：人）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	331	0.5	1.6	0.0
5万人未満	54	0.4	1.3	0.0
10万人未満	49	0.3	0.7	0.0
20万人未満	85	0.5	1.4	0.0
20万人以上	143	0.6	2.0	0.0

（注）「在宅医療に携わる職員数」について回答のあった331施設を集計対象とした。

図表 2- 131 在宅医療に携わる職員数 合計（地域別）

（単位：人）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	331	3.4	3.9	2.0
5万人未満	54	3.6	3.8	3.0
10万人未満	49	3.0	2.4	3.0
20万人未満	85	3.6	3.5	3.0
20万人以上	143	3.2	4.5	1.0

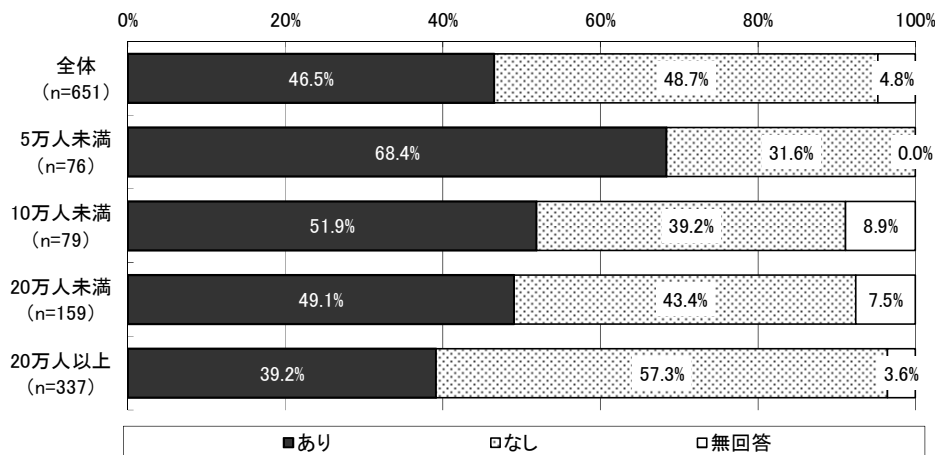
（注）「在宅医療に携わる職員数」について回答のあった331施設を集計対象とした。

(2) 在宅医療の実績等

①直近1年間の往診の実績

・直近1年間の往診の実績の有無についてみると、「あり」の割合は5万人未満の地域で68.4%と最も高かった。また、10万人未満の地域では51.9%と半数を超えた。20万人未満の地域では49.1%、20万人以上では39.2%であり、人口規模が大きい地域ほど「あり」の割合が低い傾向がみられた。

図表 2- 132 直近1年間の往診の実績の有無（地域別）



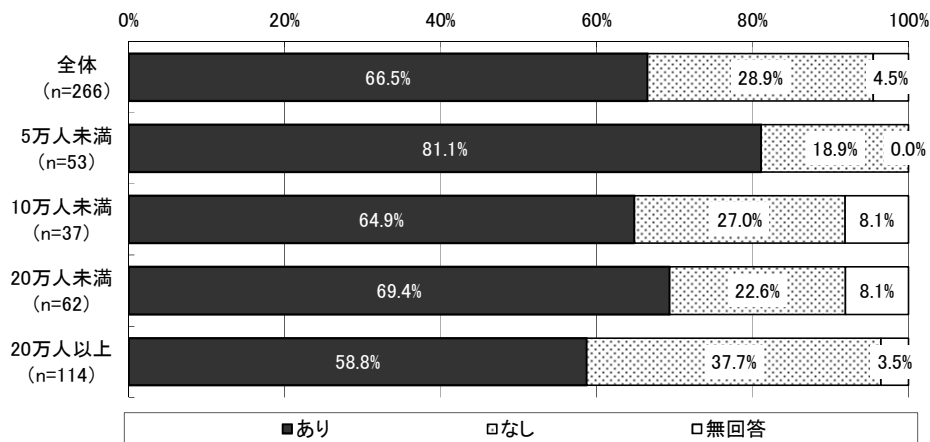
図表 2- 133 直近1年間の往診の実績の有無（主たる診療科別）

(単位：上段「件」、下段「%」)

	総数	あり	なし	無回答
全体	651 100.0	303 46.5	317 48.7	31 4.8
内科系	305 100.0	200 65.6	92 30.2	13 4.3
外科系	38 100.0	14 36.8	22 57.9	2 5.3
整形外科	50 100.0	18 36.0	30 60.0	2 4.0
小児科・小児外科	40 100.0	7 17.5	30 75.0	3 7.5
産婦人科・産科・婦人科	29 100.0	0 0.0	28 96.6	1 3.4
皮膚科	31 100.0	10 32.3	20 64.5	1 3.2
眼科	38 100.0	10 26.3	25 65.8	3 7.9
耳鼻いんこう科	34 100.0	6 17.6	27 79.4	1 2.9
精神科・心療内科	31 100.0	9 29.0	21 67.7	1 3.2
その他	23 100.0	14 60.9	8 34.8	1 4.3

- ・ 内科診療所に限定してみると、「あり」の割合は5万人未満の地域では81.1%で他の地域と比較して高かったが、20万人以上の地域でも6割近くとなった。

図表 2- 134 直近 1 年間の往診の実績の有無（地域別）【内科診療所】



- ・ 往診の実績のある施設における直近1年間の往診の回数について中央値でみると、5万人未満の地域では32.0回、10万人未満では23.0回、20万人未満では13.5回、20万人以上では10.0回であった。
- ・ 内科診療所についてみると、5万人未満の地域では42.0回、10万人未満では36.0回、20万人未満では16.0回、20万人以上では17.5回であった。

図表 2- 135 直近 1 年間の往診の回数（地域別）
（往診の実績のある施設）

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	269	62.5	169.0	15.0
5万人未満	47	59.0	60.7	32.0
10万人未満	37	72.5	123.9	23.0
20万人未満	66	52.1	126.3	13.5
20万人以上	119	66.6	223.3	10.0

（注）直近1年間の往診の実績のある303施設のうち、「直近1年間の往診の回数」について回答のあった269施設を集計対象とした。

図表 2- 136 直近 1 年間の往診の回数（主たる診療科別）
（往診の実績のある施設）

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	269	62.5	169.0	15.0
内科系	178	73.7	190.7	24.0
外科系	13	40.2	65.2	12.0
整形外科	17	31.0	74.1	8.0
小児科・小児外科	5	20.2	33.9	3.0
産婦人科・産科・婦人科	0	-	-	-
皮膚科	9	49.9	102.9	5.0
眼科	9	4.3	4.2	3.0
耳鼻いんこう科	6	3.3	2.9	2.5
精神科・心療内科	7	107.3	203.9	12.0
その他	12	93.2	228.4	16.0

（注）直近 1 年間の往診の実績のある 303 施設のうち、「直近 1 年間の往診の回数」について回答のあった 269 施設を集計対象とした。

図表 2- 137 直近 1 年間の往診の回数（地域別）
（往診の実績のある施設）【内科診療所】

（単位：回）

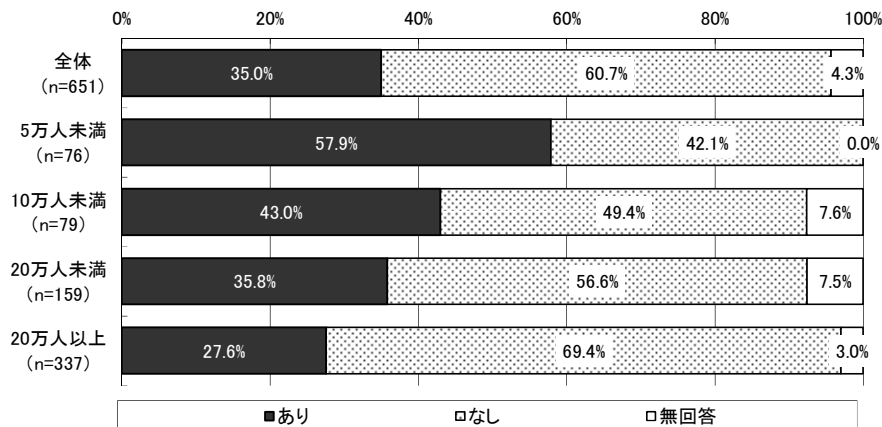
	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	157	75.6	197.2	24.0
5 万人未満	39	64.1	63.0	42.0
10 万人未満	20	60.3	84.1	36.0
20 万人未満	38	57.0	106.0	16.0
20 万人以上	60	100.1	299.9	17.5

（注）直近 1 年間の往診の実績のある 177 施設のうち、「直近 1 年間の往診の回数」について回答のあった 157 施設を集計対象とした。

②直近1年間の訪問診療の実績

- ・直近1年間の訪問診療の実績の有無についてみると、「あり」の割合は5万人未満の地域では57.9%と最も高かった。また、10万人未満の地域では43.0%、20万人未満では35.8%、20万人以上では27.6%と、人口規模が大きい地域ほど、この割合は低かった。

図表 2- 138 直近1年間の訪問診療の実績の有無（地域別）

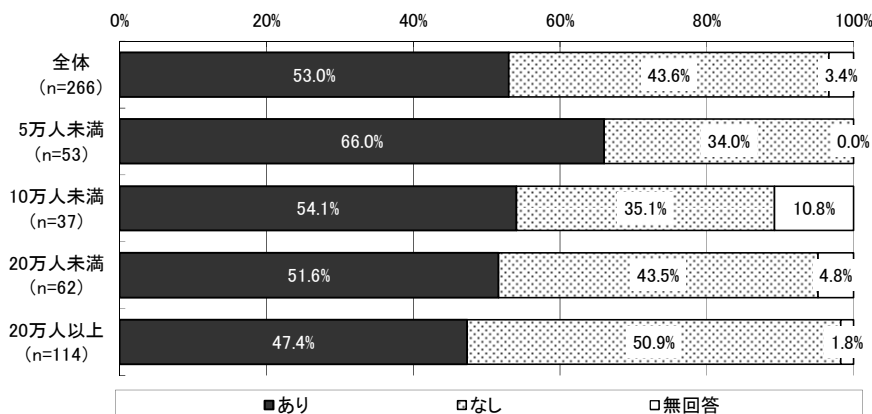


図表 2- 139 直近1年間の訪問診療の実績の有無（主たる診療科別）

（単位：上段「件」、下段「%」）

	総数	あり	なし	無回答
全体	651	228	395	28
	100.0	35.0	60.7	4.3
内科系	305	157	137	11
	100.0	51.5	44.9	3.6
外科系	38	11	25	2
	100.0	28.9	65.8	5.3
整形外科	50	10	37	3
	100.0	20.0	74.0	6.0
小児科・小児外科	40	3	34	3
	100.0	7.5	85.0	7.5
産婦人科・産科・婦人科	29	0	28	1
	100.0	0.0	96.6	3.4
皮膚科	31	3	28	0
	100.0	9.7	90.3	0.0
眼科	38	2	33	3
	100.0	5.3	86.8	7.9
耳鼻いんこう科	34	1	32	1
	100.0	2.9	94.1	2.9
精神科・心療内科	31	9	21	1
	100.0	29.0	67.7	3.2
その他	23	13	8	2
	100.0	56.5	34.8	8.7

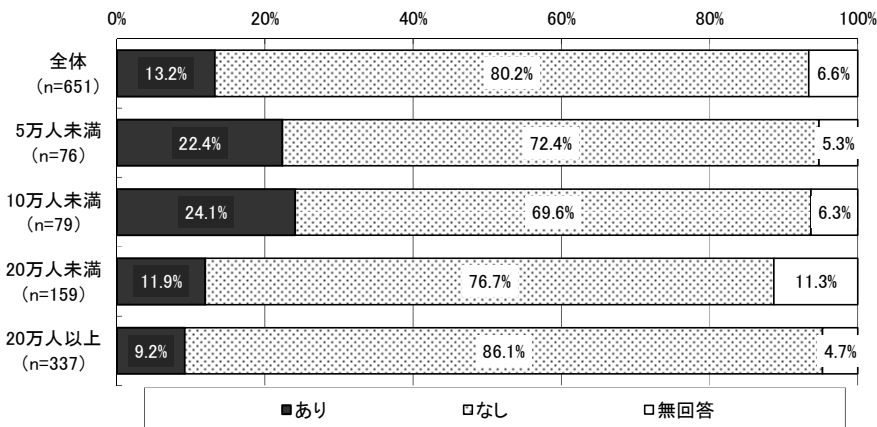
図表 2- 140 直近 1 年間の訪問診療の実績の有無（地域別）【内科診療所】



③直近 1 年間の訪問診療におけるターミナルケアの提供実績

・直近 1 年間の訪問診療におけるターミナルケアの提供実績の有無についてみると、「あり」の割合は、5 万人未満の地域では 22.4%、10 万人未満では 24.1%、20 万人未満では 11.9%、20 万人以上では 9.2%であった。5 万人未満、10 万人未満の地域では、20 万人未満、20 万人以上の地域と比較して、「あり」の割合が高かった。

図表 2- 141 直近 1 年間の訪問診療におけるターミナルケアの提供実績の有無（地域別）

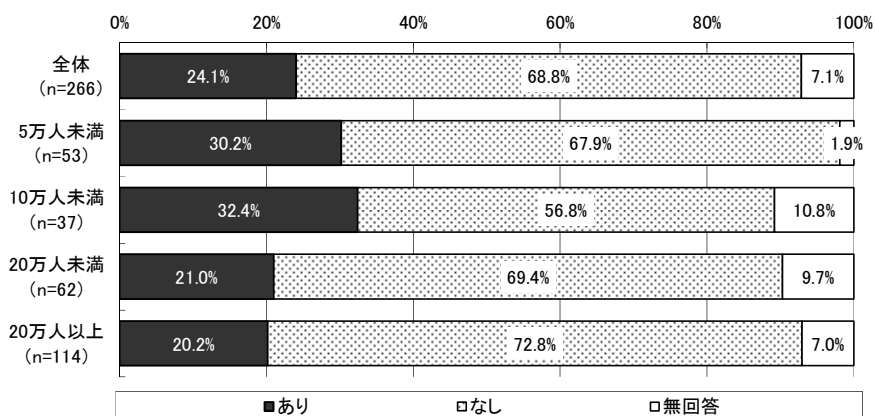


図表 2- 142 直近 1 年間の訪問診療におけるターミナルケアの提供実績の有無
(主たる診療科別)

(単位：上段「件」、下段「%」)

	総数	あり	なし	無回答
全体	651 100.0	86 13.2	522 80.2	43 6.6
内科系	305 100.0	70 23.0	214 70.2	21 6.9
外科系	38 100.0	5 13.2	30 78.9	3 7.9
整形外科	50 100.0	3 6.0	43 86.0	4 8.0
小児科・小児外科	40 100.0	2 5.0	36 90.0	2 5.0
産婦人科・産科・婦人科	29 100.0	0 0.0	29 100.0	0 0.0
皮膚科	31 100.0	0 0.0	31 100.0	0 0.0
眼科	38 100.0	0 0.0	34 89.5	4 10.5
耳鼻いんこう科	34 100.0	0 0.0	32 94.1	2 5.9
精神科・心療内科	31 100.0	0 0.0	30 96.8	1 3.2
その他	23 100.0	5 21.7	14 60.9	4 17.4

図表 2- 143 直近 1 年間の訪問診療におけるターミナルケアの提供実績の有無
(地域別)【内科診療所】



図表 2- 144 直近 1 年間のターミナルケア加算の算定回数（地域別）
（ターミナルケアの実績のある施設）

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	76	9.6	16.3	4.0
5 万人未満	14	6.9	8.5	3.0
10 万人未満	17	4.9	4.1	4.0
20 万人未満	15	11.1	23.0	3.0
20 万人以上	30	12.8	19.1	7.0

(注) 直近 1 年間のターミナルケアの実績のある 86 施設のうち、「直近 1 年間のターミナルケア加算の算定回数」について回答のあった 76 施設を集計対象とした。

図表 2- 145 直近 1 年間のターミナルケア加算の算定回数
（主たる診療科別）（ターミナルケアの実績のある施設）

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	76	9.6	16.3	4.0
内科系	61	10.2	17.6	5.0
外科系	5	6.8	9.7	3.0
整形外科	3	5.0	3.6	4.0
小児科・小児外科	2	6.0	7.1	6.0
その他	4	11.0	16.1	3.5

(注) 直近 1 年間のターミナルケアの実績のある 86 施設のうち、「直近 1 年間のターミナルケア加算の算定回数」について回答のあった 76 施設を集計対象とした。

図表 2- 146 直近 1 年間のターミナルケア加算の算定回数（地域別）
（ターミナルケアの実績のある施設）【内科診療所】

（単位：回）

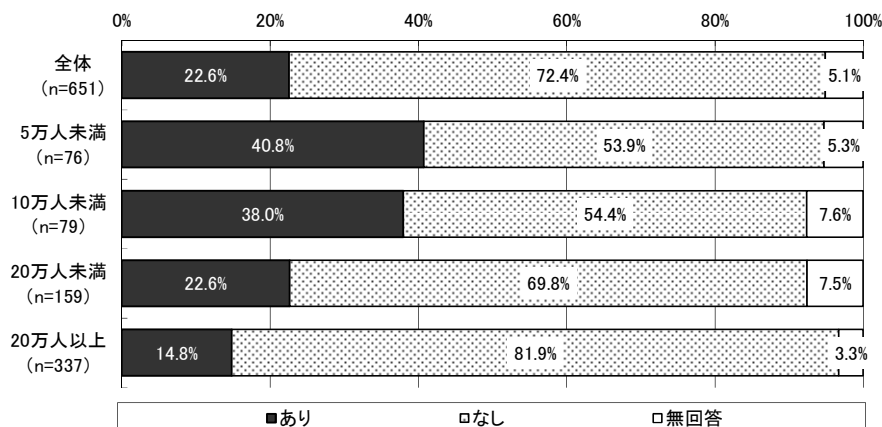
	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	56	10.5	18.3	5.0
5 万人未満	13	6.6	8.8	2.0
10 万人未満	10	6.8	4.4	6.0
20 万人未満	11	12.1	26.5	2.0
20 万人以上	22	13.7	21.6	6.0

(注) 直近 1 年間のターミナルケアの実績のある 64 施設のうち、「直近 1 年間のターミナルケア加算の算定回数」について回答のあった 56 施設を集計対象とした。

④直近1年間の在宅看取りの実績

- ・直近1年間の在宅看取りの実績の有無についてみると、「あり」の割合は5万人未満の地域では40.8%と最も高かった。また、10万人未満では38.0%、20万人未満では22.6%、20万人以上では14.8%であり、人口規模が小さい地域ほど、「あり」の割合が高かった。
- ・内科診療所に限定してみても、5万人未満と10万人未満の地域が、20万人未満と20万人以上の地域と比較して、「あり」の割合が高かった。

図表 2- 147 直近1年間の在宅看取りの実績の有無（地域別）

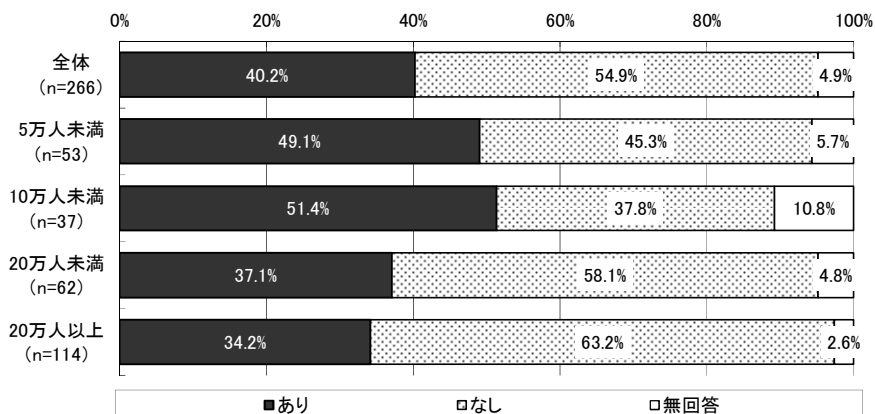


図表 2- 148 直近1年間の在宅看取りの実績の有無（主たる診療科別）

(単位：上段「件」、下段「%」)

	総数	あり	なし	無回答
全体	651	147	471	33
	100.0	22.6	72.4	5.1
内科系	305	118	174	13
	100.0	38.7	57.0	4.3
外科系	38	9	27	2
	100.0	23.7	71.1	5.3
整形外科	50	4	42	4
	100.0	8.0	84.0	8.0
小児科・小児外科	40	3	35	2
	100.0	7.5	87.5	5.0
産婦人科・産科・婦人科	29	0	29	0
	100.0	0.0	100.0	0.0
皮膚科	31	0	31	0
	100.0	0.0	100.0	0.0
眼科	38	0	34	4
	100.0	0.0	89.5	10.5
耳鼻いんこう科	34	0	32	2
	100.0	0.0	94.1	5.9
精神科・心療内科	31	0	30	1
	100.0	0.0	96.8	3.2
その他	23	8	12	3
	100.0	34.8	52.2	13.0

図表 2- 149 直近 1 年間の在宅看取りの実績の有無（地域別）【内科診療所】



図表 2- 150 直近 1 年間における在宅看取り回数（地域別）
（在宅看取り実績のある施設）

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	134	8.8	14.7	4.0
5万人未満	27	7.4	10.5	3.0
10万人未満	28	8.6	9.4	5.0
20万人未満	32	8.7	18.8	3.5
20万人以上	47	9.7	16.3	5.0

（注）直近 1 年間の在宅看取り実績のある 147 施設のうち、「直近 1 年間における在宅看取り回数」について回答のあった 134 施設を集計対象とした。

図表 2- 151 直近 1 年間における在宅看取り回数（主たる診療科別）
（在宅看取り実績のある施設）

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	134	8.8	14.7	4.0
内科系	109	9.3	15.9	3.0
外科系	9	4.8	7.1	2.0
整形外科	4	5.3	2.9	4.5
小児科・小児外科	2	6.5	6.4	6.5
その他	6	12.3	10.5	9.5

（注）直近 1 年間の在宅看取り実績のある 147 施設のうち、「直近 1 年間における在宅看取り回数」について回答のあった 134 施設を集計対象とした。

図表 2- 152 直近 1 年間における在宅看取り回数（地域別）
（在宅看取り実績のある施設）【内科診療所】

（単位：回）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	100	9.1	16.0	3.5
5 万人未満	23	6.3	7.2	3.0
10 万人未満	17	10.7	10.7	9.0
20 万人未満	22	9.6	22.4	2.0
20 万人以上	38	9.9	17.6	4.5

（注）直近 1 年間の在宅看取り実績のある 107 施設のうち、「直近 1 年間における在宅看取り回数」について回答のあった 100 施設を集計対象とした。

⑤ 1 か月間の在宅医療の実績

1) 在宅時医学総合管理料を算定した患者数（カルテベース）

- ・平成 29 年 1 月 1 か月間に在宅時医学総合管理料を算定した患者数（カルテベース）についてみると、5 万人未満の地域では平均 5.8 人、10 万人未満では 7.5 人、20 万人未満では 3.7 人、20 万人以上では 7.7 人であった。

図表 2- 153 在宅時医学総合管理料を算定した患者数（カルテベース）（地域別）

（単位：人）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	485	6.4	24.3	0.0
5 万人未満	59	5.8	14.7	0.0
10 万人未満	58	7.5	20.5	0.0
20 万人未満	127	3.7	13.8	0.0
20 万人以上	241	7.7	30.6	0.0

（注）「在宅時医学総合管理料を算定した患者数」について回答のあった 485 施設を集計対象とした。

図表 2- 154 在宅時医学総合管理料を算定した患者数（カルテベース）（主たる診療科別）

（単位：人）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	485	6.4	24.3	0.0
内科系	244	10.5	32.3	0.0
外科系	29	4.2	10.4	0.0
整形外科	33	4.3	20.4	0.0
小児科・小児外科	24	1.9	9.2	0.0
産婦人科・産科・婦人科	17	0.0	-	0.0
皮膚科	19	0.1	0.2	0.0
眼科	25	0.0	-	0.0
耳鼻いんこう科	26	0.0	-	0.0
精神科・心療内科	24	0.2	0.8	0.0
その他	16	5.7	11.9	0.0

（注）「在宅時医学総合管理料を算定した患者数」について回答のあった 485 施設を集計対象とした。

図表 2- 155 在宅時医学総合管理料を算定した患者数（カルテベース）（地域別）

【内科診療所】

（単位：人）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	214	11.2	34.1	0.0
5万人未満	38	6.2	15.2	0.0
10万人未満	32	10.7	26.3	0.0
20万人未満	53	6.1	19.4	0.0
20万人以上	91	16.3	46.3	0.0

（注）「在宅時医学総合管理料を算定した患者数」について回答のあった214施設を集計対象とした。

2) 必要時に往診を実施した患者数（カルテベース）

- ・平成29年1月1か月間に在宅時医学総合管理料を算定した患者のうち、必要時に往診を実施した患者数（カルテベース）についてみると、5万人未満の地域では平均0.8人、10万人未満では1.1人、20万人未満では0.4人、20万人以上では2.1人であった。

図表 2- 156 必要時に往診を実施した患者数（カルテベース）（地域別）

（単位：人）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	484	1.4	7.5	0.0
5万人未満	60	0.8	2.3	0.0
10万人未満	58	1.1	3.8	0.0
20万人未満	127	0.4	1.4	0.0
20万人以上	239	2.1	10.4	0.0

（注）「必要時に往診を実施した患者数」について回答のあった484施設を集計対象とした。

図表 2- 157 必要時に往診を実施した患者数（カルテベース）（主たる診療科別）

（単位：人）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	484	1.4	7.5	0.0
内科系	244	2.4	10.2	0.0
外科系	28	0.4	0.8	0.0
整形外科	33	1.0	5.0	0.0
小児科・小児外科	24	0.8	4.1	0.0
産婦人科・産科・婦人科	17	0.0	-	0.0
皮膚科	19	0.0	-	0.0
眼科	25	0.0	-	0.0
耳鼻いんこう科	27	0.1	0.6	0.0
精神科・心療内科	23	0.0	-	0.0
その他	16	0.1	0.3	0.0

（注）「必要時に往診を実施した患者数」について回答のあった484施設を集計対象とした。

図表 2- 158 必要時に往診を実施した患者数（カルテベース）（地域別）
【内科診療所】

（単位：人）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	214	2.6	10.9	0.0
5万人未満	39	1.0	2.7	0.0
10万人未満	32	1.7	4.9	0.0
20万人未満	53	0.7	2.0	0.0
20万人以上	90	4.7	16.2	0.0

（注）「必要時に往診を実施した患者数」について回答のあった214施設を集計対象とした。

3) 特別訪問看護指示書の件数

- ・平成29年9月1か月間における特別訪問看護指示書の件数は次のとおりである。

図表 2- 159 特別訪問看護指示書の件数（地域別）

（単位：件）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	483	0.9	9.8	0.0
5万人未満	61	0.4	1.6	0.0
10万人未満	57	0.6	1.4	0.0
20万人未満	126	2.2	19.0	0.0
20万人以上	239	0.4	1.6	0.0

（注）「特別訪問看護指示書の件数」について回答のあった483施設を集計対象とした。

図表 2- 160 特別訪問看護指示書の件数（主たる診療科別）

（単位：件）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	483	0.9	9.8	0.0
内科系	246	1.5	13.6	0.0
外科系	27	0.1	0.3	0.0
整形外科	32	0.1	0.4	0.0
小児科・小児外科	24	0.0	-	0.0
産婦人科・産科・婦人科	17	0.0	-	0.0
皮膚科	19	0.4	1.0	0.0
眼科	25	0.0	-	0.0
耳鼻いんこう科	26	0.0	-	0.0
精神科・心療内科	24	0.5	1.8	0.0
その他	14	0.5	1.1	0.0

（注）「特別訪問看護指示書の件数」について回答のあった483施設を集計対象とした。

図表 2- 161 特別訪問看護指示書の件数（地域別）【内科診療所】

(単位：件)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	215	1.7	14.5	0.0
5万人未満	41	0.5	1.8	0.0
10万人未満	30	0.7	1.6	0.0
20万人未満	53	4.5	29.1	0.0
20万人以上	91	0.9	2.3	0.0

(注)「特別訪問看護指示書の件数」について回答のあった215施設を集計対象とした。

4) 訪問薬剤管理指導の指示件数

・平成29年9月1か月間における訪問薬剤管理指導の指示件数は次のとおりである。

図表 2- 162 訪問薬剤管理指導の指示件数（地域別）

(単位：件)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	478	1.8	14.9	0.0
5万人未満	59	2.3	16.9	0.0
10万人未満	57	0.0	0.1	0.0
20万人未満	123	0.3	2.3	0.0
20万人以上	239	2.8	19.2	0.0

(注)「訪問薬剤管理指導の指示件数」について回答のあった478施設を集計対象とした。

図表 2- 163 訪問薬剤管理指導の指示件数（主たる診療科別）

(単位：件)

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	478	1.8	14.9	0.0
内科系	241	2.6	18.8	0.0
外科系	28	0.5	1.9	0.0
整形外科	32	0.0	-	0.0
小児科・小児外科	24	0.0	-	0.0
産婦人科・産科・婦人科	17	0.0	-	0.0
皮膚科	19	0.0	-	0.0
眼科	25	0.0	-	0.0
耳鼻いんこう科	26	0.0	-	0.0
精神科・心療内科	25	0.6	3.0	0.0
その他	13	0.1	0.3	0.0

(注)「訪問薬剤管理指導の指示件数」について回答のあった478施設を集計対象とした。

図表 2- 164 訪問薬剤管理指導の指示件数（地域別）【内科診療所】

（単位：件）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	210	2.9	20.1	0.0
5万人未満	39	0.2	0.4	0.0
10万人未満	30	0.0	0.2	0.0
20万人未満	52	0.7	3.5	0.0
20万人以上	89	6.4	30.5	0.0

（注）「訪問薬剤管理指導の指示件数」について回答のあった210施設を集計対象とした。

⑥ 1週間の医師の往診・訪問診療時間の合計

- ・ 1週間の医師の往診・訪問診療時間の合計についてみると、5万人未満の地域では平均3.9時間、10万人未満では2.7時間、20万人未満では1.5時間、20万人以上では2.6時間であった。
- ・ 内科診療所についてみると、平均3.6時間であった。

図表 2- 165 1週間の医師の往診・訪問診療時間の合計（地域別）

（単位：時間）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	515	2.5	9.3	0.0
5万人未満	68	3.9	12.8	0.6
10万人未満	62	2.7	6.2	0.5
20万人未満	131	1.5	4.0	0.0
20万人以上	254	2.6	10.7	0.0

（注）「1週間の医師の往診・訪問診療時間の合計」について回答のあった515施設を集計対象とした。

図表 2- 166 1週間の医師の往診・訪問診療時間の合計（主たる診療科別）

（単位：時間）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	515	2.5	9.3	0.0
内科系	264	3.4	10.9	0.5
外科系	30	1.1	2.3	0.0
整形外科	36	0.9	4.0	0.0
小児科・小児外科	25	0.6	3.0	0.0
産婦人科・産科・婦人科	17	0.0	-	0.0
皮膚科	19	0.5	1.2	0.0
眼科	26	0.2	0.8	0.0
耳鼻いんこう科	27	0.0	0.2	0.0
精神科・心療内科	25	1.9	4.3	0.0
その他	15	11.0	25.1	4.0

（注）「1週間の医師の往診・訪問診療時間の合計」について回答のあった515施設を集計対象とした。

図表 2- 167 1 週間の医師の往診・訪問診療時間の合計（地域別）【内科診療所】

（単位：時間）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	232	3.6	11.5	0.5
5 万人未満	46	2.9	5.0	1.0
10 万人未満	32	3.4	7.6	0.8
20 万人未満	56	2.4	5.6	0.8
20 万人以上	98	4.8	16.3	0.0

（注）「1 週間の医師の往診・訪問診療時間の合計」について回答のあった 232 施設を集計対象とした。

⑦ 1 週間に往診・訪問診療を行った在宅療養患者数

- ・ 1 週間に往診・訪問診療を行った在宅療養患者数についてみると、5 万人未満の地域では平均 3.8 人、10 万人未満では 5.2 人、20 万人未満では 3.4 人、20 万人以上では 7.4 人であった。

図表 2- 168 1 週間に往診・訪問診療を行った在宅療養患者数（地域別）

（単位：人）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	516	5.6	22.2	0.0
5 万人未満	68	3.8	6.4	2.0
10 万人未満	62	5.2	11.5	0.0
20 万人未満	131	3.4	10.0	0.0
20 万人以上	255	7.4	30.0	0.0

（注）「1 週間に往診・訪問診療を行った在宅療養患者数」について回答のあった 516 施設を集計対象とした。

図表 2- 169 1 週間に往診・訪問診療を行った在宅療養患者数（主たる診療科別）

（単位：人）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	516	5.6	22.2	0.0
内科系	265	7.4	20.8	1.0
外科系	30	4.1	10.7	0.0
整形外科	36	2.1	10.7	0.0
小児科・小児外科	25	1.0	4.6	0.0
産婦人科・産科・婦人科	17	0.0	-	0.0
皮膚科	19	1.1	2.8	0.0
眼科	26	0.1	0.4	0.0
耳鼻いんこう科	27	0.1	0.4	0.0
精神科・心療内科	25	4.8	14.8	0.0
その他	15	8.2	9.6	5.0

（注）「1 週間に往診・訪問診療を行った在宅療養患者数」について回答のあった 516 施設を集計対象とした。

図表 2- 170 1 週間に往診・訪問診療を行った在宅療養患者数（地域別）【内科診療所】

（単位：人）

	施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
全体	234	7.8	21.9	1.0
5 万人未満	46	4.0	5.8	2.5
10 万人未満	32	6.6	14.2	1.0
20 万人未満	56	4.9	12.7	1.0
20 万人以上	100	11.6	30.5	0.0

（注）「1 週間に往診・訪問診療を行った在宅療養患者数」について回答のあった 234 施設を集計対象とした。

第3章 院長調査

1. 院長のプロフィール等

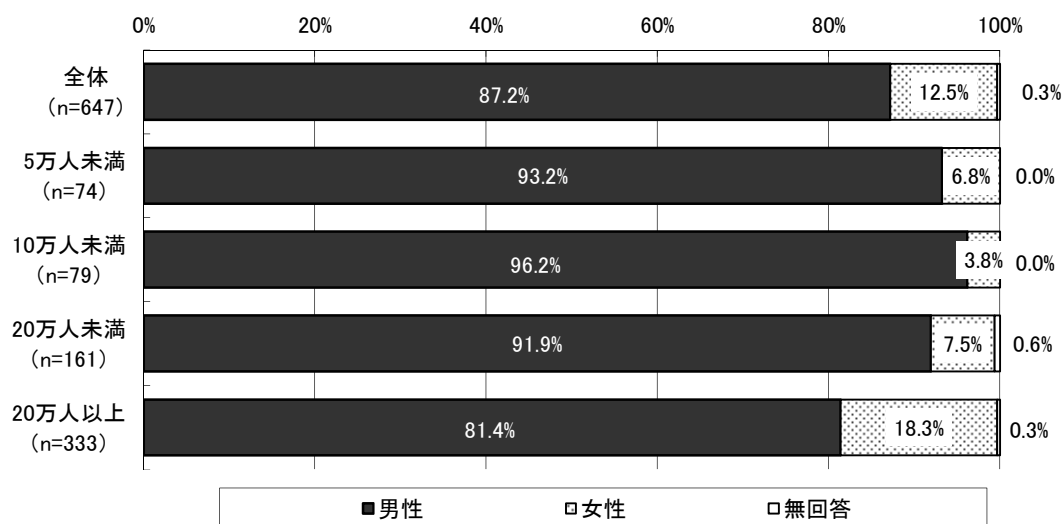
(1) 基本属性等

①性別

1) 地域別

- ・性別についてみると、「男性」が8割～9割を占める。特に10万人未満の地域では「男性」の割合が96.2%と高かった。一方、20万人以上の地域で「女性」の割合が他地域と比較して高いが、その割合は18.3%と2割に満たなかった。

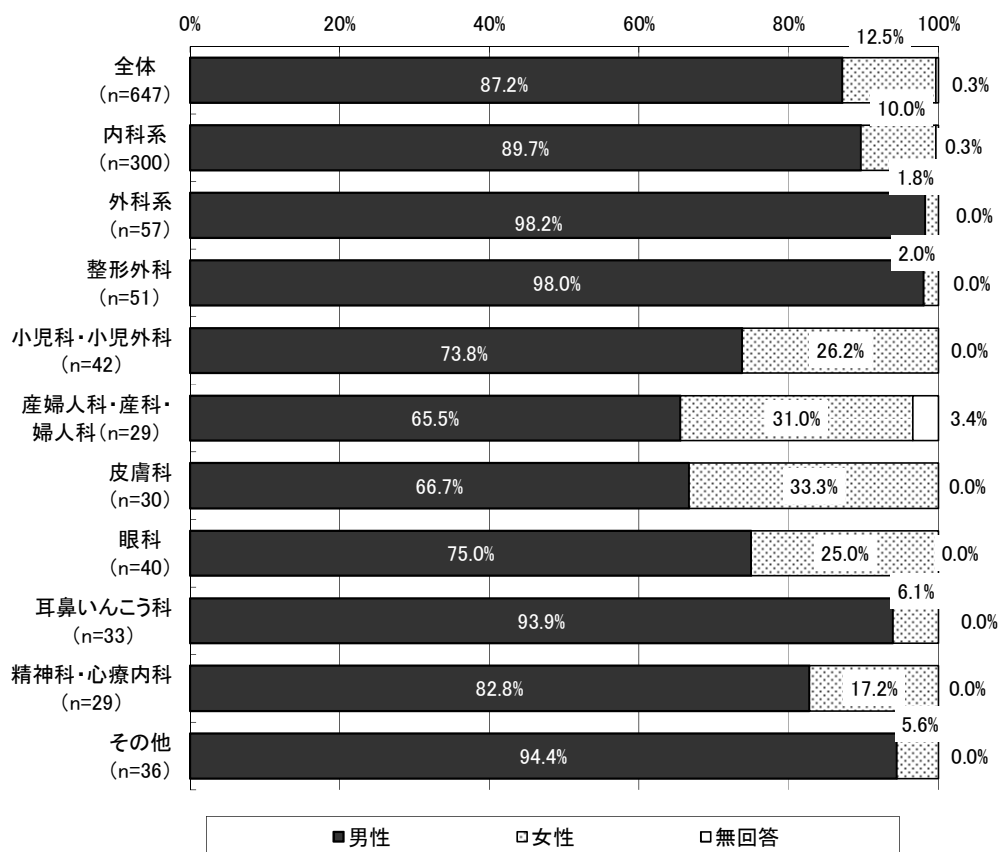
図表 3-1 性別（地域別）



2) 主たる担当診療科別

・院長の、主たる担当診療科別に性別をみると、女性の割合は「皮膚科」(33.3%)、「産婦人科・産科・婦人科」(31.0%)、「小児科・小児外科」(26.2%)、「眼科」(25.0%)で、他の診療科と比較して高かった。

図表 3-2 性別（主たる担当診療科別）

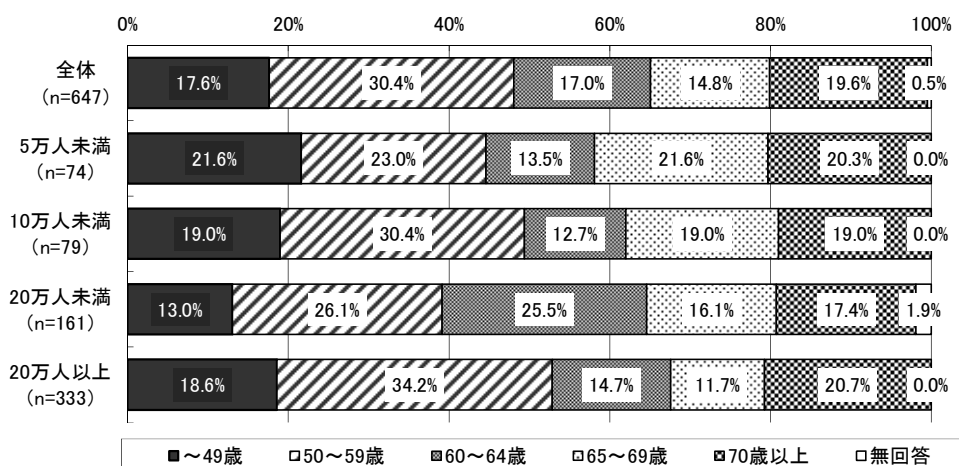


②年齢

1) 地域別

- ・年齢についてみると、いずれの地域でも「70歳以上」が2割近くを占めている。
- ・65歳以上の割合は、5万人未満の地域では41.9%、10万人未満では38.0%、20万人未満では33.5%、20万人以上では32.4%であった。
- ・平均年齢についてみると、5万人未満の地域では61.2歳、10万人未満では60.0歳、20万人未満では61.4歳、20万人以上では59.7歳であった。

図表 3-3 年齢階級（地域別）



図表 3-4 年齢（地域別）

(単位：歳)

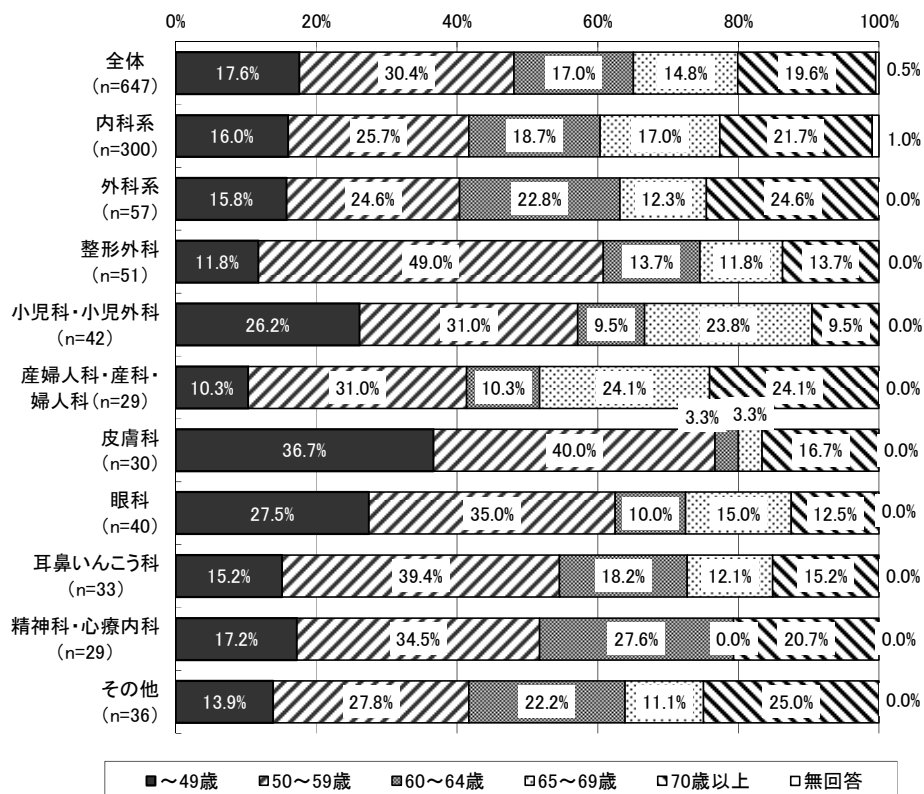
	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	644	60.3	11.2	60.0
5万人未満	74	61.2	11.9	61.0
10万人未満	79	60.0	11.0	60.0
20万人未満	158	61.4	10.4	62.0
20万人以上	333	59.7	11.4	58.0

(注)「年齢」について回答のあった644人を集計対象とした。

2) 主たる担当診療科別

- ・主たる担当診療科別に年齢階級をみると、70歳以上の割合は「外科系」が24.6%、「産婦人科・産科・婦人科」が24.1%、「内科系」が21.7%、「精神科・心療内科」が20.7%であった。
- ・平均年齢をみると、「皮膚科」が53.7歳で最も低く、「産婦人科・産科・婦人科」が64.2歳で最も高かった。

図表 3-5 年齢階級（主たる担当診療科別）



図表 3-6 年齢（主たる担当診療科別）

(単位：歳)

診療科	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	644	60.3	11.2	60.0
内科系	297	61.3	11.2	62.0
外科系	57	62.0	11.3	61.0
整形外科	51	58.7	8.4	58.0
小児科・小児外科	42	58.2	11.8	56.5
産婦人科・産科・婦人科	29	64.2	11.7	63.0
皮膚科	30	53.7	12.1	52.5
眼科	40	57.9	12.0	56.5
耳鼻いんこう科	33	59.3	10.8	59.0
精神科・心療内科	29	59.2	10.4	57.0
その他	36	60.9	10.2	61.5

(注)「年齢」について回答のあった644人を集計対象とした。

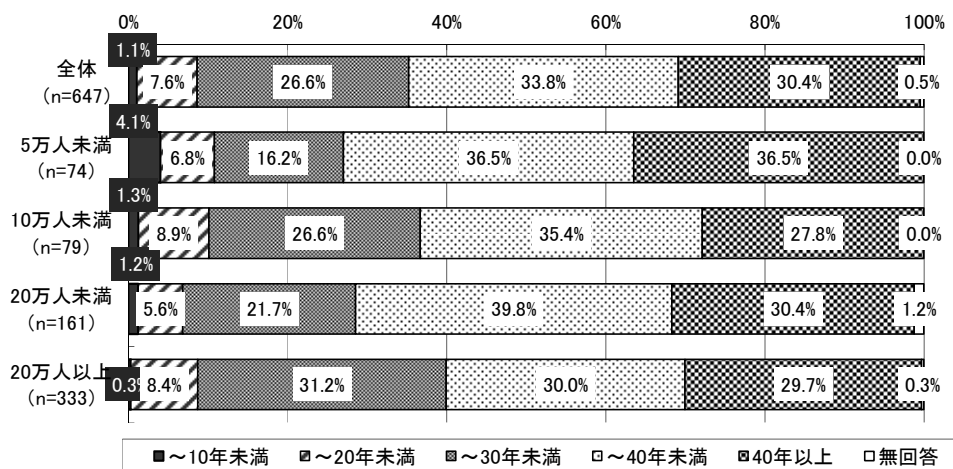
(2) 医師としての経歴等

① 医師としての勤続年数

1) 地域別

・ 医師としての勤続年数別分布についてみると、5 万人未満の地域では「40 年以上」が 36.5%を占め他地域と比較しても高かった。30 年以上の割合は、5 万人未満の地域では 73.0%、10 万人未満では 63.2%、20 万人未満では 70.2%、20 万人以上では 59.7%であり、およそ 6 割～7 割強を占めている。

図表 3-7 医師としての勤続年数別分布（地域別）



図表 3-8 医師としての勤続年数（地域別）

(単位：年)

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	644	34.0	11.2	33.0
5 万人未満	74	34.1	11.6	34.5
10 万人未満	79	33.3	10.7	33.0
20 万人未満	159	35.1	11.1	36.0
20 万人以上	332	33.5	11.4	32.0

(注) 「医師としての勤続年数」について回答のあった 644 人を集計対象とした。

2) 主たる担当診療科別

- ・主たる担当診療科別に医師としての勤続年数をみると、「産婦人科・産科・婦人科」は平均 38.0 年で最も長く、次いで「外科系」が 36.2 年、「内科系」が 34.8 年と続いた。一方、「皮膚科」は平均 27.1 年で他の診療科と比較して短かった。

図表 3-9 医師としての勤続年数（主たる担当診療科別）

(単位：年)

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	644	34.0	11.2	33.0
内科系	299	34.8	11.4	35.0
外科系	56	36.2	11.2	36.0
整形外科	51	32.4	8.4	30.0
小児科・小児外科	42	32.1	12.5	30.5
産婦人科・産科・婦人科	29	38.0	11.8	37.0
皮膚科	30	27.1	12.0	25.0
眼科	40	31.8	11.4	30.0
耳鼻いんこう科	33	32.8	9.9	33.0
精神科・心療内科	28	32.4	10.3	30.0
その他	36	34.9	10.1	34.5

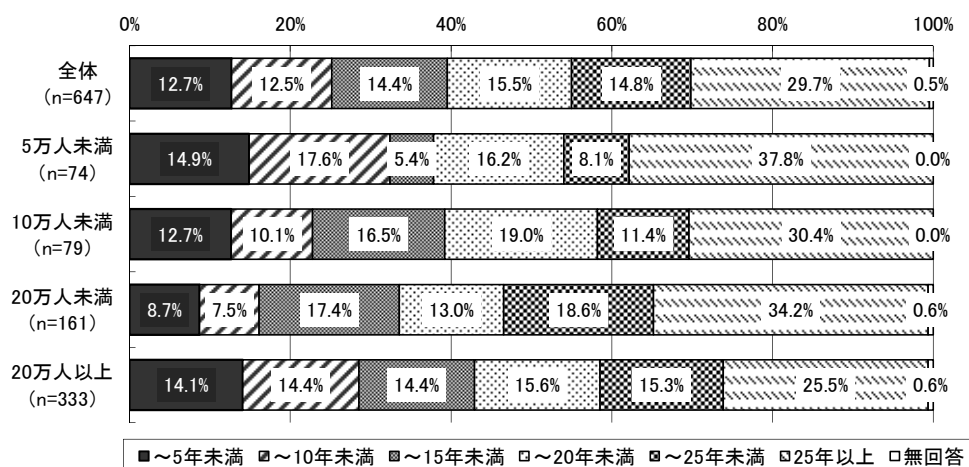
(注)「医師としての勤続年数」について回答のあった 644 人を集計対象とした。

②現在の医療機関での勤続年数

1) 地域別

- ・現在の医療機関での勤続年数別分布についてみると、5 万人未満の地域では「25 年以上」が 37.8%を占め、他の地域と比較して高かった。なお、全ての地域で「25 年以上」が最も多かった。

図表 3-10 現在の医療機関での勤続年数別分布（地域別）



図表 3- 11 現在の医療機関での勤続年数（地域別）

（単位：年）

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	644	19.1	12.5	18.0
5万人未満	74	19.9	13.3	18.5
10万人未満	79	18.8	12.0	17.0
20万人未満	160	21.1	12.3	20.0
20万人以上	331	18.0	12.4	17.0

（注）「現在の医療機関での勤続年数」について回答のあった644人を集計対象とした。

2) 主たる担当診療科別

- ・主たる担当診療科別に現在の医療機関での勤続年数をみると、「産婦人科・産科・婦人科」が平均23.9年で最も長かった。一方、「精神科・心療内科」が平均12.4年で最も短かった。「内科系」、「外科系」は平均19.8年、「整形外科」は平均17.9年であった。

図表 3- 12 現在の医療機関での勤続年数（主たる担当診療科別）

（単位：年）

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	644	19.1	12.5	18.0
内科系	298	19.8	12.9	19.0
外科系	57	19.8	12.3	19.0
整形外科	51	17.9	10.7	16.0
小児科・小児外科	41	17.1	13.0	17.0
産婦人科・産科・婦人科	29	23.9	15.1	22.0
皮膚科	30	15.6	11.6	15.5
眼科	40	17.5	10.5	19.0
耳鼻いんこう科	33	20.3	12.0	18.0
精神科・心療内科	29	12.4	9.0	13.0
その他	36	21.4	12.3	21.5

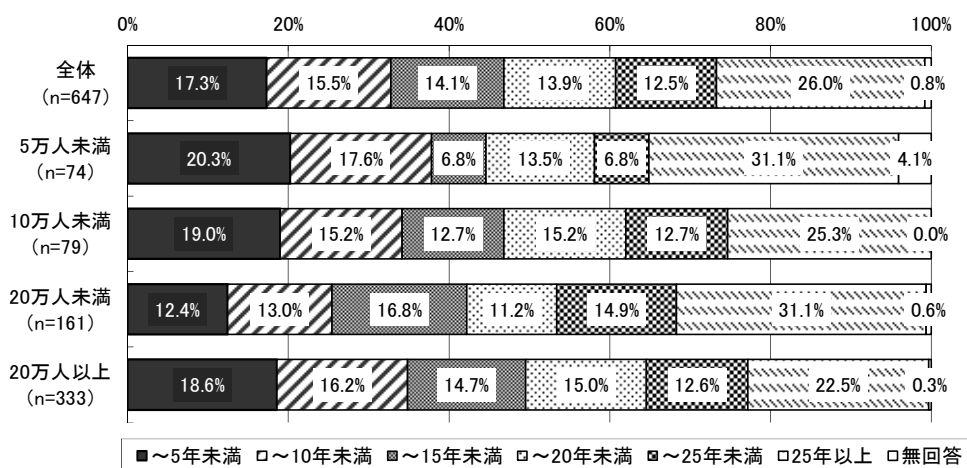
（注）「現在の医療機関での勤続年数」について回答のあった644人を集計対象とした。

③現在の医療機関での院長としての勤続年数

1) 地域別

- ・現在の医療機関での院長としての勤続年数についてみると、5万人未満、20万人未満の地域では「25年以上」が31.1%を占め、他の地域と比較して高かった。なお、全ての地域で「25年以上」が最も多かった。
- ・平均値をみると、20万人未満の地域では平均19.2年と最も長く、20万人以上の地域では平均16.5年で最も短かった。

図表 3- 13 現在の医療機関での院長としての勤続年数別分布（地域別）



図表 3- 14 現在の医療機関での院長としての勤続年数（地域別）

(単位：年)

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	642	17.4	12.7	15.0
5万人未満	71	17.8	13.6	16.0
10万人未満	79	16.8	12.4	16.0
20万人未満	160	19.2	13.0	19.0
20万人以上	332	16.5	12.5	15.0

(注)「現在の医療機関での院長としての勤続年数」について回答のあった642人を集計対象とした。

2) 主たる担当診療科別

- ・主たる担当診療科別に現在の医療機関での院長としての勤続年数をみると、「産婦人科・産科・婦人科」が平均 21.5 年で最も長かった。一方、「精神科・心療内科」が平均 11.3 年で最も短かった。

図表 3- 15 現在の医療機関での院長としての勤続年数（主たる担当診療科別）

(単位：年)

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	642	17.4	12.7	15.0
内科系	299	18.4	13.4	17.0
外科系	56	16.3	12.3	14.5
整形外科	51	16.6	11.1	15.0
小児科・小児外科	41	15.3	13.1	12.0
産婦人科・産科・婦人科	29	21.5	16.4	15.0
皮膚科	30	15.3	11.9	15.5
眼科	40	15.8	10.8	14.0
耳鼻いんこう科	33	19.3	11.9	18.0
精神科・心療内科	28	11.3	8.3	12.5
その他	35	16.9	11.4	17.0

(注) 「現在の医療機関での院長としての勤続年数」について回答のあった 642 人を集計対象とした。

④担当している診療科

1) 地域別

- ・担当している診療科についてみると、すべての地域で「内科」が最も多かった。特に5万人未満の地域では「内科」が85.1%で、他の地域と比較して割合が最も高かった。

図表 3- 16 担当している診療科（地域別、複数回答）

（単位：上段「人」、下段「%」）

	総数	内科	呼吸器内科	循環器内科	消化器内科	腎臓内科	神経内科	糖尿病内科	血液内科	皮膚科	アレルギー科
全体	647	400	68	98	141	27	21	42	6	73	52
	100.0	61.8	10.5	15.1	21.8	4.2	3.2	6.5	0.9	11.3	8.0
5万人未満	74	63	9	11	15	6	4	7	1	7	5
	100.0	85.1	12.2	14.9	20.3	8.1	5.4	9.5	1.4	9.5	6.8
10万人未満	79	51	5	13	23	0	3	3	1	8	2
	100.0	64.6	6.3	16.5	29.1	0.0	3.8	3.8	1.3	10.1	2.5
20万人未満	161	93	17	18	33	7	2	7	1	10	11
	100.0	57.8	10.6	11.2	20.5	4.3	1.2	4.3	0.6	6.2	6.8
20万人以上	333	193	37	56	70	14	12	25	3	48	34
	100.0	58.0	11.1	16.8	21.0	4.2	3.6	7.5	0.9	14.4	10.2

	総数	リウマチ科	感染症内科	小児科	精神科	心療内科	外科	呼吸器外科	心臓血管外科	乳腺外科	気管食道外科
全体	647	37	10	154	30	31	89	0	1	5	1
	100.0	5.7	1.5	23.8	4.6	4.8	13.8	0.0	0.2	0.8	0.2
5万人未満	74	2	2	22	2	2	10	0	0	0	0
	100.0	2.7	2.7	29.7	2.7	2.7	13.5	0.0	0.0	0.0	0.0
10万人未満	79	5	0	20	3	3	16	0	0	0	1
	100.0	6.3	0.0	25.3	3.8	3.8	20.3	0.0	0.0	0.0	1.3
20万人未満	161	12	3	43	5	6	20	0	0	1	0
	100.0	7.5	1.9	26.7	3.1	3.7	12.4	0.0	0.0	0.6	0.0
20万人以上	333	18	5	69	20	20	43	0	1	4	0
	100.0	5.4	1.5	20.7	6.0	6.0	12.9	0.0	0.3	1.2	0.0

	総数	消化器外科	泌尿器科	肛門外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	美容外科	眼科	耳鼻いんこう科	小児外科
全体	647	18	20	20	9	77	10	4	41	33	6
	100.0	2.8	3.1	3.1	1.4	11.9	1.5	0.6	6.3	5.1	0.9
5万人未満	74	1	2	1	0	8	0	0	1	1	0
	100.0	1.4	2.7	1.4	0.0	10.8	0.0	0.0	1.4	1.4	0.0
10万人未満	79	4	3	3	3	6	1	0	4	2	1
	100.0	5.1	3.8	3.8	3.8	7.6	1.3	0.0	5.1	2.5	1.3
20万人未満	161	8	3	6	3	23	1	0	11	13	2
	100.0	5.0	1.9	3.7	1.9	14.3	0.6	0.0	6.8	8.1	1.2
20万人以上	333	5	12	10	3	40	8	4	25	17	3
	100.0	1.5	3.6	3.0	0.9	12.0	2.4	1.2	7.5	5.1	0.9

	総数	産婦人科	産科	婦人科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科	病理診断科	臨床検査科	救急科	その他	無回答
全体	647	21	5	14	81	17	16	0	2	2	16	0
	100.0	3.2	0.8	2.2	12.5	2.6	2.5	0.0	0.3	0.3	2.5	0.0
5万人未満	74	1	0	1	6	1	1	0	0	0	1	0
	100.0	1.4	0.0	1.4	8.1	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0
10万人未満	79	2	1	1	10	2	1	0	0	0	1	0
	100.0	2.5	1.3	1.3	12.7	2.5	1.3	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0
20万人未満	161	4	1	2	32	7	7	0	1	0	3	0
	100.0	2.5	0.6	1.2	19.9	4.3	4.3	0.0	0.6	0.0	1.9	0.0
20万人以上	333	14	3	10	33	7	7	0	1	2	11	0
	100.0	4.2	0.9	3.0	9.9	2.1	2.1	0.0	0.3	0.6	3.3	0.0

2) 主たる担当診療科別

- ・主たる担当診療科別に担当している診療科をみると、主たる担当診療科が「内科系」の院長が担当している診療科としては、内科系の各診療科のほかに、「小児科」(34.0%)、「外科」(12.0%)、「リハビリテーション科」(9.0%)が挙げられる。
- ・主たる担当診療科が「外科系」の院長が担当している診療科としては、外科系の各診療科のほかに、「内科」(50.9%)、「消化器内科」(28.1%)、「皮膚科」(19.3%)が挙げられる。

図表 3- 17 担当している診療科（主たる担当診療科別、複数回答）

(単位：上段「人」、下段「%」)

	総数	内科	呼吸器内科	循環器内科	消化器内科	腎臓内科	神経内科	糖尿病内科	血液内科	皮膚科	アレルギー科
全体	647	400	68	98	141	27	21	42	6	73	52
	100.0	61.8	10.5	15.1	21.8	4.2	3.2	6.5	0.9	11.3	8.0
内科系	300	296	60	85	114	19	15	36	6	21	21
	100.0	98.7	20.0	28.3	38.0	6.3	5.0	12.0	2.0	7.0	7.0
外科系	57	29	2	5	16	4	3	3	0	11	2
	100.0	50.9	3.5	8.8	28.1	7.0	5.3	5.3	0.0	19.3	3.5
整形外科	51	15	1	1	2	0	1	0	0	4	0
	100.0	29.4	2.0	2.0	3.9	0.0	2.0	0.0	0.0	7.8	0.0
小児科・小児外科	42	15	0	0	1	0	0	0	0	3	12
	100.0	35.7	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	28.6
産婦人科・産科・婦人科	29	6	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	100.0	20.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.9	0.0
皮膚科	30	1	0	0	0	0	0	0	0	30	8
	100.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	26.7
眼科	40	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0
耳鼻いんこう科	33	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	100.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2
精神科・心療内科	29	10	0	0	0	0	2	0	0	0	0
	100.0	34.5	0.0	0.0	0.0	0.0	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	36	27	5	7	8	4	0	3	0	1	3
	100.0	75.0	13.9	19.4	22.2	11.1	0.0	8.3	0.0	2.8	8.3

	総数	リウマチ科	感染症内科	小児科	精神科	心療内科	外科	呼吸器外科	心臓血管外科	乳腺外科	気管食道外科
全体	647	37	10	154	30	31	89	0	1	5	1
	100.0	5.7	1.5	23.8	4.6	4.8	13.8	0.0	0.2	0.8	0.2
内科系	300	5	9	102	4	11	36	0	0	1	0
	100.0	1.7	3.0	34.0	1.3	3.7	12.0	0.0	0.0	0.3	0.0
外科系	57	4	0	1	0	1	37	0	1	4	0
	100.0	7.0	0.0	1.8	0.0	1.8	64.9	0.0	1.8	7.0	0.0
整形外科	51	24	0	0	0	0	6	0	0	0	0
	100.0	47.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0
小児科・小児外科	42	0	0	40	0	1	1	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	95.2	0.0	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
産婦人科・産科・婦人科	29	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	13.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
皮膚科	30	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
眼科	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
耳鼻いんこう科	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0
精神科・心療内科	29	0	0	1	26	18	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	3.4	89.7	62.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	36	4	1	4	0	0	9	0	0	0	0
	100.0	11.1	2.8	11.1	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0

院長調査

	総数	消化器外科	泌尿器科	肛門外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	美容外科	眼科	耳鼻いんこう科	小児外科
全体	647	18	20	20	9	77	10	4	41	33	6
	100.0	2.8	3.1	3.1	1.4	11.9	1.5	0.6	6.3	5.1	0.9
内科系	300	3	3	8	1	11	0	0	1	0	2
	100.0	1.0	1.0	2.7	0.3	3.7	0.0	0.0	0.3	0.0	0.7
外科系	57	15	11	9	8	10	6	3	0	0	0
	100.0	26.3	19.3	15.8	14.0	17.5	10.5	5.3	0.0	0.0	0.0
整形外科	51	0	0	1	0	51	1	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	2.0	0.0	100.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小児科・小児外科	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8
産婦人科・産科・婦人科	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4
皮膚科	30	0	5	0	0	0	3	1	0	0	0
	100.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	10.0	3.3	0.0	0.0	0.0
眼科	40	0	0	0	0	0	0	0	40	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
耳鼻いんこう科	33	0	0	0	0	0	0	0	0	33	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
精神科・心療内科	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	36	0	1	2	0	5	0	0	0	0	1
	100.0	0.0	2.8	5.6	0.0	13.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8

	総数	産婦人科	産科	婦人科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科	病理診断科	臨床検査科	救急科	その他	無回答
全体	647	21	5	14	81	17	16	0	2	2	16	0
	100.0	3.2	0.8	2.2	12.5	2.6	2.5	0.0	0.3	0.3	2.5	0.0
内科系	300	0	0	2	27	11	2	0	1	2	6	0
	100.0	0.0	0.0	0.7	9.0	3.7	0.7	0.0	0.3	0.7	2.0	0.0
外科系	57	0	0	0	12	4	2	0	0	0	1	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	21.1	7.0	3.5	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0
整形外科	51	0	0	0	34	1	2	0	0	0	1	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	66.7	2.0	3.9	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0
小児科・小児外科	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
産婦人科・産科・婦人科	29	21	4	10	0	1	3	0	0	0	0	0
	100.0	72.4	13.8	34.5	0.0	3.4	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
皮膚科	30	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
眼科	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
耳鼻いんこう科	33	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
精神科・心療内科	29	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0
その他	36	0	1	1	7	0	5	0	1	0	7	0
	100.0	0.0	2.8	2.8	19.4	0.0	13.9	0.0	2.8	0.0	19.4	0.0

⑤担当している主たる診療科

- ・院長が担当している主たる診療科（中分類）についてみると、すべての地域で「内科」が最も多かった。特に5万人未満の地域では「内科系」が71.6%となっており、他の地域と比較して高かった。
- ・20万人以上の地域では、「小児科・小児外科」、「産婦人科・産科・婦人科」、「皮膚科」、「眼科」、「精神科・心療内科」の割合が他の地域と比較して相対的に高かった。

図表 3- 18 担当している主たる診療科（中分類）（地域別）

（単位：上段「人」、下段「%」）

	総数	内科系	外科系	整形外科	小児科・ 小児外科	産婦人科・産科・ 婦人科	皮膚科	眼科	耳鼻いん こう科	精神科・ 心療内科	その他	無回答
全体	647	300	57	51	42	29	30	40	33	29	36	0
	100.0	46.4	8.8	7.9	6.5	4.5	4.6	6.2	5.1	4.5	5.6	0.0
5万人未満	74	53	5	4	2	2	1	1	1	1	4	0
	100.0	71.6	6.8	5.4	2.7	2.7	1.4	1.4	1.4	1.4	5.4	0.0
10万人未満	79	43	12	4	5	2	3	4	2	3	1	0
	100.0	54.4	15.2	5.1	6.3	2.5	3.8	5.1	2.5	3.8	1.3	0.0
20万人未満	161	76	14	17	9	6	4	10	13	5	7	0
	100.0	47.2	8.7	10.6	5.6	3.7	2.5	6.2	8.1	3.1	4.3	0.0
20万人以上	333	128	26	26	26	19	22	25	17	20	24	0
	100.0	38.4	7.8	7.8	7.8	5.7	6.6	7.5	5.1	6.0	7.2	0.0

図表 3- 19 担当している主たる診療科（地域別）

（単位：上段「人」、下段「%」）

	総数	内科	呼吸器内 科	循環器内 科	消化器内 科	腎臓内科	神経内科	糖尿病内 科	血液内科	皮膚科	アレルギー 科
全体	647	259	2	8	18	4	2	7	0	30	0
	100.0	40.0	0.3	1.2	2.8	0.6	0.3	1.1	0.0	4.6	0.0
5万人未満	74	50	0	1	1	1	0	0	0	1	0
	100.0	67.6	0.0	1.4	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0
10万人未満	79	37	0	2	2	0	1	1	0	3	0
	100.0	46.8	0.0	2.5	2.5	0.0	1.3	1.3	0.0	3.8	0.0
20万人未満	161	69	0	2	3	2	0	0	0	4	0
	100.0	42.9	0.0	1.2	1.9	1.2	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0
20万人以上	333	103	2	3	12	1	1	6	0	22	0
	100.0	30.9	0.6	0.9	3.6	0.3	0.3	1.8	0.0	6.6	0.0

	総数	リウマチ科	感染症内 科	小児科	精神科	心療内科	外科	呼吸器外 科	心臓血管 外科	乳腺外科	気管食道 外科
全体	647	0	0	40	24	5	27	0	1	1	0
	100.0	0.0	0.0	6.2	3.7	0.8	4.2	0.0	0.2	0.2	0.0
5万人未満	74	0	0	2	1	0	4	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	2.7	1.4	0.0	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0
10万人未満	79	0	0	5	3	0	7	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	6.3	3.8	0.0	8.9	0.0	0.0	0.0	0.0
20万人未満	161	0	0	8	4	1	7	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	5.0	2.5	0.6	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0
20万人以上	333	0	0	25	16	4	9	0	1	1	0
	100.0	0.0	0.0	7.5	4.8	1.2	2.7	0.0	0.3	0.3	0.0

	総数	消化器外科	泌尿器科	肛門外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	美容外科	眼科	耳鼻いんこう科	小児外科
全体	647	5	9	1	8	51	3	2	40	33	2
	100.0	0.8	1.4	0.2	1.2	7.9	0.5	0.3	6.2	5.1	0.3
5万人未満	74	0	1	0	0	4	0	0	1	1	0
	100.0	0.0	1.4	0.0	0.0	5.4	0.0	0.0	1.4	1.4	0.0
10万人未満	79	0	2	0	3	4	0	0	4	2	0
	100.0	0.0	2.5	0.0	3.8	5.1	0.0	0.0	5.1	2.5	0.0
20万人未満	161	3	1	0	3	17	0	0	10	13	1
	100.0	1.9	0.6	0.0	1.9	10.6	0.0	0.0	6.2	8.1	0.6
20万人以上	333	2	5	1	2	26	3	2	25	17	1
	100.0	0.6	1.5	0.3	0.6	7.8	0.9	0.6	7.5	5.1	0.3

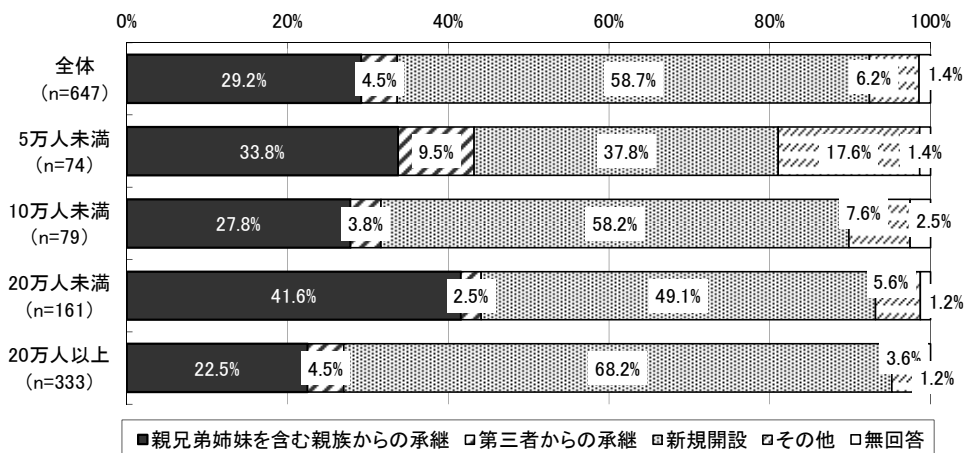
	総数	産婦人科	産科	婦人科	リハビリテーション科	放射線科	麻酔科	病理診断科	臨床検査科	救急科	その他	無回答
全体	647	20	1	8	1	0	2	0	1	0	5	27
	100.0	3.1	0.2	1.2	0.2	0.0	0.3	0.0	0.2	0.0	0.8	4.2
5万人未満	74	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3
	100.0	1.4	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	4.1
10万人未満	79	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	100.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3
20万人未満	161	4	1	1	0	0	2	0	0	0	0	5
	100.0	2.5	0.6	0.6	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1
20万人以上	333	13	0	6	1	0	0	0	1	0	4	18
	100.0	3.9	0.0	1.8	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	1.2	5.4

⑥開業の形態

1) 地域別

- ・開業の形態についてみると、いずれの地域も「新規開設」が最も多かったが、この割合は地域によって大きな差がみられた。具体的には、20万人以上の地域では7割近くを占めているが、5万人未満では4割未満となっている。
- ・「親兄弟姉妹を含む親族からの承継」の割合は、20万人未満の地域が41.6%で最も高く、20万人以上が22.5%で最も低かった。
- ・5万人未満の地域では「第三者からの承継」が1割近くあり、他の地域と比較して高かった。

図表 3- 20 開業の形態（地域別）

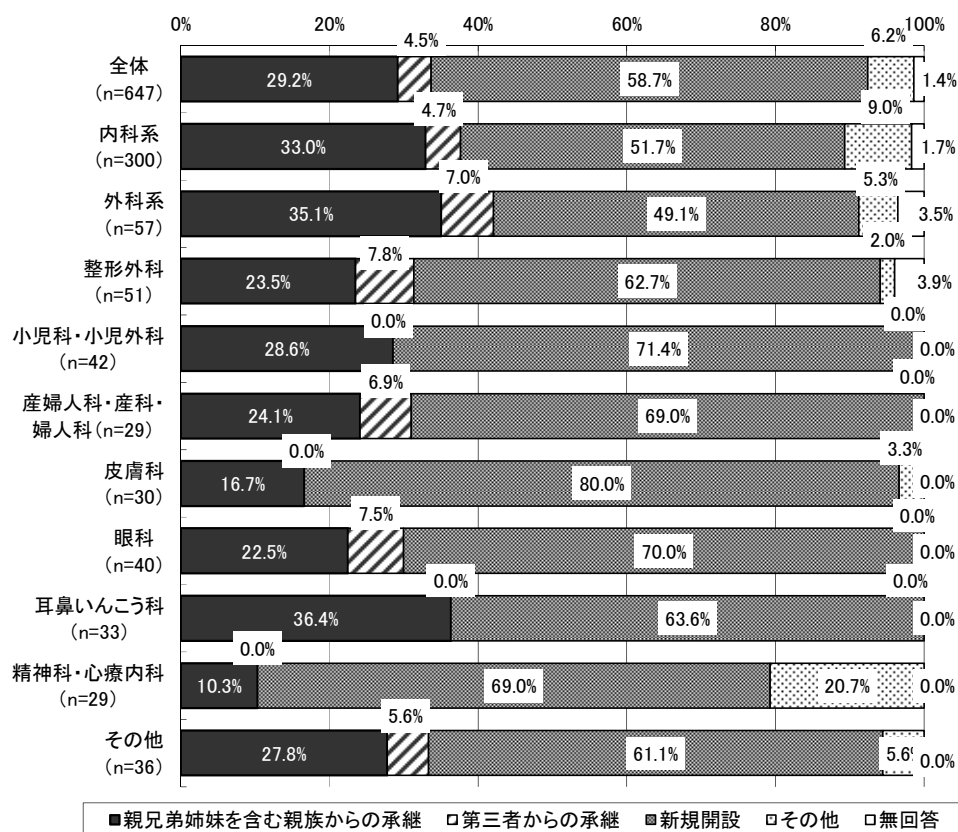


(注) 「その他」の内容として、「公的医療機関」(同旨含め 13 件)、「法人に雇用」(同旨含め 10 件)、「医療生協」等が挙げられた。

2) 主たる担当診療科別

- ・主たる担当診療科別に開業の形態をみると、すべての診療科で「新規開設」が最も多かった。特に「皮膚科」では80.0%と高かった。

図表 3-21 開業の形態（主たる担当診療科別）

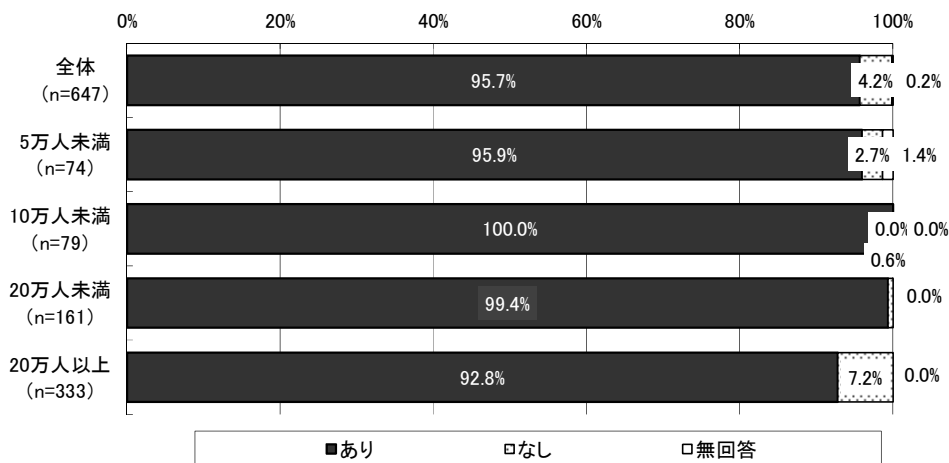


⑦ 医師会加入の有無

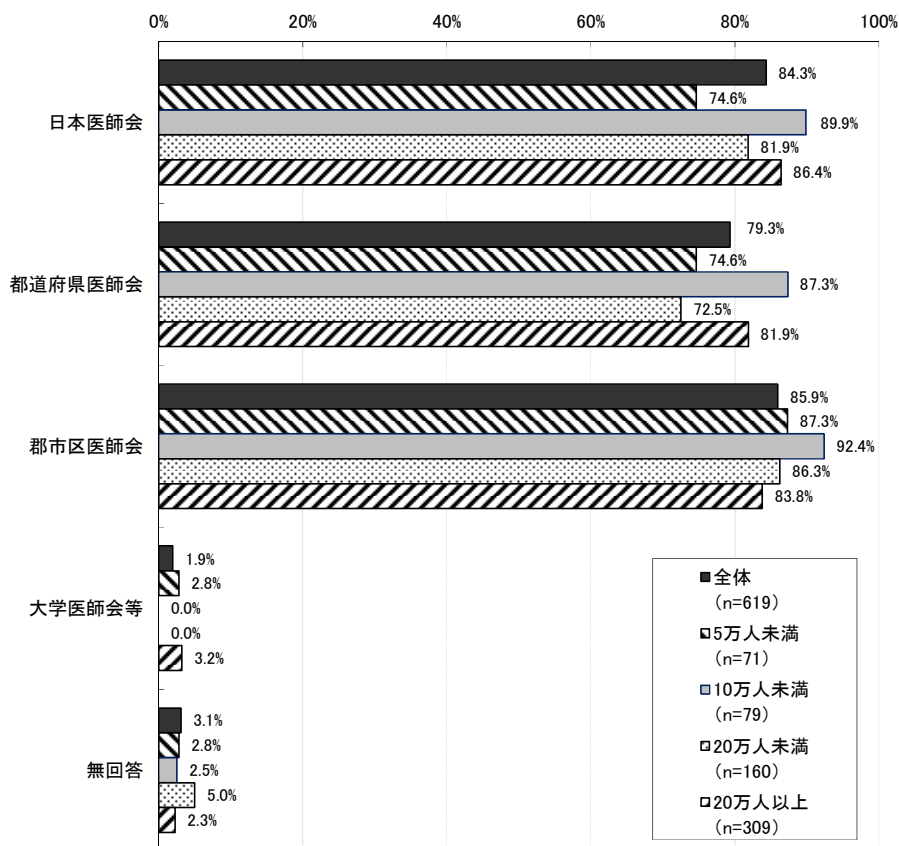
1) 地域別

- ・ 医師会加入の有無についてみると、すべての地域で「あり」の割合は 9 割を超えた。
しかし、20 万人以上の地域では「なし」が 7.2%で他の地域と比較して高かった。

図表 3- 22 医師会加入の有無（地域別）



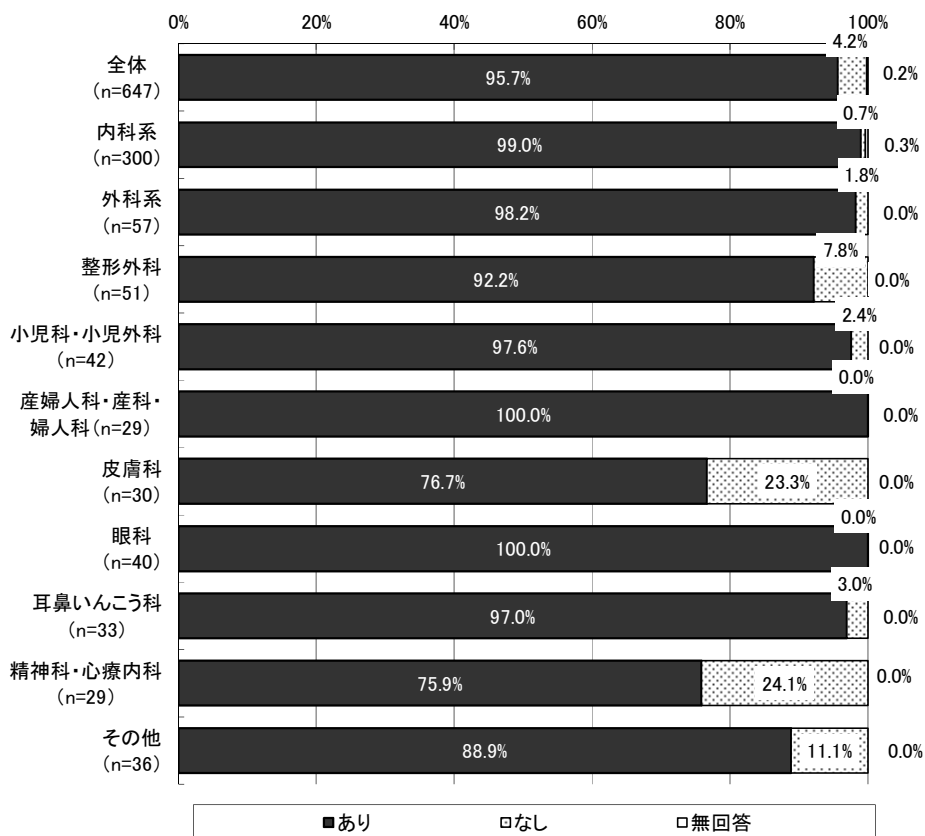
図表 3- 23 入会内容（地域別、複数回答）（医師会に加入している院長）



2) 主たる担当診療科別

・主たる担当診療科別に医師会加入の有無をみると、「あり」の割合は7割強から10割となった。一方で、「精神科・心療内科」では24.1%、「皮膚科」では23.3%、「整形外科」では7.8%と、他の診療科と比較して「なし」の割合が相対的に高かった。

図表 3- 24 医師会加入の有無（主たる担当診療科別）



図表 3-25 入会内容（主たる担当診療科別、複数回答）
（医師会に加入している院長）

（単位：上段「人」、下段「%」）

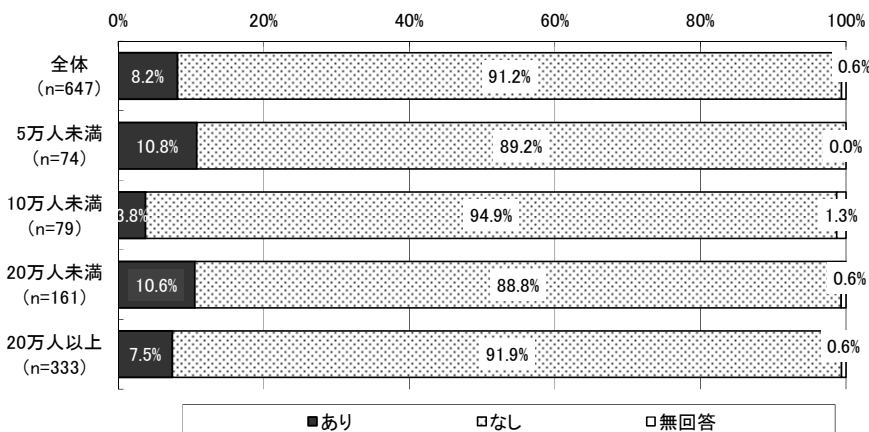
	総数	日本 医師会	都道府県 医師会	都市区 医師会	大学 医師会等	無回答
全体	619	522	491	532	12	19
	100.0	84.3	79.3	85.9	1.9	3.1
内科系	297	249	232	265	3	8
	100.0	83.8	78.1	89.2	1.0	2.7
外科系	56	51	47	47	0	1
	100.0	91.1	83.9	83.9	0.0	1.8
整形外科	47	35	33	34	0	1
	100.0	74.5	70.2	72.3	0.0	2.1
小児科・小児 外科	41	36	36	38	0	2
	100.0	87.8	87.8	92.7	0.0	4.9
産婦人科・産 科・婦人科	29	26	24	24	2	1
	100.0	89.7	82.8	82.8	6.9	3.4
皮膚科	23	20	20	19	1	1
	100.0	87.0	87.0	82.6	4.3	4.3
眼科	40	33	30	35	4	1
	100.0	82.5	75.0	87.5	10.0	2.5
耳鼻いんこう 科	32	28	25	29	1	1
	100.0	87.5	78.1	90.6	3.1	3.1
精神科・心療 内科	22	17	18	18	0	0
	100.0	77.3	81.8	81.8	0.0	0.0
その他	32	27	26	23	1	3
	100.0	84.4	81.3	71.9	3.1	9.4

⑧介護支援専門員の資格の有無

1) 地域別

- ・介護支援専門員の資格の有無についてみると、「あり」の割合は、5万人未満の地域では10.8%、10万人未満では3.8%、20万人未満では10.6%、20万人以上では7.5%であった。

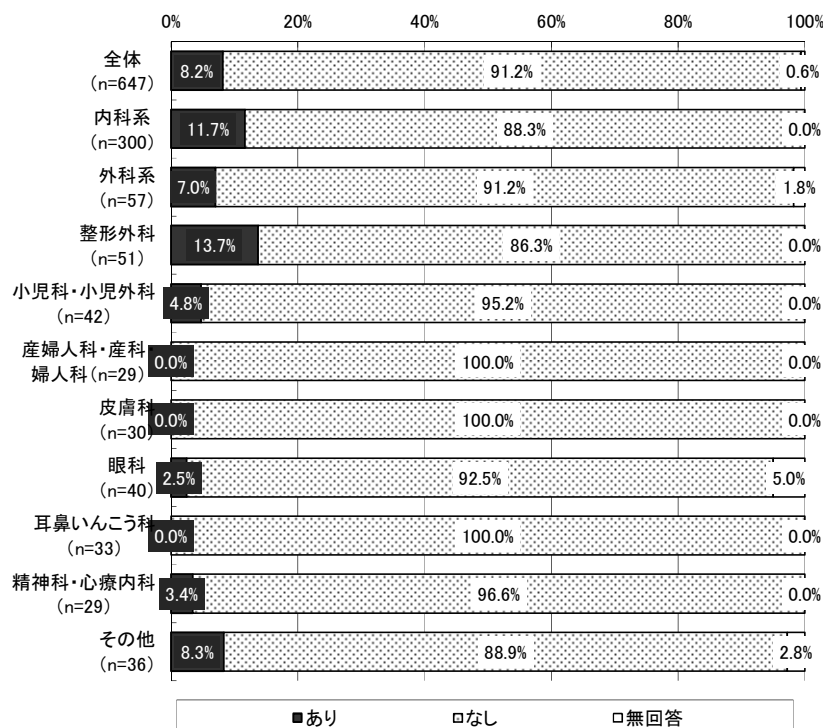
図表 3-26 介護支援専門員の資格の有無（地域別）



2) 主たる担当診療科別

- ・主たる担当診療科別に介護支援専門員の資格の有無をみると、「あり」の割合は、「整形外科」が13.7%、「内科系」が11.7%で、他の診療科と比較して高かった。

図表 3-27 介護支援専門員の資格の有無（主たる担当診療科別）



2. 教育・研修の経験等

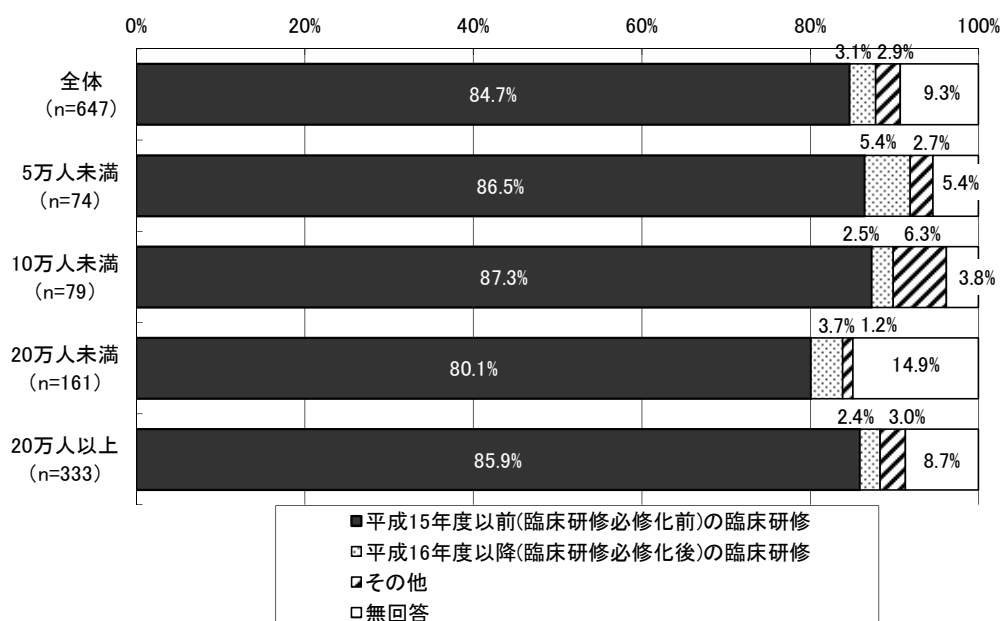
(1) 専門医の取得状況等

① 大学卒業後に受けた臨床研修

1) 地域別

- ・大学卒業後に受けた臨床研修についてみると、「平成15年度以前（臨床研修必修化前）の臨床研修」が8割から9割近くを占めた。

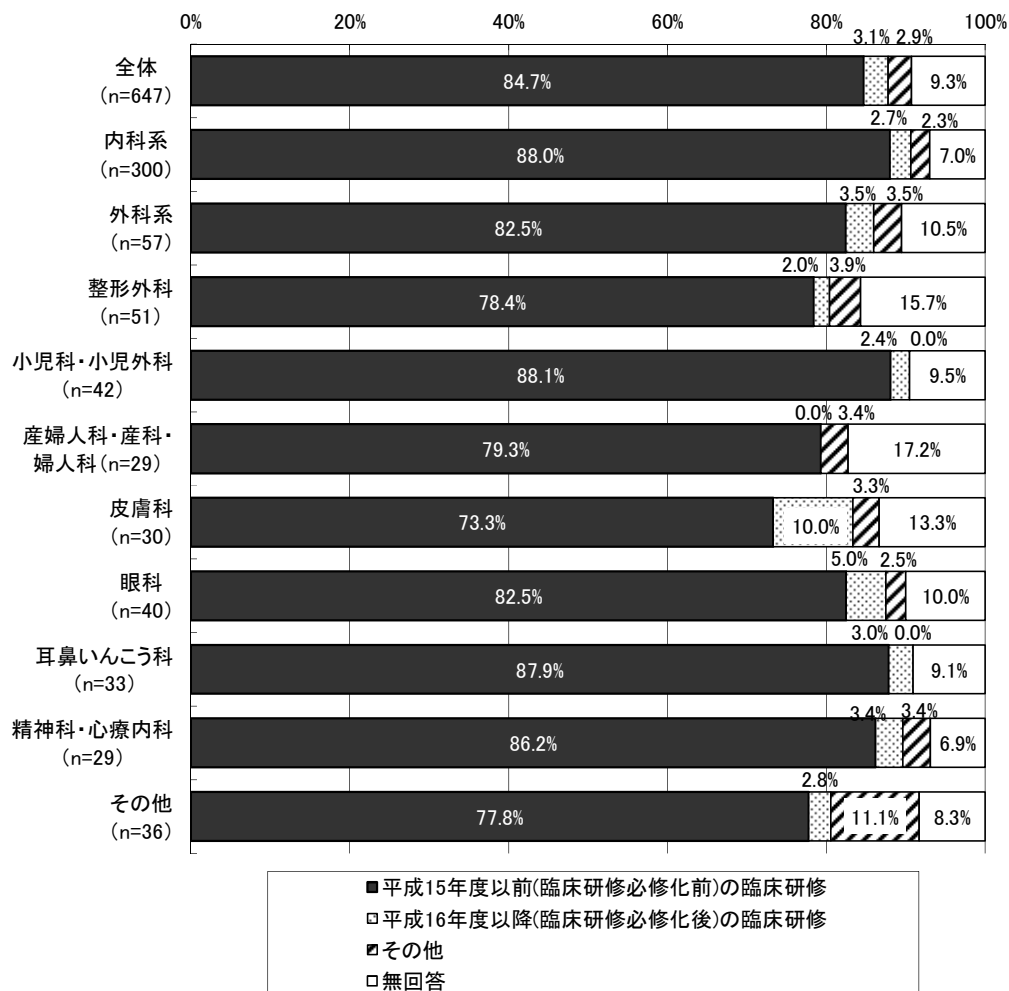
図表 3-28 大学卒業後に受けた臨床研修（地域別）



(注) 「その他」の内容として、「研修がなかった」(同旨含め3件)等が挙げられた。

2) 主たる担当診療科別

図表 3- 29 大学卒業後に受けた臨床研修（主たる担当診療科別）

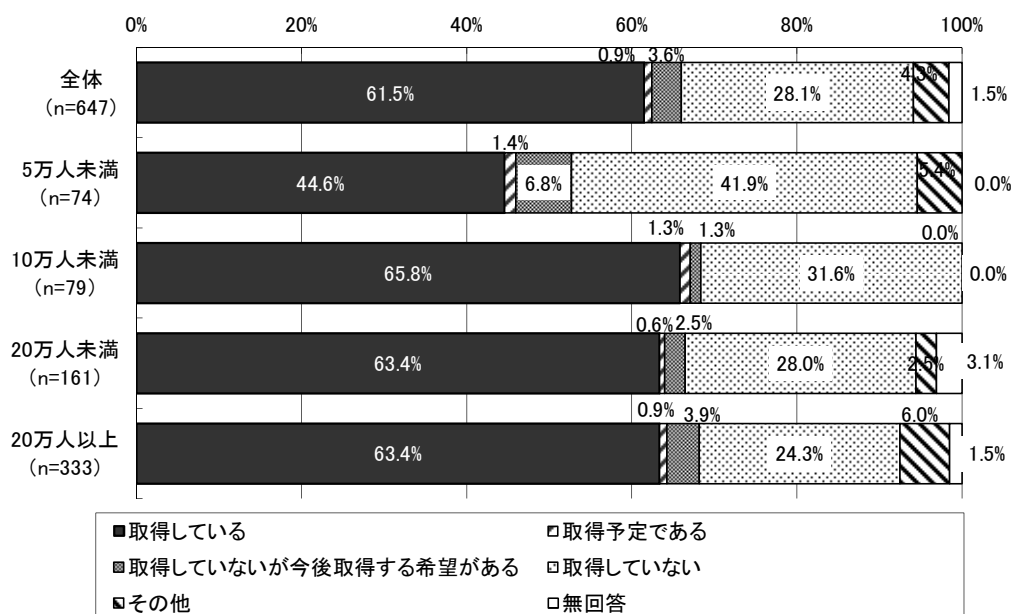


②専門医の取得状況

1) 地域別

- ・専門医の取得状況についてみると、専門医を「取得している」という割合は、5万人未満の地域では44.6%、10万人未満では65.8%、20万人未満と20万人以上では63.4%であった。5万人未満の地域では「取得している」の割合が他の地域と比較して低かった。

図表 3- 30 専門医の取得状況（地域別）

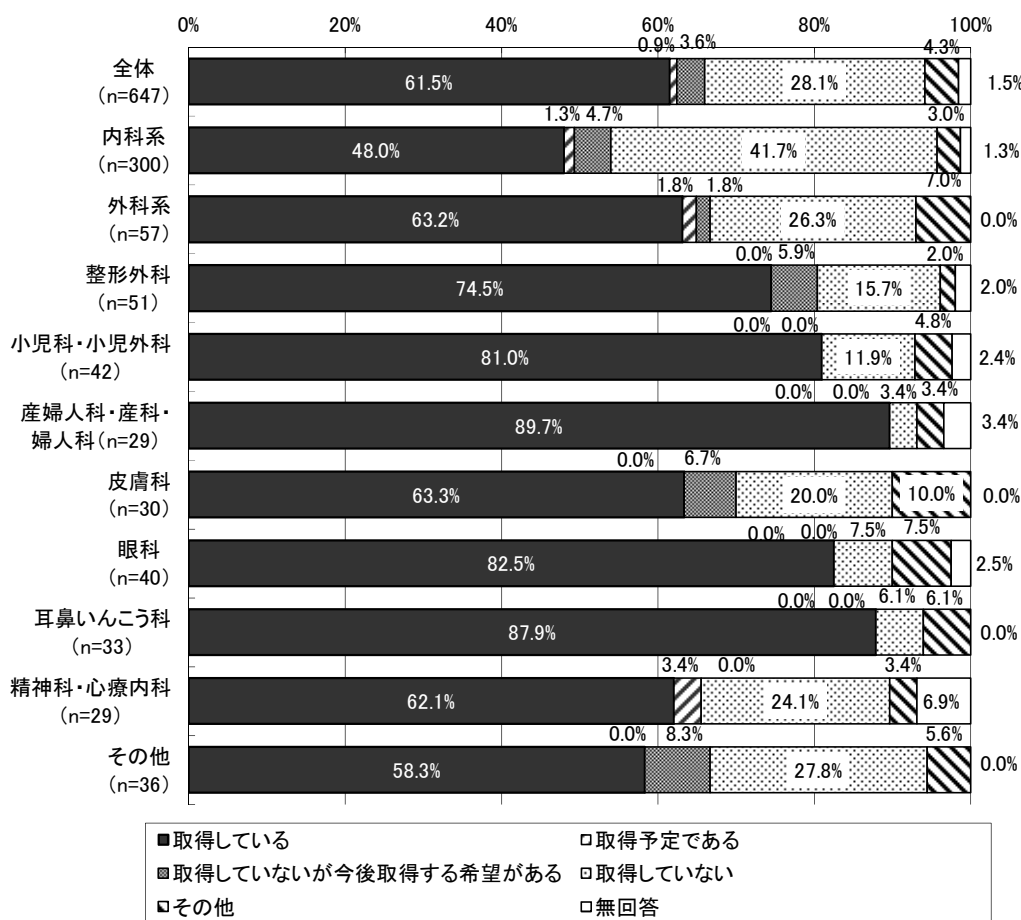


(注) 「その他」の内容として、「取得していた（現在は維持せず）」（同旨含め 22 件）等が挙げられた。

2) 主たる担当診療科別

・主たる担当診療科別に専門医の取得状況をみると、「取得している」の割合は、「内科系」で48.0%と他の診療科と比較して低く、「産婦人科・産科・婦人科」が89.7%で他の診療科と比較して高かった。また、「取得していないが今後取得する希望がある」の割合は「皮膚科」が6.7%、「整形外科」が5.9%、「内科系」が4.7%で「全体」と比較するとやや高かった。

図表 3- 31 専門医の取得状況（主たる担当診療科別）



(注) 「その他」の内容として、「取得していた（現在は維持せず）」（同旨含め 22 件）等が挙げられた。

③取得している専門医の内容

1) 地域別

・取得している専門医の内容は、次のとおりである。

図表 3- 32 取得している専門医の内容（専門医を取得している院長、地域別、複数回答）

（単位：上段「人」、下段「%」）

	総数	総合内科 専門医	小児科専 門医	皮膚科専 門医	精神科専 門医	外科専門 医	整形外科 専門医	産婦人科 専門医	眼科専門 医	耳鼻咽喉 科専門医	泌尿器科 専門医
全体	455	65	36	19	17	31	44	29	35	29	10
	100.0	14.3	7.9	4.2	3.7	6.8	9.7	6.4	7.7	6.4	2.2
5万人未満	43	12	2	1	1	4	3	2	1	1	1
	100.0	27.9	4.7	2.3	2.3	9.3	7.0	4.7	2.3	2.3	2.3
10万人未満	54	4	6	3	2	6	5	2	4	2	1
	100.0	7.4	11.1	5.6	3.7	11.1	9.3	3.7	7.4	3.7	1.9
20万人未満	111	16	8	2	2	8	13	5	8	12	1
	100.0	14.4	7.2	1.8	1.8	7.2	11.7	4.5	7.2	10.8	0.9
20万人以上	247	33	20	13	12	13	23	20	22	14	7
	100.0	13.4	8.1	5.3	4.9	5.3	9.3	8.1	8.9	5.7	2.8

	総数	脳神経外 科専門医	放射線科 専門医	麻酔科専 門医	病理専門 医	臨床検査 専門医	救急科専 門医	形成外科 専門医	リハビリテ ーション科 専門医	消化器病 専門医	循環器専 門医
全体	455	9	2	3	0	0	3	5	11	47	28
	100.0	2.0	0.4	0.7	0.0	0.0	0.7	1.1	2.4	10.3	6.2
5万人未満	43	0	0	0	0	0	0	0	0	6	5
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	11.6
10万人未満	54	3	0	0	0	0	1	0	1	4	4
	100.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	1.9	7.4	7.4
20万人未満	111	3	1	1	0	0	0	0	3	16	6
	100.0	2.7	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	14.4	5.4
20万人以上	247	3	1	2	0	0	2	5	7	21	13
	100.0	1.2	0.4	0.8	0.0	0.0	0.8	2.0	2.8	8.5	5.3

	総数	呼吸器専 門医	血液専門 医	内分泌代 謝科専門 医	糖尿病専 門医	腎臓専門 医	肝臓専門 医	アレルギー 専門医	感染症専 門医	老年病専 門医	神経内科 専門医
全体	455	7	7	6	13	4	10	11	3	9	5
	100.0	1.5	1.5	1.3	2.9	0.9	2.2	2.4	0.7	2.0	1.1
5万人未満	43	0	0	1	0	0	0	0	1	2	1
	100.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	4.7	2.3
10万人未満	54	1	3	1	1	0	2	0	0	1	1
	100.0	1.9	5.6	1.9	1.9	0.0	3.7	0.0	0.0	1.9	1.9
20万人未満	111	2	0	2	2	2	4	2	1	1	1
	100.0	1.8	0.0	1.8	1.8	1.8	3.6	1.8	0.9	0.9	0.9
20万人以上	247	4	4	2	10	2	4	9	1	5	2
	100.0	1.6	1.6	0.8	4.0	0.8	1.6	3.6	0.4	2.0	0.8

	総数	消化器外科専門医	呼吸器外科専門医	心臓血管外科専門医	小児外科専門医	リハビリ専門医	小児循環器専門医	小児神経専門医	小児血液・がん専門医	周産期専門医	婦人科腫瘍専門医
全体	455	10	0	0	1	11	0	1	0	0	0
	100.0	2.2	0.0	0.0	0.2	2.4	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0
5万人未満	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10万人未満	54	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	100.0	3.7	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20万人未満	111	4	0	0	1	4	0	0	0	0	0
	100.0	3.6	0.0	0.0	0.9	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20万人以上	247	4	0	0	0	6	0	1	0	0	0
	100.0	1.6	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0

	総数	生殖医療専門医	頭頸部がん専門医	放射線治療専門医	放射線診断専門医	手外科専門医	脊椎脊髄外科専門医	集中治療専門医	漢方専門医	透析専門医	ペインクリニック専門医
全体	455	0	0	0	4	0	6	0	16	9	3
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	1.3	0.0	3.5	2.0	0.7
5万人未満	43	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	2.3	2.3	0.0
10万人未満	54	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	1.9	0.0	1.9	0.0	0.0
20万人未満	111	0	0	0	1	0	1	0	5	1	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.9	0.0	4.5	0.9	0.9
20万人以上	247	0	0	0	1	0	4	0	9	7	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	1.6	0.0	3.6	2.8	0.8

	総数	乳腺専門医	熱傷専門医	がん薬物療法専門医	心療内科専門医	その他	無回答
全体	455	1	0	0	6	34	37
	100.0	0.2	0.0	0.0	1.3	7.5	8.1
5万人未満	43	0	0	0	0	11	4
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.6	9.3
10万人未満	54	0	0	0	1	6	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	1.9	11.1	1.9
20万人未満	111	0	0	0	2	8	9
	100.0	0.0	0.0	0.0	1.8	7.2	8.1
20万人以上	247	1	0	0	3	9	23
	100.0	0.4	0.0	0.0	1.2	3.6	9.3

(注)「その他」の内容として、「消化器内視鏡専門医」(同旨含め 16 件)、「認定内科医」(同旨含め 3 件)、「プライマリ・ケア認定医」(同旨含め 3 件)、「脳卒中専門医」(同旨含め 2 件)、「超音波専門医」(同旨含め 2 件)、「気管食道科専門医」、「細胞診専門医」、「心身医療専門医」、「消化器がん検診認定医」等が挙げられた。

2) 主たる担当診療科別

図表 3- 33 取得している専門医の内容
(専門医を取得している院長、主たる担当診療科別、複数回答)

(単位：上段「人」、下段「%」)

	総数	総合内科 専門医	小児科専 門医	皮膚科専 門医	精神科専 門医	外科専門 医	整形外科 専門医	産婦人科 専門医	眼科専門 医	耳鼻咽喉 科専門医	泌尿器科 専門医
全体	455	65	36	19	17	31	44	29	35	29	10
	100.0	14.3	7.9	4.2	3.7	6.8	9.7	6.4	7.7	6.4	2.2
内科系	171	56	2	0	1	11	0	2	1	0	1
	100.0	32.7	1.2	0.0	0.6	6.4	0.0	1.2	0.6	0.0	0.6
外科系	42	1	0	0	0	17	1	0	0	0	8
	100.0	2.4	0.0	0.0	0.0	40.5	2.4	0.0	0.0	0.0	19.0
整形外科	42	0	0	0	0	0	39	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	92.9	0.0	0.0	0.0	0.0
小児科・小児 外科	36	0	34	0	0	1	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	94.4	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
産婦人科・産 科・婦人科	27	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	92.6	0.0	0.0	0.0
皮膚科	24	0	0	19	0	0	0	1	0	0	1
	100.0	0.0	0.0	79.2	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	4.2
眼科	36	0	0	0	0	0	0	34	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	94.4	0.0	0.0	0.0
耳鼻いんこう 科	31	0	0	0	0	0	0	0	0	29	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	93.5	0.0
精神科・心療 内科	20	2	0	0	16	0	0	0	0	0	0
	100.0	10.0	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	26	6	0	0	0	2	4	1	0	0	0
	100.0	23.1	0.0	0.0	0.0	7.7	15.4	3.8	0.0	0.0	0.0

	総数	脳神経外 科専門医	放射線科 専門医	麻酔科専 門医	病理専門 医	臨床検査 専門医	救急科専 門医	形成外科 専門医	リハビリテ ーション科専 門医	消化器病 専門医	循環器専 門医
全体	455	9	2	3	0	0	3	5	11	47	28
	100.0	2.0	0.4	0.7	0.0	0.0	0.7	1.1	2.4	10.3	6.2
内科系	171	1	2	0	0	0	1	0	1	39	25
	100.0	0.6	1.2	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.6	22.8	14.6
外科系	42	8	0	0	0	0	0	4	0	6	0
	100.0	19.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	0.0	14.3	0.0
整形外科	42	0	0	0	0	0	1	0	10	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	23.8	0.0	0.0
小児科・小児 外科	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
産婦人科・産 科・婦人科	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
皮膚科	24	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0
眼科	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
耳鼻いんこう 科	31	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
精神科・心療 内科	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	26	0	0	2	0	0	1	0	0	2	3
	100.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	7.7	11.5

	総数	呼吸器専門医	血液専門医	内分泌代謝科専門	糖尿病専門医	腎臓専門医	肝臓専門医	アレルギー専門医	感染症専門医	老年病専門医	神経内科専門医
全体	455 100.0	7 1.5	7 1.5	6 1.3	13 2.9	4 0.9	10 2.2	11 2.4	3 0.7	9 2.0	5 1.1
内科系	171 100.0	6 3.5	6 3.5	6 3.5	12 7.0	3 1.8	9 5.3	4 2.3	2 1.2	7 4.1	5 2.9
外科系	42 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
整形外科	42 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
小児科・小児外科	36 100.0	0 0.0	1 2.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 8.3	1 2.8	0 0.0	0 0.0
産婦人科・産科・婦人科	27 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
皮膚科	24 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
眼科	36 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
耳鼻いんこう科	31 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
精神科・心療内科	20 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 10.0	0 0.0
その他	26 100.0	1 3.8	0 0.0	0 0.0	1 3.8	1 3.8	0 0.0	1 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0

	総数	消化器外科専門医	呼吸器外科専門医	心臓血管外科専門	小児外科専門医	リウマチ専門医	小児循環器専門医	小児神経専門医	小児血液・がん専門	周産期専門医	婦人科腫瘍専門医
全体	455 100.0	10 2.2	0 0.0	0 0.0	1 0.2	11 2.4	0 0.0	1 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
内科系	171 100.0	5 2.9	0 0.0	0 0.0	1 0.6	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
外科系	42 100.0	5 11.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
整形外科	42 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 21.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
小児科・小児外科	36 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
産婦人科・産科・婦人科	27 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
皮膚科	24 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
眼科	36 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
耳鼻いんこう科	31 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
精神科・心療内科	20 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	26 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

	総数	生殖医療専門医	頭頸部がん専門医	放射線治療専門医	放射線診断専門医	手外科専門医	脊椎脊髄外科専門	集中治療専門医	漢方専門医	透析専門医	ペインクリニック専門医
全体	455 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 0.9	0 0.0	6 1.3	0 0.0	16 3.5	9 2.0	3 0.7
内科系	171 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 2.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 7.0	3 1.8	0 0.0
外科系	42 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 4.8	0 0.0
整形外科	42 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.4
小児科・小児外科	36 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
産婦人科・産科・婦人科	27 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
皮膚科	24 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
眼科	36 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.8	0 0.0	0 0.0
耳鼻いんこう科	31 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
精神科・心療内科	20 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0
その他	26 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 7.7	4 15.4	2 7.7

院長調査

	総数	乳腺専門 医	熱傷専門 医	がん薬物 療法専門 医	心療内科 専門医	その他	無回答
全体	455	1	0	0	6	34	37
	100.0	0.2	0.0	0.0	1.3	7.5	8.1
内科系	171	0	0	0	4	27	17
	100.0	0.0	0.0	0.0	2.3	15.8	9.9
外科系	42	1	0	0	0	2	3
	100.0	2.4	0.0	0.0	0.0	4.8	7.1
整形外科	42	0	0	0	0	0	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8
小児科・小児 外科	36	0	0	0	0	0	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8
産婦人科・産 科・婦人科	27	0	0	0	0	1	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	7.4
皮膚科	24	0	0	0	0	0	3
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
眼科	36	0	0	0	0	0	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6
耳鼻いんこう 科	31	0	0	0	0	1	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	6.5
精神科・心療 内科	20	0	0	0	2	2	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	5.0
その他	26	0	0	0	0	1	4
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	15.4

(注)「その他」の内容として、「消化器内視鏡専門医」(同旨含め 16 件)、「認定内科医」(同旨含め 3 件)、「プライマリ・ケア認定医」(同旨含め 3 件)、「脳卒中専門医」(同旨含め 2 件)、「超音波専門医」(同旨含め 2 件)、「気管食道科専門医」、「細胞診専門医」、「心身医療専門医」、「消化器がん検診認定医」等が挙げられた。

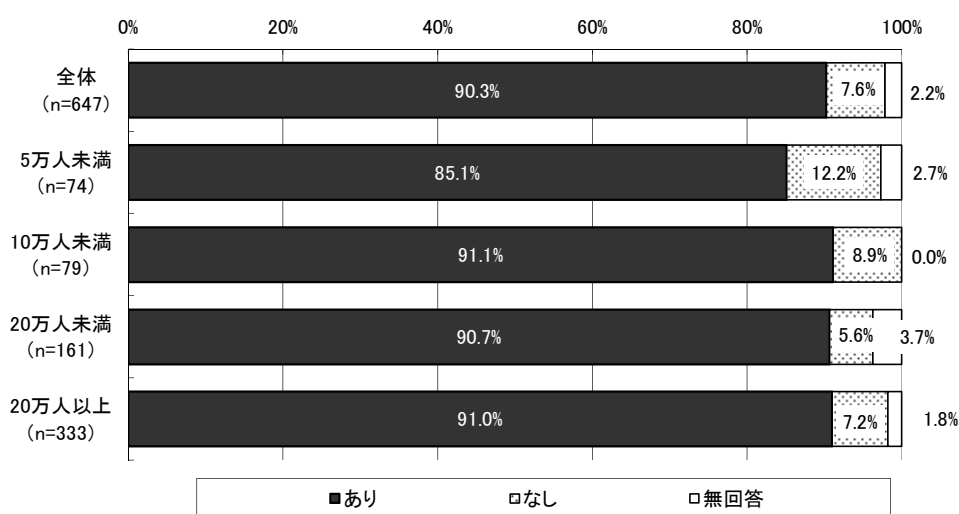
(2) 病院での勤務経験等

①卒業後の大学病院での勤務経験

1) 地域別

- ・卒業後の大学病院での勤務経験についてみると、「あり」の割合は、5万人未満の地域では85.1%、10万人未満では91.1%、20万人未満では90.7%、20万人以上では91.0%であった。5万人未満の地域では「あり」の割合が他の地域と比較して低かった。
- ・卒業後の大学病院での勤務経験年数は、5万人未満の地域では平均6.4年、10万人未満では6.0年、20万人未満と20万人以上の地域では7.1年であった。

図表 3- 34 卒業後の大学病院での勤務経験（地域別）



図表 3- 35 卒業後の大学病院での勤務経験年数
(卒業後に大学病院での勤務経験がある院長、地域別)

(単位：年)

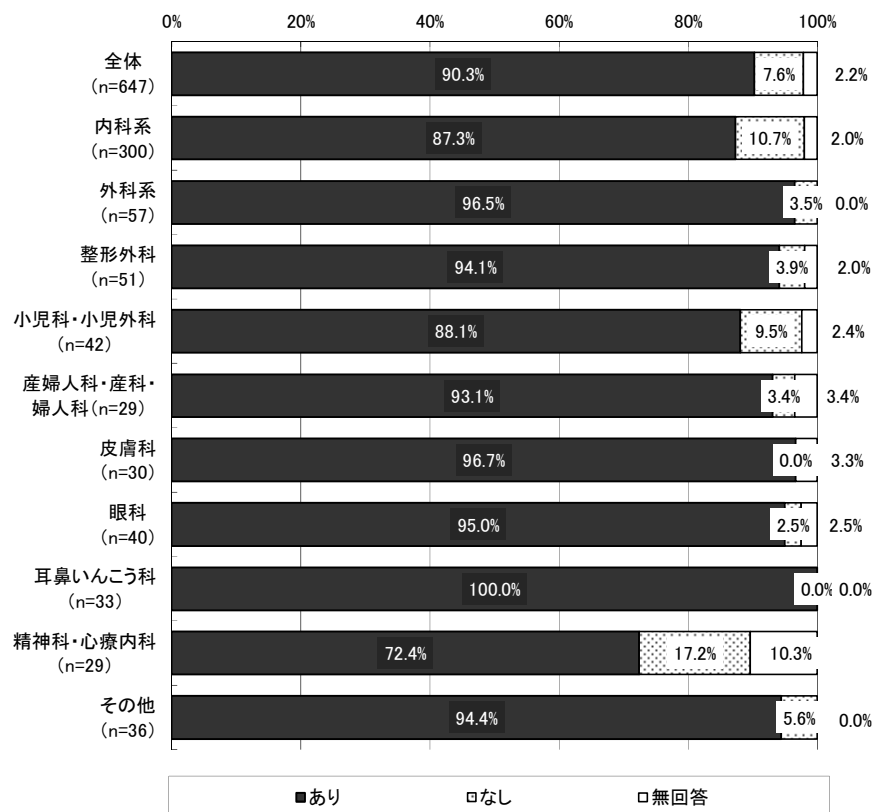
	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	565	6.9	5.2	6.0
5万人未満	60	6.4	4.4	5.0
10万人未満	72	6.0	4.0	5.5
20万人未満	139	7.1	5.4	6.0
20万人以上	294	7.1	5.6	6.0

(注) 「卒業後の大学病院での勤務経験年数」について回答のあった565人を集計対象とした。

2) 主たる担当診療科別

- 主たる担当診療科別に卒業後の大学病院での勤務経験をみると、「あり」の割合は、「精神科・心療内科」では72.4%と他の診療科と比較して低かった。

図表 3- 36 卒業後の大学病院での勤務経験（主たる担当診療科別）



図表 3- 37 卒業後の大学病院での勤務経験年数（主たる担当診療科別）
（卒業後に大学病院での勤務経験がある院長）

（単位：年）

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	565	6.9	5.2	6.0
内科系	256	7.3	5.8	6.0
外科系	52	7.7	5.5	6.0
整形外科	48	5.3	3.7	5.0
小児科・小児外科	37	6.3	5.4	4.0
産婦人科・産科・婦人科	25	6.3	5.0	4.0
皮膚科	28	6.4	5.5	5.0
眼科	36	6.2	4.7	5.0
耳鼻いんこう科	31	6.8	3.1	7.0
精神科・心療内科	21	6.9	5.5	6.0
その他	31	7.5	3.8	7.0

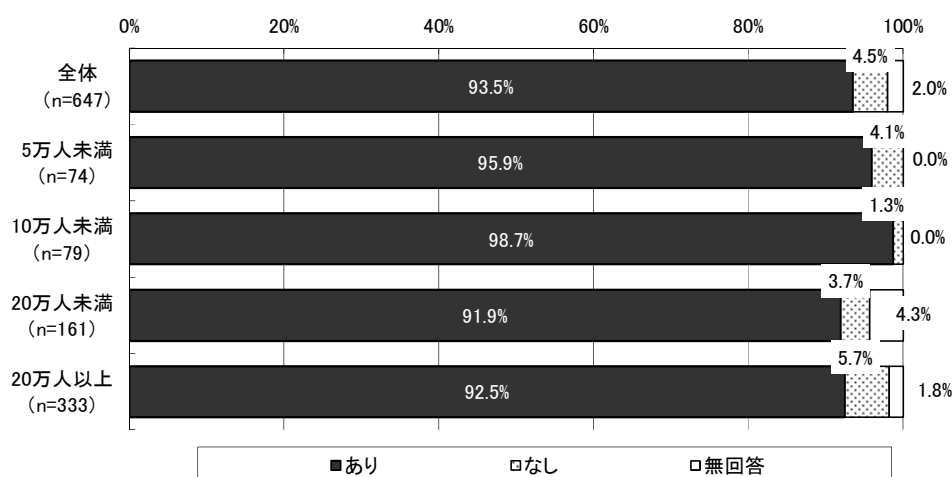
(注) 「卒業後の大学病院での勤務経験年数」について回答のあった565人を集計対象とした。

②大学病院以外の病院での勤務経験

1) 地域別

- ・大学病院以外の病院での勤務経験についてみると、「あり」の割合は、すべての地域で9割を超えた。
- ・大学病院以外の病院での勤務経験年数は、5万人未満の地域では平均9.0年、10万人未満では9.4年、20万人未満では7.9年、20万人以上では9.3年であった。

図表 3- 38 大学病院以外の病院での勤務経験（地域別）



図表 3- 39 大学病院以外の病院での勤務経験年数
(大学病院以外の病院での勤務経験がある院長、地域別)

(単位：年)

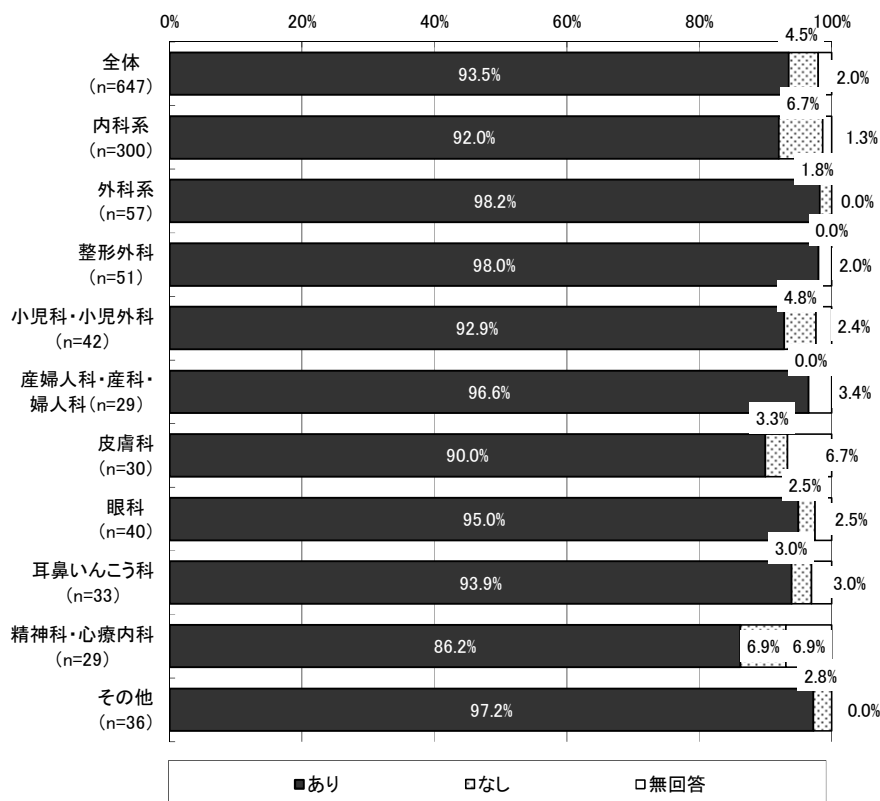
	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	585	9.0	7.5	7.0
5万人未満	68	9.0	7.2	7.0
10万人未満	78	9.4	7.9	7.0
20万人未満	142	7.9	7.2	5.0
20万人以上	297	9.3	7.6	7.0

(注) 「大学病院以外の病院での勤務経験年数」について回答のあった585人を集計対象とした。

2) 主たる担当診療科別

- ・主たる担当診療科別に、大学病院以外の病院での勤務経験をみると、「あり」の割合は、「精神科・心療内科」で86.2%と他の診療科と比較して低かった。

図表 3- 40 大学病院以外の病院での勤務経験（主たる担当診療科別）



図表 3- 41 大学病院以外の病院での勤務経験年数（主たる担当診療科別）
（大学病院以外の病院での勤務経験がある院長）

（単位：年）

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	585	9.0	7.5	7.0
内科系	269	8.9	7.4	7.0
外科系	55	11.4	9.0	9.0
整形外科	50	9.7	6.6	7.5
小児科・小児外科	39	8.6	5.7	7.0
産婦人科・産科・婦人科	24	7.0	6.5	6.0
皮膚科	26	5.2	3.5	4.0
眼科	37	9.3	10.2	5.0
耳鼻いんこう科	29	6.7	5.4	5.0
精神科・心療内科	24	14.8	8.3	15.0
その他	32	6.1	5.5	4.5

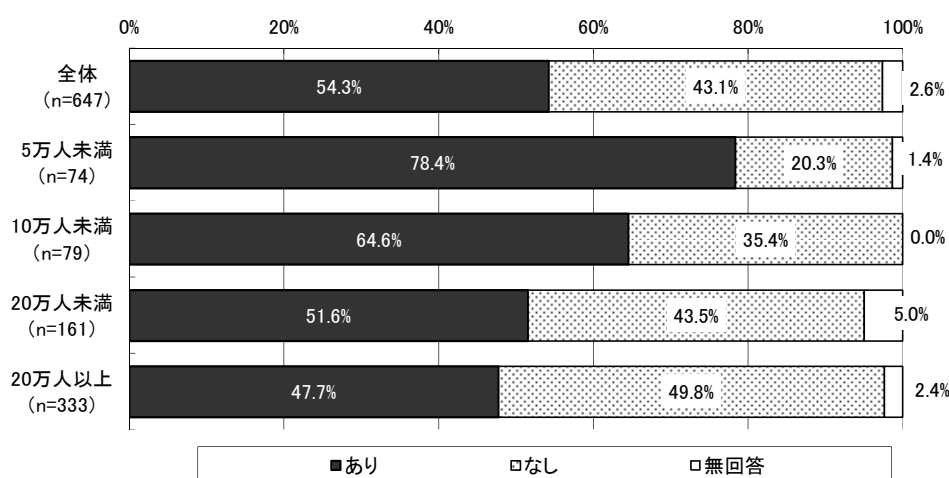
（注）「大学病院以外の病院での勤務経験年数」について回答のあった 585 人を集計対象とした。

③在宅医療の実務経験

1) 地域別

- ・在宅医療の実務経験についてみると、「あり」の割合は、5万人未満の地域では78.4%、10万人未満では64.6%、20万人未満では51.6%、20万人以上では47.7%と、人口規模が小さい地域ほど「あり」の割合が高かった。
- ・在宅医療の実務経験年数は、5万人未満の地域では平均20.4年、10万人未満では17.8年、20万人未満では19.1年、20万人以上では13.8年であった。20万人以上の地域では在宅医療の実務経験年数が他の地域と比較して短かった。

図表 3- 42 在宅医療の実務経験（地域別）



図表 3- 43 在宅医療の実務経験年数（地域別）

（在宅医療の実務経験がある医師）

（単位：年）

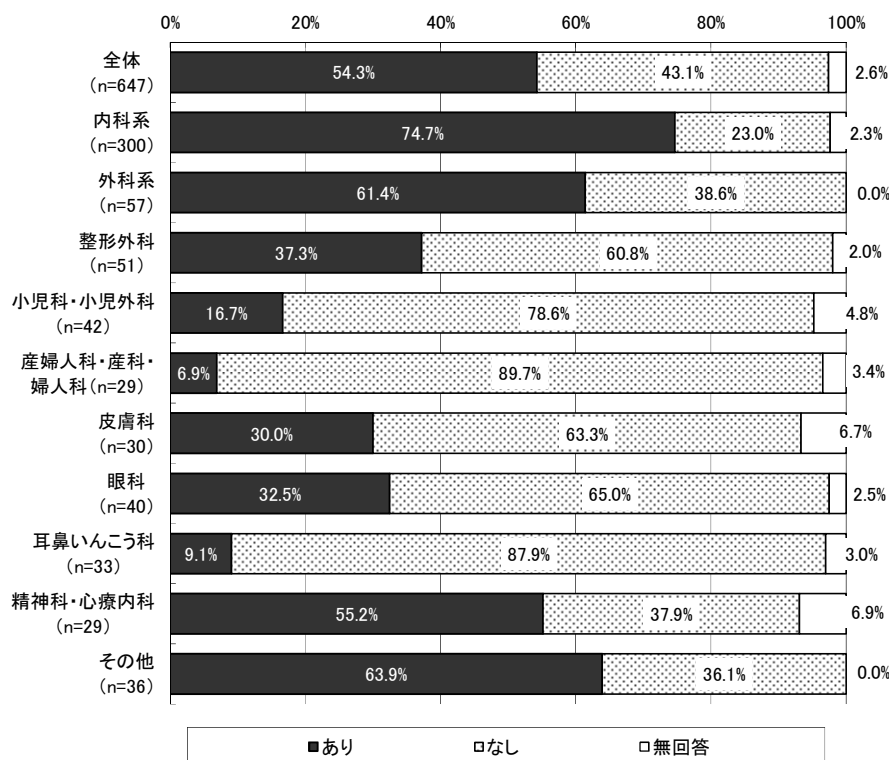
	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	331	16.7	12.8	15.0
5万人未満	57	20.4	13.7	20.0
10万人未満	50	17.8	13.7	16.5
20万人未満	75	19.1	12.7	19.0
20万人以上	149	13.8	11.6	10.0

（注）「在宅医療の実務経験年数」について回答のあった331人を集計対象とした。

2) 主たる担当診療科別

・主たる担当診療科別に在宅医療の実務経験をみると、「あり」の割合は、「内科系」で74.7%と最も高く、次いで「外科系」が61.4%、「精神科・心療内科」が55.2%であった。

図表 3- 44 在宅医療の実務経験（主たる担当診療科別）



図表 3- 45 在宅医療の実務経験年数（主たる担当診療科別）
（在宅医療の実務経験がある院長）

（単位：年）

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	331	16.7	12.8	15.0
内科系	215	18.9	13.1	18.0
外科系	35	11.9	9.7	9.0
整形外科	19	10.5	9.3	10.0
小児科・小児外科	6	15.5	13.5	14.0
産婦人科・産科・婦人科	2	39.0	12.7	39.0
皮膚科	8	9.1	10.4	5.0
眼科	11	11.2	9.2	10.0
耳鼻いんこう科	2	20.0	14.1	20.0
精神科・心療内科	14	8.2	12.0	3.0
その他	19	17.6	12.2	17.0

（注）「在宅医療の実務経験年数」について回答のあった331人を集計対象とした。

④その他の臨床上の勤務経験

- ・その他の臨床上の経験として自由記述式で回答を得た結果は次のとおりである。

図表 3- 46 その他の臨床上の勤務経験（自由記述式）

- ・診療所（同旨含め 61 件）
- ・海外（同旨含め 3 件）
- ・産業医
- ・児童相談所
- ・介護老人保健施設

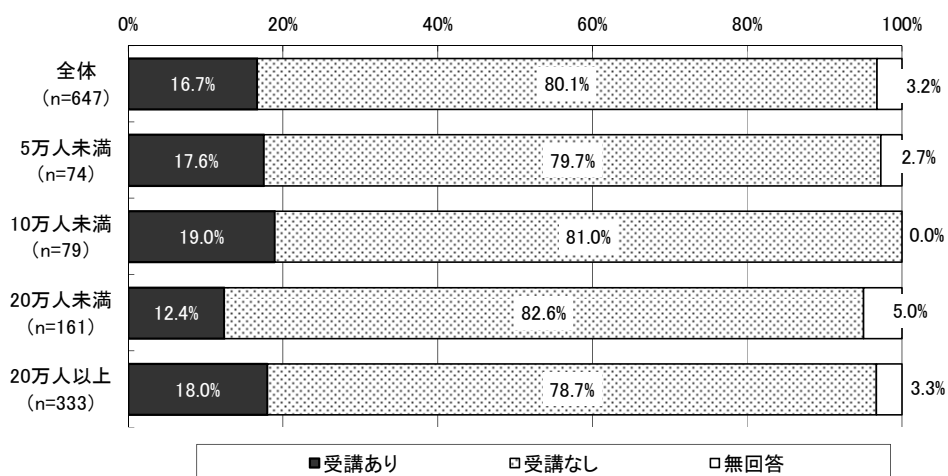
(3) 院長就任準備としての教育・研修の受講経験等

①医療保険制度や診療報酬制度、経営に関する研修の受講経験の有無

1) 地域別

・診療所・病院を開業または院長を承継する準備として、開業・承継前後に医療保険制度や診療報酬制度、経営に関する研修を受講したかどうかを尋ねたところ、「受講あり」という回答の割合は、5万人未満の地域では17.6%、10万人未満では19.0%、20万人未満では12.4%、20万人以上では18.0%であった。

図表 3-47 医療保険制度や診療報酬制度、経営に関する研修の受講経験の有無（地域別）

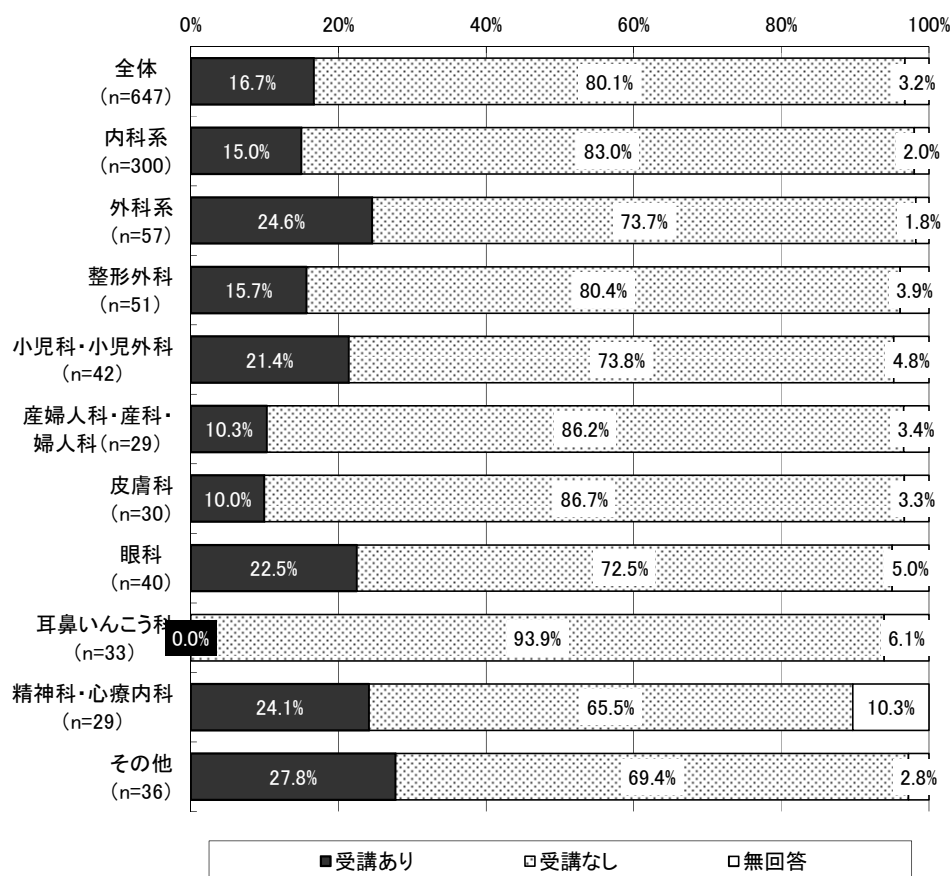


図表 3-48 受講した医療保険制度や診療報酬制度、経営に関する研修の内容(自由記述式)

- ・医師会の研修（同旨含め 17 件）
- ・官公庁主催のもの（同旨含め 11 件）
- ・保険医協会の研修（同旨含め 9 件）
- ・民間企業のセミナー（同旨含め 6 件）
- ・国立保健医療科学院の研修
- ・全国自治体病院協議会の研修
- ・東京都眼科医会の研修
- ・大阪眼科医会の研修
- ・他院で研修
- ・個別指導 / 等

2) 主たる担当診療科別

図表 3- 49 医療保険制度や診療報酬制度、経営に関する研修の受講経験の有無
(主たる担当診療科別)

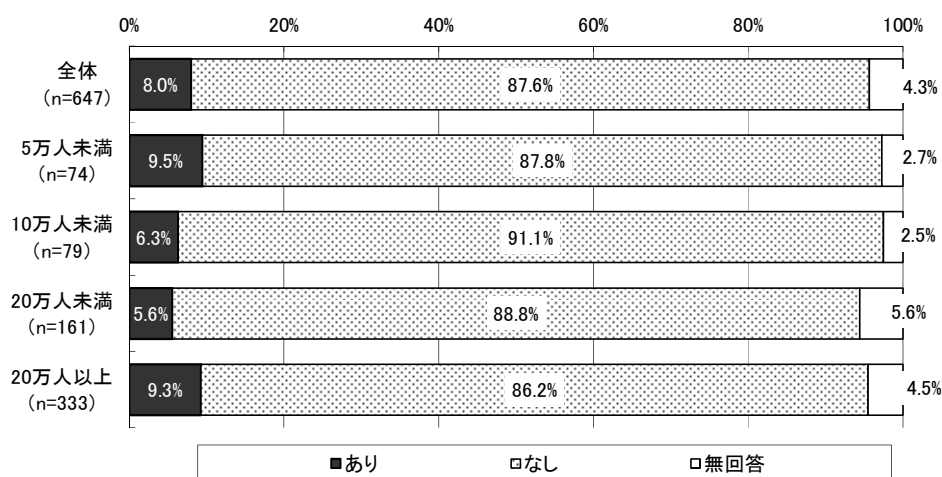


②臨床上の教育・研修の受講経験の有無

1) 地域別

・診療所・病院を開業または院長を承継する準備として、開業・承継前後に臨床上の教育・研修等を受講したかどうかを尋ねたところ、「あり」の割合は、5万人未満の地域では9.5%、10万人未満では6.3%、20万人未満では5.6%、20万人以上では9.3%であった。

図表 3- 50 臨床上の教育・研修の受講経験の有無（地域別）

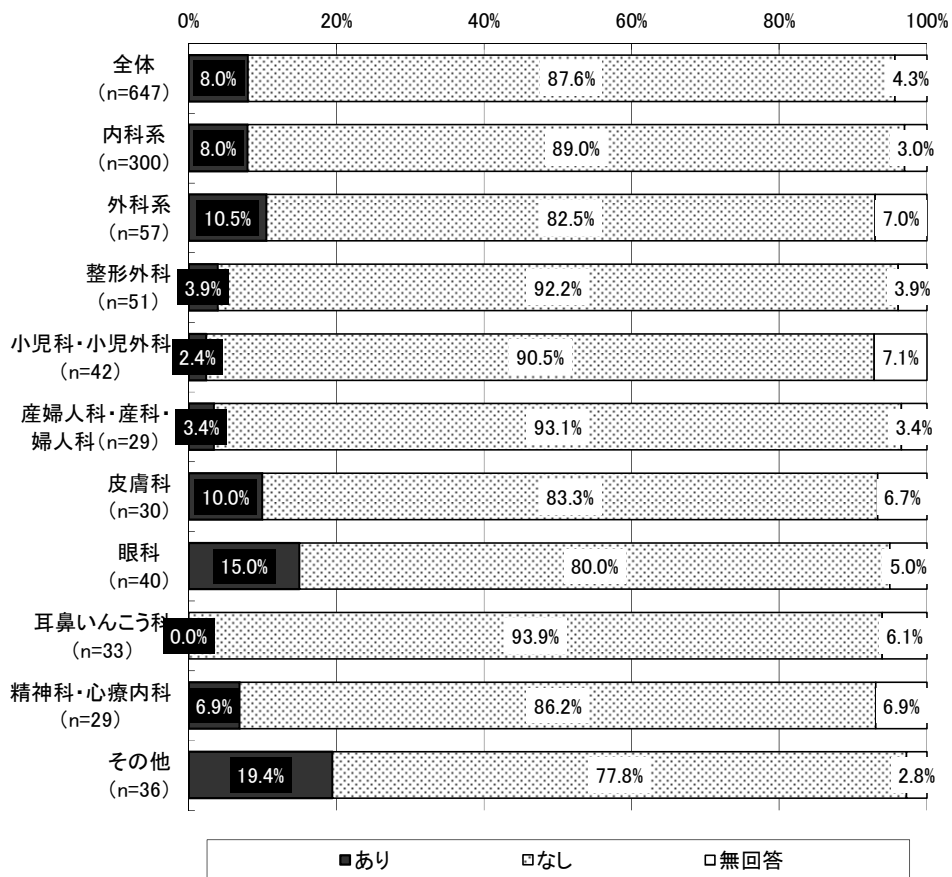


図表 3- 51 受講した臨床上の教育・研修の内容（自由記述式）

- ・他院（同旨含め 15 件）
- ・学会（同旨含め 9 件）
- ・医師会（同旨含め 3 件） / 等

2) 主たる担当診療科別

図表 3- 52 臨床上の教育・研修の受講経験の有無（主たる担当診療科別）



③開業または院長就任に際して、受講したいと考える教育・研修

- ・診療所・病院を開業または院長を承継し、診療を行う上で受講したいと考える教育・研修をとして自由記述式で回答を得た結果は次のとおりである。

図表 3- 53 開業または院長就任に際して、受講したいと考える教育・研修（自由記述式）

- ・診療報酬制度（同旨含め 38 件）
- ・経営（同旨含め 20 件）
- ・総合診療、プライマリ・ケアの研修（同旨含め 12 件）
- ・保険診療に対する考え方（同旨含め 10 件）
- ・地域医療事情、他職種との連携（同旨含め 9 件）
- ・病院での勤務（同旨含め 7 件）
- ・他科の研修（同旨含め 6 件）
- ・人材教育、管理等（同旨含め 6 件）
- ・救急診療の経験（同旨含め 6 件）
- ・同様の職場での勤務（同旨含め 6 件）
- ・コミュニケーション力、患者とのつきあい方等（同旨含め 5 件）
- ・各種届出や法律・法令に関する知識（同旨含め 4 件）
- ・訪問診療の臨床実習（同旨含め 4 件）
- ・WEB の利用等、研修に参加しやすくしてほしい（同旨含め 4 件）
- ・先輩医師による体験談（同旨含め 3 件）
- ・医の倫理、社会的意義（同旨含め 3 件）

／等

3. 外来診療・訪問診療への取組状況等

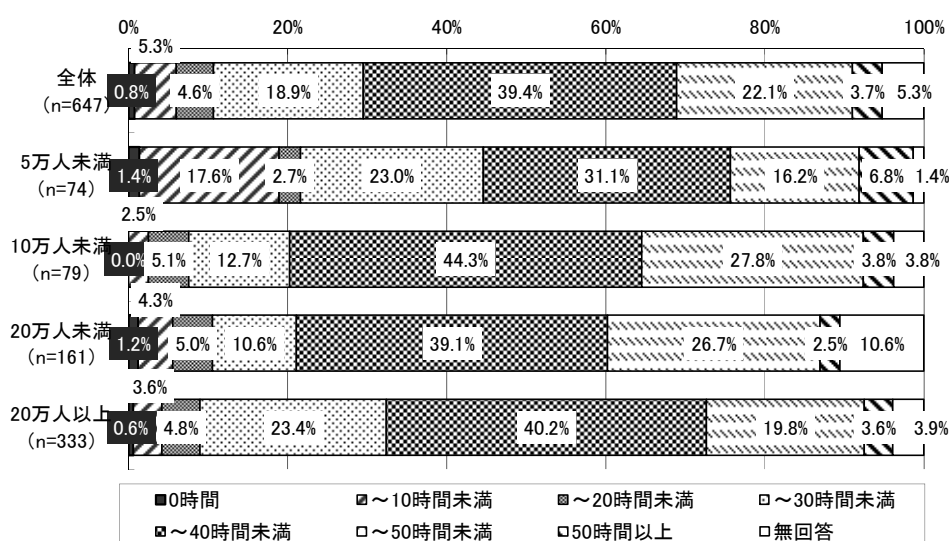
(1) 外来診療の取組状況等

① 1週間の外来診療時間

1) 地域別

- ・ 1週間の外来診療時間別分布についてみると、5万人未満の地域では30時間未満が4割を超えており、他の地域と比較して割合が高かった。
- ・ 1週間の外来診療時間についてみると、5万人未満の地域では平均29.0時間、10万人未満では34.4時間、20万人未満では33.8時間、20万人以上では32.4時間であった。

図表 3-54 1週間の外来診療時間別分布（地域別）



図表 3-55 1週間の外来診療時間（地域別）

(単位：時間)

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	613	32.6	11.9	34.0
5万人未満	73	29.0	16.1	31.0
10万人未満	76	34.4	8.9	36.0
20万人未満	144	33.8	11.5	36.0
20万人以上	320	32.4	11.4	33.0

(注) 「1週間の外来診療時間」について回答のあった613人を集計対象とした。

2) 主たる担当診療科別

- ・主たる担当診療科別に1週間の外来診療時間をみると、「小児科・小児外科」では平均38.1時間で最も長かった。

図表 3- 56 1 週間の外来診療時間（地域別）

（単位：時間）

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	613	32.6	11.9	34.0
内科系	285	31.9	12.4	34.0
外科系	55	33.1	12.7	36.0
整形外科	48	35.6	8.5	37.0
小児科・小児外科	39	38.1	12.2	37.0
産婦人科・産科・婦人科	25	29.3	13.1	33.0
皮膚科	29	33.9	7.9	33.5
眼科	38	30.4	8.9	31.8
耳鼻いんこう科	33	34.8	10.8	35.0
精神科・心療内科	26	30.3	9.8	32.0
その他	35	30.0	14.9	33.0

（注）「1 週間の外来診療時間」について回答のあった 613 人を集計対象とした。

3) 内科診療所

- ・内科診療所について、1 週間の外来診療時間をみると、5 万人未満の地域では平均 29.2 時間、10 万人未満では 34.4 時間、20 万人未満では 33.2 時間、20 万人以上では 32.0 時間であった。5 万人未満の地域では、他の地域と比較して、1 週間の外来診療時間がやや短かった。

図表 3- 57 1 週間の外来診療時間別分布（地域別）【内科診療所】

（単位：時間）

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	234	32.0	12.1	33.3
5 万人未満	48	29.2	15.5	29.8
10 万人未満	35	34.4	6.9	36.0
20 万人未満	57	33.2	11.8	35.0
20 万人以上	94	32.0	11.7	32.0

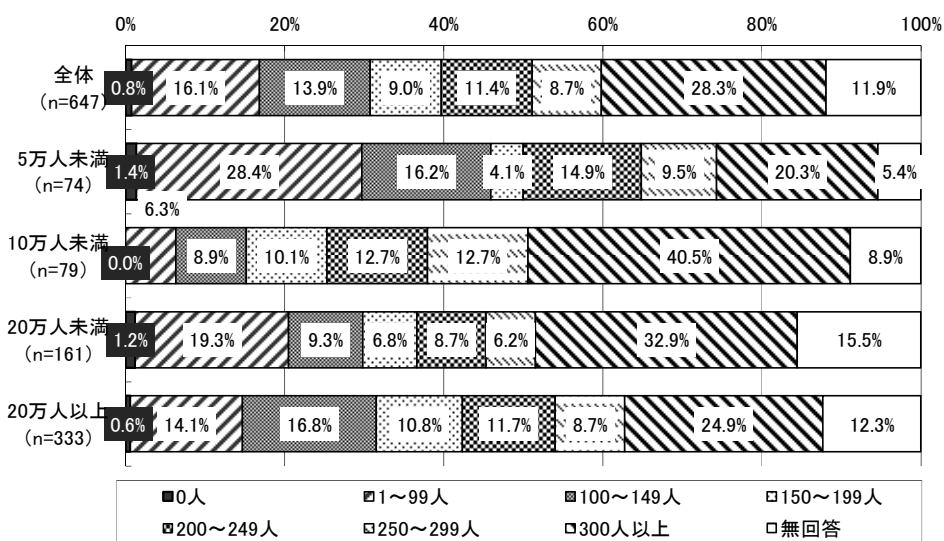
（注）「1 週間の外来診療時間」について回答のあった 234 人を集計対象とした。

② 1週間に診察した外来患者数（延べ人数）

1) 地域別

- ・ 1週間に診察した外来患者数（延べ人数）別分布についてみると、10万人未満の地域では「300人以上」が40.5%で他の地域と比較して割合が高かった。
- ・ 1週間に診察した外来患者数（延べ人数）は、5万人未満の地域では平均203.6人、10万人未満では303.2人、20万人未満では258.1人、20万人以上では236.6人であった。

図表 3- 58 1週間に診察した外来患者数（延べ人数）別分布（地域別）



図表 3- 59 1週間に診察した外来患者数（延べ人数）（地域別）

(単位：人)

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	570	246.1	184.2	205.0
5万人未満	70	203.6	175.4	181.0
10万人未満	72	303.2	193.2	274.5
20万人未満	136	258.1	197.7	233.5
20万人以上	292	236.6	174.4	200.0

(注) 「1週間に診察した外来患者数（延べ人数）」について回答のあった570人を集計対象とした。

2) 主たる担当診療科別

- ・主たる担当診療科別に1週間に診察した外来患者数(延べ人数)をみると、「耳鼻いんこう科」が平均426.8人で最も多かった。一方、「産婦人科・産科・婦人科」では平均176.7人で最も少なかった。
- ・「内科系」は平均212.1人、「外科系」は平均206.6人、「整形外科」は平均378.2人であった。

図表 3- 60 1週間に診察した外来患者数(延べ人数)(地域別)

(単位:人)

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	570	246.1	184.2	205.0
内科系	272	212.1	152.2	185.5
外科系	51	206.6	176.1	180.0
整形外科	42	378.2	272.7	290.0
小児科・小児外科	36	326.3	143.9	301.5
産婦人科・産科・婦人科	25	176.7	105.8	171.0
皮膚科	26	309.2	139.9	295.5
眼科	33	278.1	178.8	242.0
耳鼻いんこう科	28	426.8	226.2	478.5
精神科・心療内科	25	178.9	114.1	148.0
その他	32	198.5	220.6	122.0

(注)「1週間に診察した外来患者数(延べ人数)」について回答のあった570人を集計対象とした。

3) 内科診療所

- ・内科診療所について、1週間に診察した外来患者数(延べ人数)をみると、5万人未満の地域では平均200.6人、10万人未満では266.3人、20万人未満では205.0人、20万人以上では218.6人であった。

図表 3- 61 1週間に診察した外来患者数(延べ人数)(地域別)【内科診療所】

(単位:人)

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	220	218.6	157.9	196.5
5万人未満	46	200.6	175.7	158.5
10万人未満	33	266.3	120.2	277.0
20万人未満	55	205.0	139.0	180.0
20万人以上	86	218.6	170.2	165.0

(注)「1週間に診察した外来患者数(延べ人数)」について回答のあった220人を集計対象とした。

③ 1週間に診察した外来患者のうち、かかりつけ医として通院していると考える患者の割合

1) 地域別

- ・1週間に診察した外来患者のうち、かかりつけ医として自院に通院していると考える患者の割合を尋ねたところ、5万人未満の地域では平均75.8%、10万人未満では67.5%、20万人未満では61.7%、20万人以上では58.8%と、人口規模が小さい地域ほど、その割合が高かった。

図表 3-62 1週間に診察した外来患者のうち、かかりつけ医として自院に通院していると考える患者の割合（地域別）

(単位：%)

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	560	62.7	29.5	70.0
5万人未満	69	75.8	24.9	80.0
10万人未満	68	67.5	23.3	70.0
20万人未満	136	61.7	31.0	75.0
20万人以上	287	58.8	30.2	70.0

(注)「1週間に診察した外来患者のうち、かかりつけ医として自院に通院していると考える患者の割合」について回答のあった560人を集計対象とした。

2) 主たる担当診療科別

- ・主たる担当診療科別に、1週間に診察した外来患者のうち、かかりつけ医として自院に通院していると考える患者の割合をみると、「内科系」が73.4%で最も高く、次いで「小児科・小児外科」が67.7%であった。一方、「耳鼻いんこう科」は31.7%、「皮膚科」は34.7%、「産婦人科・産科・婦人科」は35.1%と「全体」と比較して低かった。

図表 3-63 1週間に診察した外来患者のうち、かかりつけ医として通院していると考える患者の割合（主たる担当診療科別）

(単位：%)

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	560	62.7	29.5	70.0
内科系	272	73.4	22.2	80.0
外科系	48	65.1	25.0	70.0
整形外科	43	49.2	30.1	50.0
小児科・小児外科	37	67.7	27.0	80.0
産婦人科・産科・婦人科	23	35.1	35.0	20.0
皮膚科	24	34.7	26.0	32.5
眼科	29	57.6	28.6	70.0
耳鼻いんこう科	29	31.7	27.4	30.0
精神科・心療内科	23	60.0	38.5	80.0
その他	32	55.1	32.8	60.0

(注)「1週間に診察した外来患者のうち、かかりつけ医として自院に通院していると考える患者の割合」について回答のあった560人を集計対象とした。

3) 内科診療所

- 内科診療所について、1週間に診察した外来患者のうち、かかりつけ医として自院に通院していると考える患者の割合をみると、5万人未満の地域では平均78.2%、10万人未満では76.5%、20万人未満では73.1%、20万人以上では70.8%と、人口規模が小さい地域ほど、その割合が高かった。しかし、中央値でみると、いずれの地域も80.0%であり、平均値でも70%台となっており、高い割合といえる。

図表 3-64 1週間に診察した外来患者のうち、かかりつけ医として自院に通院していると考える患者の割合（地域別）【内科診療所】

(単位：%)

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	222	73.8	21.1	80.0
5万人未満	47	78.2	21.5	80.0
10万人未満	33	76.5	12.7	80.0
20万人未満	57	73.1	23.3	80.0
20万人以上	85	70.8	21.9	80.0

(注)「1週間に診察した外来患者のうち、かかりつけ医として自院に通院していると考える患者の割合」について回答のあった560人を集計対象とした。

④診察をした結果、必要性を判断して他の医療機関を紹介した患者数

1) 地域別

- 診察をした結果、必要性を判断して他の医療機関を紹介した患者数についてみると、5万人未満の地域では平均3.0人、10万人未満では5.0人、20万人未満と20万人以上では4.2人であった。

図表 3-65 診察をした結果、必要性を判断して他の医療機関を紹介した患者数（地域別）

(単位：人)

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	575	4.2	5.4	3.0
5万人未満	69	3.0	3.7	2.0
10万人未満	74	5.0	4.2	4.5
20万人未満	137	4.2	4.7	3.0
20万人以上	295	4.2	6.1	3.0

(注)「診察をした結果、必要性を判断して他の医療機関を紹介した患者数」について回答のあった575人を集計対象とした。

2) 主たる担当診療科別

- ・主たる担当診療科別に、診察をした結果、必要性を判断して他の医療機関を紹介した患者数についてみると、「整形外科」が平均 6.7 人で最も多く、次いで「眼科」の 5.0 人であった。

図表 3- 66 診察をした結果、他の医療機関を紹介した患者数（主たる担当診療科別）

（単位：人）

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	575	4.2	5.4	3.0
内科系	276	4.0	4.8	3.0
外科系	50	4.8	5.6	3.0
整形外科	45	6.7	9.5	3.0
小児科・小児外科	35	3.7	3.7	3.0
産婦人科・産科・婦人科	24	4.1	3.2	3.5
皮膚科	28	3.1	4.5	1.5
眼科	30	5.0	5.5	3.0
耳鼻いんこう科	30	3.1	4.6	2.0
精神科・心療内科	23	2.3	5.7	0.0
その他	34	4.2	4.4	3.0

(注) 「診察をした結果、必要性を判断して他の医療機関を紹介した患者数」について回答のあった 575 人を集計対象とした。

3) 内科診療所

- ・内科診療所について、診察をした結果、必要性を判断して他の医療機関を紹介した患者数をみると、5 万人未満の地域では平均 3.2 人、10 万人未満では 5.1 人、20 万人未満では 3.5 人、20 万人以上では 4.2 人であった。

図表 3- 67 診察をした結果、他の医療機関を紹介した患者数（地域別）

【内科診療所】

（単位：人）

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	225	4.0	4.8	3.0
5 万人未満	46	3.2	3.9	2.0
10 万人未満	35	5.1	3.0	5.0
20 万人未満	57	3.5	3.8	3.0
20 万人以上	87	4.2	6.3	3.0

(注) 「診察をした結果、必要性を判断して他の医療機関を紹介した患者数」について回答のあった 225 人を集計対象とした。

⑤患者を紹介した医療機関数

1) 地域別

- ・診察した患者を紹介した医療機関数についてみると、5万人未満の地域では平均1.5施設、10万人未満では2.2施設、20万人未満では2.1施設、20万人以上では1.9施設であった。

図表 3- 68 患者を紹介した医療機関数（地域別）

（単位：施設）

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	577	2.0	1.6	2.0
5万人未満	69	1.5	1.4	1.0
10万人未満	72	2.2	1.4	2.0
20万人未満	138	2.1	1.6	2.0
20万人以上	298	1.9	1.7	2.0

（注）「患者を紹介した医療機関数」について回答のあった577人を集計対象とした。

2) 主たる担当診療科別

- ・主たる担当診療科別に、診察した患者を紹介した医療機関数をみると、「整形外科」では平均2.8施設で最も多く、次いで「眼科」が2.3施設であった。

図表 3- 69 患者を紹介した医療機関数（主たる担当診療科別）

（単位：施設）

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	577	2.0	1.6	2.0
内科系	275	1.9	1.6	2.0
外科系	51	2.0	1.8	2.0
整形外科	45	2.8	2.0	2.0
小児科・小児外科	36	2.0	1.2	2.0
産婦人科・産科・婦人科	24	2.0	1.2	2.0
皮膚科	27	1.3	1.2	1.0
眼科	32	2.3	1.2	2.0
耳鼻いんこう科	30	1.4	1.2	1.0
精神科・心療内科	24	1.0	1.6	0.0
その他	33	2.2	2.1	2.0

（注）「患者を紹介した医療機関数」について回答のあった577人を集計対象とした。

3) 内科診療所

- 内科診療所における、診察した患者を紹介した医療機関数をみると、5万人未満の地域では平均 1.5 施設、10万人未満では 2.3 施設、20万人未満では 1.9 施設、20万人以上では 2.0 施設であった。

図表 3-70 患者を紹介した医療機関数（地域別）【内科診療所】

(単位：施設)

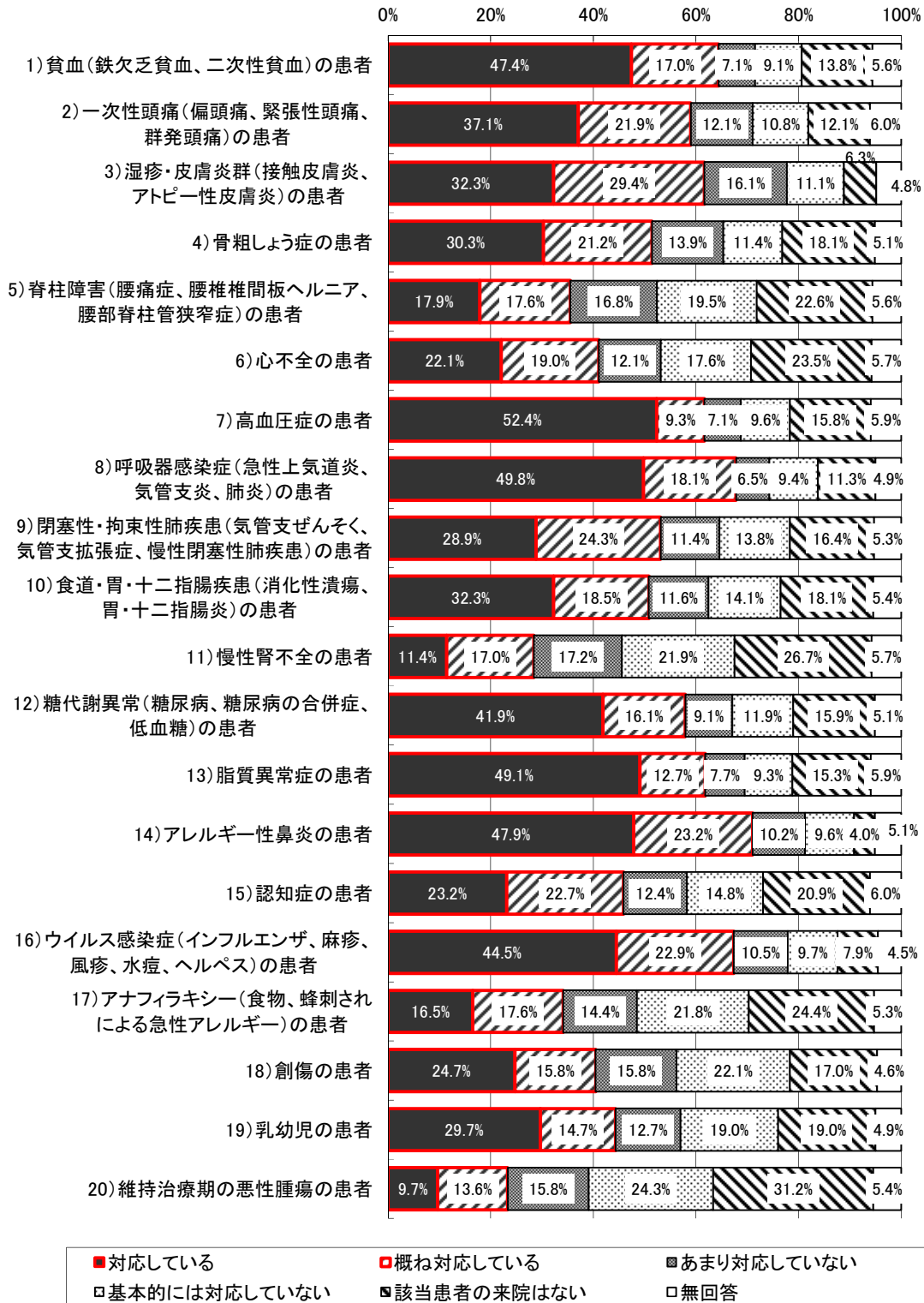
	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	224	1.9	1.5	2.0
5万人未満	46	1.5	1.3	1.5
10万人未満	34	2.3	1.4	2.0
20万人未満	57	1.9	1.5	2.0
20万人以上	87	2.0	1.7	2.0

(注)「患者を紹介した医療機関数」について回答のあった 224 人を集計対象とした。

(2) 外来患者への対応状況

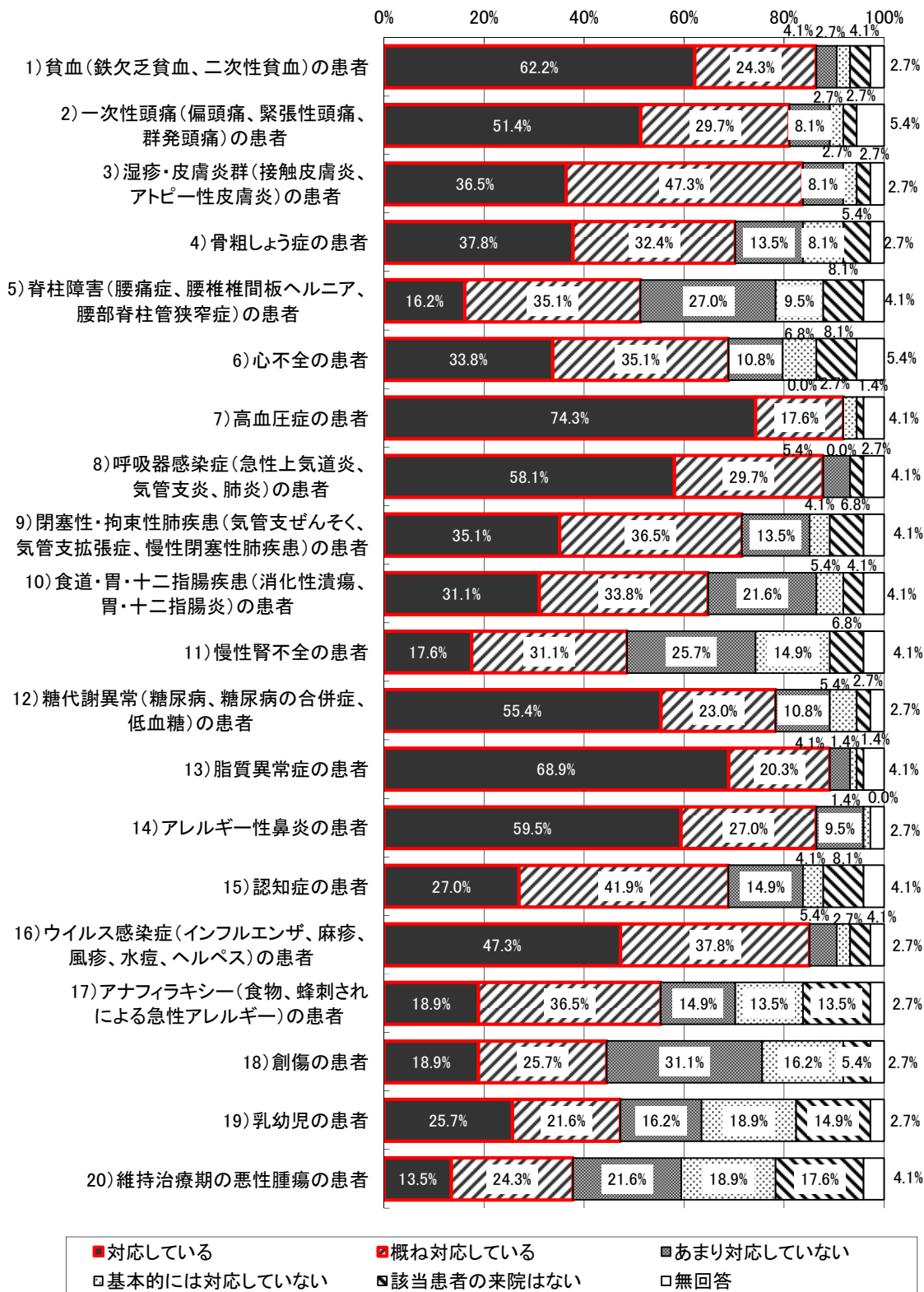
① 外来患者への対応状況

図表 3-71 外来患者への対応状況 (全体、n=647)

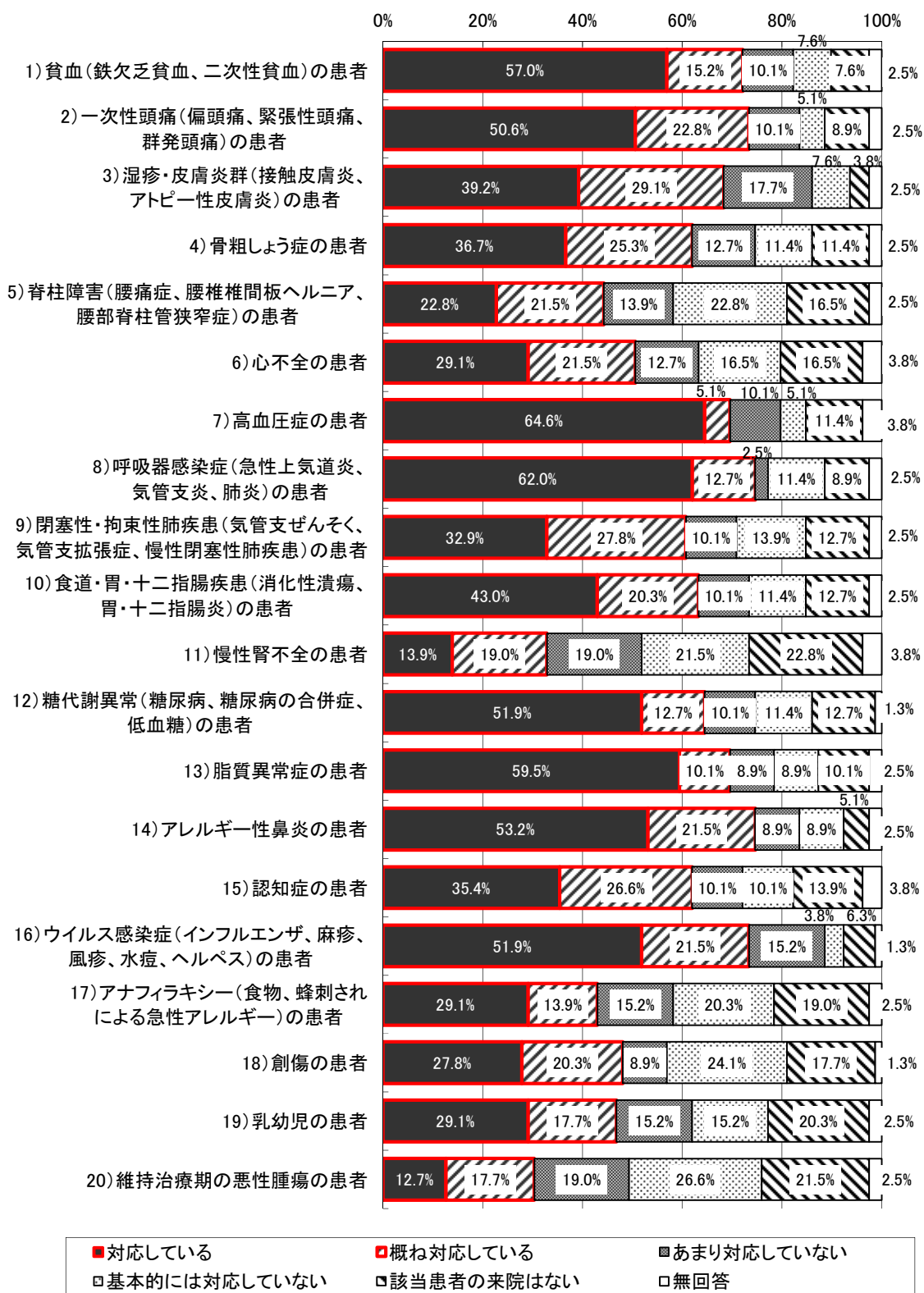


1) 地域別

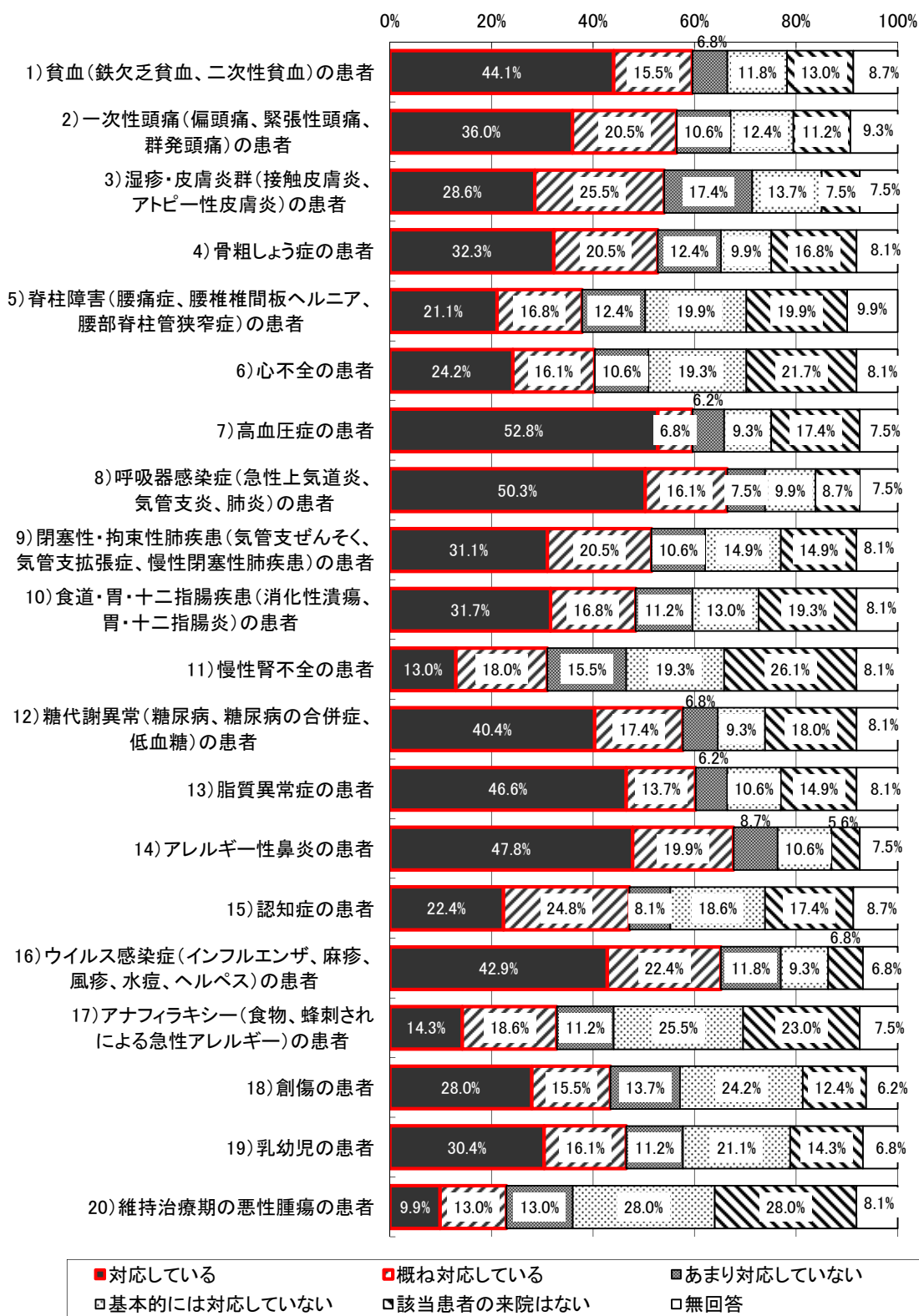
図表 3-72 外来患者への対応状況 (5万人未満、n=74)



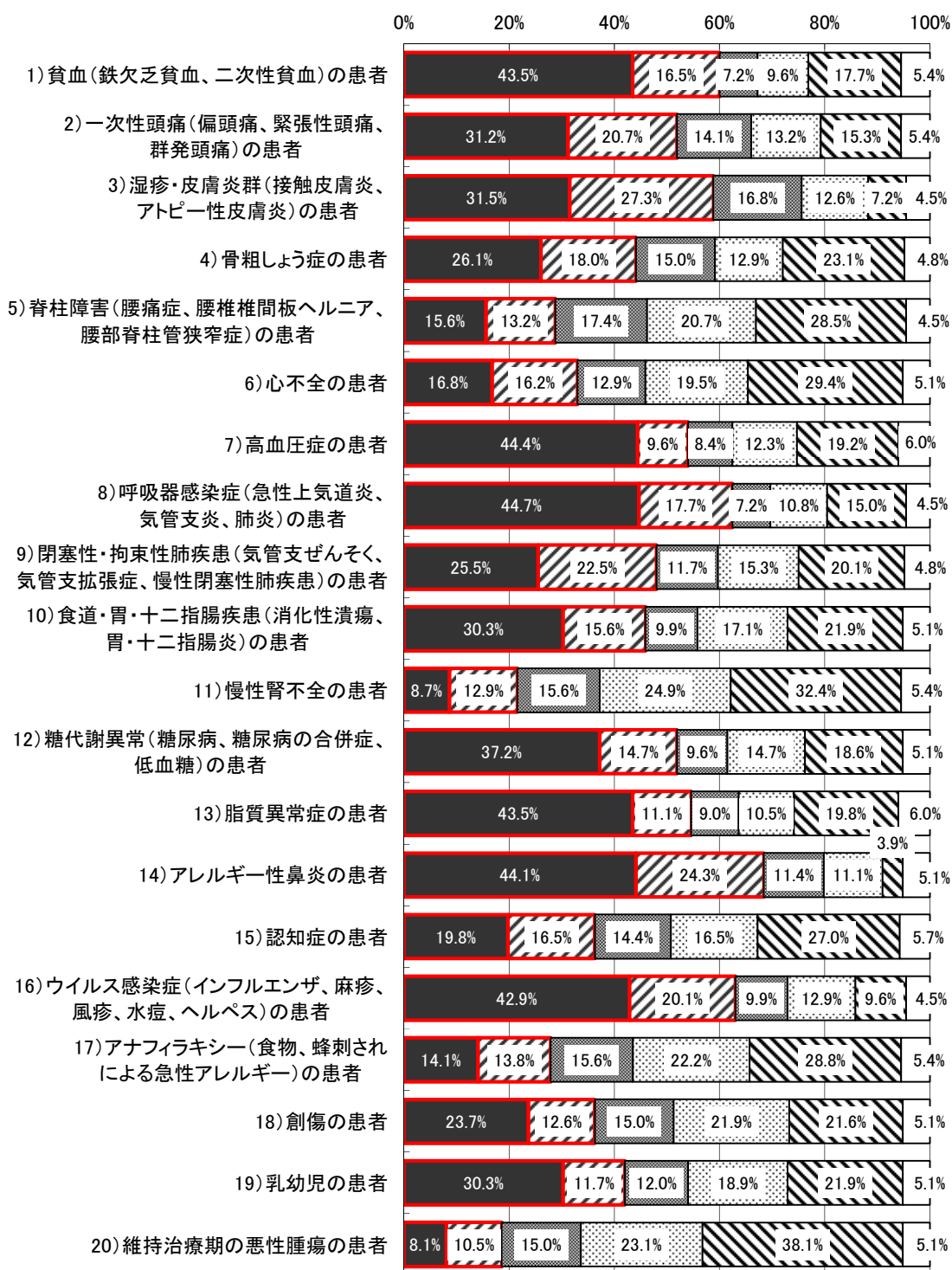
図表 3-73 外来患者への対応状況（10万人未満、n=79）



図表 3- 74 外来患者への対応状況（20 万人未満、n=161）



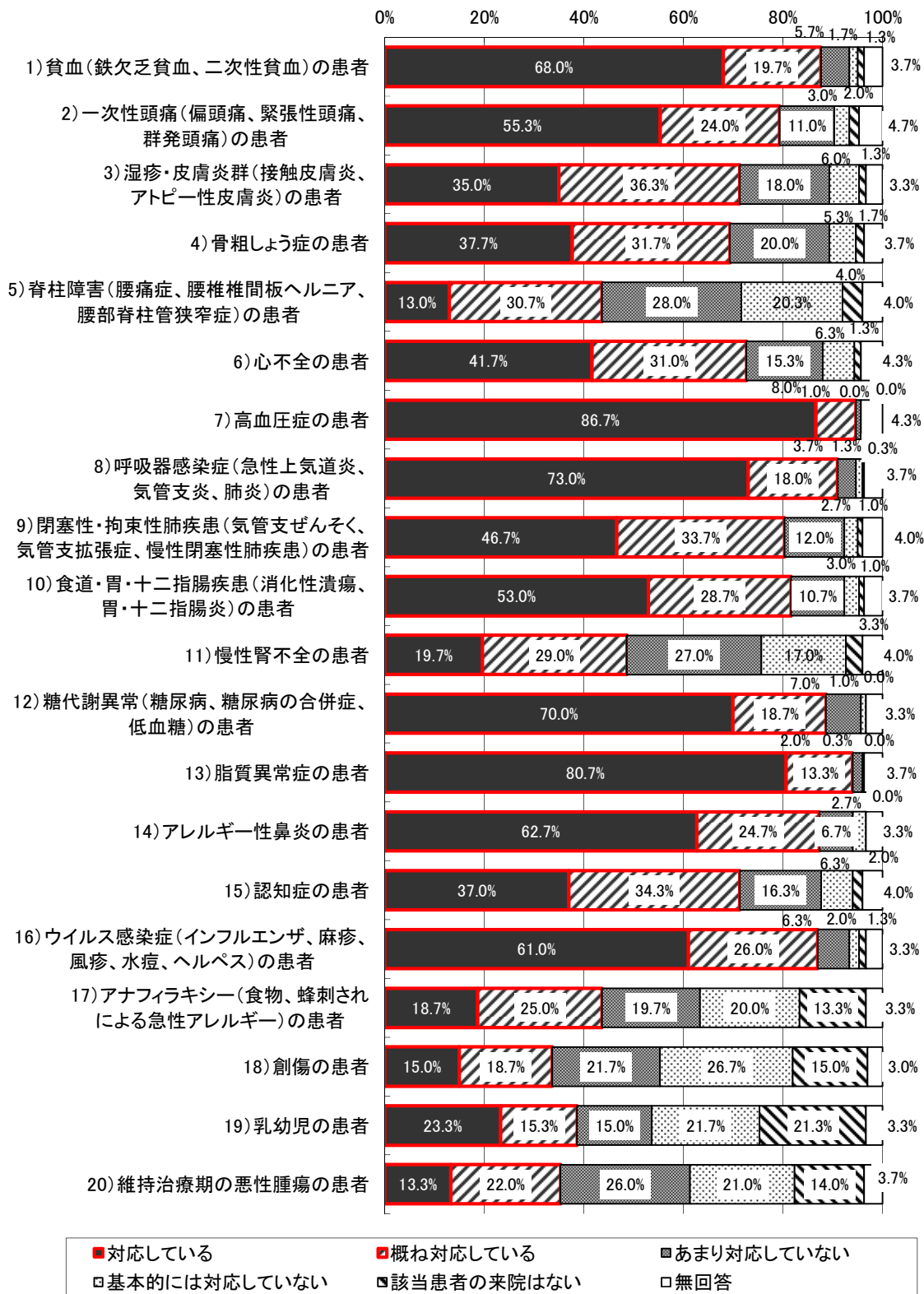
図表 3- 75 外来患者への対応状況 (20 万人以上、n=333)



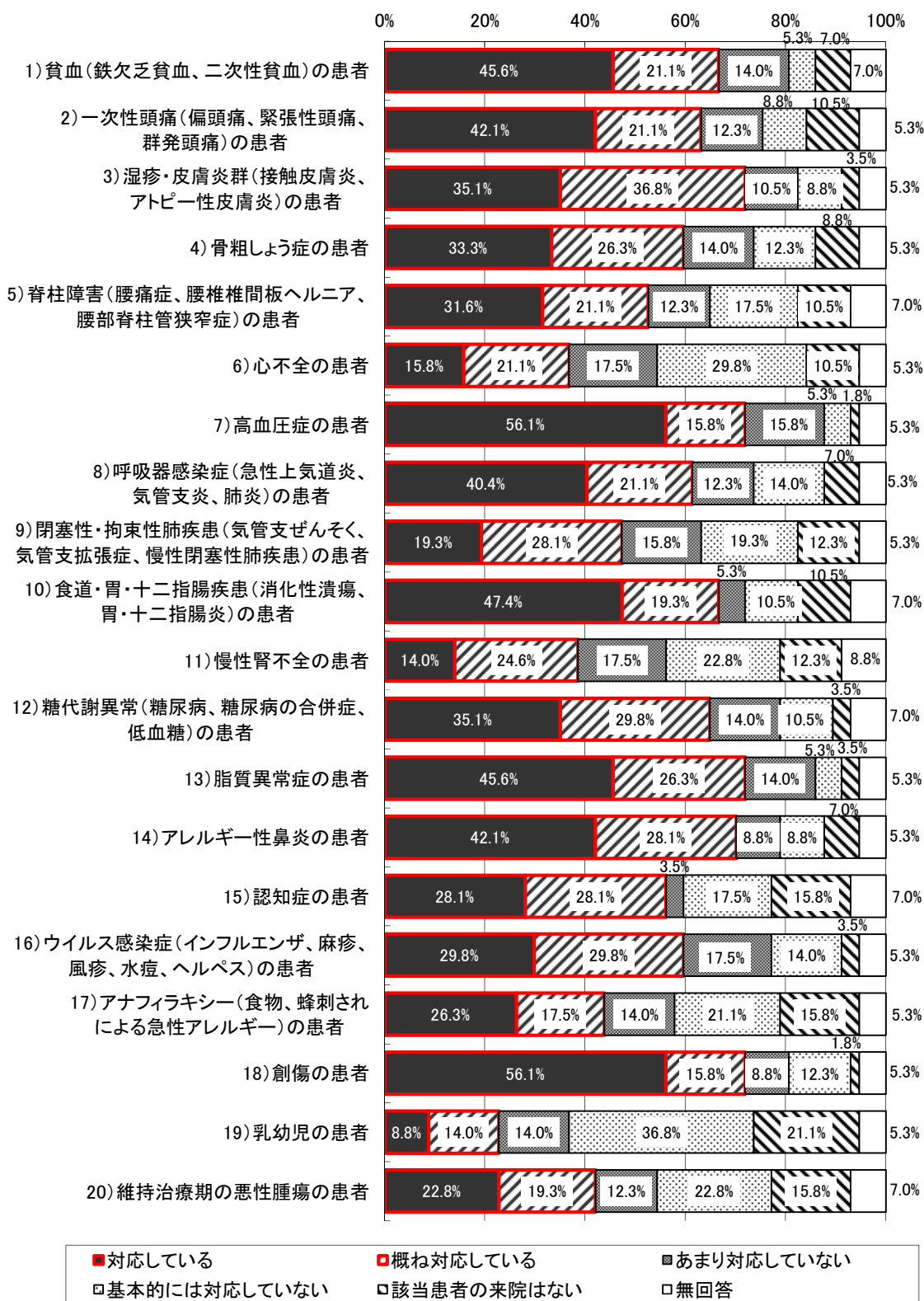
■ 対応している
 ■ 概ね対応している
 ■ あまり対応していない
 基本的には対応していない
 該当患者の来院はない
 無回答

2) 主たる担当診療科別

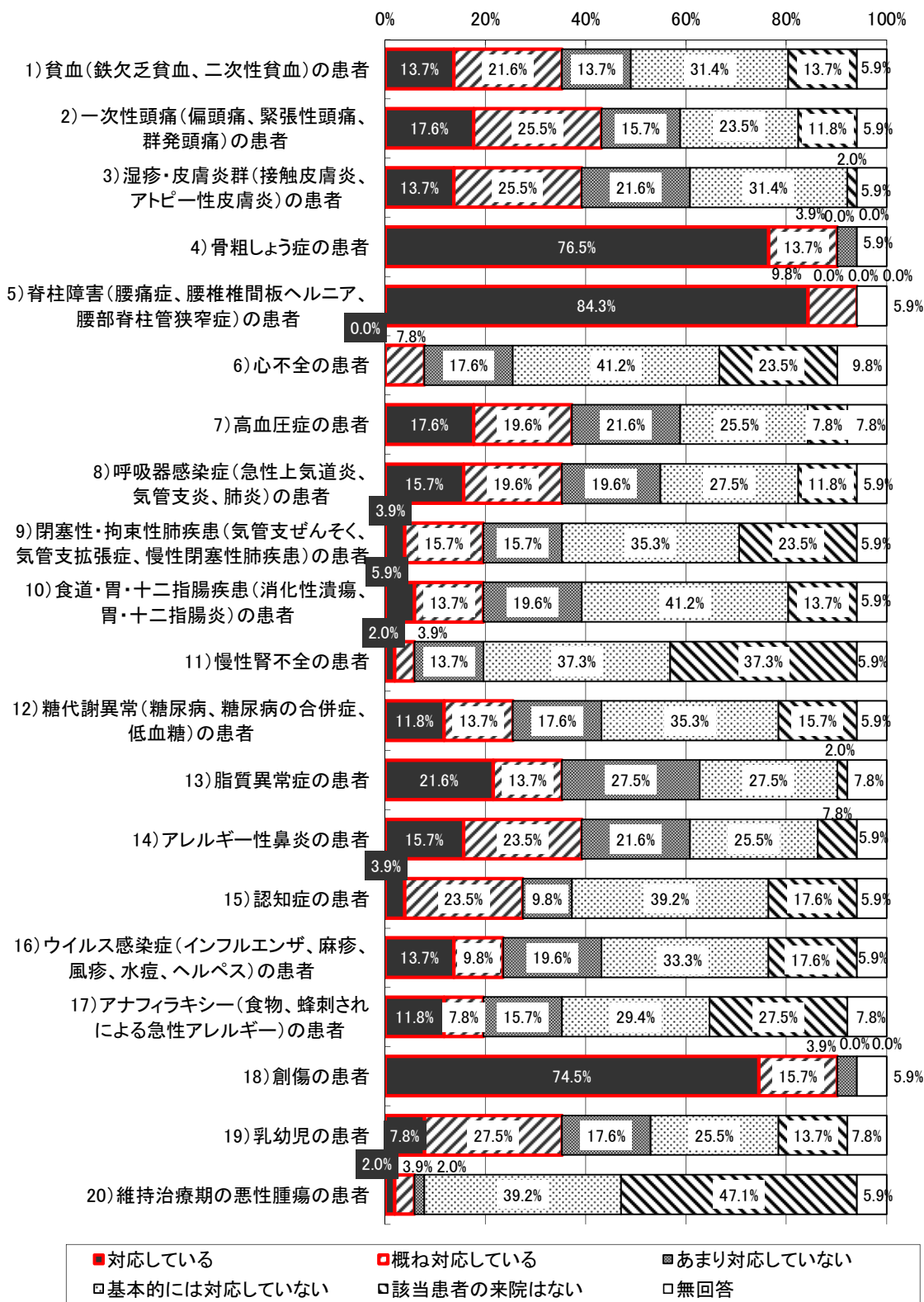
図表 3- 76 外来患者への対応状況（内科系、n=300）



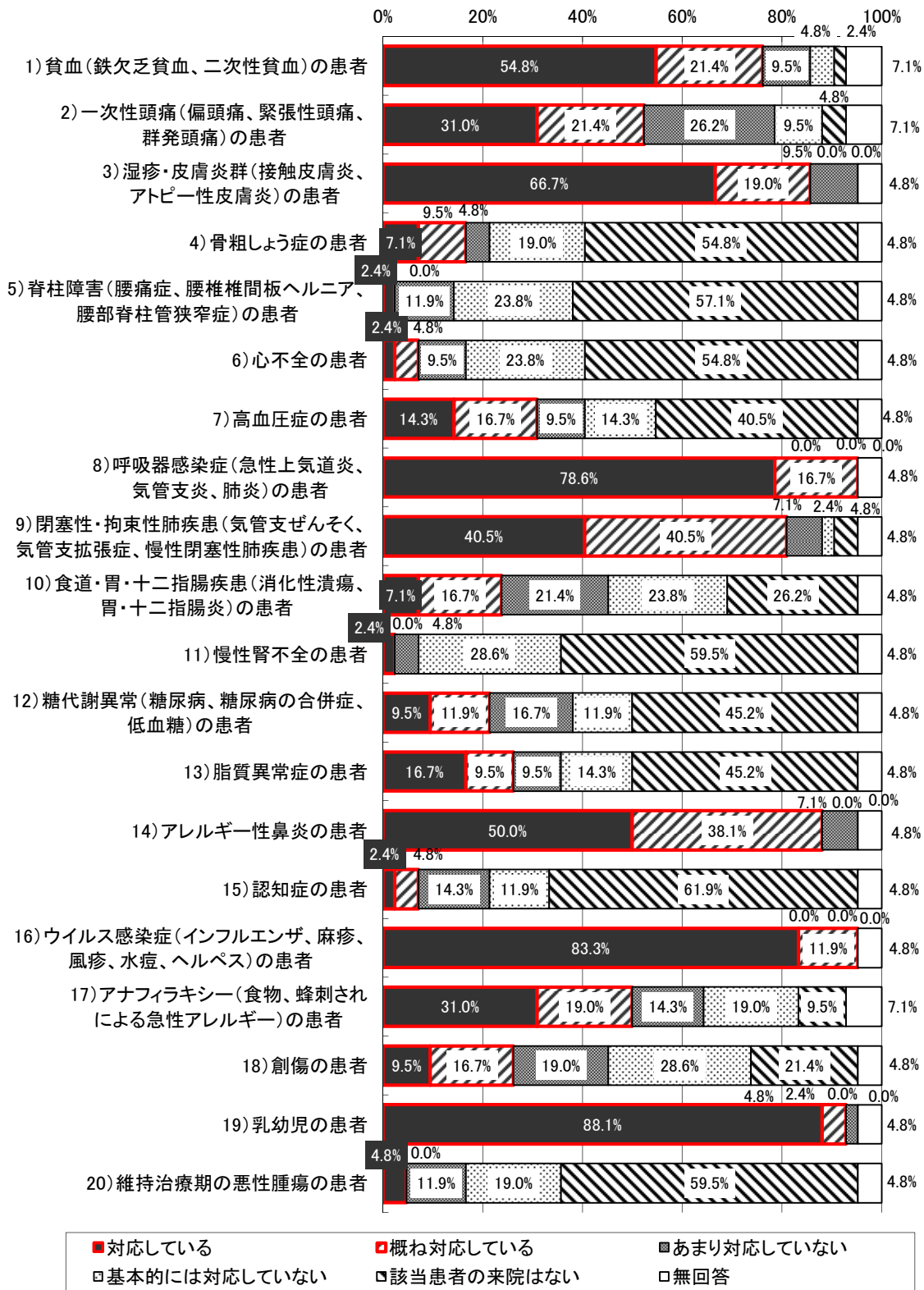
図表 3-77 外来患者への対応状況（外科系、n=57）



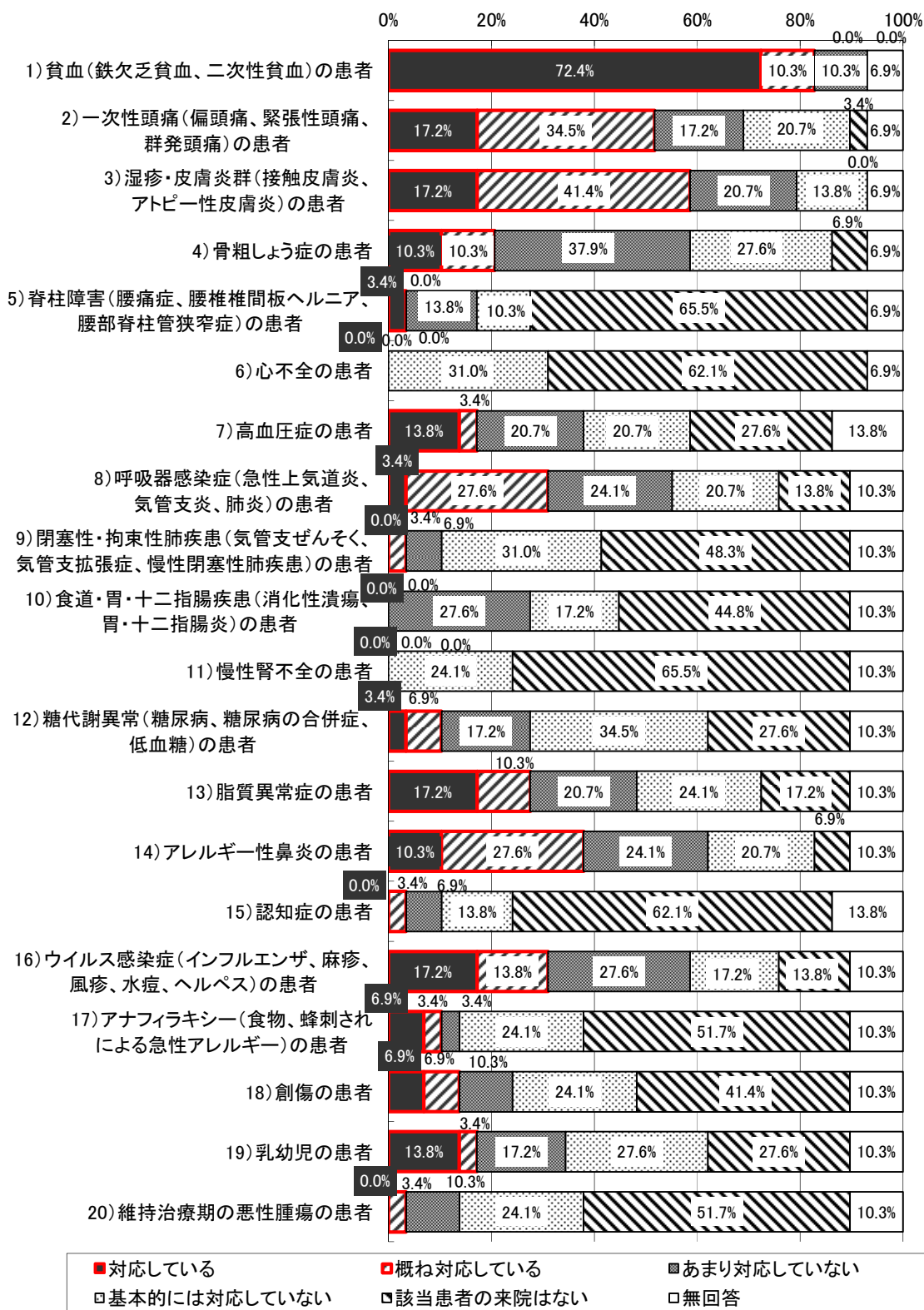
図表 3- 78 外来患者への対応状況（整形外科、n=51）



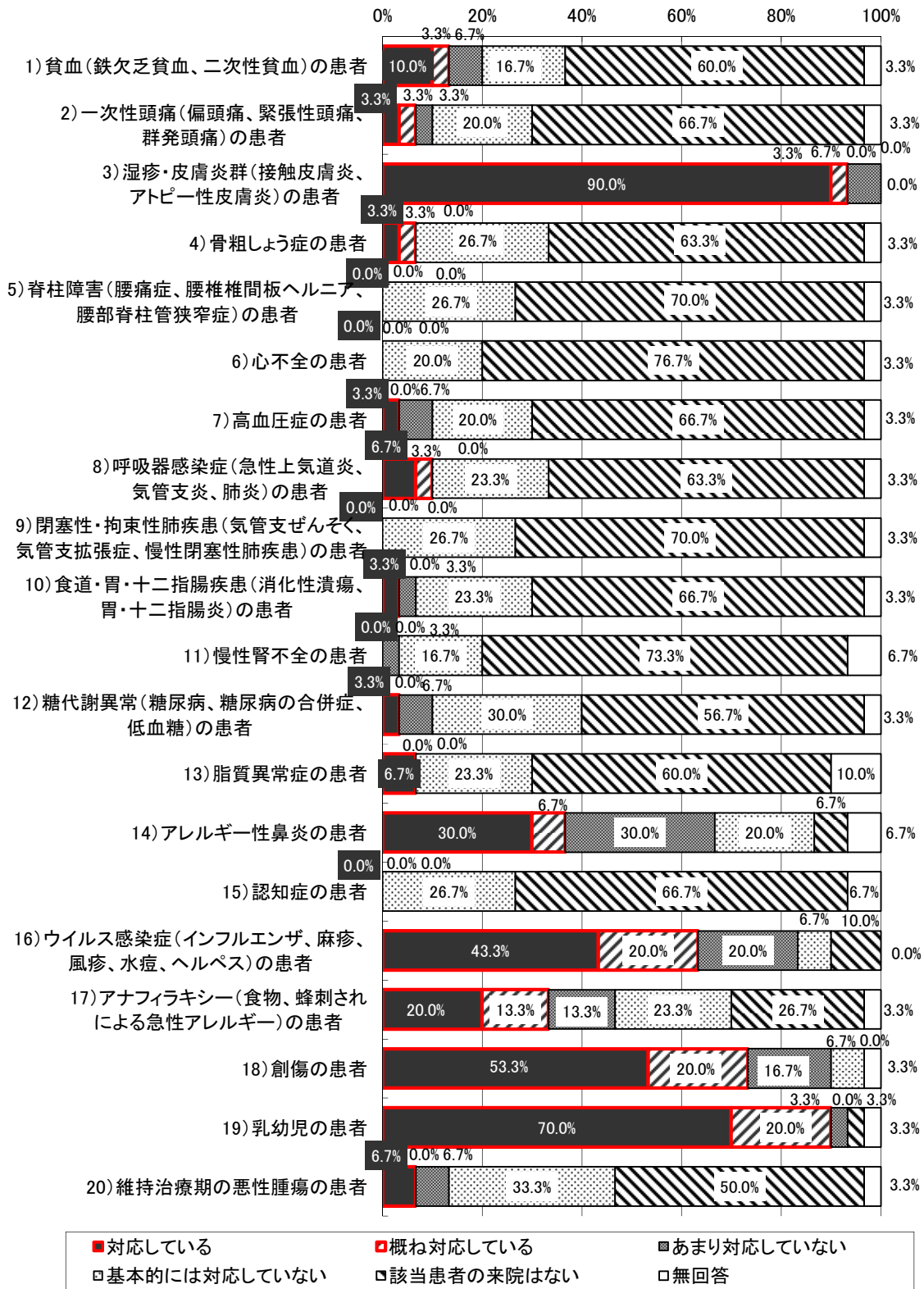
図表 3- 79 外来患者への対応状況（小児科・小児外科、n=42）



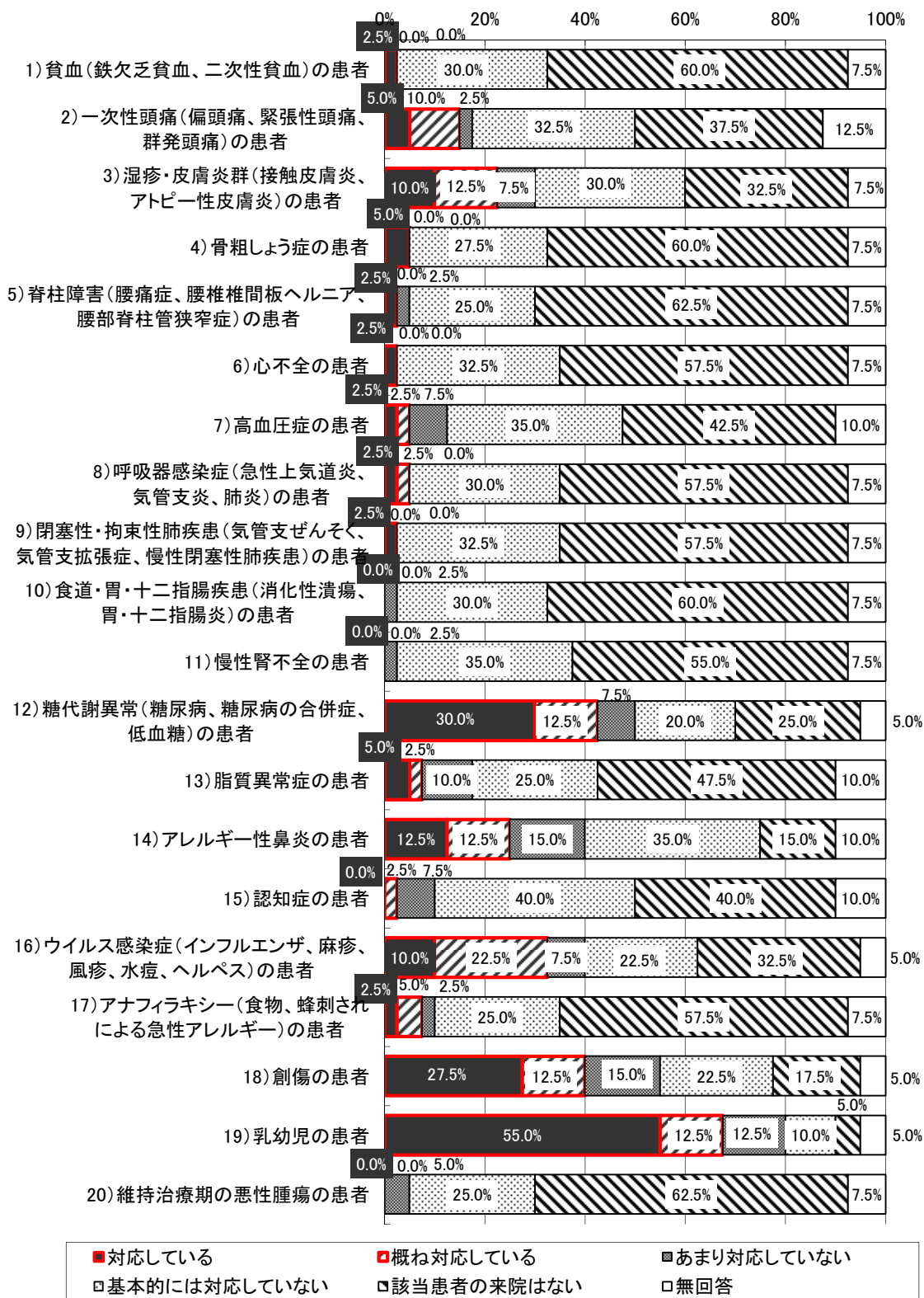
図表 3- 80 外来患者への対応状況（産婦人科・産科・婦人科、n=29）



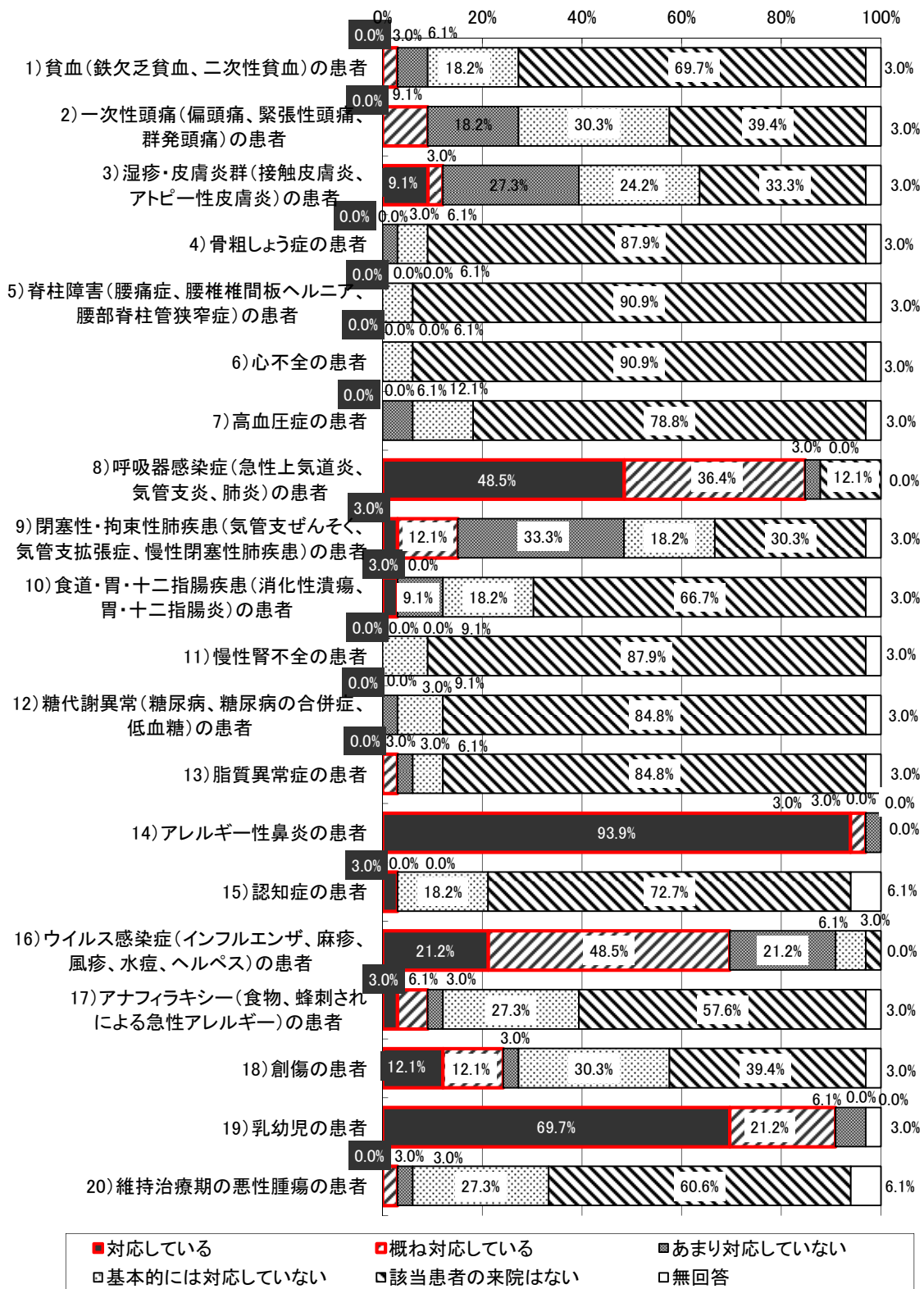
図表 3- 81 外来患者への対応状況（皮膚科、n=30）



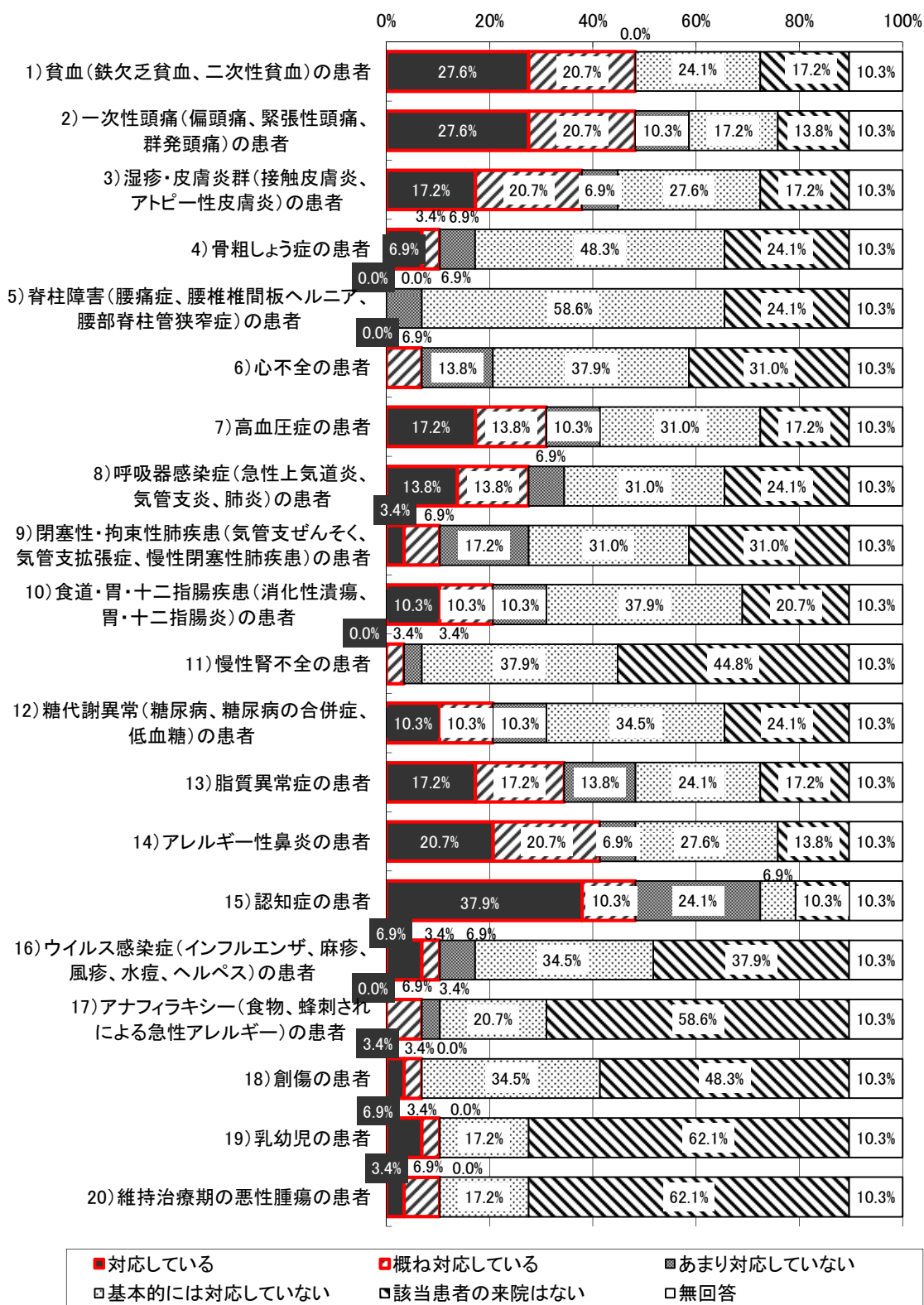
図表 3- 82 外来患者への対応状況（眼科、n=40）



図表 3- 83 外来患者への対応状況（耳鼻いんこう科、n=33）

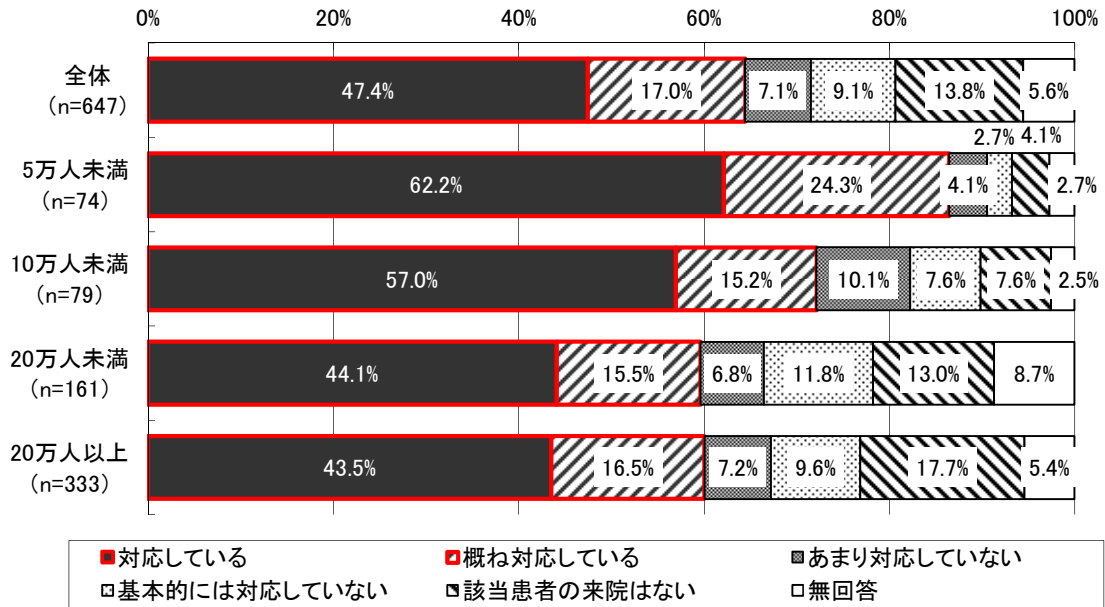


図表 3- 84 外来患者への対応状況（精神科・心療内科、n=29）

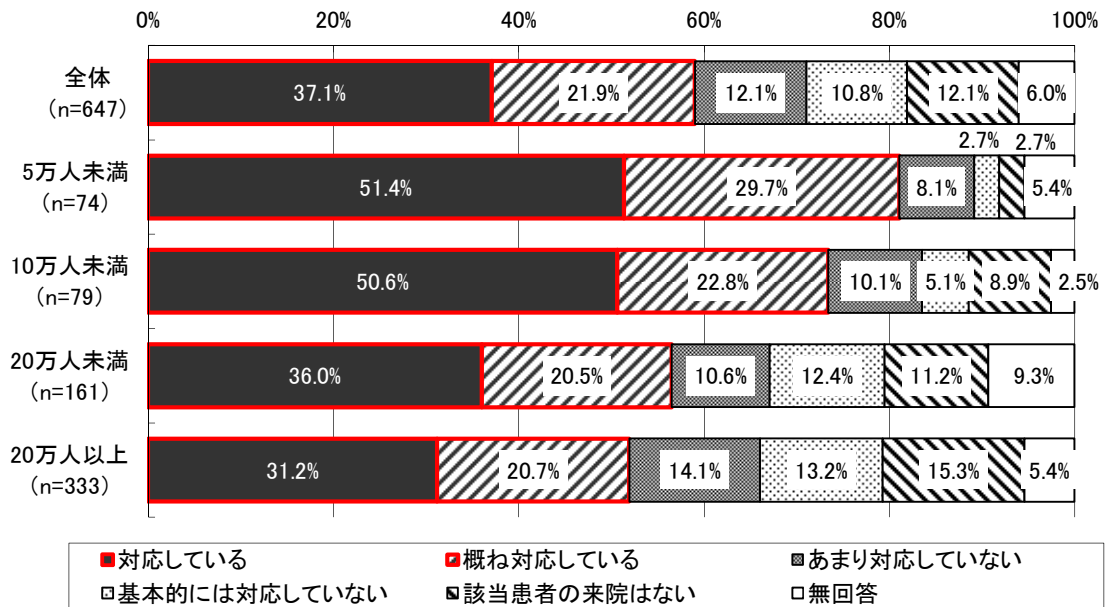


②外来患者への対応状況（地域別）

図表 3- 85 外来患者への対応状況（地域別）
 ～1）貧血（鉄欠乏貧血、二次性貧血）の患者～

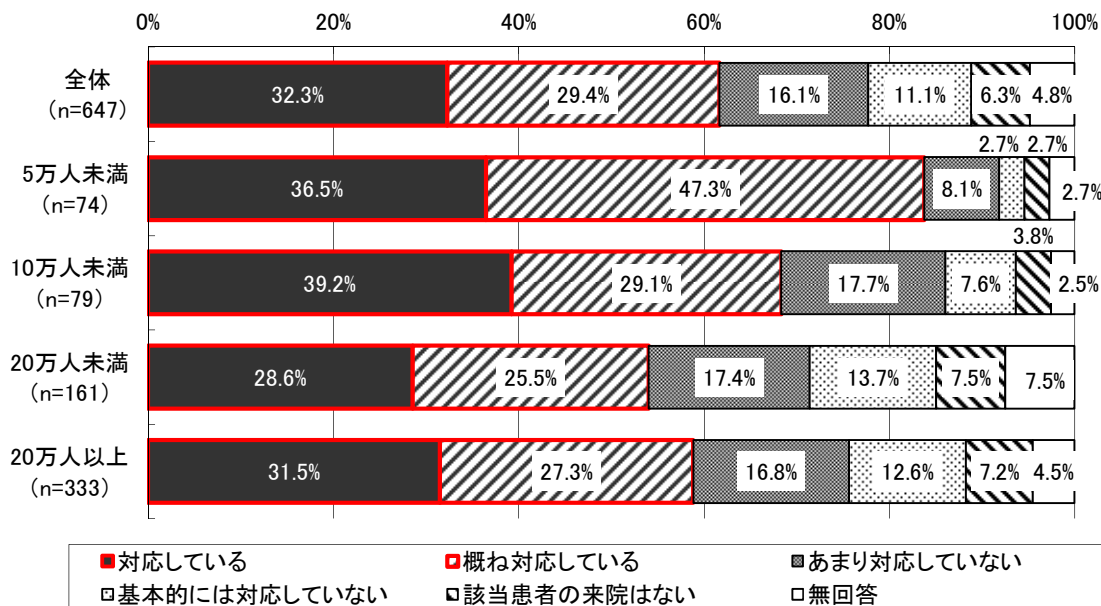


図表 3- 86 外来患者への対応状況（地域別）
 ～2）一次性頭痛（偏頭痛、緊張性頭痛、群発頭痛）の患者～



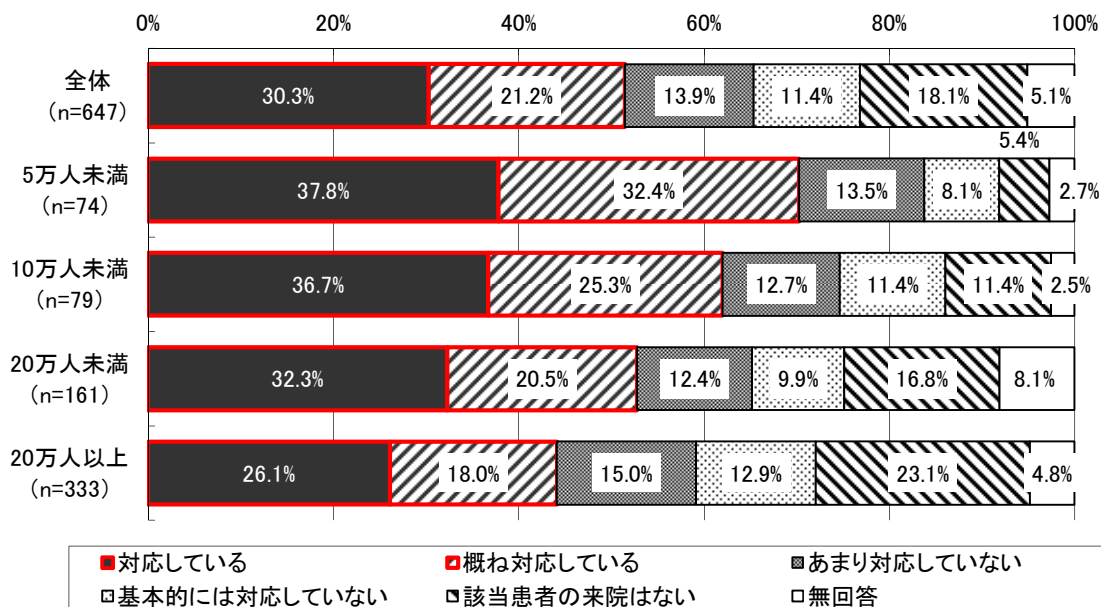
図表 3- 87 外来患者への対応状況（地域別）

～3) 湿疹・皮膚炎群（接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎）の患者～



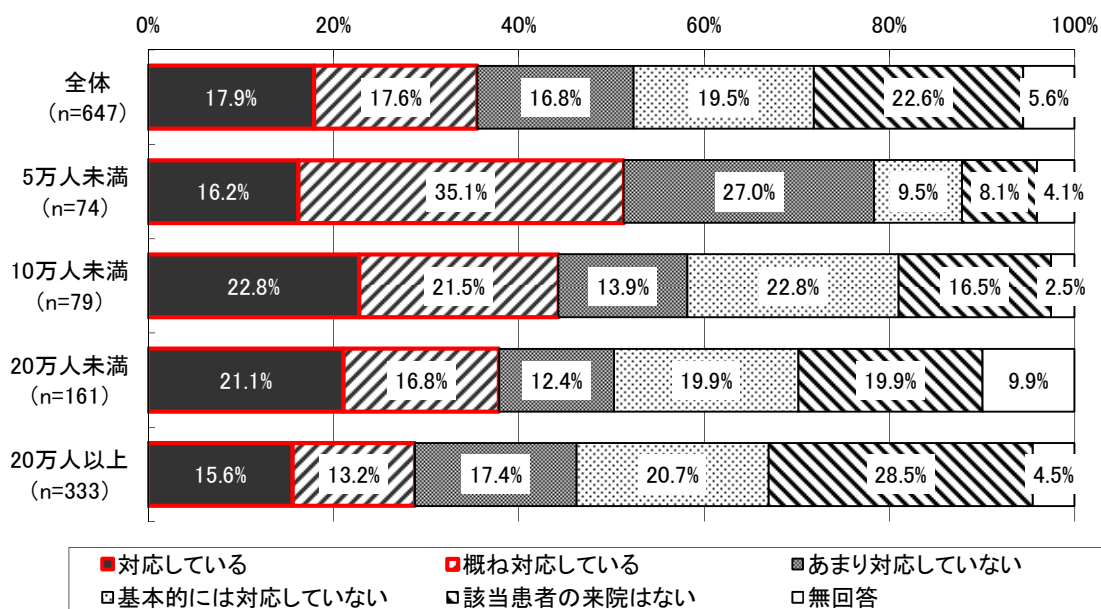
図表 3- 88 外来患者への対応状況（地域別）

～4) 骨粗しょう症の患者～



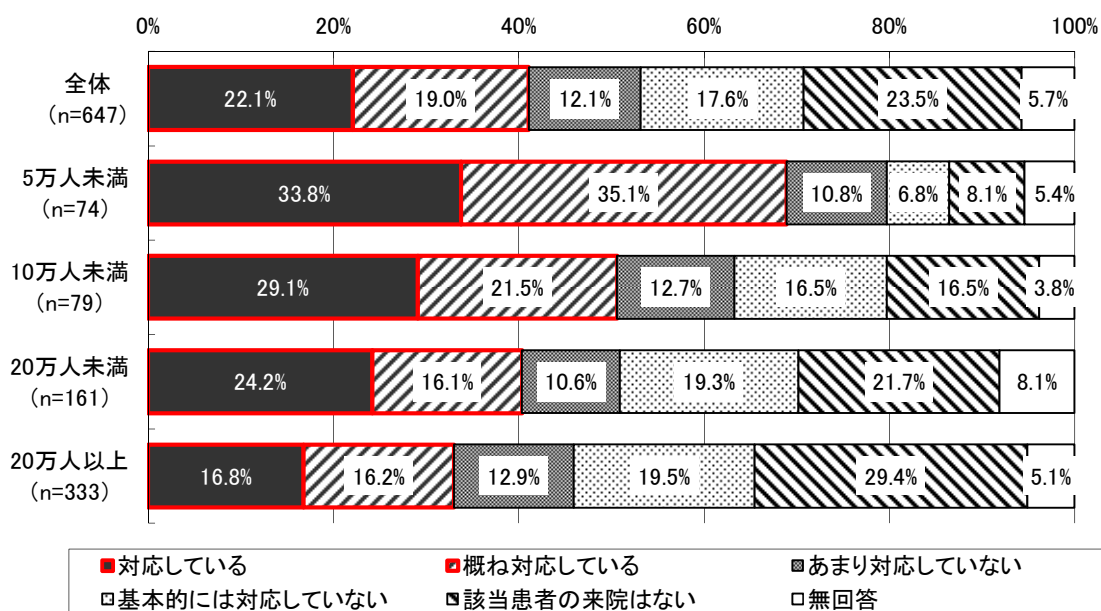
図表 3- 89 外来患者への対応状況（地域別）

～5) 脊柱障害（腰痛症、腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症）の患者～

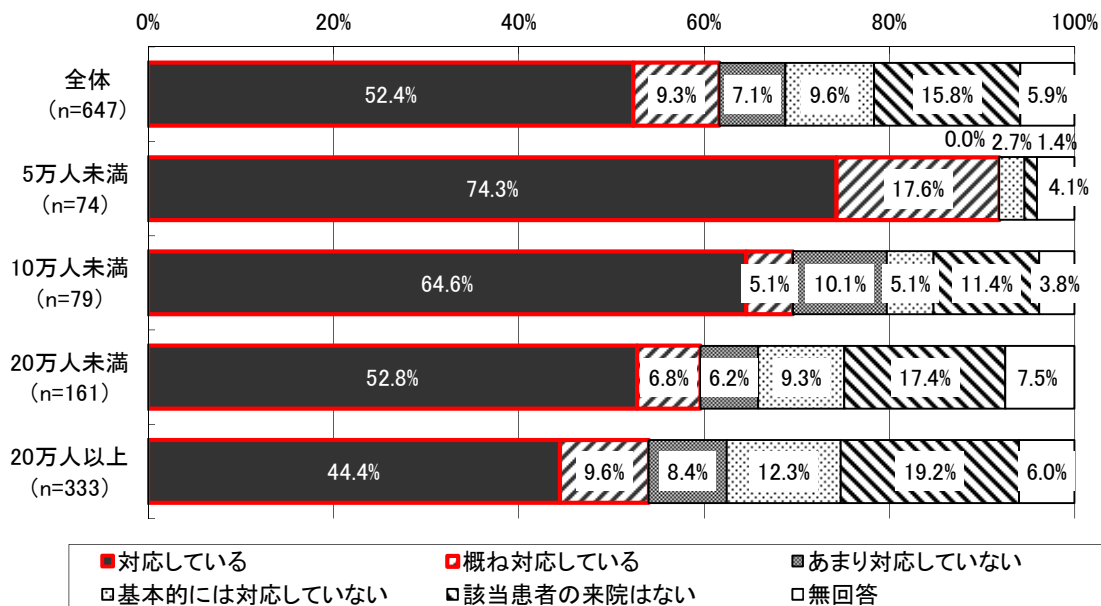


図表 3- 90 外来患者への対応状況（地域別）

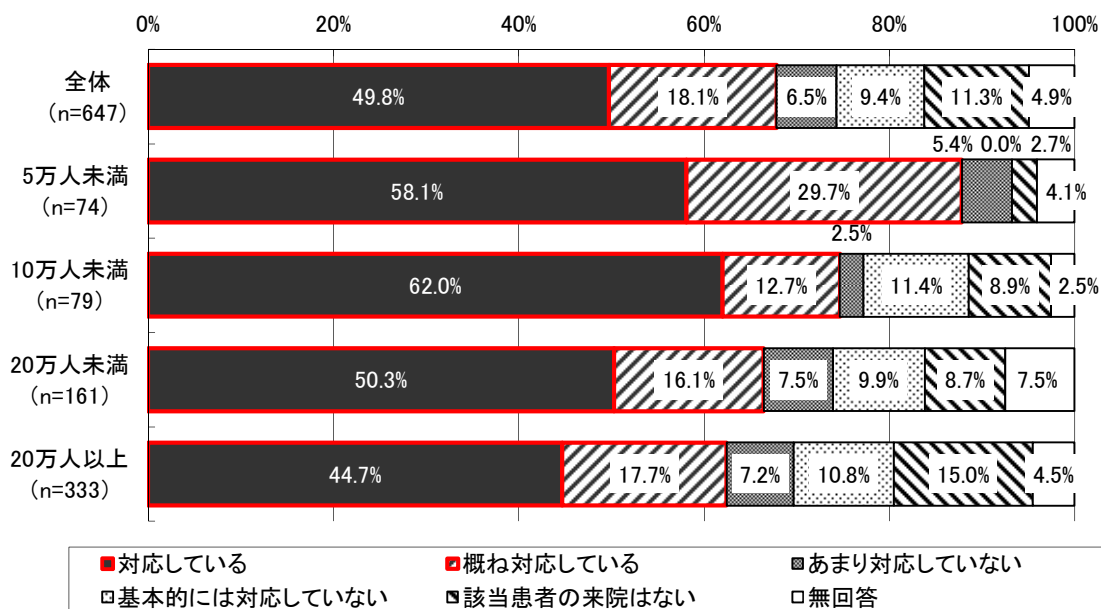
～6) 心不全の患者～



図表 3- 91 外来患者への対応状況（地域別）
～7）高血圧症の患者～

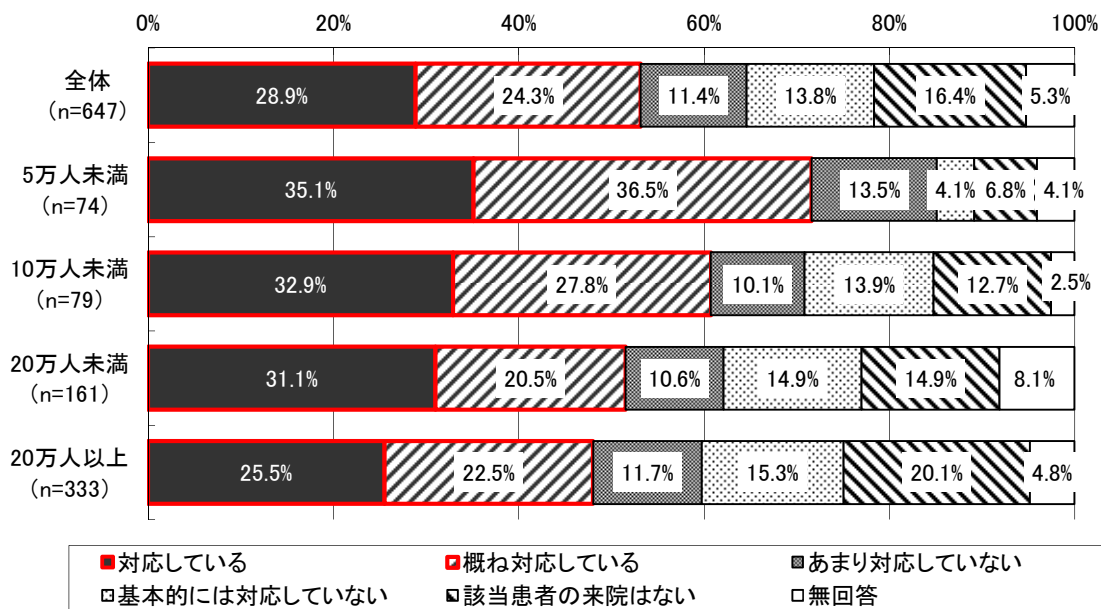


図表 3- 92 外来患者への対応状況（地域別）
～8）呼吸器感染症（急性上気道炎、気管支炎、肺炎）の患者～



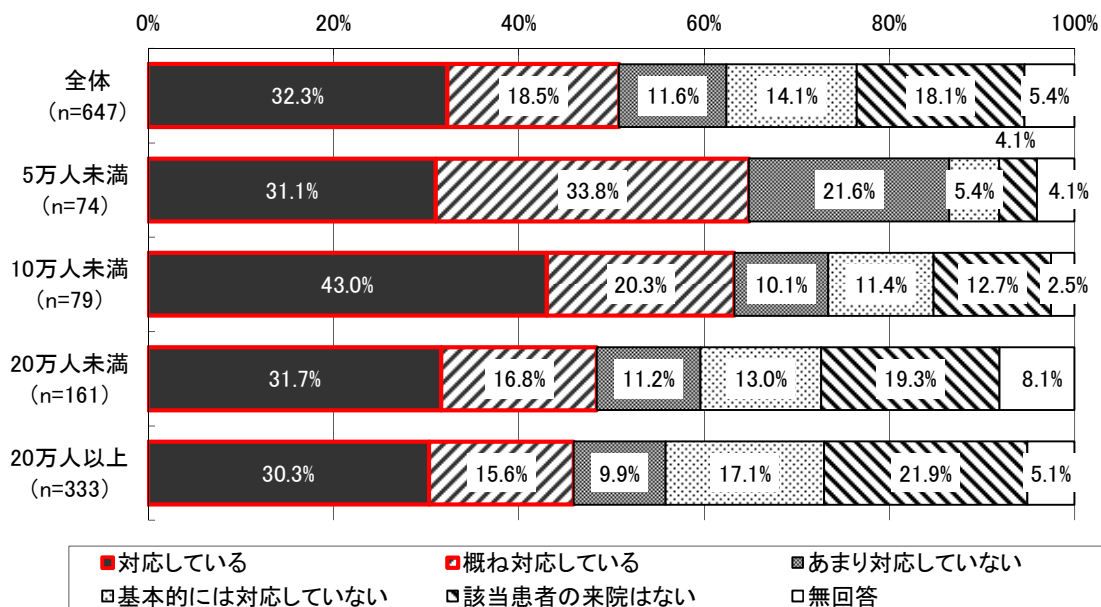
図表 3- 93 外来患者への対応状況（地域別）

～9) 閉塞性・拘束性肺疾患（気管支ぜんそく、気管支拡張症、慢性閉塞性肺疾患）の患者～

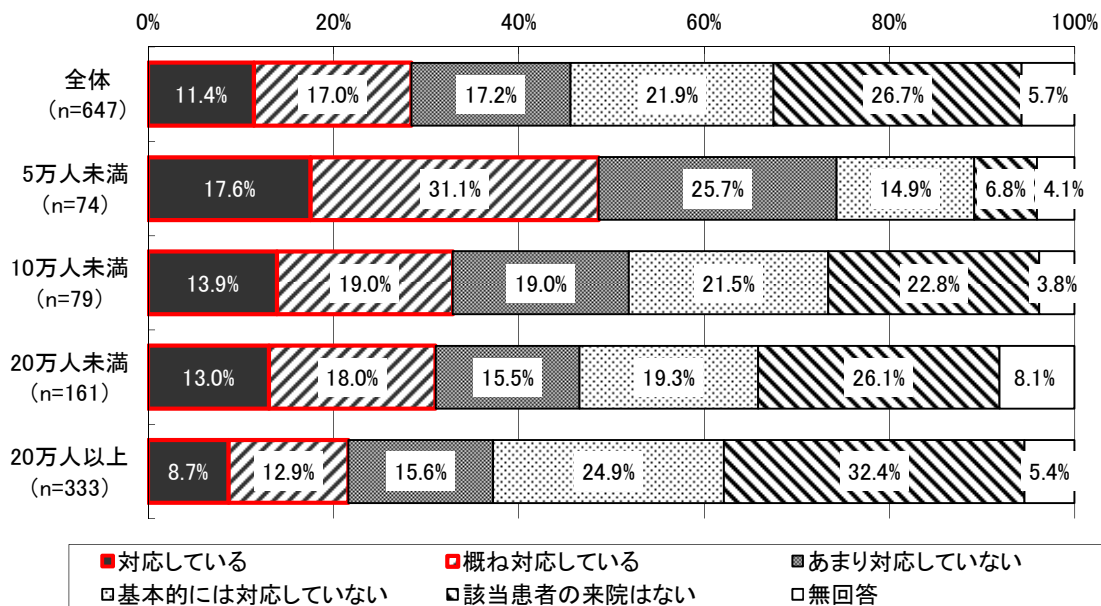


図表 3- 94 外来患者への対応状況（地域別）

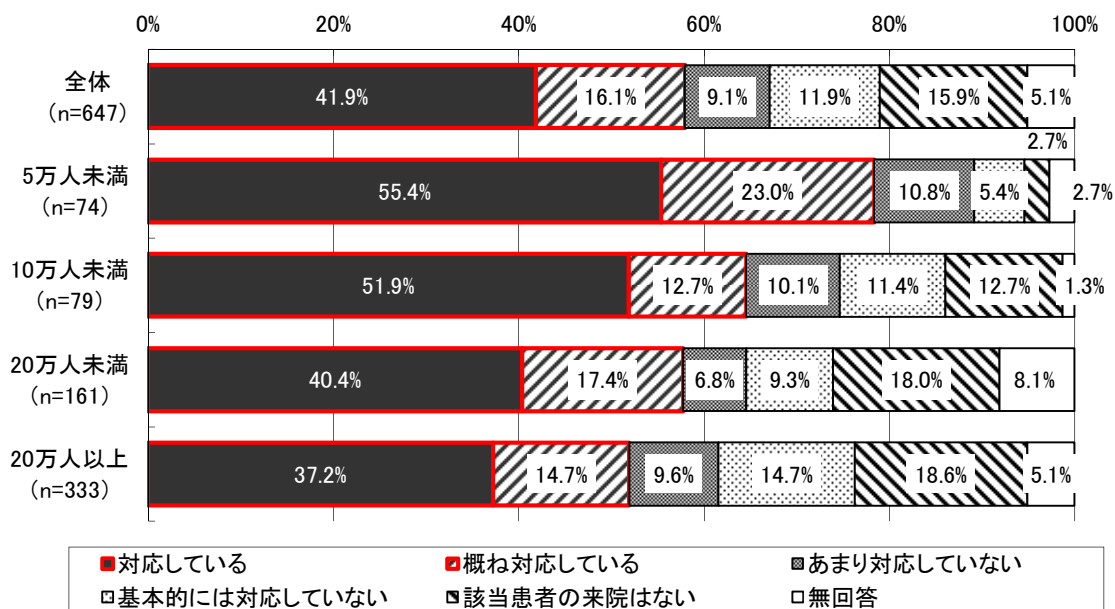
～10) 食道・胃・十二指腸疾患（消化性潰瘍、胃・十二指腸炎）の患者～



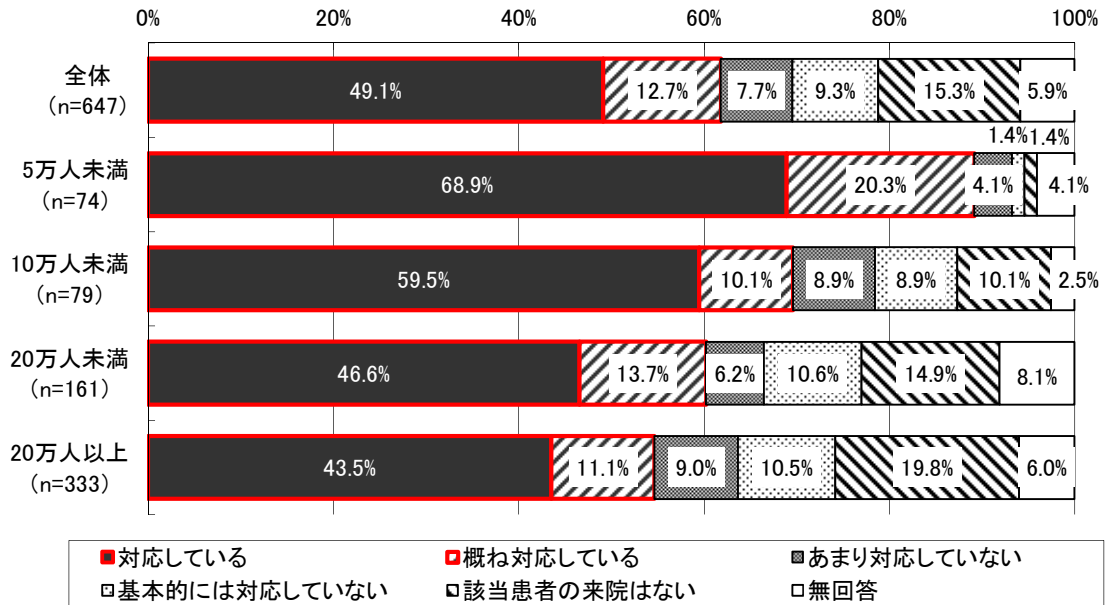
図表 3- 95 外来患者への対応状況（地域別）
～11）慢性腎不全の患者～



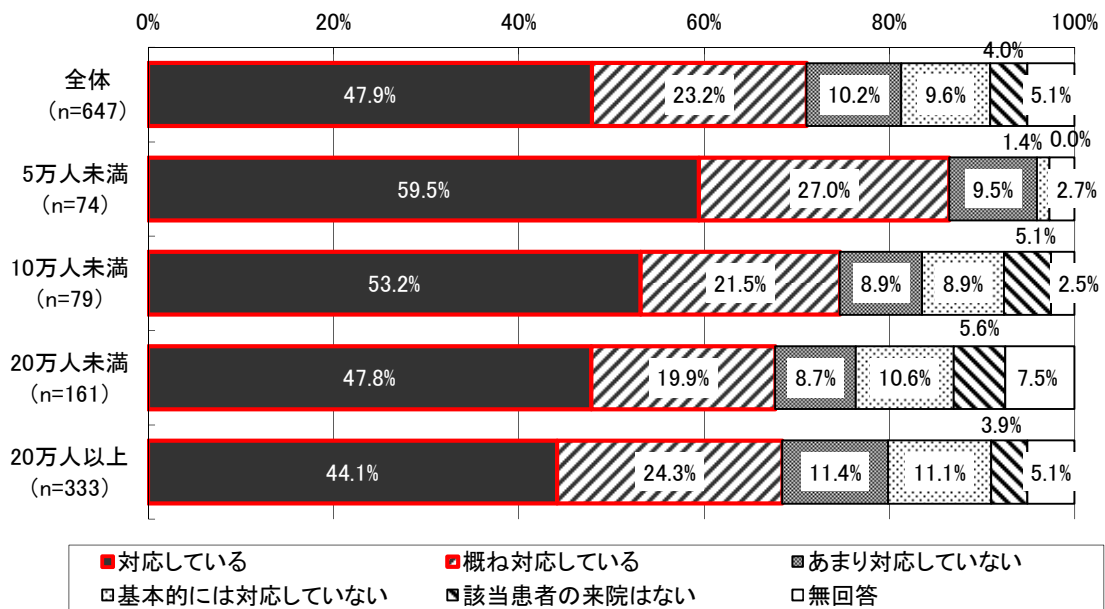
図表 3- 96 外来患者への対応状況（地域別）
～12）糖代謝異常（糖尿病、糖尿病の合併症、低血糖）の患者～



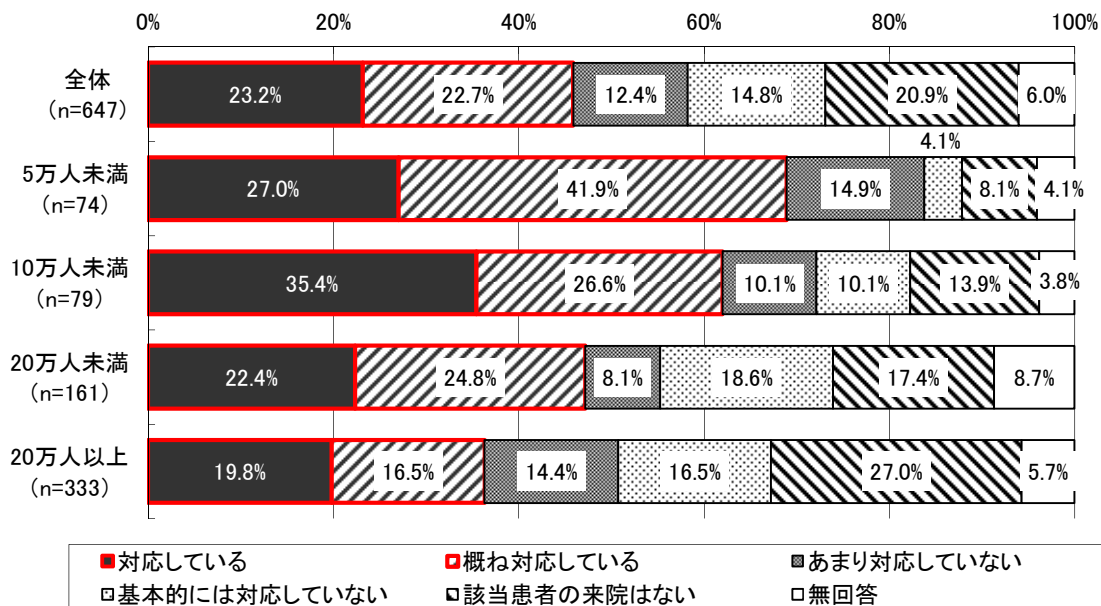
図表 3- 97 外来患者への対応状況（地域別）
～13）脂質異常症の患者～



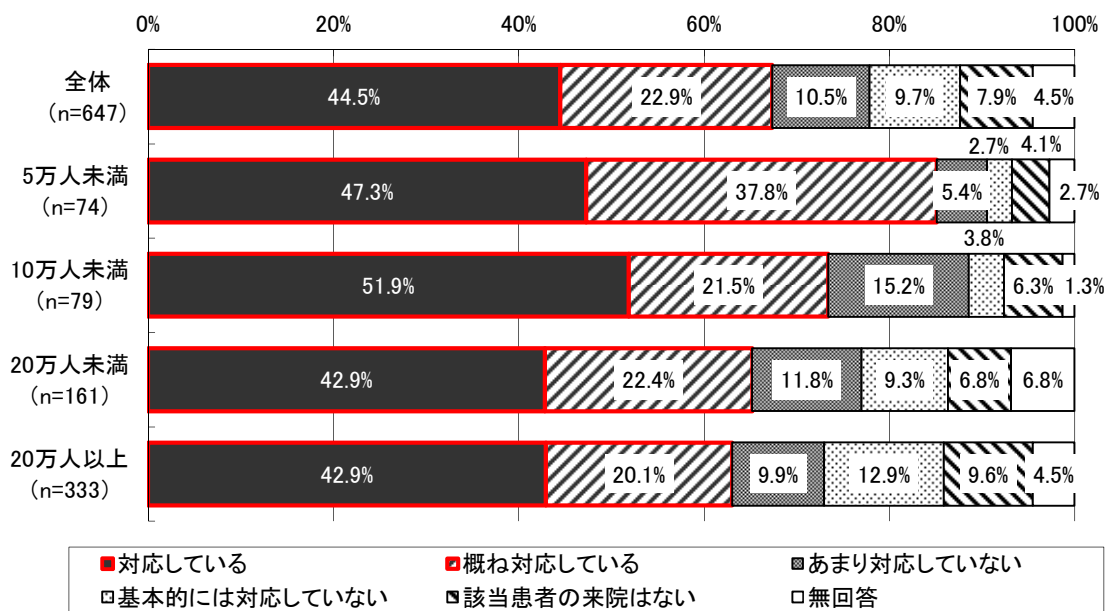
図表 3- 98 外来患者への対応状況（地域別）
～14）アレルギー性鼻炎の患者～



図表 3- 99 外来患者への対応状況（地域別）
～15) 認知症の患者～

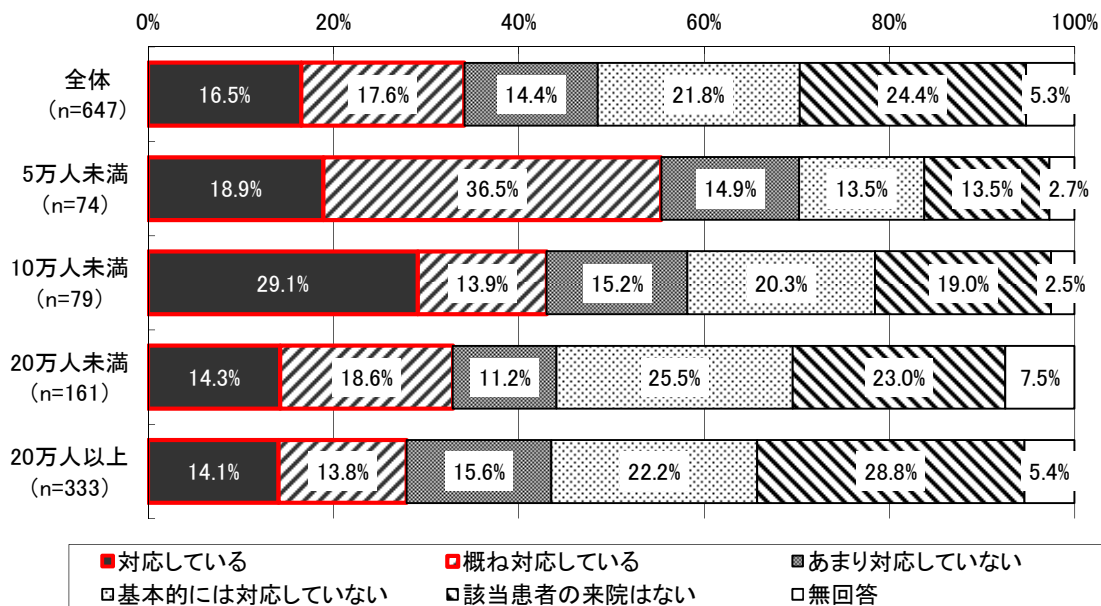


図表 3- 100 外来患者への対応状況（地域別）
～16) ウイルス感染症（インフルエンザ、麻疹、風疹、水痘、ヘルペス）の患者～



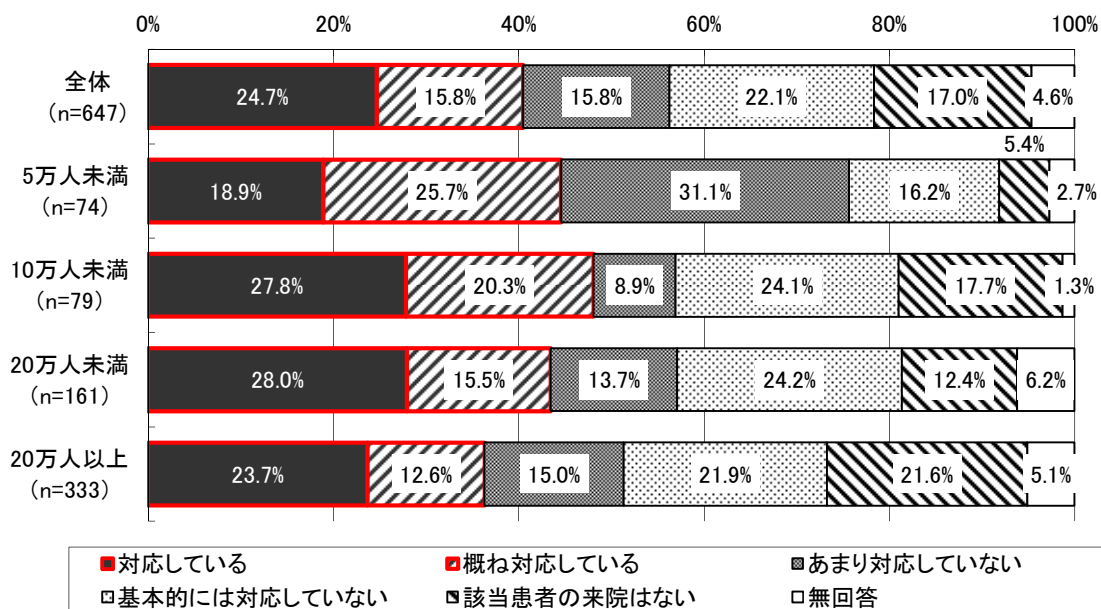
図表 3- 101 外来患者への対応状況（地域別）

～17) アナフィラキシー（食物、蜂刺されによる急性アレルギー）の患者～

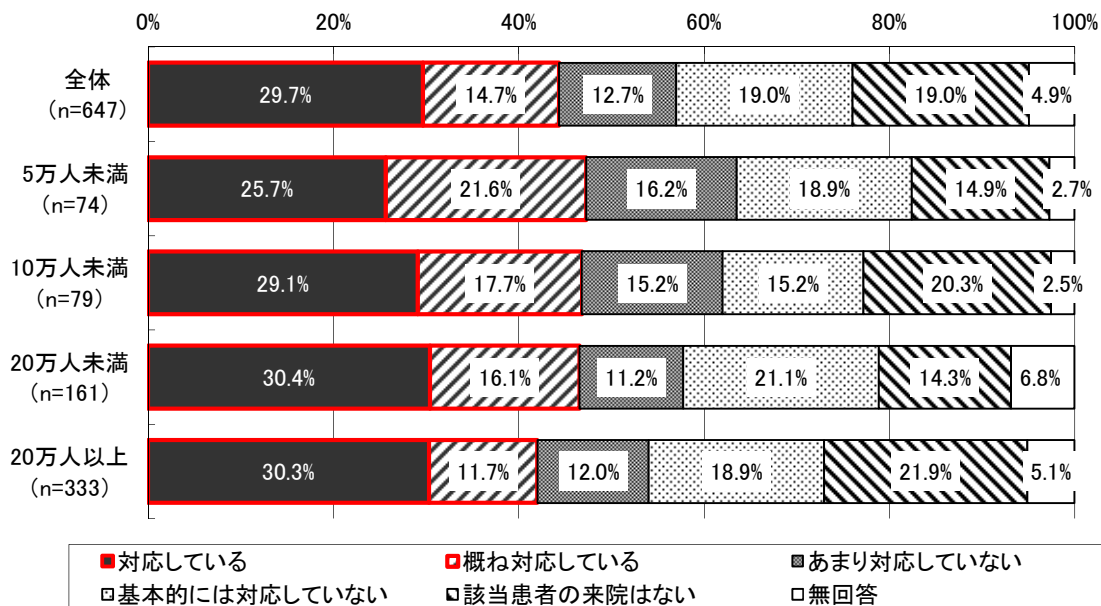


図表 3- 102 外来患者への対応状況（地域別）

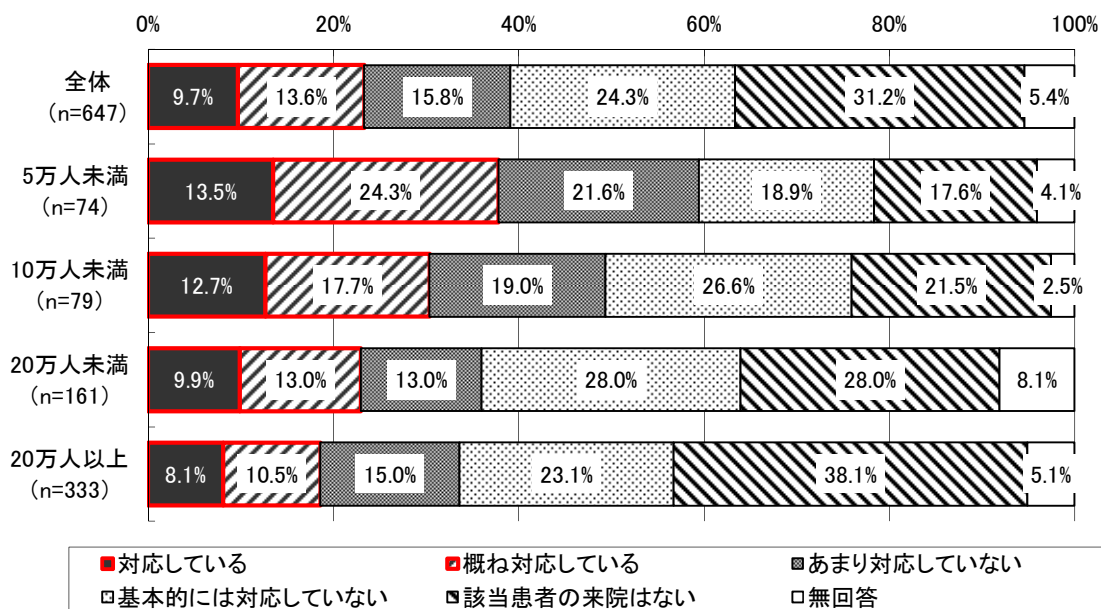
～18) 創傷の患者～



図表 3- 103 外来患者への対応状況（地域別）
～19）乳幼児の患者～

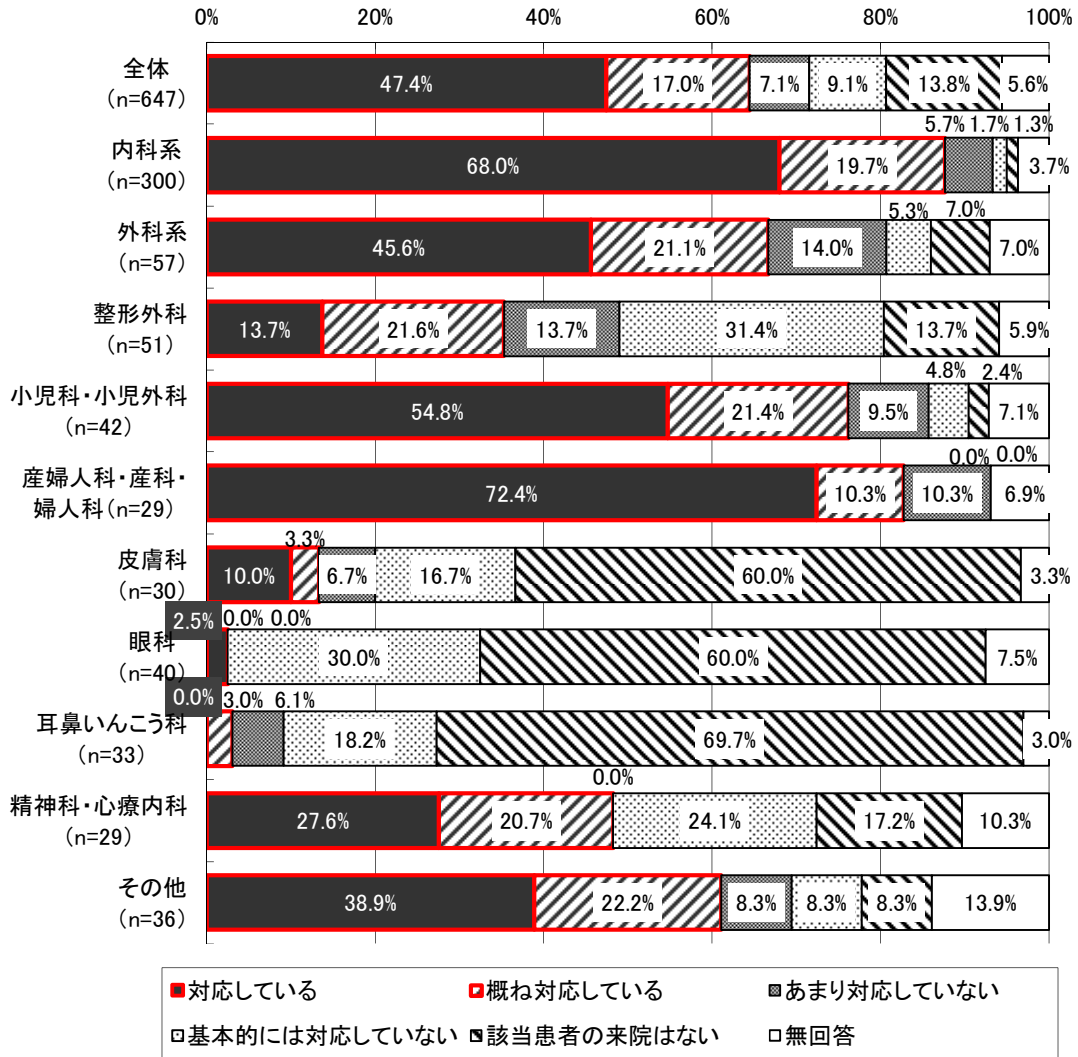


図表 3- 104 外来患者への対応状況（地域別）
～20）維持治療期の悪性腫瘍の患者～

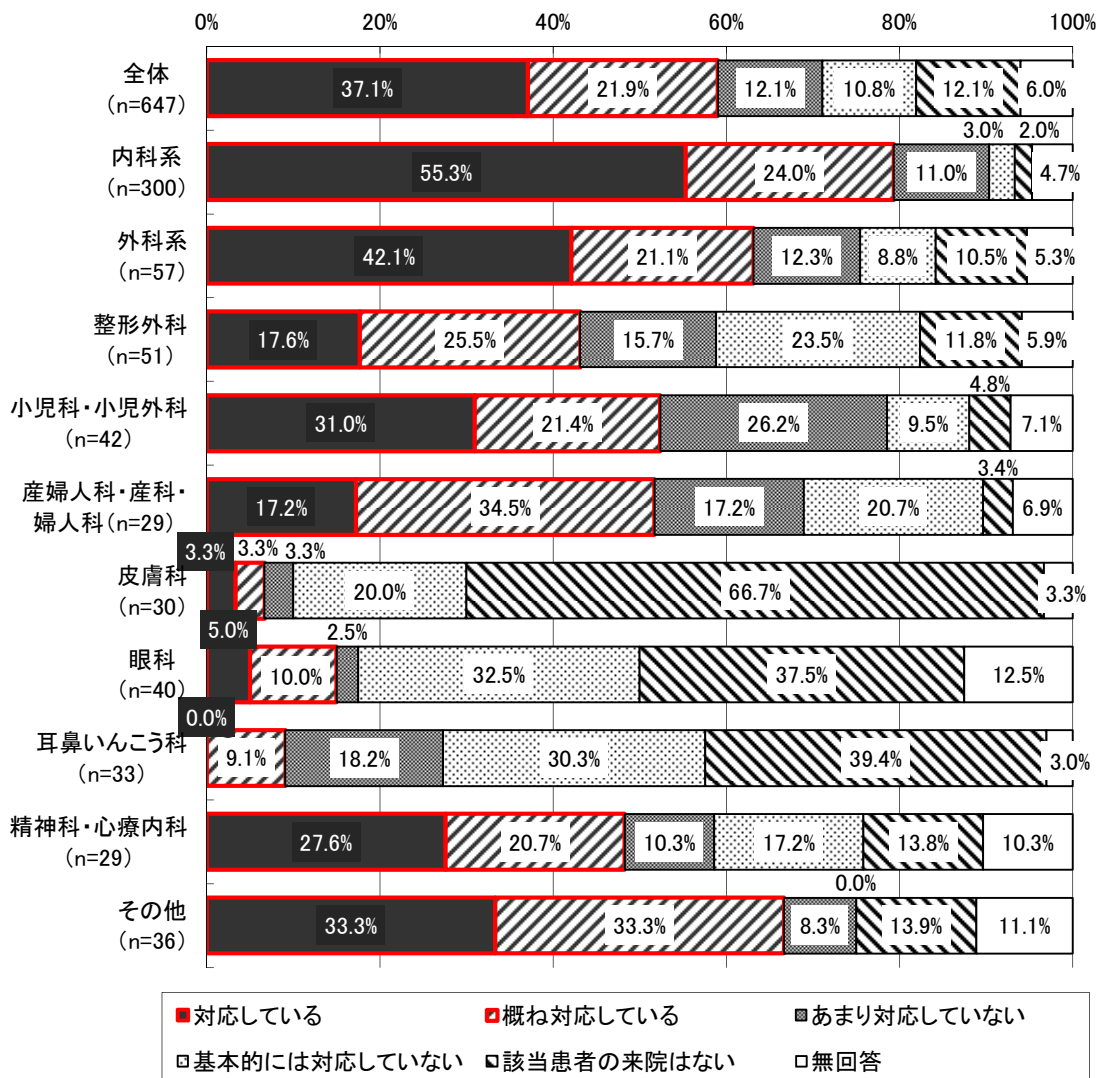


③外来患者への対応状況（主たる診療科別）

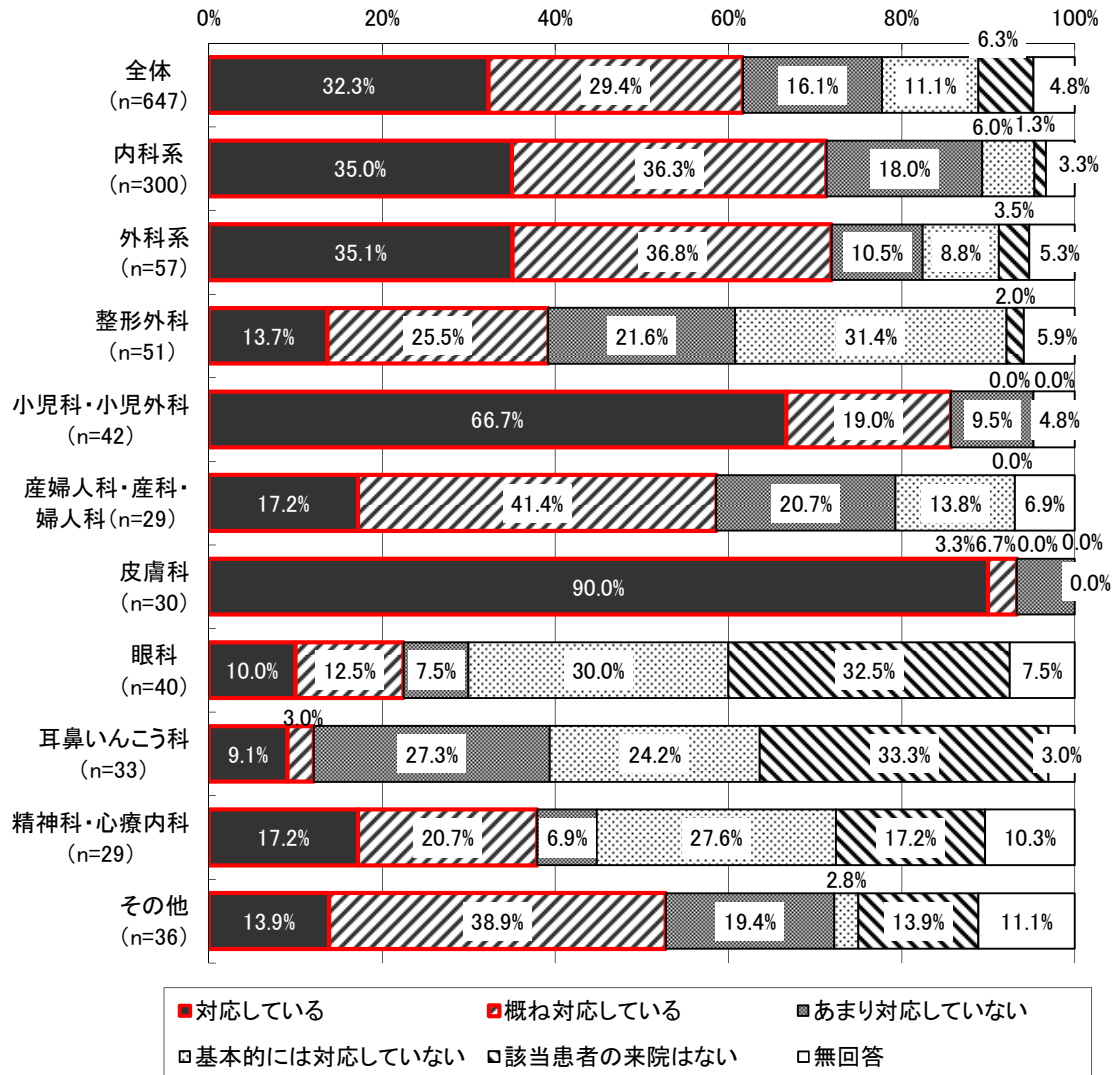
図表 3- 105 外来患者への対応状況（主たる診療科別）
 ～1) 貧血（鉄欠乏貧血、二次性貧血）の患者～



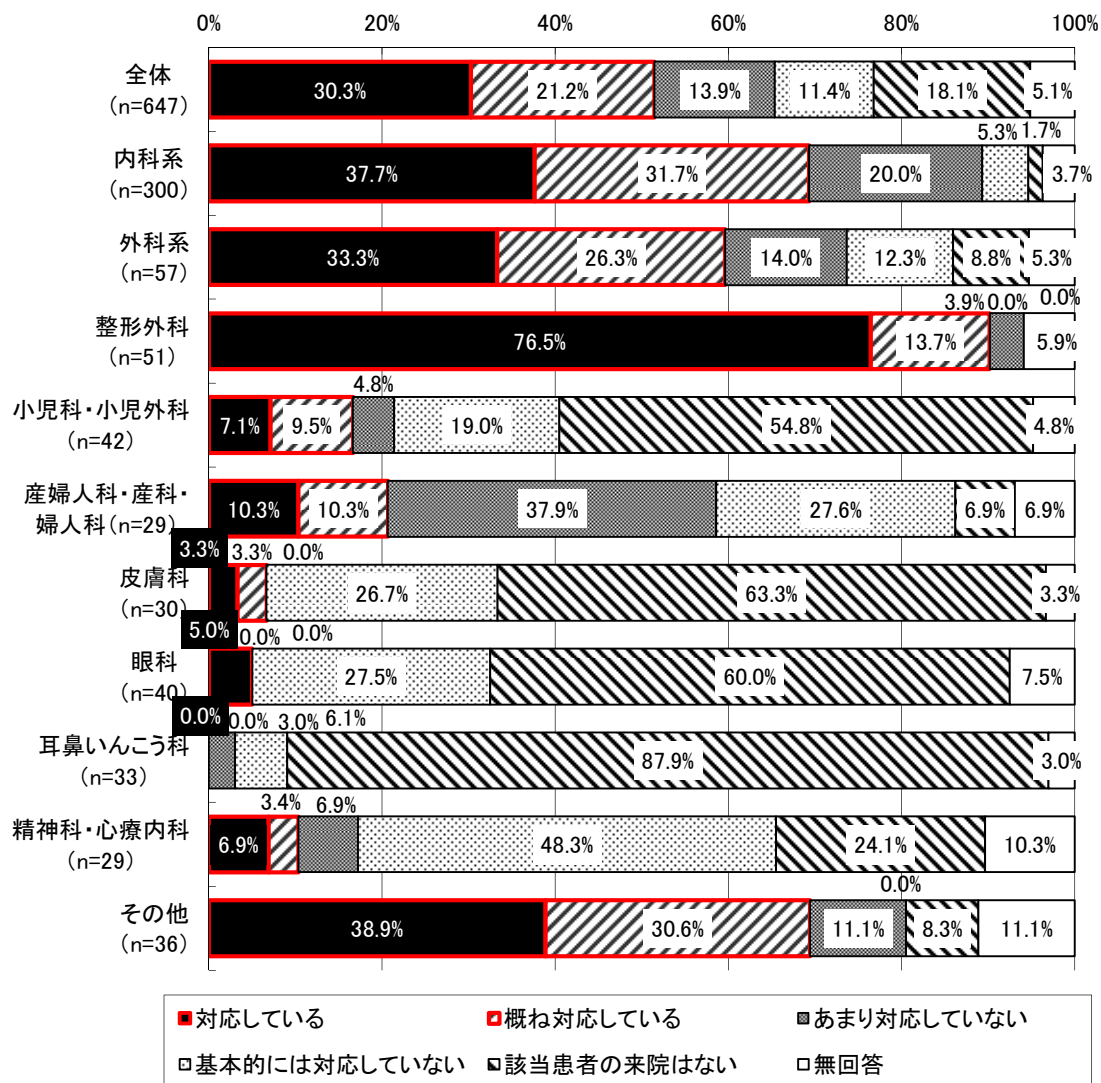
図表 3- 106 外来患者への対応状況（主たる診療科別）
 ～2) 一次性頭痛（偏頭痛、緊張性頭痛、群発頭痛）の患者～



図表 3- 107 外来患者への対応状況（主たる診療科別）
 ～3) 湿疹・皮膚炎群（接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎）の患者～

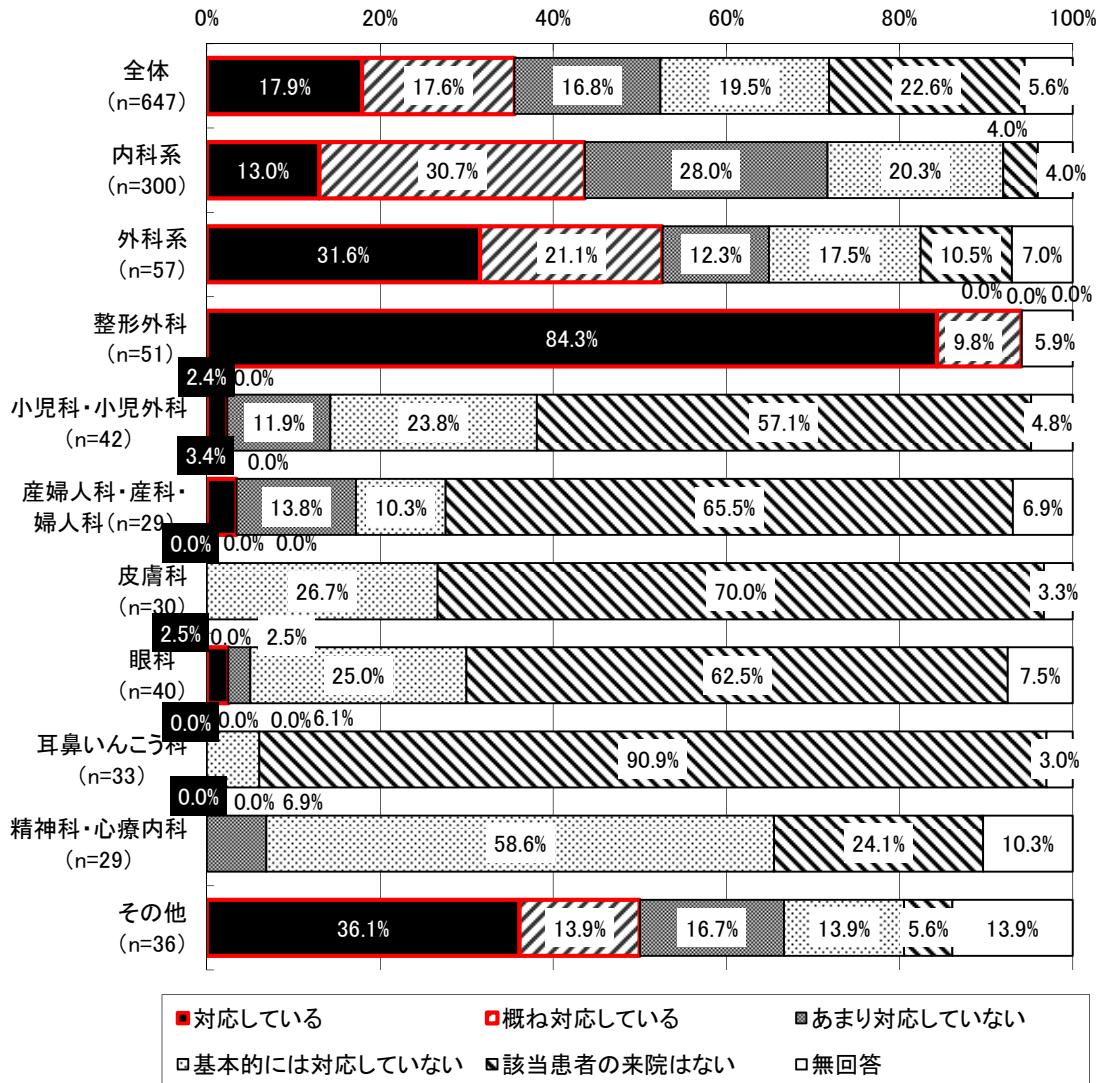


図表 3- 108 外来患者への対応状況（主たる診療科別）
 ～4）骨粗しょう症の患者～

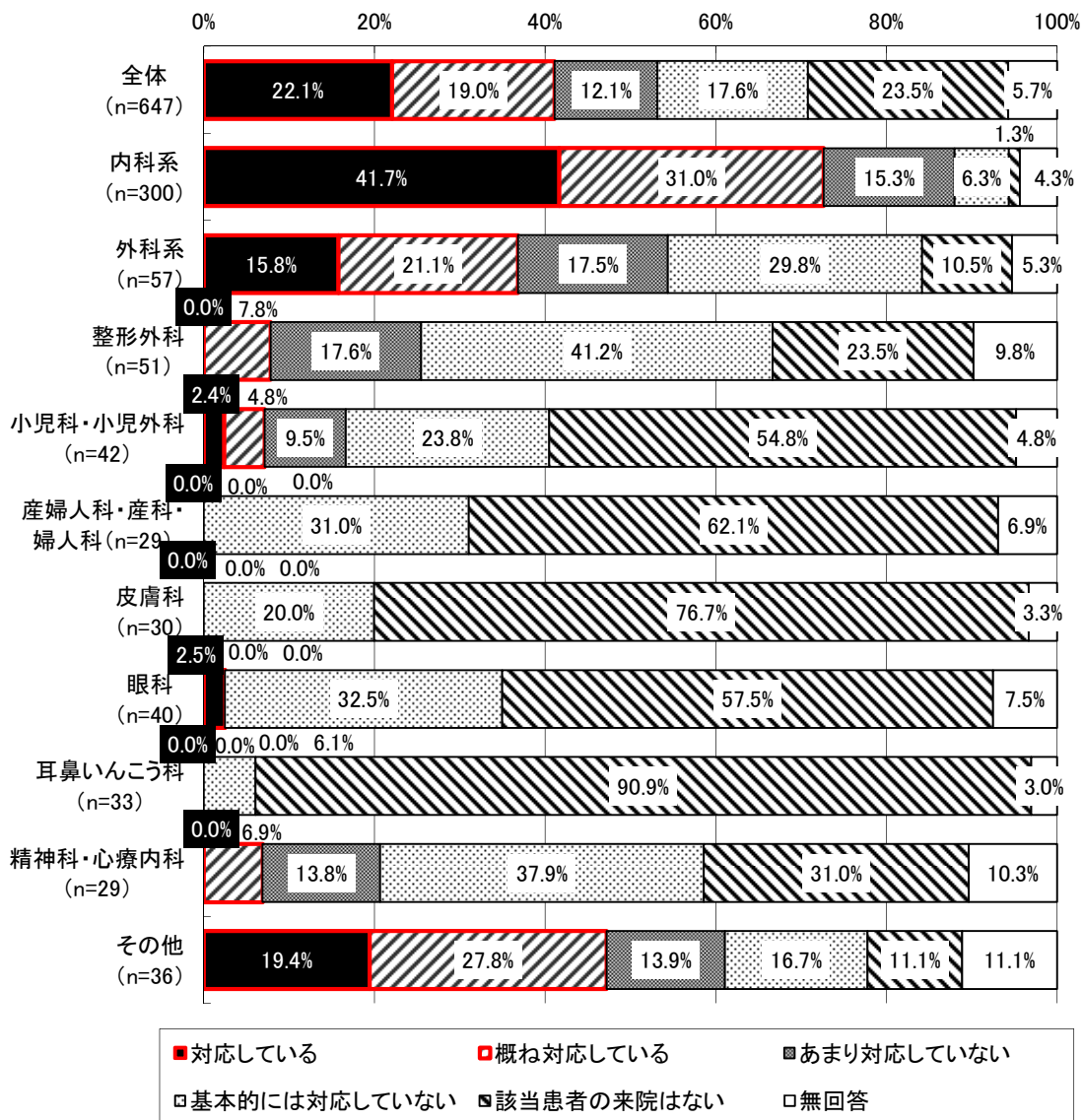


図表 3- 109 外来患者への対応状況（主たる診療科別）

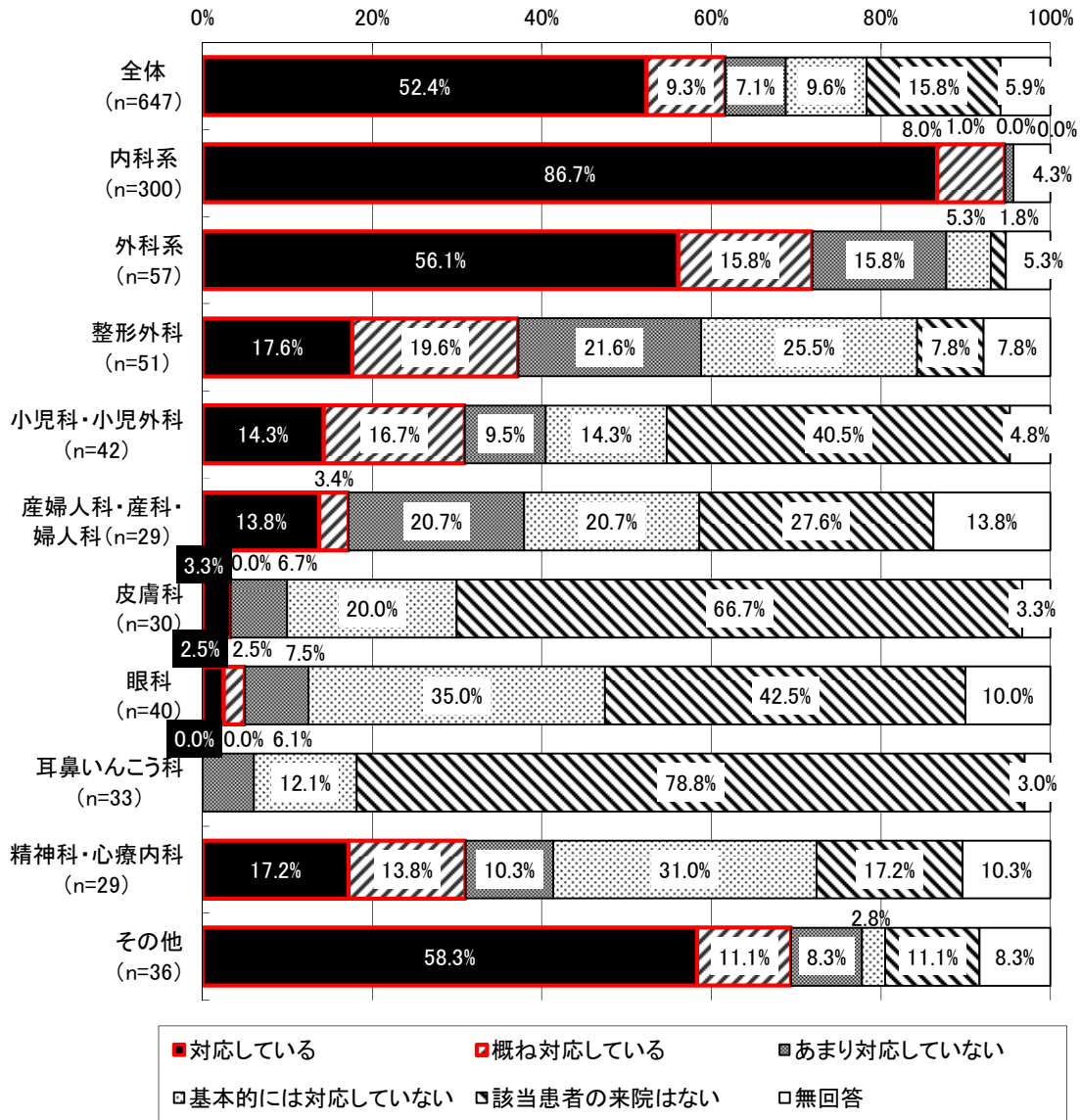
～5) 脊柱障害（腰痛症、腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症）の患者～



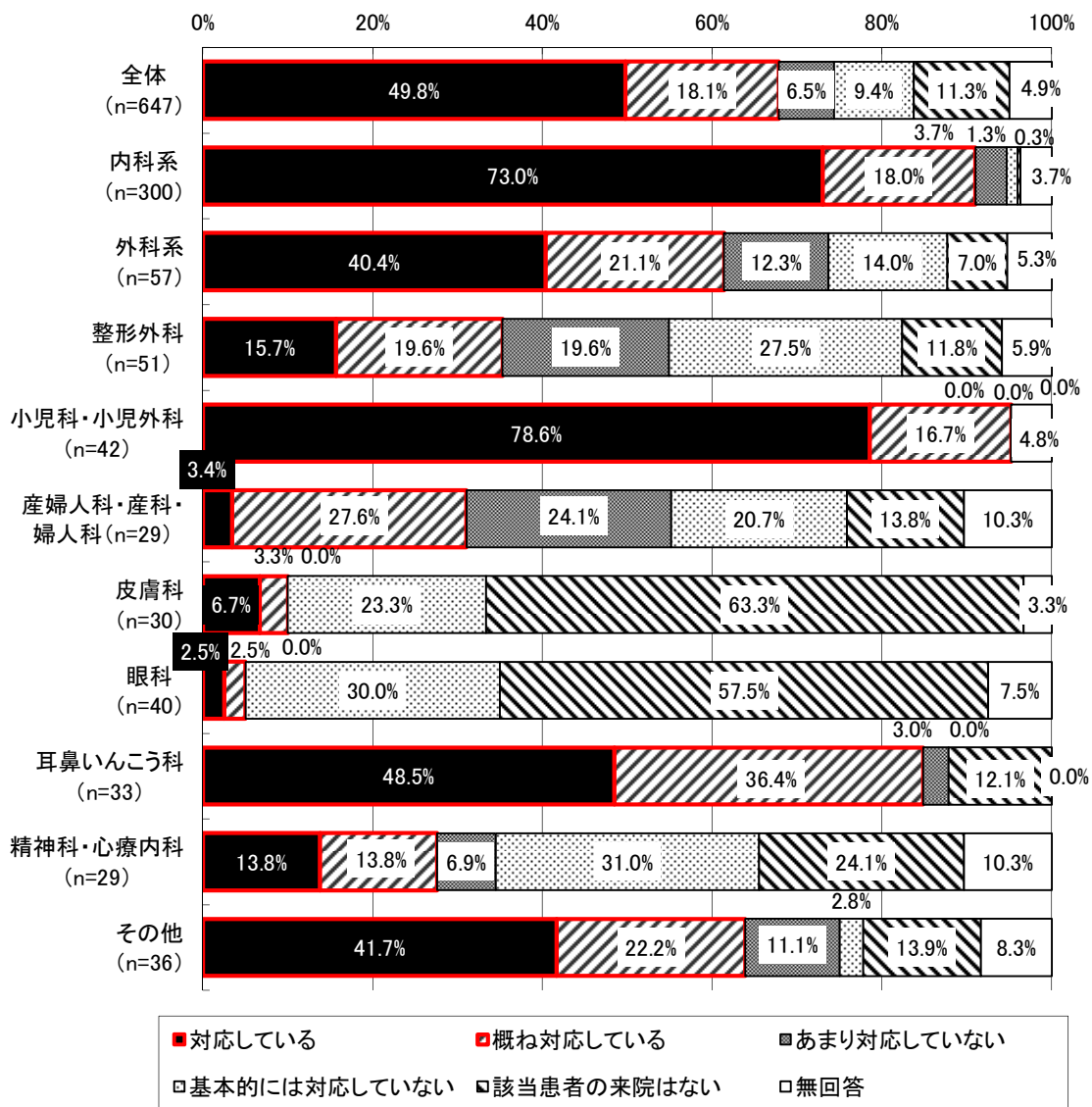
図表 3- 110 外来患者への対応状況（主たる診療科別）
～6) 心不全の患者～



図表 3- 111 外来患者への対応状況（主たる診療科別）
 ～7) 高血圧症の患者～

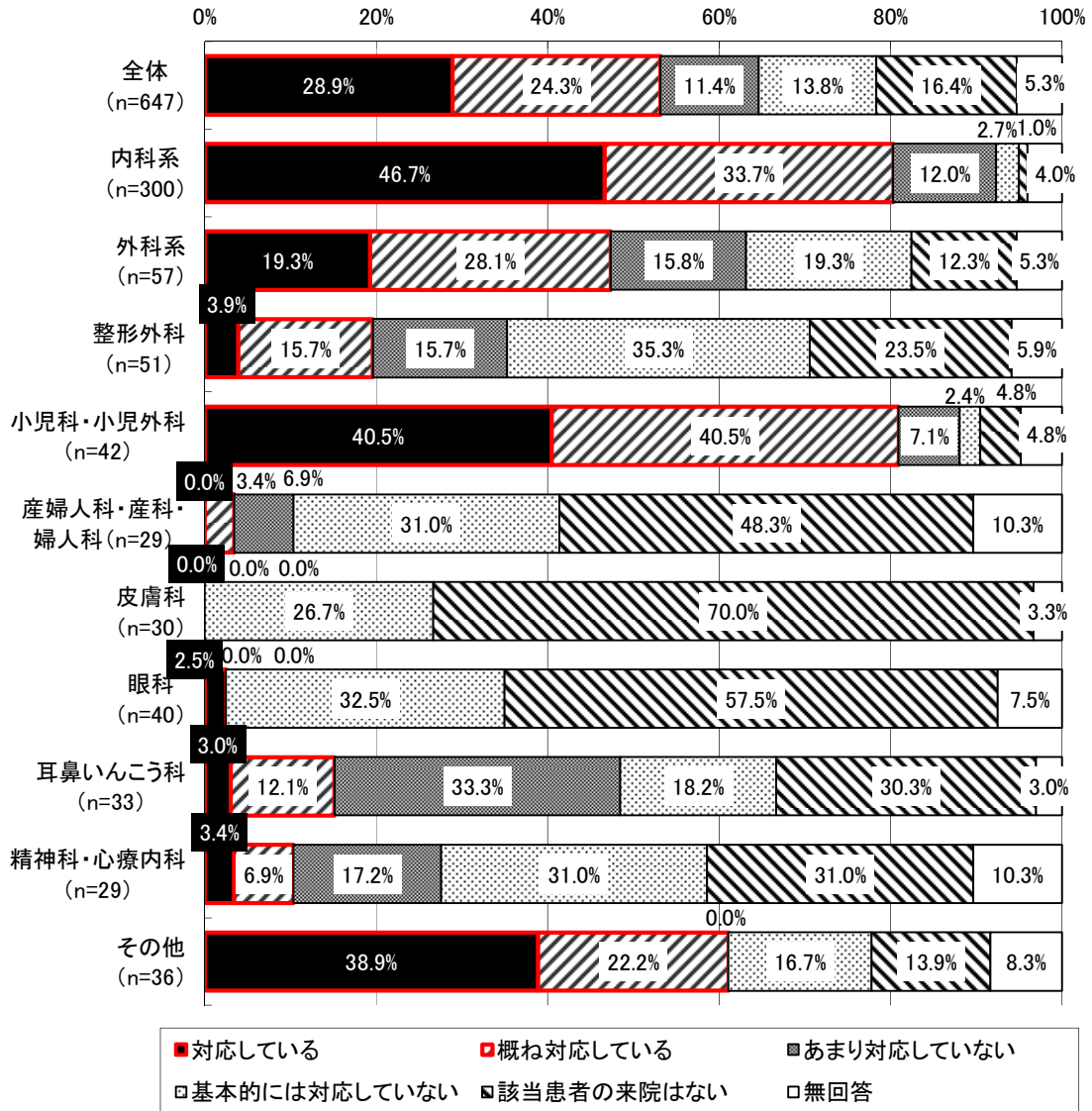


図表 3- 112 外来患者への対応状況（主たる診療科別）
 ～8) 呼吸器感染症（急性上気道炎、気管支炎、肺炎）の患者～

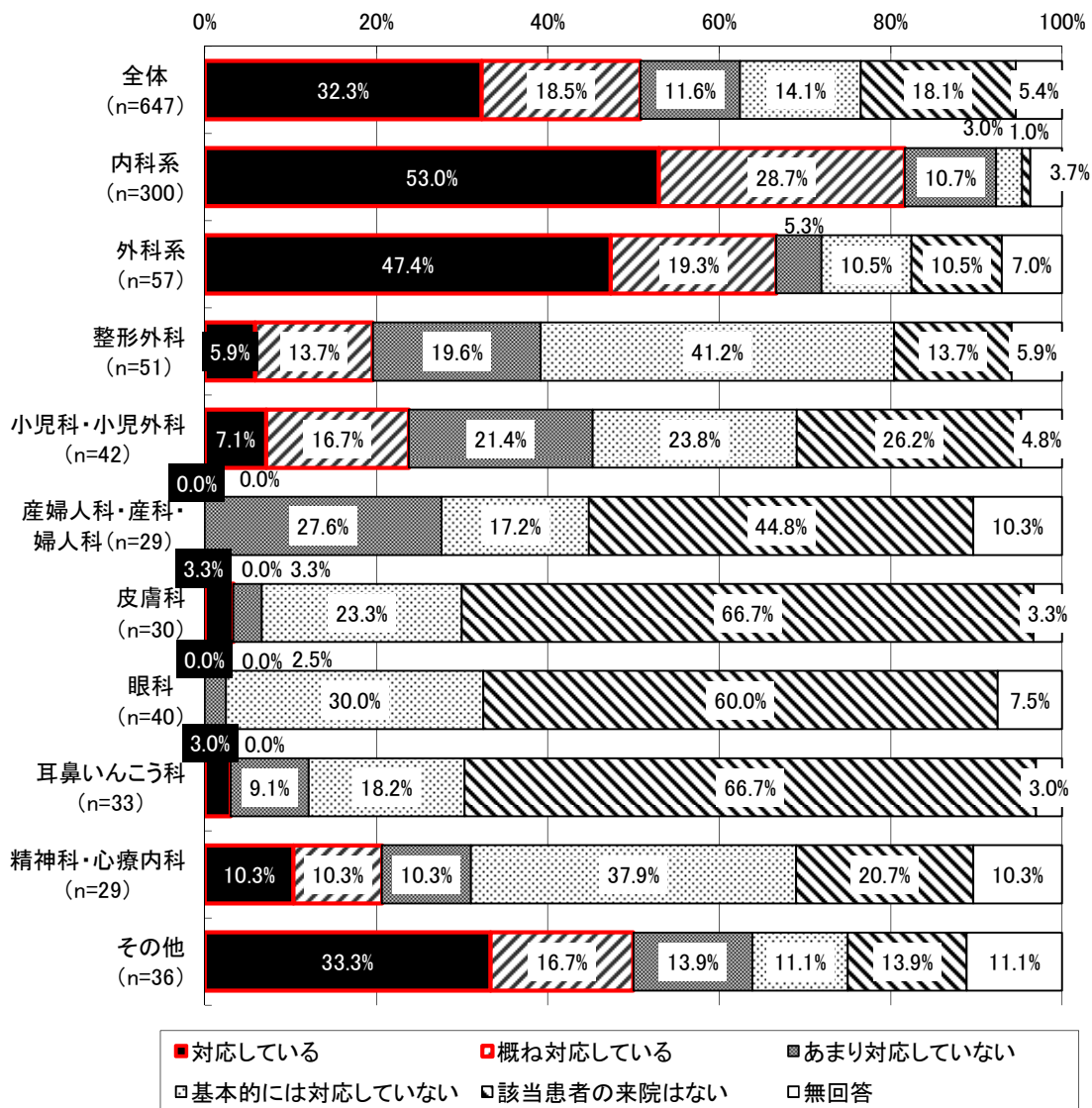


図表 3- 113 外来患者への対応状況（主たる診療科別）

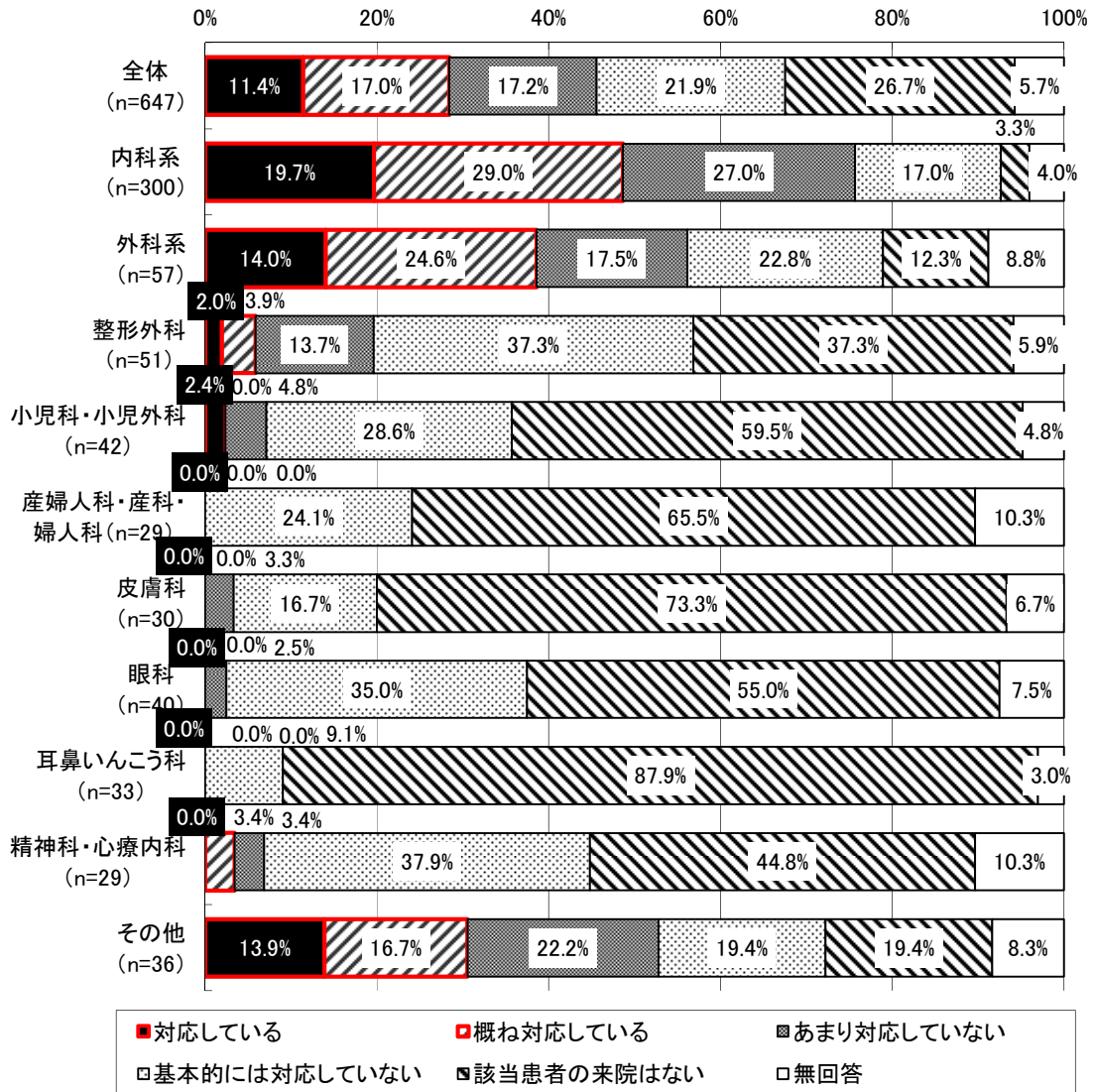
～9) 閉塞性・拘束性肺疾患（気管支ぜんそく、気管支拡張症、慢性閉塞性肺疾患）の患者～



図表 3- 114 外来患者への対応状況（主たる診療科別）
 ～10) 食道・胃・十二指腸疾患（消化性潰瘍、胃・十二指腸炎）の患者～

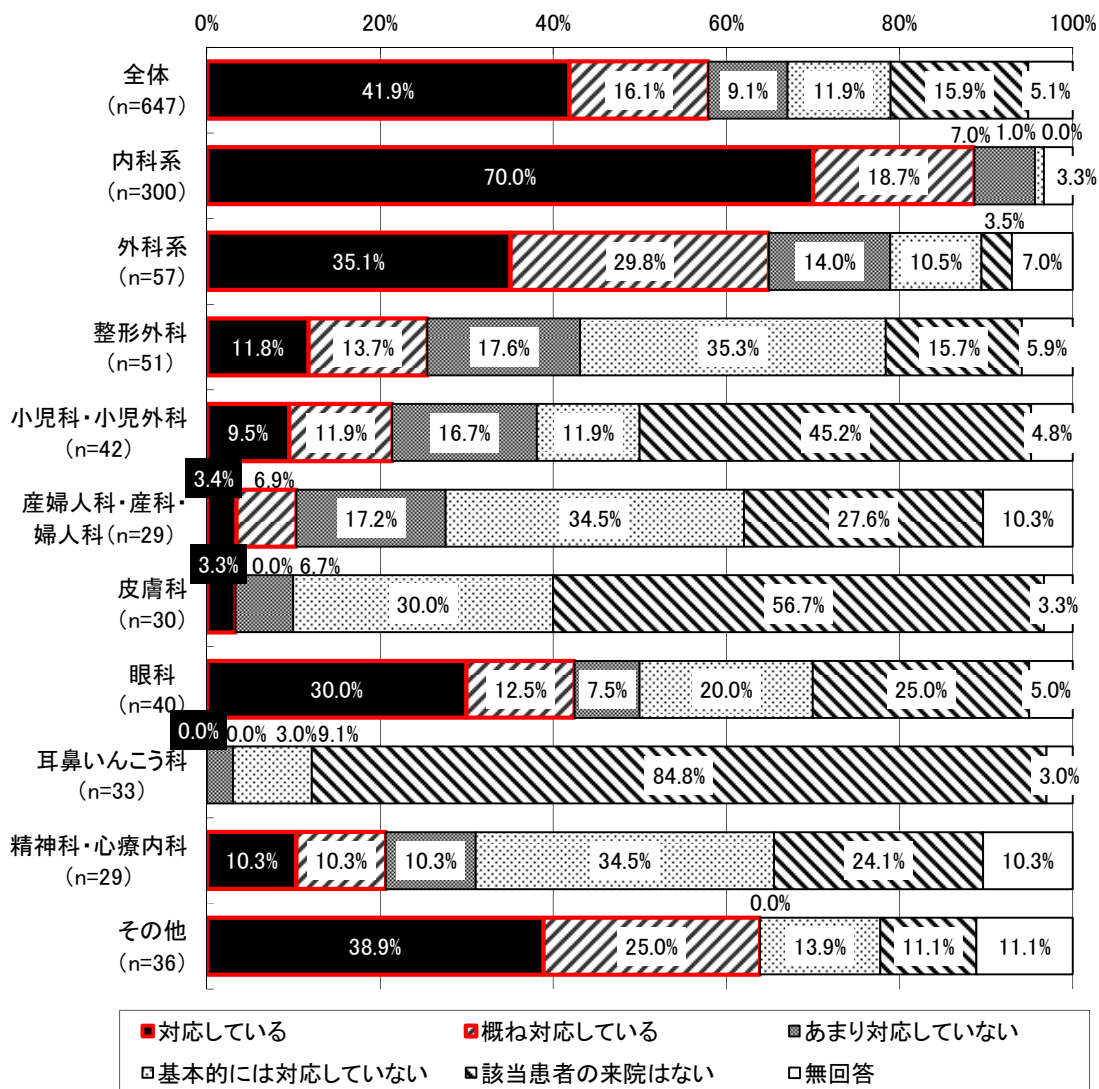


図表 3- 115 外来患者への対応状況（主たる診療科別）
 ～11) 慢性腎不全の患者～

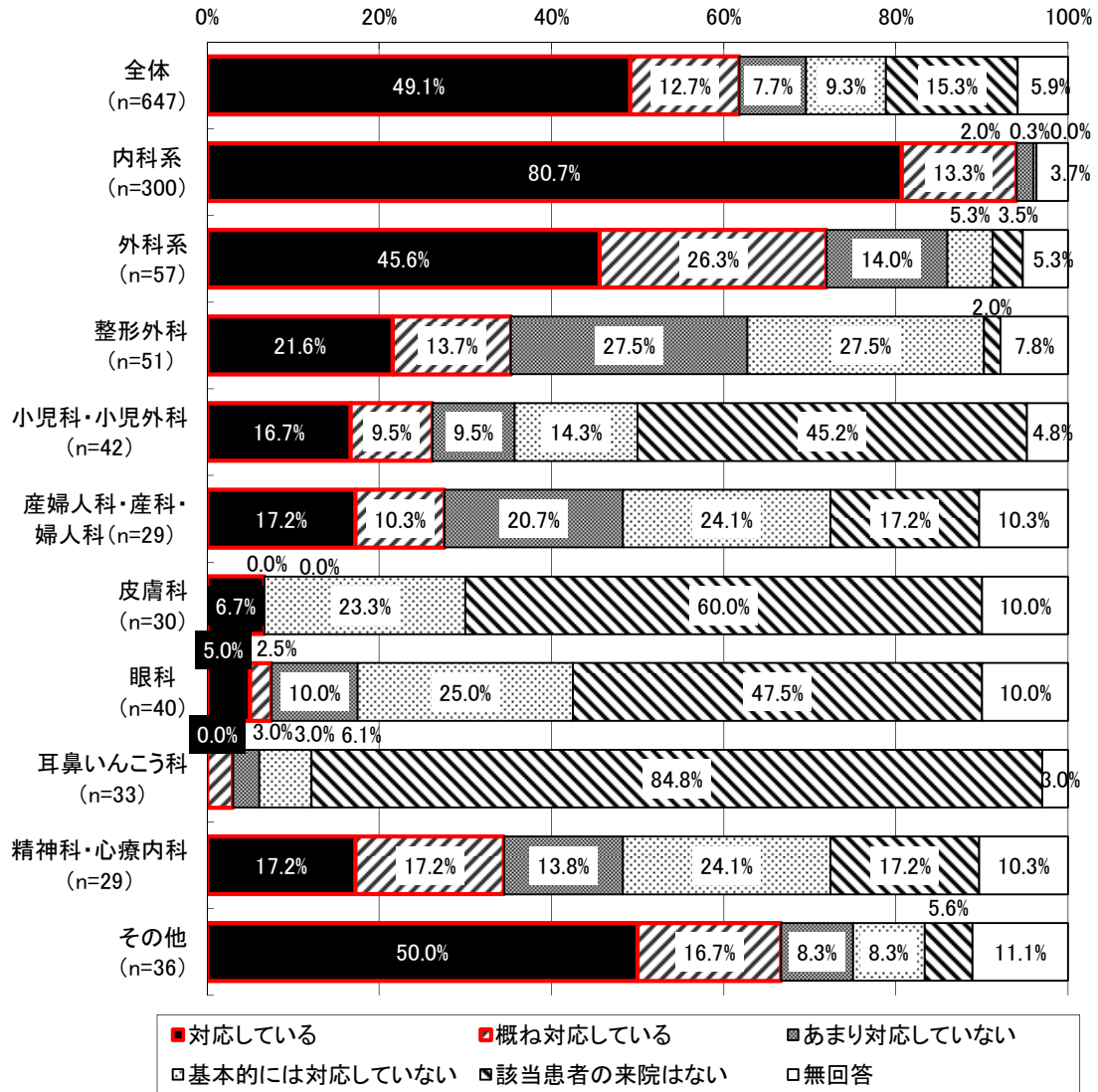


図表 3- 116 外来患者への対応状況（主たる診療科別）

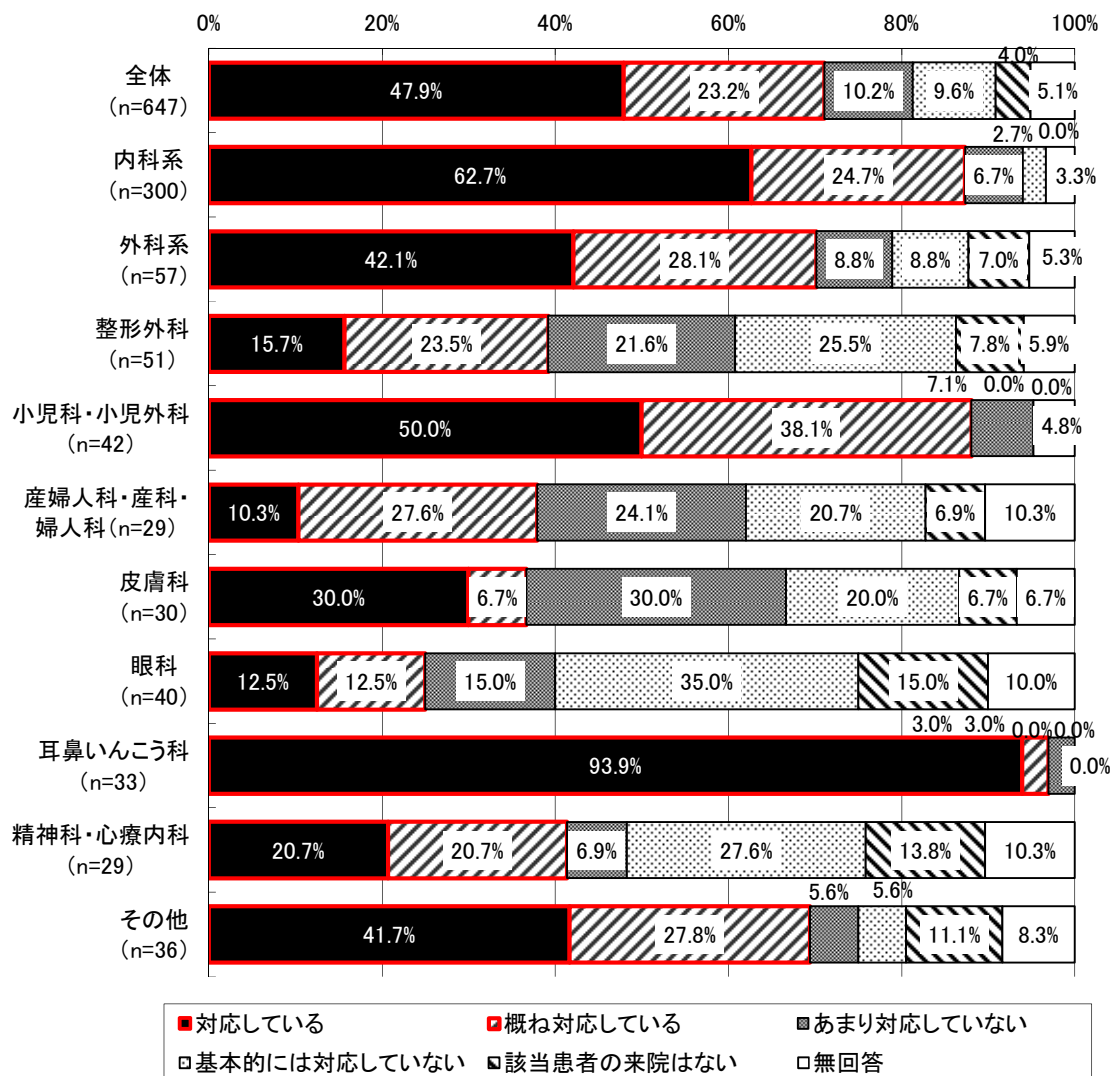
～12) 糖代謝異常（糖尿病、糖尿病の合併症、低血糖）の患者～



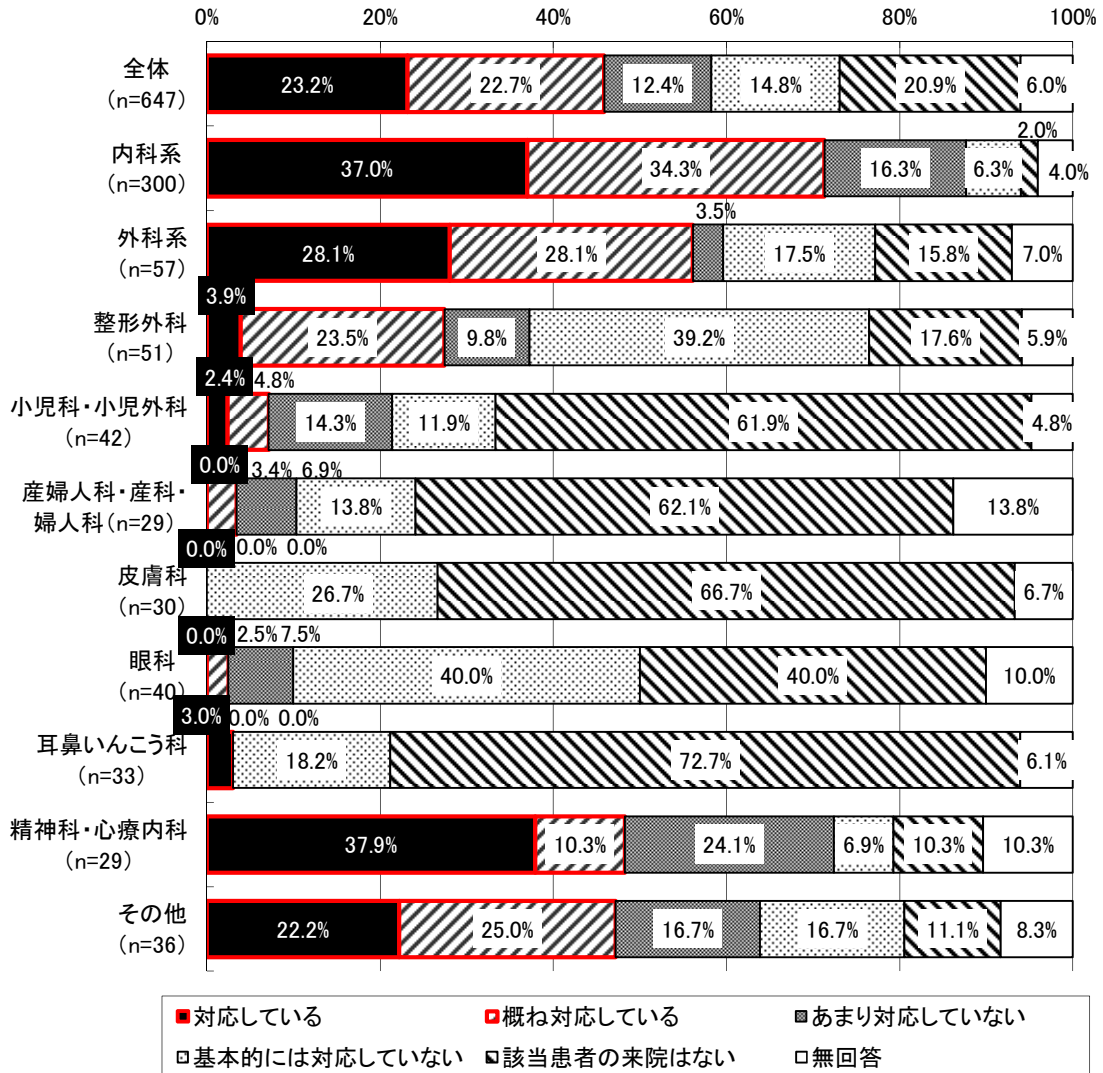
図表 3- 117 外来患者への対応状況（主たる診療科別）
 ～13) 脂質異常症の患者～



図表 3- 118 外来患者への対応状況（主たる診療科別）
 ～14）アレルギー性鼻炎の患者～

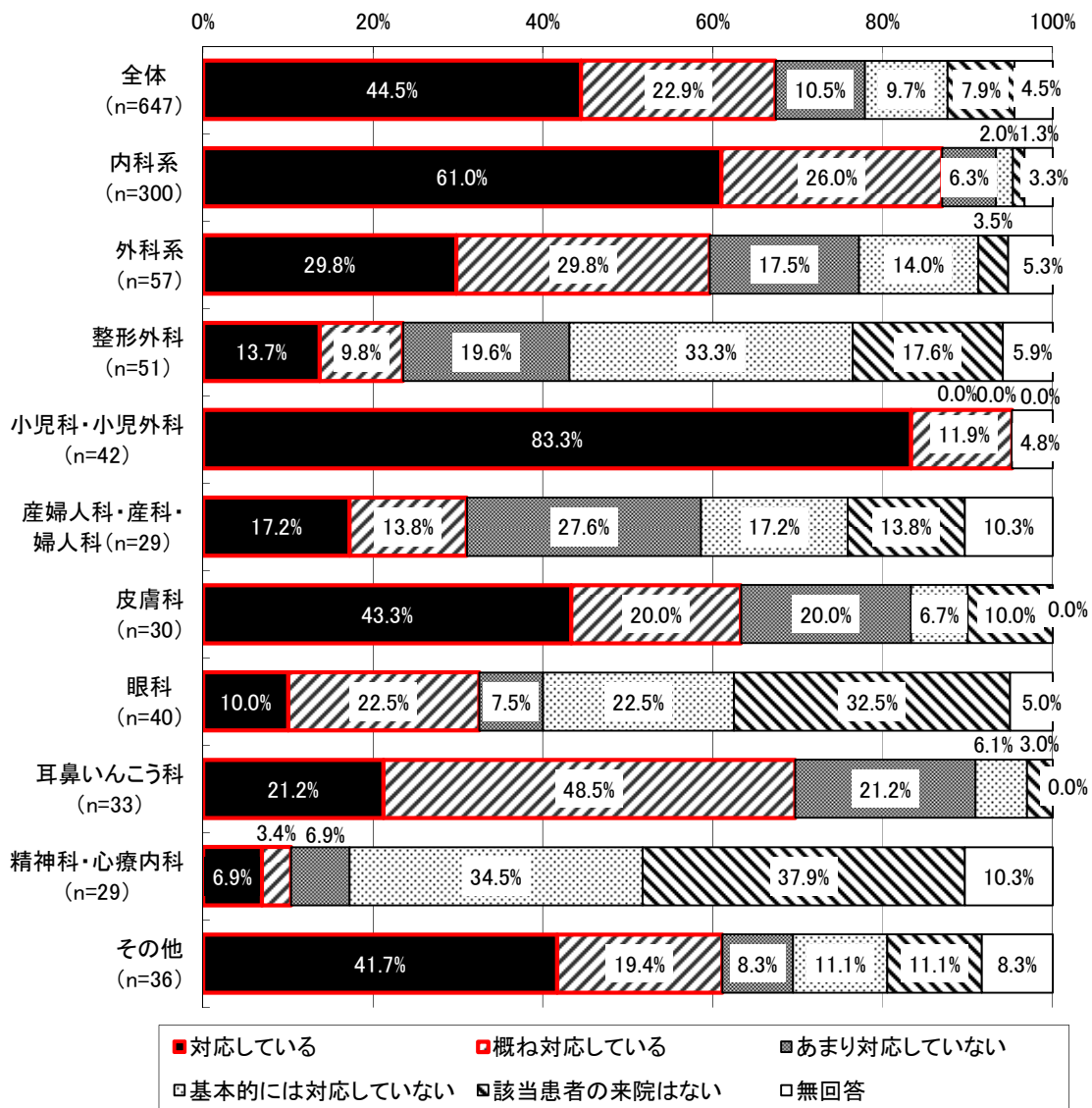


図表 3- 119 外来患者への対応状況（主たる診療科別）
 ～15) 認知症の患者～

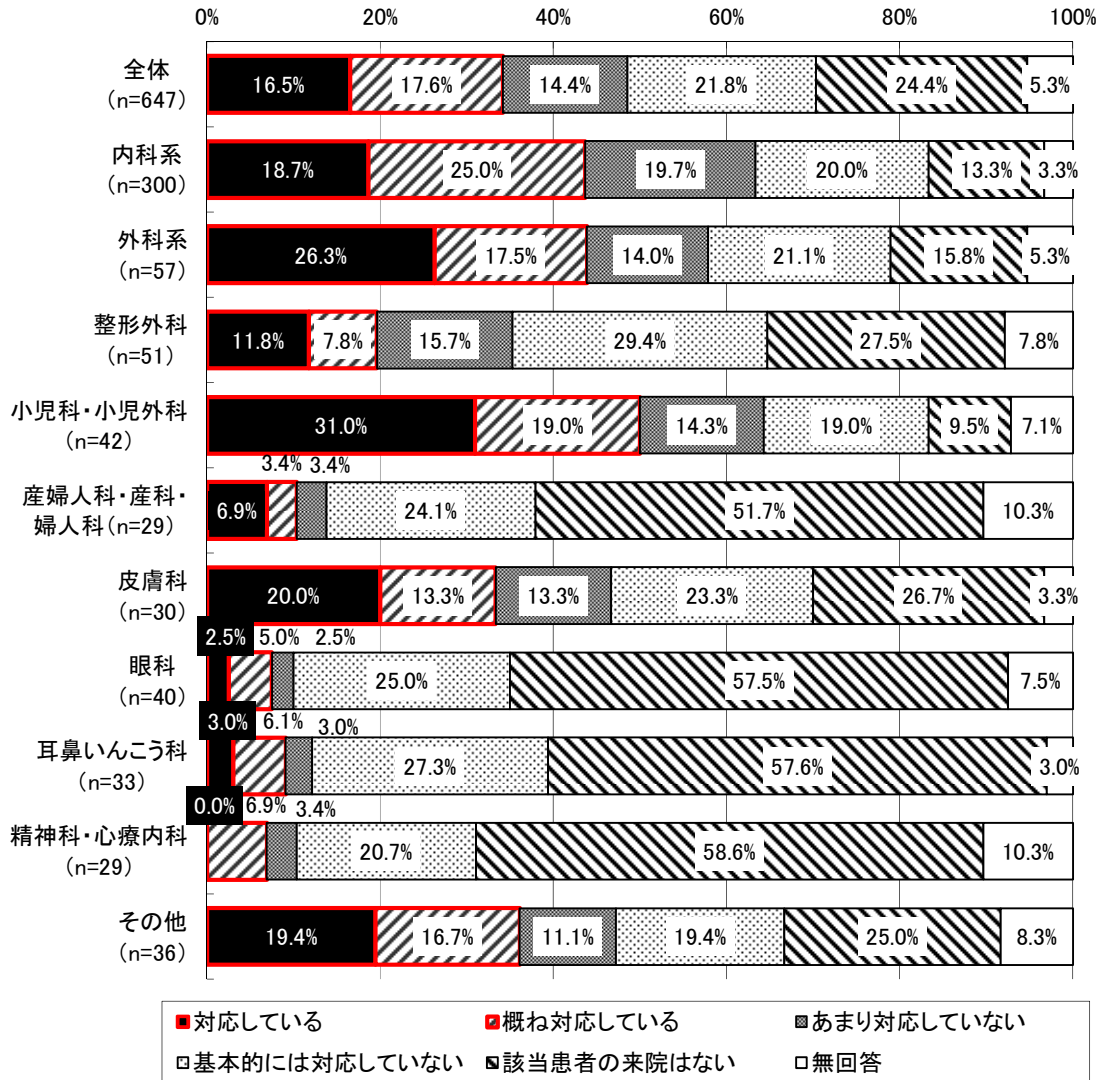


図表 3- 120 外来患者への対応状況（主たる診療科別）

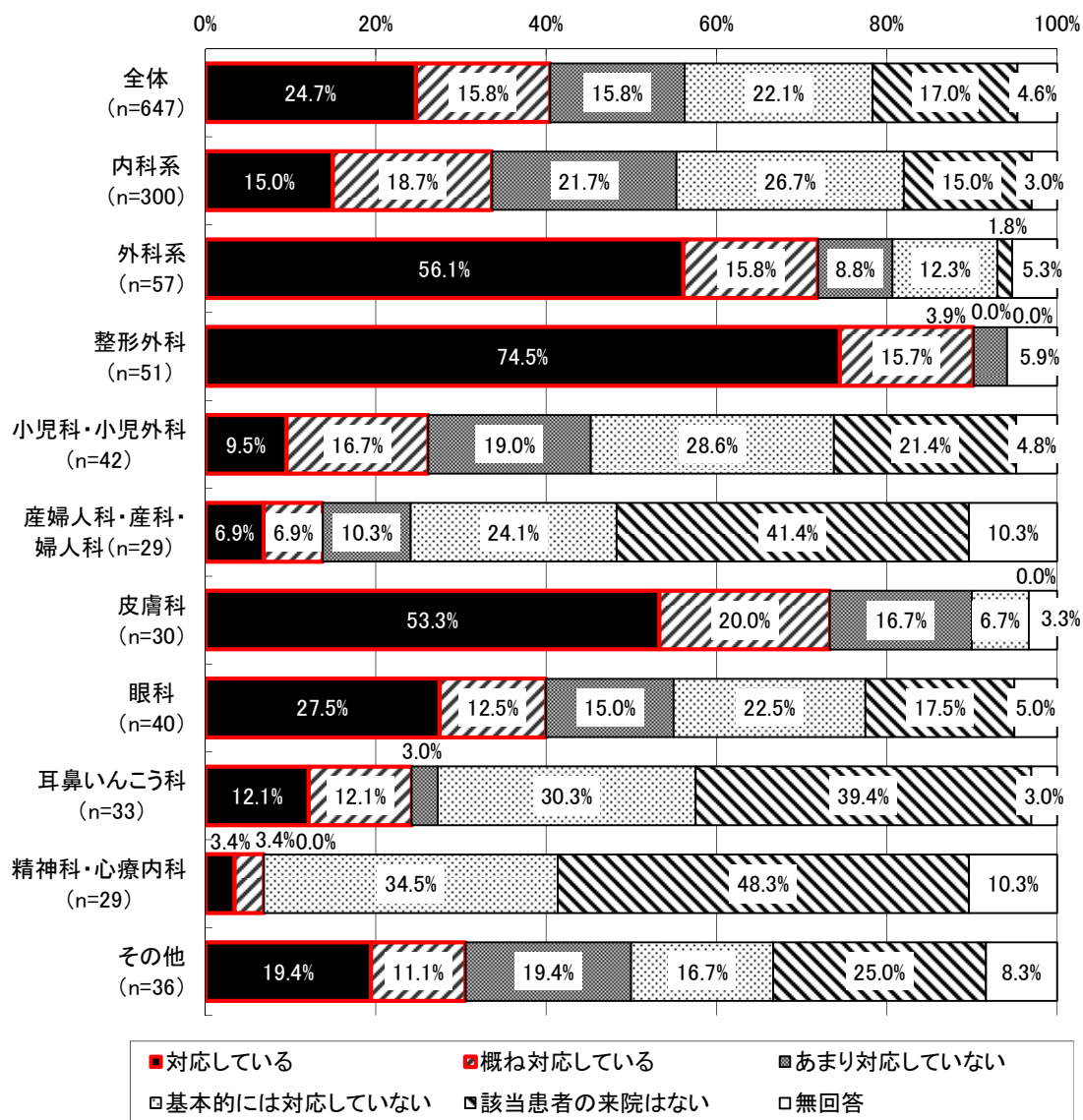
～16) ウイルス感染症（インフルエンザ、麻疹、風疹、水痘、ヘルペス）の患者～



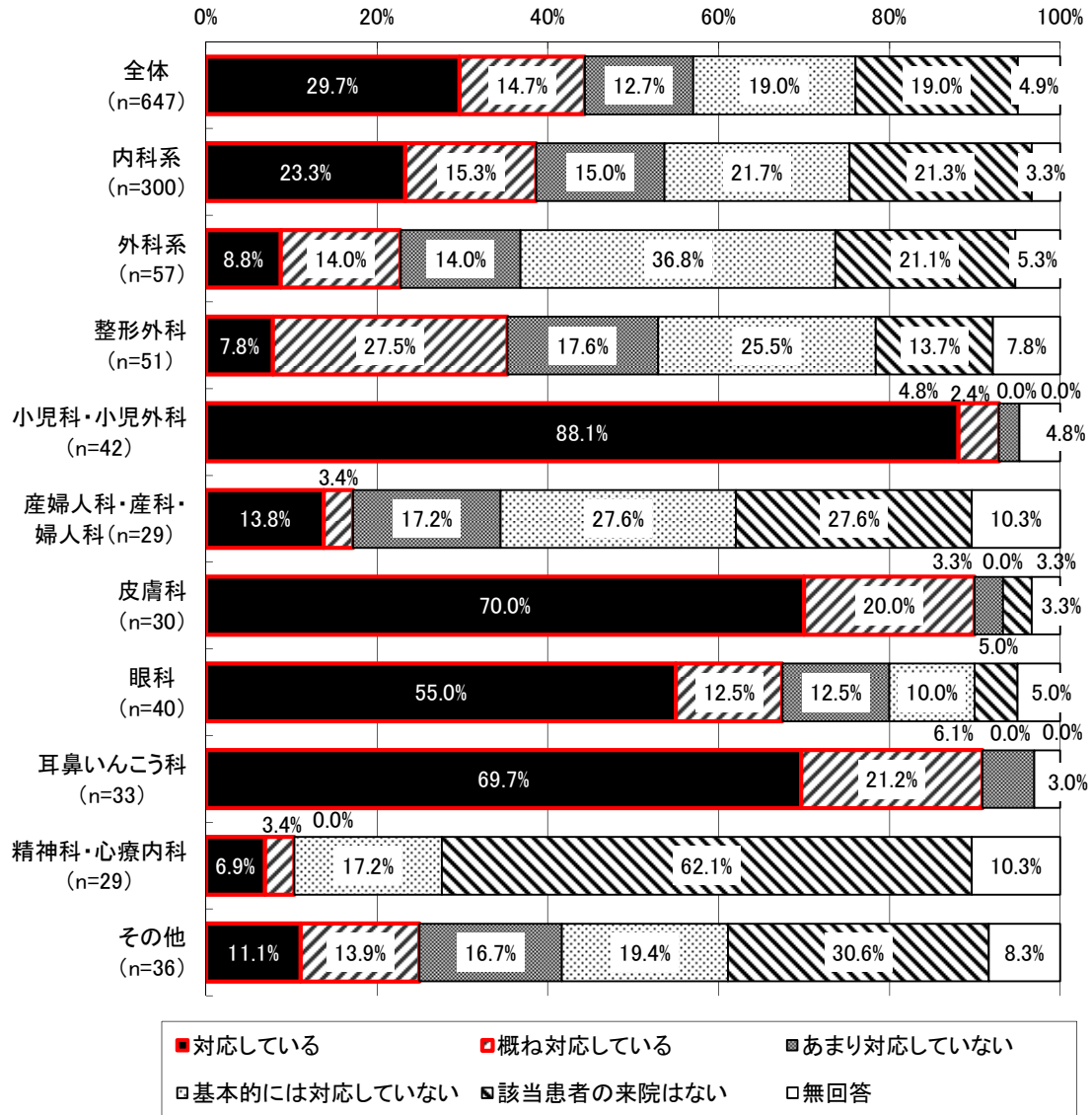
図表 3- 121 外来患者への対応状況（主たる診療科別）
 ～17) アナフィラキシー（食物、蜂刺されによる急性アレルギー）の患者～



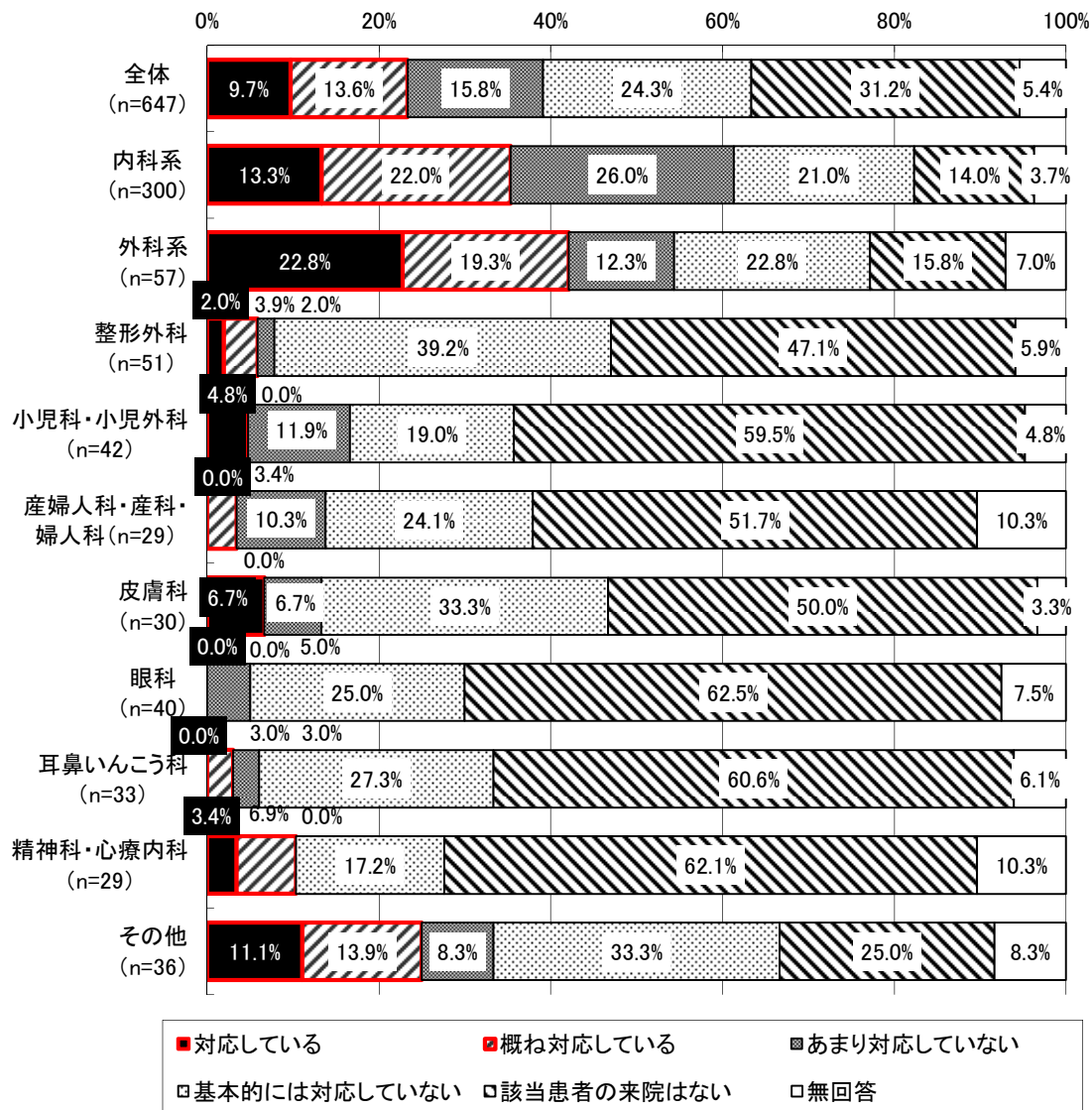
図表 3- 122 外来患者への対応状況（主たる診療科別）
～18) 創傷の患者～



図表 3- 123 外来患者への対応状況（主たる診療科別）
～19) 乳幼児の患者～



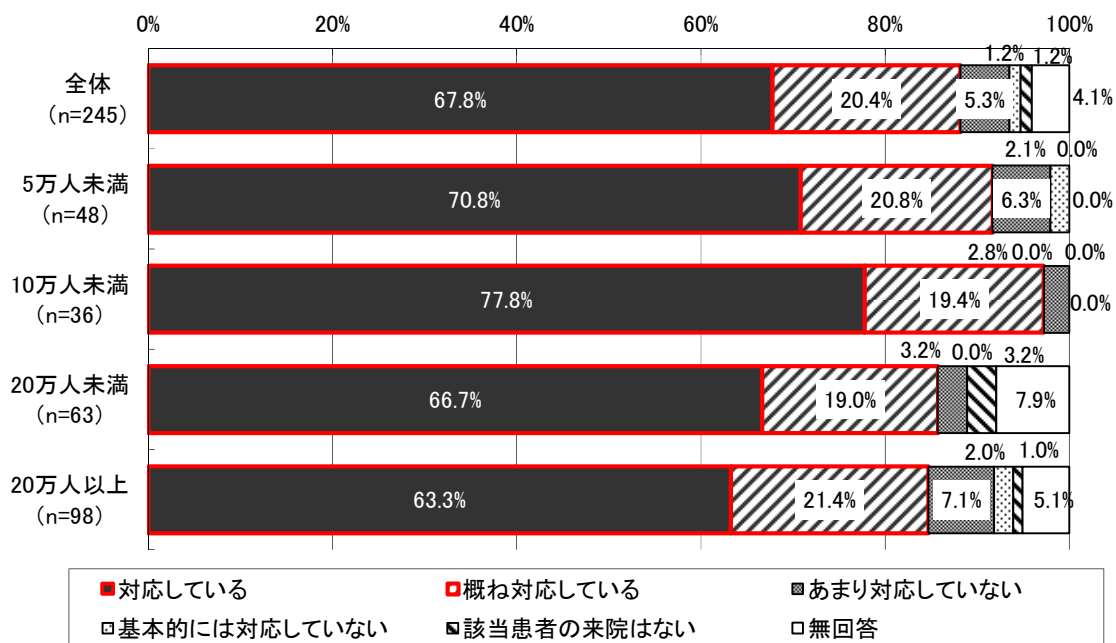
図表 3- 124 外来患者への対応状況（主たる診療科別）
 ～20）維持治療期の悪性腫瘍の患者～



④外来患者への対応状況（内科診療所）

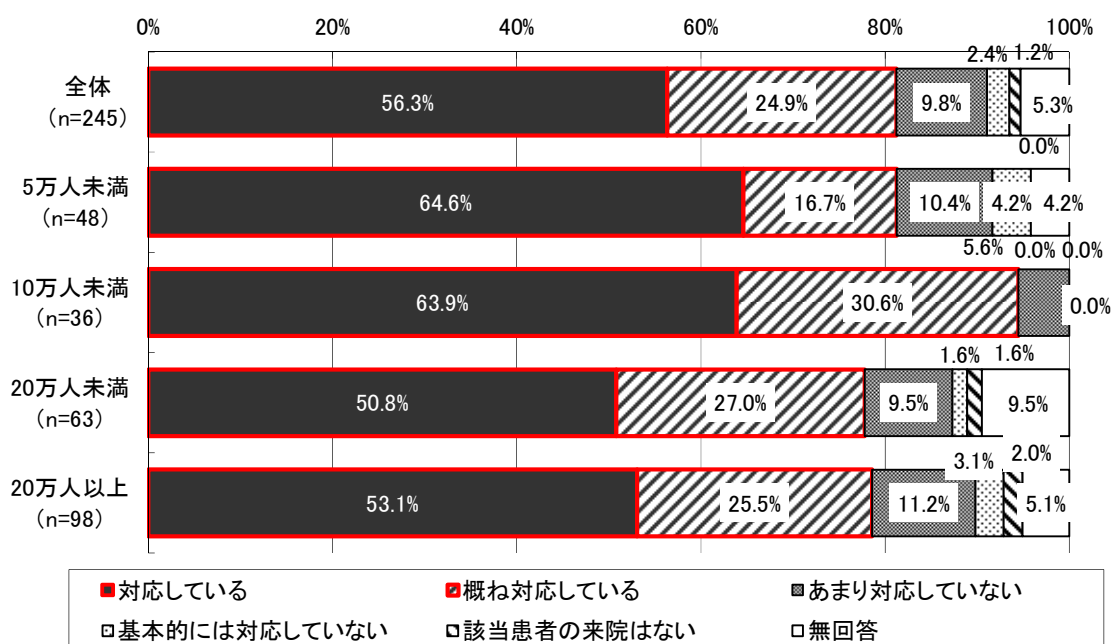
図表 3- 125 外来患者への対応状況（地域別）【内科診療所】

～1) 貧血（鉄欠乏貧血、二次性貧血）の患者～

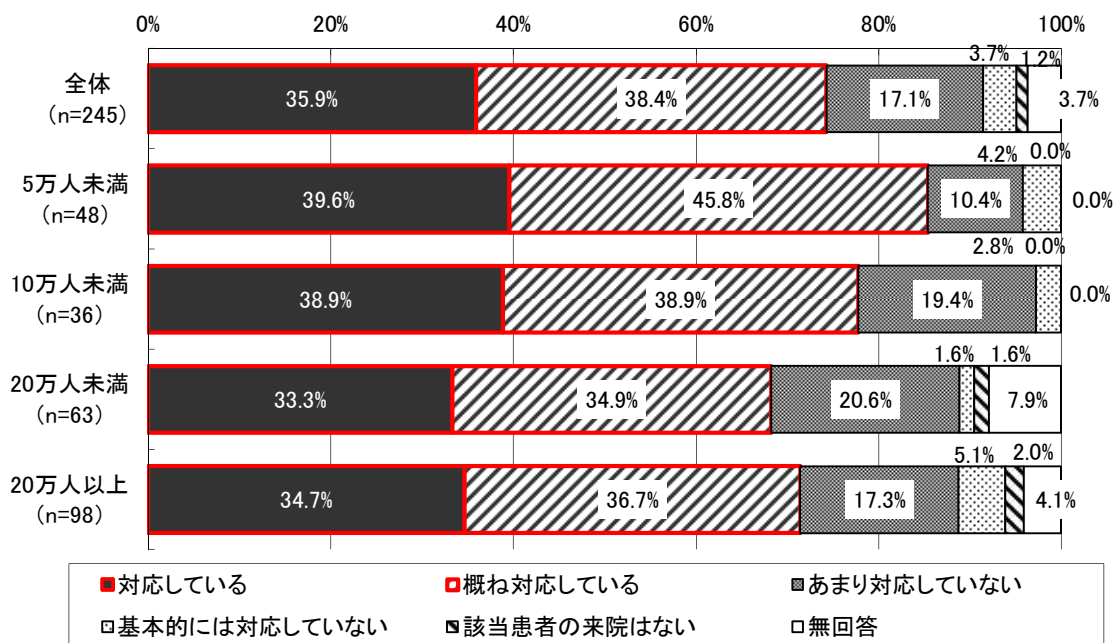


図表 3- 126 外来患者への対応状況（地域別）【内科診療所】

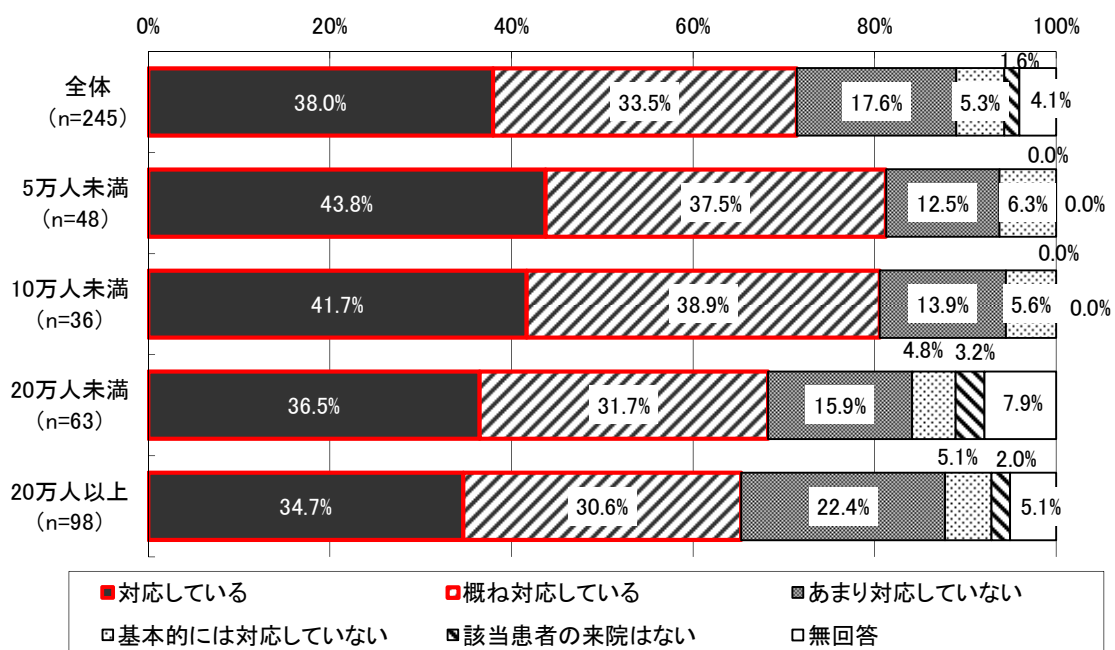
～2) 一次性頭痛（偏頭痛、緊張性頭痛、群発頭痛）の患者～



図表 3- 127 外来患者への対応状況（地域別）【内科診療所】
 ～3) 湿疹・皮膚炎群（接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎）の患者～

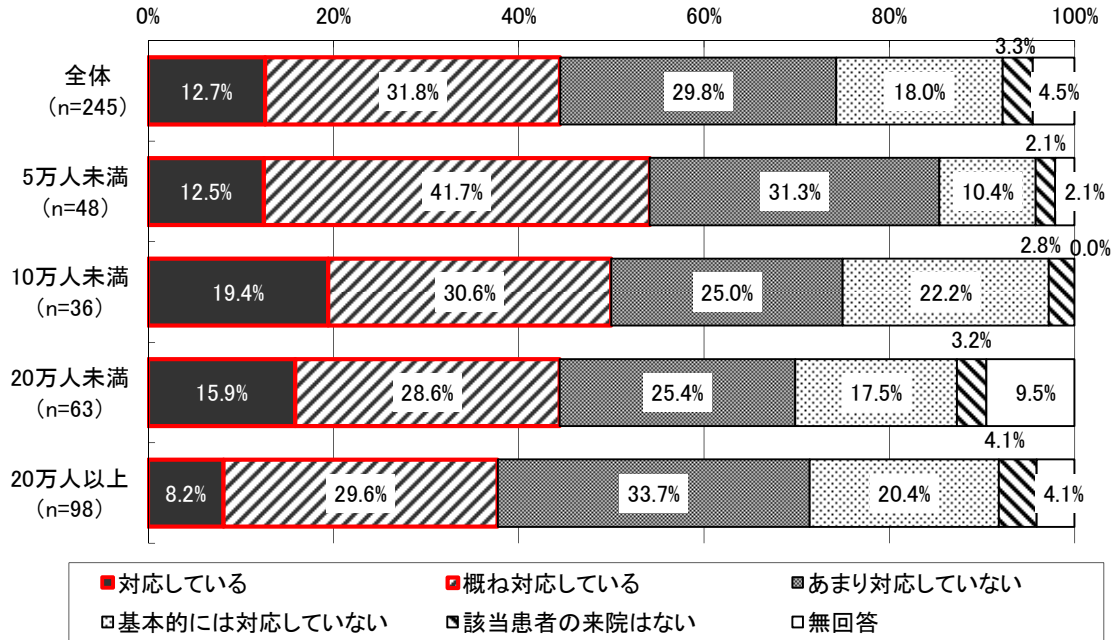


図表 3- 128 外来患者への対応状況（地域別）【内科診療所】
 ～4) 骨粗しょう症の患者～



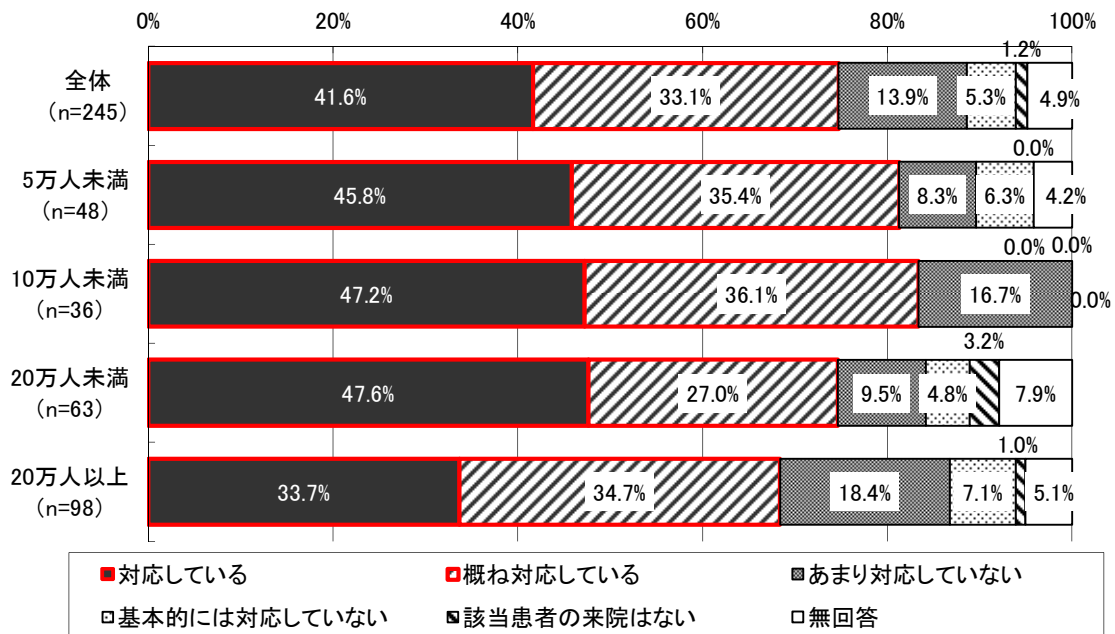
図表 3- 129 外来患者への対応状況（地域別）【内科診療所】

～5) 脊柱障害（腰痛症、腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症）の患者～

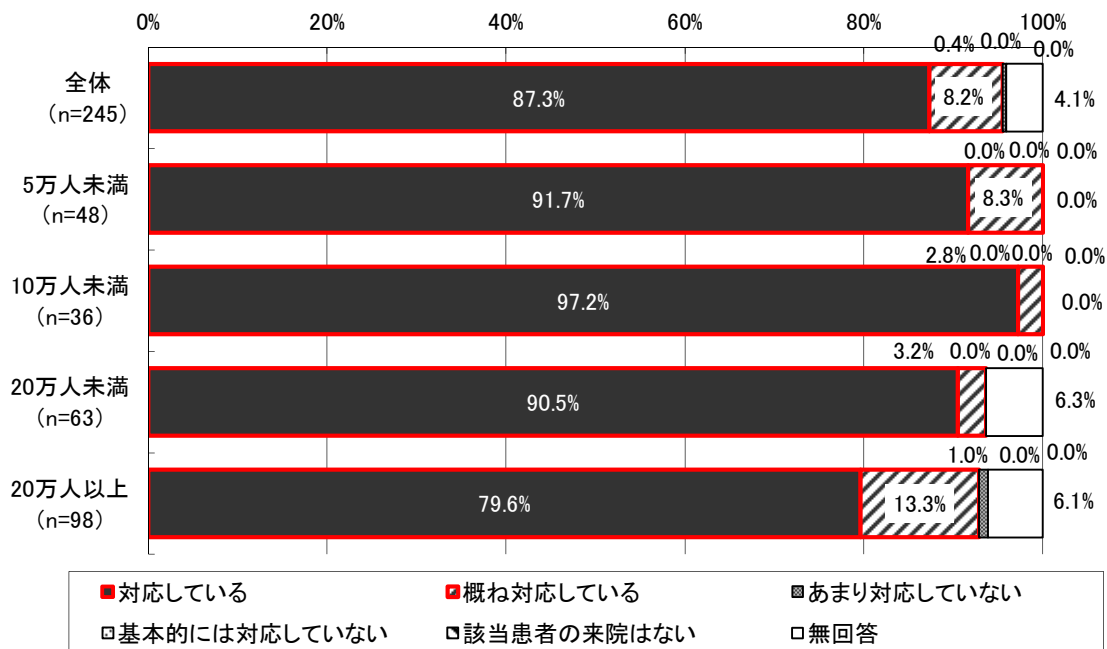


図表 3- 130 外来患者への対応状況（地域別）【内科診療所】

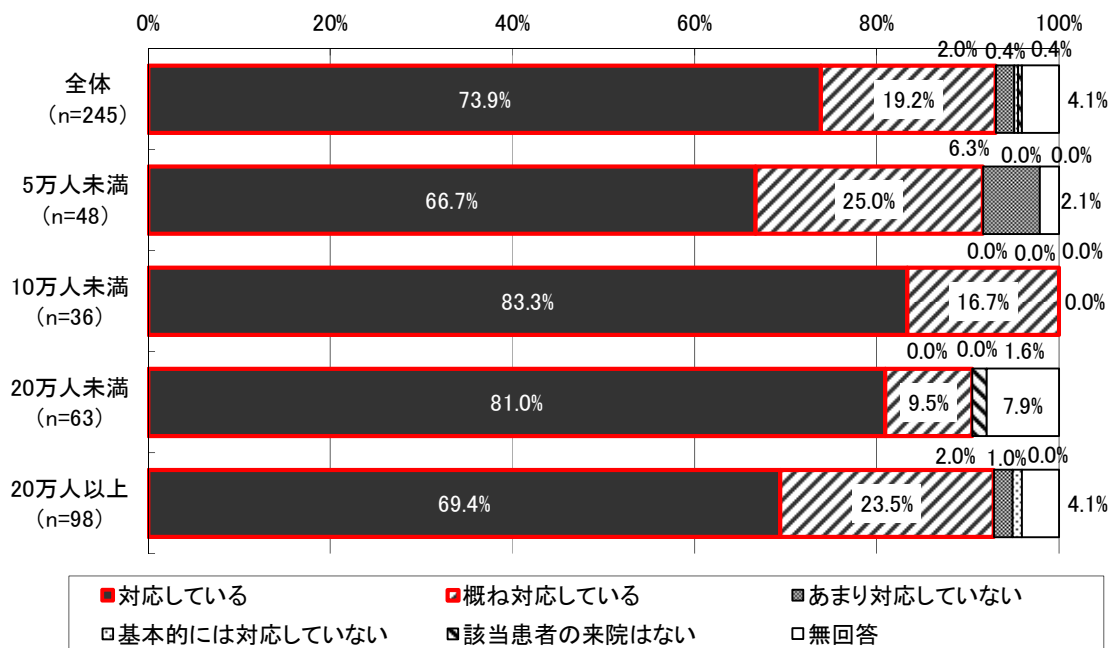
～6) 心不全の患者～



図表 3- 131 外来患者への対応状況（地域別）【内科診療所】
 ～7) 高血圧症の患者～

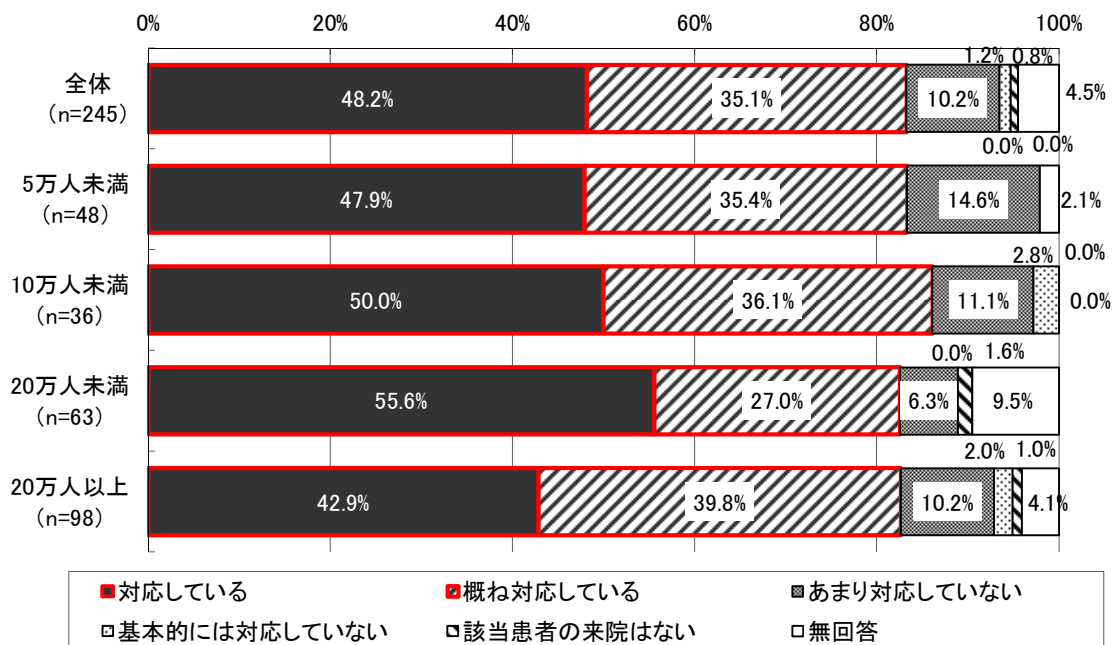


図表 3- 132 外来患者への対応状況（地域別）【内科診療所】
 ～8) 呼吸器感染症（急性上気道炎、気管支炎、肺炎）の患者～



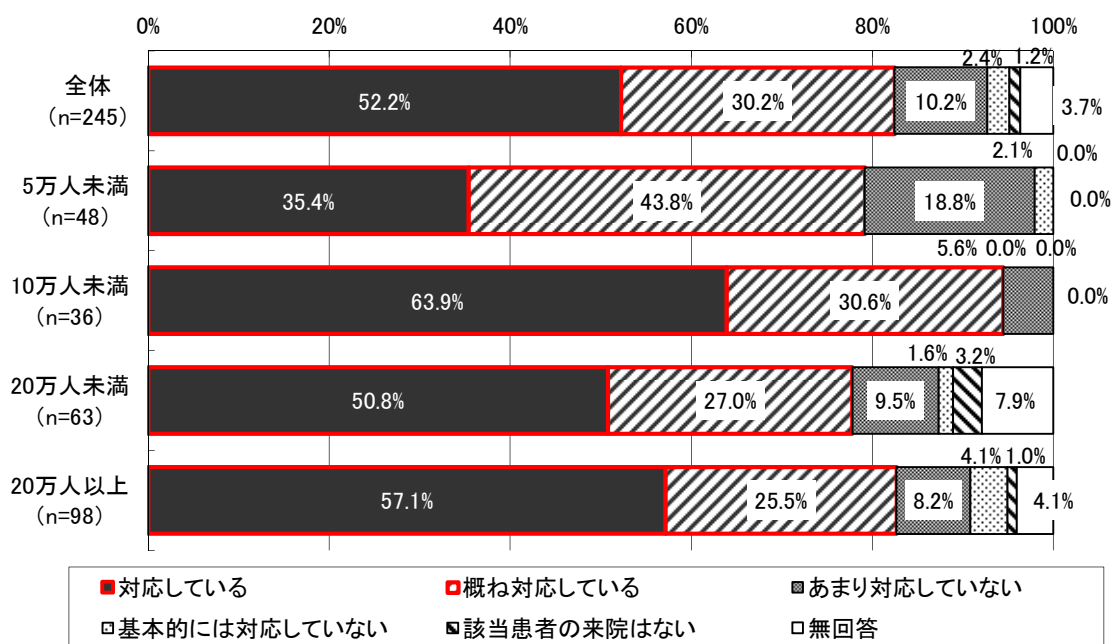
図表 3- 133 外来患者への対応状況（地域別）【内科診療所】

～9) 閉塞性・拘束性肺疾患（気管支ぜんそく、気管支拡張症、慢性閉塞性肺疾患）の患者～

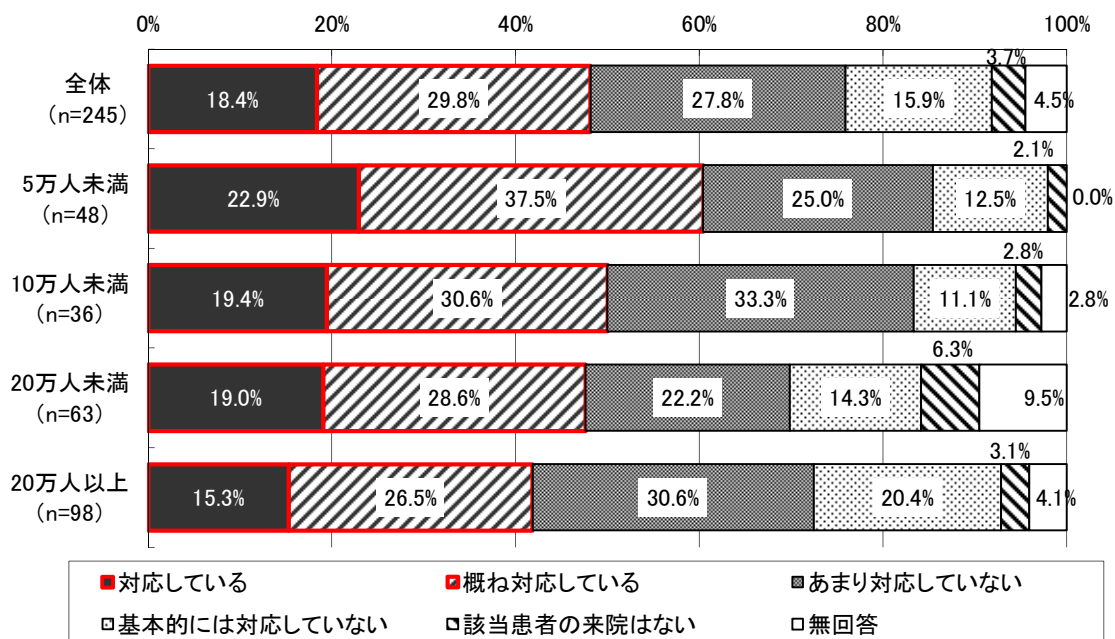


図表 3- 134 外来患者への対応状況（地域別）【内科診療所】

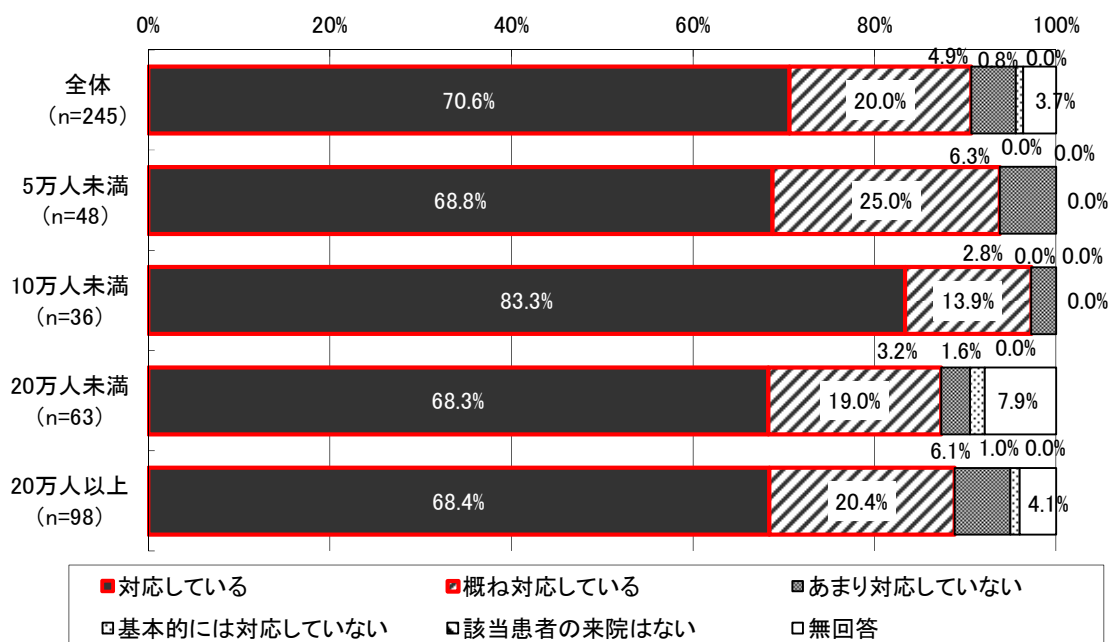
～10) 食道・胃・十二指腸疾患（消化性潰瘍、胃・十二指腸炎）の患者～



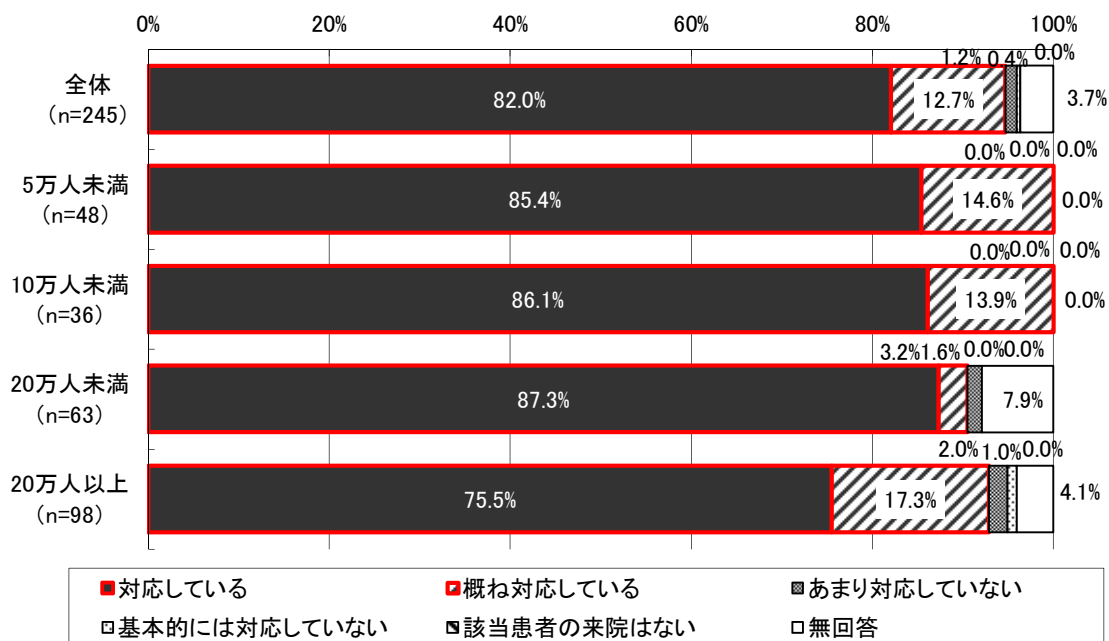
図表 3- 135 外来患者への対応状況（地域別）【内科診療所】
～11) 慢性腎不全の患者～



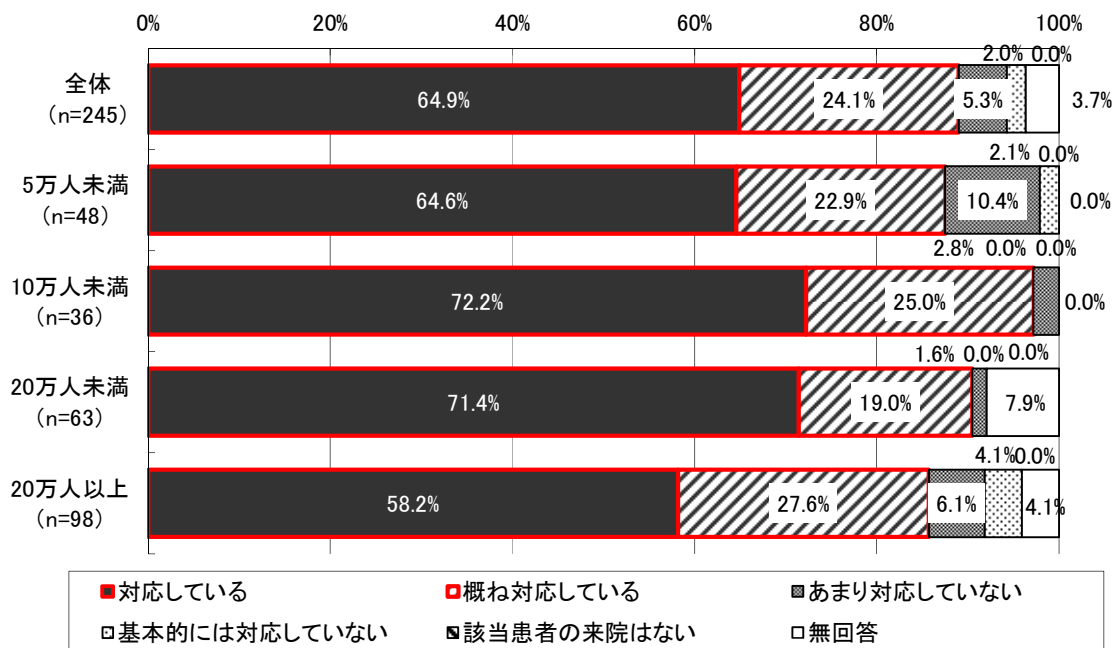
図表 3- 136 外来患者への対応状況（地域別）【内科診療所】
～12) 糖代謝異常（糖尿病、糖尿病の合併症、低血糖）の患者～



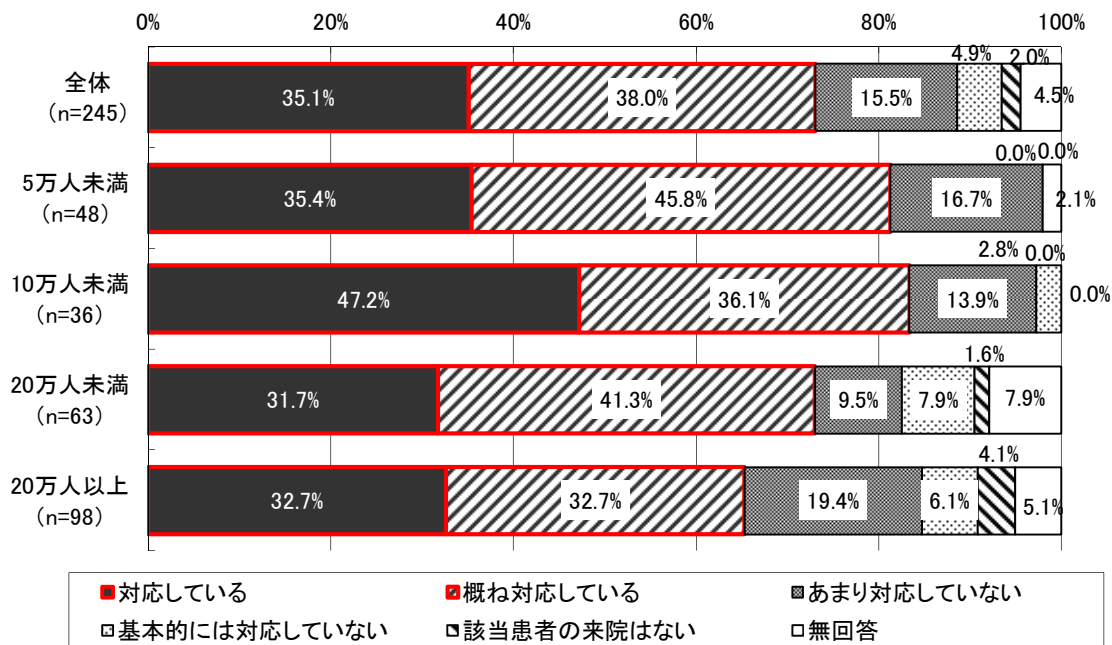
図表 3- 137 外来患者への対応状況（地域別）【内科診療所】
 ～13) 脂質異常症の患者～



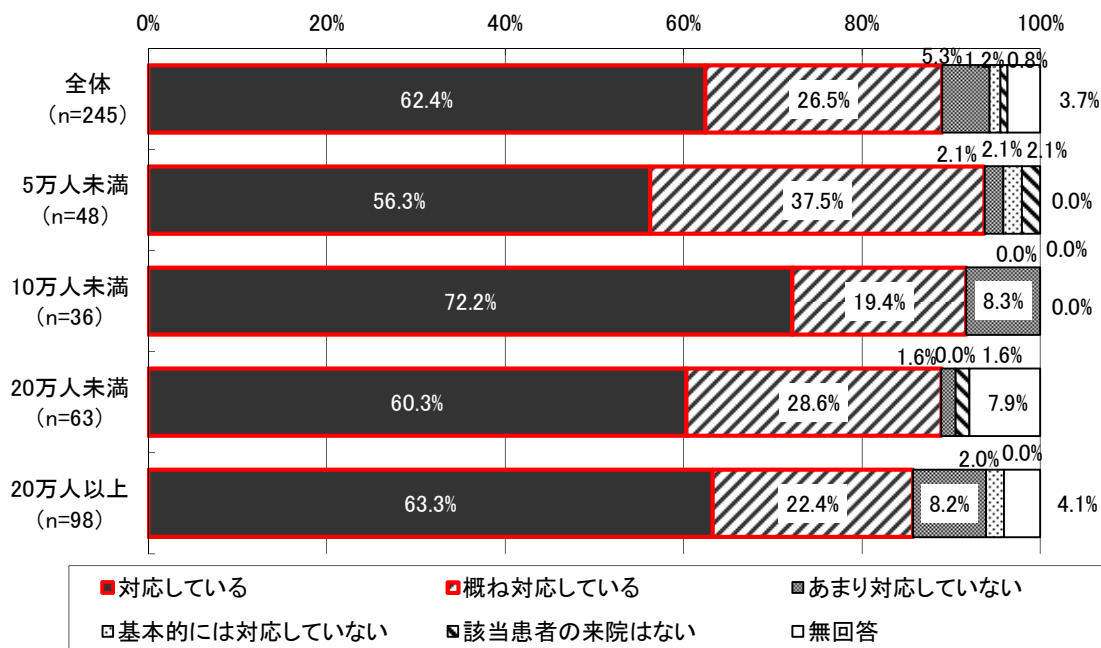
図表 3- 138 外来患者への対応状況（地域別）【内科診療所】
 ～14) アレルギー性鼻炎の患者～



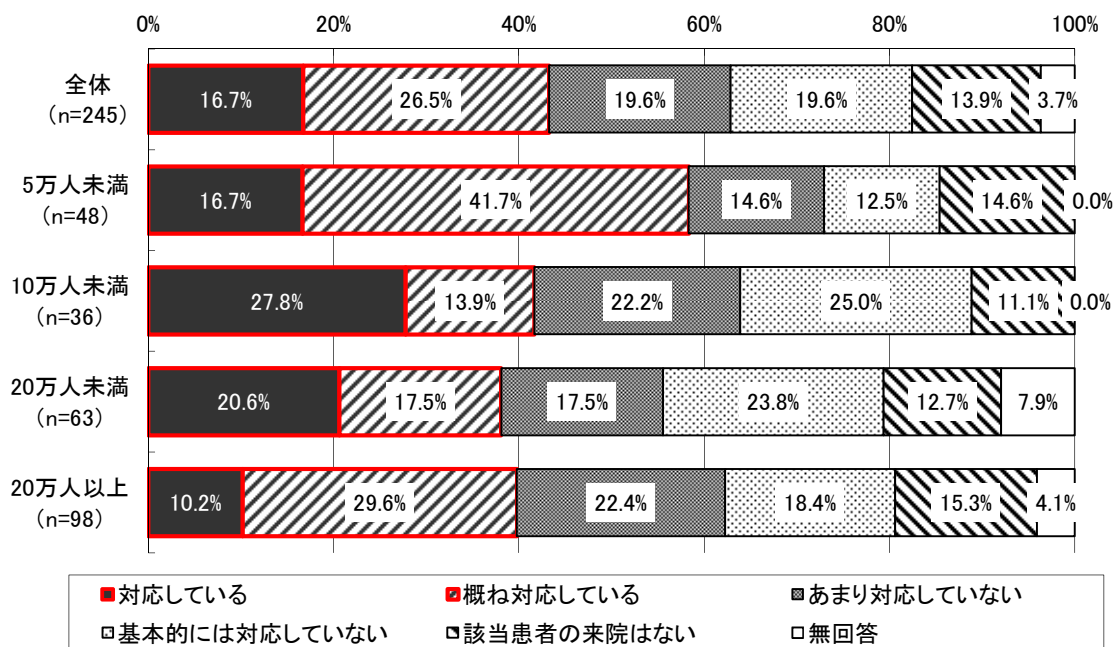
図表 3- 139 外来患者への対応状況（地域別）【内科診療所】
～15) 認知症の患者～



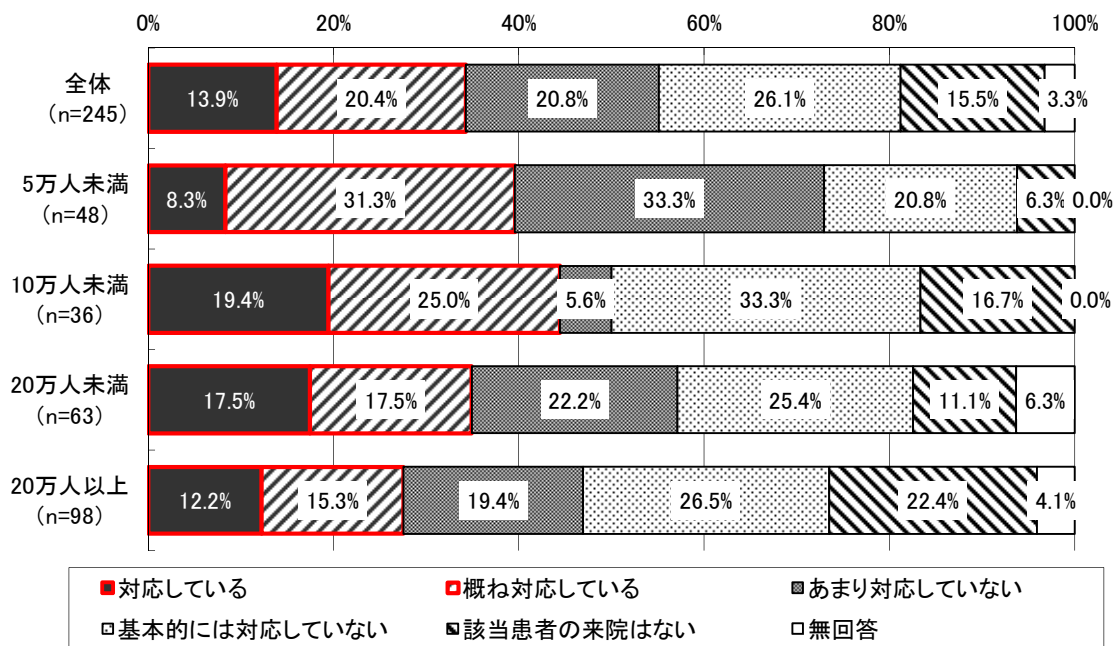
図表 3- 140 外来患者への対応状況（地域別）【内科診療所】
～16) ウイルス感染症（インフルエンザ、麻疹、風疹、水痘、ヘルペス）の患者～



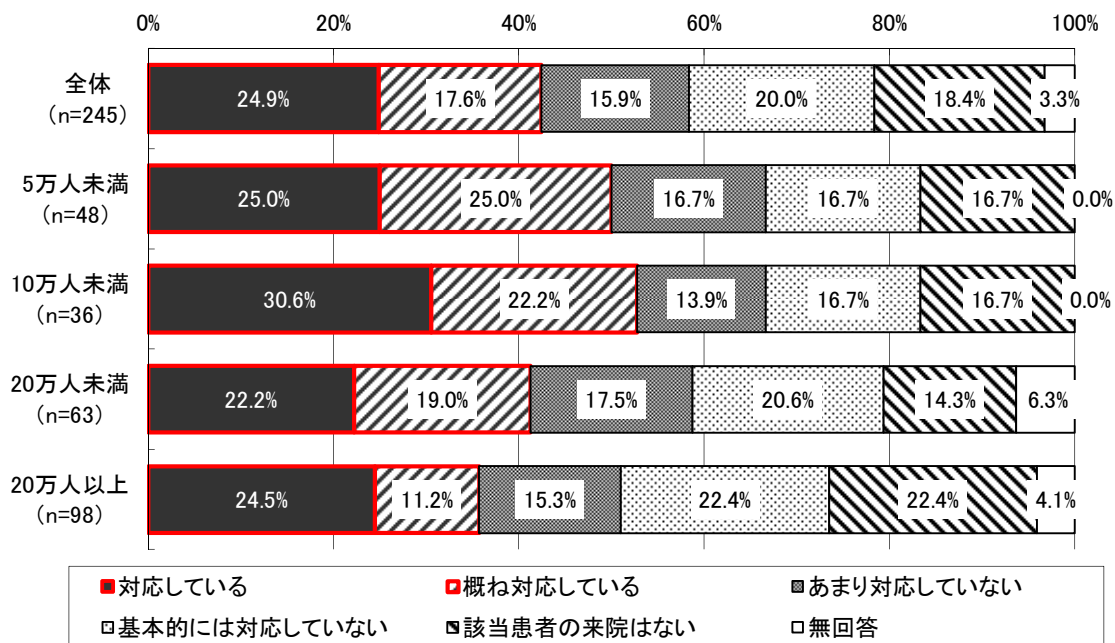
図表 3- 141 外来患者への対応状況（地域別）【内科診療所】
 ～17) アナフィラキシー（食物、蜂刺されによる急性アレルギー）の患者～



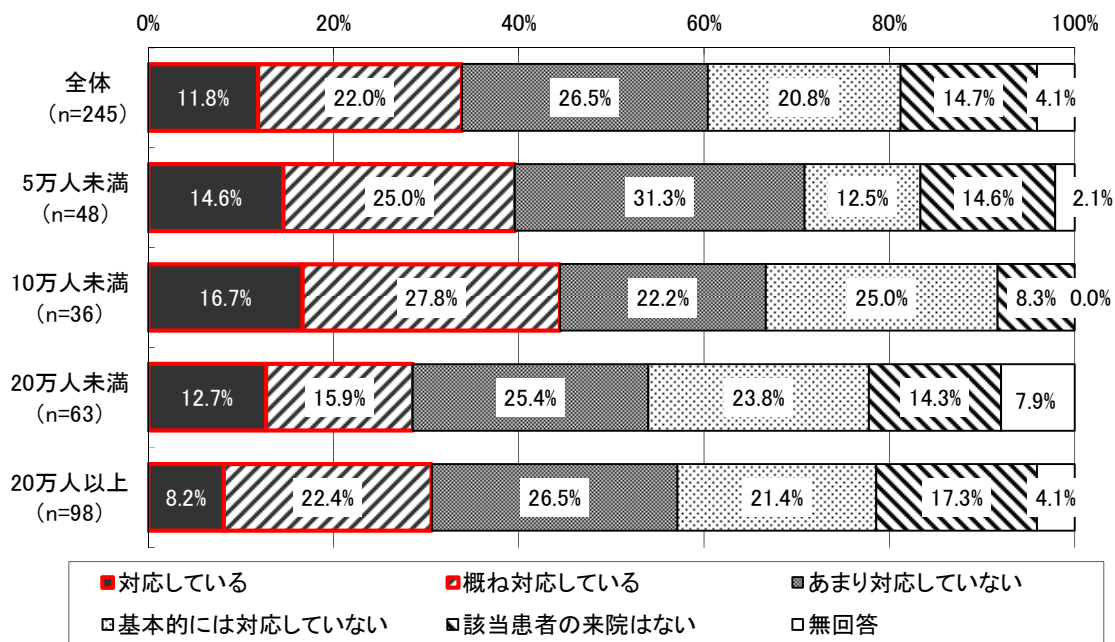
図表 3- 142 外来患者への対応状況（地域別）【内科診療所】
 ～18) 創傷の患者～



図表 3- 143 外来患者への対応状況（地域別）【内科診療所】
～19) 乳幼児の患者～



図表 3- 144 外来患者への対応状況（地域別）【内科診療所】
～20) 維持治療期の悪性腫瘍の患者～



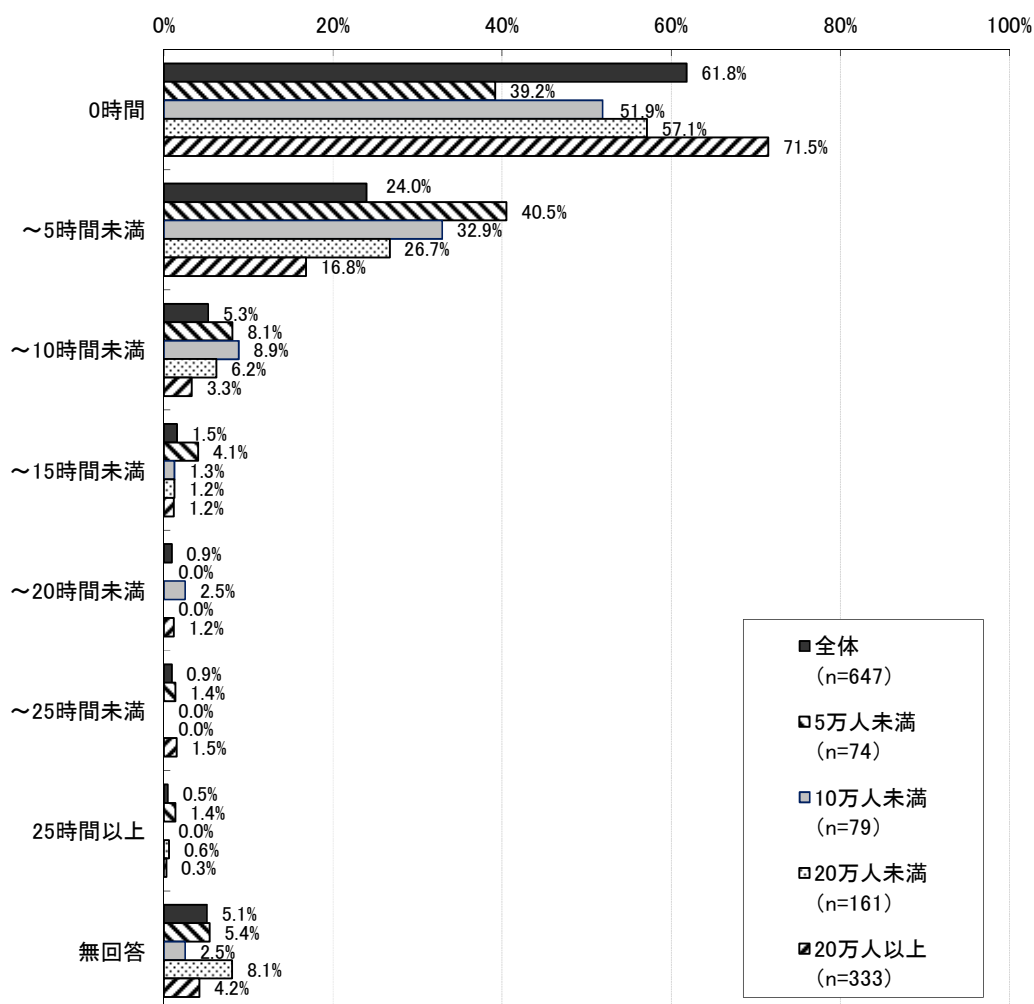
(3) 訪問診療への取組

① 1週間に行った往診・訪問診療の時間

1) 地域別

- ・1週間に行った往診・訪問診療の時間別分布についてみると、「0時間」の割合は、5万人未満の地域では39.2%、10万人未満では51.9%、20万人未満では57.1%、20万人以上では71.5%と、人口規模が大きい地域ほど割合が高かった。
- ・1週間に行った往診・訪問診療の時間についてみると、5万人未満の地域では平均2.7時間、10万人未満では1.8時間、20万人未満では1.3時間、20万人以上では1.5時間であった。

図表 3-145 1週間に行った往診・訪問診療の時間別分布（地域別）



(注) 平成29年3月12日～3月18日の1週間に院長が行った往診・訪問診療の時間。

図表 3- 146 1 週間に行った往診・訪問診療の時間（地域別）

（単位：時間）

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	614	1.6	4.6	0.0
5 万人未満	70	2.7	5.4	0.8
10 万人未満	77	1.8	3.3	0.0
20 万人未満	148	1.3	3.1	0.0
20 万人以上	319	1.5	5.2	0.0

（注）平成 29 年 3 月 12 日～3 月 18 日の「1 週間に行った往診・訪問診療の時間」について回答のあった 614 人を集計対象とした。

2) 主たる担当診療科別

- ・主たる担当診療科別に 1 週間の往診・訪問診療の時間をみると、「内科系」では平均 2.3 時間で最も長く、次いで「小児科・小児外科」が 2.1 時間であった。

図表 3- 147 1 週間に行った往診・訪問診療の時間（主たる担当診療科別）

（単位：時間）

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	614	1.6	4.6	0.0
内科系	286	2.3	4.6	0.5
外科系	55	1.4	2.9	0.0
整形外科	47	0.8	3.0	0.0
小児科・小児外科	40	2.1	10.9	0.0
産婦人科・産科・婦人科	27	0.0	-	0.0
皮膚科	28	0.3	0.9	0.0
眼科	39	0.1	0.6	0.0
耳鼻いんこう科	33	0.0	0.2	0.0
精神科・心療内科	26	1.6	4.0	0.0
その他	33	2.1	3.5	0.0

（注）平成 29 年 3 月 12 日～3 月 18 日の「1 週間に行った往診・訪問診療の時間」について回答のあった 614 人を集計対象とした。

3) 内科診療所

- 内科診療所について、1週間に行った往診・訪問診療の時間をみると、5万人未満の地域では平均3.6時間、10万人未満では2.5時間、20万人未満では2.2時間、20万人以上では2.1時間であった。5万人未満の地域ではやや長いですが、他の地域については大きな差異はみられなかった。

図表 3- 148 1週間に行った往診・訪問診療の時間（地域別）【内科診療所】

（単位：時間）

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	233	2.5	4.8	0.5
5万人未満	47	3.6	6.3	1.5
10万人未満	36	2.5	3.8	0.5
20万人未満	57	2.2	4.3	1.0
20万人以上	93	2.1	4.6	0.0

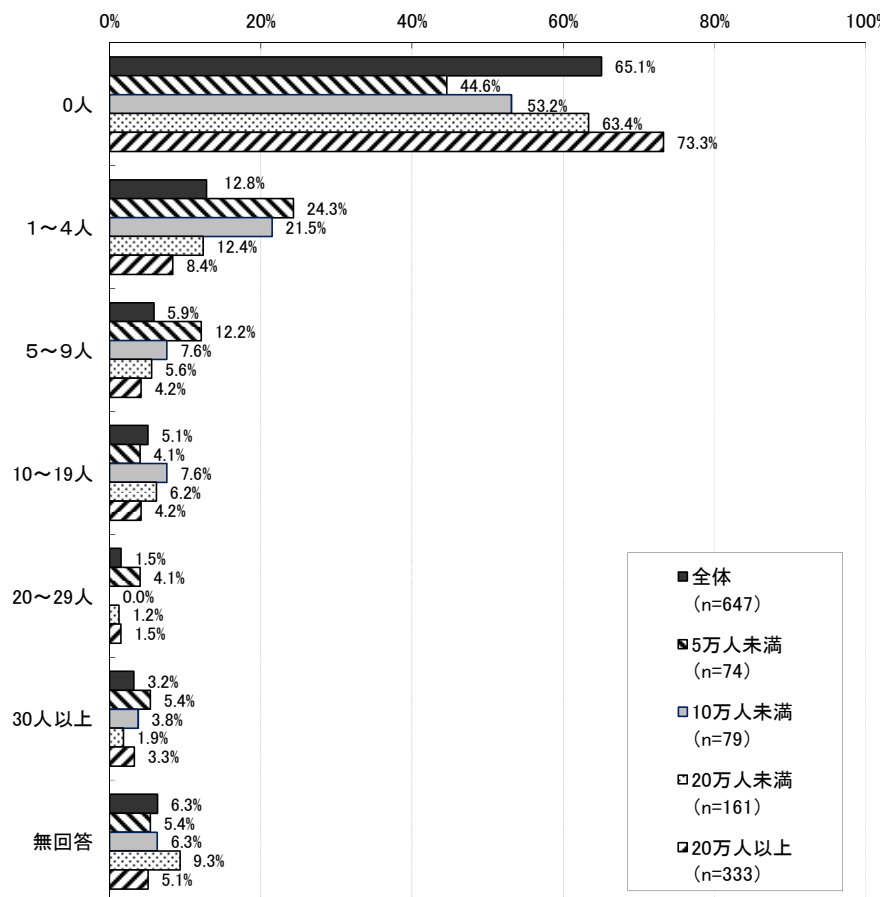
（注）平成29年3月12日～3月18日の「1週間に行った往診・訪問診療の時間」について回答のあった233人を集計対象とした。

② 1週間に診察した在宅療養患者数（延べ人数）

1) 地域別

・1週間に診察した在宅療養患者数（延べ人数）についてみると、5万人未満の地域では平均4.8人、10万人未満では4.2人、20万人未満では3.0人、20万人以上では3.4人であった。

図表 3- 149 1週間に診察した在宅療養患者数（延べ人数）別分布（地域別）



(注) 平成 29 年 3 月 12 日～3 月 18 日の 1 週間に院長が診察した在宅療養患者数（延べ人数）

図表 3- 150 1週間に診察した在宅療養患者数（延べ人数）（地域別）

(単位：人)

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	606	3.6	13.2	0.0
5万人未満	70	4.8	8.6	1.0
10万人未満	74	4.2	10.5	0.0
20万人未満	146	3.0	8.9	0.0
20万人以上	316	3.4	16.0	0.0

(注) 平成 29 年 3 月 12 日～3 月 18 日の「1週間に診察した在宅療養患者数（延べ人数）」について回答のあった 606 人を集計対象とした。

2) 主たる担当診療科別

- ・主たる担当診療科別に1週間に診察した在宅療養患者数（延べ人数）をみると、「内科系」が平均5.7人で最も多かった。

図表 3- 151 1週間に診察した在宅療養患者数（延べ人数）（主たる担当診療科別）

（単位：人）

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	606	3.6	13.2	0.0
内科系	281	5.7	17.9	0.0
外科系	53	3.6	8.6	0.0
整形外科	47	2.6	9.5	0.0
小児科・小児外科	40	1.3	5.5	0.0
産婦人科・産科・婦人科	27	0.0	-	0.0
皮膚科	28	0.5	1.9	0.0
眼科	39	0.0	-	0.0
耳鼻いんこう科	32	0.0	-	0.0
精神科・心療内科	25	1.4	6.4	0.0
その他	34	4.3	8.1	0.0

（注）平成29年3月12日～3月18日の「1週間に診察した在宅療養患者数（延べ人数）」について回答のあった606人を集計対象とした。

3) 内科診療所

- ・内科診療所について、1週間に診察した在宅療養患者数（延べ人数）をみると、5万人未満の地域では平均6.1人、10万人未満では5.9人、20万人未満では4.9人、20万人以上では4.5人と、人口規模が小さい地域ほど多かった。

図表 3- 152 1週間に診察した在宅療養患者数（延べ人数）（地域別）【内科診療所】

（単位：人）

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	228	5.1	10.8	0.5
5万人未満	46	6.1	9.6	2.5
10万人未満	35	5.9	13.1	1.0
20万人未満	55	4.9	12.3	0.0
20万人以上	92	4.5	9.6	0.0

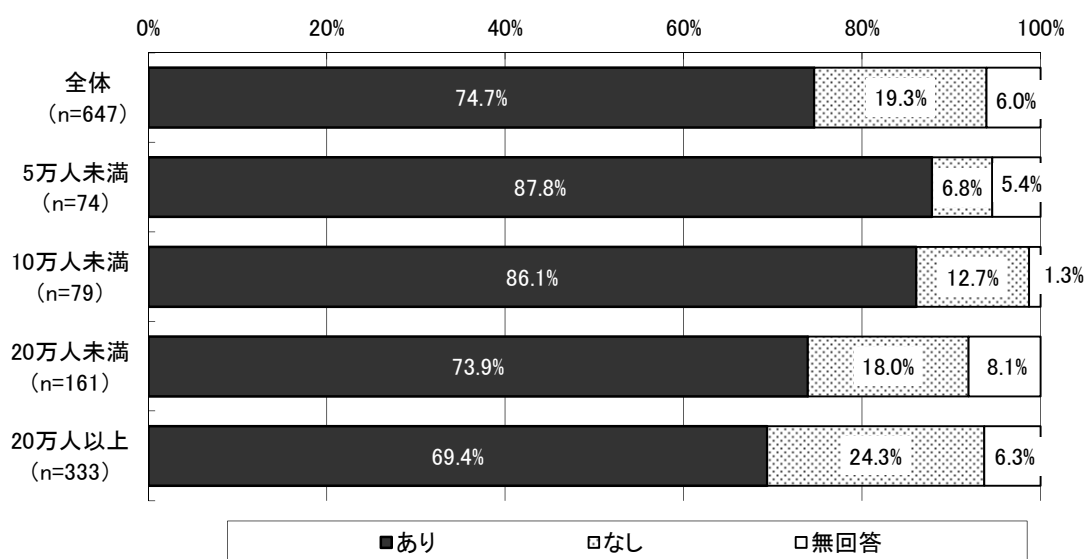
（注）平成29年3月12日～3月18日の「1週間に診察した在宅療養患者数（延べ人数）」について回答のあった228人を集計対象とした。

③直近 1 年間の主治医意見書の記載

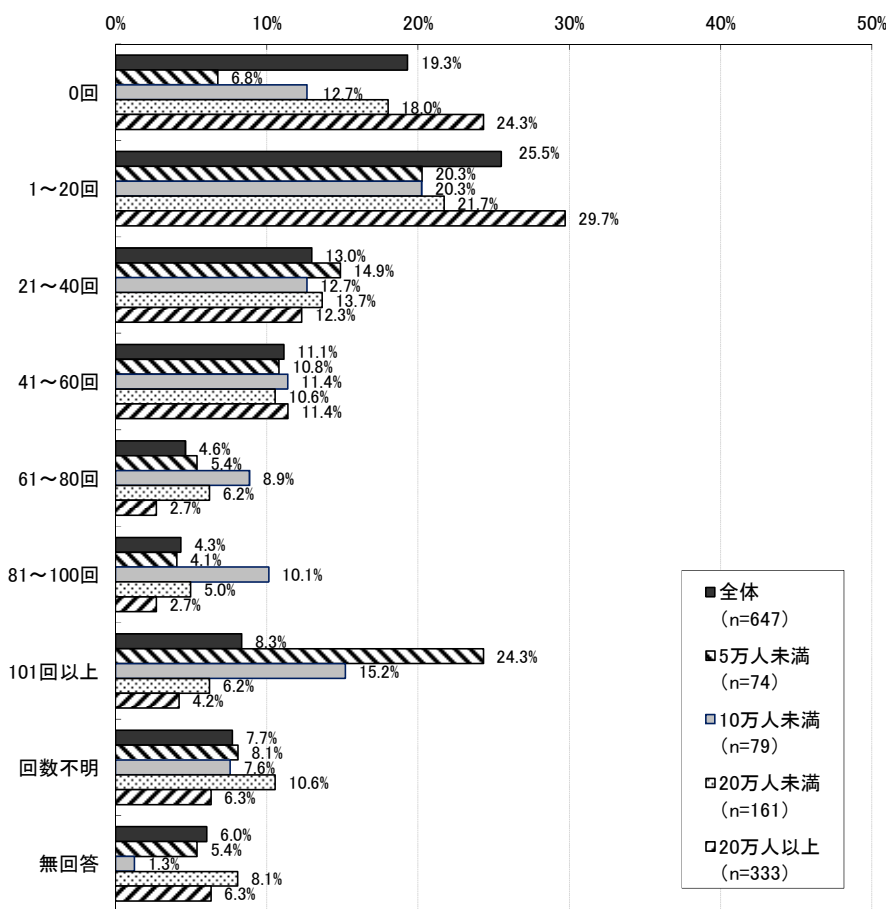
1) 地域別

- ・直近 1 年間の主治医意見書の記載の有無についてみると、人口規模が小さい地域ほど「あり」の割合が高かった。「あり」の割合は、5 万人未満の地域では 87.8%、10 万人未満では 86.1%、20 万人未満では 73.9%、20 万人以上では 69.4%であった。
- ・直近 1 年間に主治医意見書の記載実績のある院長について、直近 1 年間の主治医意見書の記載回数をみると、5 万人未満の地域では平均 70.3 回、10 万人未満では 65.5 回、20 万人未満では 49.1 回、20 万人以上の地域では 38.4 回であった。

図表 3- 153 直近 1 年間の主治医意見書の記載の有無（地域別）



図表 3- 154 直近 1 年間の主治医意見書の記載回数別分布（地域別）



図表 3- 155 直近 1 年間の主治医意見書の記載回数（「0」を除く、地域別）

（単位：回）

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	433	49.2	51.4	31.0
5 万人未満	59	70.3	61.5	50.0
10 万人未満	62	65.5	56.3	50.0
20 万人未満	102	49.1	47.4	35.5
20 万人以上	210	38.4	45.6	23.0

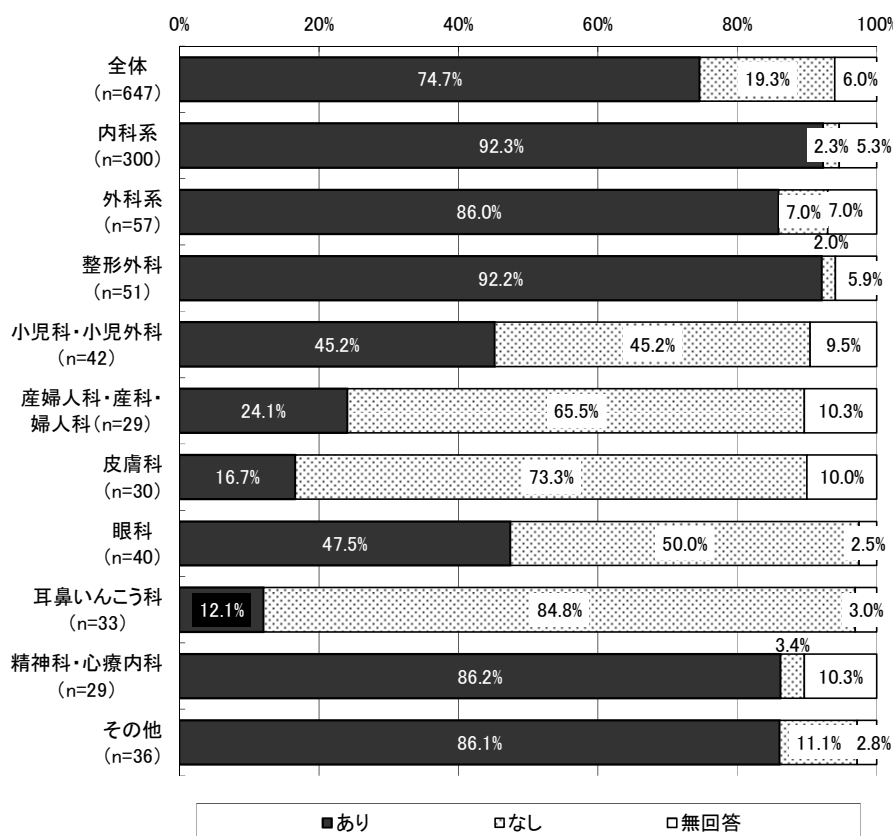
（注）直近 1 年間に主治医意見書の記載実績のある院長のうち、「主治医意見書の記載回数」について「0」や無回答を除き、回答のあった 433 人を集計対象とした。

2) 主たる担当診療科別

- ・主たる担当診療科別に直近 1 年間の主治医意見書の記載の有無をみると、「あり」の割合は診療科によって大きく異なった。
- ・「あり」の割合は「内科系」が 92.3% で最も高く、次いで「整形外科」（92.2%）、「精神科・心療内科」（86.2%）、「外科系」（86.0%）であった。

- ・記載実績のある院長における、直近1年間の主治医意見書の記載回数は、「外科系」が平均60.6回、「内科系」が平均55.7回、「整形外科」が平均44.2回であった。

図表 3- 156 直近1年間の主治医意見書の記載の有無（主たる担当診療科別）



図表 3- 157 直近1年間の主治医意見書の記載回数（「0」を除く、主たる担当診療科別）

(単位：回)

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	433	49.2	51.4	31.0
内科系	245	55.7	50.9	41.0
外科系	44	60.6	68.6	40.0
整形外科	42	44.2	32.2	38.5
小児科・小児外科	17	13.9	16.4	10.0
産婦人科・産科・婦人科	7	6.4	6.8	3.0
皮膚科	5	14.2	11.6	15.0
眼科	18	10.4	23.9	2.5
耳鼻いんこう科	4	4.8	4.1	4.0
精神科・心療内科	25	36.0	40.3	29.0
その他	26	63.9	65.6	41.5

(注) 直近1年間に主治医意見書の記載実績のある院長のうち、「主治医意見書の記載回数」について回答のあった433人を集計対象とした。

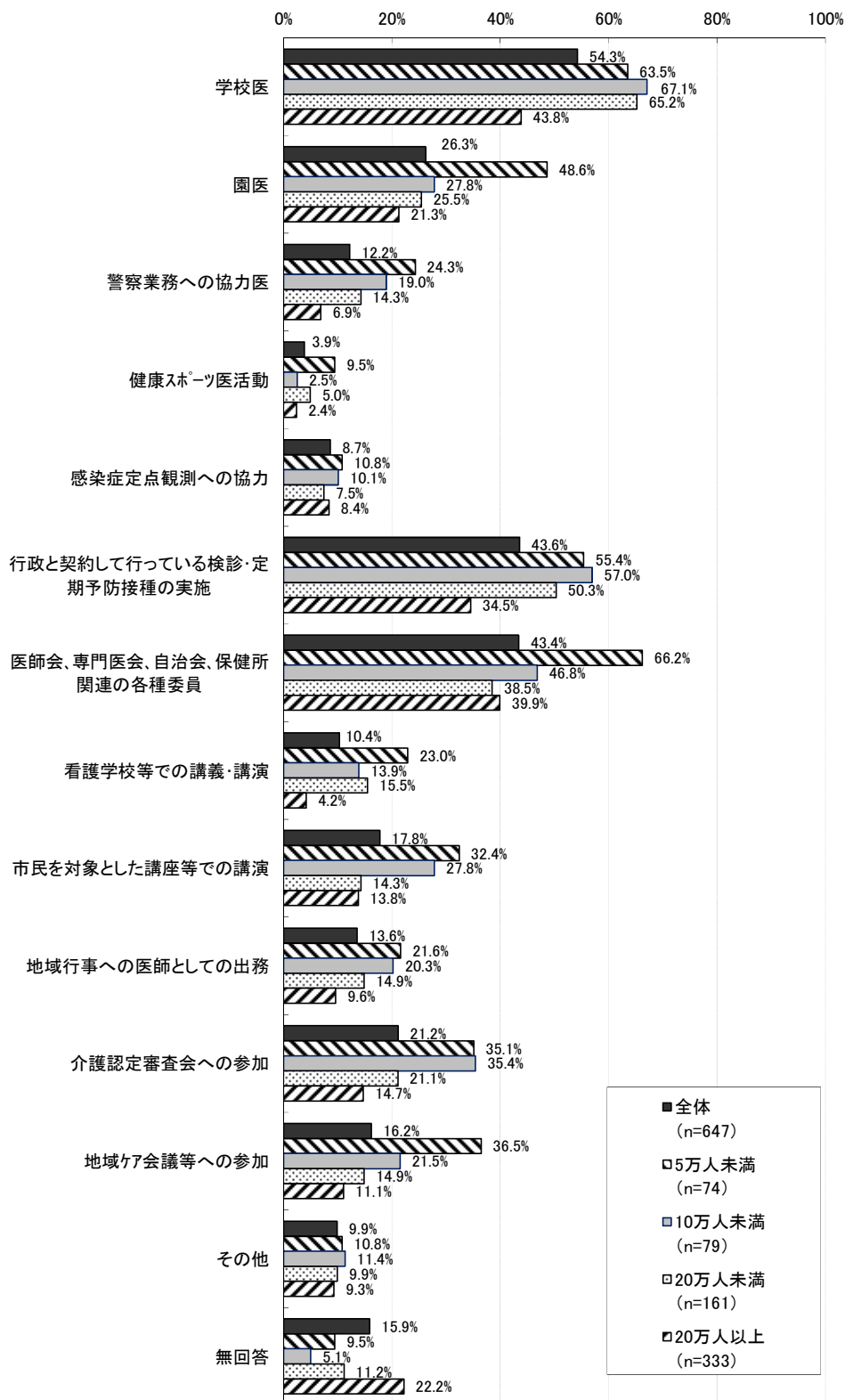
(4) 地域活動への取組

①平成 28 年 4 月以降の実績のある地域活動

1) 地域別

- ・平成 28 年 4 月以降の実績のある地域活動についてみると、全体では、「学校医」が 54.3% で最も多く、次いで「行政と契約して行っている検診・定期予防接種の実施」(43.6%)、「医師会、専門医会、自治会、保健所関連の各種委員」(43.4%)であった。
- ・地域別にみると、5 万人未満の地域では他地域と比較して割合が高い取組が多かった。一方で、20 万人以上の地域では他地域と比較して割合が低い取組が多かった。

図表 3- 158 平成 28 年 4 月以降の実績のある地域活動（地域別、複数回答）



(注) 「その他」の内容として、「産業医」（同旨含め 13 件）、「夜間・休日センター当番」（同旨含め 8 件）、「公的機関の嘱託医」（同旨含め 8 件）、「障害者認定審査会への参加」（同旨含め 4 件）、「認知症サポート医」（同旨含め 3 件）等が挙げられた。

2) 主たる担当診療科別

・主たる担当診療科別にみると、「小児科・小児外科」では「園医」(85.7%)、「行政と契約して行っている検診・定期予防接種の実施」(78.6%)、「学校医」(76.2%)、「医師会、専門医会、自治会、保健所関連の各種委員」(64.3%)の割合が高いが、この他にも、「感染症定点観測への協力」(47.6%)、「看護学校等での講義・講演」(19.0%)といった取組も他の診療科と比較して相対的に高かった。

図表 3- 159 平成 28 年 4 月以降の実績のある地域活動（主たる担当診療科別、複数回答）

(単位：上段「人」、下段「%」)

	総数	学校医	園医	警察業務への協力医	健康スポーツ医活動	感染症定点観測への協力	行政と契約して行っている検診・定期予防接種の実施	医師会、専門医会、自治会、保健所関連の各種委員
全体	647 100.0	351 54.3	170 26.3	79 12.2	25 3.9	56 8.7	282 43.6	281 43.4
内科系	300 100.0	186 62.0	93 31.0	53 17.7	12 4.0	20 6.7	169 56.3	145 48.3
外科系	57 100.0	20 35.1	5 8.8	9 15.8	2 3.5	2 3.5	27 47.4	19 33.3
整形外科	51 100.0	17 33.3	1 2.0	3 5.9	3 5.9	1 2.0	13 25.5	16 31.4
小児科・小児外科	42 100.0	32 76.2	36 85.7	2 4.8	2 4.8	20 47.6	33 78.6	27 64.3
産婦人科・産科・婦人科	29 100.0	7 24.1	6 20.7	3 10.3	1 3.4	6 20.7	13 44.8	13 44.8
皮膚科	30 100.0	3 10.0	1 3.3	1 3.3	0 0.0	3 10.0	2 6.7	7 23.3
眼科	40 100.0	33 82.5	9 22.5	1 2.5	1 2.5	2 5.0	5 12.5	13 32.5
耳鼻いんこう科	33 100.0	30 90.9	7 21.2	1 3.0	0 0.0	0 0.0	6 18.2	15 45.5
精神科・心療内科	29 100.0	5 17.2	1 3.4	2 6.9	0 0.0	0 0.0	3 10.3	8 27.6
その他	36 100.0	18 50.0	11 30.6	4 11.1	4 11.1	2 5.6	11 30.6	18 50.0

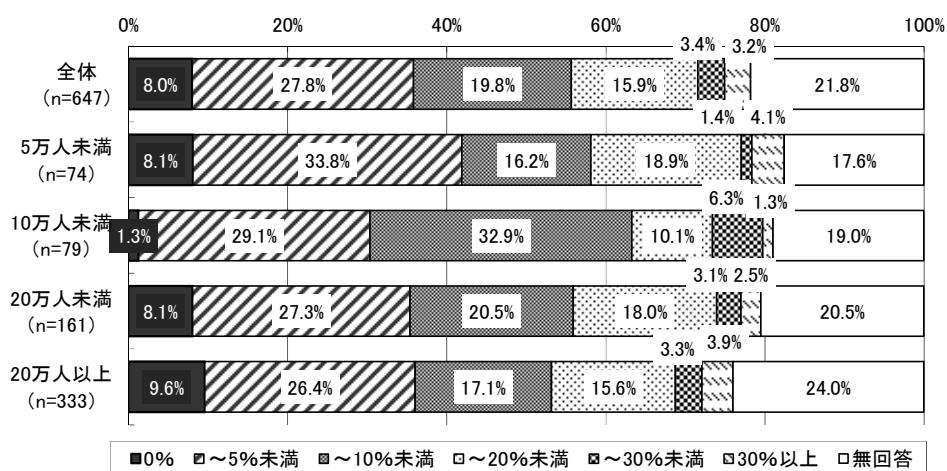
	総数	看護学校等での講義・講演	市民を対象とした講座等での講演	地域行事への医師としての出務	介護認定審査会への参加	地域ケア会議等への参加	その他	無回答
全体	647 100.0	67 10.4	115 17.8	88 13.6	137 21.2	105 16.2	64 9.9	103 15.9
内科系	300 100.0	27 9.0	70 23.3	52 17.3	81 27.0	72 24.0	28 9.3	34 11.3
外科系	57 100.0	9 15.8	8 14.0	8 14.0	9 15.8	7 12.3	7 12.3	10 17.5
整形外科	51 100.0	3 5.9	7 13.7	7 13.7	19 37.3	7 13.7	4 7.8	14 27.5
小児科・小児外科	42 100.0	8 19.0	6 14.3	5 11.9	2 4.8	3 7.1	4 9.5	1 2.4
産婦人科・産科・婦人科	29 100.0	2 6.9	2 6.9	2 6.9	1 3.4	1 3.4	3 10.3	8 27.6
皮膚科	30 100.0	4 13.3	1 3.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 10.0	15 50.0
眼科	40 100.0	5 12.5	2 5.0	4 10.0	1 2.5	0 0.0	0 0.0	5 12.5
耳鼻いんこう科	33 100.0	3 9.1	2 6.1	2 6.1	4 12.1	0 0.0	1 3.0	2 6.1
精神科・心療内科	29 100.0	4 13.8	11 37.9	4 13.8	6 20.7	6 20.7	10 34.5	8 27.6
その他	36 100.0	2 5.6	6 16.7	4 11.1	14 38.9	9 25.0	4 11.1	6 16.7

②勤務時間に占める地域活動の割合

1) 地域別

- ・地域活動が勤務時間に占める割合別分布についてみると、無回答が多いことに留意する必要があるが、10%以上（「～20%未満」、「～30%未満」、「30%以上」の合計）の割合は、5万人未満の地域が24.4%、10万人未満では17.7%、20万人未満では23.6%、20万人以上では22.8%であった。
- ・地域活動が勤務時間に占める割合について中央値でみると、5万人未満の地域では4.0%、それ以外の地域では5.0%であった。

図表 3- 160 勤務時間に占める地域活動の割合別分布（地域別）



図表 3- 161 勤務時間に占める地域活動の割合（地域別）

（単位：％）

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	506	6.3	8.1	5.0
5万人未満	61	6.0	7.4	4.0
10万人未満	64	6.1	6.3	5.0
20万人未満	128	6.3	8.7	5.0
20万人以上	253	6.4	8.3	5.0

（注）「勤務時間に占める地域活動の割合」について回答のあった506人を集計対象とした。

2) 主たる担当診療科別

- ・主たる担当診療科別に地域活動が勤務時間に占める割合をみると、「小児科・小児外科」では平均 9.8%、中央値 7.5%と他の診療科と比較して高かった。

図表 3- 162 勤務時間に占める地域活動の割合（主たる担当診療科別）

(単位：%)

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	506	6.3	8.1	5.0
内科系	243	6.7	7.9	5.0
外科系	45	4.4	4.3	4.0
整形外科	38	4.8	6.6	3.0
小児科・小児外科	34	9.8	8.1	7.5
産婦人科・産科・婦人科	20	7.3	13.7	2.0
皮膚科	20	2.5	3.2	1.0
眼科	31	4.1	7.7	1.0
耳鼻いんこう科	29	5.4	5.8	5.0
精神科・心療内科	22	6.2	8.0	5.0
その他	24	9.3	12.7	5.0

(注)「勤務時間に占める地域活動の割合」について回答のあった 506 人を集計対象とした。

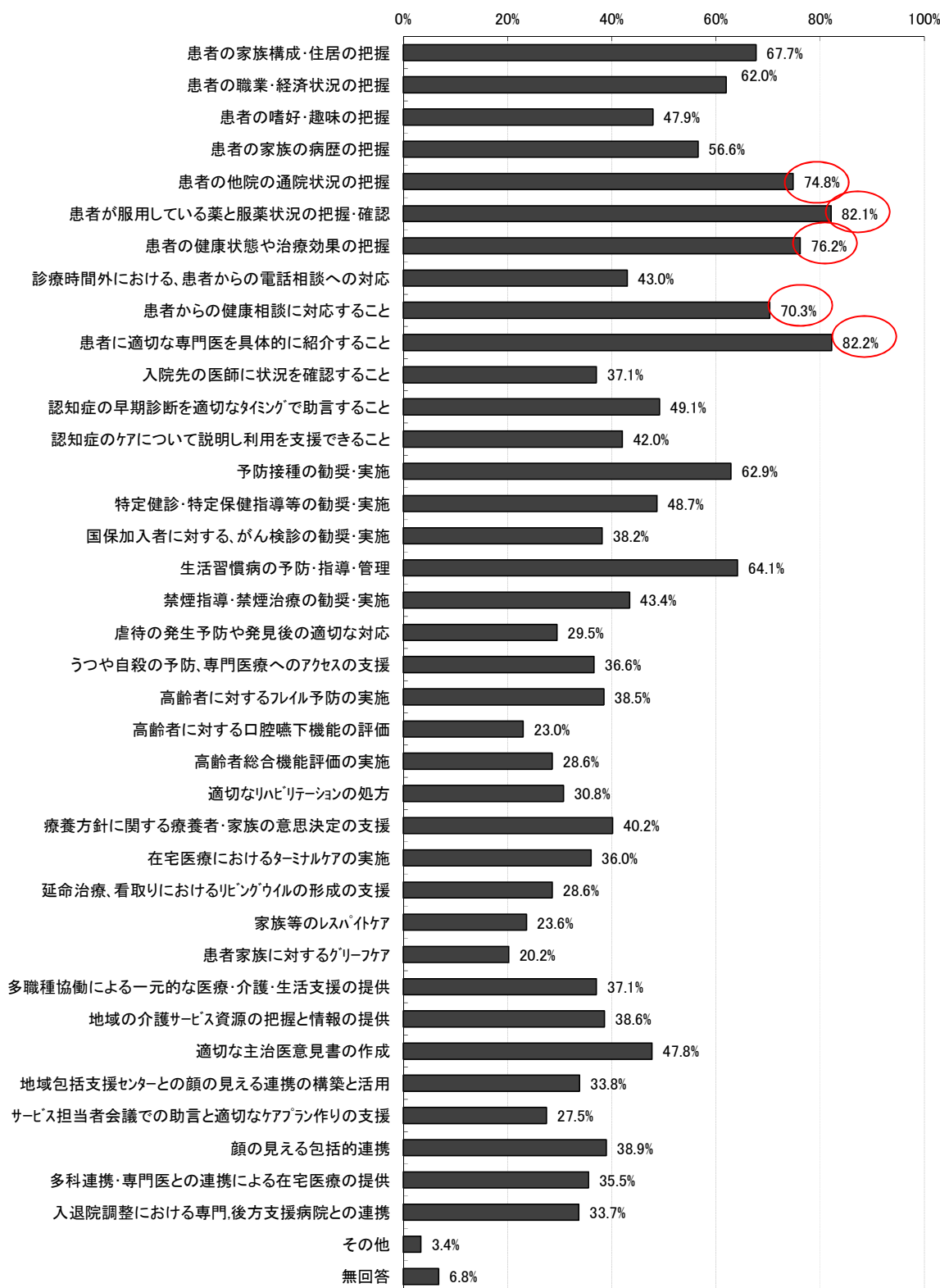
4. かかりつけ医についての考え等

(1) かかりつけ医について必要なこと

① かかりつけ医について必要なこと

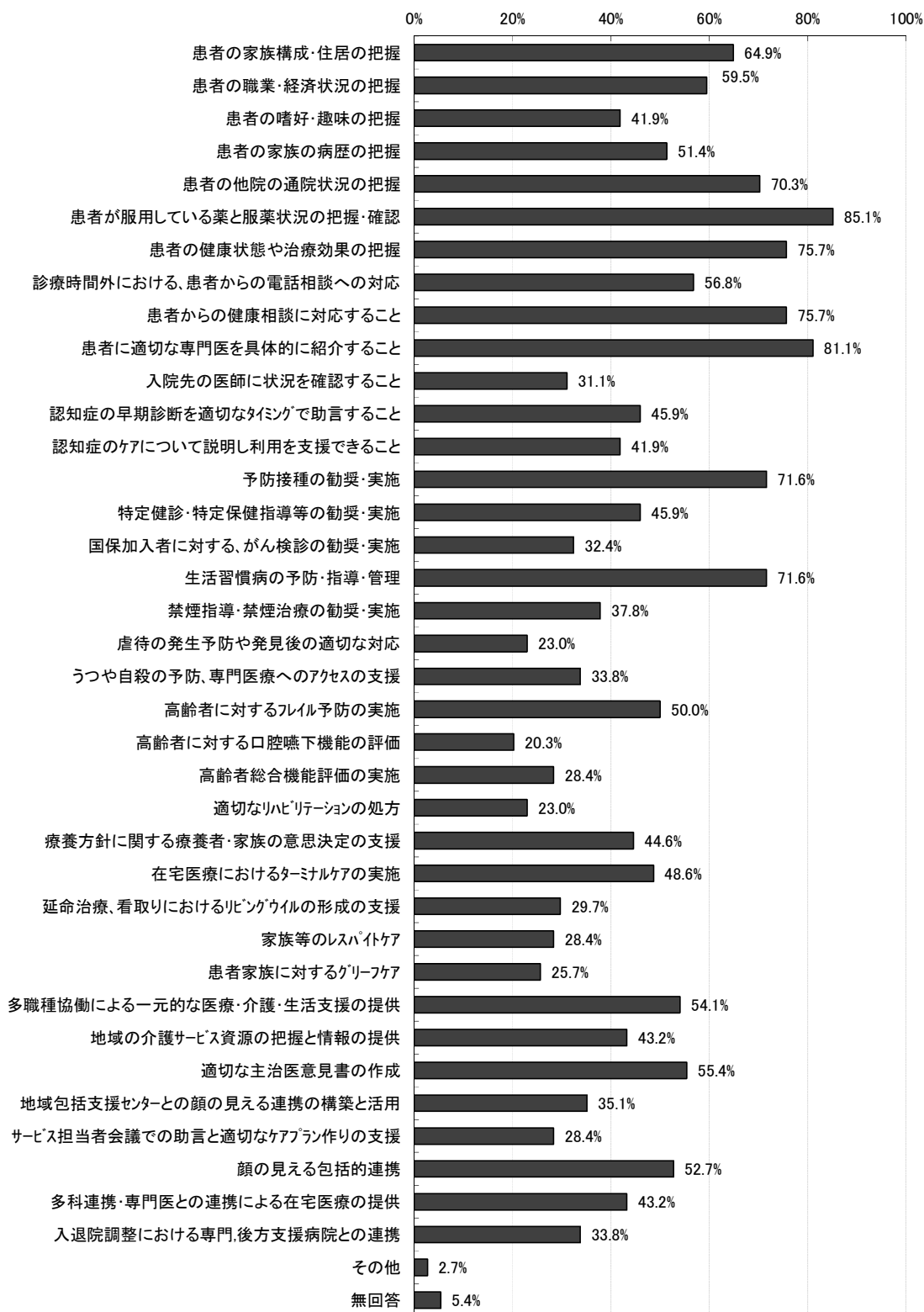
- ・ かかりつけ医について必要なことを尋ねたところ、「患者に適切な専門医を具体的に紹介すること」(82.2%) が最も多く、次いで「患者が服用している薬と服薬状況の把握・確認」(82.1%)、「患者の健康状態や治療効果の把握」(76.2%)、「患者の他院の通院状況の把握」(74.8%)、「患者からの健康相談に対応すること」(70.3%) と続き、これらの項目については7割以上の院長がかかりつけ医として必要なことと回答している。
- ・ この他にも、「患者の家族構成・住居の把握」(67.7%)、「生活習慣病の予防・指導・管理」(64.1%)、「予防接種の勧奨・実施」(62.9%)、「患者の職業・経済状況の把握」(62.0%) といった項目も6割以上の院長が必要なこととして挙げている。

図表 3- 163 かかりつけ医として必要なこと（全体、n=647、複数回答）

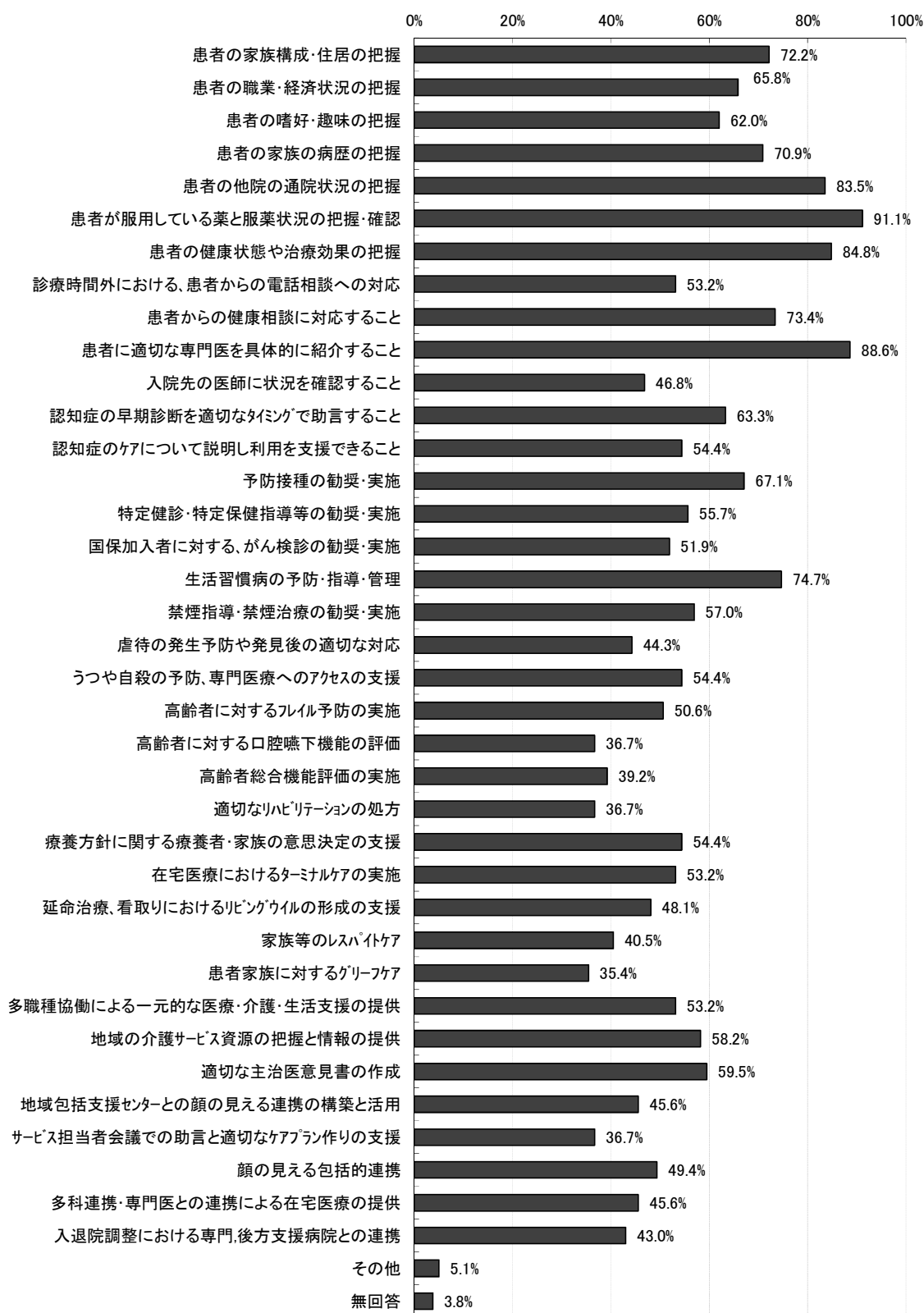


1) 地域別

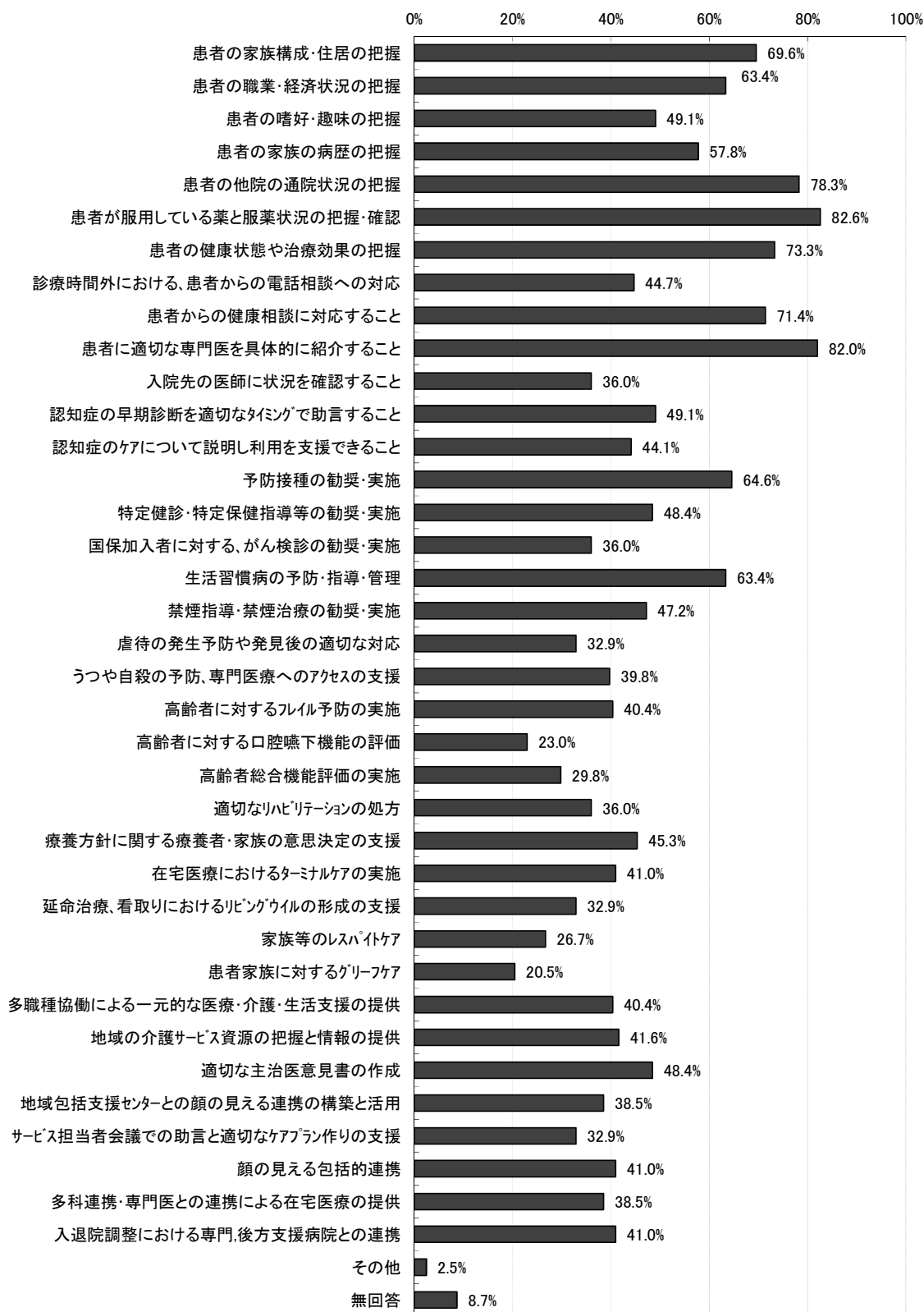
図表 3- 164 かかりつけ医として必要なこと（5万人未満、n=74、複数回答）



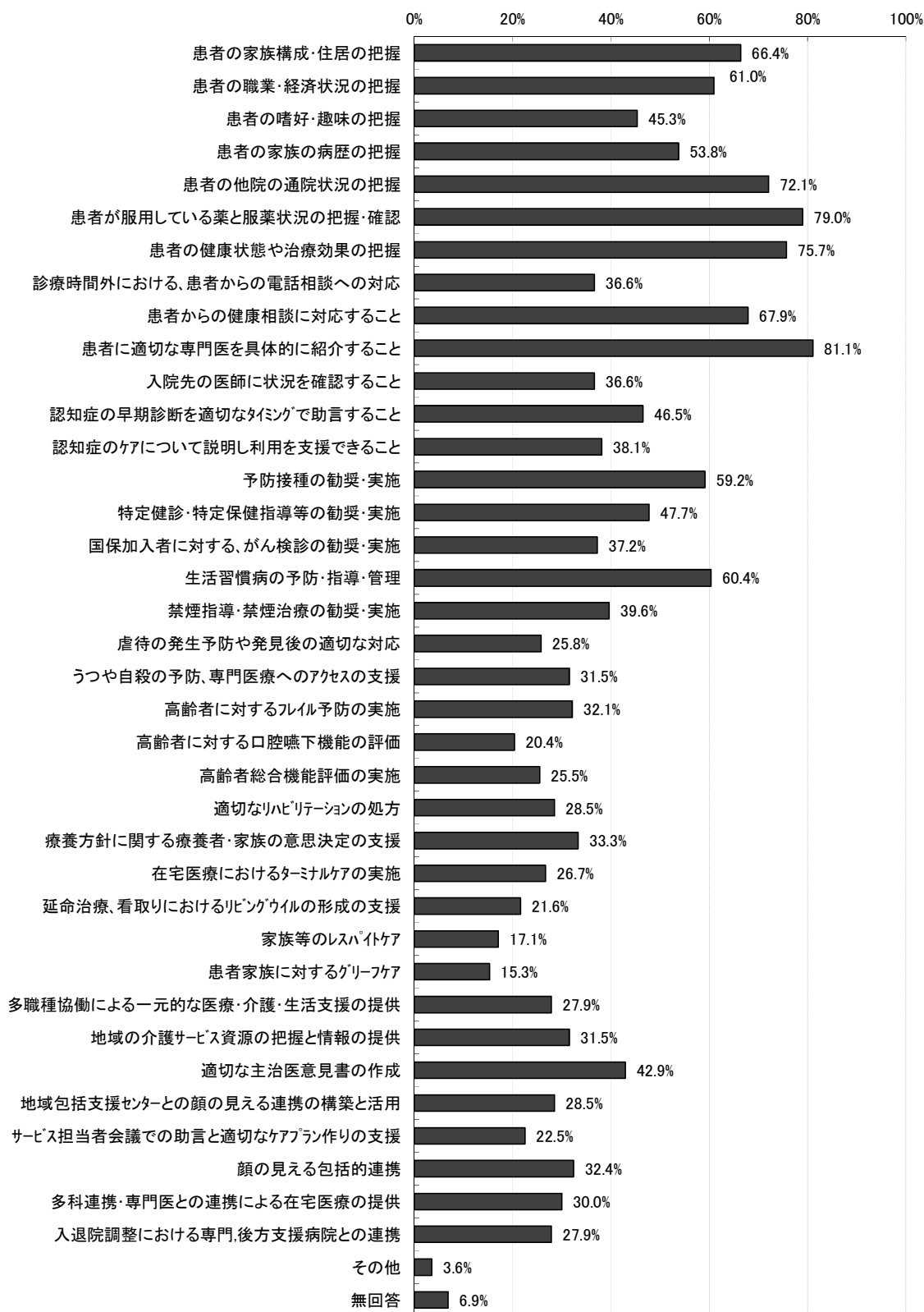
図表 3- 165 かかりつけ医として必要なこと（10万人未満、n=79、複数回答）



図表 3- 166 かかりつけ医として必要なこと（20万人未満、n=161、複数回答）

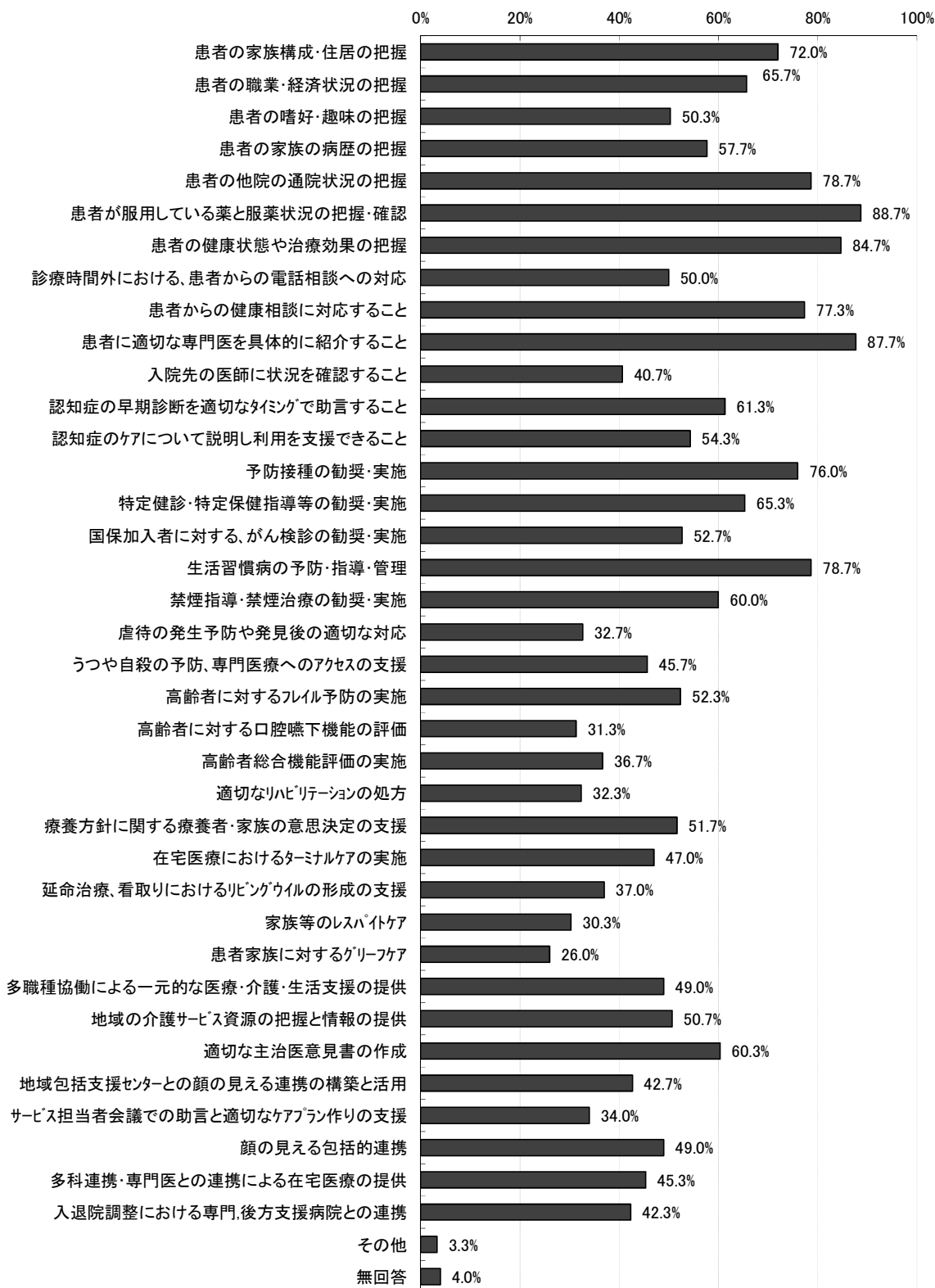


図表 3- 167 かかりつけ医として必要なこと（20 万人以上、n=333、複数回答）

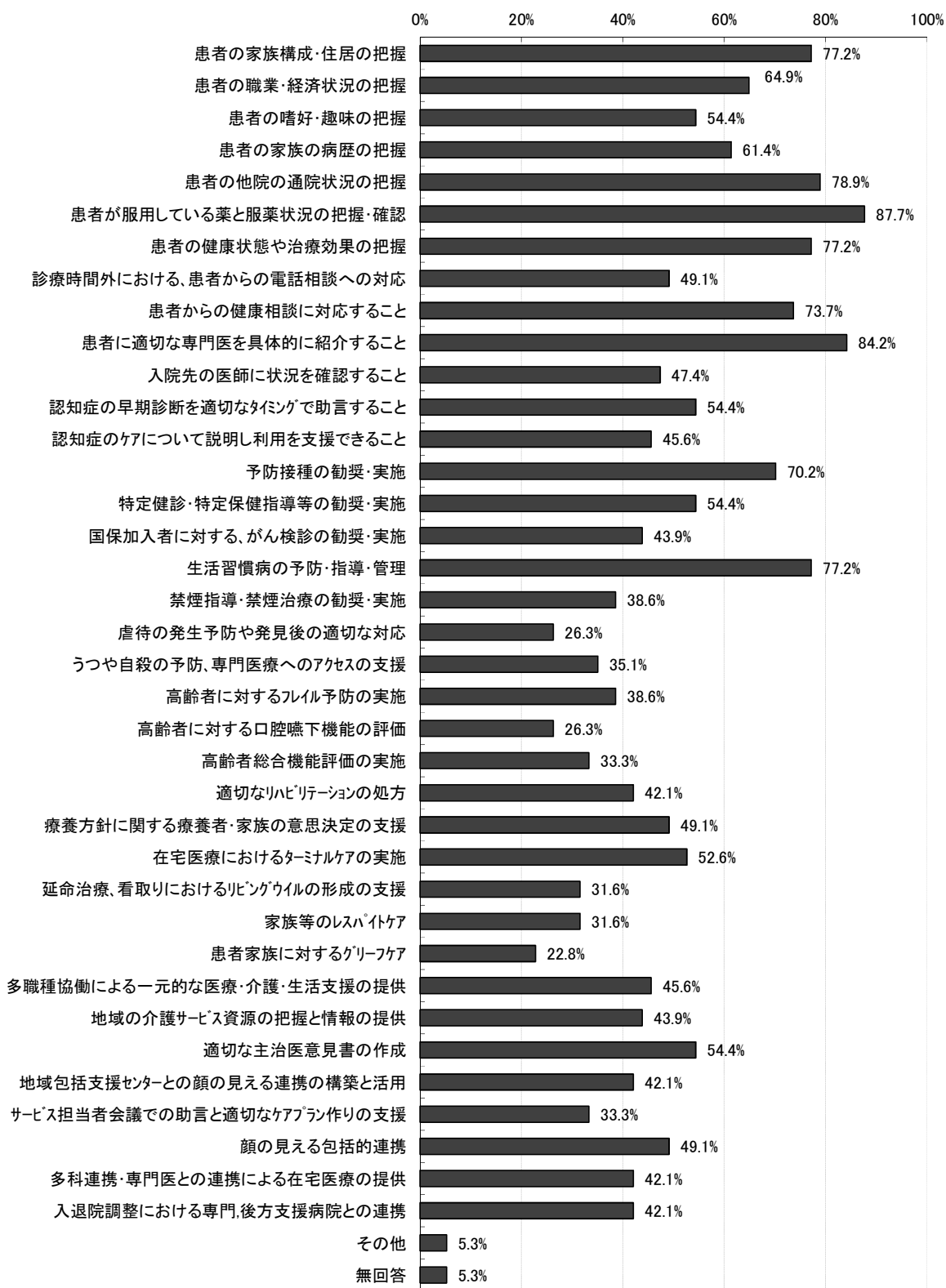


2) 主たる担当診療科別

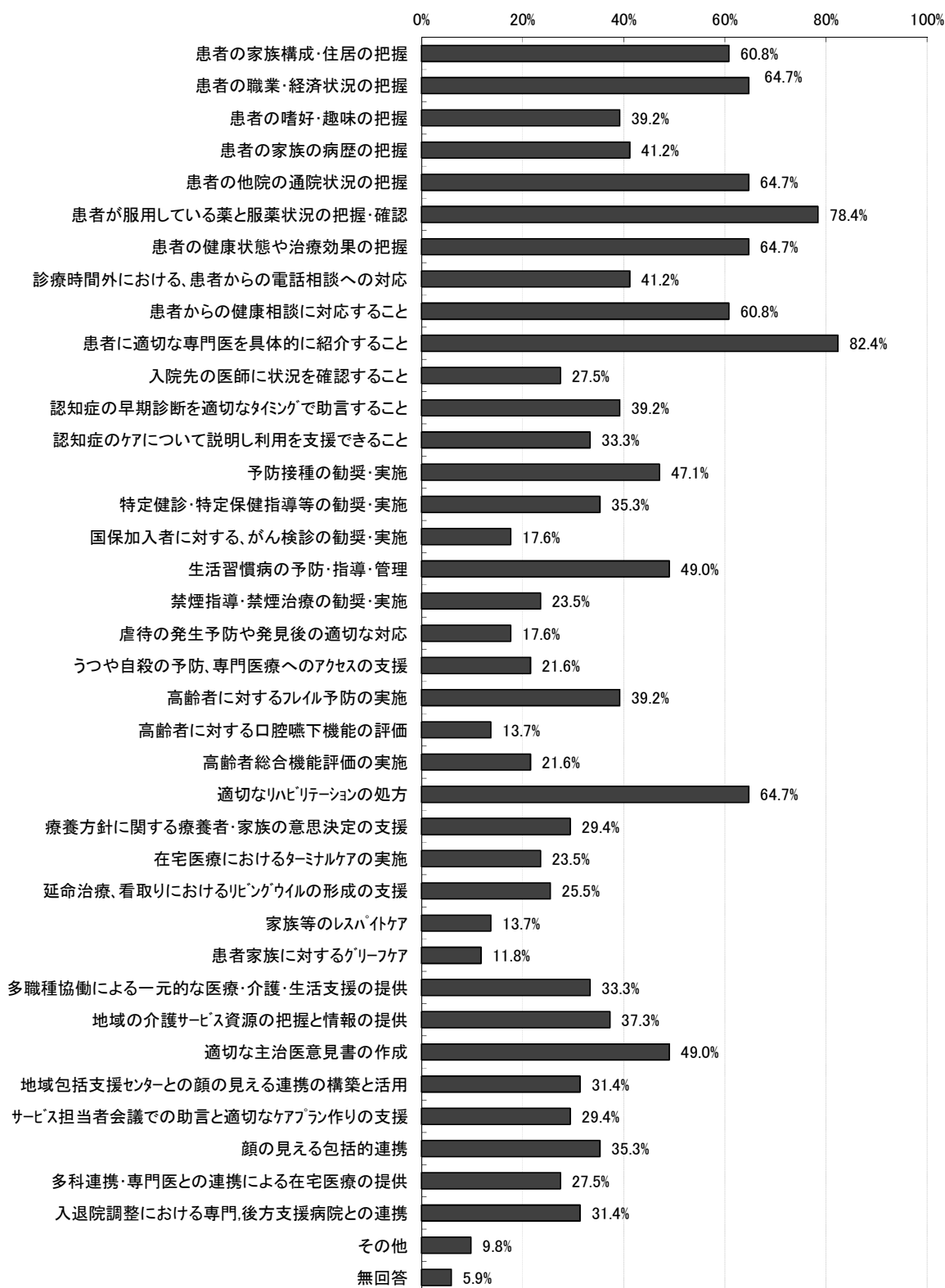
図表 3- 168 かかりつけ医として必要なこと（内科系、n=300、複数回答）



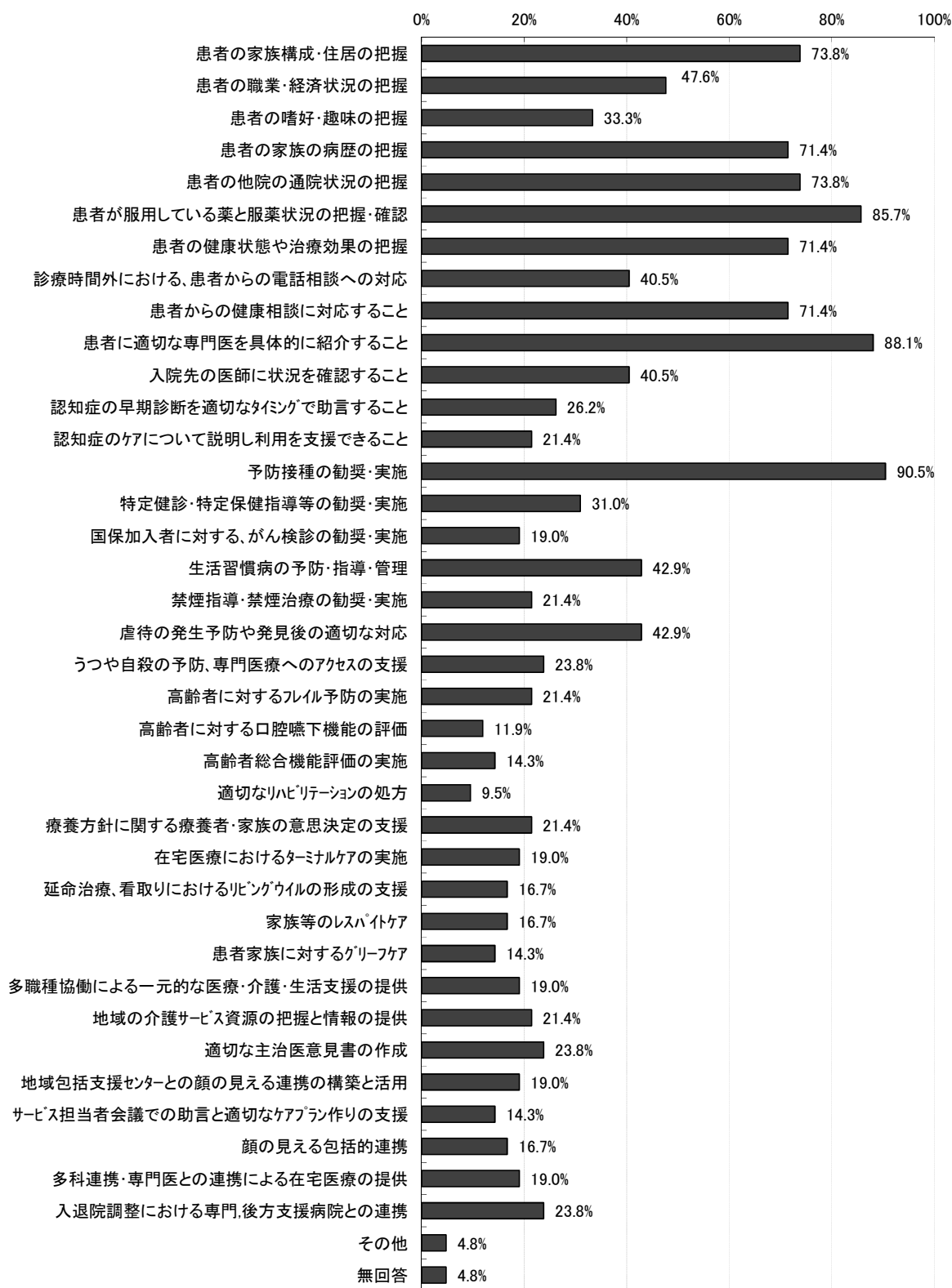
図表 3- 169 かかりつけ医として必要なこと（外科系、n=57、複数回答）



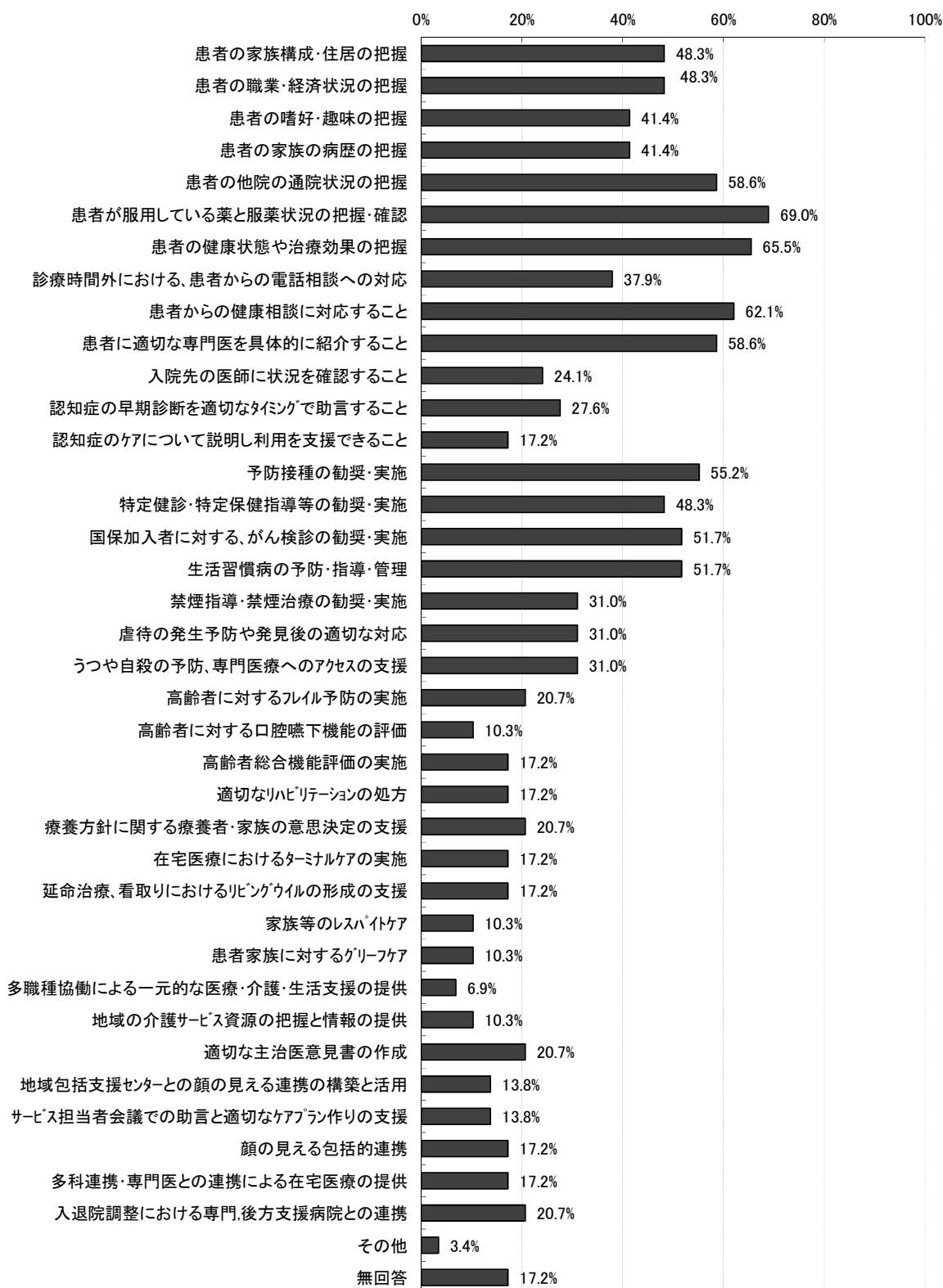
図表 3- 170 かかりつけ医として必要なこと（整形外科、n=51、複数回答）



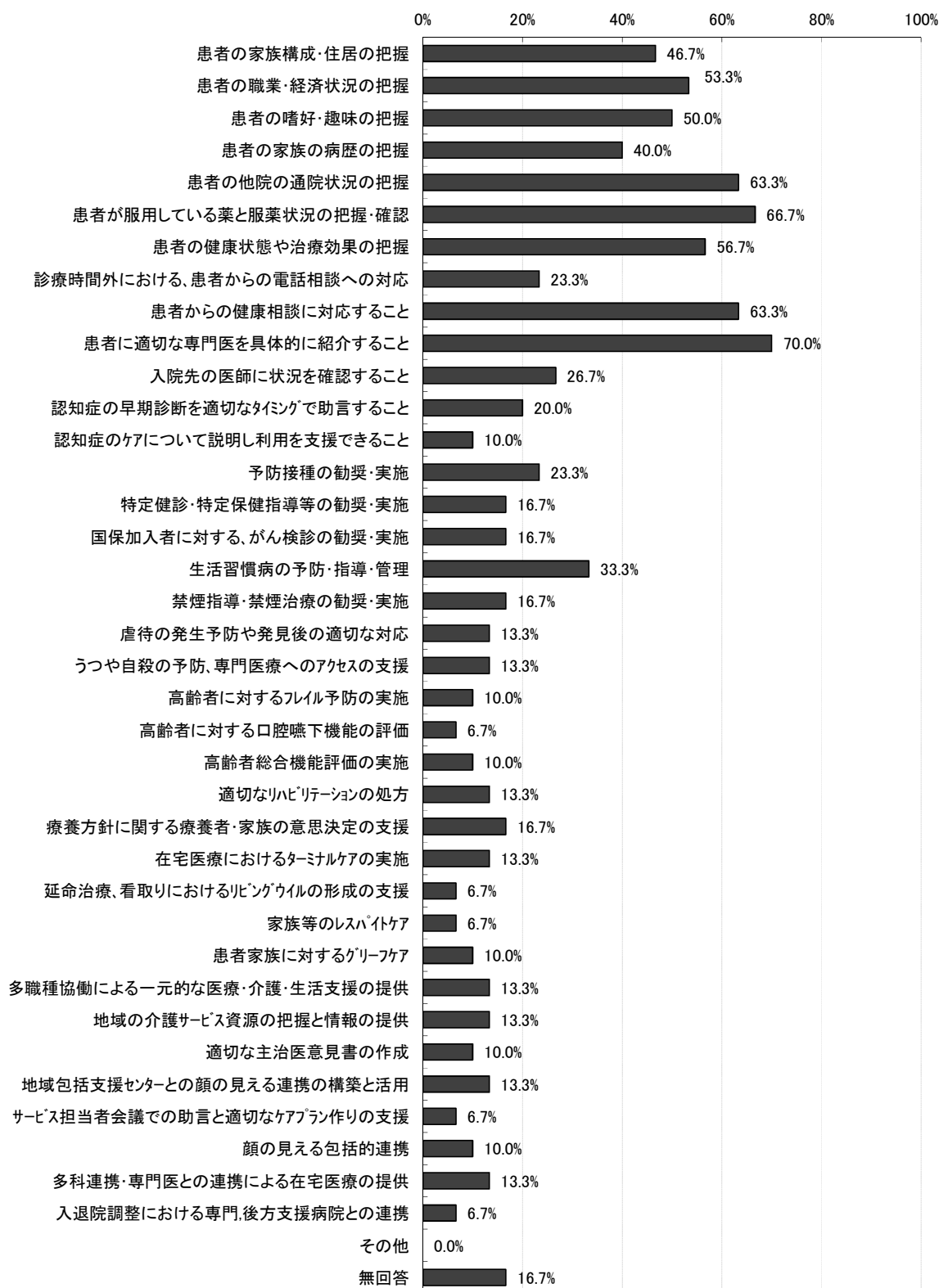
図表 3- 171 かかりつけ医として必要なこと（小児科・小児外科、n=42、複数回答）



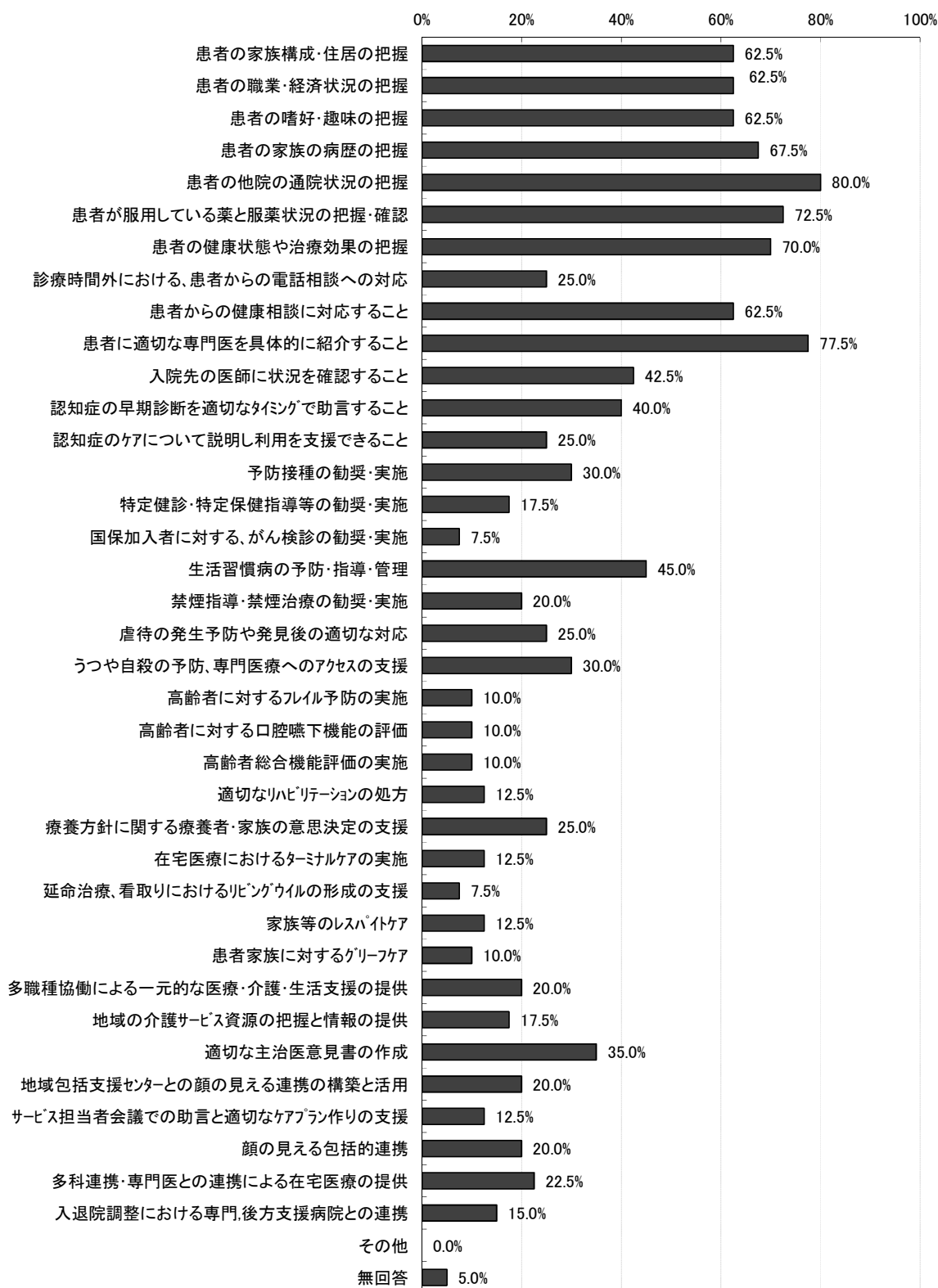
図表 3- 172 かかりつけ医として必要なこと（産婦人科・産科・婦人科、n=29、複数回答）



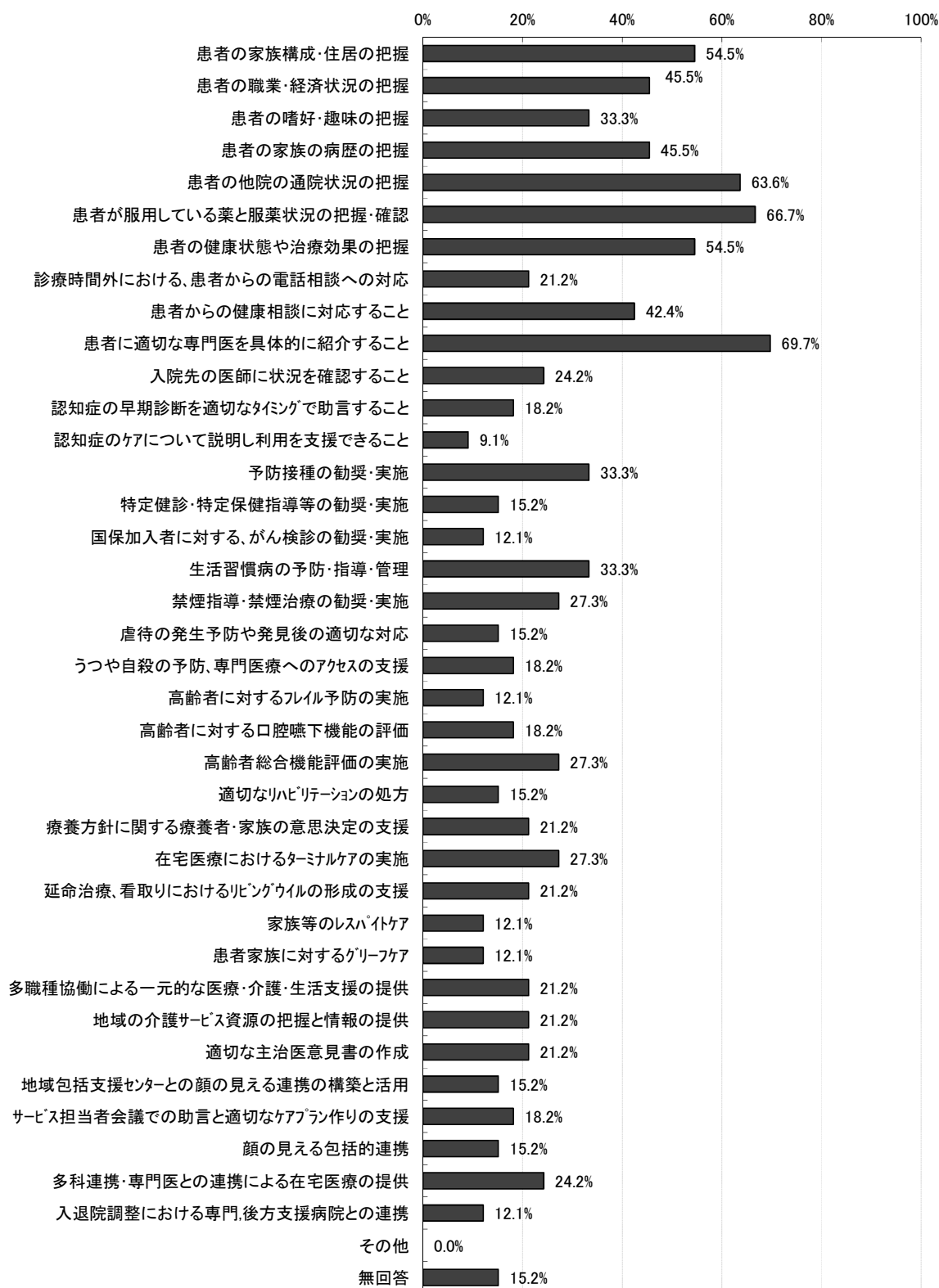
図表 3- 173 かかりつけ医として必要なこと（皮膚科、n=30、複数回答）



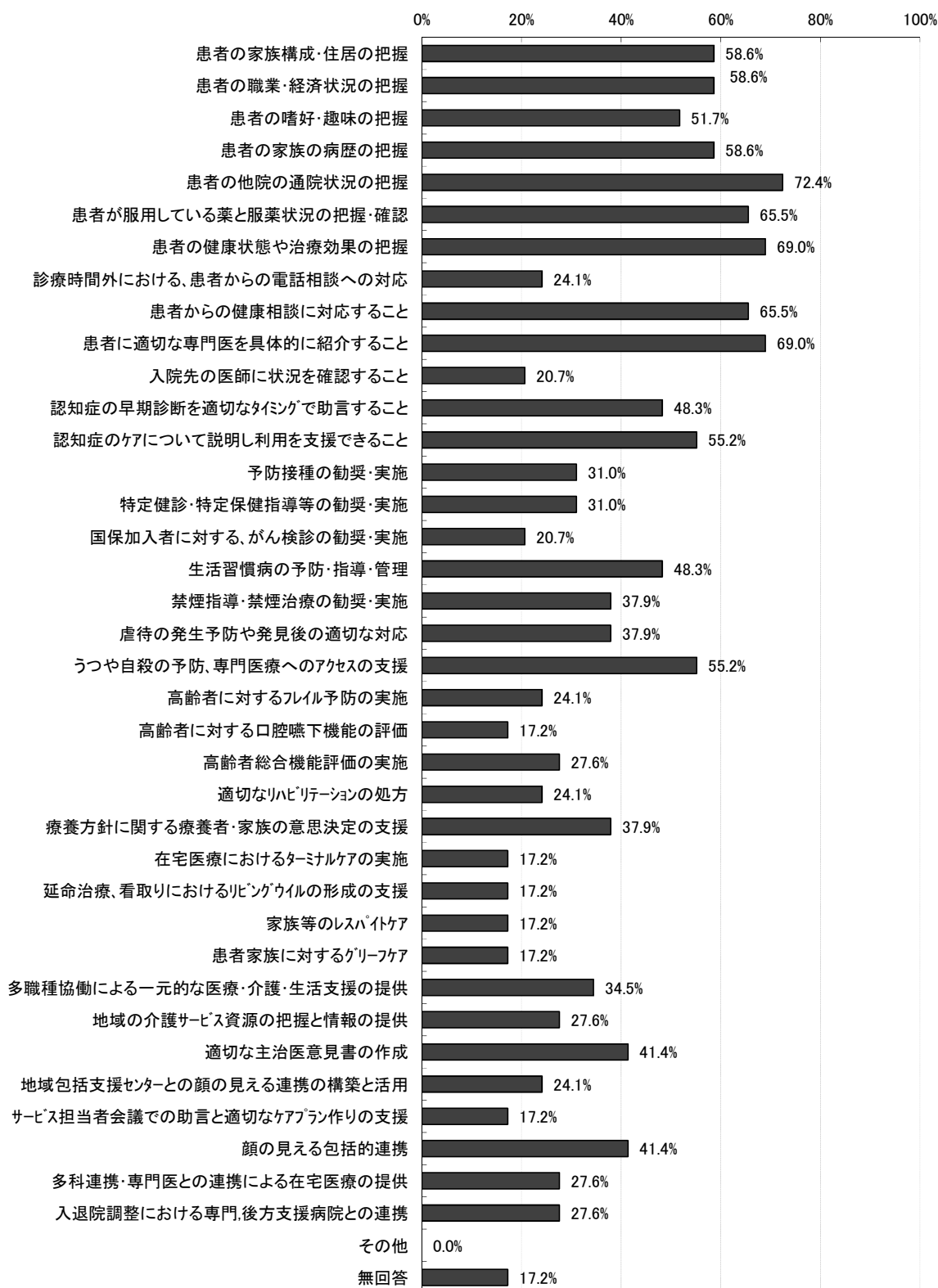
図表 3- 174 かかりつけ医として必要なこと（眼科、n=40、複数回答）



図表 3- 175 かかりつけ医として必要なこと（耳鼻いんこう科、n=33、複数回答）



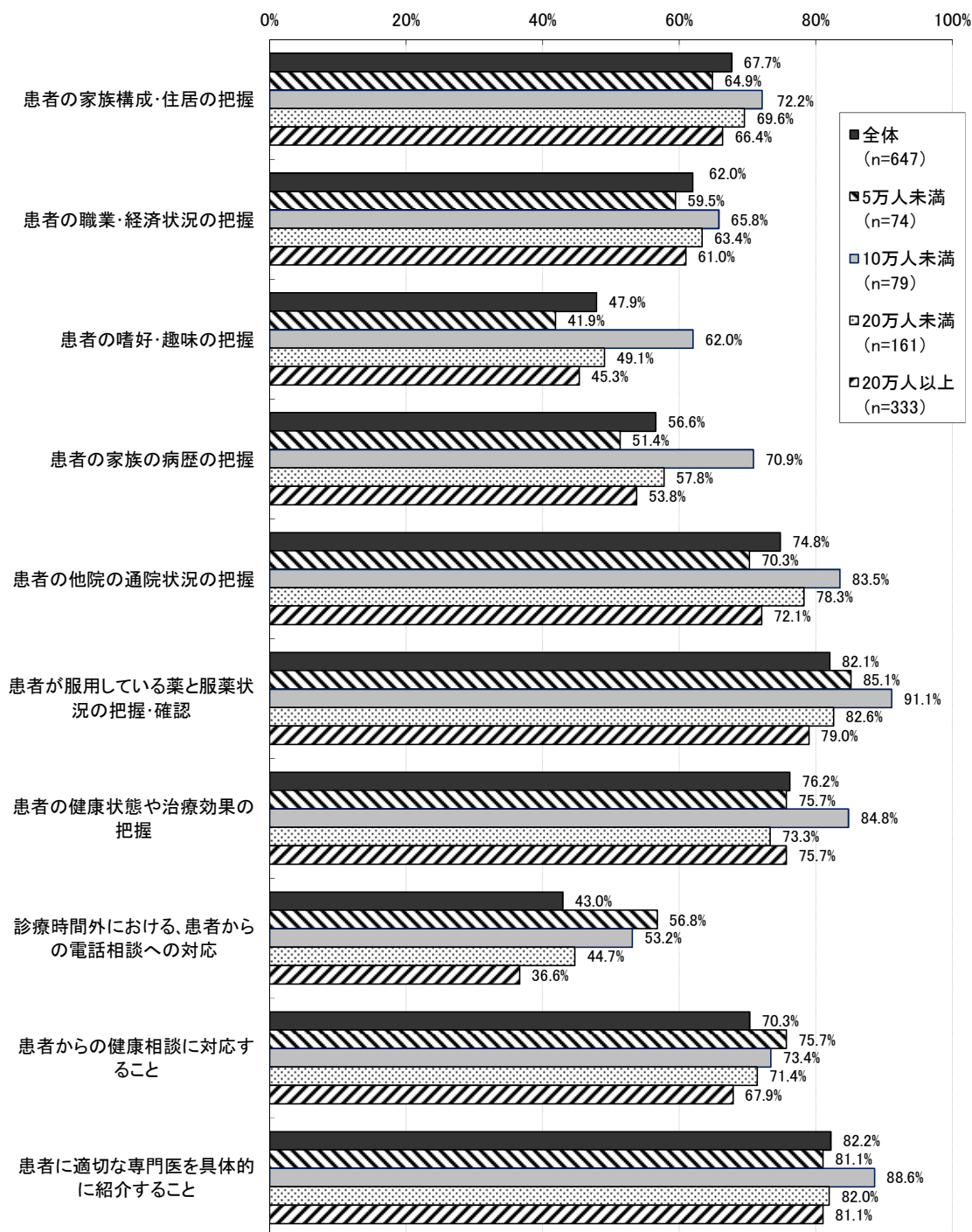
図表 3- 176 かかりつけ医として必要なこと（精神科・心療内科、n=29、複数回答）



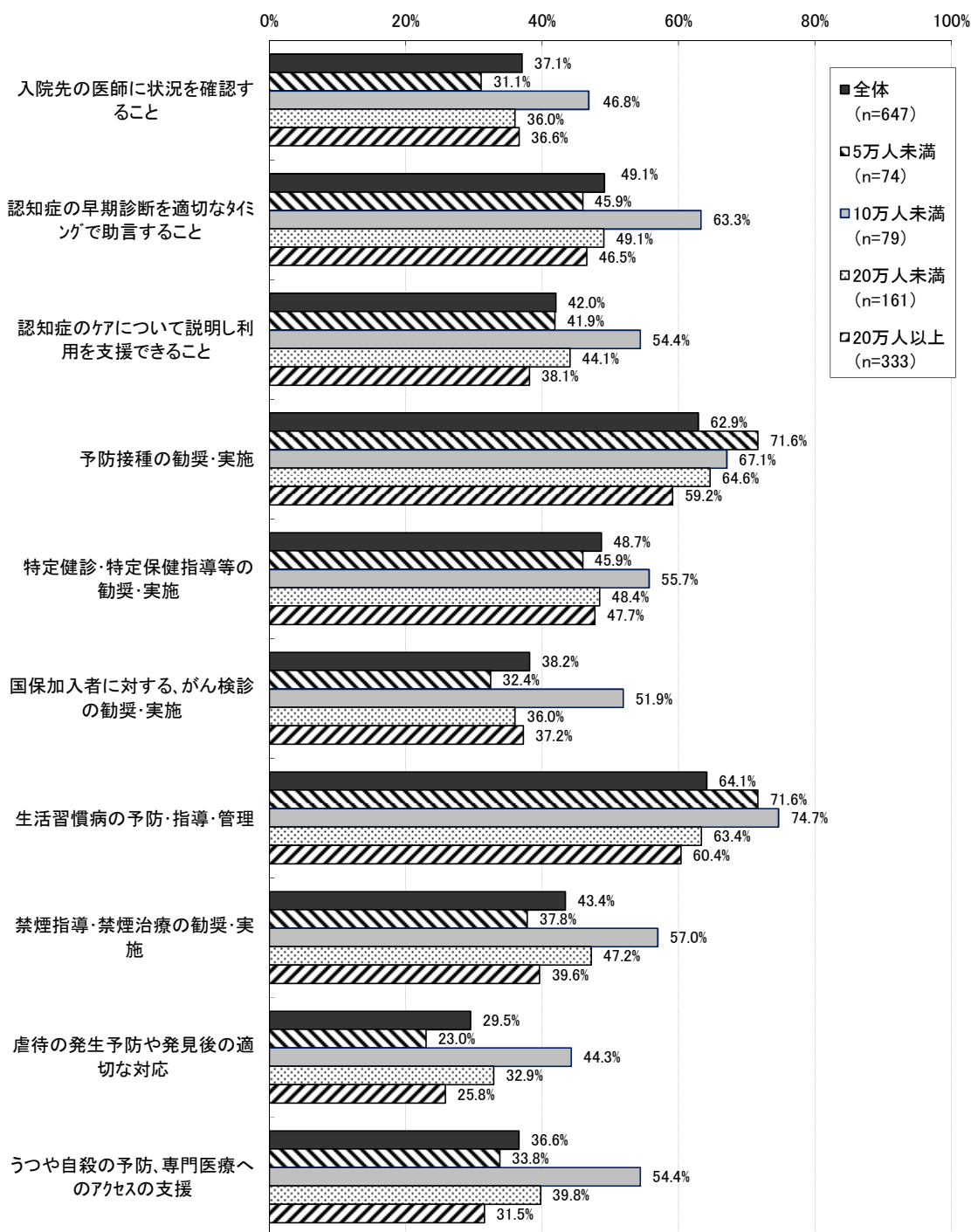
②かかりつけ医について必要なこと（地域別）

・地域別にみると、10万人未満の地域が最も割合が高い項目が多い。

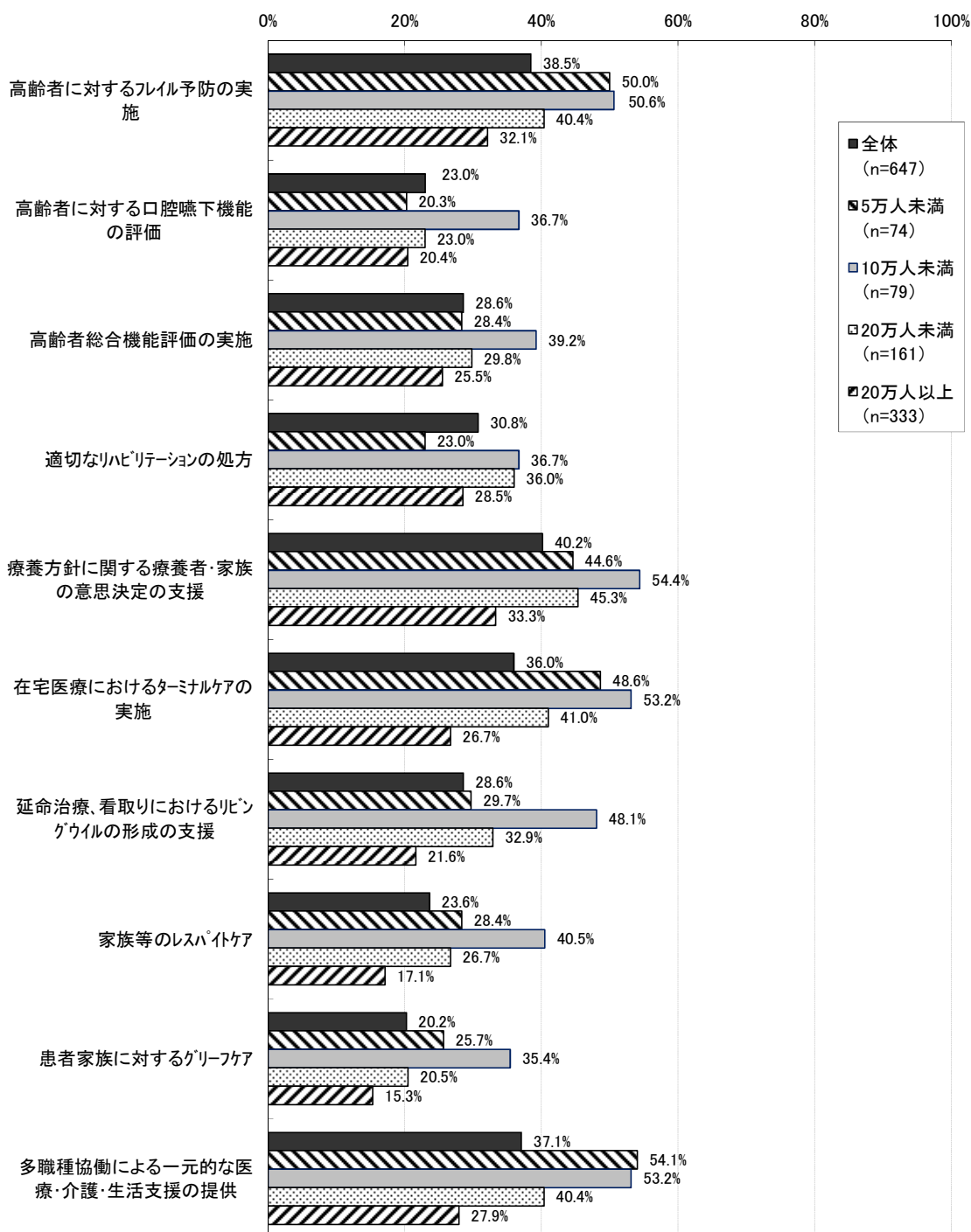
図表 3- 177 かかりつけ医として必要なこと①（地域別、複数回答）



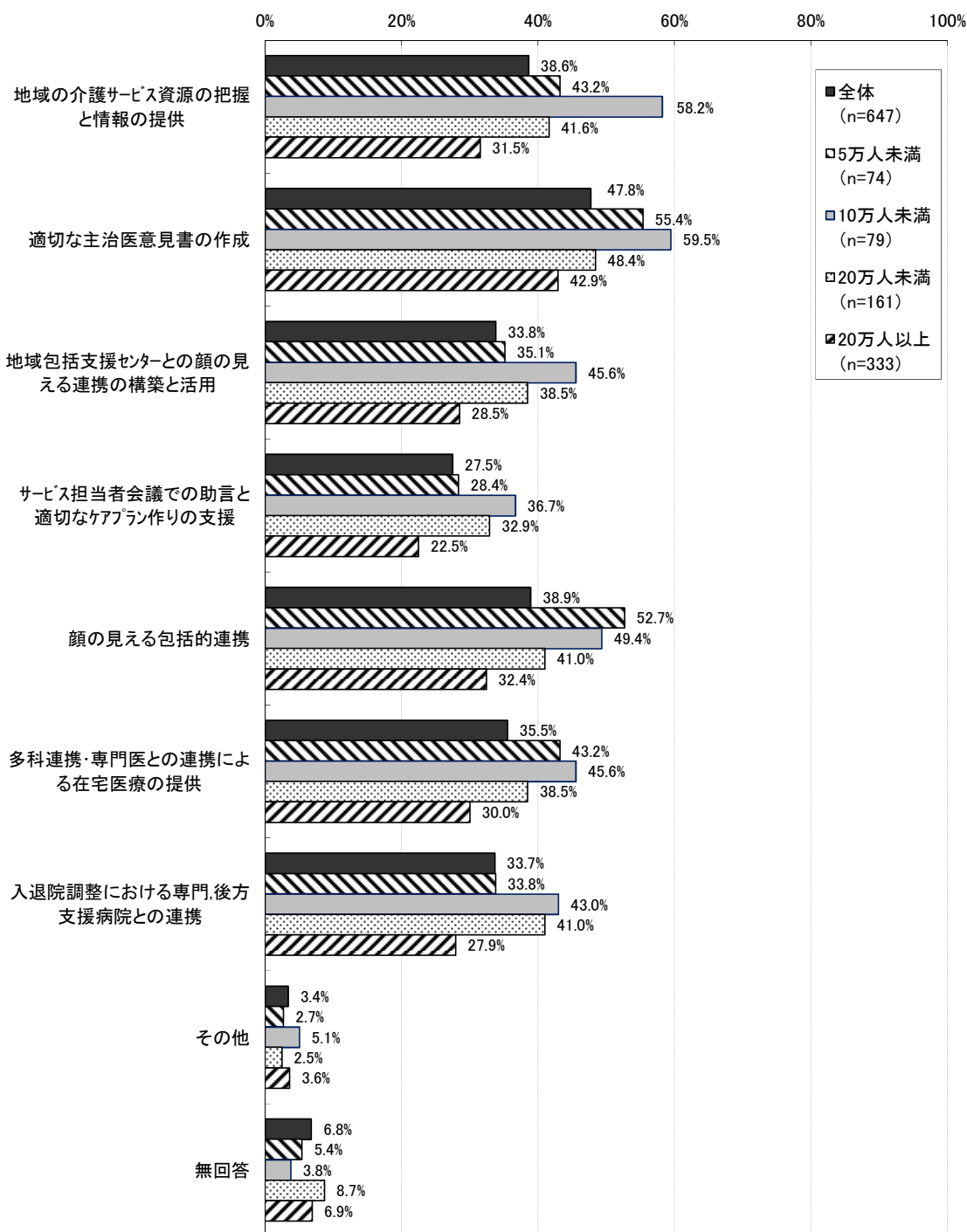
図表 3- 178 かかりつけ医として必要なこと②（地域別、複数回答）



図表 3- 179 かかりつけ医として必要なこと③（地域別、複数回答）



図表 3- 180 かかりつけ医として必要なこと④（地域別、複数回答）



③かかりつけ医について必要なこと（主たる担当診療科別）

- ・主たる担当診療科別にみると、診療科によって各項目の割合が大きく異なった。
- ・全般的に「内科系」で割合が最も高い項目が多かった。
- ・「外科系」も全般的に割合が高い項目が多かったが、他の診療科と比較して割合が高かったのは、「患者の家族構成・住居の把握」、「入院先の医師に状況を確認すること」、「在宅医療におけるターミナルケアの実施」、「家族等のレスパイトケア」、「顔の見える包括的連携」であった。
- ・「小児科・小児外科」で他の診療科と比較して割合が高かったのは、「患者の家族の病歴の把握」、「患者に適切な専門医を具体的に紹介すること」、「予防接種の勧奨・実施」、「虐待の発生予防や発見後の適切な対応」であった。

図表 3- 181 かかりつけ医として必要なこと①（主たる担当診療科別、複数回答）

（単位：上段「人」、下段「%」）

	総数	患者の家族構成・住居の把握	患者の職業・経済状況の把握	患者の嗜好・趣味の把握	患者の家族の病歴の把握	患者の他院の通院状況の把握	患者が服用している薬と服薬状況の把握・確認	患者の健康状態や治療効果の把握	診療時間外における、患者からの電話相談への対応	患者からの健康相談に対応すること	患者に適切な専門医を具体的に紹介すること
全体	647 100.0	438 67.7	401 62.0	310 47.9	366 56.6	484 74.8	531 82.1	493 76.2	278 43.0	455 70.3	532 82.2
内科系	300 100.0	216 72.0	197 65.7	151 50.3	173 57.7	236 78.7	266 88.7	254 84.7	150 50.0	232 77.3	263 87.7
外科系	57 100.0	44 77.2	37 64.9	31 54.4	35 61.4	45 78.9	50 87.7	44 77.2	28 49.1	42 73.7	48 84.2
整形外科	51 100.0	31 60.8	33 64.7	20 39.2	21 41.2	33 64.7	40 78.4	33 64.7	21 41.2	31 60.8	42 82.4
小児科・小児外科	42 100.0	31 73.8	20 47.6	14 33.3	30 71.4	31 73.8	36 85.7	30 71.4	17 40.5	30 71.4	37 88.1
産婦人科・産科・婦人科	29 100.0	14 48.3	14 48.3	12 41.4	12 41.4	17 58.6	20 69.0	19 65.5	11 37.9	18 62.1	17 58.6
皮膚科	30 100.0	14 46.7	16 53.3	15 50.0	12 40.0	19 63.3	20 66.7	17 56.7	7 23.3	19 63.3	21 70.0
眼科	40 100.0	25 62.5	25 62.5	25 62.5	27 67.5	32 80.0	29 72.5	28 70.0	10 25.0	25 62.5	31 77.5
耳鼻いんこう科	33 100.0	18 54.5	15 45.5	11 33.3	15 45.5	21 63.6	22 66.7	18 54.5	7 21.2	14 42.4	23 69.7
精神科・心療内科	29 100.0	17 58.6	17 58.6	15 51.7	17 58.6	21 72.4	19 65.5	20 69.0	7 24.1	19 65.5	20 69.0
その他	36 100.0	28 77.8	27 75.0	16 44.4	24 66.7	29 80.6	29 80.6	30 83.3	20 55.6	25 69.4	30 83.3

図表 3- 182 かかりつけ医として必要なこと②（主たる担当診療科別、複数回答）

（単位：上段「人」、下段「％」）

	総数	入院先の医師に状況を確認すること	認知症の早期診断を適切なタイミングで助言すること	認知症のケアについて説明し利用を支援できること	予防接種の勧奨・実施	特定健診・特定保健指導等の勧奨・実施	国保加入者に対する、がん検診の勧奨・実施	生活習慣病の予防・指導・管理	禁煙指導・禁煙治療の勧奨・実施	虐待の発生予防や発見後の適切な対応	うつや自殺の予防、専門医療へのアクセスの支援
全体	647 100.0	240 37.1	318 49.1	272 42.0	407 62.9	315 48.7	247 38.2	415 64.1	281 43.4	191 29.5	237 36.6
内科系	300 100.0	122 40.7	184 61.3	163 54.3	228 76.0	196 65.3	158 52.7	236 78.7	180 60.0	98 32.7	137 45.7
外科系	57 100.0	27 47.4	31 54.4	26 45.6	40 70.2	31 54.4	25 43.9	44 77.2	22 38.6	15 26.3	20 35.1
整形外科	51 100.0	14 27.5	20 39.2	17 33.3	24 47.1	18 35.3	9 17.6	25 49.0	12 23.5	9 17.6	11 21.6
小児科・小児外科	42 100.0	17 40.5	11 26.2	9 21.4	38 90.5	13 31.0	8 19.0	18 42.9	9 21.4	18 42.9	10 23.8
産婦人科・産科・婦人科	29 100.0	7 24.1	8 27.6	5 17.2	16 55.2	14 48.3	15 51.7	15 51.7	9 31.0	9 31.0	9 31.0
皮膚科	30 100.0	8 26.7	6 20.0	3 10.0	7 23.3	5 16.7	5 16.7	10 33.3	5 16.7	4 13.3	4 13.3
眼科	40 100.0	17 42.5	16 40.0	10 25.0	12 30.0	7 17.5	3 7.5	18 45.0	8 20.0	10 25.0	12 30.0
耳鼻いんこう科	33 100.0	8 24.2	6 18.2	3 9.1	11 33.3	5 15.2	4 12.1	11 33.3	9 27.3	5 15.2	6 18.2
精神科・心療内科	29 100.0	6 20.7	14 48.3	16 55.2	9 31.0	9 31.0	6 20.7	14 48.3	11 37.9	11 37.9	16 55.2
その他	36 100.0	14 38.9	22 61.1	20 55.6	22 61.1	17 47.2	14 38.9	24 66.7	16 44.4	12 33.3	12 33.3

図表 3- 183 かかりつけ医として必要なこと③（主たる担当診療科別、複数回答）

（単位：上段「人」、下段「％」）

	総数	高齢者に対するフレイル予防の実施	高齢者に対する口腔嚥下機能の評価	高齢者総合機能評価の実施	適切なリハビリテーションの処方	療養方針に関する療養者・家族の意思決定の支援	在宅医療におけるターミナルケアの実施	延命治療、看取りにおけるリビングウィルの形成の支援	家族等のレスパイトケア	患者家族に対するグリーフケア	多職種協働による一元的な医療・介護・生活支援の提供
全体	647 100.0	249 38.5	149 23.0	185 28.6	199 30.8	260 40.2	233 36.0	185 28.6	153 23.6	131 20.2	240 37.1
内科系	300 100.0	157 52.3	94 31.3	110 36.7	97 32.3	155 51.7	141 47.0	111 37.0	91 30.3	78 26.0	147 49.0
外科系	57 100.0	22 38.6	15 26.3	19 33.3	24 42.1	28 49.1	30 52.6	18 31.6	18 31.6	13 22.8	26 45.6
整形外科	51 100.0	20 39.2	7 13.7	11 21.6	33 64.7	15 29.4	12 23.5	13 25.5	7 13.7	6 11.8	17 33.3
小児科・小児外科	42 100.0	9 21.4	5 11.9	6 14.3	4 9.5	9 21.4	8 19.0	7 16.7	7 16.7	6 14.3	8 19.0
産婦人科・産科・婦人科	29 100.0	6 20.7	3 10.3	5 17.2	5 17.2	6 20.7	5 17.2	5 17.2	3 10.3	3 10.3	2 6.9
皮膚科	30 100.0	3 10.0	2 6.7	3 10.0	4 13.3	5 16.7	4 13.3	2 6.7	2 6.7	3 10.0	4 13.3
眼科	40 100.0	4 10.0	4 10.0	4 10.0	5 12.5	10 25.0	5 12.5	3 7.5	5 12.5	4 10.0	8 20.0
耳鼻いんこう科	33 100.0	4 12.1	6 18.2	9 27.3	5 15.2	7 21.2	9 27.3	7 21.2	4 12.1	4 12.1	7 21.2
精神科・心療内科	29 100.0	7 24.1	5 17.2	8 27.6	7 24.1	11 37.9	5 17.2	5 17.2	5 17.2	5 17.2	10 34.5
その他	36 100.0	17 47.2	8 22.2	10 27.8	15 41.7	14 38.9	14 38.9	14 38.9	11 30.6	9 25.0	11 30.6

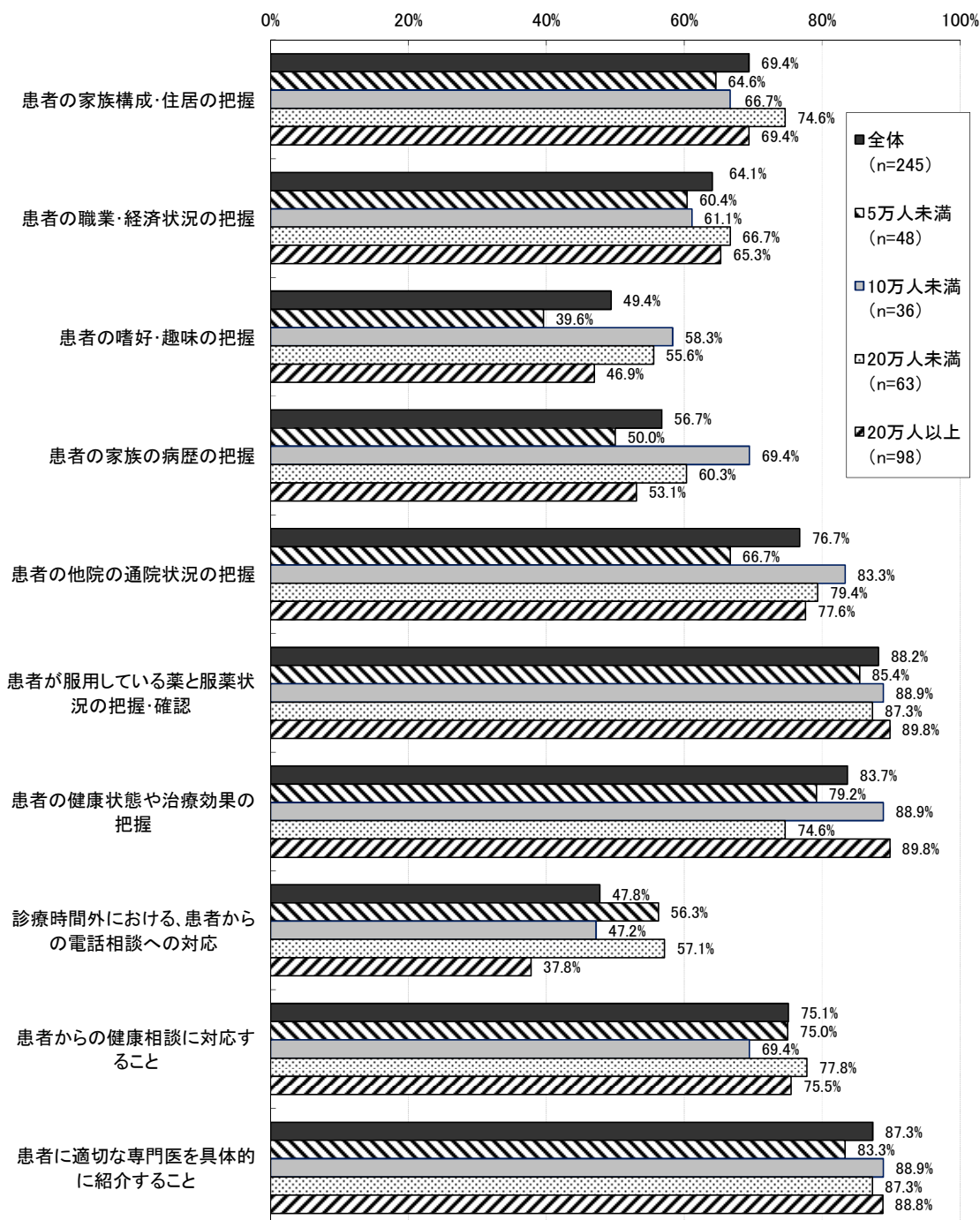
図表 3- 184 かかりつけ医として必要なこと④（主たる担当診療科別、複数回答）

（単位：上段「人」、下段「%」）

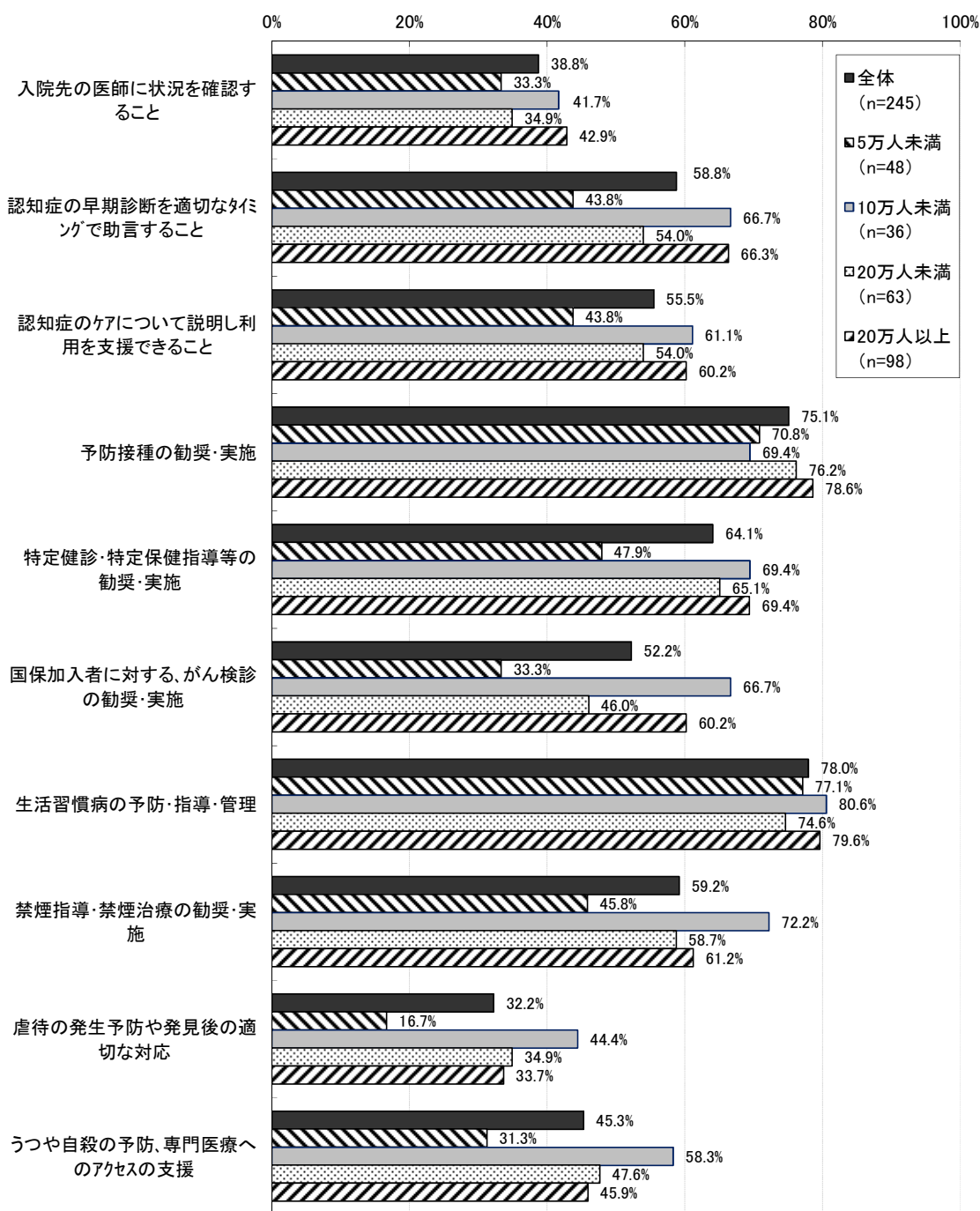
	総数	地域の介護サービス資源の把握と情報の提供	適切な主治医意見書の作成	地域包括支援センターとの顔の見える連携の構築と活用	サービス担当者会議での助言と適切なケアプラン作りの支援	顔の見える包括的連携	多科連携・専門医との連携による在宅医療の提供	入退院調整における専門・後方支援病院との連携	その他	無回答
全体	647	250	309	219	178	252	230	218	22	44
	100.0	38.6	47.8	33.8	27.5	38.9	35.5	33.7	3.4	6.8
内科系	300	152	181	128	102	147	136	127	10	12
	100.0	50.7	60.3	42.7	34.0	49.0	45.3	42.3	3.3	4.0
外科系	57	25	31	24	19	28	24	24	3	3
	100.0	43.9	54.4	42.1	33.3	49.1	42.1	42.1	5.3	5.3
整形外科	51	19	25	16	15	18	14	16	5	3
	100.0	37.3	49.0	31.4	29.4	35.3	27.5	31.4	9.8	5.9
小児科・小児外科	42	9	10	8	6	7	8	10	2	2
	100.0	21.4	23.8	19.0	14.3	16.7	19.0	23.8	4.8	4.8
産婦人科・産科・婦人科	29	3	6	4	4	5	5	6	1	5
	100.0	10.3	20.7	13.8	13.8	17.2	17.2	20.7	3.4	17.2
皮膚科	30	4	3	4	2	3	4	2	0	5
	100.0	13.3	10.0	13.3	6.7	10.0	13.3	6.7	0.0	16.7
眼科	40	7	14	8	5	8	9	6	0	2
	100.0	17.5	35.0	20.0	12.5	20.0	22.5	15.0	0.0	5.0
耳鼻いんこう科	33	7	7	5	6	5	8	4	0	5
	100.0	21.2	21.2	15.2	18.2	15.2	24.2	12.1	0.0	15.2
精神科・心療内科	29	8	12	7	5	12	8	8	0	5
	100.0	27.6	41.4	24.1	17.2	41.4	27.6	27.6	0.0	17.2
その他	36	16	20	15	14	19	14	15	1	2
	100.0	44.4	55.6	41.7	38.9	52.8	38.9	41.7	2.8	5.6

④かかりつけ医について必要なこと（内科診療所）

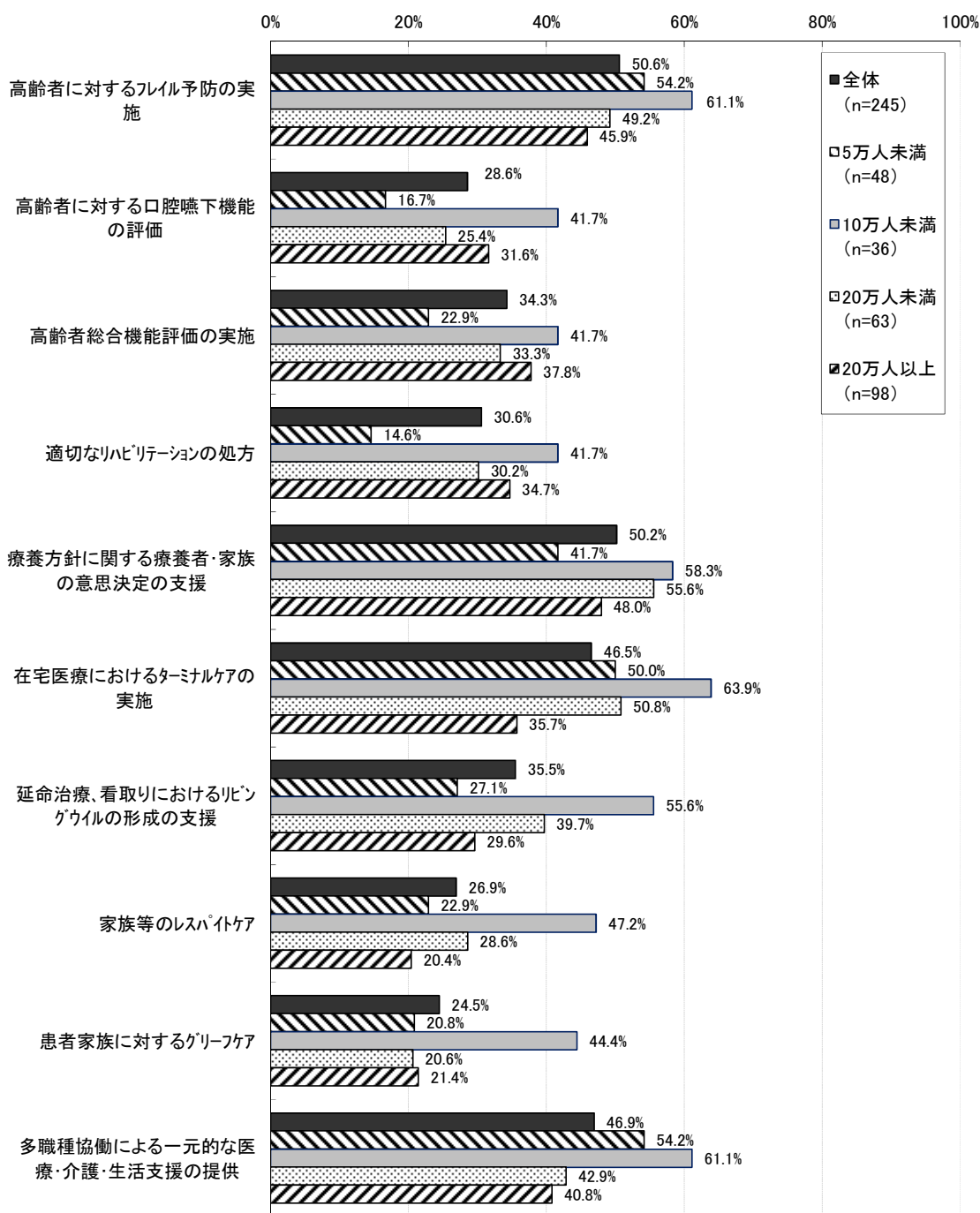
図表 3- 185 かかりつけ医として必要なこと①（地域別、複数回答）【内科診療所】



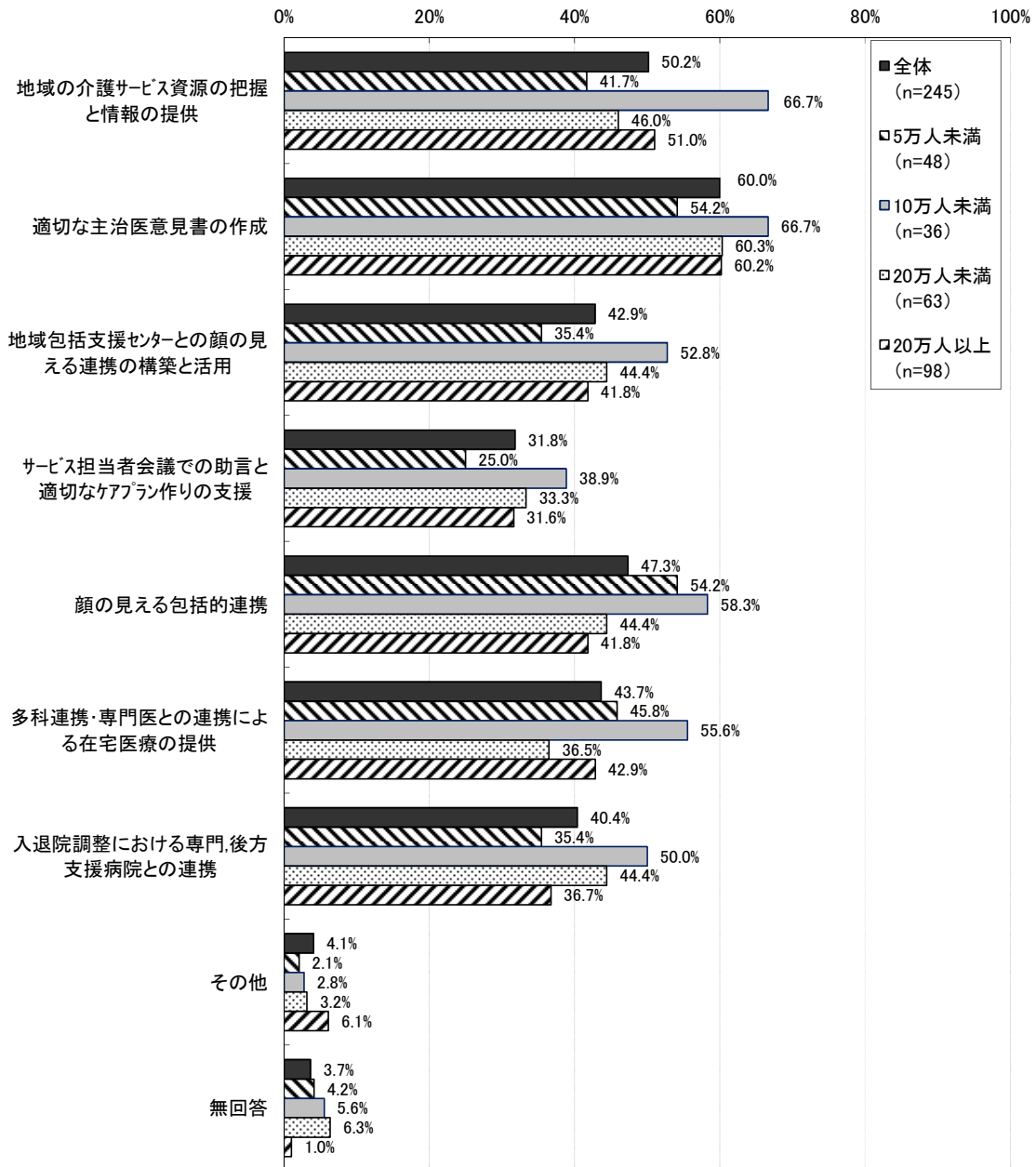
図表 3-186 かかりつけ医として必要なこと②（地域別、複数回答）【内科診療所】



図表 3-187 かかりつけ医として必要なこと③（地域別、複数回答）【内科診療所】



図表 3-188 かかりつけ医として必要なこと④（地域別、複数回答）【内科診療所】

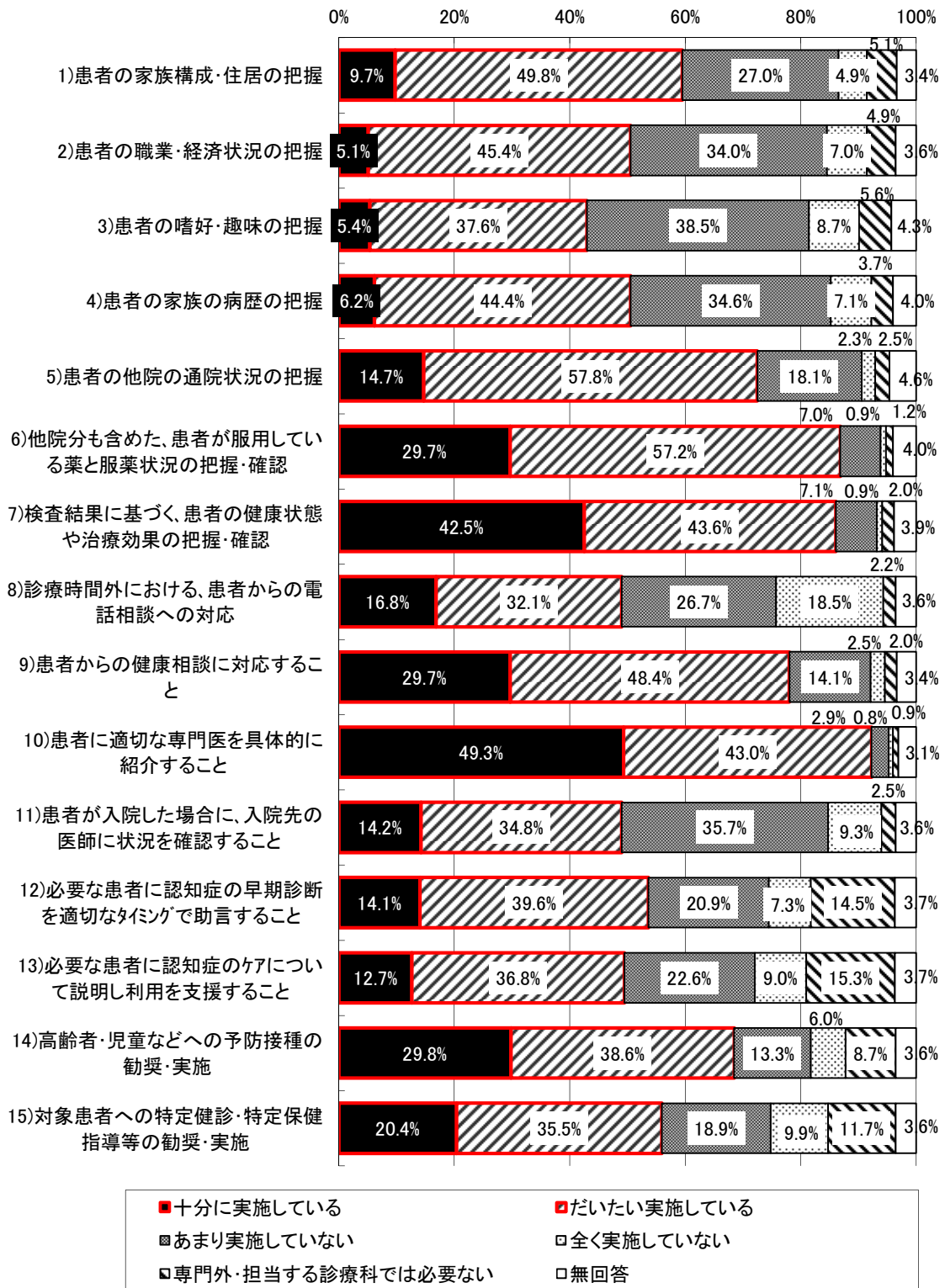


(2) 自院に継続して通院している患者に対する対応状況等

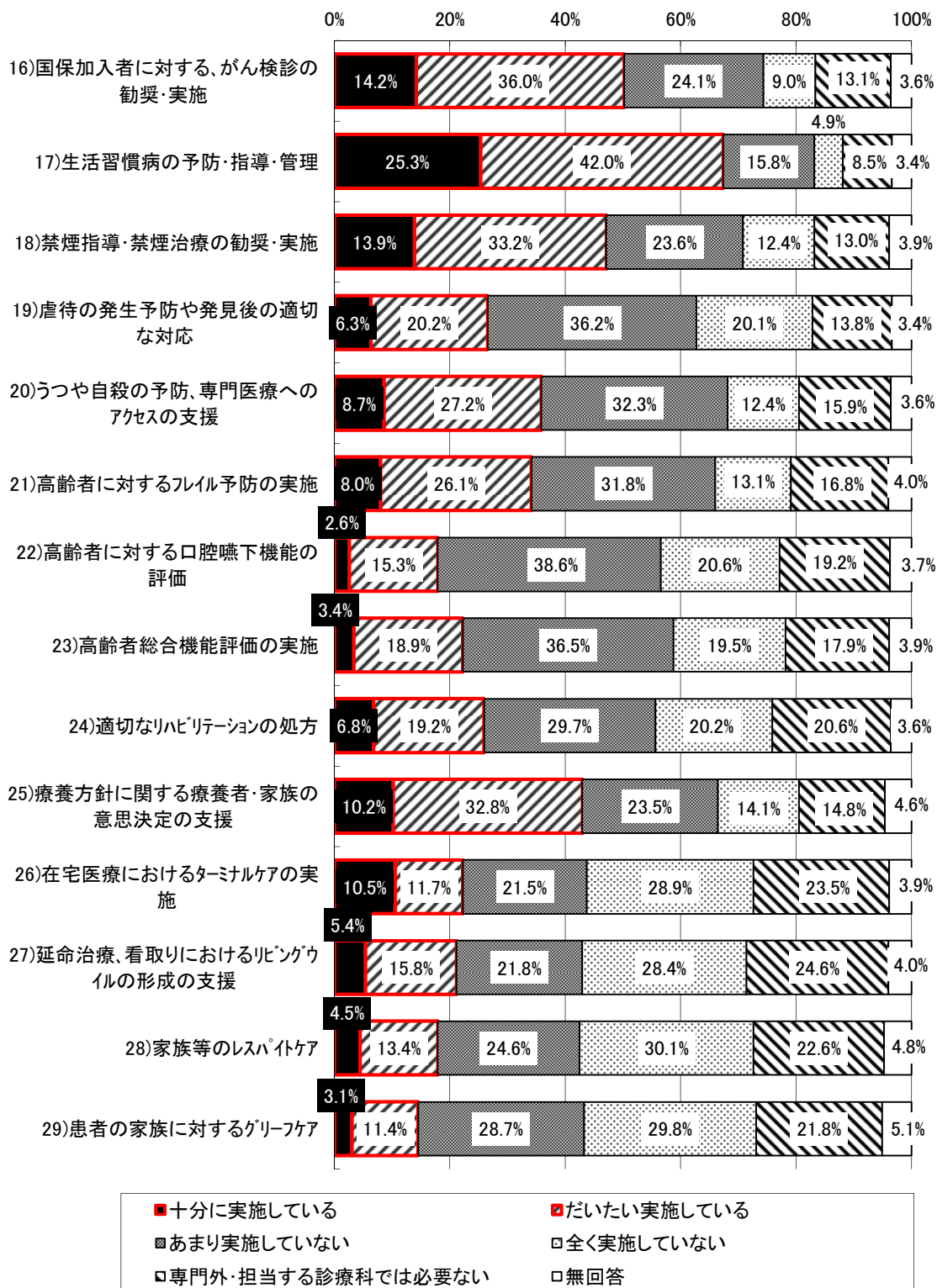
①自院に継続して通院している患者に対する対応状況

- ・「かかりつけ医について必要なこと」で上位にあった項目ごとに、自院に継続して通院している患者に対する対応状況をみると、「10) 患者に適切な専門医を具体的に紹介すること」については「十分に実施している」が49.3%、「だいたい実施している」が43.0%であり、9割以上が実施していると回答している。
- ・次に「6) 他院分も含めた、患者が服用している薬と服薬状況の把握・確認」については「十分に実施している」が29.7%、「だいたい実施している」が57.2%であり、両者を合わせた割合は9割近くとなった。
- ・「7) 検査結果に基づく、患者の健康状態や治療効果の把握・確認」については「十分に実施している」が42.5%、「だいたい実施している」が43.6%であり、両者を合わせた割合は8割強となっている。
- ・「5) 患者の他院の通院状況の把握」については「十分に実施している」が14.7%、「だいたい実施している」が57.8%であった。「十分に実施している」の割合が先の3項目と比較して低い結果となっている。
- ・「9) 患者からの健康相談に対応すること」については「十分に実施している」が29.7%、「だいたい実施している」が48.4%であり、8割近くとなった。
- ・一方で、予防に関する取組や、在宅医療におけるターミナルケアの実施、家族の支援等についての実施状況は低い割合であった。

図表 3- 189 自院に継続して通院している患者に対する対応状況①（全体、n=647）

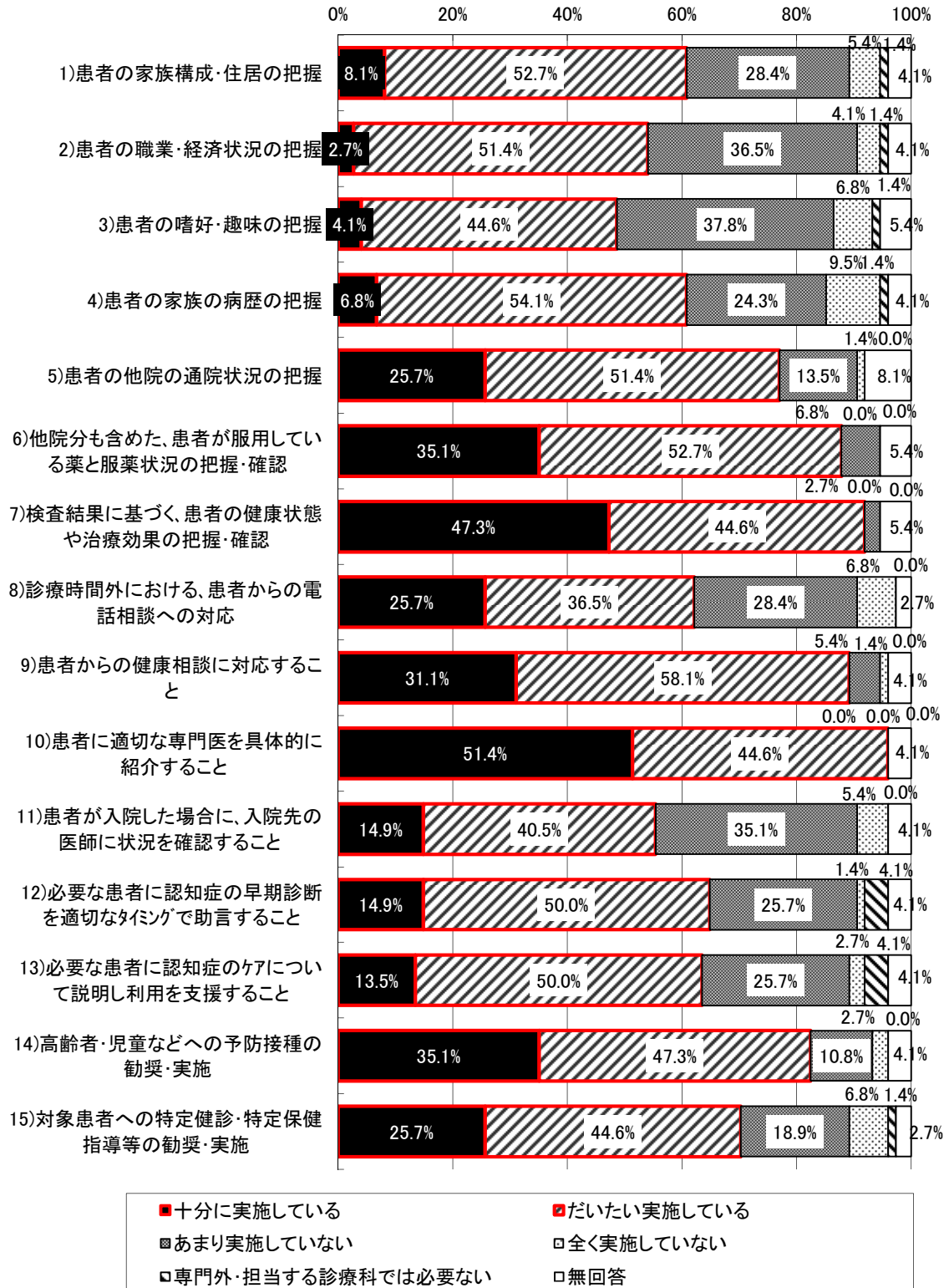


図表 3- 190 自院に継続して通院している患者に対する対応状況②（全体、n=647）

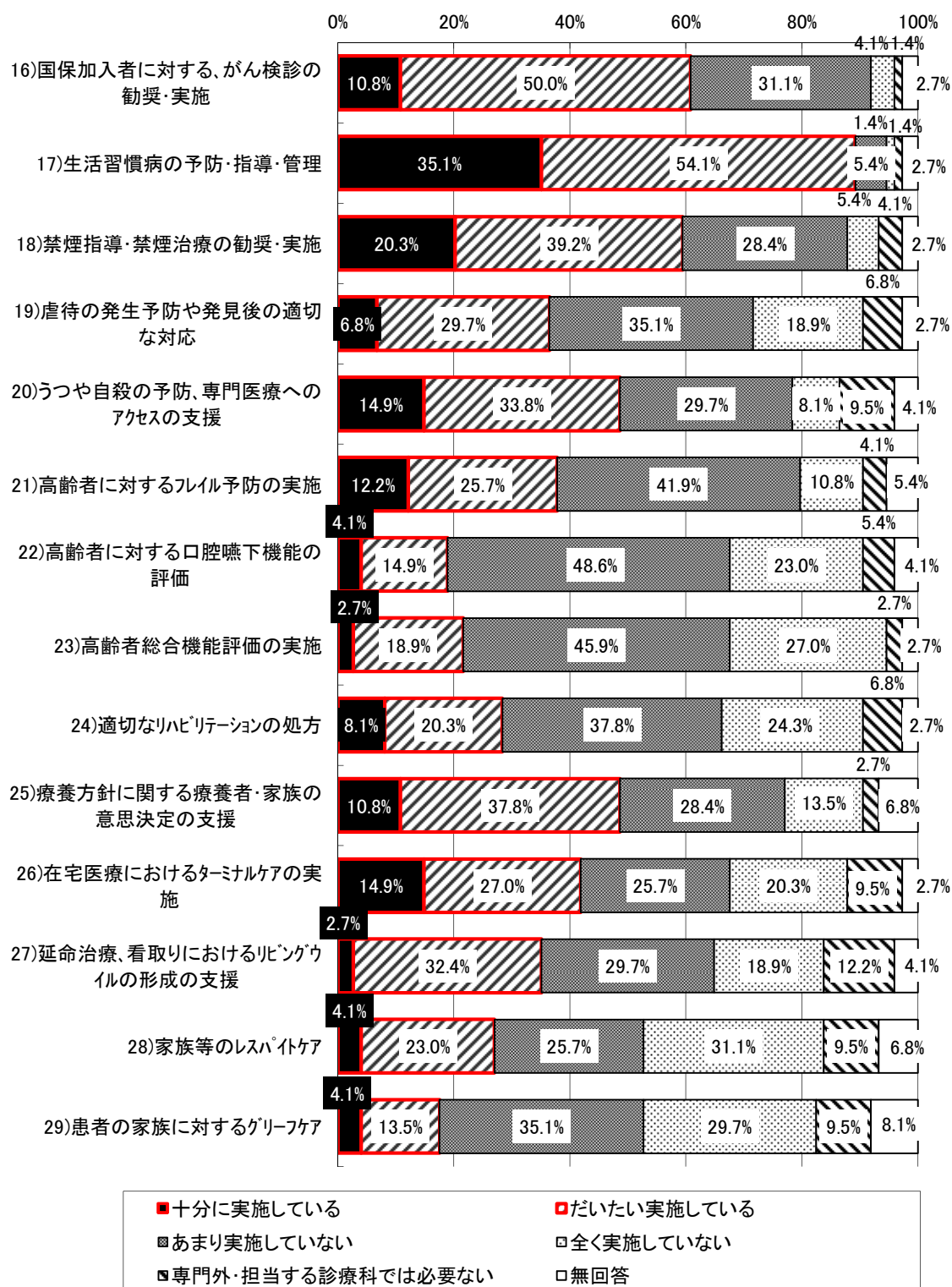


1) 地域別

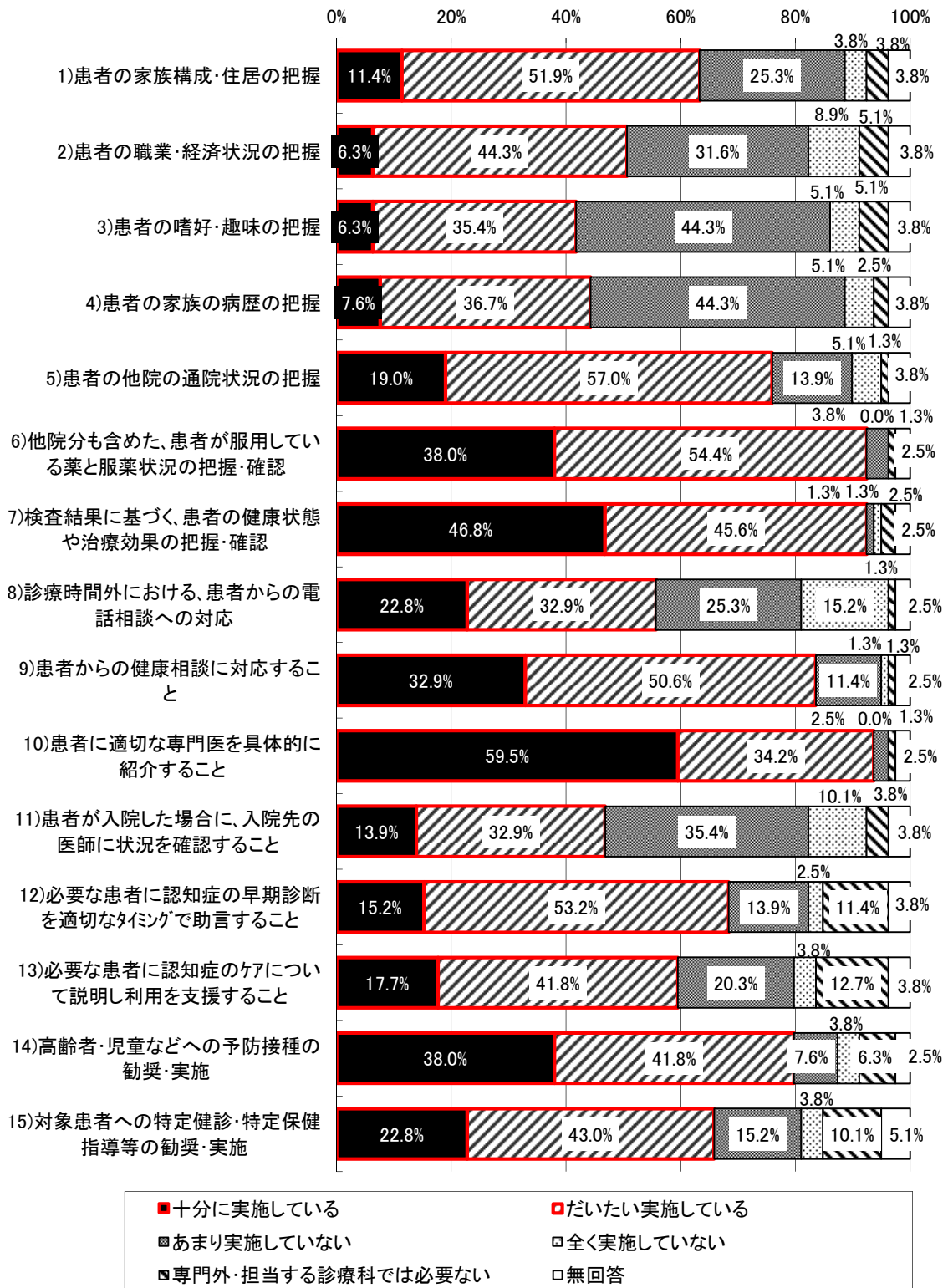
図表 3- 191 自院に継続して通院している患者に対する対応状況① (5万人未満、n=74)



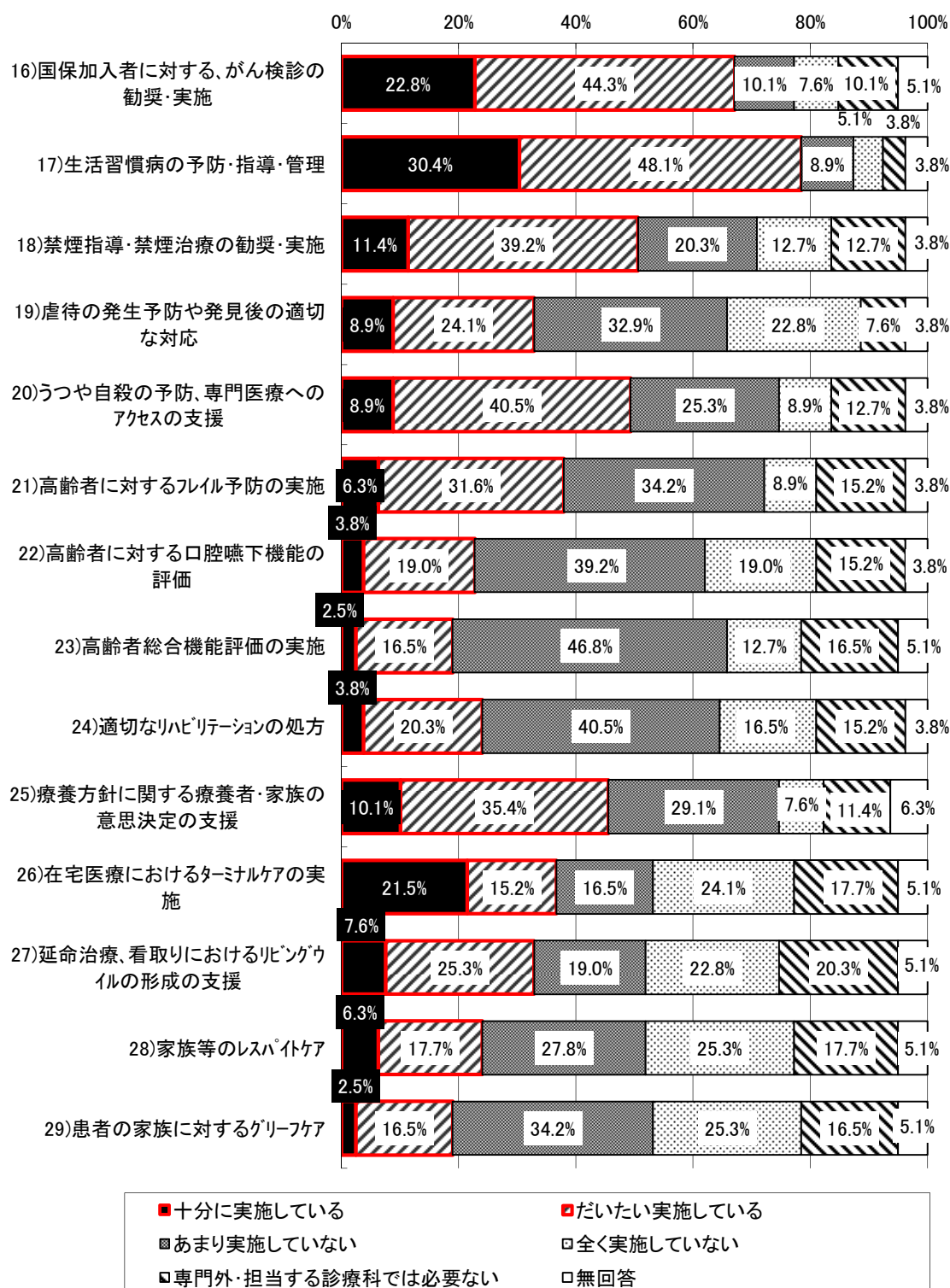
図表 3- 192 自院に継続して通院している患者に対する対応状況② (5万人未満、n=74)



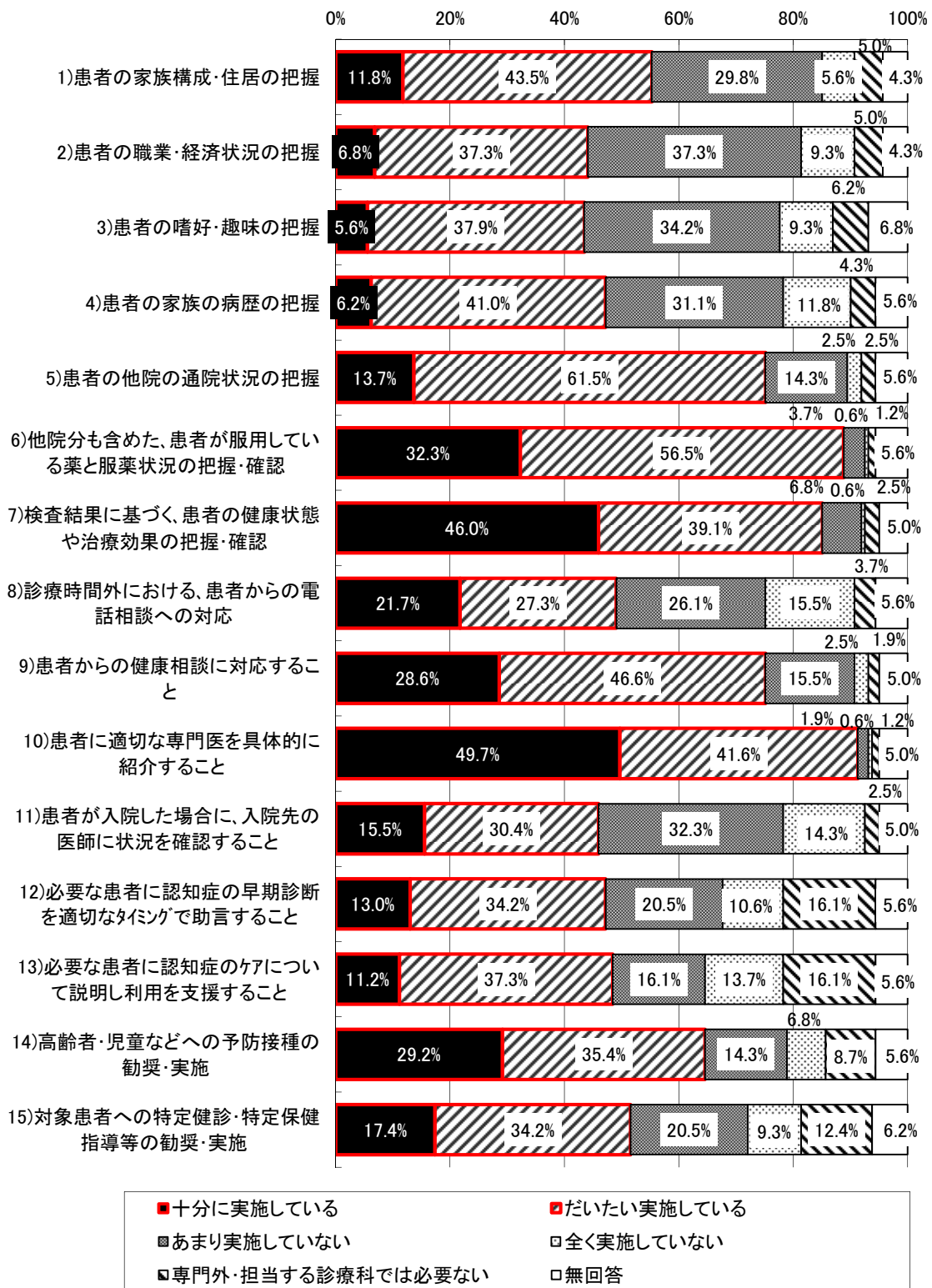
図表 3- 193 自院に継続して通院している患者に対する対応状況①（10万人未満、n=79）



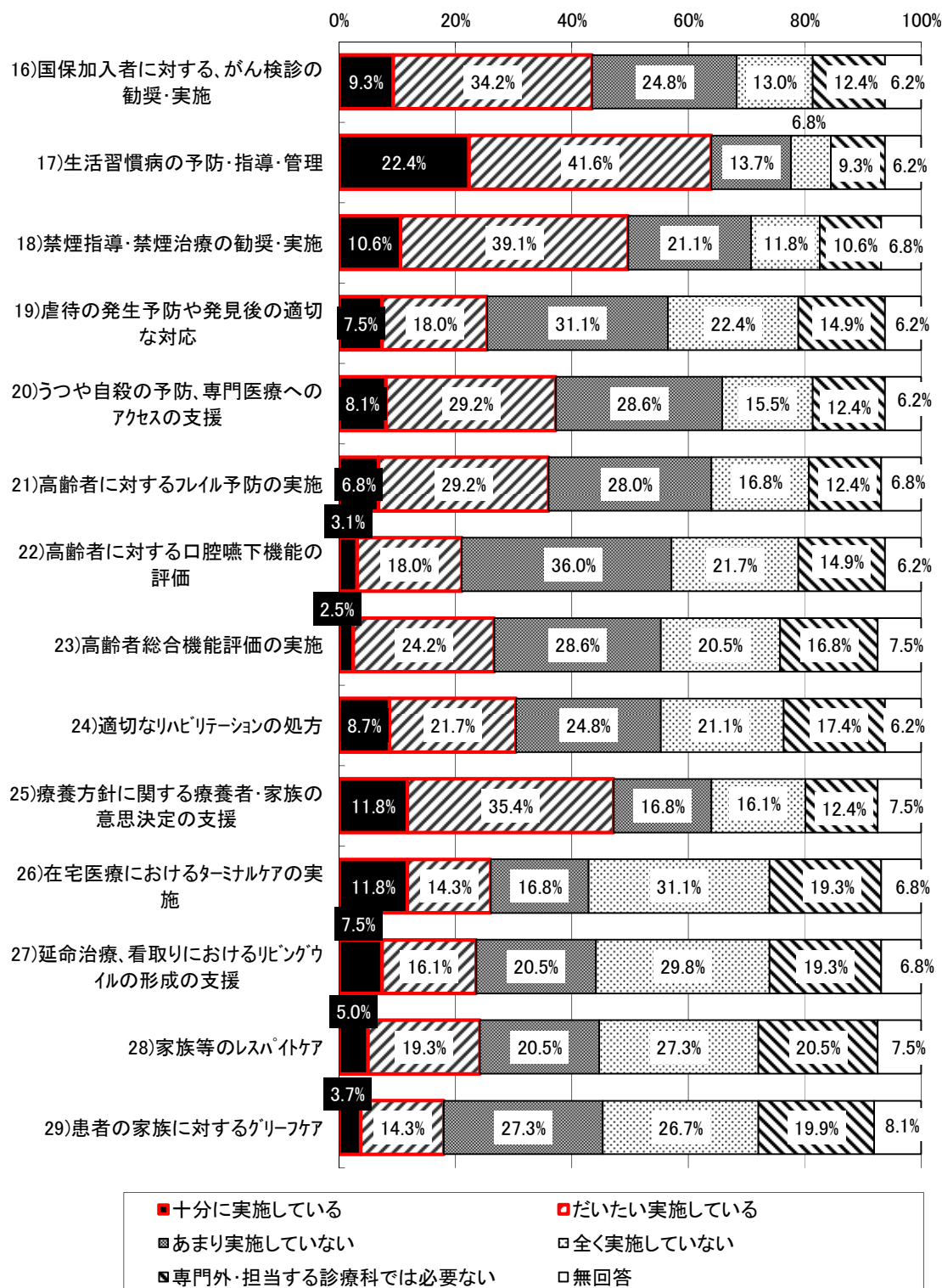
図表 3- 194 自院に継続して通院している患者に対する対応状況②（10万人未満、n=79）



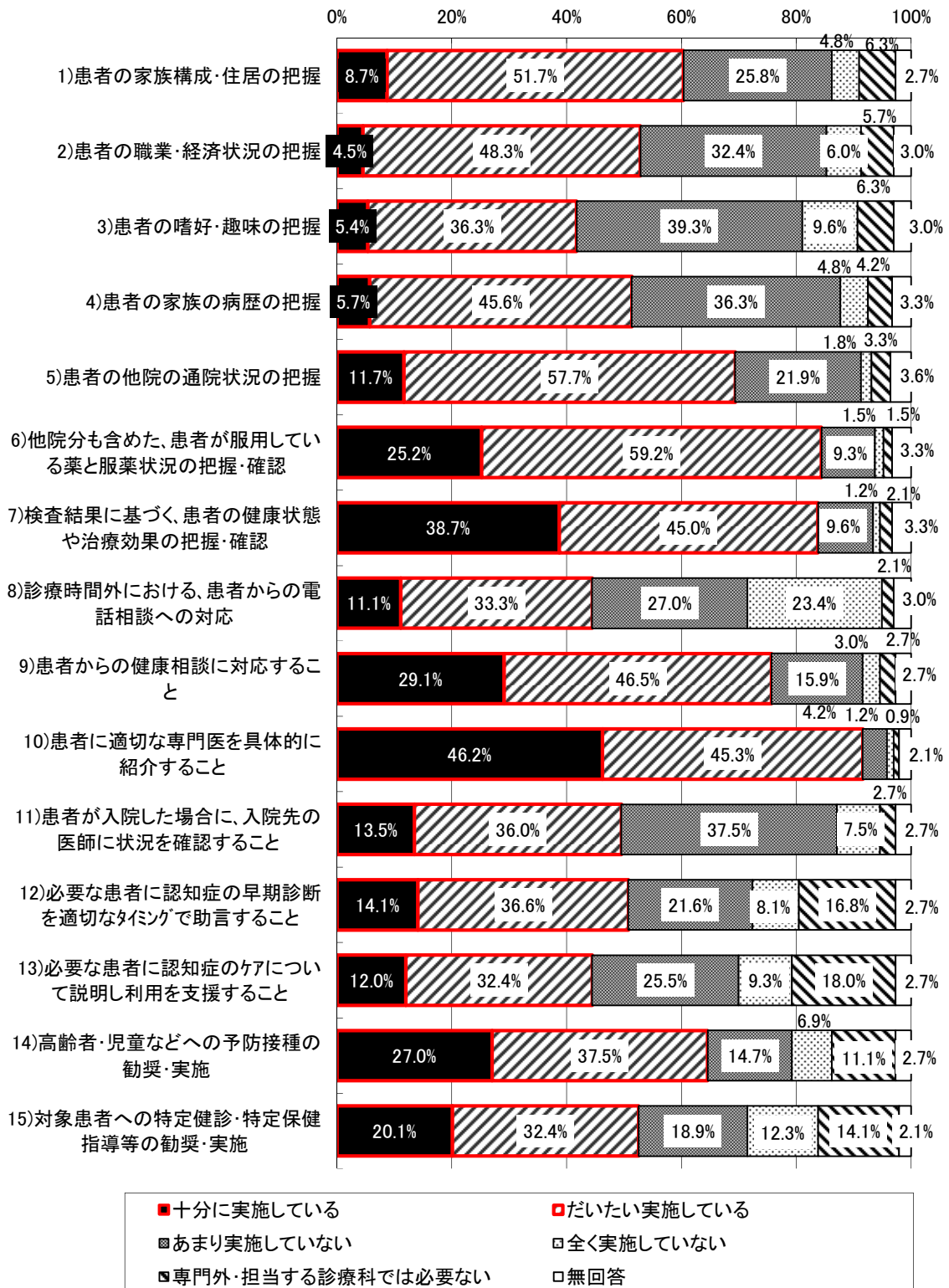
図表 3- 195 自院に継続して通院している患者に対する対応状況① (20 万人未満、n=161)



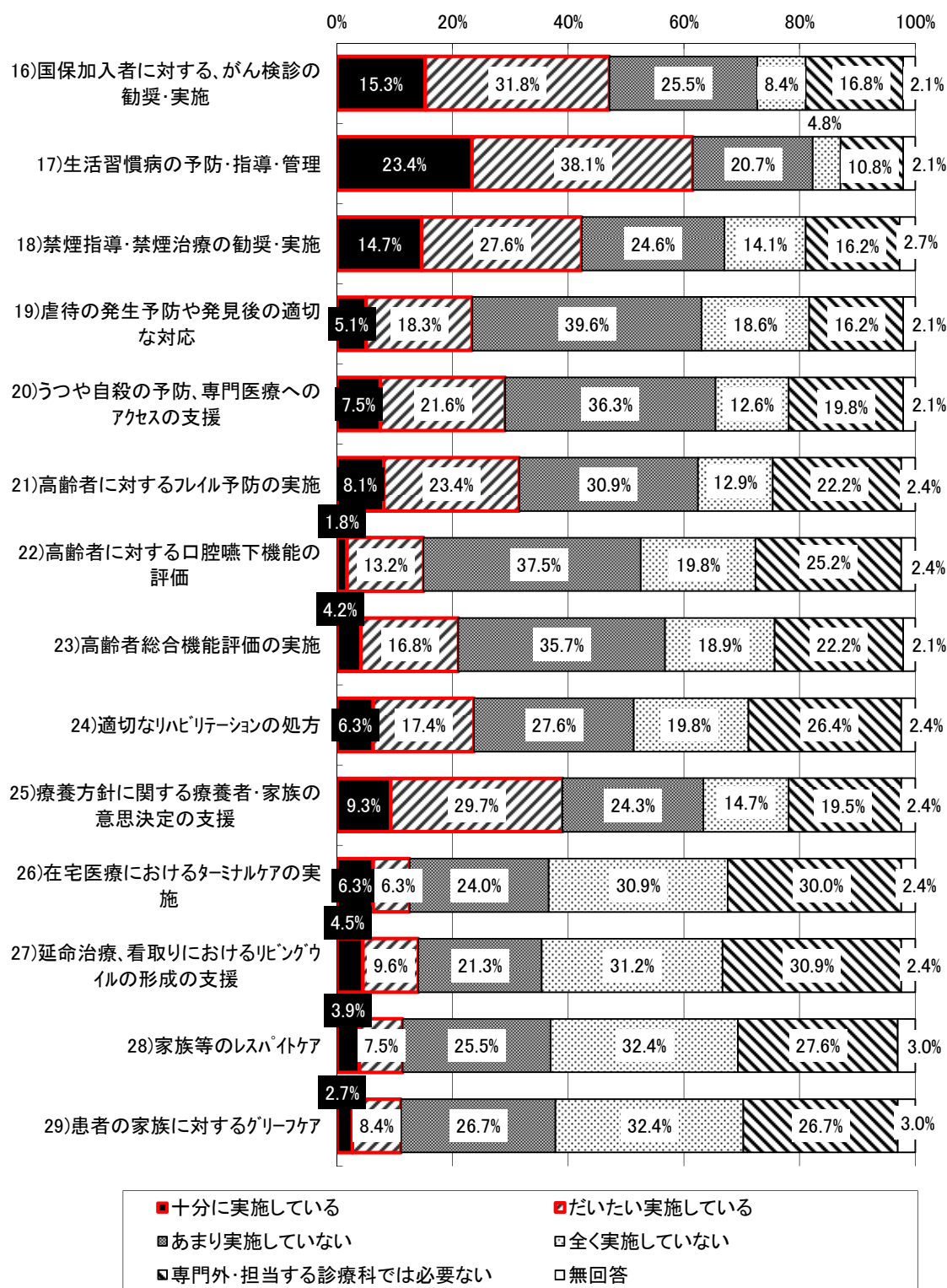
図表 3- 196 自院に継続して通院している患者に対する対応状況② (20万人未満、n=161)



図表 3- 197 自院に継続して通院している患者に対する対応状況① (20 万人以上、n=333)

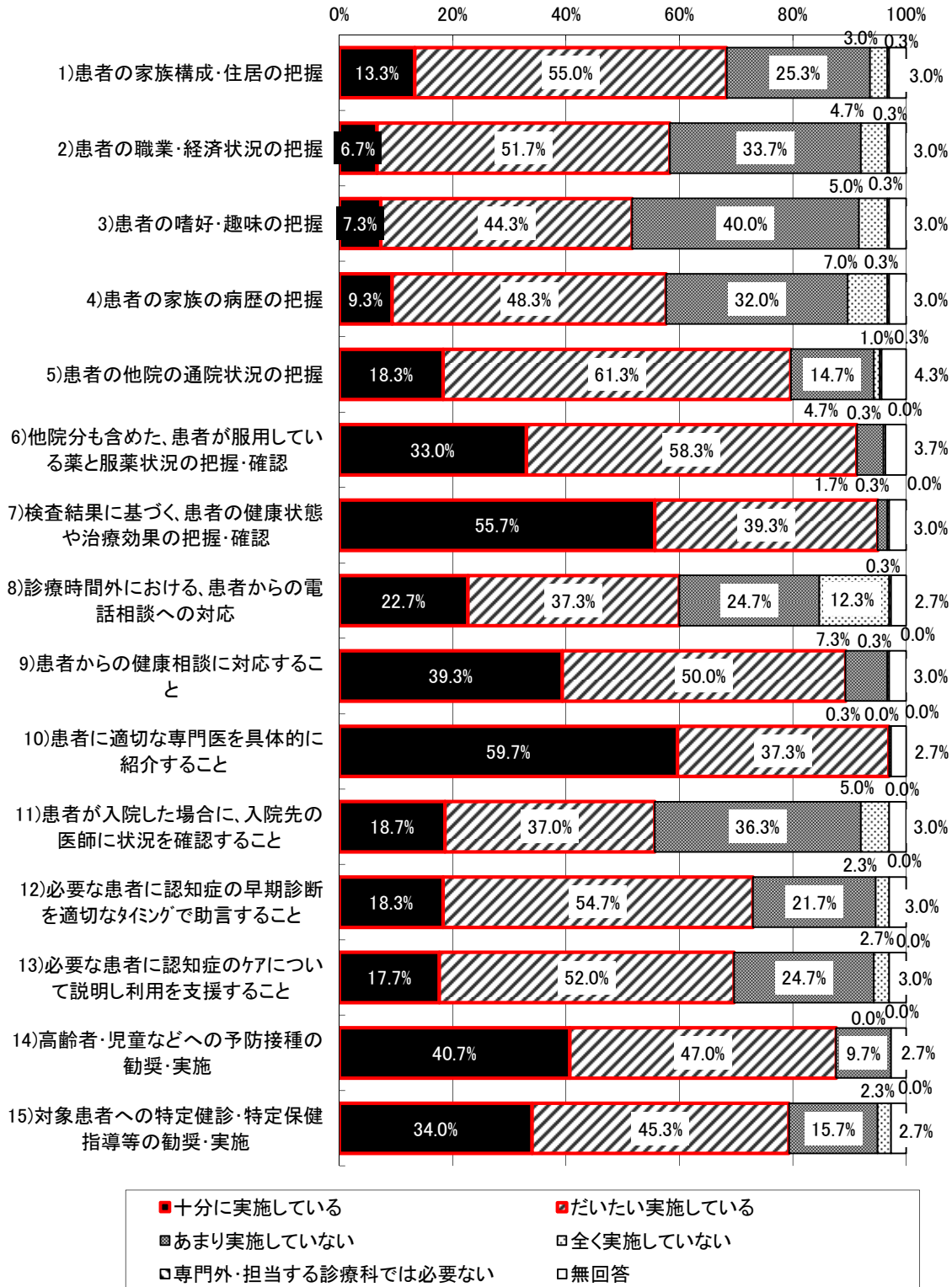


図表 3- 198 自院に継続して通院している患者に対する対応状況② (20 万人以上、n=333)

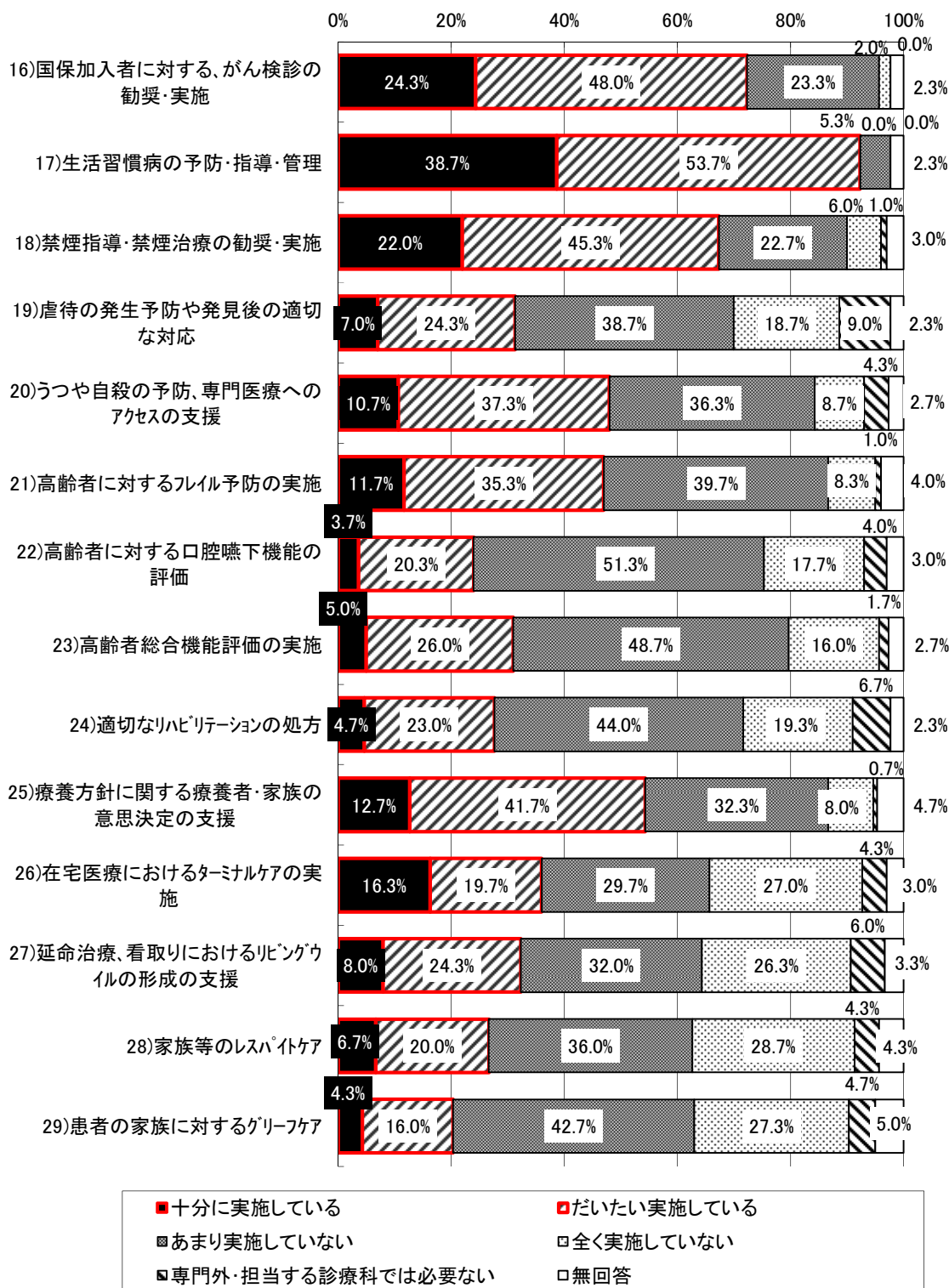


2) 主たる担当診療科別

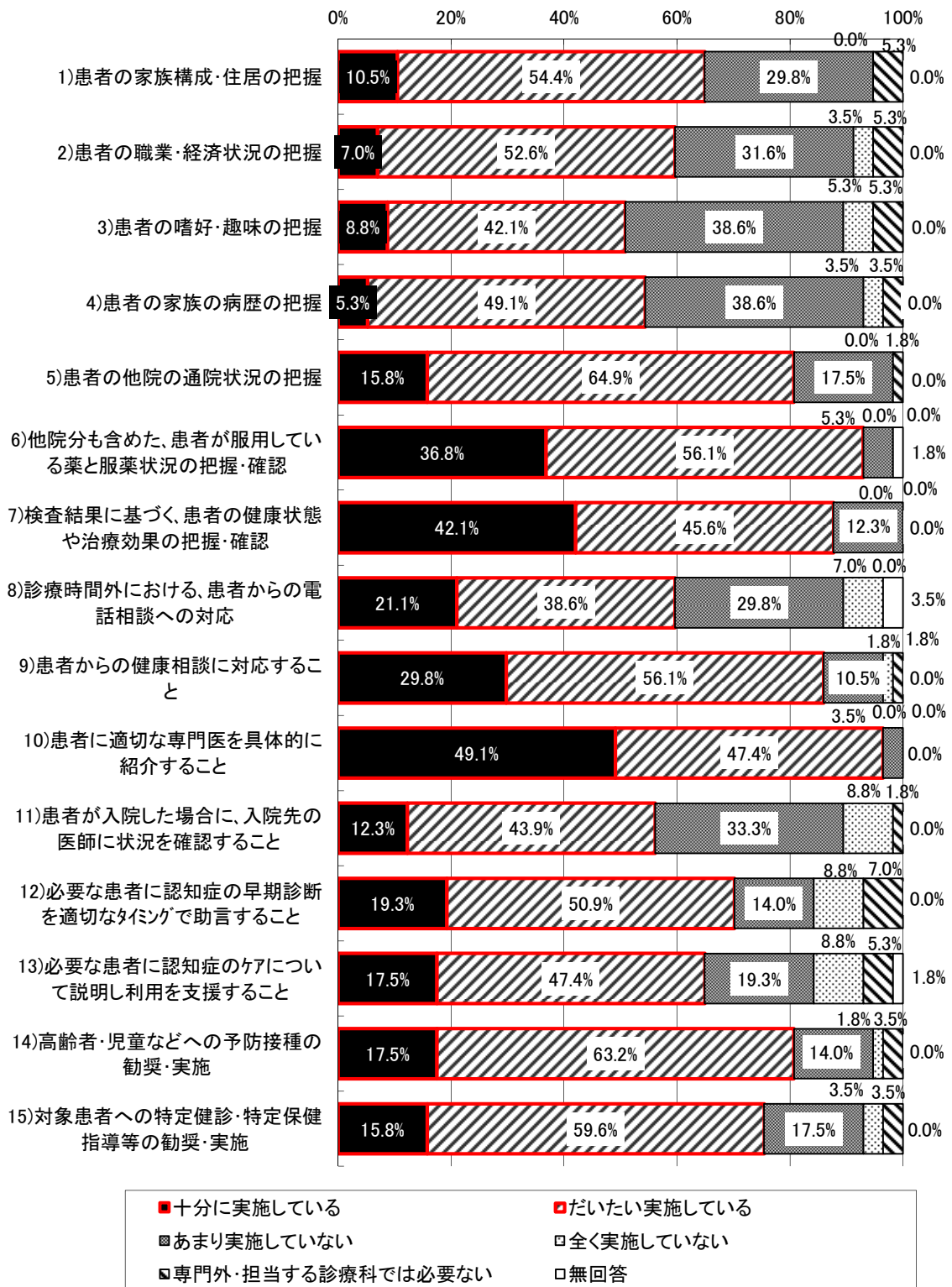
図表 3- 199 自院に継続して通院している患者に対する対応状況①（内科系、n=300）



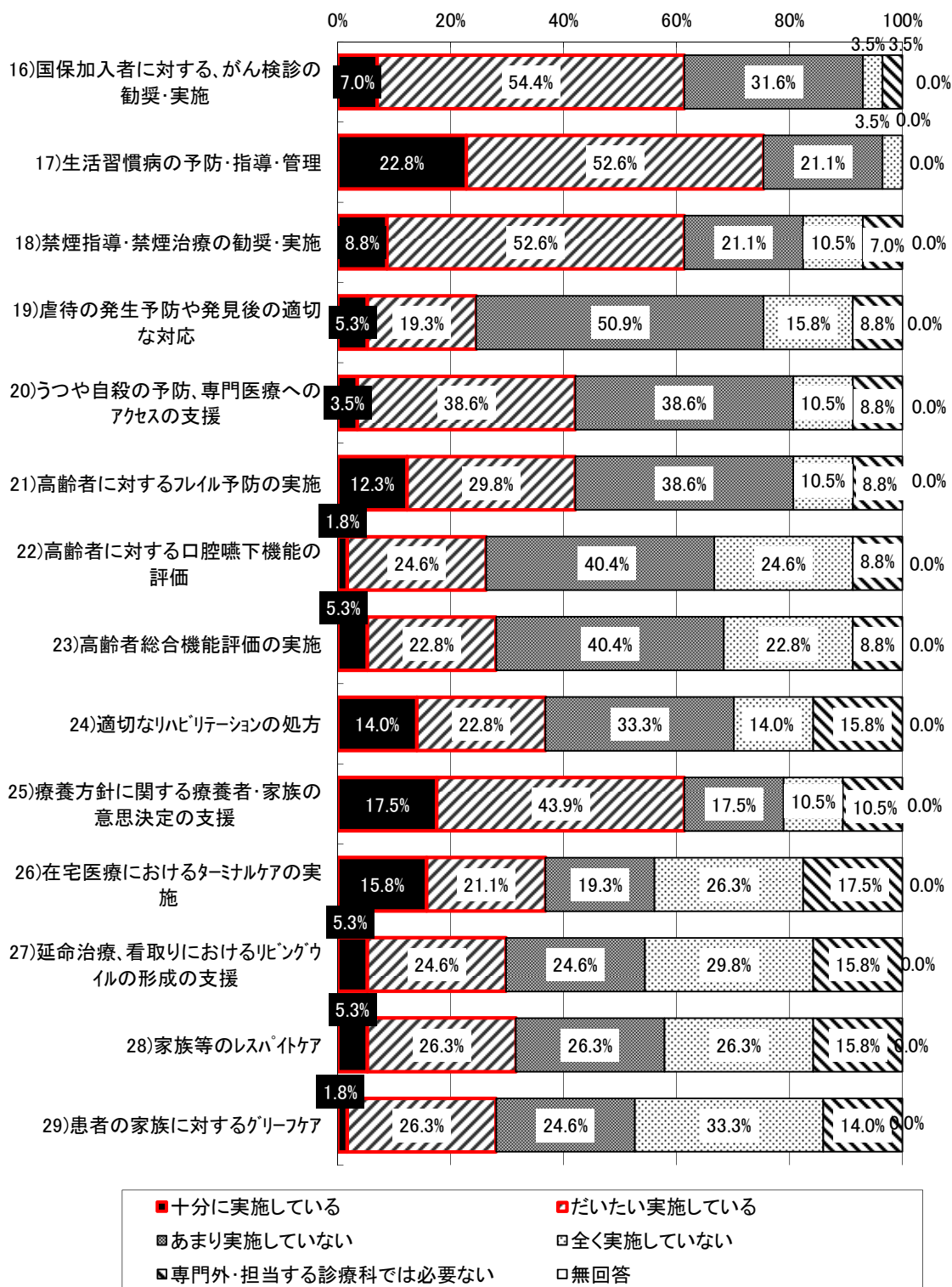
図表 3- 200 自院に継続して通院している患者に対する対応状況②（内科系、n=300）



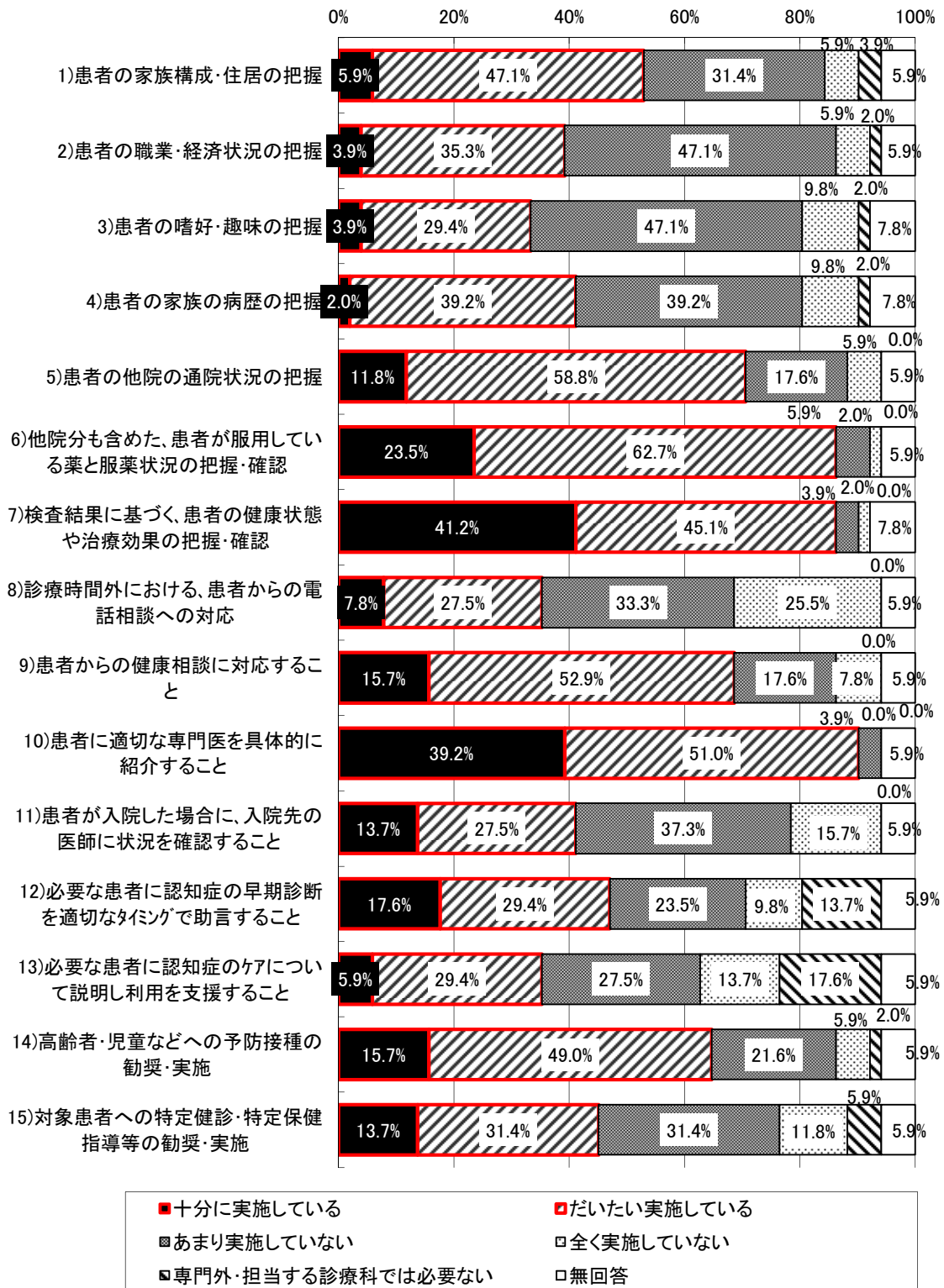
図表 3- 201 自院に継続して通院している患者に対する対応状況①（外科系、n=57）



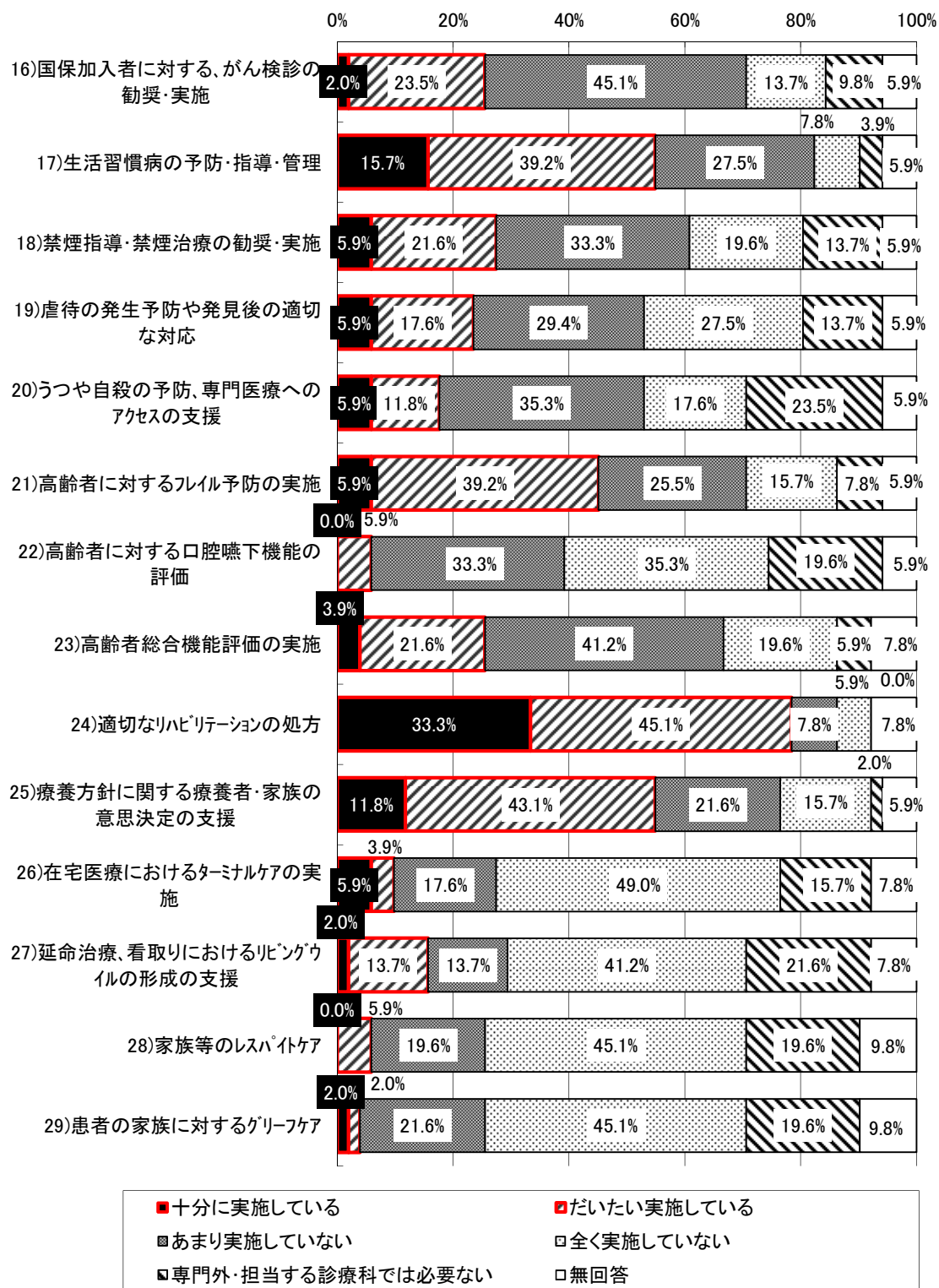
図表 3- 202 自院に継続して通院している患者に対する対応状況②（外科系、n=57）



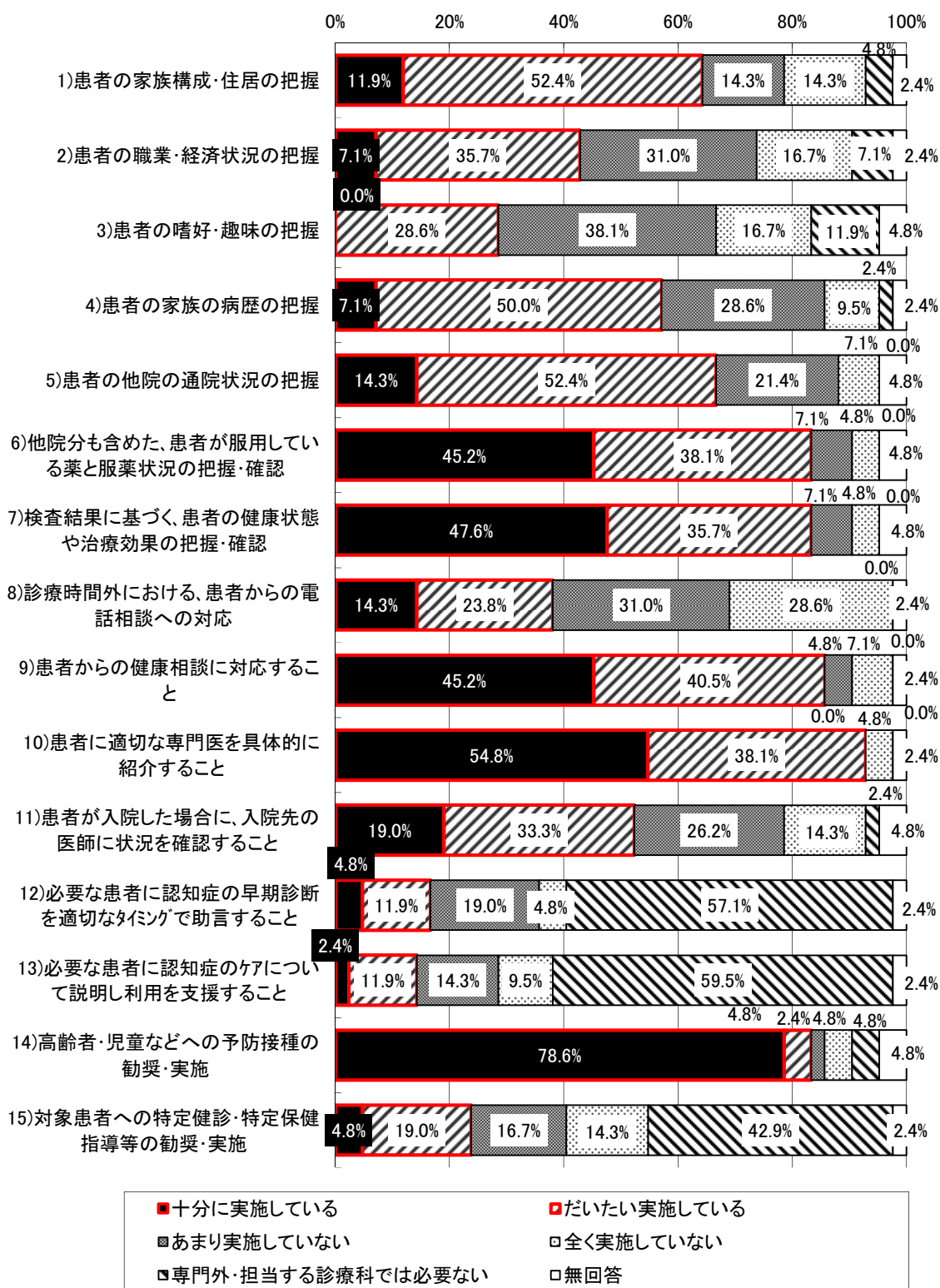
図表 3- 203 自院に継続して通院している患者に対する対応状況①（整形外科、n=51）



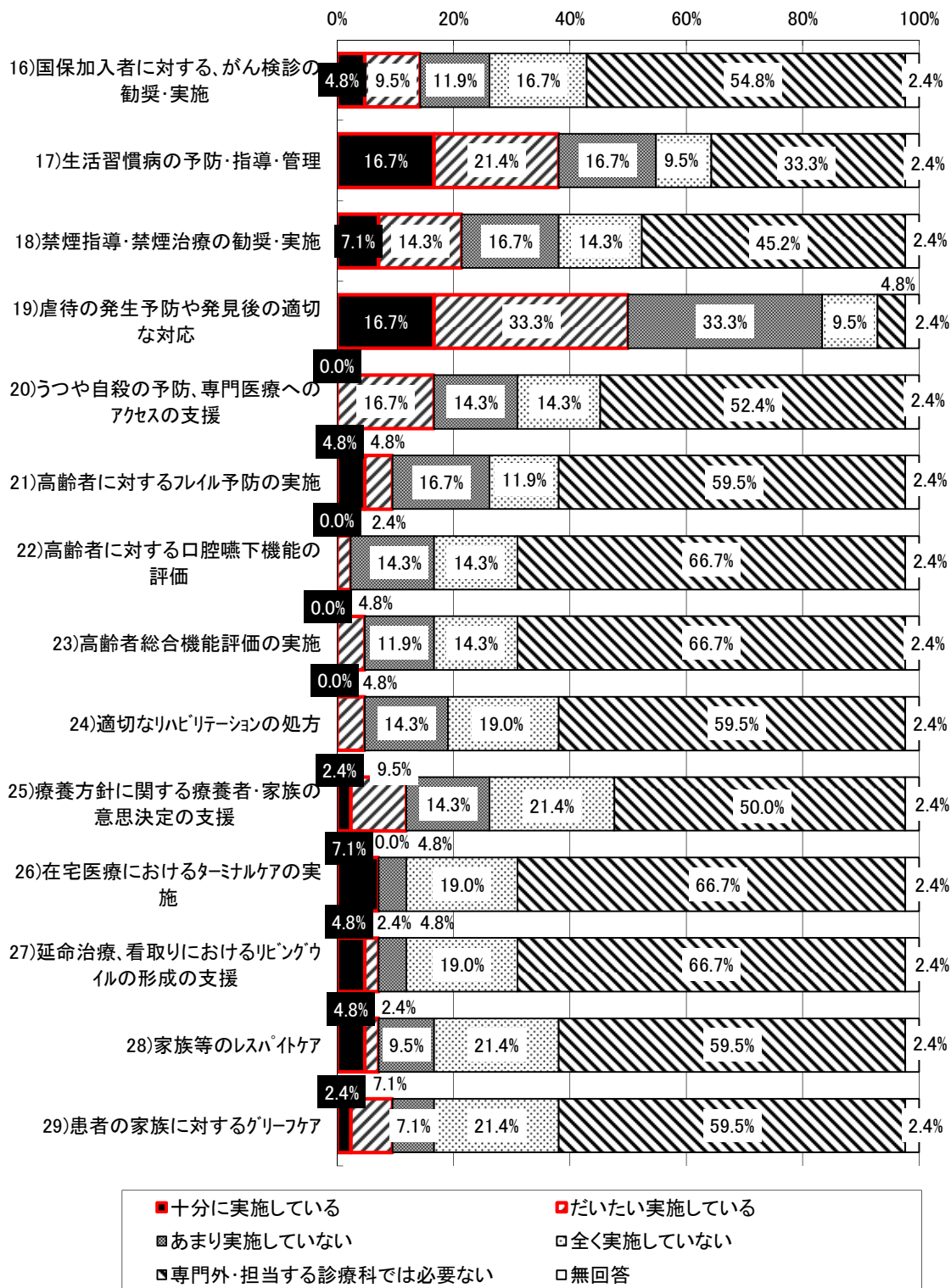
図表 3- 204 自院に継続して通院している患者に対する対応状況②（整形外科、n=51）



図表 3- 205 自院に継続して通院している患者に対する対応状況①
(小児科・小児外科、n=42)

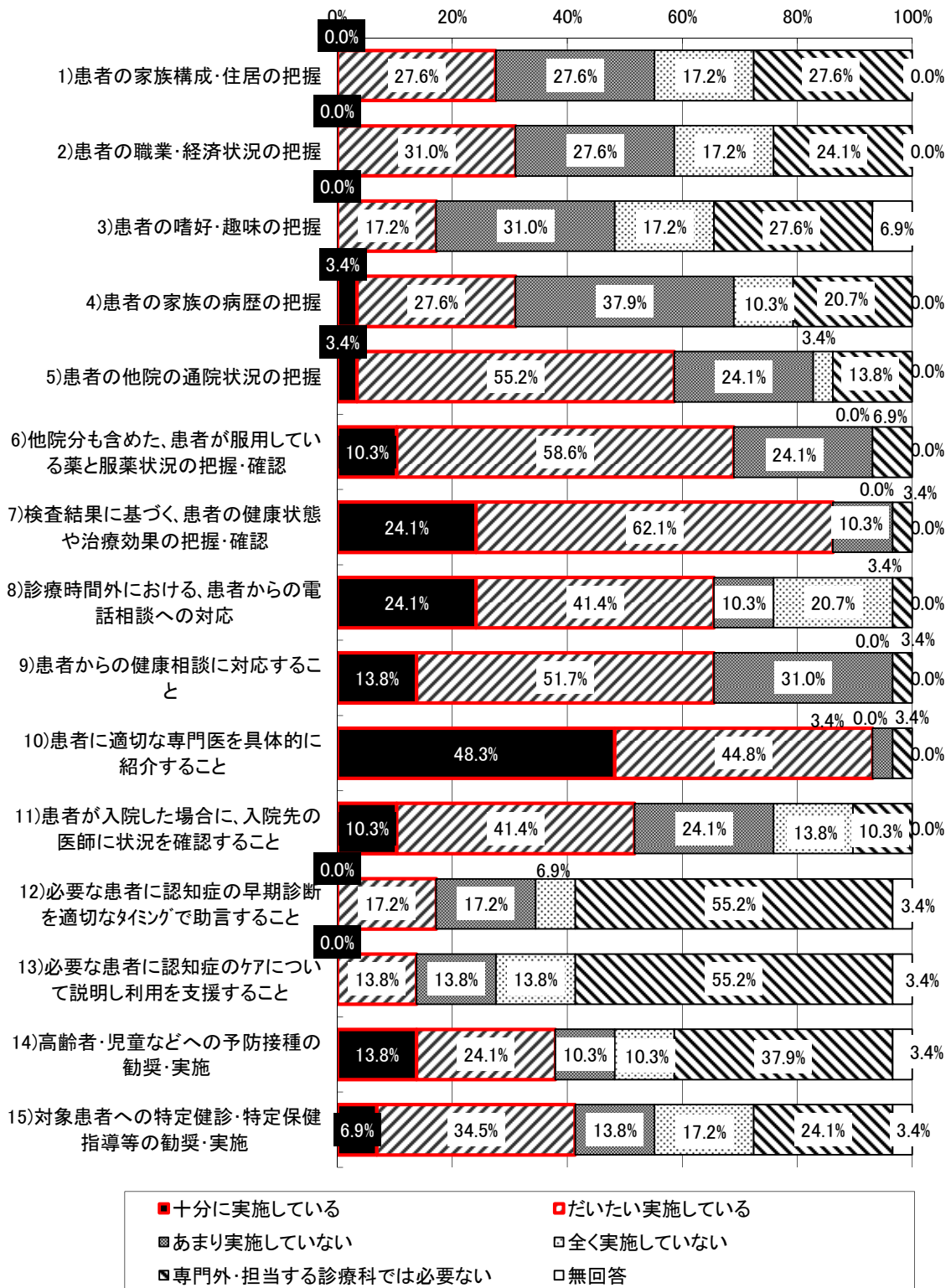


図表 3- 206 自院に継続して通院している患者に対する対応状況②
(小児科・小児外科、n=42)

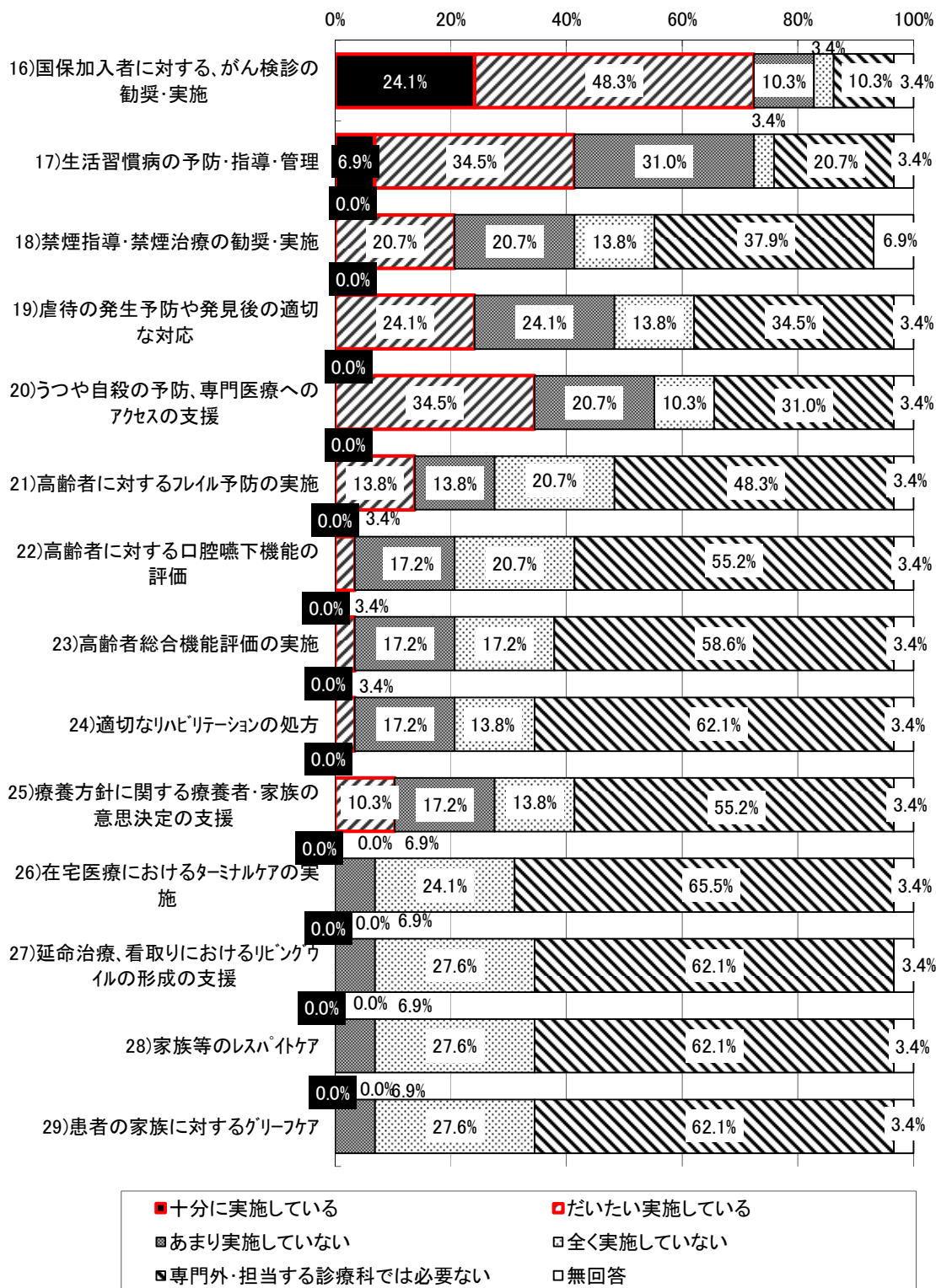


図表 3- 207 自院に継続して通院している患者に対する対応状況①

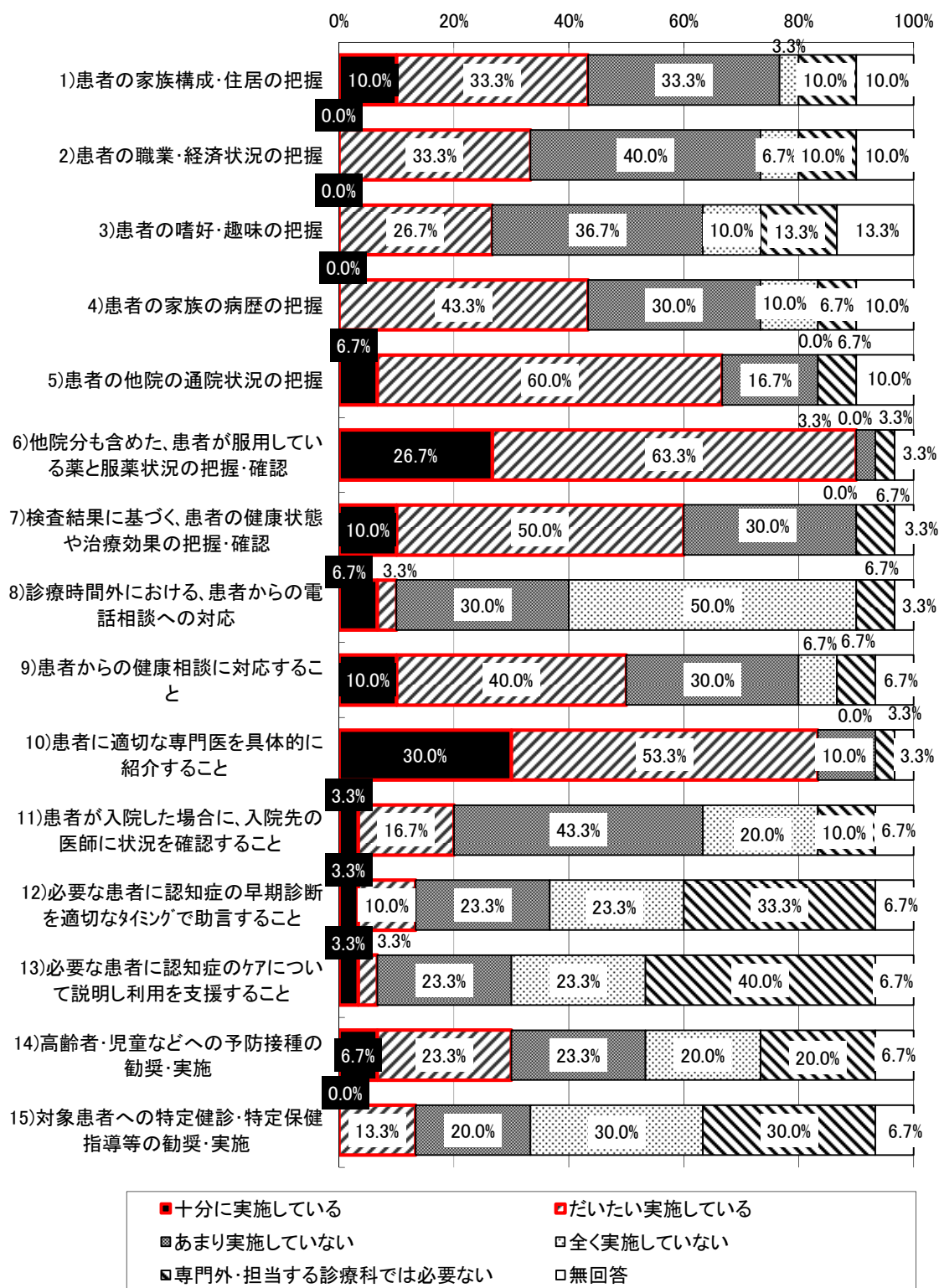
(産婦人科・産科・婦人科、n=29)



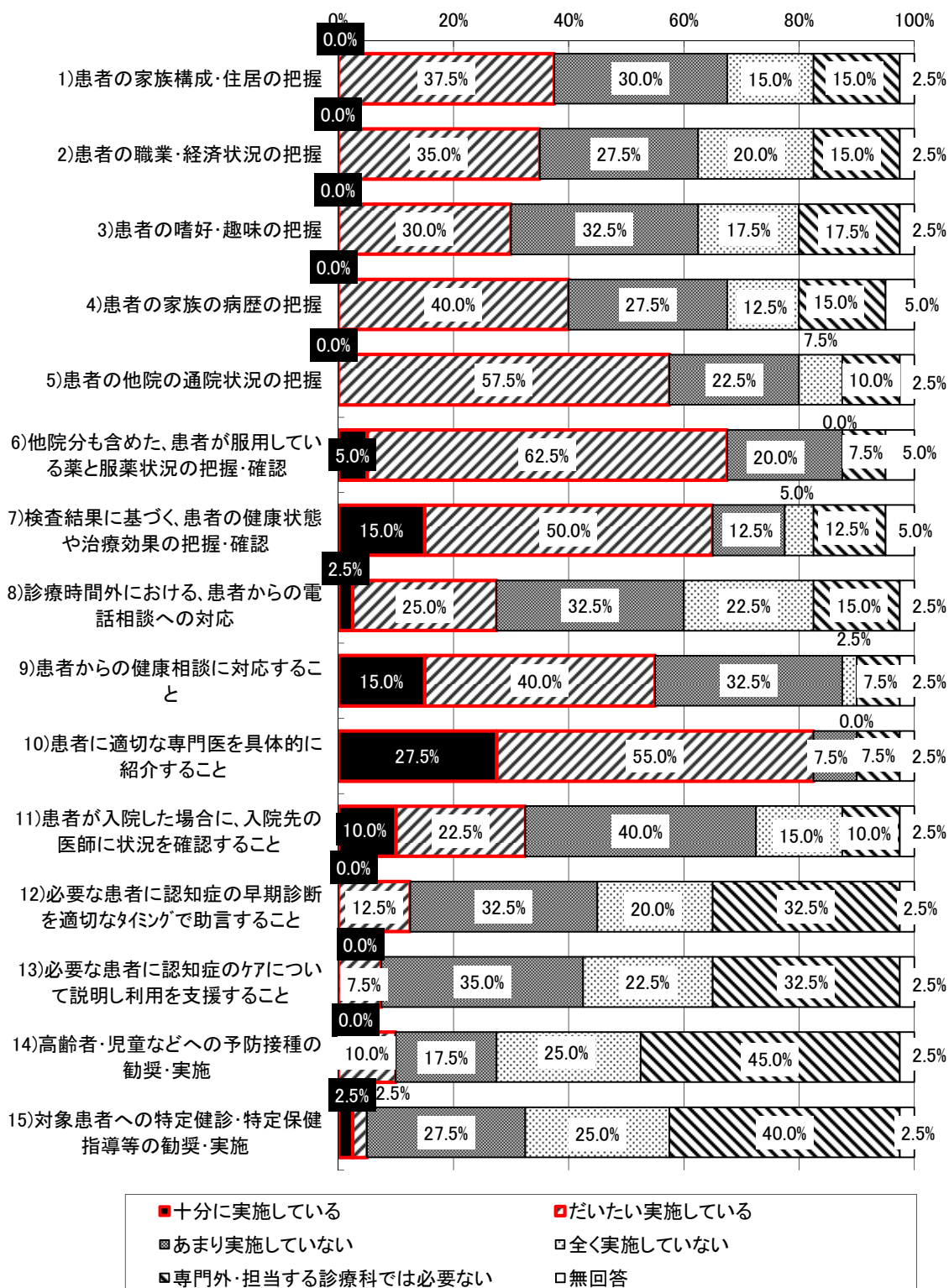
図表 3- 208 自院に継続して通院している患者に対する対応状況②
 (産婦人科・産科・婦人科、n=29)



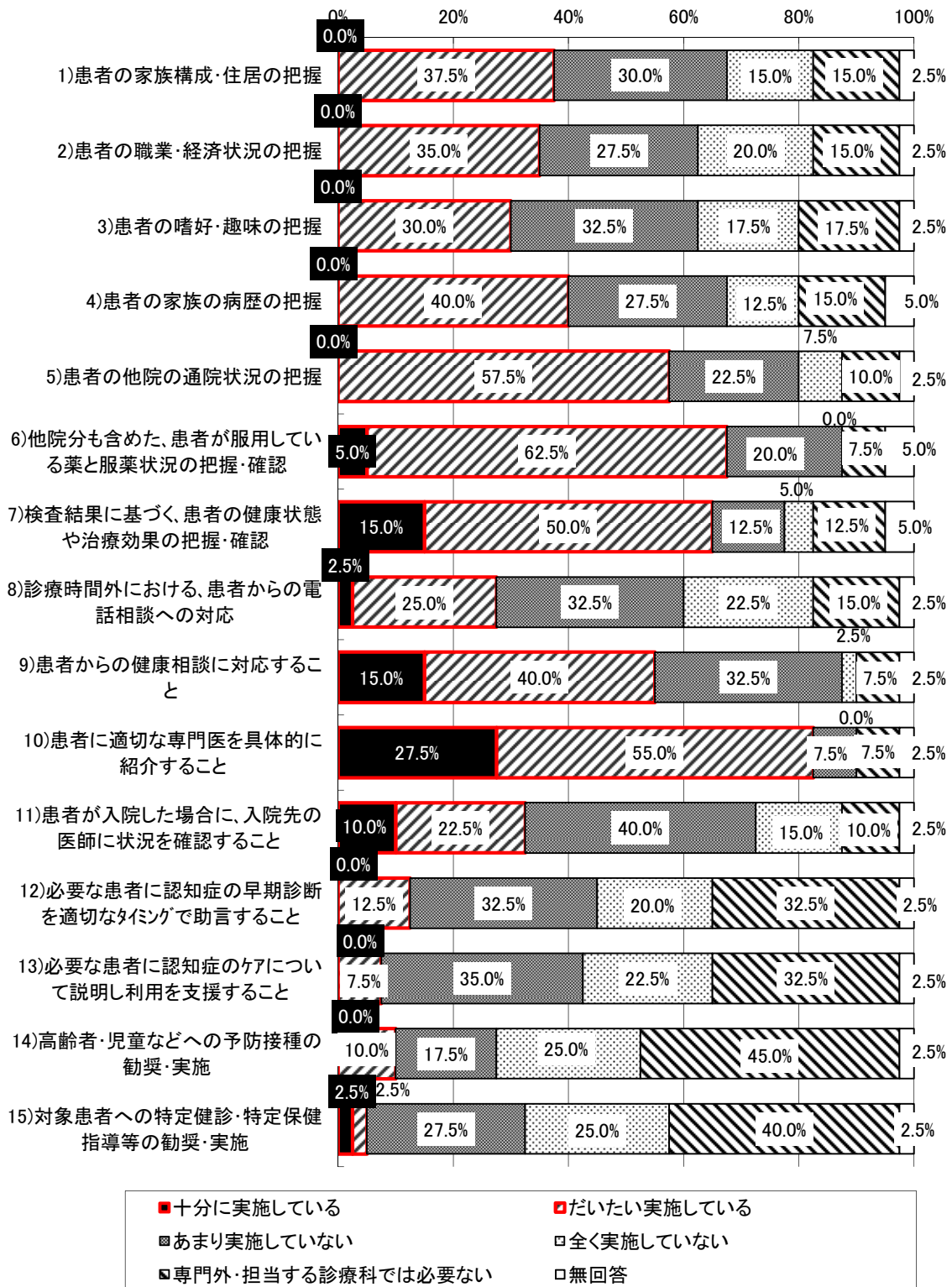
図表 3- 209 自院に継続して通院している患者に対する対応状況①（皮膚科、n=30）



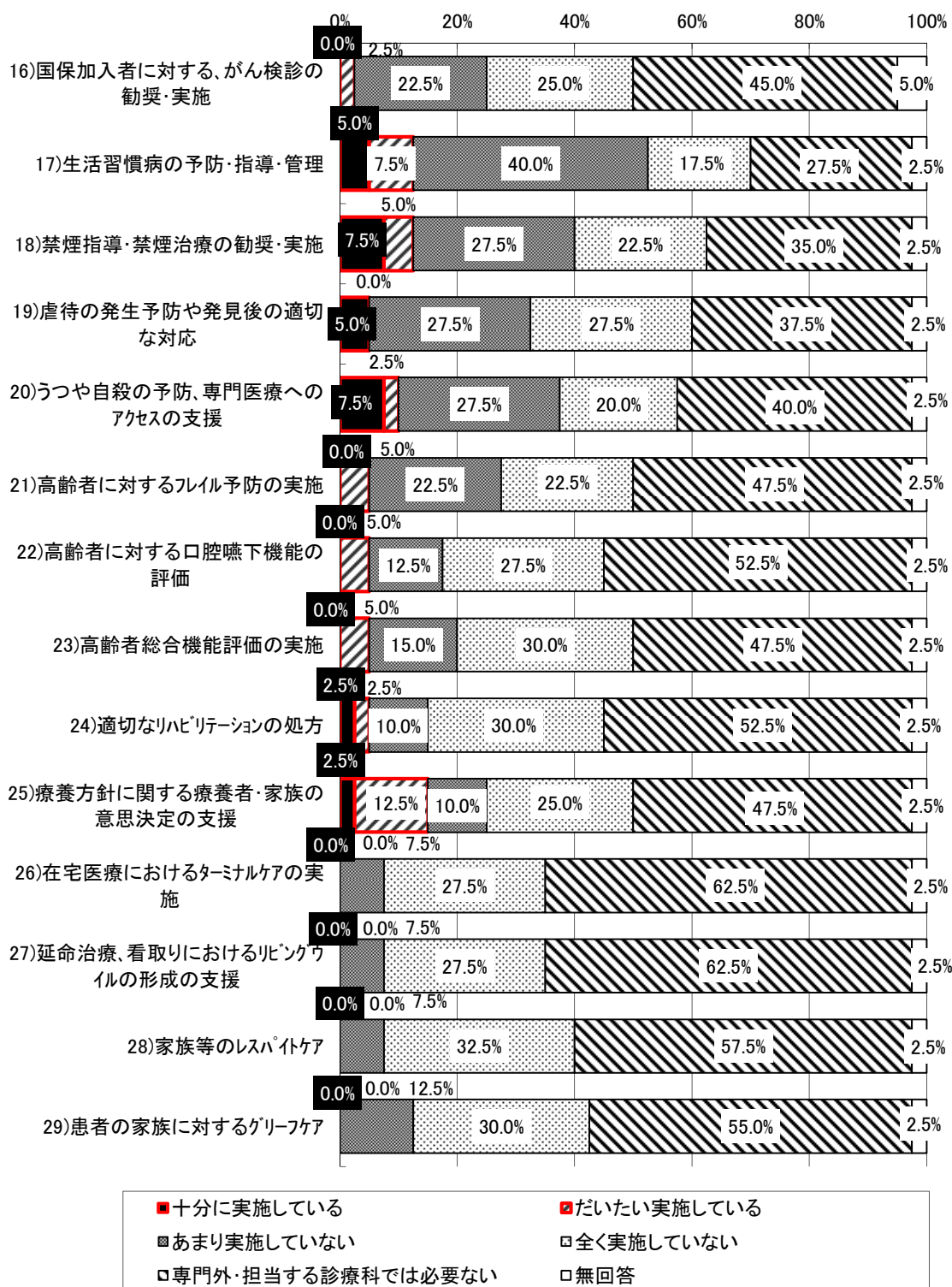
図表 3- 210 自院に継続して通院している患者に対する対応状況②（皮膚科、n=30）



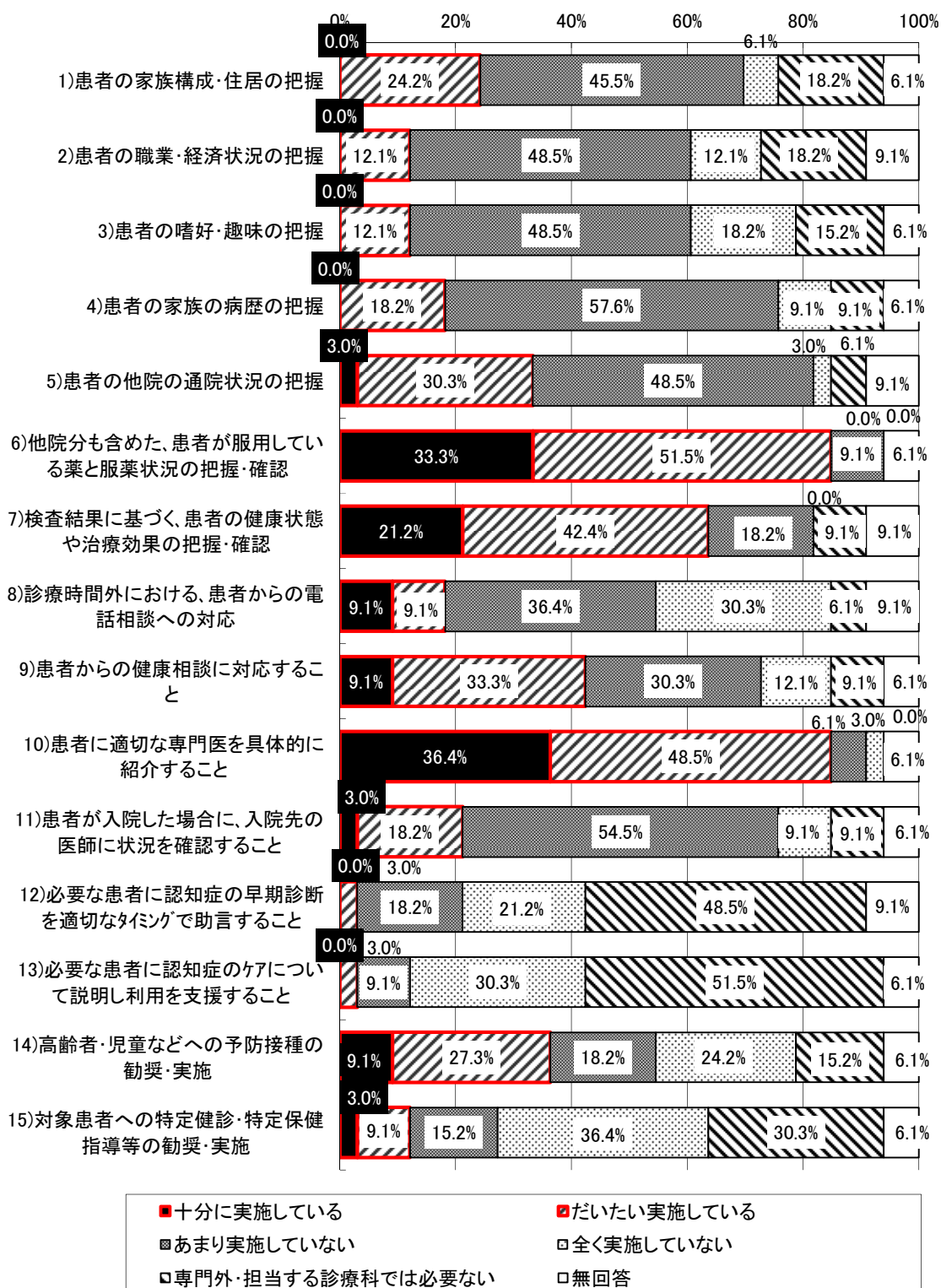
図表 3- 211 自院に継続して通院している患者に対する対応状況①（眼科、n=40）



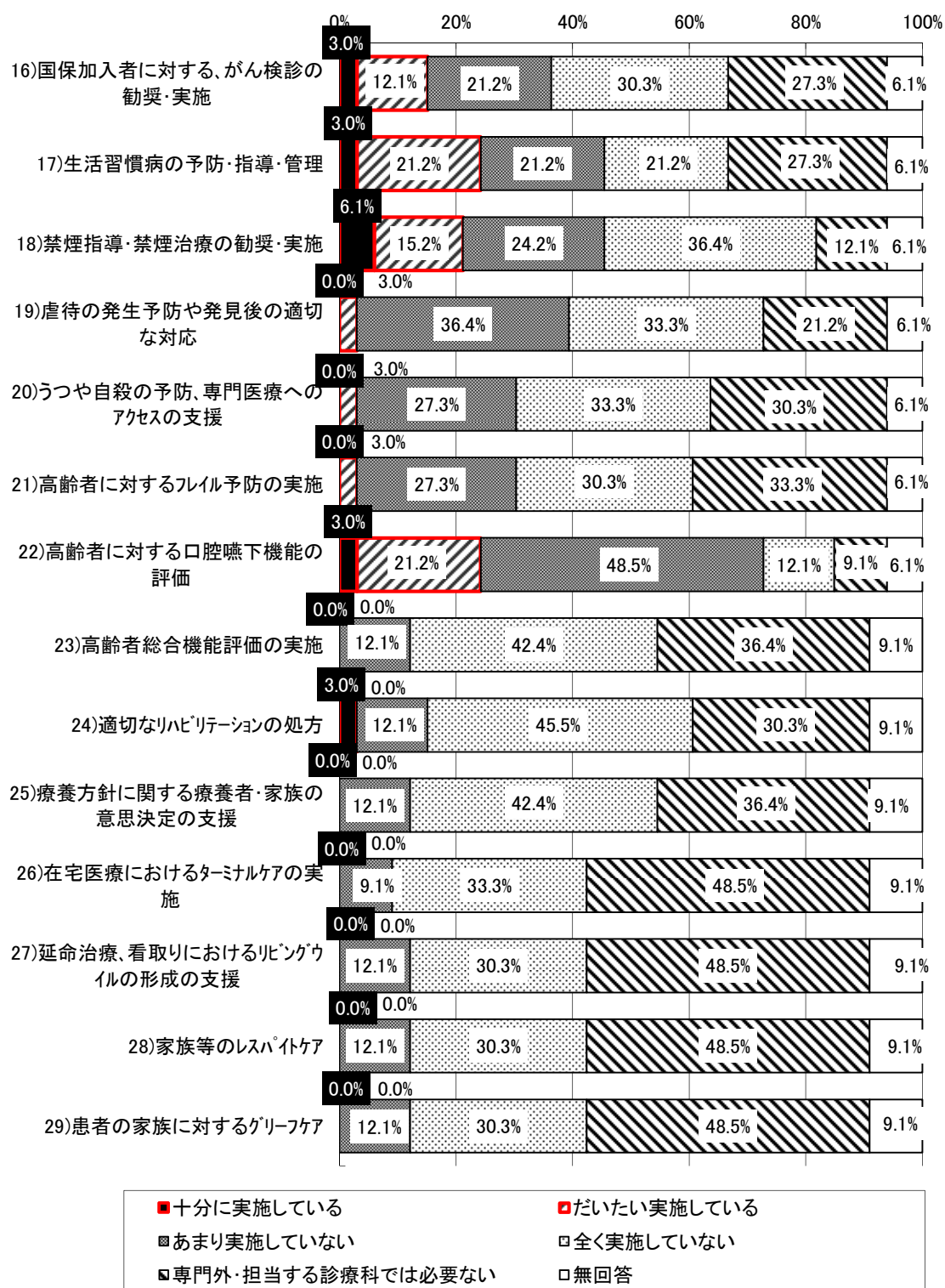
図表 3- 212 自院に継続して通院している患者に対する対応状況②（眼科、n=40）



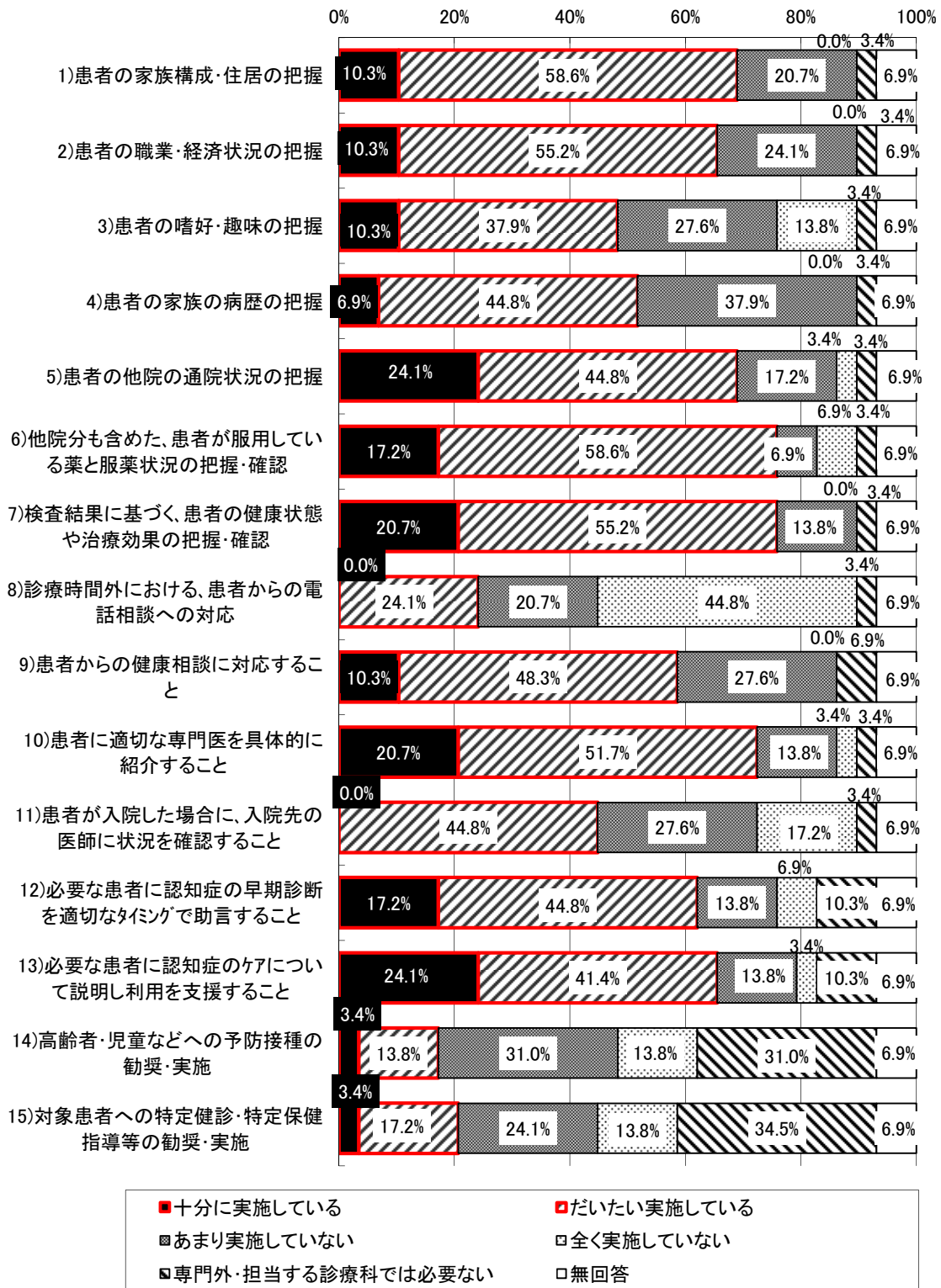
図表 3- 213 自院に継続して通院している患者に対する対応状況①(耳鼻いんこう科、n=33)



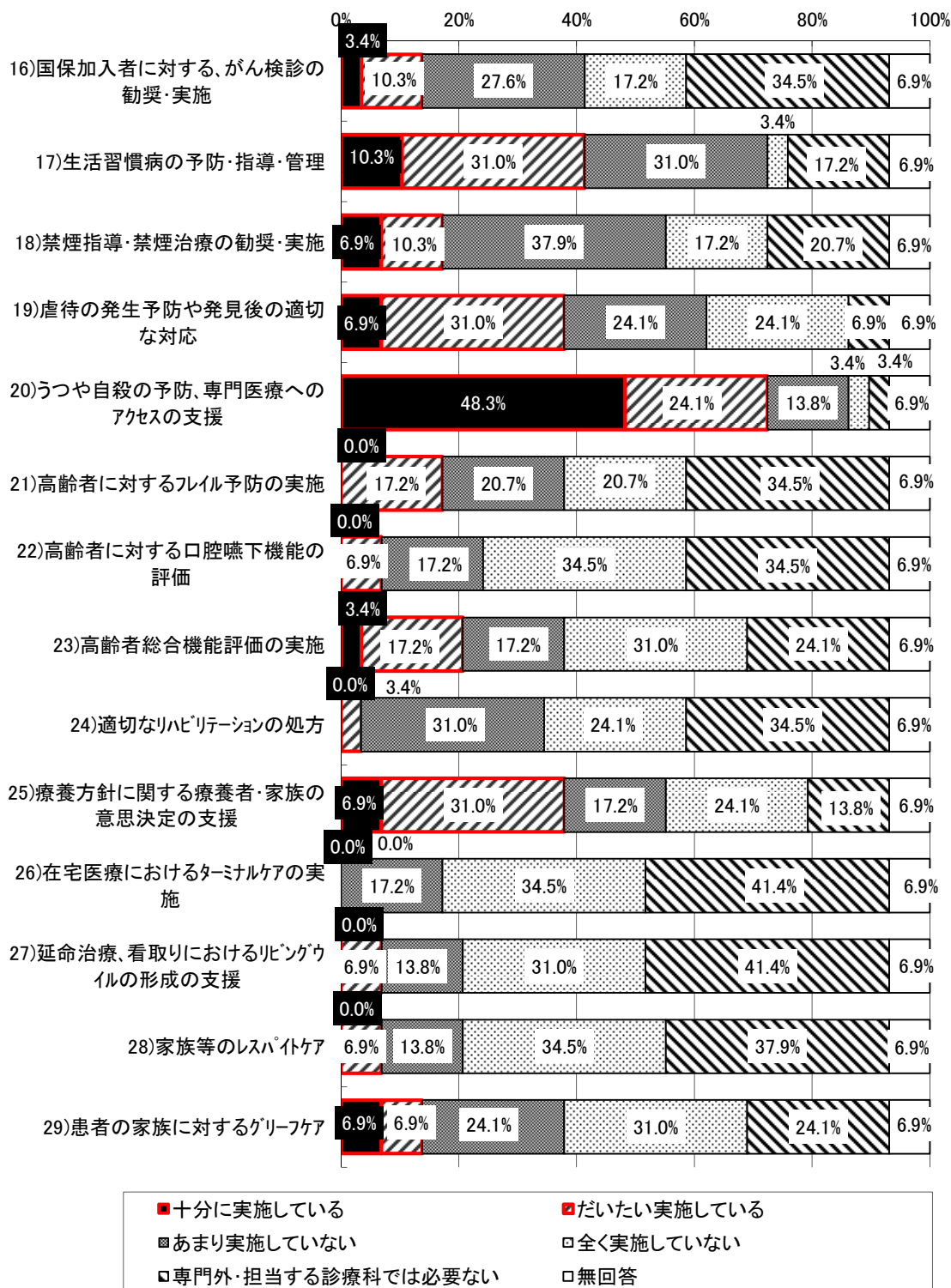
図表 3- 214 自院に継続して通院している患者に対する対応状況②(耳鼻いんこう科、n=33)



図表 3- 215 自院に継続して通院している患者に対する対応状況①
(精神科・心療内科、n=29)

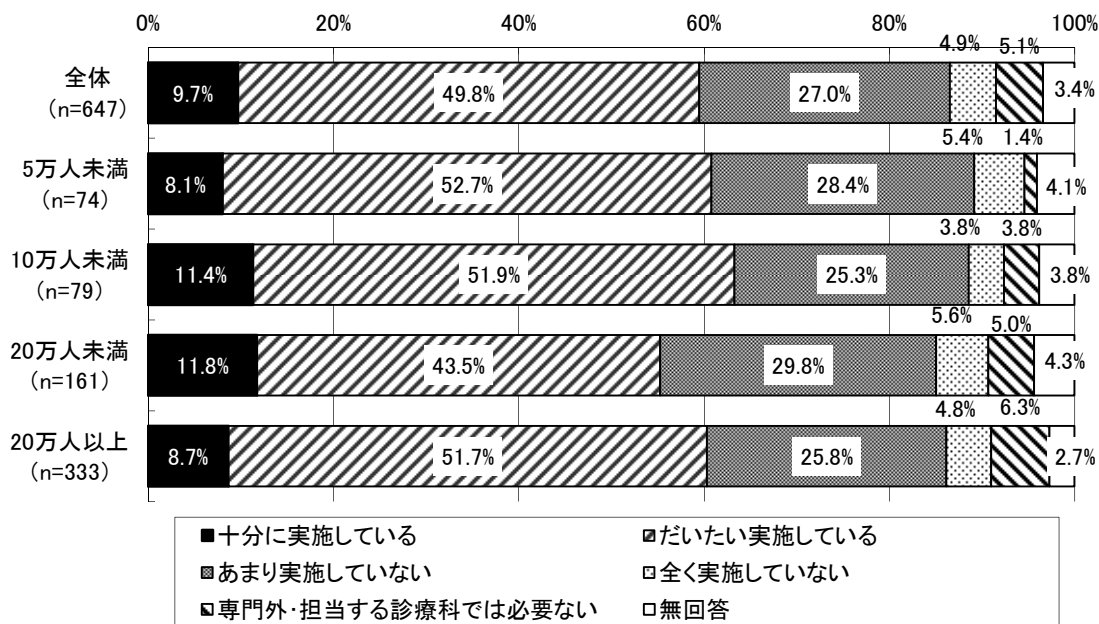


図表 3- 216 自院に継続して通院している患者に対する対応状況②
(精神科・心療内科、n=29)

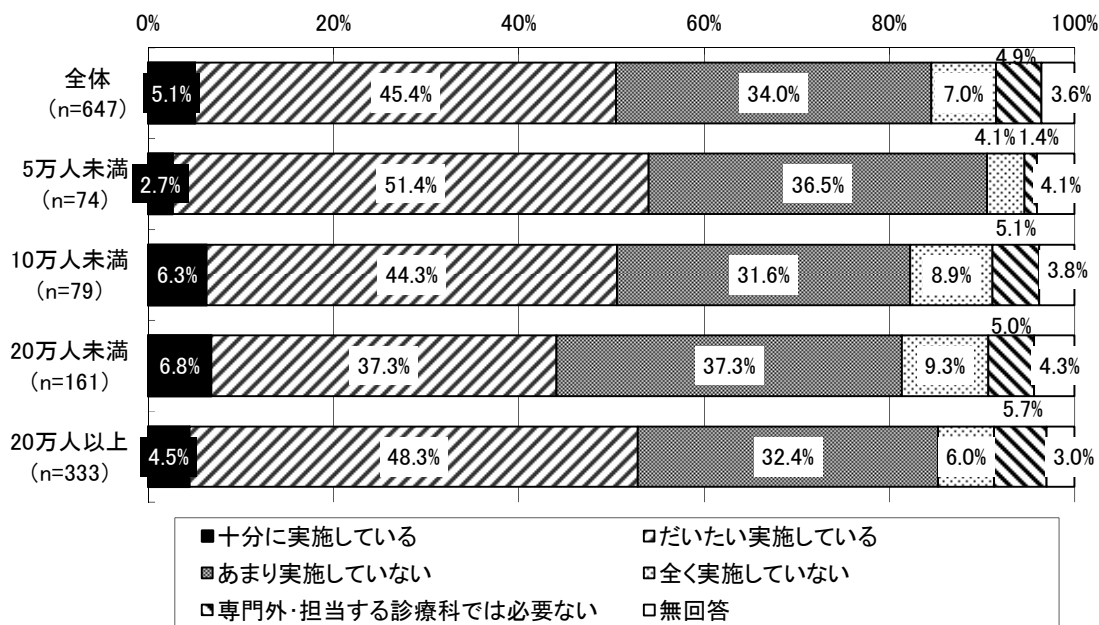


②自院に継続して通院している患者に対する対応状況（地域別）

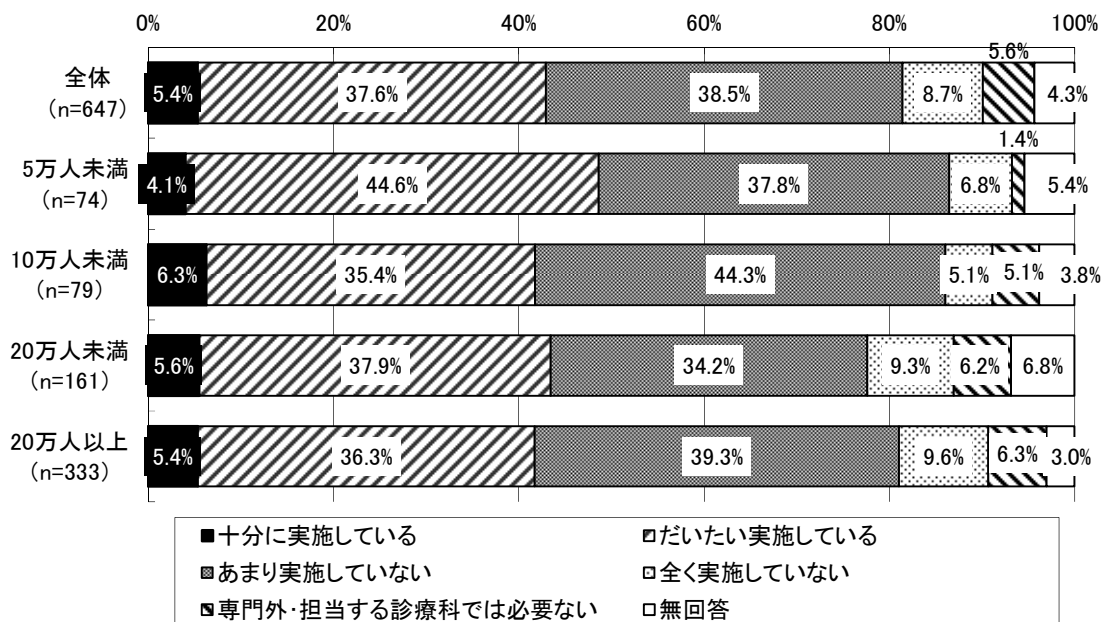
図表 3- 217 自院に継続して通院している患者に対する対応状況
～1) 患者の家族構成・住居の把握（地域別）～



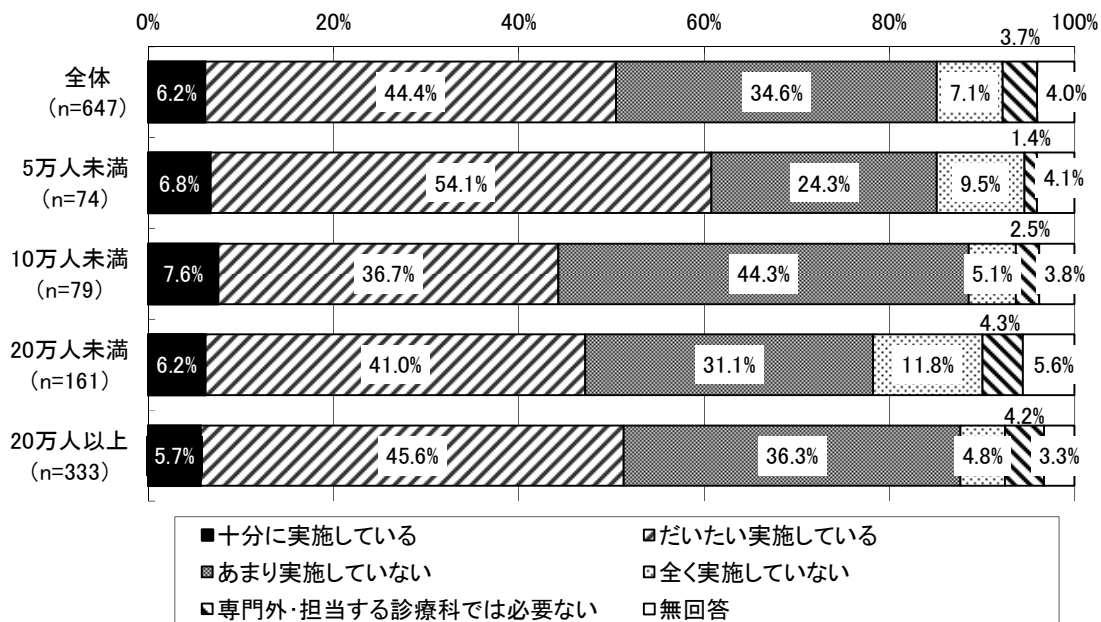
図表 3- 218 自院に継続して通院している患者に対する対応状況
～2) 患者の職業・経済状況の把握（地域別）～



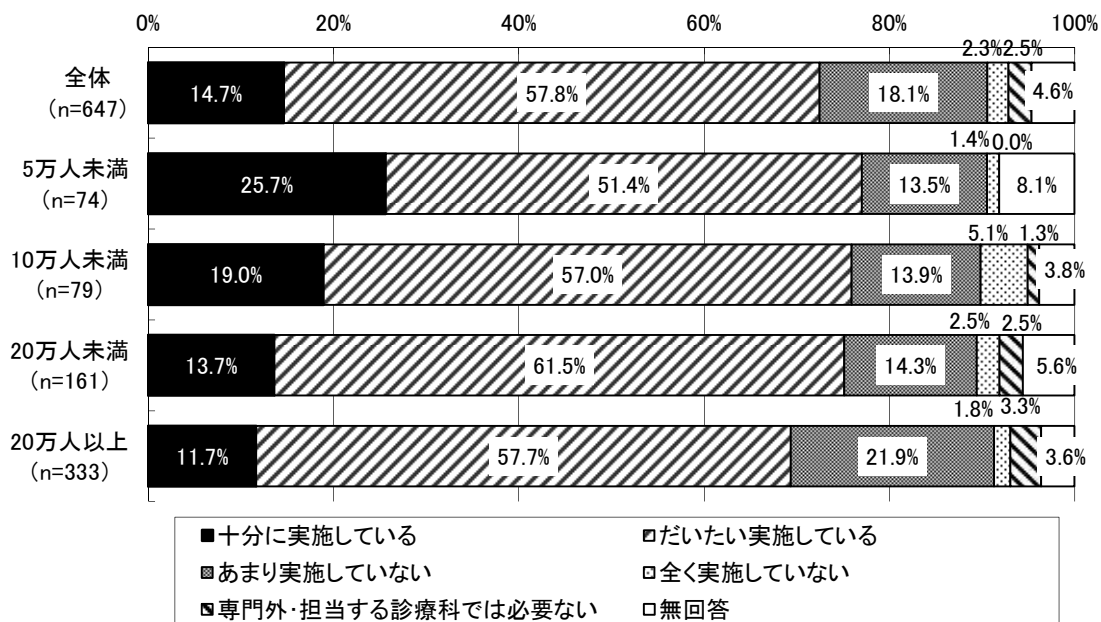
図表 3- 219 自院に継続して通院している患者に対する対応状況
 ～3) 患者の嗜好・趣味の把握 (地域別)～



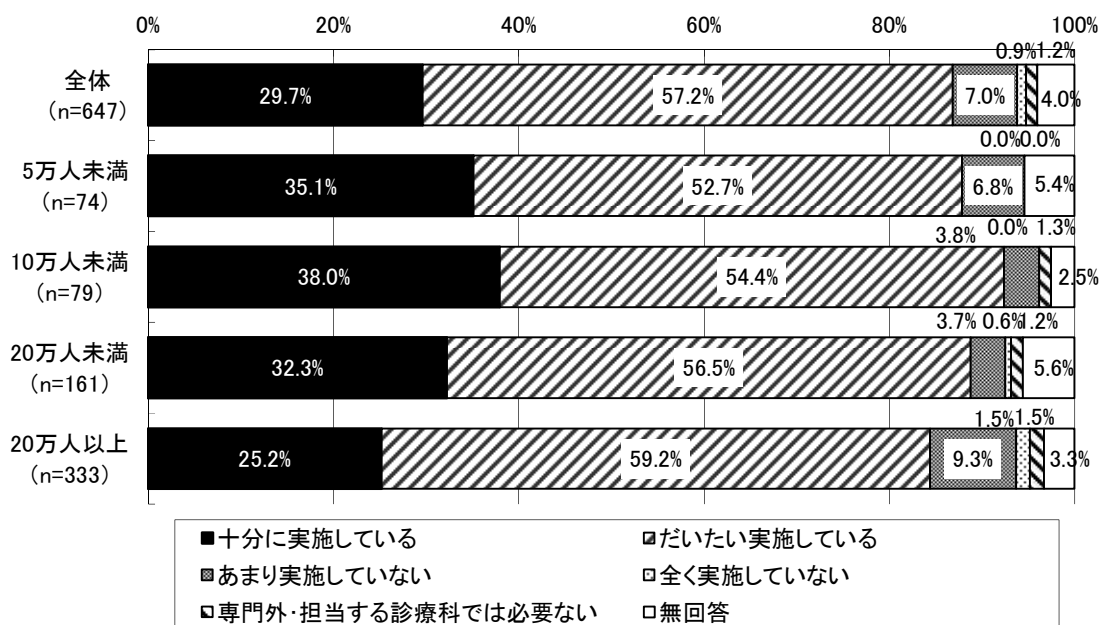
図表 3- 220 自院に継続して通院している患者に対する対応状況
 ～4) 患者の家族の病歴の把握 (地域別)～



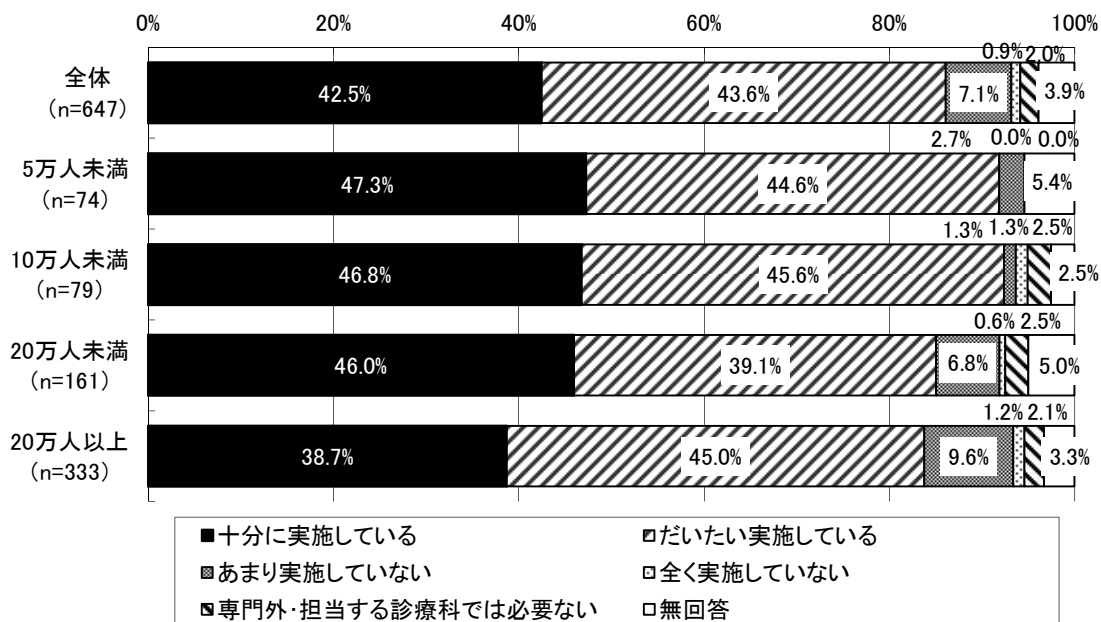
図表 3- 221 自院に継続して通院している患者に対する対応状況
 ～5) 患者の他院の通院状況の把握 (地域別)～



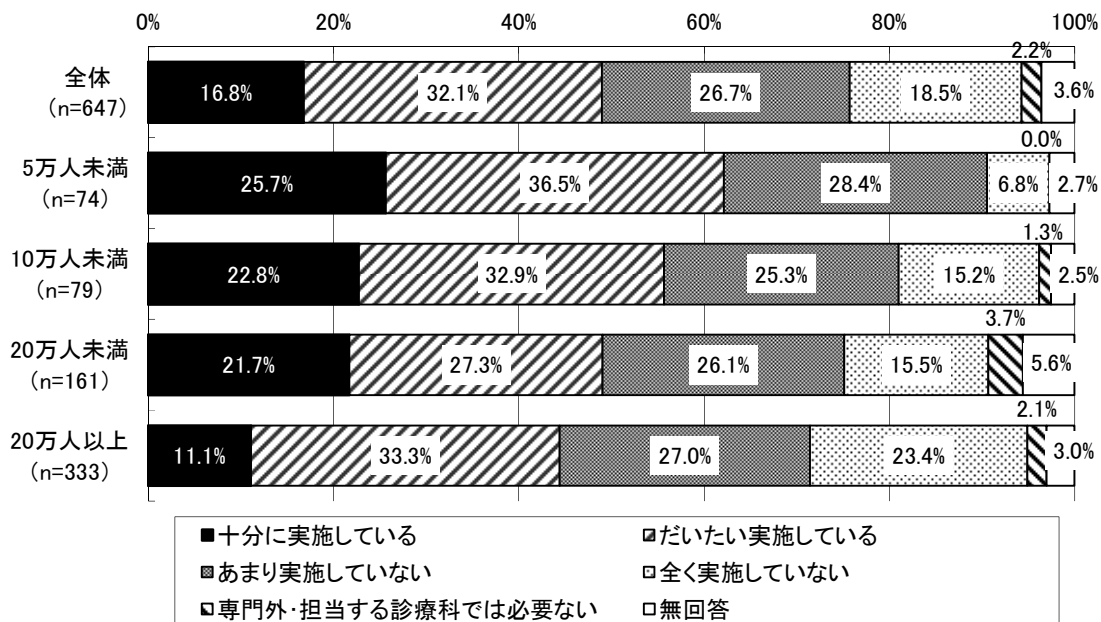
図表 3- 222 自院に継続して通院している患者に対する対応状況
 ～6) 他院分も含めた、患者が服用している薬と服薬状況の把握・確認 (地域別)～



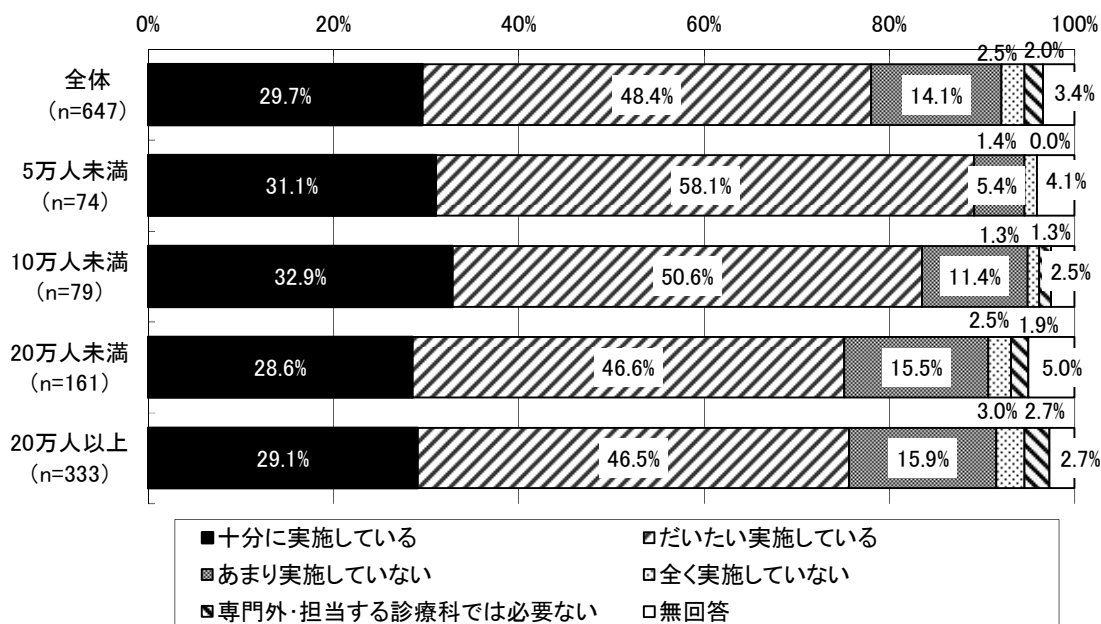
図表 3- 223 自院に継続して通院している患者に対する対応状況
 ～7) 検査結果に基づく、患者の健康状態や治療効果の把握・確認（地域別）～



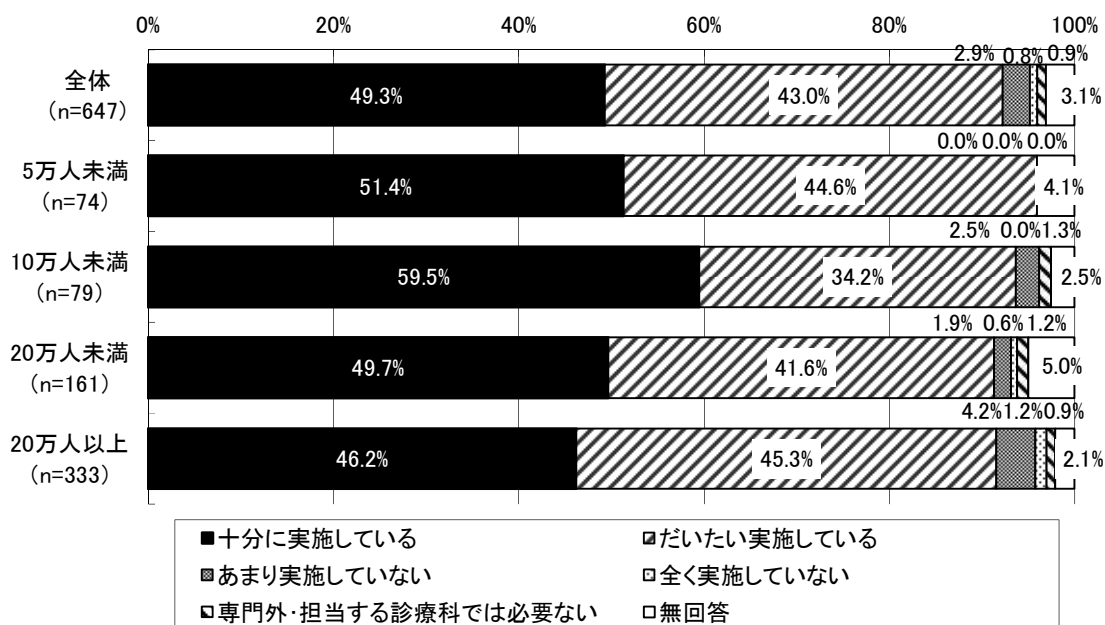
図表 3- 224 自院に継続して通院している患者に対する対応状況
 ～8) 診療時間外における、患者からの電話相談への対応（地域別）～



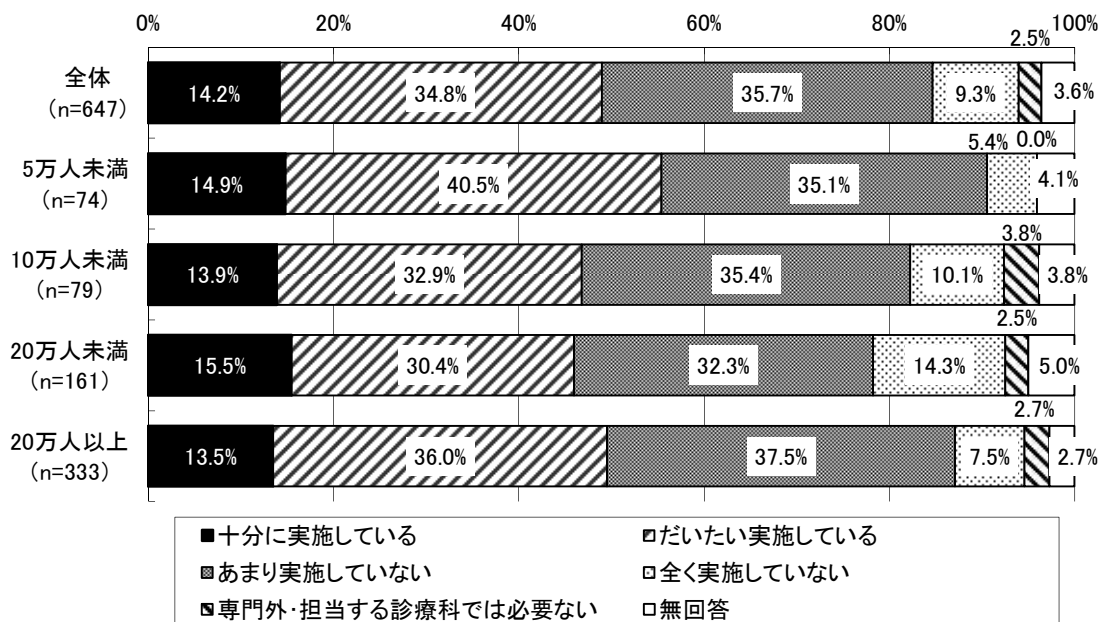
図表 3- 225 自院に継続して通院している患者に対する対応状況
 ～9) 患者からの健康相談に対応すること（地域別）～



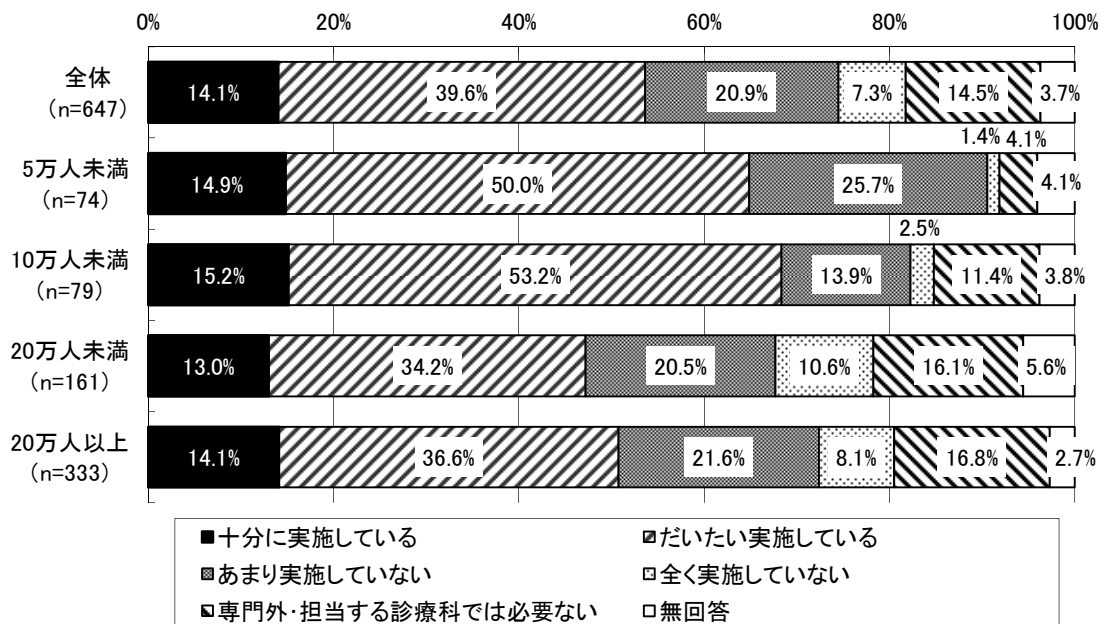
図表 3- 226 自院に継続して通院している患者に対する対応状況
 ～10) 患者に適切な専門医を具体的に紹介すること（地域別）～



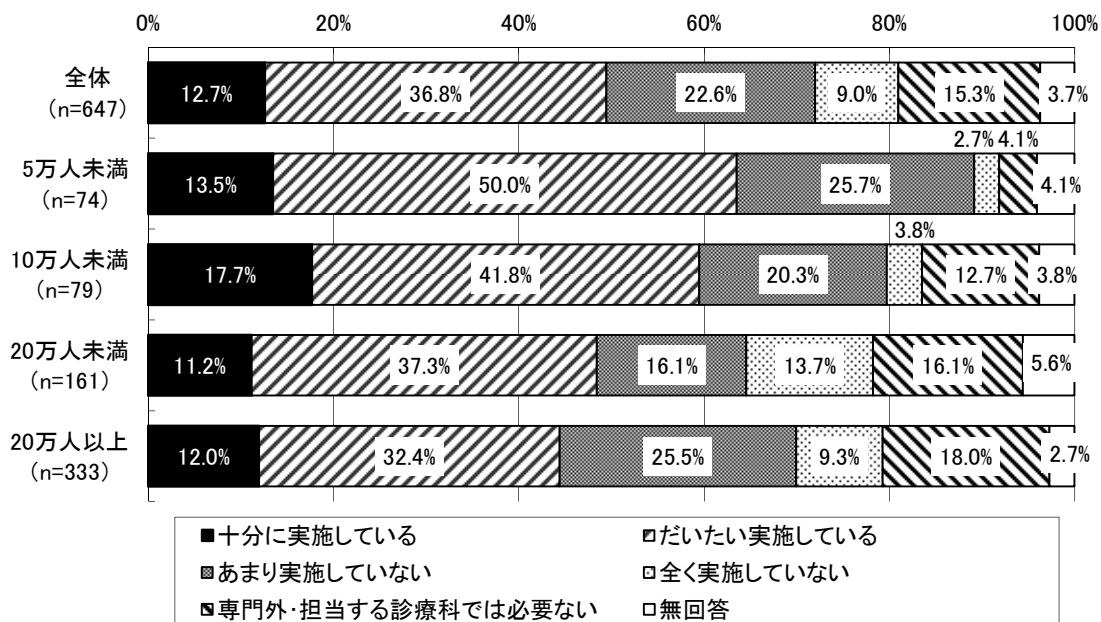
図表 3- 227 自院に継続して通院している患者に対する対応状況
 ～11) 患者が入院した場合に、入院先の医師に状況を確認すること（地域別）～



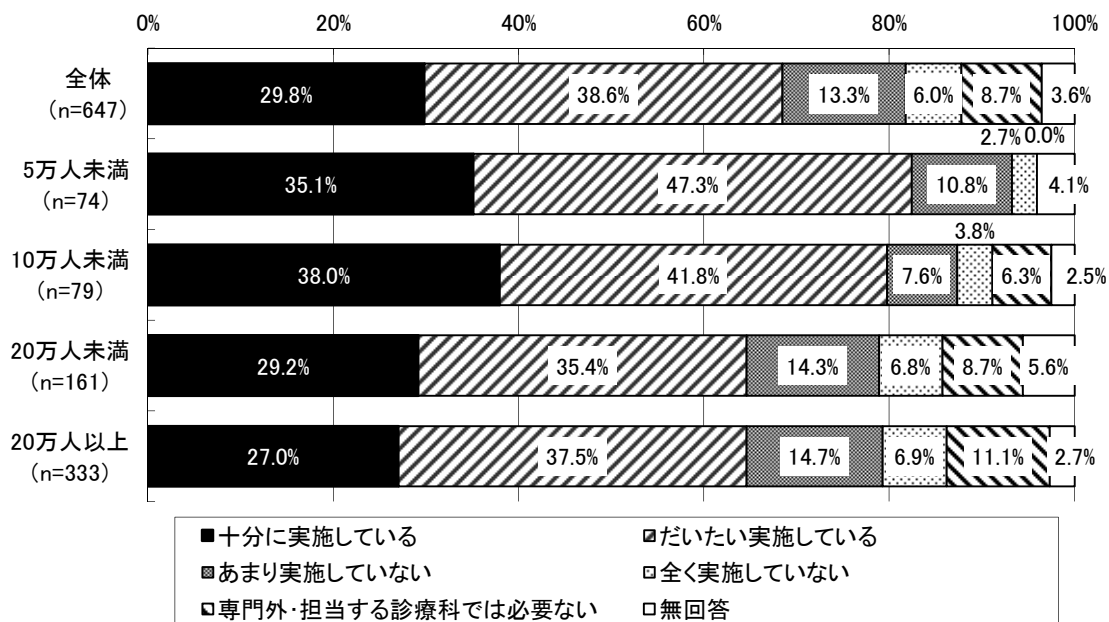
図表 3- 228 自院に継続して通院している患者に対する対応状況
 ～12) 必要な患者に認知症の早期診断を適切なタイミングで助言すること（地域別）～



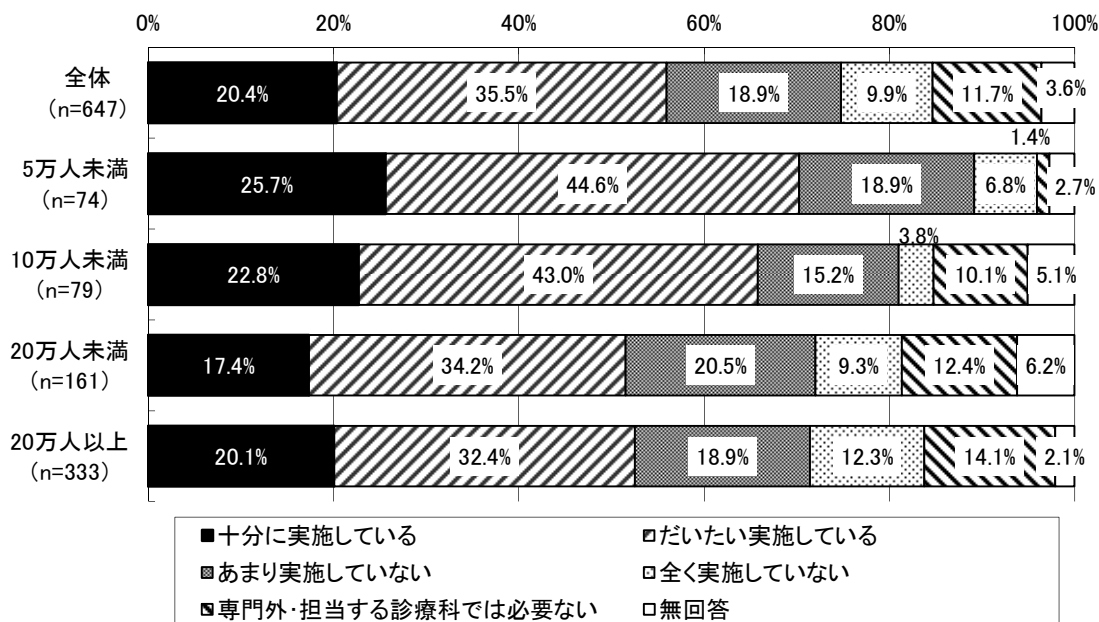
図表 3- 229 自院に継続して通院している患者に対する対応状況
 ～13) 必要な患者に認知症のケアについて説明し利用を支援すること（地域別）～



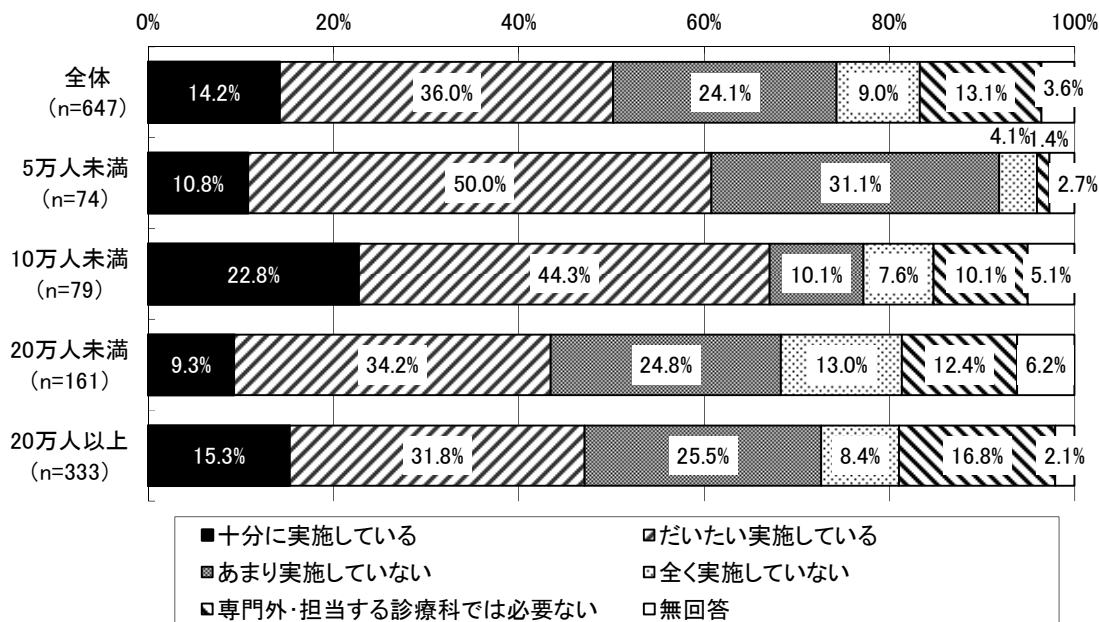
図表 3- 230 自院に継続して通院している患者に対する対応状況
 ～14) 高齢者・児童などへの予防接種の勧奨・実施（地域別）～



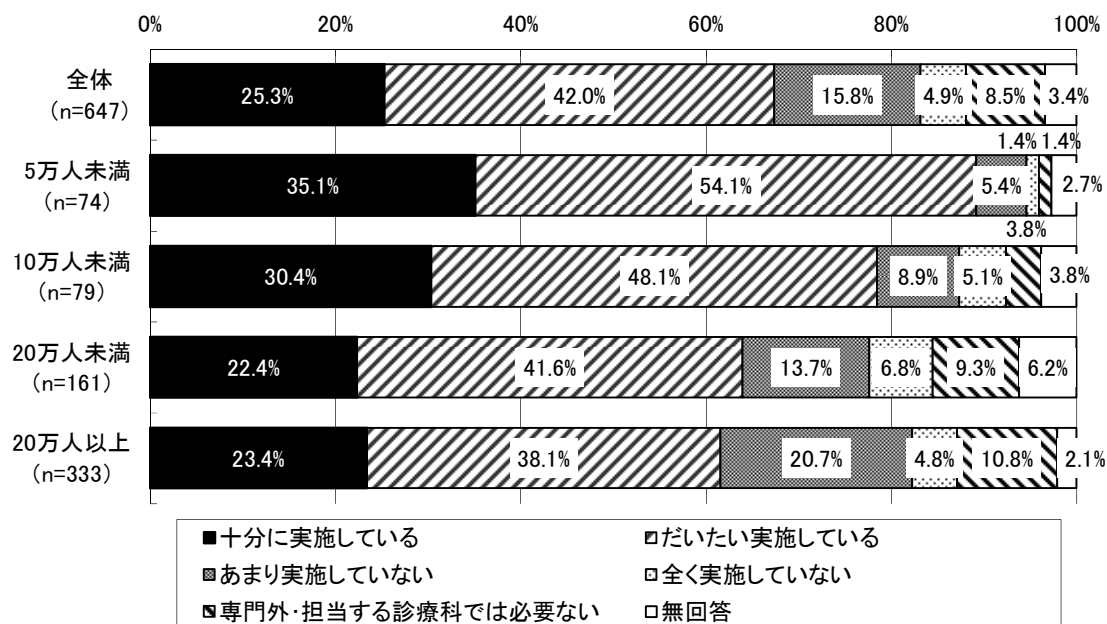
図表 3- 231 自院に継続して通院している患者に対する対応状況
 ～15) 対象患者への特定健診・特定保健指導等の勧奨・実施（地域別）～



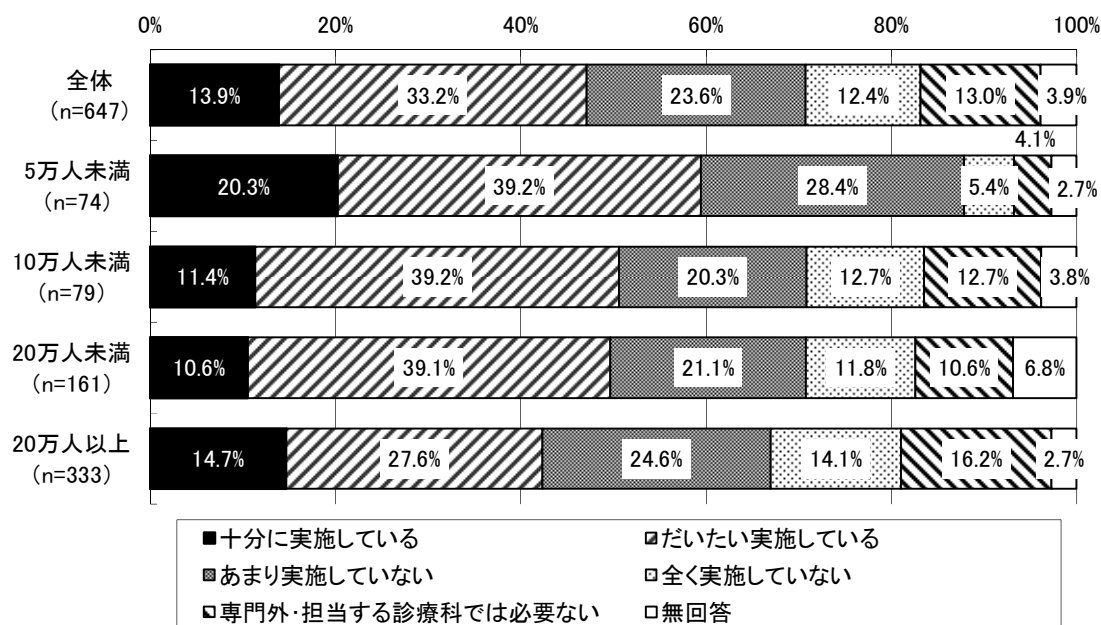
図表 3- 232 自院に継続して通院している患者に対する対応状況
 ～16) 国保加入者に対する、がん検診の勧奨・実施（地域別）～



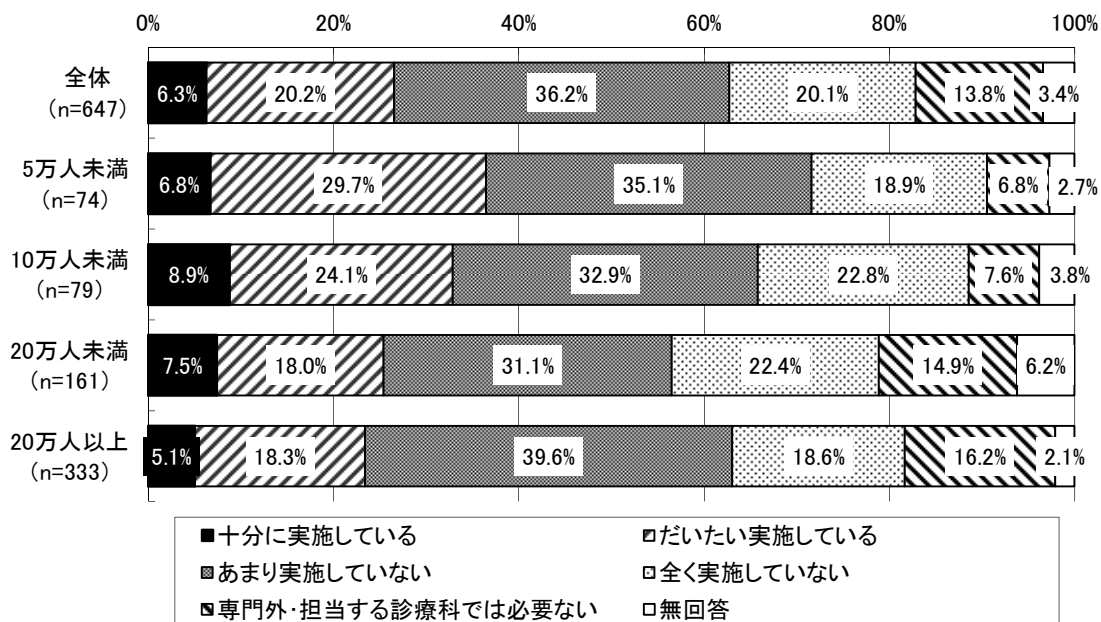
図表 3- 233 自院に継続して通院している患者に対する対応状況
 ～17) 生活習慣病の予防・指導・管理（食事、運動、睡眠指導など）（地域別）～



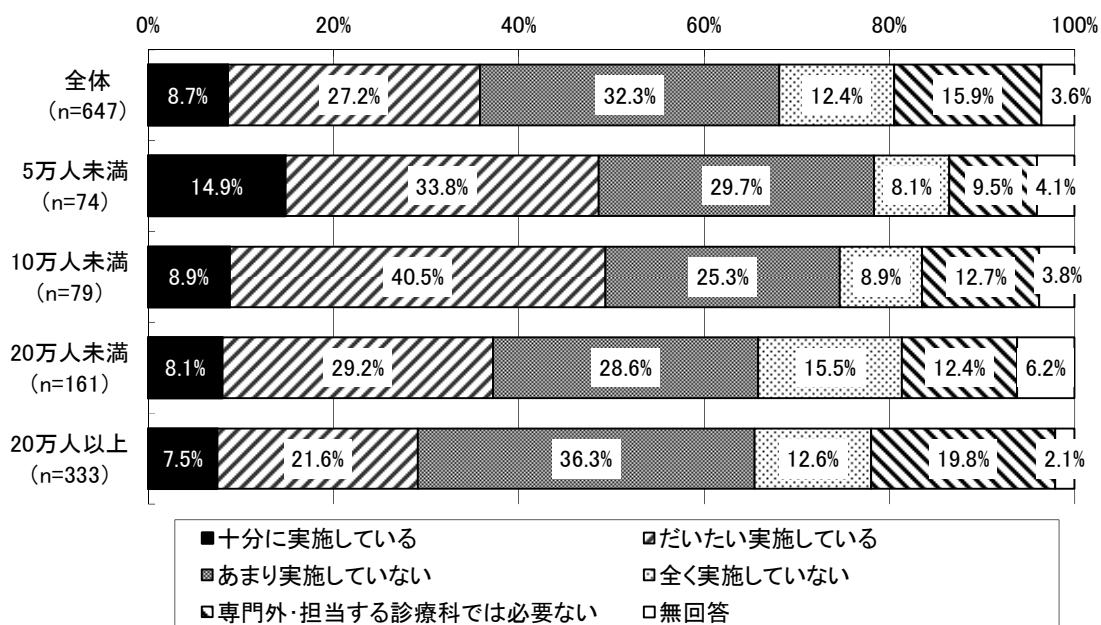
図表 3- 234 自院に継続して通院している患者に対する対応状況
 ～18) 禁煙指導・禁煙治療の勧奨・実施（地域別）～



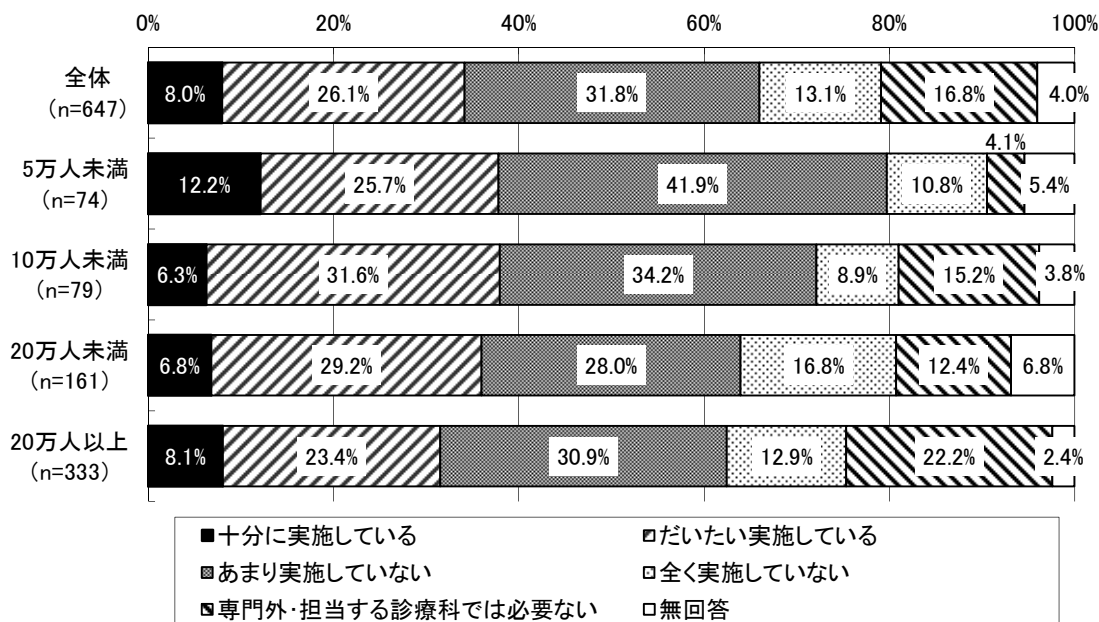
図表 3- 235 自院に継続して通院している患者に対する対応状況
 ～19) 虐待の発生予防や発見後の適切な対応（地域別）～



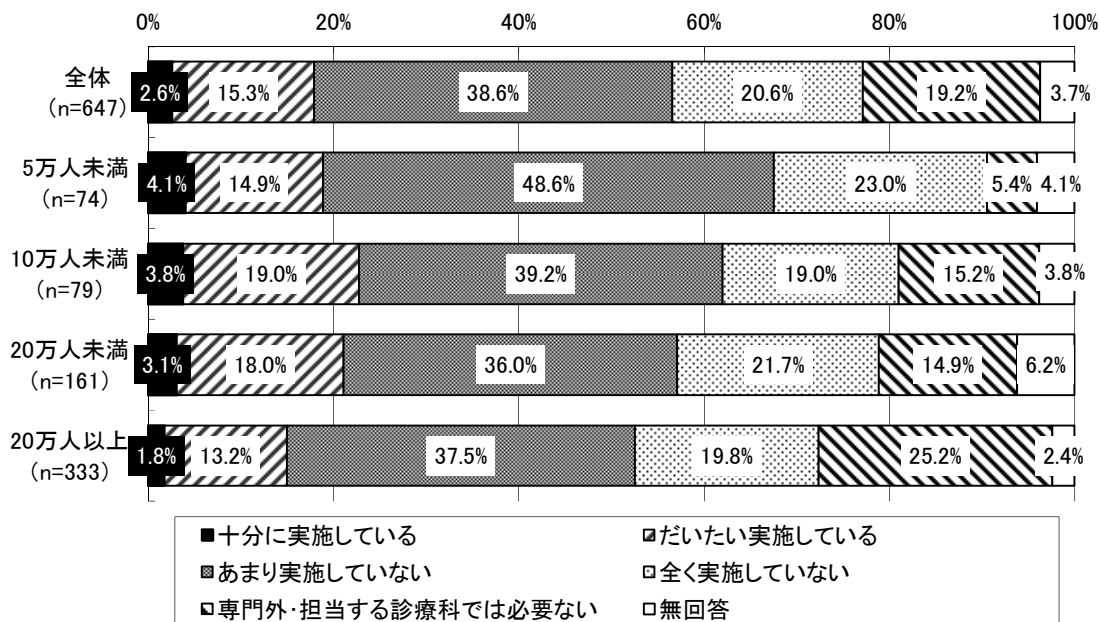
図表 3- 236 自院に継続して通院している患者に対する対応状況
 ～20) うつや自殺の予防、専門医療へのアクセスの支援（地域別）～



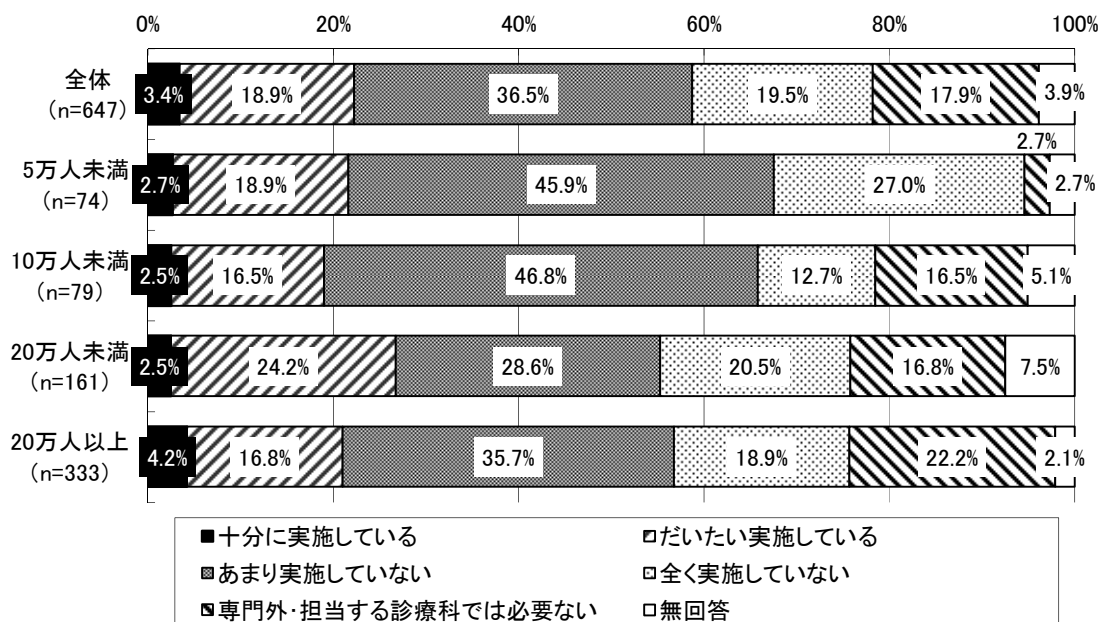
図表 3- 237 自院に継続して通院している患者に対する対応状況
 ～21) 高齢者に対するフレイル予防の実施（地域別）～



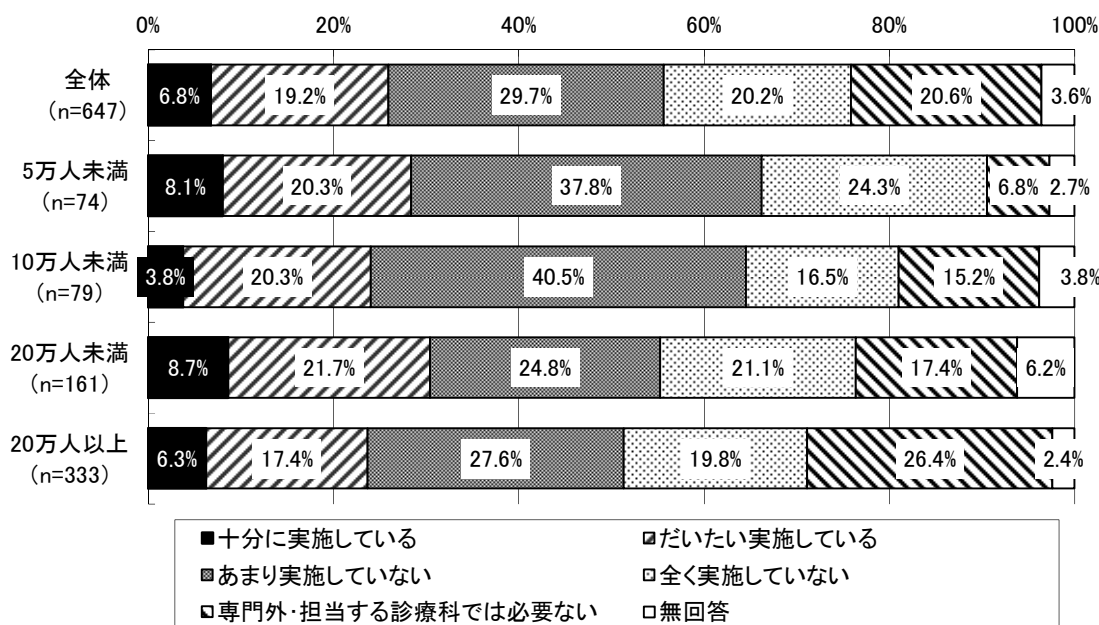
図表 3- 238 自院に継続して通院している患者に対する対応状況
 ～22) 高齢者に対する口腔嚥下機能の評価（地域別）～



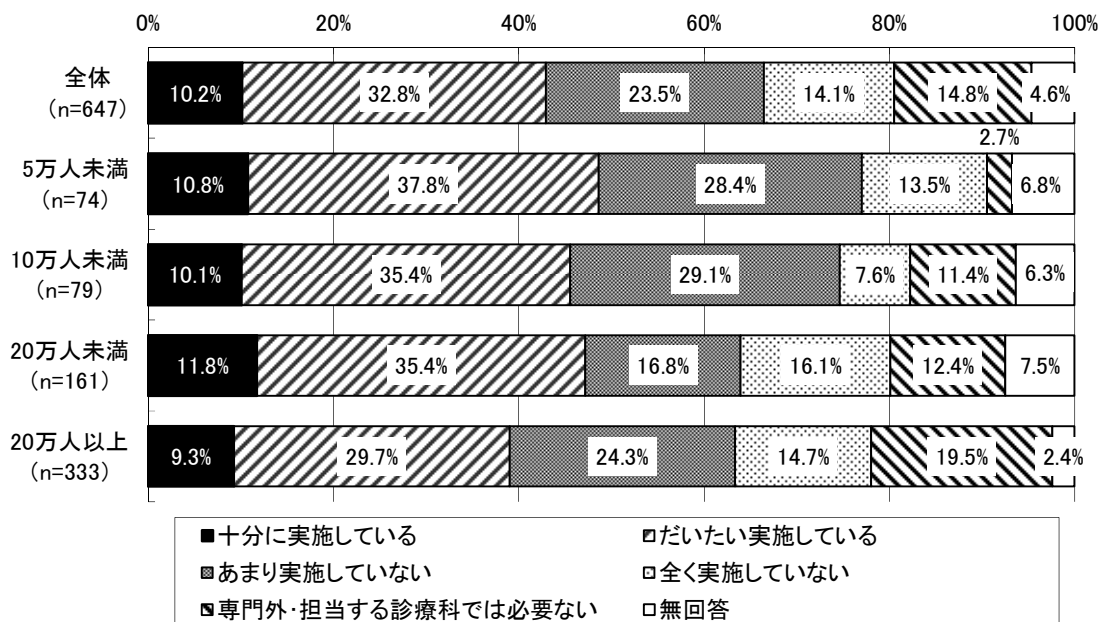
図表 3- 239 自院に継続して通院している患者に対する対応状況
 ～23) 高齢者総合機能評価の実施(地域別)～



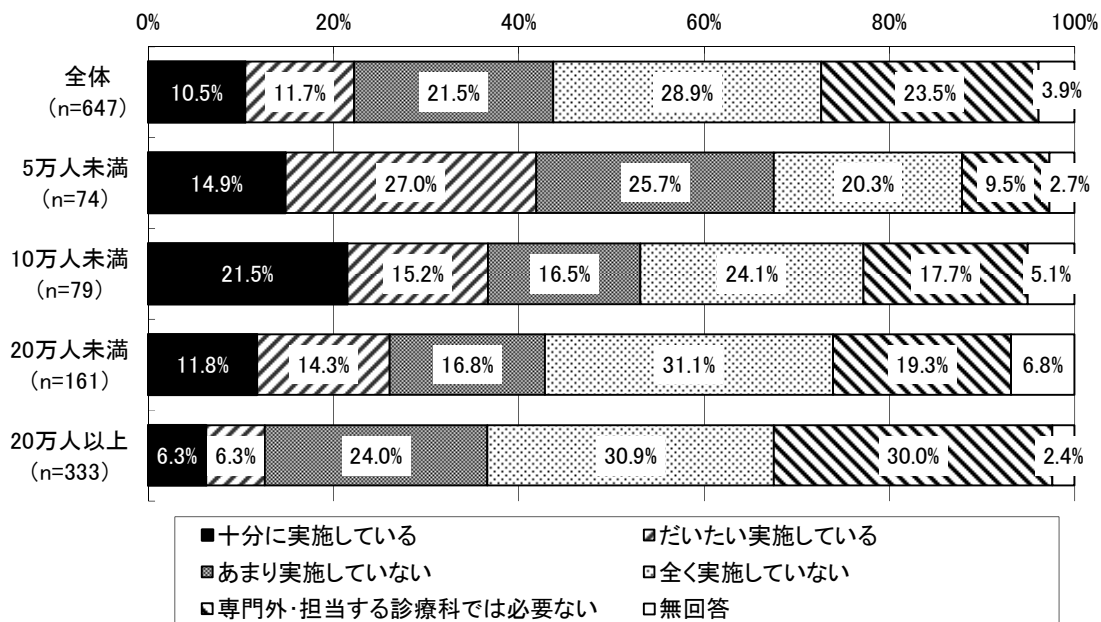
図表 3- 240 自院に継続して通院している患者に対する対応状況
 ～24) 適切なリハビリテーションの処方(地域別)～



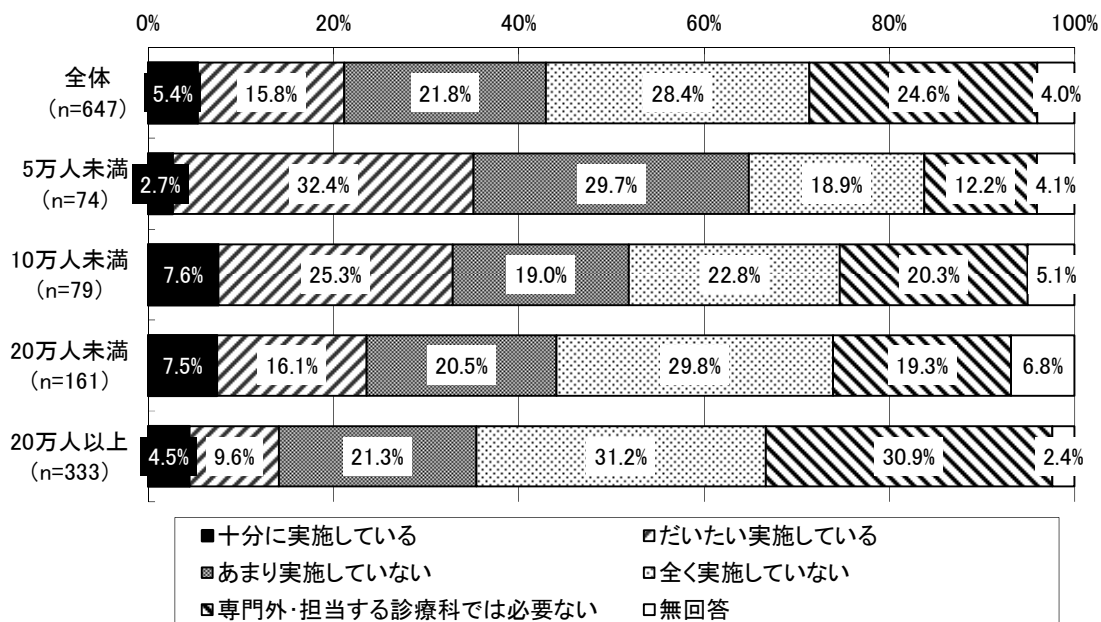
図表 3- 241 自院に継続して通院している患者に対する対応状況
 ～25) 療養方針に関する療養者・家族の意思決定の支援（地域別）～



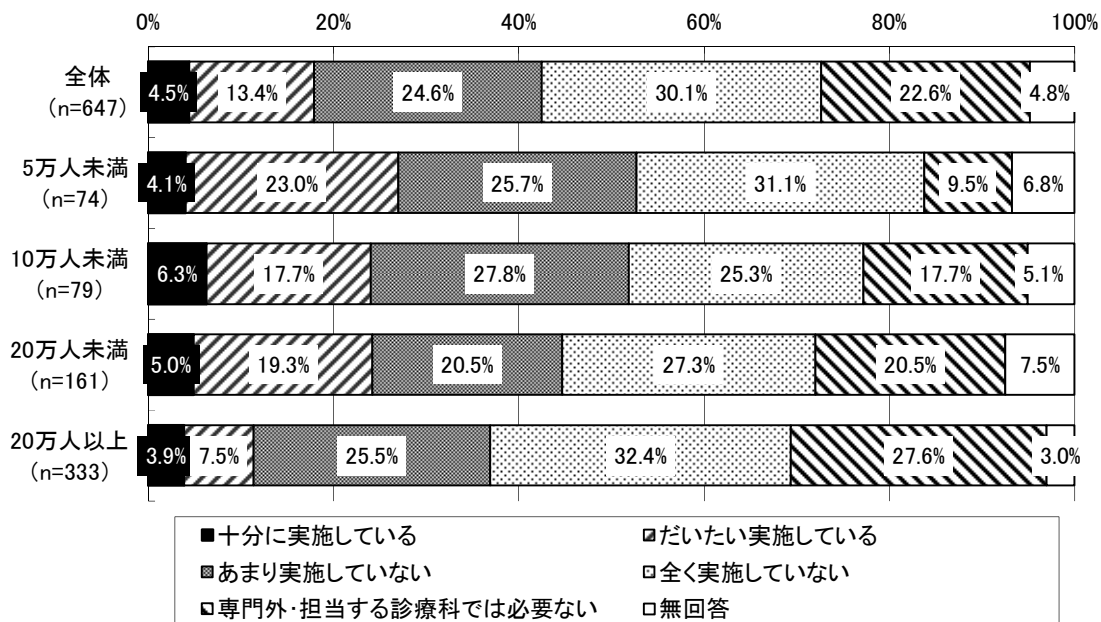
図表 3- 242 自院に継続して通院している患者に対する対応状況
 ～26) 在宅医療におけるターミナルケアの実施（地域別）～



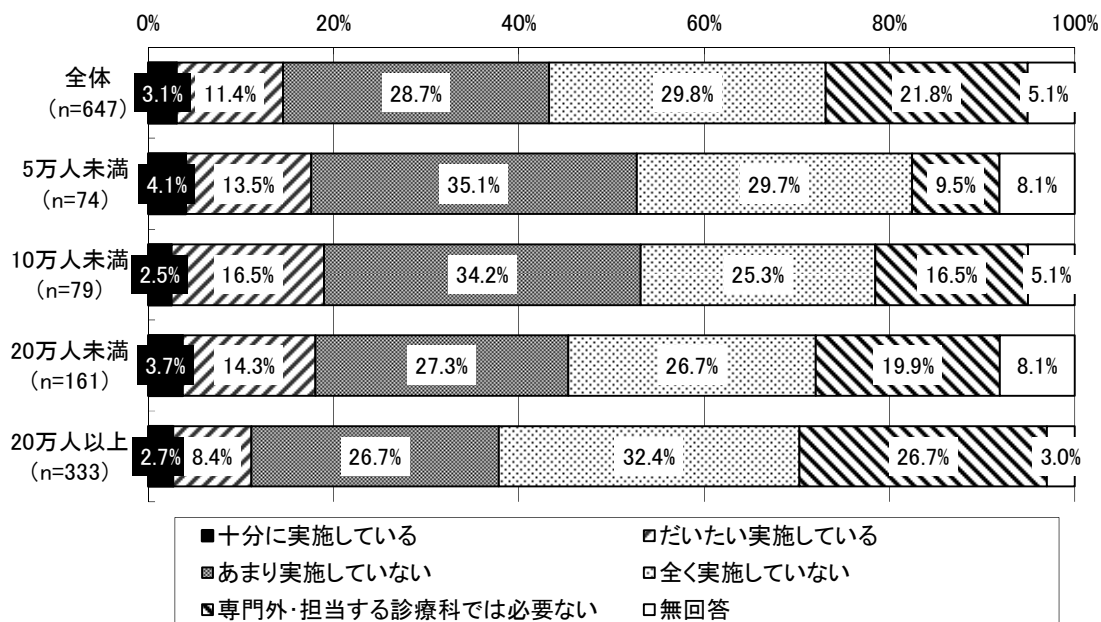
図表 3- 243 自院に継続して通院している患者に対する対応状況
 ～27) 延命治療、看取りにおけるリビングウイルの形成の支援（地域別）～



図表 3- 244 自院に継続して通院している患者に対する対応状況
 ～28) 家族等のレスパイトケア（地域別）～



図表 3- 245 自院に継続して通院している患者に対する対応状況
 ～29) 患者の家族に対するグリーフケア（地域別）～

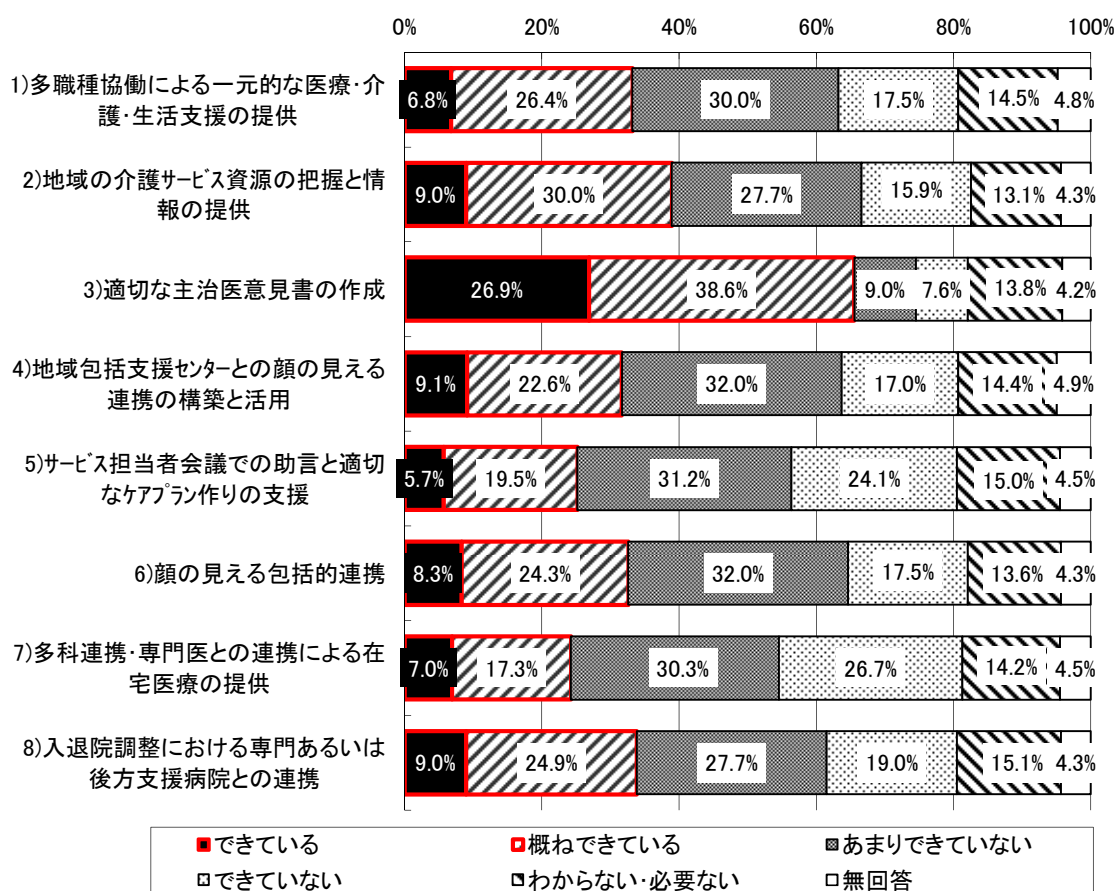


(3) 日頃の診療活動における各取組の実施状況等

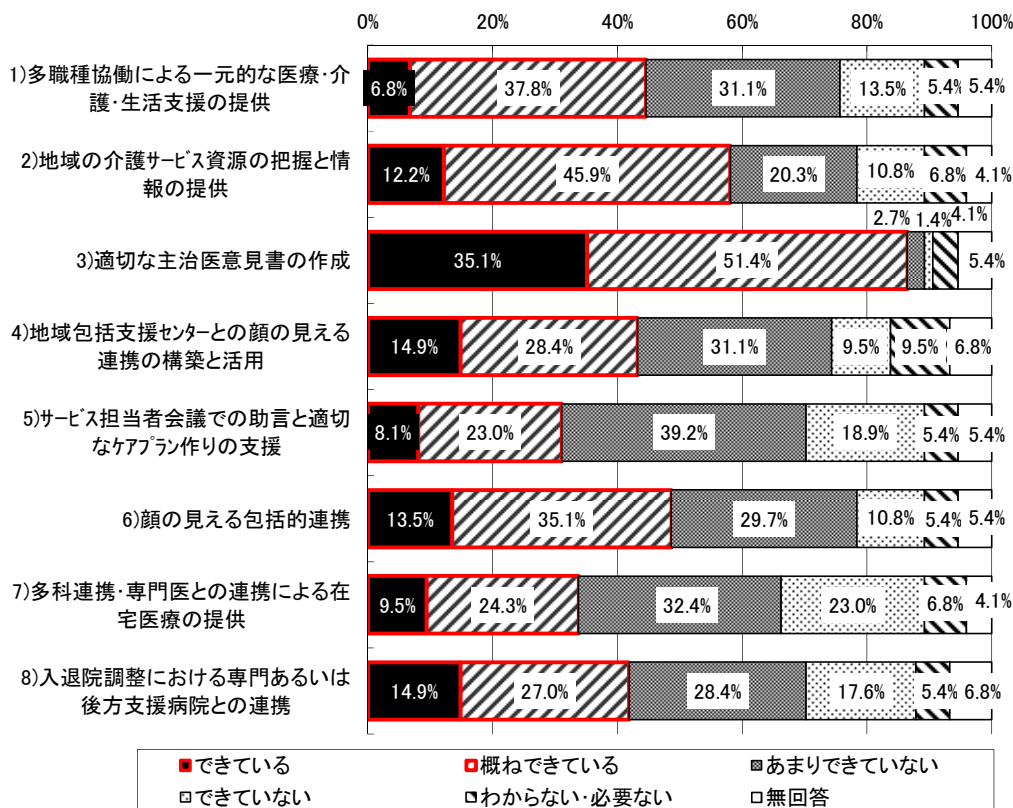
①日頃の診療活動における各取組の実施状況

- ・日頃の診療活動における各取組の実施状況についてみると、「適切な主治医意見書の作成」については「できている」が26.9%、「概ねできている」が38.6%であり、両者を合わせた割合は65.5%となり、他の取組と比較して高かった。
- ・他の取組については「できている」「概ねできている」よりは「あまりできていない」「できていない」の割合が高かった。

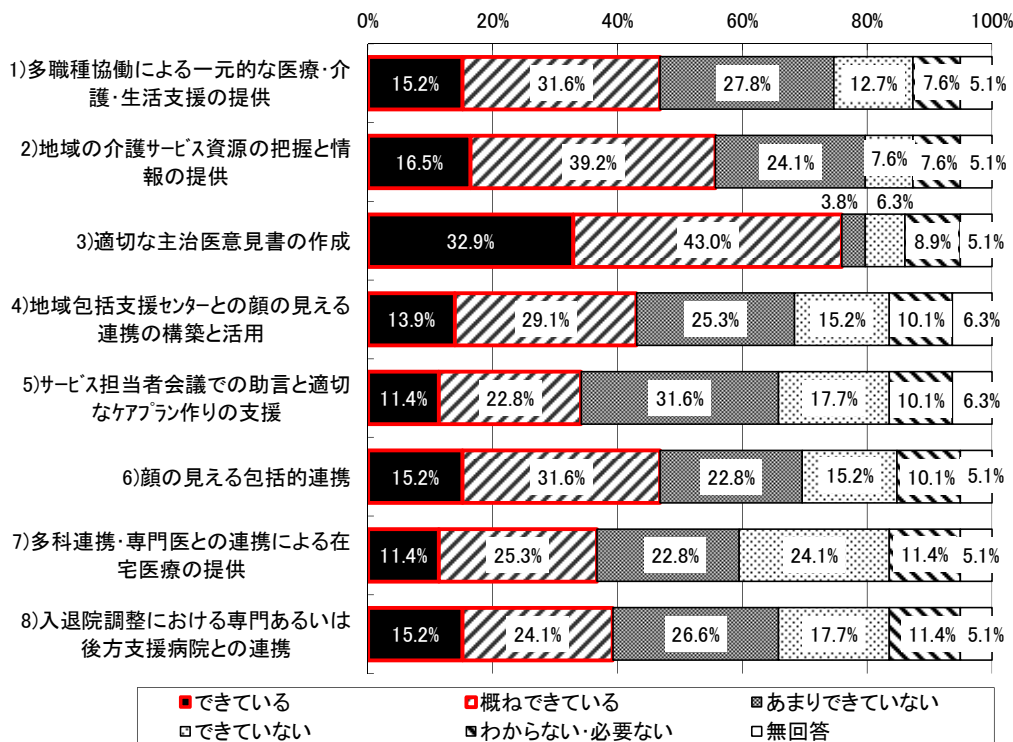
図表 3-246 日頃の診療活動における各取組の実施状況（全体、n=647）



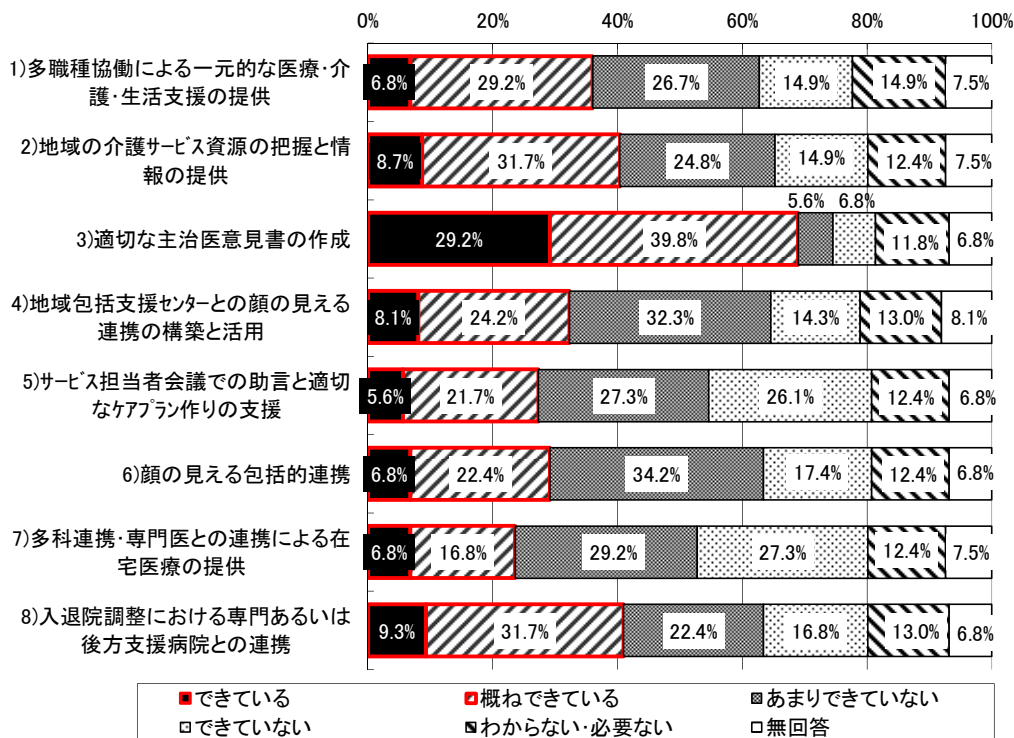
図表 3- 247 日頃の診療活動における各取組の実施状況（5万人未満、n=74）



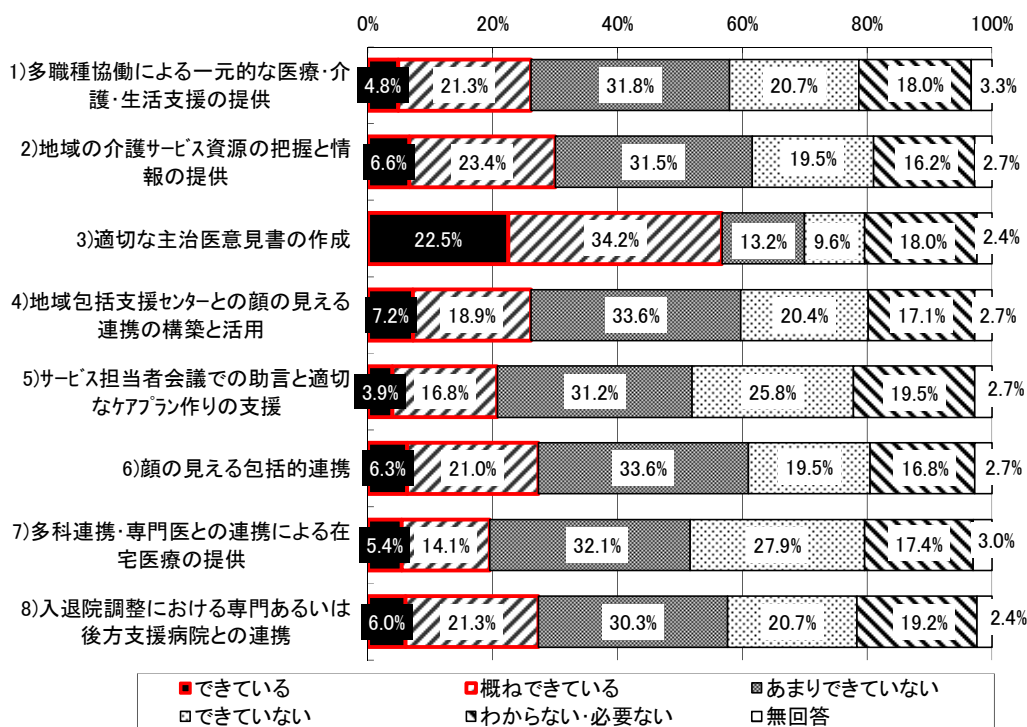
図表 3- 248 日頃の診療活動における各取組の実施状況（10万人未満、n=79）



図表 3- 249 日頃の診療活動における各取組の実施状況（20 万人未満、n=161）



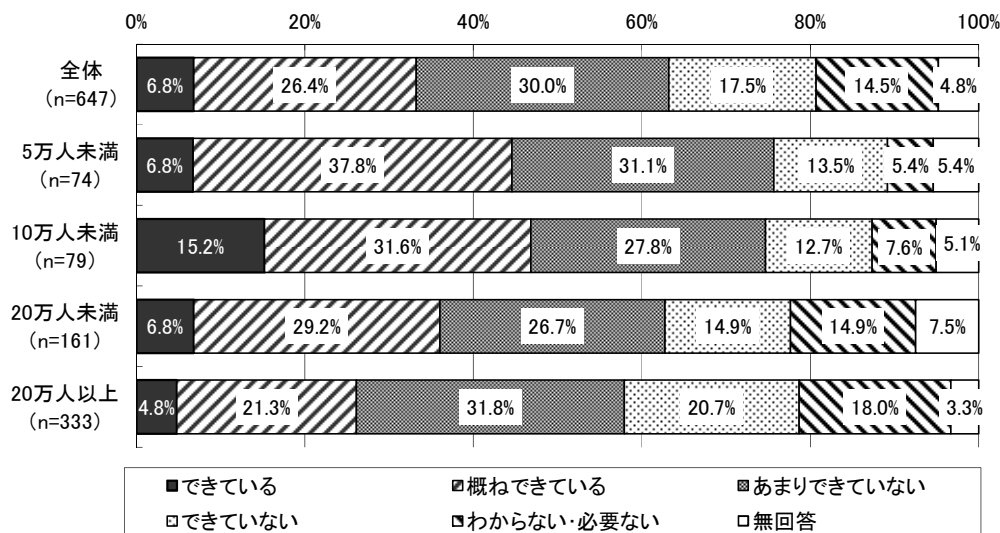
図表 3- 250 日頃の診療活動における各取組の実施状況（20 万人以上、n=333）



②日頃の診療活動における各取組の実施状況（地域別）

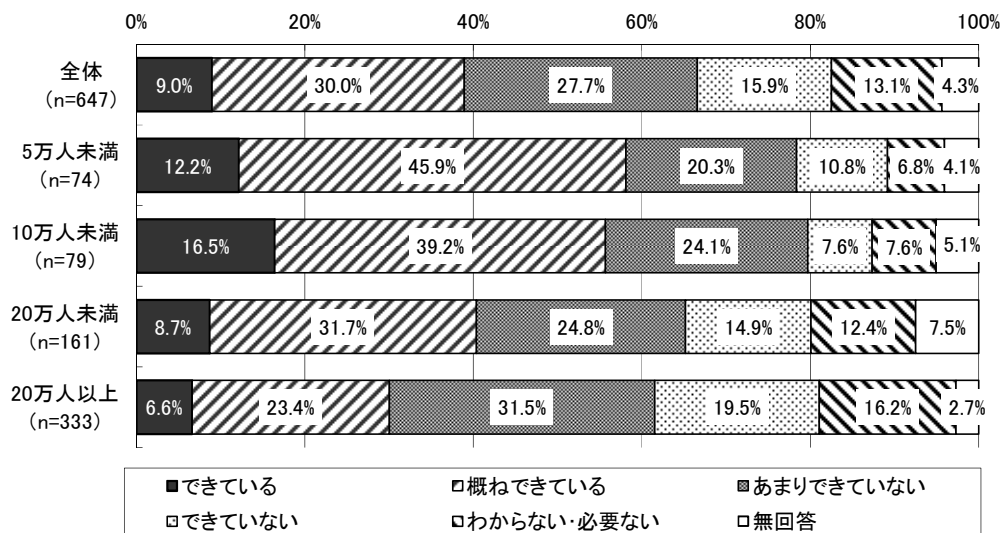
図表 3- 251 日頃の診療活動における各取組の実施状況（地域別）

～1) 多職種協働による一元的な医療・介護・生活支援の提供～



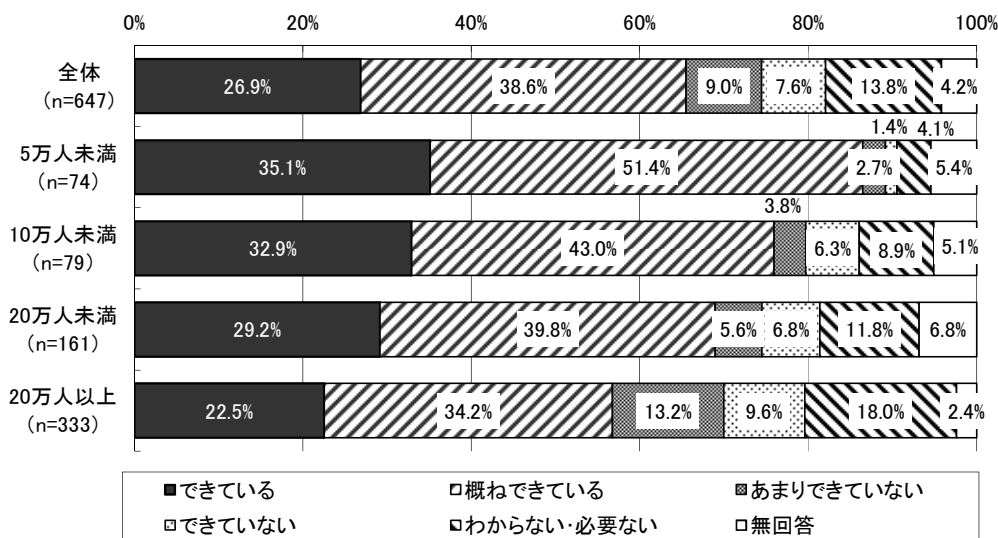
図表 3- 252 日頃の診療活動における各取組の実施状況（地域別）

～2) 地域の介護サービス資源の把握と情報の提供～



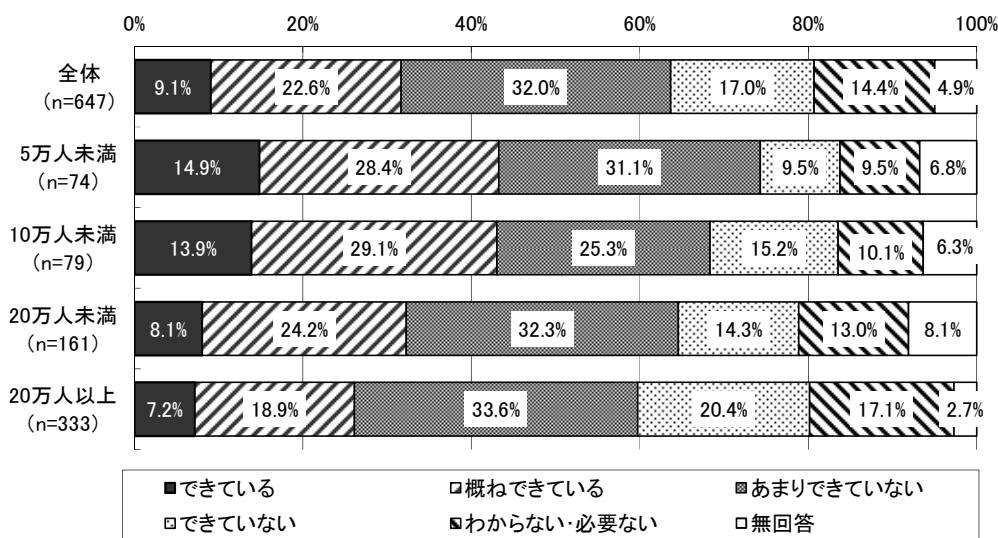
図表 3- 253 日頃の診療活動における各取組の実施状況（地域別）

～3) 患者の生活機能と介護ニーズの把握による、適切な主治医意見書の作成～

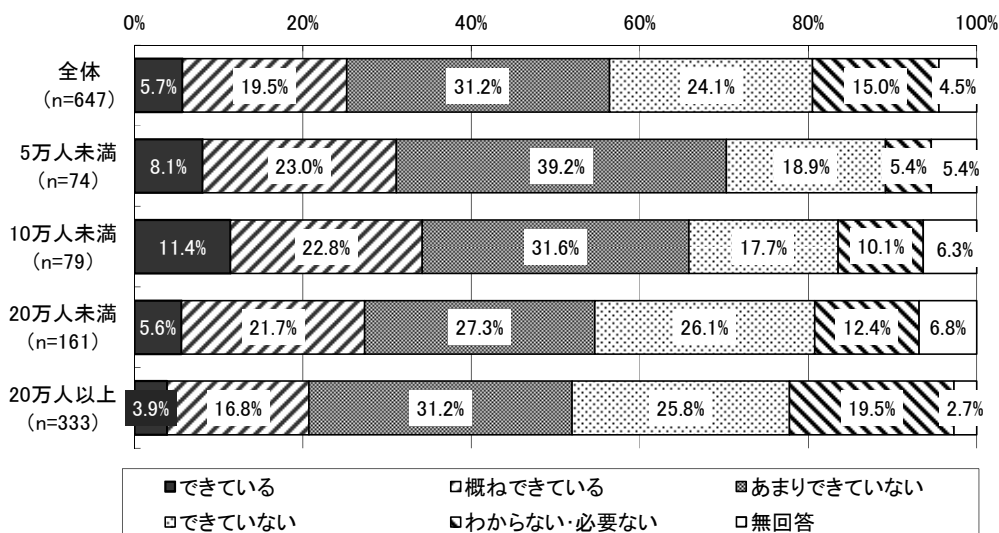


図表 3- 254 日頃の診療活動における各取組の実施状況（地域別）

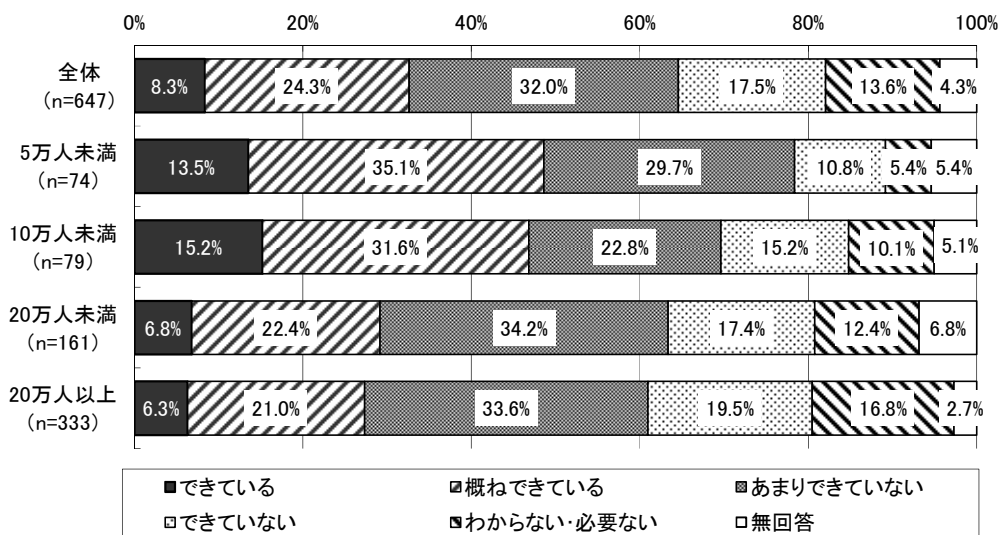
～4) 地域包括支援センターとの顔の見える連携の構築と活用～



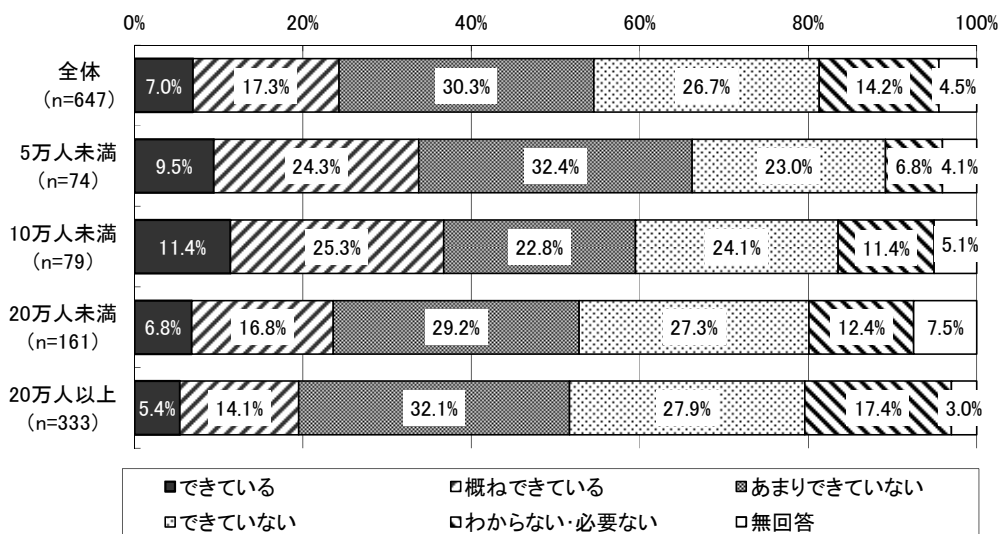
図表 3- 255 日頃の診療活動における各取組の実施状況（地域別）
 ～5) 患者の医療・介護ニーズについてのサービス担当者会議での助言と適切なケアプランづくりの支援～



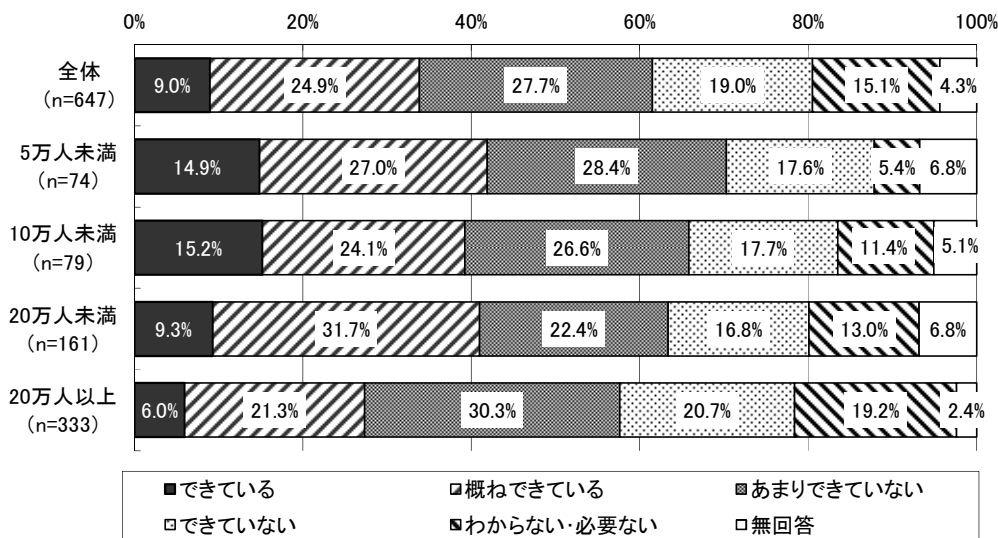
図表 3- 256 日頃の診療活動における各取組の実施状況（地域別）
 ～6) 地域包括支援センター、ケアマネジャー、ヘルパー、訪問看護師との顔の見える包括的連携～



図表 3- 257 日頃の診療活動における各取組の実施状況（地域別）
 ～7) 多科連携・専門医との連携による在宅医療の提供～



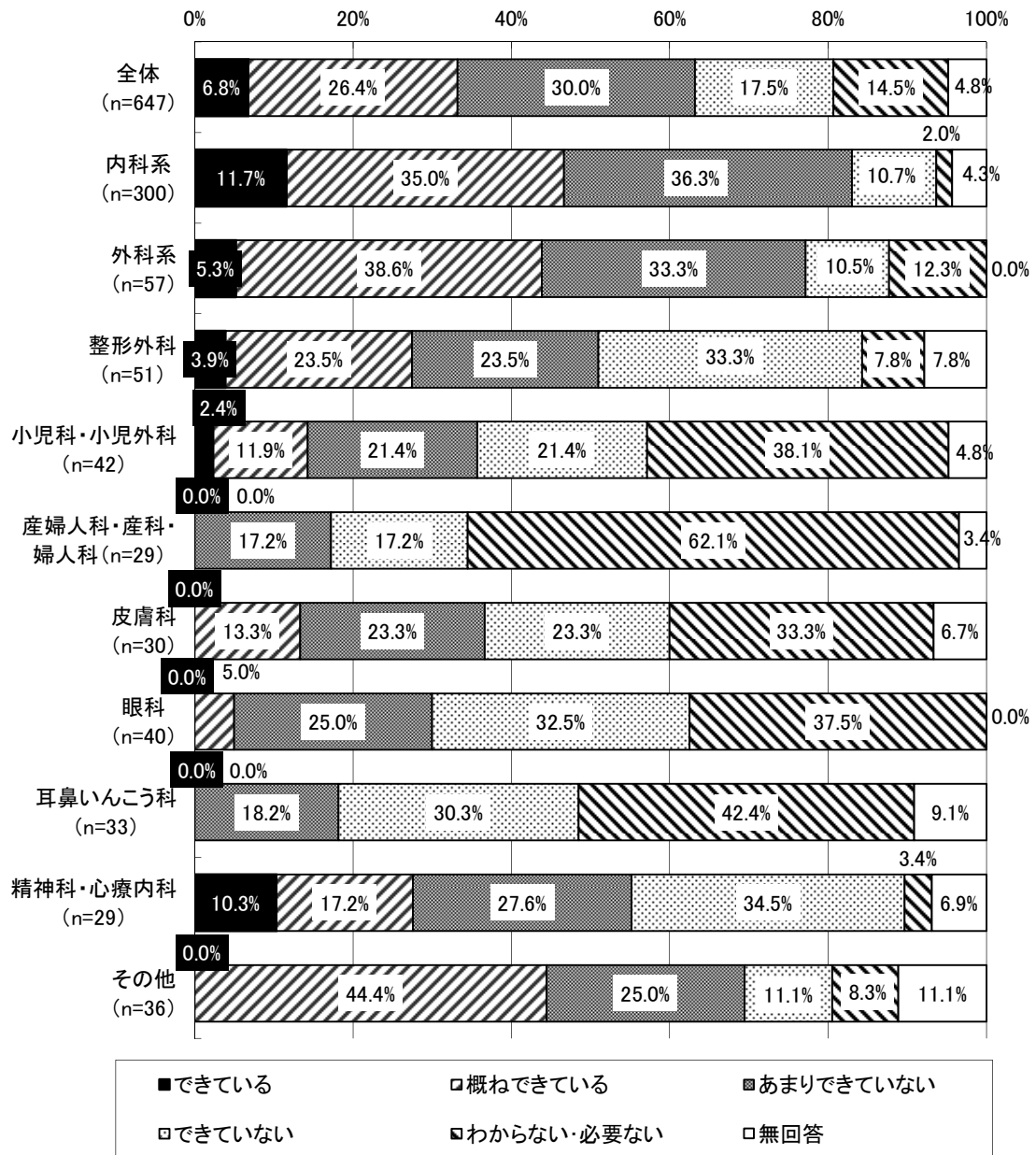
図表 3- 258 日頃の診療活動における各取組の実施状況（地域別）
 ～8) 入退院調整における専門あるいは後方支援病院との連携～



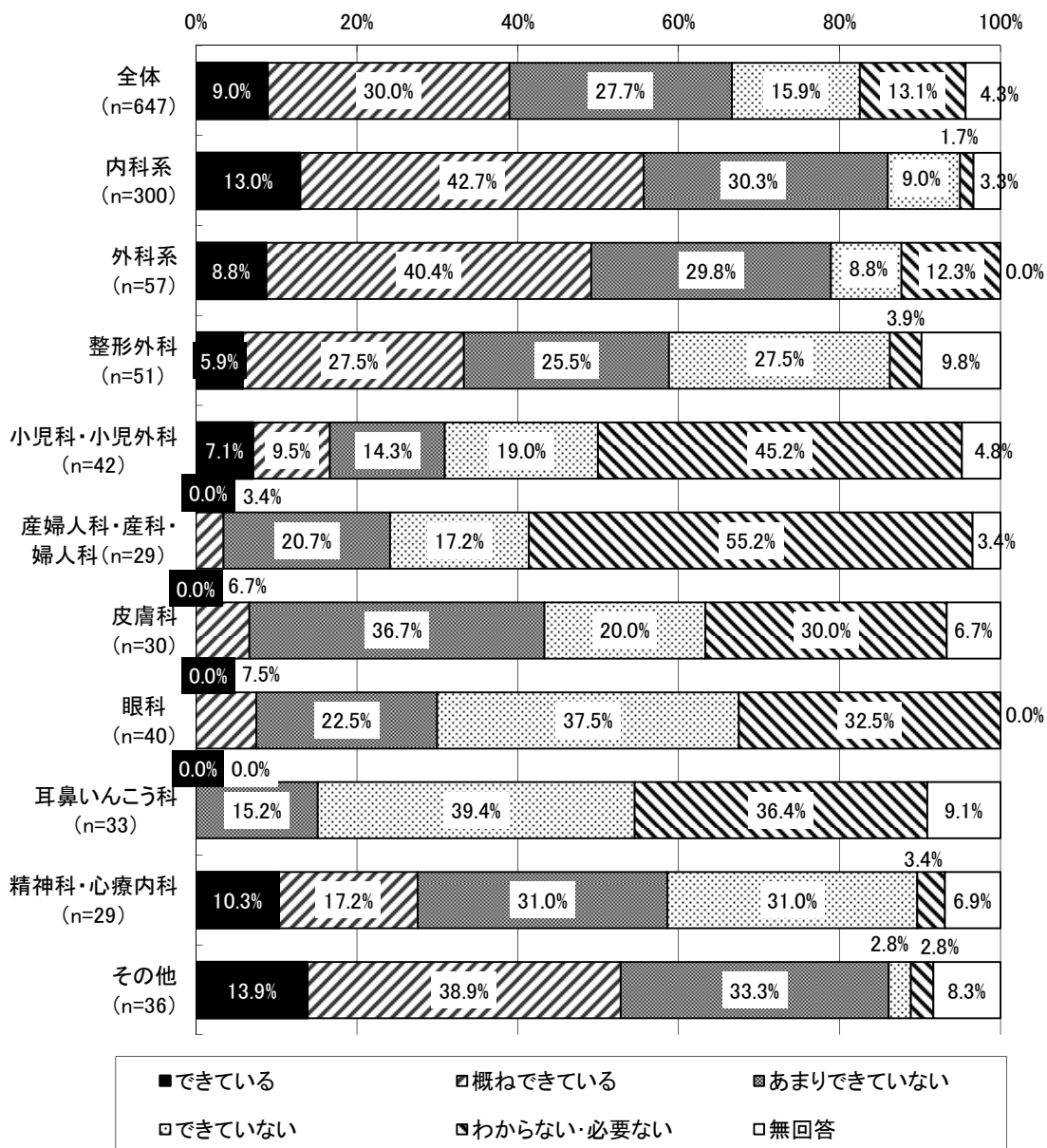
③日頃の診療活動における各取組の実施状況（主たる担当診療科別）

図表 3- 259 日頃の診療活動における各取組の実施状況（主たる担当診療科別）

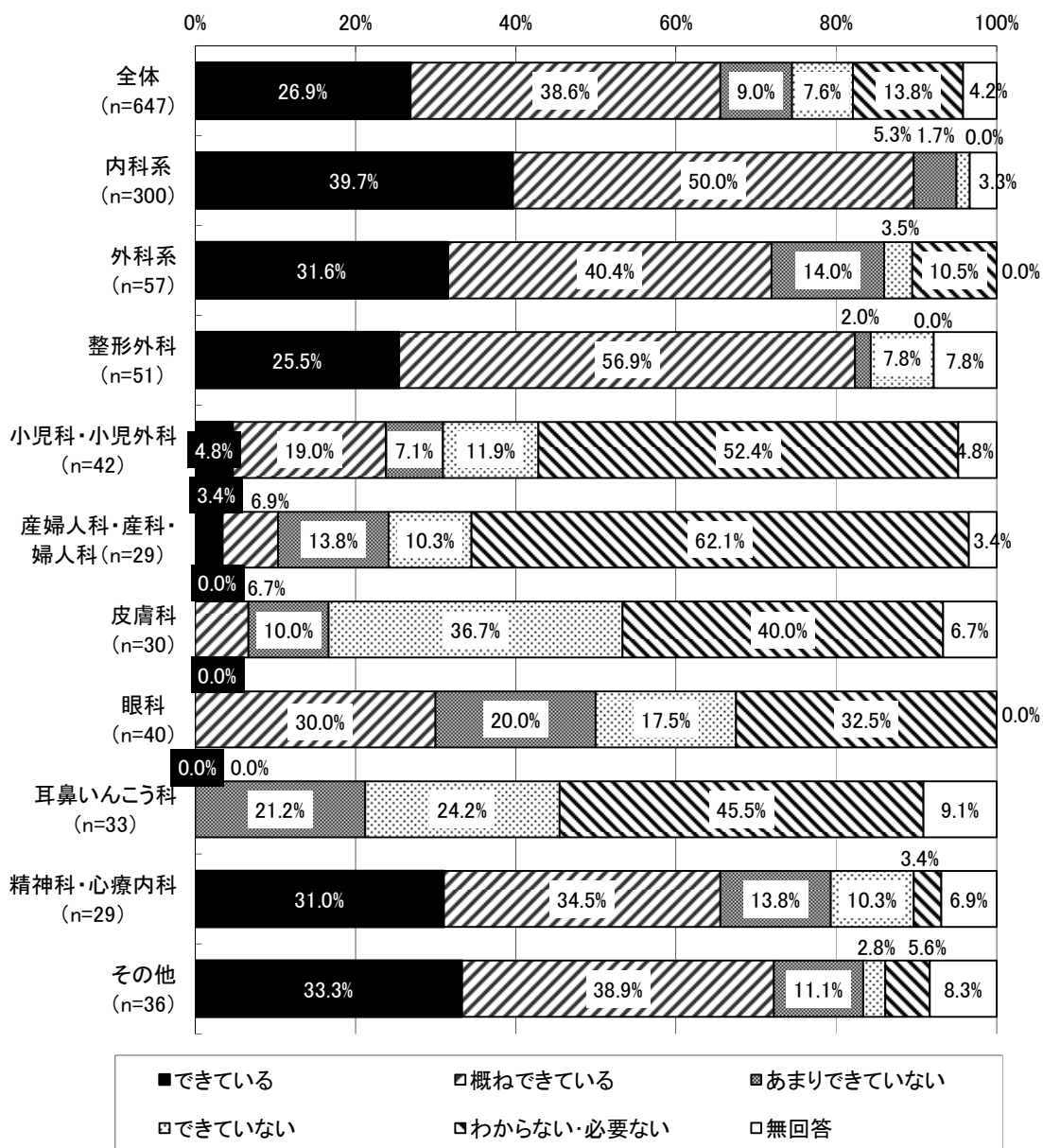
～1) 多職種協働による一元的な医療・介護・生活支援の提供～



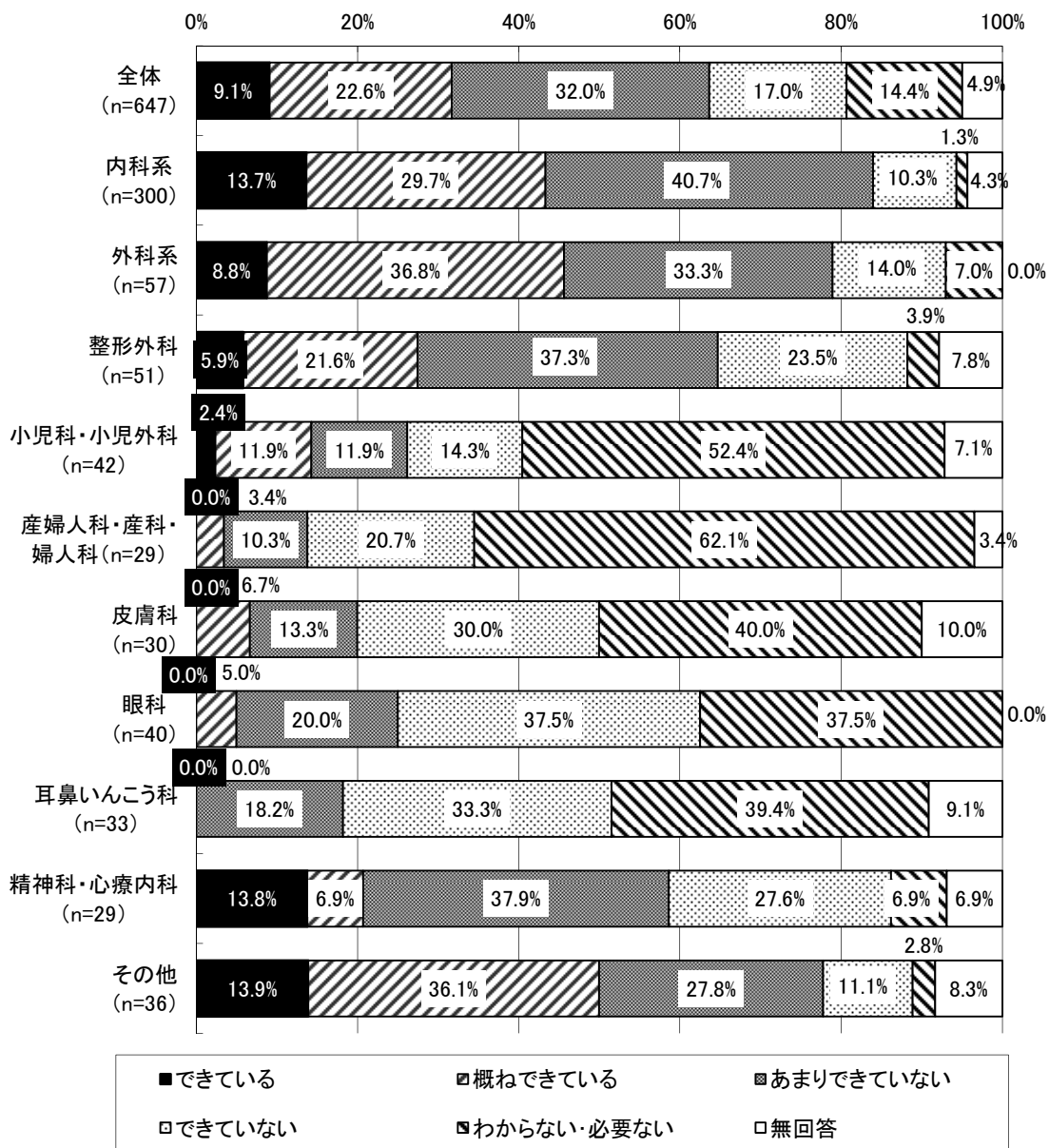
図表 3- 260 日頃の診療活動における各取組の実施状況（主たる担当診療科別）
 ～2) 地域の介護サービス資源の把握と情報の提供～



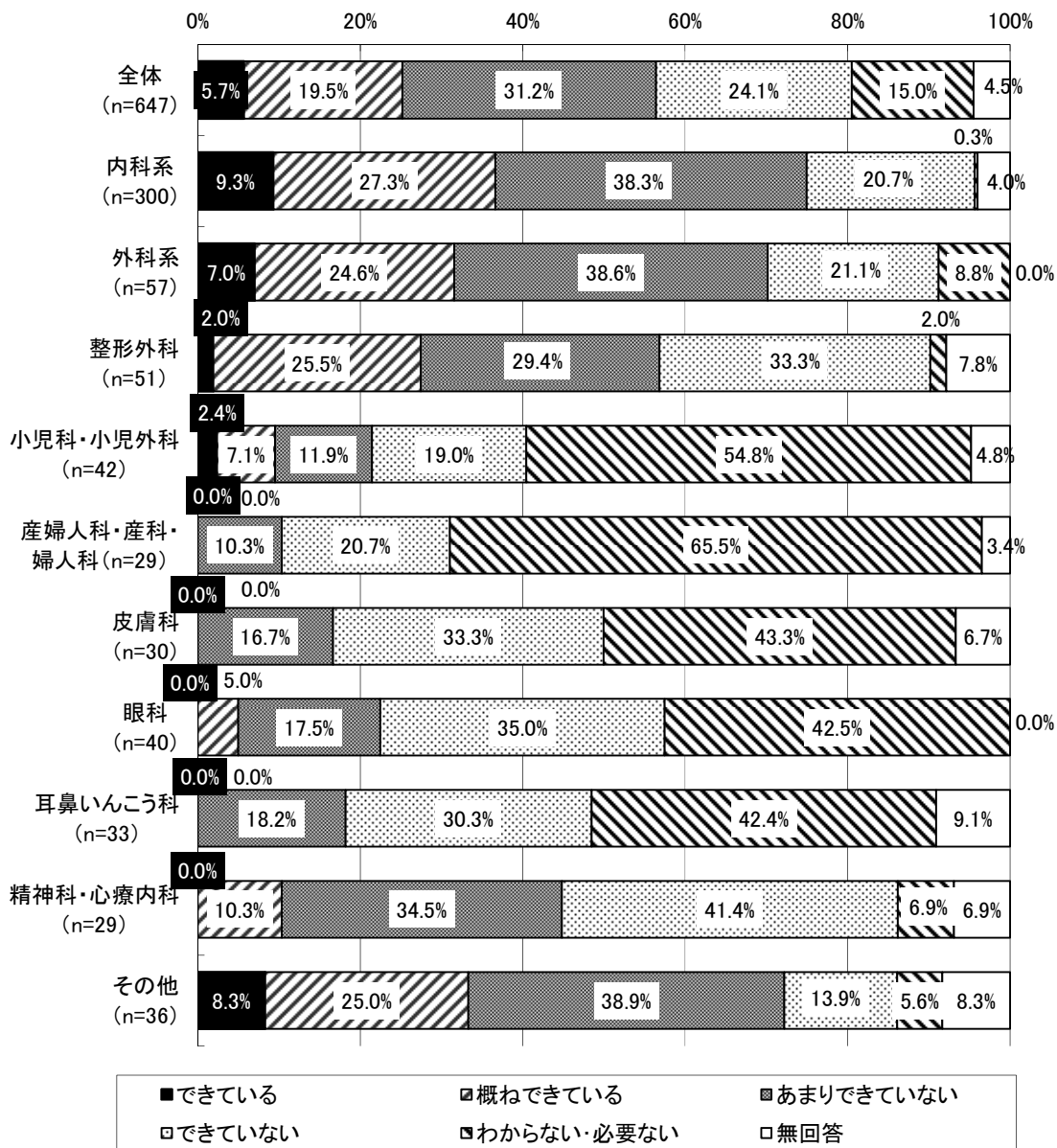
図表 3- 261 日頃の診療活動における各取組の実施状況（主たる担当診療科別）
 ～3) 患者の生活機能と介護ニーズの把握による、適切な主治医意見書の作成～



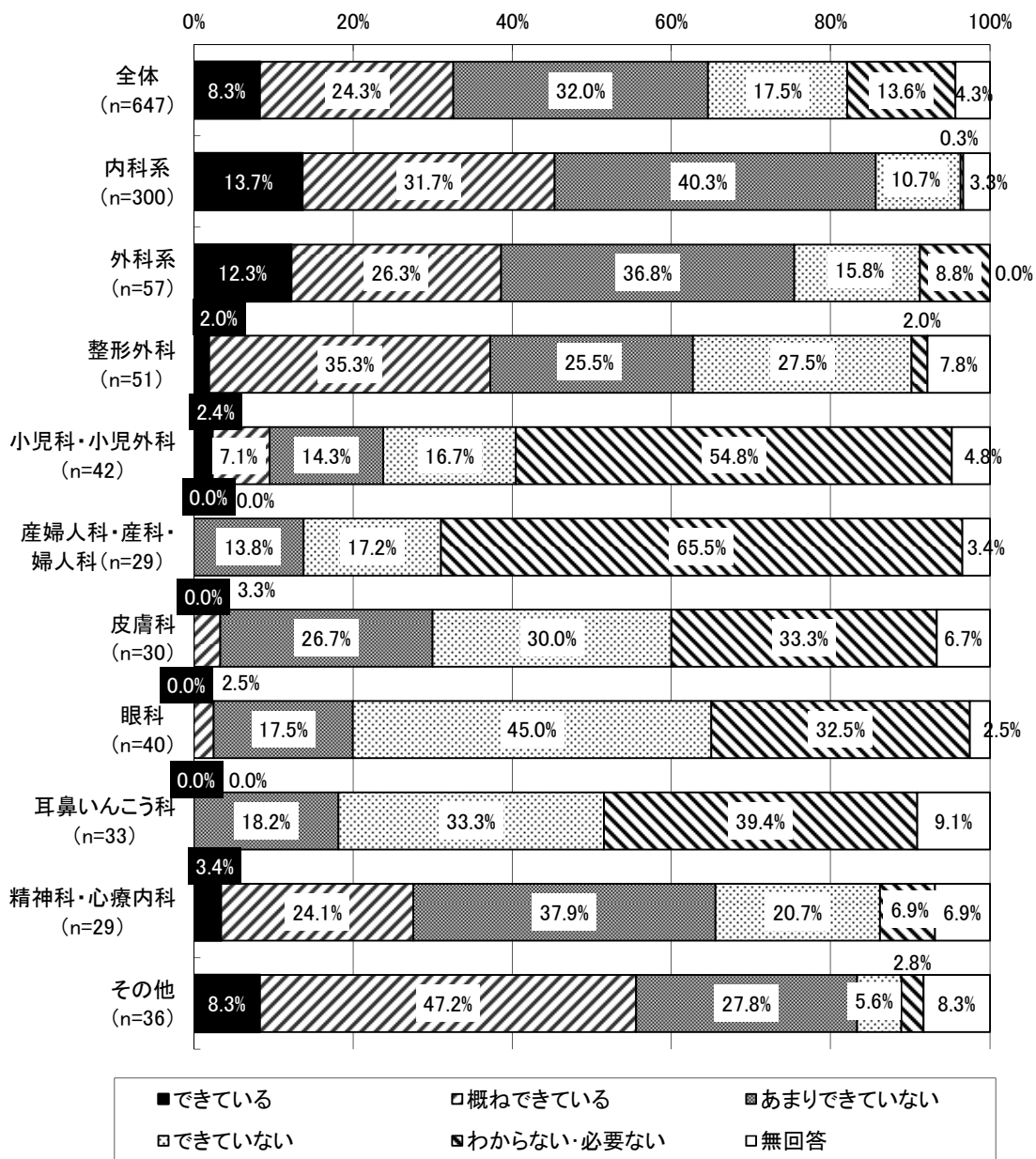
図表 3- 262 日頃の診療活動における各取組の実施状況（主たる担当診療科別）
 ～4) 地域包括支援センターとの顔の見える連携の構築と活用～



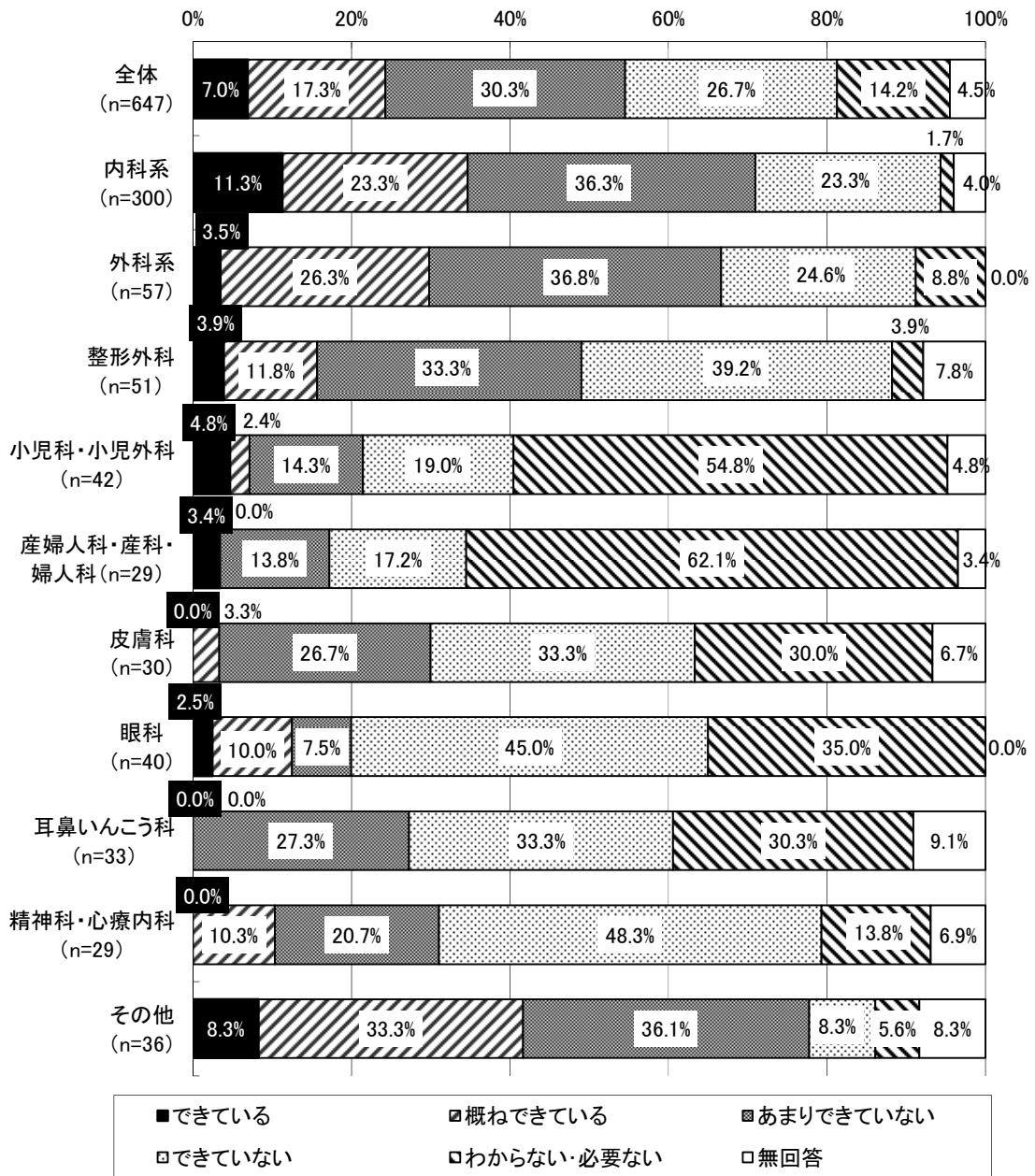
図表 3- 263 日頃の診療活動における各取組の実施状況（主たる担当診療科別）
 ～5) 患者の医療・介護ニーズについてのサービス担当者会議での助言と適切なケアプランづくりの支援～



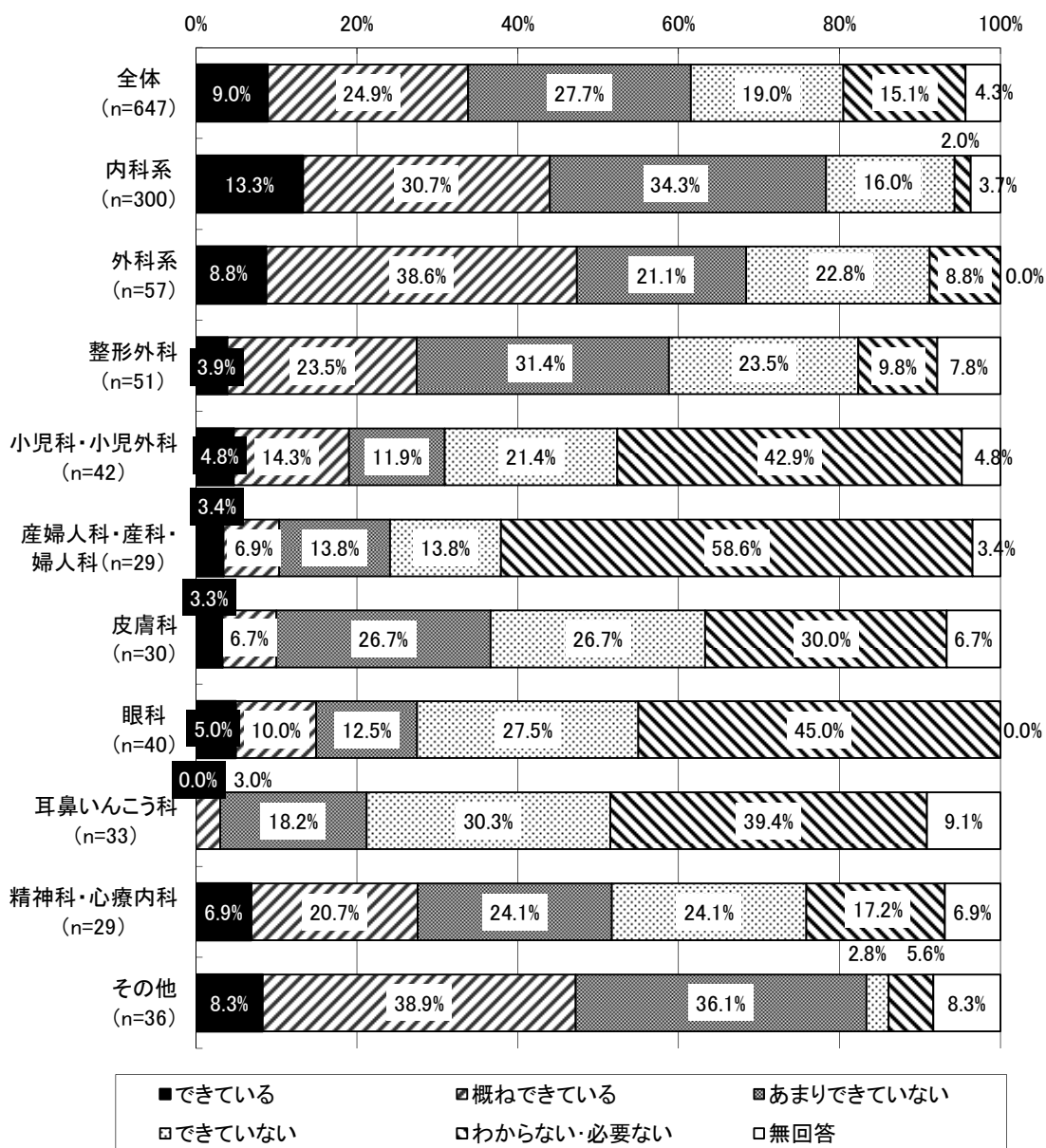
図表 3- 264 日頃の診療活動における各取組の実施状況（主たる担当診療科別）
 ～6）地域包括支援センター、ケアマネジャー、ヘルパー、訪問看護師との
 顔の見える包括的連携～



図表 3- 265 日頃の診療活動における各取組の実施状況（主たる担当診療科別）
 ～7) 多科連携・専門医との連携による在宅医療の提供～



図表 3- 266 日頃の診療活動における各取組の実施状況（主たる担当診療科別）
 ～8) 入院調整における専門あるいは後方支援病院との連携～



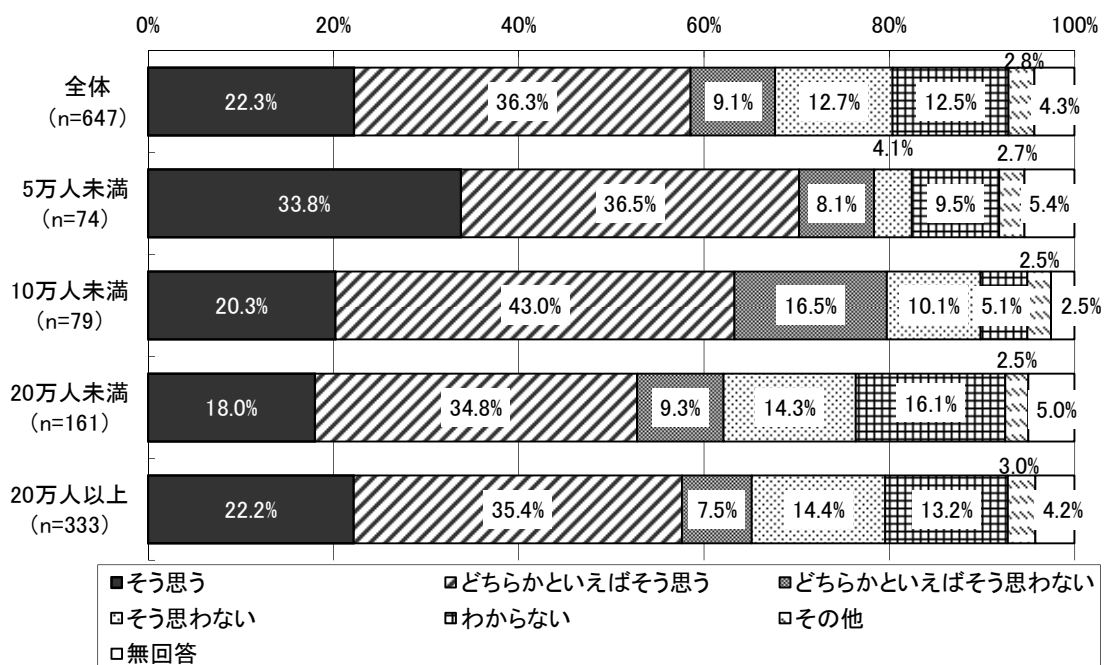
(4) かかりつけ医に関する考え等

①かかりつけ医としての機能の発揮・強化に関する意向

1) 地域別

- ・「今後、今よりも、かかりつけ医としての機能の発揮・強化を目指したいと思いますか」と今後の意向を尋ねたところ、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、5万人未満の地域では70.3%、10万人未満では63.3%、20万人未満では52.8%、20万人以上では57.6%であった。
- ・特に5万人未満の地域では「そう思う」の割合が33.8%で他の地域と比較して高かった。

図表 3-267 かかりつけ医としての機能の発揮・強化に関する意向（地域別）

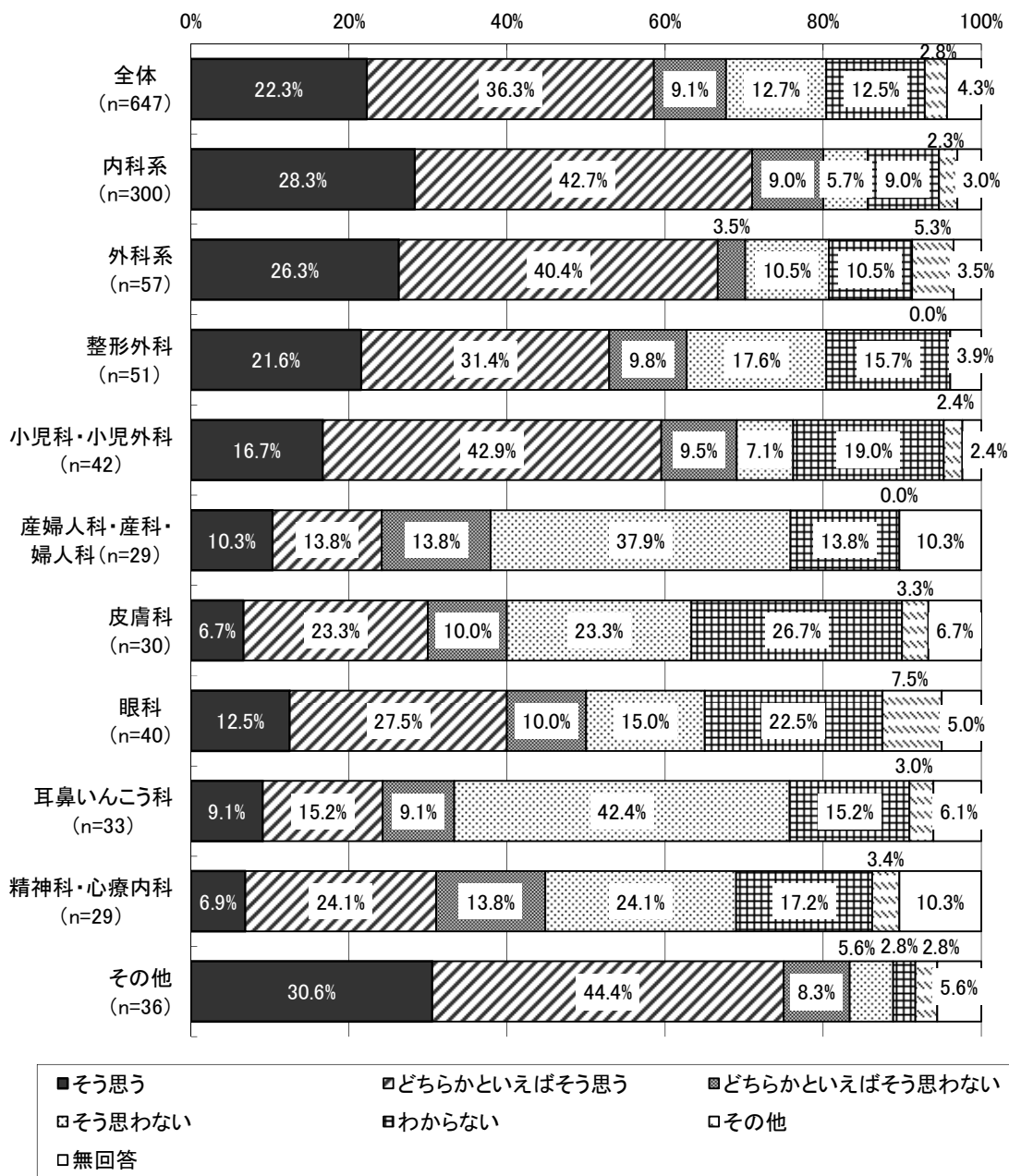


(注) 「その他」の内容として、「これ以上は難しい」(同旨含め7件)、「要望があれば」等が挙げられた。

2) 主たる担当診療科別

- ・主たる担当診療科別にかかりつけ医としての機能の発揮・強化に関する意向をみると、「内科系」、「外科系」、「整形外科」、「小児科・小児外科」では「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が5割を超えて多かった。
- ・「産婦人科・産科・婦人科」、「耳鼻いんこう科」では「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の割合が5割を超えて多かった。

図表 3- 268 かかりつけ医としての機能の発揮・強化に関する意向
(主たる担当診療科別)

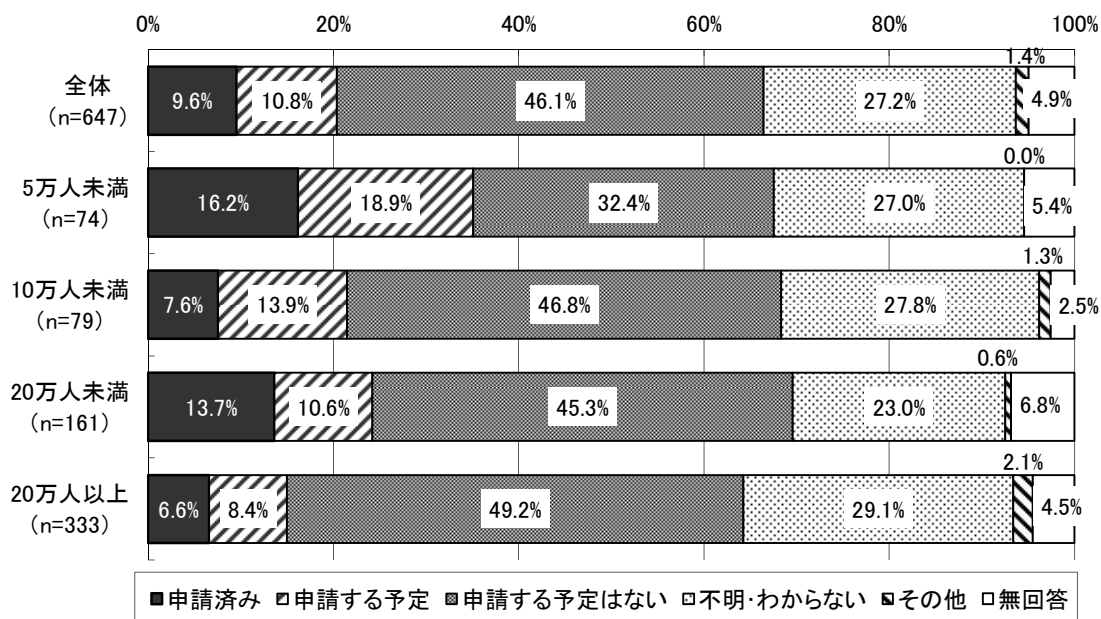


②日医の「かかりつけ医機能研修制度」修了証または認定証の申請状況

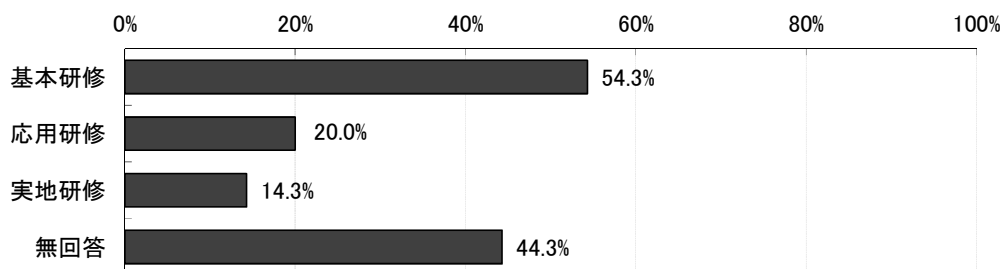
1) 地域別

- ・日医の「かかりつけ医機能研修制度」修了証または認定証の申請状況についてみると、5万人未満の地域では、「申請済み」が16.2%、「申請する予定」が18.9%であり、他の地域よりもこれらの割合が高かった。
- ・10万人未満の地域では「申請済み」が7.6%、「申請する予定」が13.9%、20万人未満の地域では「申請済み」が13.7%、「申請する予定」が10.6%、20万人以上の地域では「申請済み」が6.6%、「申請する予定」が8.4%であった。
- ・20万人以上では「申請する予定はない」が半数近くを占め、他の地域と比較して高かった。

図表 3- 269 日医の「かかりつけ医機能研修制度」修了証または認定証の申請状況 (地域別)



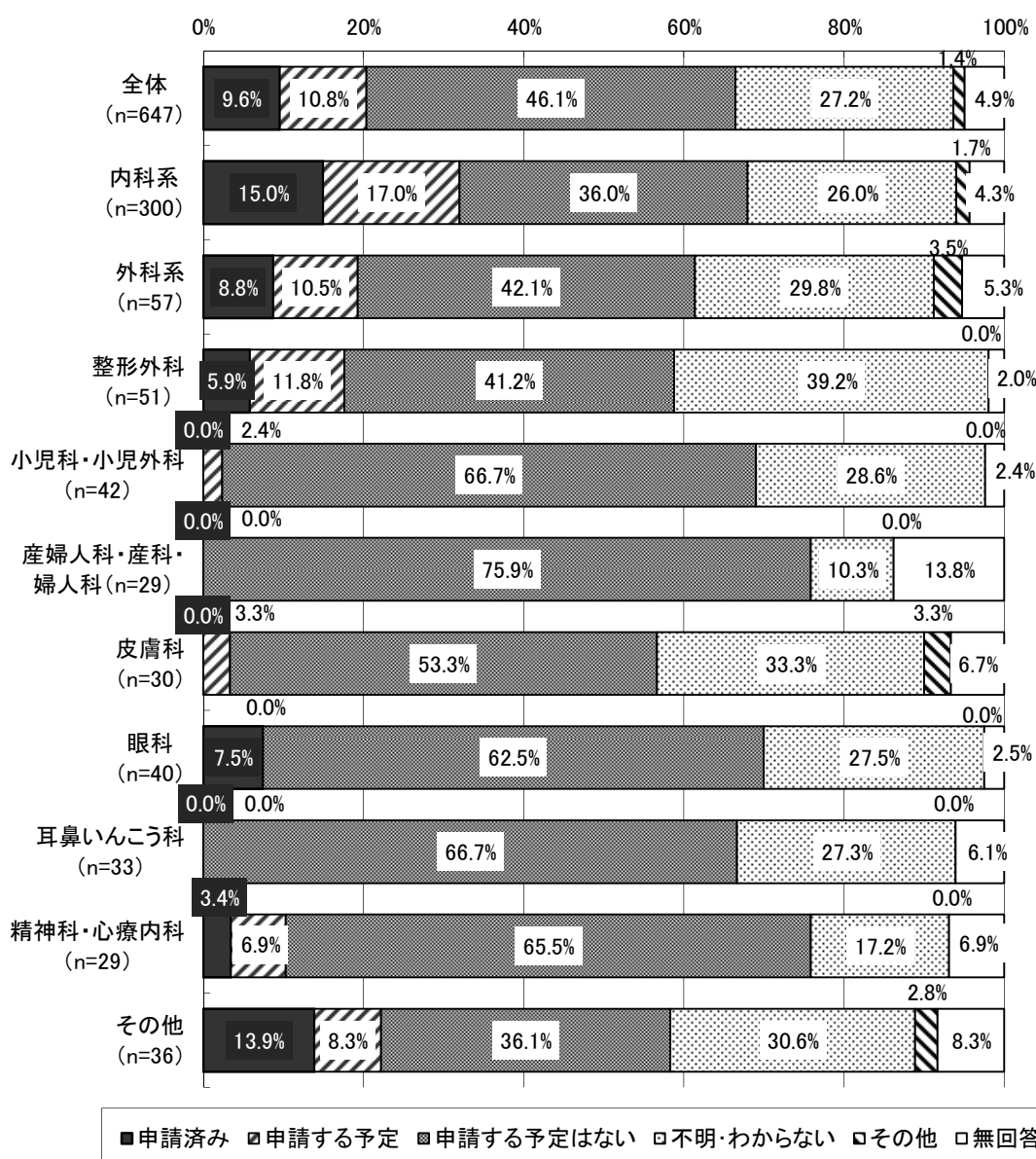
図表 3- 270 修了あるいは受講・実施中の研修 (複数回答) (申請する予定の院長、n=70)



2) 主たる担当診療科別

- ・主たる担当診療科別にみると、「内科系」では「申請済み」が15.0%、「申請する予定」が17.0%であった。また、「外科系」では「申請済み」が8.8%、「申請する予定」が10.5%であった。また、「整形外科」では「申請済み」が5.9%、「申請する予定」が11.8%であった。

図表 3- 271 日医の「かかりつけ医機能研修制度」修了証または認定証の申請状況
(主たる担当診療科別)



③「かかりつけ医」に関する考え

- ・院長が考える「かかりつけ医」について自由記述式で記載のあった内容を整理したものが次の図表である。

図表 3- 272 院長が考える「かかりつけ医」とは（自由記述式）

○相談のしやすさ（同旨含め 54 件）

- ・かかりつけ医とは、地域で気軽に相談できる“よろず相談所”。敷居の低い間柄でないと患者を全人的に診ることはできない。患者自身を主人公として接しなければ深い医療、地域医療はできない。
- ・患者の窓口的な存在。何でも相談できる存在。必要であれば医療介護サービスの紹介や生活も含めたアドバイスもできる。
- ・生活環境を知ったうえで、身体のみならず、心のケアも考えてくれる医師。
- ・いつでも患者・家族からの相談を受けることができる医師。
- ・病気のことで心配なことがあれば専門以外のことでも気軽に相談できる医師。 /等

○自院での治療とできない場合の紹介（同旨含め 30 件）

- ・丁寧に親身に、正確に病状の説明・治療をする。必要があれば、専門医療機関を紹介する。
- ・自院で対応できなくても、今後の治療の方向性を明確に示し、漠然とした不安を取り除くのが大きな役割。
- ・何でも相談でき必要に応じて紹介状を書いてもらうことができる。それぞれの疾患に対する二次～三次医療機関へのルートを持っていること。
- ・医療全般を診られるが自分の範囲をわきまえ、専門医受診の必要性の有無を判断できる。 /等

○信頼関係（同旨含め 24 件）

- ・本来「かかりつけ医」と患者の間には信頼関係があって、安心感が生まれている。「かかりつけ医」が最期まで診られれば、家族や関係者は大変に安心できると思う。
- ・患者及びその家族と医師及び医療機関のスタッフとが信頼関係にあることが重要。
- ・地域で信頼される医療施設。
- ・患者が信頼し、医療を任せる医師。 /等

○情報の把握（同旨含め 22 件）

- ・これまでの病歴・入院歴（病名等）の把握ができていること。
- ・患者及びその家族の健康状態、環境を適切に把握していること。
- ・全身管理から生活環境のすべてを知った上で加療と相談に対応できること。 /等

○継続性（同旨含め 17 件）

- ・患者の意志で“この先生なら良い”と思い、定期的に通院をしたくなるような医師。
- ・生まれてから成人するまで継続的に 1 人の子供の診療を行う医師（小児科医なので）。
- ・継続して診療していれば、往診、訪問診療、看取り等も実施していくことになる。それが「かかりつけ医」だと思う。
- ・患者の健康状態について生涯にわたり相談相手となる。
- ・慢性疾患を定期的に診療している医者。
- ・患者自らが受診している中で最も受診回数（頻度）の多い医師が、結果的に「かかりつけ医」となる。
- ・過疎地では開業医も病院医師も少なく、安心して診てもらえる医師を「かかりつけ医」として望んでいる。
- ・患者、医師、お互いに、次第に「かかりつけ医」意識が確立していくものと思う。

／等

○地域医療に密着（同旨含め 17 件）

- ・地域内において子どもから高齢者まで、予防から治療、最終的には看取りまで対応可能な医師。
- ・校医として学校保健への参加、講演などを通じた地区住民への啓発等、地域医療活動を続ける医師。
- ・地域のゲートキーパーとして幅広く診察を行い、地域の医療と介護資源を十分に熟知している医師。
- ・地域完結型の医療を行うために、基幹病院と密に連携し、様々な医療サービスを提供できる医師。／等

○予防・健康管理（同旨含め 12 件）

- ・健康管理、予防医学、その他医療相談ができる医師。
- ・健康管理をはじめ精神面に対しても患者に話しやすい状況をつくり、より良い ADL を保つ手伝いをする事。
- ・「予防は治療に勝る」重要な視点であり、小さな変化を把握し早期に対応する努力を怠らないこと。
- ・小児科医として、健康診断や予防接種を積極的に勧めたい。医師会の会員、地区医師会や学校医会、保育医会などの関係を保ち、小児の発達・成長に役立っていきたい。

／等

○地域連携（同旨含め 9 件）

- ・地域包括支援ケアシステムの中で、多職種と協働して対応していく必要がある。
- ・医療に関わる職種と連携する医師。
- ・他職種と連携し医療と福祉のあらゆる階層の問題の解決に関わっていく職。

- ・ケアマネジャーと連携を図り、患者の的確な把握と対応を実施する。
- ・民生委員・福祉委員等と情報共有していくことや地域包括支援センターの職員全員と気軽に話ができる関係を作ること。 /等

○その他

- ・患者の立場になって考えうる見識、人格、患者及び家族の歴史、宗教、人格、疾患の遺伝子レベルの考察を含め、総合的に考えられる医師。
- ・ジャンルを選ばず、常に新しい医学知識を貪欲にまで修得し、総合医的立場でなければ、責任あるかかりつけの診療はできない。
- ・各専門科医師の判断をまとめて総合的に患者に対応する医師。
- ・24時間365日支援するチームのリーダー。
- ・健康寿命をできるだけ長期に維持すること。
- ・生活環境を知ったうえで、身体のみならず、心のケアも考えてくれる医師。
- ・患者それぞれの「かかりつけ医」の条件は違うはずで資格等は一概に決められない。

/等

④「かかりつけ医」の機能を発揮・強化していく上で今後学びたいこと

- ・「かかりつけ医」の機能を発揮・強化していく上で今後学びたいことについて自由記述式で記載のあった内容を整理したものが次の図表である。

図表 3-273 「かかりつけ医」の機能を発揮・強化していく上で今後学びたいこと
(主なもの、自由記述式)

- 専門外も含めた幅広い知識 (同旨含め 41 件)
 - ・「幅広い診療能力」「救急対応能力」「地域ニーズへの適応力」この3つの総合医能力。
 - ・オールマイティを要求されるので、すべての医学知識に精通するよう努力する。
 - ・プライマリケア全般。
 - ・心の相談にものれるような総合診療に関する知識と実践。
 - ・生活習慣病や一般内科の疾患について、専門医を紹介した方が良い場合など、広い範囲の知識をつけたい。
 - ・他科で多く見られる疾患の一般的な対応。
 - ・妊婦、授乳時の処方や慢性腎臓病の患者への緊急時の対応など。 /等
- 地域での連携 (同旨含め 31 件)
 - ・社会的サービスとの連携を学びたい。
 - ・周囲の医療機関、介護施設の情報や連携の方法。
 - ・紹介できる外来・病院の確保。
 - ・地域の医療ニーズや提供できる医療サービスの実態。
 - ・地方で幅広い医療を行っている医師から話を聞く機会を持ちたい。
 - ・在宅から急性期入院など連携のノウハウ。 /等
- 高齢者特有の問題や・認知症の知識 (同旨含め 12 件)
 - ・高齢者、認知症患者への対応の仕方。
 - ・介護や認知症の知識。
 - ・フレイルやサルコペニアにおける栄養療法やリハビリ。
 - ・リビングウィル、ACP といった死への準備教育。 /等
- 受講機会の増加 (同旨含め 10 件)
 - ・テレビ会議、インターネットなどを活用してほしい。講演は基本的な内容を主として、スキルアップに繋がり、臨床を主体のものにしてほしい (年2回の症例報告会はとても好評)。
 - ・頻繁に講習に参加して学びたい。
 - ・現在の医師会の「かかりつけ医」の理念に従い、そのカリキュラムを着実に学んでいきたい。

- ・日本医師会の研修会の開催頻度を多くしてほしい。
 - ・短期間（集中講義）で「かかりつけ医」の認定を受けられるようにしてほしい。
 - ・時間をとるのが難しい。休日に比較的近い場所で講義を受けたい。 /等
- 新しい知識（同旨含め9件）
- ・医療は日々進歩しているので、数年に1回、最新の臨床的な、進歩した内容の講習を聴きたい。
 - ・新薬や新しい治療法。 /等
- コミュニケーションスキルの向上（同旨含め5件）
- ・患者との対話の中での心の接し方。
 - ・患者とのコミュニケーション能力の向上を図りたい。
 - ・家族との生活状況など、プライバシーを侵害せずに把握するコツを学びたい。 /等
- 介護保険制度（同旨含め5件）
- ・介護保険、障害福祉サービス等について知識不足であり、学びたい。
 - ・介護保険制度が複雑であり、学びたい。 /等
- その他
- ・在宅介護の終末医療、栄養管理、呼吸管理。
 - ・医療保険行政の仕組み。
 - ・保険診療について。
 - ・ナースのスキルアップの機会を増やしてほしい。専門看護師より総合力のある看護師が必要。 /等

⑤「かかりつけ医」の機能を発揮・強化していく上での課題等

- ・「かかりつけ医」の機能を発揮・強化していく上での課題と必要な支援等について自由記述式で記載のあった内容を整理したものが次の図表である。

図表 3- 274 「かかりつけ医」の機能を発揮・強化していく上での課題と必要な支援等
(主なもの、自由記述式)

- 連携が必要 (同旨含め 39 件)
 - ・医療機関との連携。
 - ・在宅専門医との連携。
 - ・専門科との連携。適切に紹介受診させる判断能力を身につけることも必要。
 - ・1 人の患者に多くの職種が関わり、それぞれが判断して患者に対応している。診療会議を開き、連携・整備を図ることが必要。 / 等
- 医師の高齢化、マンパワーの不足 (同旨含め 27 件)
 - ・医師、看護師などの医療資源が少ないため、日常の診療が忙しすぎる。医療従事者の確保が必要。
 - ・医師も高齢になってくると長時間の仕事は体力的にきつく困難。
 - ・医療過疎の地域で開業しているため、現状で手一杯の状態。研修の参加は困難。
 - ・外来診療だけで忙しく、在宅まで手がまわらない。他科、在宅と連携できる体制を作ることが必要。
 - ・アルバイト、非常勤医の派遣。 / 等
- 研修、学習が必要 (同旨含め 13 件)
 - ・研修会等での認識・意識の向上。
 - ・整形外科的視点の研修が不足。
 - ・病院の専門医とのコミュニケーションをとる機会を増やす必要がある。地区の病院でのカンファレンスなどが有効と思われる。
 - ・同じ内容の研修会を複数回用意してほしい。
 - ・専門外の基本的疾患を WEB で学習できるようにしてほしい。 / 等
- 24 時間 365 日対応は不可能 (同旨含め 12 件)
 - ・個人では不可能。複数医師による対応が必要である。
 - ・医師の休息も必要。協力体制の構築を希望。
 - ・他院と協力することによって患者への 24 時間対応を可能にしたい。 / 等
- 情報共有 (同旨含め 10 件)
 - ・医師が情報を共有できる仕組みの構築。まずは薬の情報の共有化からすべき。

- ・横の連携に役立つような携帯端末（患者情報の共有）。
- ・患者の情報が共有できれば、複数の「かかりつけ医」がいても良いのではないか。
- ・電子カルテ等の互換性も含めてデータの共有化が可能なインフラ整備が必要である。

／等

○急変時の受入れ先が必要（同旨含め 10 件）

- ・急変時の後方支援病院（急性疾患でなく慢性疾患や高齢者への対応）の充実。
- ・急変時等に 24 時間受け入れてくれる病院が必要。　／等

○その他

- ・小児科の中でも専門分野あるいは得意とする領域があり、小児科医同士が連携して患者を診ることもよくあった。小児科は「かかりつけ医」を少なくとも 2 つは選べるようにできないか。
- ・「かかりつけ医」の機能、内容を一般に理解してもらうこと。
- ・救急診療のトレーニング。
- ・患者、特に独居の高齢者への栄養面での介入。
- ・生活習慣指導を行うことが大切。そのための支援ができるスタッフと診療報酬上の手当が必要。
- ・高齢化と住民の減少により、後継ぎのいない医院や無医町が増えている。基幹病院のサテライト診療所を無医地区に設置すべき。
- ・予防としてフレイルの段階でシステムの介入が必要。　／等

平成 28 年度厚生労働省医政局地域医療計画課委託事業
平成 28 年度かかりつけ医に関する業務実態調査
報告書

平成 29（2017）年 3 月

三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社
〒105-8501 東京都港区虎ノ門 5-11-2
TEL : 03-6733-1024

禁無断転載